新発田市埋蔵文化財調査報告 第58

住吉遺跡 発掘調査報告書

県営ほ場整備事業（紫雲寺２期地区）
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 Ⅰ

２０１９

新発田市教育委員会

例　言

1　本報告書は,新潟県新発田市中島字住吉 108 番ほかに所在する住吉（すみよし）遺跡の発掘調査記録である。

2　調査は，県営ほ場整備事業（紫雲寺２期地区）に伴うものである。新潟県新発田地域振興局の委託を受け，新発田市教育委員会が主体となって，平成 24 年 10 月３日から 12 月 25 日，平成 25 年５月 16 日から 12 月 27 日に現地調査を，発掘調査終了後から平成 30 年 3 月まで整理作業を実施し，報告書を作成した。

3　現地の発掘調査から報告書刊行に至るまでの経費は，総額の 90％を新潟県新発田地域振興局が負担し，残りの 10％を文化財保護担当部局である新発田市が負担した。なお，文化財保護担当部局負担分については，その半額を国庫補助金，残りを県費補助金と市費で負担した。

4　調査の記録および出土遺物は，新発田市教育委員会が保管している。遺物の注記は，遺跡名を「住吉」と略記し，以下「遺物番号・出土グリッド・遺構・層位・日付」を記した。

5　本報告書の作成は，津田憲司（新発田市教育委員会）を中心に行い，坂野岳史（新発田市教育委員会　臨時職員）と整理作業員がこれを補助した。

6　本書掲載の写真は，遺構については津田が撮影した。遺物については，木製品の一部を㈱ノガミと，フォーカルが，残りを田中耕作（新発田市教育委員会）が撮影した。

7　本書の第Ⅰ章を本田祐二（新発田市教育委員会）が，第Ⅳ章７を前嶋 敏（新潟県立歴史博物館）が，第Ⅴ章を除くそれ以外を津田が執筆した。全体の編集は津田が行った。

8　第Ⅴ章の自然科学分析は，１をパリノ・サーヴェイ株式会社，２を一般社団法人 文化財科学研究センター，３を㈱パレオ・ラボ，４を木村勝彦氏（福島大学 共生システム理工学類）に委託し，その結果を掲載した。

9　図書館等（著作権法第 31 条第１項に規定する図書館等をいう）の利用者は，その調査研究の用に供するために，本報告書の全体について，複製することができる。

10　発掘調査から本書の作成にあたり，下記の諸氏・機関から多くのご協力・ご支援を賜った。記して感謝の意を表する。（五十音順　敬称略）

浅井勝利　荒川隆史　小林 弘　笹澤正史　高橋春栄　前嶋 敏　水澤幸一　四柳嘉章
紫雲寺土地改良区　新潟県教育委員会文化行政課　新潟県新発田地域振興局農村整備部
新潟県立歴史博物館

本　文　目　次

第Ⅰ章　遺跡の位置と調査経過

1　遺跡の位置と環境 …… 1

2　調査に至る経緯と調査体制 …… 3

第Ⅱ章　調査の概要

1　調査の方法 …… 7

2　基本土層 …… 7

第Ⅲ章　遺　構

1　掘立柱建物・柵 …… 9

2　井戸 …… 40

3　土坑・小ピット …… 50

4　溝・流路・杭列 …… 63

第Ⅳ章　遺　物

1　土師質土器 …… 67

2　陶磁器・瓦器 …… 84

3　土製品 …… 93

4　石製品 …… 93

5　金属製品・鍛冶関連遺物 …… 93

6　木製品 …… 100

7　木簡 …… 142

第Ⅴ章　自然科学分析

1　住吉遺跡出土木製品の樹種同定 …… 144

2　住吉遺跡における遺構内堆積物の分析 …… 154

3　放射性炭素年代測定 …… 175

4　住吉遺跡出土の掘立柱建物柱根および曲物井筒の年輪年代 …… 204

《要　約》 …… 210

引用・参考文献 …… 211

遺物観察表 …… 212

報告書抄録 …… 奥付け

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置と周辺の中世遺跡 …… ２
第２図　試掘調査トレンチの位置とグリッド設定図 …… ６
第３図　調査区と基本土層 …… ８
第４図　調査区全体図 …… (10－11)
第５図　遺構全体図（１）…… 11
第６図　遺構全体図（２）…… 12
第７図　遺構全体図（３）…… (12－13)
第８図　遺構全体図（４）…… (12－13)
第９図　遺構全体図（５）…… 13
第10図　１～４・６・８号掘立柱建物 …… 15
第11図　５・７・９・10号掘立柱建物 …… 16
第12図　11～15号掘立柱建物 …… 17
第13図　16号掘立柱建物 …… 18
第14図　17号掘立柱建物 …… 19
第15図　18号掘立柱建物 …… 20
第16図　19・20号掘立柱建物 …… 21
第17図　21・22号掘立柱建物 …… 22
第18図　23～28号掘立柱建物 …… 23
第19図　29～31号掘立柱建物 …… 24
第20図　32号掘立柱建物 …… 25
第21図　33・34・36号掘立柱建物 …… 26
第22図　35・37・38号掘立柱建物 …… 27
第23図　39～42号掘立柱建物 …… 28
第24図　43・46号掘立柱建物 …… (28－29)
第25図　44号掘立柱建物 …… 29
第26図　45号掘立柱建物 …… 30
第27図　47号掘立柱建物 …… 31
第28図　48・49号掘立柱建物 …… 32
第29図　50～55号掘立柱建物 …… 33
第30図　56～60号掘立柱建物 …… 34
第31図　61～63号掘立柱建物 …… 35
第32図　64～66号掘立柱建物 …… 36
第33図　67～71号掘立柱建物 …… 37
第34図　72・73号掘立柱建物 …… 38
第35図　１号柵 …… 39
第36図　１～４号井戸 …… 42
第37図　５・６・11号井戸 …… 43
第38図　７～10号井戸（１）…… 44
第39図　７～10号井戸（２）…… 45
第40図　12・13号井戸 …… 46
第41図　14～17号井戸 …… 47
第42図　18～21号井戸 …… 48
第43図　22～25号井戸 …… 49
第44図　１～８号土坑 …… 52
第45図　10・13～21号土坑 …… 53
第46図　22～25・27～33号土坑 …… 54
第47図　34～43号土坑 …… 56
第48図　44～52号土坑 …… 57
第49図　53～61号土坑 …… 59
第50図　62～66・68・69号土坑 …… 61
第51図　９・11・12・26号土坑 …… 62
第52図　67号土坑と１～４号小ピット …… 63
第53図　１～15号溝 …… 64
第54図　16～38号溝 …… 65
第55図　39・40号溝と１号流路および１～３号杭列 …… 66
第56図　土師質土器（１）…… 68
第57図　土師質土器（２）…… 69
第58図　土師質土器（３）…… 70
第59図　土師質土器（４）…… 71
第60図　土師質土器（５）…… 72
第61図　土師質土器（６）…… 73
第62図　土師質土器（７）…… 74
第63図　土師質土器（８）…… 75
第64図　土師質土器（９）…… 76
第65図　土師質土器（10）…… 77
第66図　土師質土器（11）…… 78
第67図　土師質土器（12）…… 79
第68図　土師質土器（13）…… 80

第 69 図　土師質土器（14）……81
第 70 図　土師質土器（15）……82
第 71 図　土師質土器（16）……83
第 72 図　陶磁器（１）……85
第 73 図　陶磁器（２）……86
第 74 図　陶磁器（３）……87
第 75 図　陶磁器（４）……88
第 76 図　陶磁器（５）……89
第 77 図　陶磁器（６）……90
第 78 図　陶磁器（７）……91
第 79 図　陶磁器（８）……92
第 80 図　陶磁器（９）……93
第 81 図　土製品 ……94
第 82 図　石製品（１）……94
第 83 図　石製品（２）……95
第 84 図　石製品（３）……96
第 85 図　石製品（４）……97
第 86 図　石製品（５）……98
第 87 図　金属製品と鍛冶関連遺物 ……98
第 88 図　銭貨 ……99
第 89 図　木製品（１）……101
第 90 図　木製品（２）……102
第 91 図　木製品（３）……103
第 92 図　木製品（４）……104
第 93 図　木製品（５）……105
第 94 図　木製品（６）……106
第 95 図　木製品（７）……107
第 96 図　木製品（８）……108
第 97 図　木製品（９）……109
第 98 図　木製品（10）……110
第 99 図　木製品（11）……111
第100図　木製品（12）……112
第101図　木製品（13）……113
第102図　木製品（14）……114
第103図　木製品（15）……115
第104図　木製品（16）……116
第105図　木製品（17）……117
第106図　木製品（18）……118
第107図　木製品（19）……119
第108図　木製品（20）……120
第109図　木製品（21）……121
第110図　木製品（22）……122
第111図　木製品（23）……123
第112図　木製品（24）……124
第113図　木製品（25）……125
第114図　木製品（26）……126
第115図　木製品（27）……127
第116図　木製品（28）……128
第117図　木製品（29）……129
第118図　木製品（30）……130
第119図　木製品（31）……131
第120図　木製品（32）……132
第121図　木製品（33）……133
第122図　木製品（34）……134
第123図　木製品（35）……135
第124図　木製品（36）……136
第125図　木製品（37）……137
第126図　木製品（38）……138
第127図　木製品（39）……139
第128図　木製品（40）……140
第129図　木製品（41）……141
第130図　木簡 ……143
第131図　樹種同定　木材（１）……150
第132図　樹種同定　木材（２）……151
第133図　樹種同定　木材（３）……152
第134図　樹種同定　木材（４）……153
第135図　遺構内における花粉ダイアグラム ……168
第136図　遺構内における種実ダイアグラム ……169
第137図　遺構内における主要珪藻ダイアグラム
……170
第138図　遺構内の花粉・胞子 ……171
第139図　遺構内の種実 ……172
第140図　種実（水洗選別済み試料）……173
第141図　動物遺存体 ……174
第142図　４号掘立 P1　柱根（掲載№２）の
ウィグルマッチング結果 ……192

第143図　12 号掘立 P1　柱根（掲載№５）の
ウィグルマッチング結果 ……192
第144図　13 号掘立 P1　柱根（掲載№６）の
ウィグルマッチング結果 ……193
第145図　20 号掘立 P5　柱根（掲載№16）の
ウィグルマッチング結果 ……193
第146図　32 号掘立 P18　柱根（掲載№26）の
ウィグルマッチング結果 ……194
第147図　42 号掘立 P5　柱根（掲載№40）の
ウィグルマッチング結果 ……194
第148図　43 号掘立 P13　柱根（掲載№43）の
ウィグルマッチング結果 ……195
第149図　43 号掘立 P16　柱根（掲載№44）の
ウィグルマッチング結果 ……195
第150図　44 号掘立 P8　礎板（掲載№50）の
ウィグルマッチング結果 ……196
第151図　45 号掘立 P9　柱根（掲載№54）の
ウィグルマッチング結果 ……196
第152図　46 号掘立 P8　柱根（掲載№58）の
ウィグルマッチング結果 ……197
第153図　46 号掘立 P17　柱根（掲載№66）の
ウィグルマッチング結果 ……197
第154図　48 号掘立 P4　柱根（掲載№77）の
ウィグルマッチング結果 ……198
第155図　49 号掘立 P7　柱根（掲載№79）の
ウィグルマッチング結果 ……198
第156図　56 号掘立 P4　柱根（掲載№81）の
ウィグルマッチング結果 ……199
第157図　69 号掘立 P3　柱根（掲載№82）の
ウィグルマッチング結果 ……199
第158図　70 号掘立 P3　柱根（掲載№84）の
ウィグルマッチング結果 ……200
第159図　単体試料の暦年較正結果（１）……200
第160図　単体試料の暦年較正結果（２）……201
第161図　掘立柱建物のマルチプロット図 ……202
第162図　井戸のマルチプロット図 ……203
第163図　暦年代の確定した出土木材の年代 ……208
第164図　分析試料 ……209

表　目　次

表 １　調査体制 …… ４
表 ２　器種別種類構成（１）・（２）……147
表 ３　遺構内における寄生虫・花粉分析結果 ……165
表 ４　遺構内における種実同定結果 ……166
表 ５　遺構内における珪藻分析結果 ……167
表 ６　種実同定結果 ……166
表 ７　ウィグルマッチング測定試料および処理（１）……181
表 ８　ウィグルマッチング測定試料および処理（２）……182
表 ９　ウィグルマッチング測定試料および処理（３）……183
表 10　単体測定試料および処理 ……184
表 11　４号掘立 P1　柱根（掲載№２）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……185
表 12　12 号掘立 P1　柱根（掲載№５）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……185
表 13　13 号掘立 P1　柱根（掲載№６）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……185

表 14　20 号掘立 P5　柱根（掲載№16）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……186
表 15　32 号掘立 P18　柱根（掲載№26）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 …186
表 16　42 号掘立 P5　柱根（掲載№40）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……186
表 17　43 号掘立 P13　柱根（掲載№43）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 …187
表 18　43 号掘立 P16　柱根（掲載№44）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 …187
表 19　44 号掘立 P8　礎板（掲載№50）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……187
表 20　45 号掘立 P9　柱根（掲載№54）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……188
表 21　46 号掘立 P8　柱根（掲載№58）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……188
表 22　46 号掘立 P17　柱根（掲載№66）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 …188
表 23　48 号掘立 P4　柱根（掲載№77）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……189
表 24　49 号掘立 P7　柱根（掲載№79）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……189
表 25　56 号掘立 P4　柱根（掲載№81）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……189
表 26　69 号掘立 P3　柱根（掲載№82）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……190
表 27　70 号掘立 P3　柱根（掲載№84）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果 ……190
表 28　単体試料の放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 ……191
表 29　年輪解析を実施した試料 ……207
表 30　試料の年輪解析結果 ……207

図　版　目　次

図版 1　調査区遠景，調査区近景
図版 2　調査区全景，Nq～Rs グリッド
図版 3　Os～St グリッド，井戸（1）
図版 4　井戸（2）
図版 5　井戸・土坑・小ピット・流路の遺物出土状態
図版 6　磁器（1）
図版 7　磁器（2），瓦器
図版 8　陶器（1）
図版 9　掘立柱建物（1）
図版 10　掘立柱建物（2）
図版 11　掘立柱建物（3）
図版 12　掘立柱建物（4），柵
図版 13　井戸（3）
図版 14　井戸（4）
図版 15　井戸（5）
図版 16　井戸（6）
図版 17　土坑（1）
図版 18　土坑（2）
図版 19　土坑（3）
図版 20　土坑（4）
図版 21　土坑（5）
図版 22　溝（1）
図版 23　溝（2）
図版 24　溝（3）
図版 25　溝（4），流路
図版 26　土師質土器（1）
図版 27　土師質土器（2）
図版 28　土師質土器（3）
図版 29　土師質土器（4）
図版 30　土師質土器（5）
図版 31　土師質土器（6）
図版 32　土師質土器（7）

図版 33　土師質土器（８）
図版 34　土師質土器（９）
図版 35　土師質土器（10）
図版 36　土師質土器（11），陶器（２）
図版 37　陶器（３）
図版 38　陶器（４），土製品
図版 39　石製品（１）
図版 40　石製品（２），金属製品・鍛冶関連遺物（１）
図版 41　金属製品・鍛冶関連遺物（２），木製品（１）
図版 42　木製品（２）
図版 43　木製品（３）
図版 44　木製品（４）
図版 45　木製品（５）

凡　　例

1　本書に掲載の地形図は，国土地理院発行の１/50,000「新発田」（平成 15 年）・「中条」（平成 15 年），新発田市作成の１/2,500「新発田市」（平成 20 年）を縮小したものを使用している。

2　平面図の方位は，第１～２図は天を真北，それ以外は方位記号の方向を磁北とする。なお，磁北は真北から西偏約７° 50′ である。

3　挿図の縮尺は，遺構１/40 ～１/80，遺物１/ ３～１/ ８を基本とし，適宜スケールと縮尺を示した。

4　遺構実測図の「K」は攪乱を示す。

5　遺構全体図（第５～９図）の遺構名は，個別に遺構図面を掲載しているものを太字（ゴシック体）で，掲載していないものを細字（明朝体）で表記している。

5　掘立柱建物の断面図において，正確な平面位置が確認できなかった遺物（礎板）については，破線で表現している。

6　土層説明での土色は，小山正忠・竹原秀雄 2008『新版 標準土色帖』日本色研事業株式会社 を参照した。

8　遺物観察表の数値は，（　）が復元値，＜　＞が残存値を表す。

9　引用・参考文献は，巻末に一括して掲載した。ただし，第Ⅴ章については各節の文末に記した。

第Ⅰ章　遺跡の位置と調査経過

1　遺跡の位置と環境

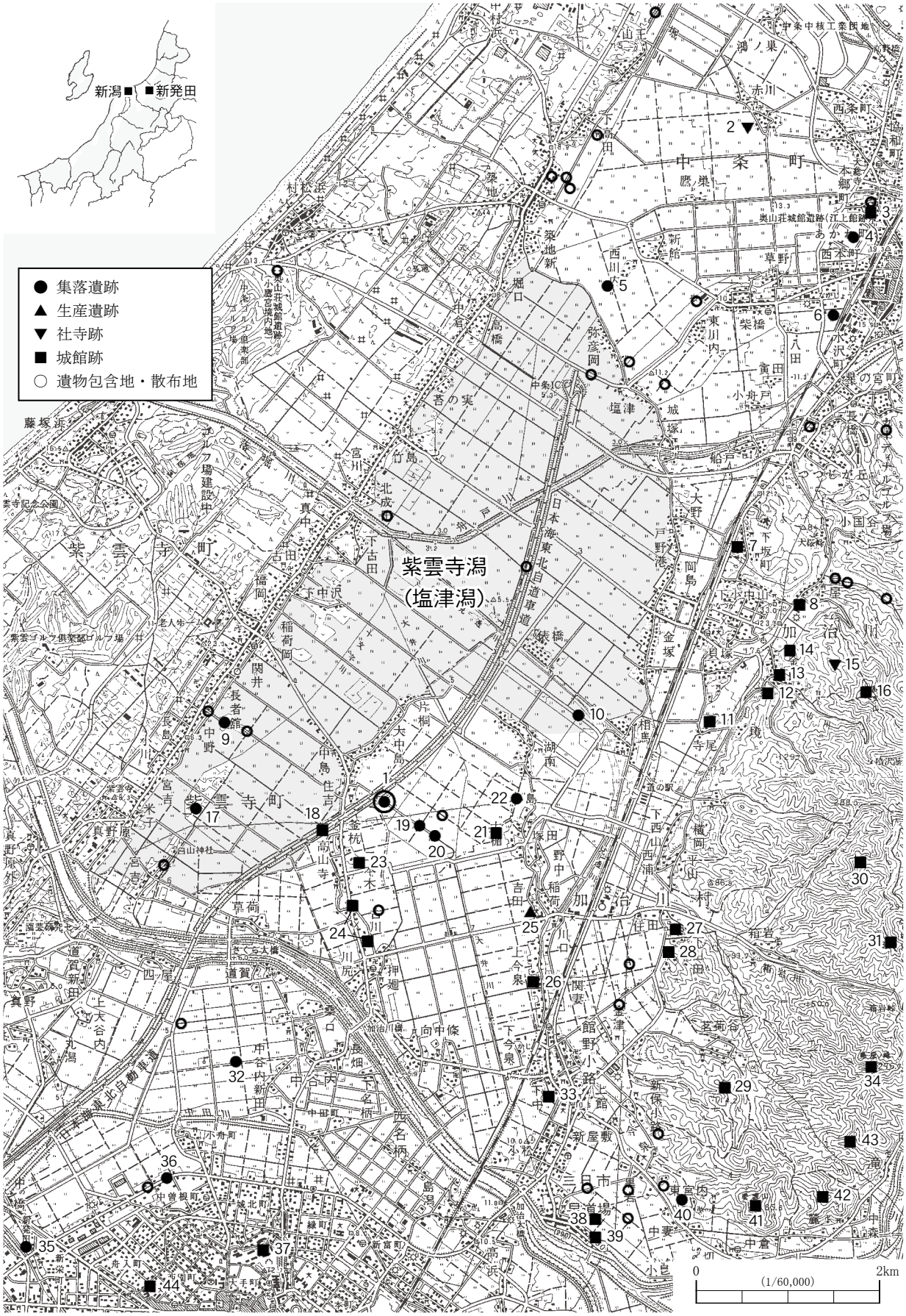
住吉遺跡がある新発田市は，新潟県の北部に位置する人口約９万８千人の地方都市である。江戸時代には溝口氏の居城である新発田城が築かれるとともに城下町の整備が進められ，明治時代から戦前にかけては陸軍の駐屯地，戦後は県北部地域の経済の中心地として発展してきた。市域の東側には飯豊山地や櫛形山脈，五頭山地などが連なる。これらの山々を水源とする加治川水系の河川は西流し，越後平野の一部を成す河成段丘や扇状地，沖積低地を形成している。かつてこれらの河川は，海岸線に沿って延びる砂丘列に阻まれ日本海へと直接注ぎ込むことができず，紫雲寺潟（塩津潟）や福島潟などの潟湖に注ぎ込むか，砂丘列沿いに西流し阿賀野川へ合流していた。また，阿賀野川も河口付近で信濃川に合流し，そこから日本海へと流れ込んでいた。このような環境の下で，往時の人々は潟や河川を利用した水上交通により，移動や物資の流通を盛んに行っていたと考えられている。住吉遺跡は，市の中心部から北へ約 5.5 ㎞，新発田市中島字住吉 108 番地ほかに所在する。本遺跡は，加治川右岸の沖積低地に位置し，江戸時代に干拓された紫雲寺潟（塩津潟）の潟端にある標高約 4.5 ｍの微高地上に立地する。紫雲寺潟（塩津潟）は，９世紀に起きた地震が原因となり地面が沈降・陥没し，それまで存在していた潟が急速に拡大したと判明している（高濱・卜部 2004)。その後も潟の水かさは増し，やがて享保 18（1733）年の干拓前の広さにまで拡大し，当地域の水上交通や物資の流通において大きな役割を果たすものとなった。

住吉遺跡で集落が営まれた中世前期は，各地に私領である荘園が立てられ，荘園と公領が併存する重層的な土地支配体制が築かれる。現在の新発田市域にも，北部に奥山荘，中央部に加地荘，南部に豊田荘，赤谷地区に小川荘が立荘された。荘園同士の境は明確ではないが，本遺跡周辺は加治荘の荘域に含まれると考えられ，文永三（1266）年の「佐々木加地重朝譲状案」（『新潟県史』資料編４中世２、1920 号）などの史料に記載される「加地荘古川条」にあたる（高橋ほか 2006)，または関連する（水澤 2018）と見られている。

本遺跡は，日本海東北自動車道建設に伴い発見され，平成９年に周知化された。平成 10・11 年に本発掘調査が行われ，路線部分に当たる 8,150 ㎡を財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団が調査した。その結果，本遺跡は中世前期（13 世紀から 14 世紀前半）の集落跡と判明した。集落内部を溝で区画し，区画内に掘立柱建物や井戸などが配置され，屋敷墓も見られる。遺物は，ロクロ成形底部ヘラ切りの皿類主体の土師質土器，珠洲，古瀬戸のほか，青白磁の梅瓶，青磁盤，白磁水注などのいわゆる高級品を含む輸入陶磁器の出土割合が高い。当地域の開発に深く関わり，水上交通や物資の流通に関わる人物の存在が窺われる遺跡とされる（高橋ほか 2006)。

紫雲寺潟（塩津潟）周辺には，住吉遺跡と同様に，潟端の微高地に営まれた集落のほか，隣接する山地とその麓に城館跡などが存在する。以下，本遺跡と同時期に営まれていた遺跡を中心に概観したい。

紫雲寺潟（塩津潟）の北東の胎内川扇状地扇端部には，奥山荘政所条遺跡群の江上館跡（３）と下町・坊城遺跡（４）が位置する。本遺跡群では，11 世紀から 16 世紀までの長期にわたり人々の営みが確認されている。13 世紀後半に坊城館が築かれ，14 世紀前半に館は廃絶，その後は江上館へ移り，15 世紀末に鳥坂城へ移るまで，奥山荘の中心であった。長期に渡る土地利用は当地の利便性や重要性を示すと考えられている。住吉遺跡と同時期の下町・坊城遺跡からは，手づくね成形の土師質土器が大量に出土したほか，高級品とされる種類の輸入陶磁器類も多く出土している（水澤 2006)。櫛形山脈の新発田市域北端部には，蛇山城跡（12)・金山館跡（13)・高館跡（14)･宝塔山城（16）で構成される金山城館遺跡群が広がる。金山の地名は鎌倉時代の史料にも見られるが，



第１図　遺跡の位置と周辺の中世遺跡

周辺の中世遺跡

1 住吉遺跡　2 寺前東遺跡　3 江上館跡　4 下町・坊城遺跡　5 西河内南遺跡　6 駒込遺跡　7 坂町館跡
8 ヤソ山館跡　9 デト山遺跡　10 砂山中道下遺跡　11 寺尾城跡　12 蛇山城跡　13 金山館跡　14 高館跡
15 鹿島山養生寺跡　16 宝塔山城跡　17 王子山遺跡　18 高山寺館跡　19 二ツ割遺跡　20 中住吉遺跡　21 古楯館跡
22 小島西遺跡　23 古川下館跡　24 古川館　25 家ノ内遺跡　26 今泉館跡　27 住田城跡　28 下山田館　29 茗荷谷城跡
30 水ノ尾城跡　31 菅谷城跡　32 桑ノ口遺跡　33 加治館跡　34 鳥屋峯城跡　35 矢詰遺跡　36 小船渡遺跡　37 新発田城跡
38 里館跡　39 箱館跡　40 加治天王前遺跡　41 加治城跡　42 麓城跡　43 滝城跡　44 猿橋館跡

現存する遺跡の状況は戦国時代のものと考えられる。ただし，発掘調査が実施されていないことから詳細は不明である。櫛形山脈の南端には加治城跡（41）が位置する。住吉遺跡も位置する加地荘の地頭職を務めた加地氏の本拠とされるが，現存する遺構は戦国時代のものと考えられている。加治城の麓には箱館跡（39）・加治天王前遺跡（40）が存在する。いずれも，検出されている遺構は 15 世紀を中心とする時期のものであるが，13 世紀から 14 世紀の遺物も出土しており，先行的な土地利用が想定されている（伊藤ほか 2006・2008）。

紫雲寺潟（塩津潟）の周辺に目を転じると，住吉遺跡の対岸の砂丘上には，デト山遺跡（９）が位置する。13 世紀から 14 世紀の遺物が出土し，区画溝とそれに沿うように位置する掘立柱建物１棟が検出されている（坂野井ほか 2005）。紫雲寺潟（塩津潟）の南東側潟端には，砂山中道下遺跡（10）・小島西遺跡（22）・二ツ割遺跡（19）・中住吉遺跡（20）が位置する。砂山中道下遺跡（10）は 13 世紀代を中心とした集落跡で，掘立柱建物や井戸のほか火葬遺構が検出され，自然流路から多くの木製品が出土している（佐藤ほか 2006）。小島西遺跡（22）は，13 世紀後半から 14 世紀初頭を中心とする遺跡で，この遺跡からも多量の木製品が出土している（川上・伊藤 1984）。二ツ割遺跡（19）・中住吉遺跡（20）は，住吉遺跡に近接し，存続時期がほぼ重なる遺跡である。二ツ割遺跡は，溝で区画された範囲に掘立柱建物 36 棟や井戸 13 基などが見つかり，３期以上の遺構変遷が想定されている（宮内ほか 2002・2004）。区画溝とされる溝からは，大量の土師質土器皿類が出土しており，本遺跡において宴が催されていたと考えられる。中住吉遺跡は，掘立柱建物 25 棟，井戸 13 基などが検出され，３時期に渡り遺構が変遷すると理解されている（宮内ほか 2002・2004）。

２　調査に至る経緯と調査体制

住吉遺跡を含む範囲で実施された県営ほ場整備事業紫雲寺２期地区（総面積 279.1ha）は，平成 12 年に採択された。これを受け，平成 17 年の市町村合併以前は紫雲寺町教育委員会，合併後は新発田市教育委員会（以下，市教委）と事業主体者である新潟県新発田地域振興局農村整備部（以下，県振興局）は，事業地内にある周知の埋蔵文化財包蔵地の取扱いについて協議を行った。平成 22 年７月，県振興局は遺跡の広がりを把握するための試掘調査実施を市教委へ要請し，平成 23 年度に実施することで合意した。市教委は，平成 23 年 10 月３日から 11 月７日の期間と 11 月 28 日に試掘調査を実施し，1.5ｍ×３ｍの試掘坑 130 か所と 1.0ｍ×３ｍの試掘坑４か所を掘削した。その結果，高速道路部分を除く 8,280 ㎡の範囲で遺跡の広がりが認められた。この結果を踏まえて両者は協議を行い，平成 24 年度に排水路工事範囲，平成 25 年度に遺跡保護層を確保できない面工事範囲の本発掘調査を実施することで合意した。

第１次本発掘調査　事業主体者である県振興局は，平成 24 年５月 29 日付け芝振農整第 168 号で文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号，以下，保護法）第 94 条第１項に則る排水路部分の工事計画を，新潟県教育委員会

教育長（以下，県教育長）に通知した。これを受けて，県教育長は県振興局長へ平成 24 年６月 21 日付け教文第 314 号の２で工事前に本発掘調査を実施するよう通知した。また，県振興局長は市教委に対し平成 24 年７月３日付け芝振農整第 1267 号で本発掘調査の実施を依頼し，県振興局と新発田市は平成 24 年８月 27 日付けで発掘調査費用負担契約を締結した。なお，調査費用の負担割合は例言を参照されたい。その後，市教委は平成 24 年９月 12 日付け文行第 389 号で保護法第 99 条第１項に則る発掘調査の着手を県教育長へ報告，同年 10 月５日調査に着手し，同年 12 月 20 日まで現地調査を実施した。調査体制は表１に掲載している。

第１次本発掘調査の現地調査経過（日誌抄）

平成 24 年 10 月３日～ 19 日　敷鉄板・設備と発掘器材を搬入し，９日から重機で調査区の表土掘削を行う。12 日から人力による遺構確認を行い，多数の遺構を検出する。

10 月 22 日～ 12 月７日　各遺構の調査に入る。10 月後半以降は，降雨により現場がしばしば水没するため，排水ポンプを常時稼働させての調査となった。11 月末で遺構の掘削はほぼ終了し，以後は主に平面図の作成を行う。

12 月 10 日～ 25 日　10 ～ 13 日は降雪により現場が中断。14 日から調査を再開し，平面図の補足と遺物の取上げを行う。17・18 日に調査区の完掘写真を撮影する。その後，発掘器材の搬出・清掃及び現場設備の撤収を行い，調査を終了した。

表１　調査体制

平成 23 年度（試掘調査）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　塚野　純一）		
監　理	新保　勇三　（教育部長）	調査担当者	鈴木　暁　（生涯学習課文化行政室 主任）
総　括	荻野　正彦　（教育副部長兼生涯学習課長）	庶　務	渡邊美穂子　（生涯学習課文化行政室 主任）
	田中　耕作　（生涯学習課文化行政室長）		本田　祐二　（生涯学習課文化行政室 文化財技師）
平成 24 年度（第１次本発掘調査）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　塚野　純一・大山　康一）		
監　理	新保　勇三　（教育部長）	調査担当者	津田　憲司　（生涯学習課文化行政室 文化財技師）
総　括	荻野　正彦　（教育副部長兼生涯学習課長）	調査員	一箭　義貴　（生涯学習課文化行政室 臨時職員）
	田中　耕作　（生涯学習課文化行政室長）	庶　務	渡邊美穂子　（生涯学習課文化行政室 主任）
			本田　祐二　（生涯学習課文化行政室 文化財技師）
平成 25 年度（第２次本発掘調査）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　大山　康一）	調査担当者	津田　憲司　（生涯学習課文化行政室 文化財技師）
監　理	船山　隆　（生涯学習課長）	調査員	一箭　義貴　（生涯学習課文化行政室 臨時職員）
総　括	田中　耕作　（生涯学習課文化行政室長）		坂野　岳史　（生涯学習課文化行政室 臨時職員）
		庶　務	鈴木　暁　（生涯学習課文化行政室 主任）
平成 26 年度（整理作業）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　大山　康一）	調査担当者	津田　憲司　（生涯学習課文化行政室 主任）
監　理	船山　隆　（生涯学習課長）	調査員	一箭　義貴　（生涯学習課文化行政室 臨時職員）
総　括	田中　耕作　（生涯学習課文化行政室長）		坂野　岳史　（生涯学習課文化行政室 臨時職員）
		庶　務	鈴木　暁　（生涯学習課文化行政室 主任）
平成 27 年度（整理作業）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　大山　康一）	調査担当者	津田　憲司　（文化行政課 主任）
監　理	田中　耕作　（文化行政課長）	調査員	坂野　岳史　（文化行政課 臨時職員）
総　括	平山　真　（文化行政課長補佐）	庶　務	渡邊美穂子　（文化行政課 主任）
平成 28・29 年度（整理作業）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　大山　康一）	調査担当者	津田　憲司　（文化行政課 主任）
監　理	平山　真　（文化行政課長）	調査員	坂野　岳史　（文化行政課 臨時職員）
総　括	坂井　喜行　（文化行政課長補佐）	庶　務	渡邊美穂子　（文化行政課 埋蔵文化財係長）
平成 30 年度（整理作業・報告書作成）			
調査主体者	新発田市教育委員会（教育長　山田　亮一・教育長職務代理者　関川　直）		
監　理	平山　真　（文化行政課長）	調査担当者	津田　憲司　（文化行政課 主任）
総　括	横山　利弘　（文化行政課長補佐）	調査員	坂野　岳史　（文化行政課 臨時職員）
		庶　務	渡邊美穂子　（文化行政課 埋蔵文化財係長）

現地調査終了後，市教委は平成 25 年１月 10 日付け文行第 615 号で県教育長に発掘調査終了を報告した。また，平成 24 年 12 月 26 日付け文行第 587 号で新発田警察署長に遺物発見届を，同年同日付け文行第 588 号で県教育長に遺物保管証を提出した。これらの遺物は，平成 25 年１月 31 日教文第 1169 号の９で文化財認定されている。

第２次本発掘調査　事業主体者の県振興局は，平成 25 年２月 28 日付け芝振農整第 1111 号で市教委との合意に基づく面工事計画を，保護法第 94 条第１項に則り県教育長へ通知した。県教育長はこれを受け，平成 25 年３月 12 日付け教文第 1324 号の２で工事前の本発掘調査実施を通知した。また，県振興局長は平成 25 年４月４日付け芝振農整第 18 号で市教委に本発掘調査の実施を依頼し，県振興局と新発田市は平成 25 年４月 10 日付けで発掘調査費用負担契約を締結した。その後，市教委は平成 25 年４月 22 日付け文行第 76 号で保護法第 99 条第１項に則り県教育長へ発掘調査の着手を報告，同年５月 16 日調査に着手し，同年 12 月 27 日まで調査を行った。

第２次本発掘調査の現地調査経過（日誌抄）

平成 25 年５月 16 日～６月 11 日　敷鉄板・設備を搬入後，20 日から調査区西半分の調査に入る。24 日まで重機による遺物包含層上面までの掘削を行う。27 日に発掘器材を搬入し，人力による遺構の確認作業を開始する。

６月 12 日～９月４日　各遺構の調査に入る。７月は降雨により現場がしばしば水没するため，排水ポンプを常時稼働させての調査となる。８月末で，調査区西半分の遺構の掘削がほぼ終了する。

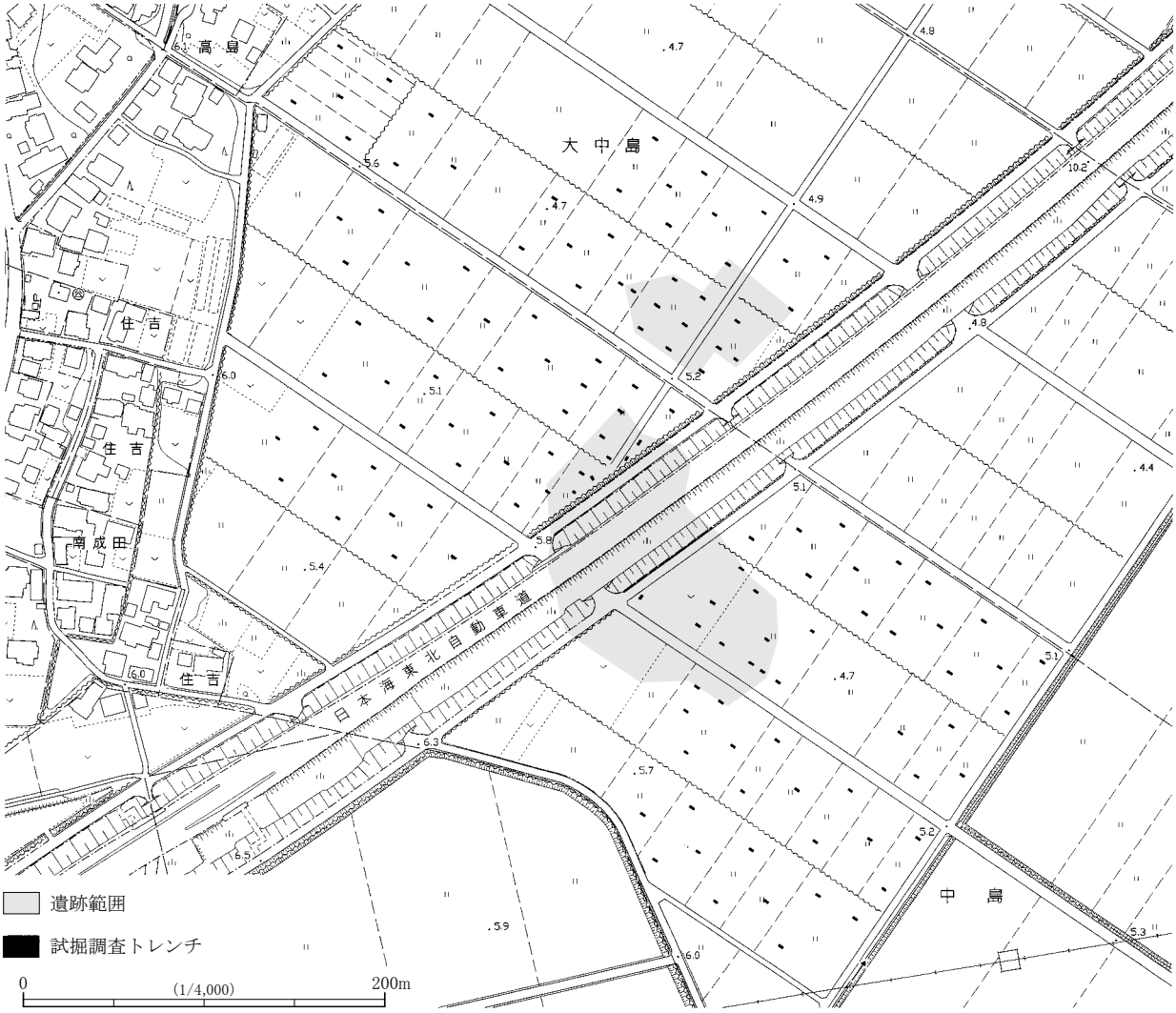
９月５日～13 日　調査区西半分については遺構の完掘平面図の作成に入る。併せて，調査区東半分において，重機による遺物包含層上面までの掘削と，人力による遺構確認作業を開始する。11 日に重機による掘削が終了する。

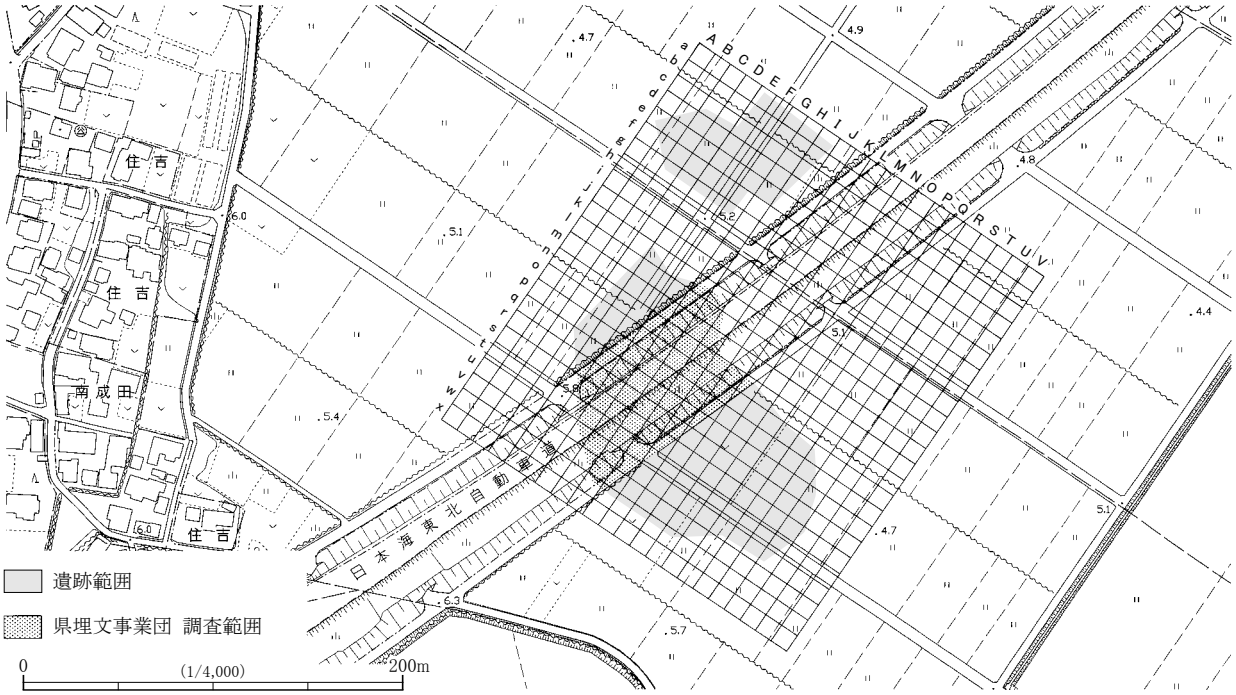
９月 14 日～11 月 21 日　調査区西半分では引き続き遺構の平面図を作成し，同東半分では各遺構の調査に入る。当初の想定より遺構数が多く，作業員を増員するが，降雨のため作業の進捗は著しく遅れる。10 月７日に西半分の完掘平面図の作成が終了。11 月 14 日に空中写真撮影を行う。

11 月 22 日～12 月 27 日　調査区東半分について，各遺構の調査と併行して完掘平面図の作成に入る。12 月は雨天でも極力現場を稼働させ，作業の進捗に努める。12 月 17 日に遺構の掘削が終了する。24 日に敷鉄板を撤収。25 日に完掘平面図の作成および遺物の取上げがすべて終了し，26 日に発掘器材の搬出と清掃を行う。27 日に設備を撤収し，現地調査を終了した。

現地調査終了後，市教委は平成 26 年１月 24 日付け文行第 719 号で県教育長に発掘調査終了を報告した。また，平成 25 年 12 月 27 日付け文行第 653 号で新発田警察署長に遺物発見届を，同年同日付け文行第 654 号で県教育長に遺物保管証を提出した。これらの遺物は，平成 26 年２月 18 日教文第 1399 号の３で文化財認定されている。

整理作業　平成 24・25 年度は，現地調査の終了後，基礎的な整理作業を実施した。遺構などの図面類は，平面と断面の整合確認や図面の合成などを行った。現場で撮影した写真は，ネガをアルバムに整理し，プリント写真は遺構などの状態把握に活用できるよう整理した。出土遺物は，水洗後，出土位置や日付などを注記した。平成 26 年度からは本格的整理作業に着手した。遺構などの図面類と写真は，昨年度からの作業を引続き進めた。遺物は，注記終了後，分類・接合を行い，一部実測図を作成した。平成 27・28 年度は，遺構については，平面図と断面図の整合確認と合成のほか，掘立柱建物などについて図面をもとにプランの抽出を行った。遺物については，土器の分類と接合，木製品の選び出しをした後，実測図の作成と拓本採取，トレースを行った。なお，木製品の一部は，実測・トレース・写真撮影・計測表の作成を専門業者へ委託して実施した。そのほかに，木製品の放射性炭素年代測定と樹種同定，土壌分析および出土種実と骨の同定分析を専門業者へ委託して実施した。平成 29 年度は，遺構については，引き続き図面の整合確認と合成を行い，トレース原稿の作成と一部トレース作業を実施した。遺物については，実測図の作成とトレースを行った。平成 30 年度は，遺構は図面のトレースと掲載写真の選び出しを，遺物はトレースおよび写真撮影を実施し，報告書に掲載する図版の版下を作成した。その後，原稿の執筆と編集作業を行い，報告書を刊行した。





第２図　試掘調査トレンチの位置とグリッド設定図

第Ⅱ章　調査の概要

1　調査の方法

調査区の面積は，平成24年度の第１次本発掘調査が306㎡，平成25年度の第２次本発掘調査が2,820㎡で，合計3,126㎡である。調査を実施するにあたって，グリッドの設定を行った。最初に，ほ場整備工事のために設定されたH16杭（国家座標　X＝222287.129，Y＝73841.867）とH17杭（国家座標　X＝222315.275，Y＝73800.542）を結んだ直線から，南側へ３ｍ平行移動したラインを，調査区の東西方向の基準として設定した。次にH11杭（国家座標 X＝222288.331　Y＝73782.191）とH17杭を結んだ直線から，西側へ30ｍ平行移動したラインを，調査区の南北方向の基準として設定した。この両者のラインを基準にして，遺跡全体を網羅するように，10ｍ四方の方眼を設定した。この方眼を大グリッドとし，西から東へ「A」・「B」…，北から南へ「a」・「b」…と，大・小文字のアルファベットを付け，その組み合わせで「Aa」・「Bb」と，これを呼称した。なお，最初に設定した調査区の東西方向の基準ラインは，アルファベット小文字の「s」と「t」の境に，南北方向の基準ラインは，同大文字の「S」と「T」の境にあたる。大グリッドは，さらに２ｍ四方の方眼に25分割して，これを小グリッドとした。小グリッドは，西から東へ，北から南へ，それぞれ「1」・「2」…と算用数字を付け，大グリッドと組み合わせて「Aa1-1」・「Bb5-5」というように呼称した。

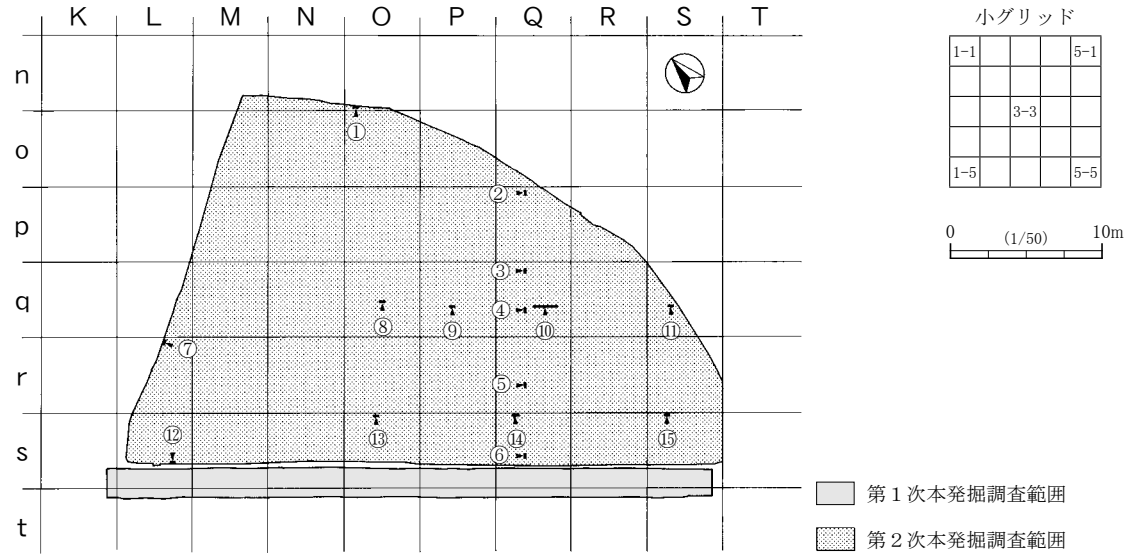
調査は，最初に，試掘調査の結果をもとに，遺物包含層の上面まで重機を用いて掘削した。その後は，人力によって遺物包含層の掘り下げと遺構プランの検出，各遺構の調査という順に作業を行った。なお，第２次本発掘調査では，調査面積が広いことから，便宜上，南北ラインの「O」と「P」の間を境に調査区を東西に二分割し，まずは西半分について，次いで東半分について調査を実施した。

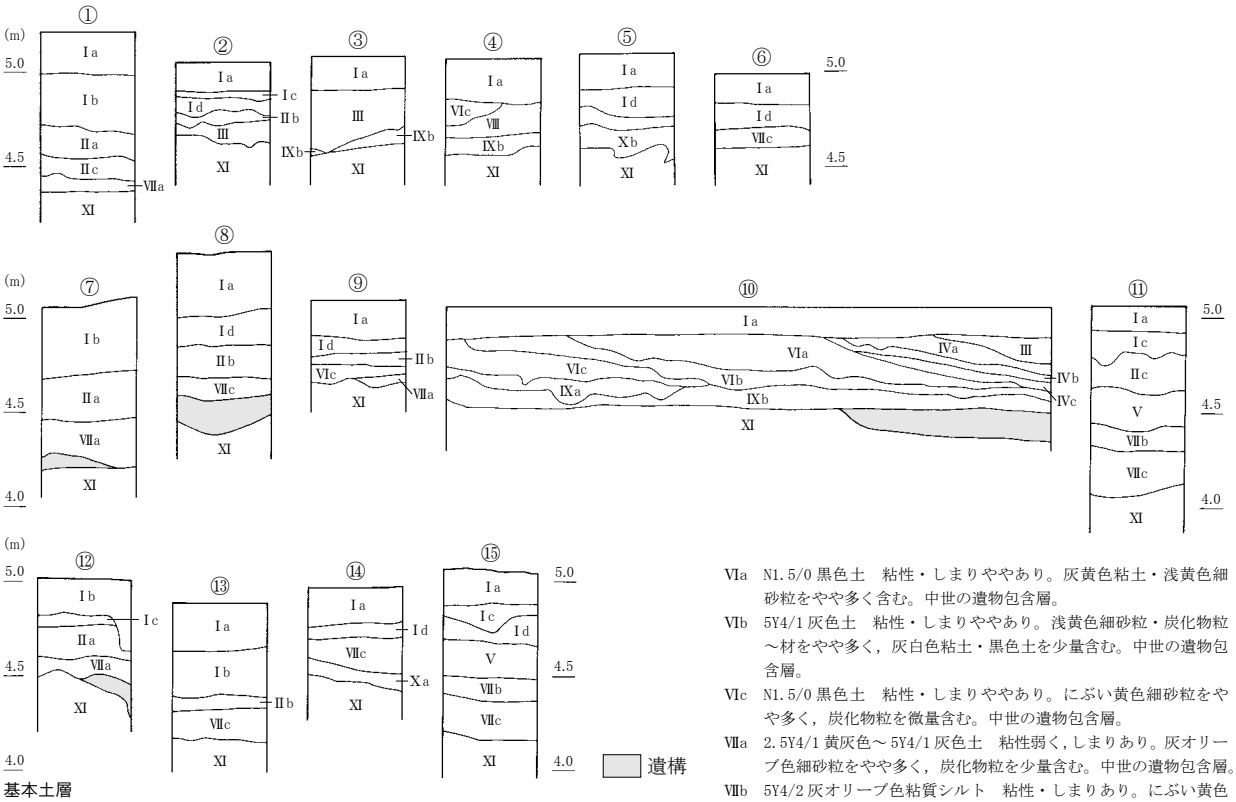
2　基本土層

試掘調査の結果を踏まえた上で，本発掘調査時の調査区壁と，遺物包含層を掘削する際にQp2-1～Qs2-3グリッドおよびPq2-4～Sq3-4グリッドに設定した南北・東西方向のトレンチを利用して，基本土層の観察を行った。

基本土層は，表土を含めてⅠ～Ⅺ層に大別し，包含物の違いなどから，アルファベット小文字を付けてさらに細分した。Ⅰ層は畑または水田の耕土ないし旧耕土で，４層に細分される。Ⅱ層は黄灰色～灰色土で，３層に細分できる。Ⅲ層は中世の遺物包含層である。Qp～Qqグリッドで確認され，その堆積はやや限定的である。Ⅳ層は水成堆積によるもので，３層に細分できる。Qqグリッドの一部でしか確認されず，限定的な堆積である。Ⅴ層は灰色土で，調査区東部のRq～Stグリッドで検出した。Ⅵ層は中世の遺物包含層である。Pq～Qrグリッドで確認された。Ⅶ層も中世の遺物包含層で，調査区のほぼ全域に堆積する。Ⅵ・Ⅶ層とも３層に細分できる。Ⅷ層は灰色土と黒色土の混合層，Ⅸ層は黄灰色土～黄灰色シルト質土，Ⅹ層は灰色土で，Ⅸ・Ⅹ層は２層に細分できる。なお，Ⅷ～Ⅹ層からは遺物がほとんど出土していない。Ⅺ層はいわゆる地山である。遺構はその上面で検出した。

地山から推定される旧地形は，調査区の中央部が北東から南西方向に延びる微高地で，標高は約4.5～4.7ｍである。微高地から東側は緩やかに低くなり，調査区の東端部で標高は約4.1ｍとなる。微高地から西側も，東側と同様，緩やかに傾斜して，Ng～Nsグリッドで標高が約4.1ｍと最も低くなる。そこからは，西に向かって緩やかに高くなり，調査区の西端部で標高は約4.3ｍとなる。調査区外に延びる微高地へ続いていくと推定される。





基本土層

Ⅰa　7.5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。表土。
Ⅰb　2.5Y5/2 暗灰黄色土　粘性なく，しまり強い。
Ⅰc　2.5Y5/2 暗灰黄色砂質土　粘性なく，しまりややあり。
Ⅰd　2.5Y5/2 暗灰黄色土　粘性ややあり，しまりあり。炭化物粒を微量含む。旧耕土。
Ⅱa　2.5Y4/1 黄灰色～2.5Y5/2 暗灰黄色土　粘性ややあり，しまりあり。リモナイトをやや多く，炭化物粒を少量含む。
Ⅱb　N4/0 灰色土　粘性ややあり，しまりあり。黒色土ブロックを少量，炭化物粒を微量含む。
Ⅱc　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂ブロック・黒色土粒を少量含む。
Ⅲ　N1.5/0 黒色土　粘性・しまりややあり。浅黄色細砂粒をやや多く，灰黄色粘土を縞状に少量含む。
Ⅳa　N1.5/0 黒色土と2.5Y7/2 灰黄色粘土が互層状に堆積する。粘性・しまりややあり。
Ⅳb　2.5Y7/3 浅黄色細砂　粘性・しまりややあり。黒色土がⅣc層との層理面に薄く堆積する。
Ⅳc　2.5Y6/1～2.5Y4/1 黄灰色土　粘性あり，しまりややあり。にぶい黄色細砂粒を極めて多量，黒色土を多量に含む。
Ⅴ　N4/0 灰色土　粘性あり，しまりややあり。炭化物粒をやや多く，オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
Ⅵa　N1.5/0 黒色土　粘性・しまりややあり。灰黄色粘土・浅黄色細砂粒をやや多く含む。中世の遺物包含層。
Ⅵb　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。浅黄色細砂粒・炭化物粒～材をやや多く，灰白色粘土・黒色土を少量含む。中世の遺物包含層。
Ⅵc　N1.5/0 黒色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒をやや多く，炭化物粒を微量含む。中世の遺物包含層。
Ⅶa　2.5Y4/1 黄灰色～5Y4/1 灰色土　粘性弱く，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。中世の遺物包含層。
Ⅶb　5Y4/2 灰オリーブ色粘質シルト　粘性・しまりあり。にぶい黄色細砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。中世の遺物包含層。
Ⅶc　7.5Y4/1～N4/0 灰色シルト　粘性ややあり，しまりあり。炭化物粒を多量，オリーブ黄色細砂粒を少量含む。中世の遺物包含層。
Ⅷ　5Y4/1 灰色土とN1.5/0 黒色土の混合層　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒を極めて多量，炭化物粒を微量含む。
Ⅸa　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒を極めて多量，炭化物粒～材をやや多く含む。
Ⅸb　2.5Y5/1 黄灰色シルト質土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒をやや多く，炭化物材を微量含む。
Ⅹa　7.5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロック・炭化物粒をやや多く含む。
Ⅹb　5Y5/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂を多量，炭化物粒を少量含む。
Ⅺ　5Y6/3 オリーブ黄色細砂　粘性・しまりややあり。地山。

0 (1/40) 1m

第３図　調査区と基本土層

第Ⅲ章　遺　構

今回の調査では，井戸 25 基，杭列４列，流路１本のほかに，土坑 120 基以上，溝 90 条以上，小ピット 350 基以上を検出した。小ピットについては，柱根や礎板の出土から，その多くが建物の柱穴と考えられたが，現場調査中にこれら小ピットの配列関係を確認することは難しかったため，整理作業の段階で検討を加えた。その結果，掘立柱建物 73 棟，柵１列を復元した。これらの遺構の多くは，溝と流路によって区画された調査区中央部の微高地である Oo～Rt グリッドから集中的に検出された。遺構の年代は，出土遺物から，12 世紀後半～14 世紀頃と考えられる。時期としては，中世前期に該当する。以下，遺構の種別ごとに記述していく。

１　掘立柱建物・柵

１号掘立柱建物（第 10 図）　Po3-2～Po4-3 グリッドに位置する。建物の北側と東側部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行２間以上（2.86m以上）×梁間２間以上（2.8m以上）と推定される。主軸はＮ－23°－Ｅである。遺物は出土していない。

２号掘立柱建物（第 10 図）　Po3-2～Qo1-1 グリッドに位置する。建物の東側部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行２間以上（5.19m以上）×梁間１間以上（2.87m以上）と推定される。ただし，柱穴１列のみの検出であることから，柵の可能性も否定できない。主軸はＮ－42°－Ｗである。P3 から柱根を検出したほか，P6 から瓷器系陶器が出土している。

３号掘立柱建物（第 10 図）　Po5-3～Qo2-5 グリッドに位置する。建物の東側部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行２間以上（3.55m以上）×梁間１間（2.79m）と推定される。ただし，２号掘立柱建物と同様，柱穴１列のみの検出であることから，柵の可能性もある。主軸はＮ－49°－Ｗである。遺物は出土していない。

４号掘立柱建物（第 10 図）　Po1-5～Pp3-1 グリッドに位置する。桁行１間（3.38m）×梁間１間（2.62m），主軸はＮ－40°－Ｅである。本遺構の柱穴は，13 号土坑，17 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。なお，本遺構の周囲を 16 号溝が「コ」の字状に巡っている。P1 から柱根が，P4 から土師質土器の小片が出土した。

５号掘立柱建物（第 11 図）　Op2-4～Pp1-5 グリッドに位置する。桁行３間（6.6m）×梁間２間（3.75m），主軸はＮ－61°－Ｗである。本遺構の柱穴は，16・18 号土坑と一部重複する。新旧関係は，後者より古く，前者とは不明である。P6・P9 から柱根，P7・P8 から礎板を検出したほか，P9 から土師質土器の小片が出土している。

６号掘立柱建物（第 10 図）　Op5-3～Pp3-4 グリッドに位置する。桁行１間（3.75m）×梁間１間（3.66m），主軸はＮ－79°－Ｗである。P2 から柱根を検出した。

７号掘立柱建物（第 11 図）　Pp2-3～Pp5-5 グリッドに位置する。桁行１間（3.5m）×梁間１間（3.38m），主軸はＮ－56°－Ｗである。P2 から柱根を検出した。

８号掘立柱建物（第 10 図）　Pp4-2～Qp2-4 グリッドに位置する。桁行１間（3.8m）×梁間１間（3.3m），主軸はＮ－20°－Ｅである。北東隅の柱穴は検出できていない。P3 から柱根を検出したほか，P2 から土師質土器が出土している。

９号掘立柱建物（第 11 図）　Qo3-5～Qp4-2 グリッドに位置する。桁行１間（3.4m）×梁間１間（3.22m），主軸はＮ－11°－Ｅである。南西隅の柱穴は検出できていない。P1 から礎板を検出した。

10 号掘立柱建物（第 11 図） Qp2-1～Qp4-2 グリッドに位置する。建物の一部が調査区外に延びると考えられるが，桁行１間（3.27m）×梁間１間（2.66m）と推定される。主軸はＮ－36°－Ｅで，P1 から礎板を検出した。

11 号掘立柱建物（第 12 図） Qp2-1～Qp5-2 グリッドに位置する。建物の東側部分が調査区外に延びると考えられるが，桁行１間（3.74m以上）×梁間１間（3.52m）と推定される。主軸はＮ－83°－Ｗである。P1・P2 から柱根を検出した。

12 号掘立柱建物（第 12 図） Qp2-2～Qp4-3 グリッドに位置する。桁行１間（3.76m）×梁間１間（3.42m），主軸はＮ－16°－Ｅである。南西隅の柱穴は検出できていない。P1・P2 から柱根を検出した。

13 号掘立柱建物（第 12 図） Qp2-4～Qp3-5 グリッドに位置する。桁行１間（2.56m）×梁間１間（2.22m），主軸はＮ－29°－Ｅである。本遺構の P3 は，26 号土坑と重複する。柱穴のプランは確認できなかったが，柱根が直立して出土したことから，新旧関係は，P3 の方が新しいと判断できる。また，南西隅の柱穴も確認できていない。ただし，26 号土坑内の，そこに該当する地点付近から薄い板材が出土した。礎板の可能性がある。なお，図示はしていない。そのほかに，P1・P2 から柱根が，P1 から土師質土器の小片が出土している。

14 号掘立柱建物（第 12 図） Nq4-4～Oq1-5 グリッドに位置する。桁行１間（2.8m）×梁間１間（2.28m），主軸はＮ－20°－Ｅである。建物内に６号井戸が位置していることから，井戸の上屋と推定される。なお，P3 からは柱根が２本検出された。建物を建替えた可能性がある。40 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。

15 号掘立柱建物（第 12 図） Oq1-5～Or2-1 グリッドに位置する。桁行１間（3.46m）×梁間１間（2.72m），主軸はＮ－75°－Ｗである。本遺構の柱穴は，35 号掘立柱建物の柱穴，38 号土坑，18 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から柱根，P3 から礎板を検出したほか，P2～P4 から土師質土器が出土している。

16 号掘立柱建物（第 13 図） Oq2-5～Pr1-1 グリッドに位置する。桁行３間（8.28m）×梁間２間（4.45m）の総柱建物で，主軸はＮ－73°－Ｗである。本遺構の柱穴は，17・28・35 号掘立柱建物の柱穴，８～11 号井戸，33・34・38 号土坑と一部重複する。新旧関係は，38 号土坑より古く，９・11 号井戸より新しい。それ以外は不明である。P1～P3 から柱根，P9 からは礎板と横に倒れた状態の柱根を検出した。そのほかに，P5～P6・P11 から土師質土器，P7 から土師質土器の小片，土錘，砥石が出土している。

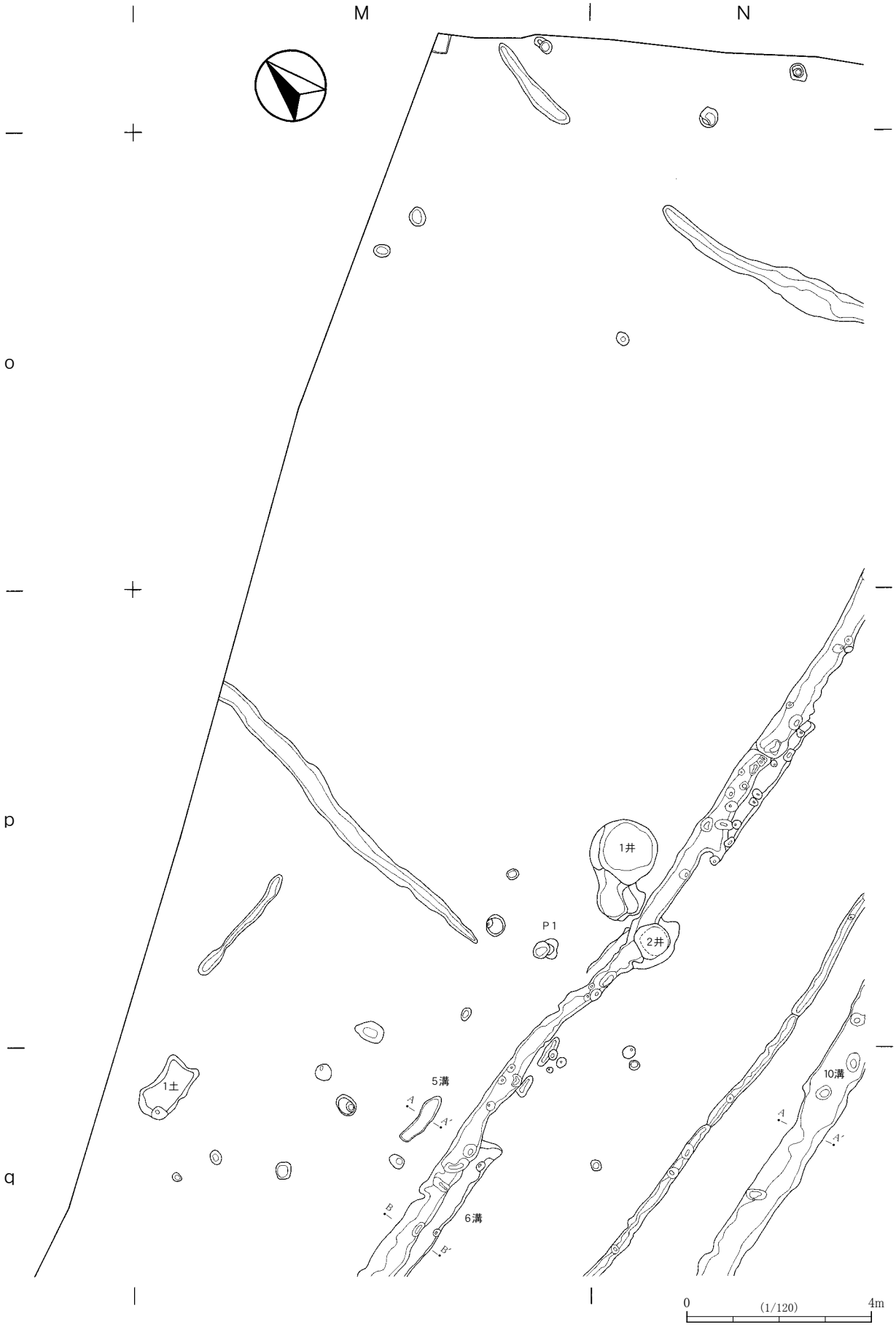
17 号掘立柱建物（第 14 図） Oq2-5～Pr1-2 グリッドに位置する。桁行３間（8.0m）×梁間２間（4.37m）で，北側に１間の廂がつく。主軸はＮ－75°－Ｗで，柱穴が，16・18・43・44・46 号掘立柱建物の柱穴，10 号井戸，37 号土坑と一部重複する。新旧関係は，37 号土坑より古く，18 号掘立柱建物より新しい。それ以外は不明。P1・P3・P6・P11 から礎板，P9 から柱根が，P3 から土師質土器の小片と砥石，P4・P6 から土師質土器が出土した。

18 号掘立柱建物（第 15 図） Oq3-5～Pr1-2 グリッドに位置する。桁行３間（7.1m）×梁間１間（4.18m），主軸はＮ－76°－Ｗで，柱穴が，17・29・43～46 号掘立の柱穴，10・11 号井戸，42 号土坑と重複する。新旧関係は，17 号掘立より古く，それ以外は不明。P2～P4・P7・P8 から礎板が，P8 から土師質土器の小片が出土した。

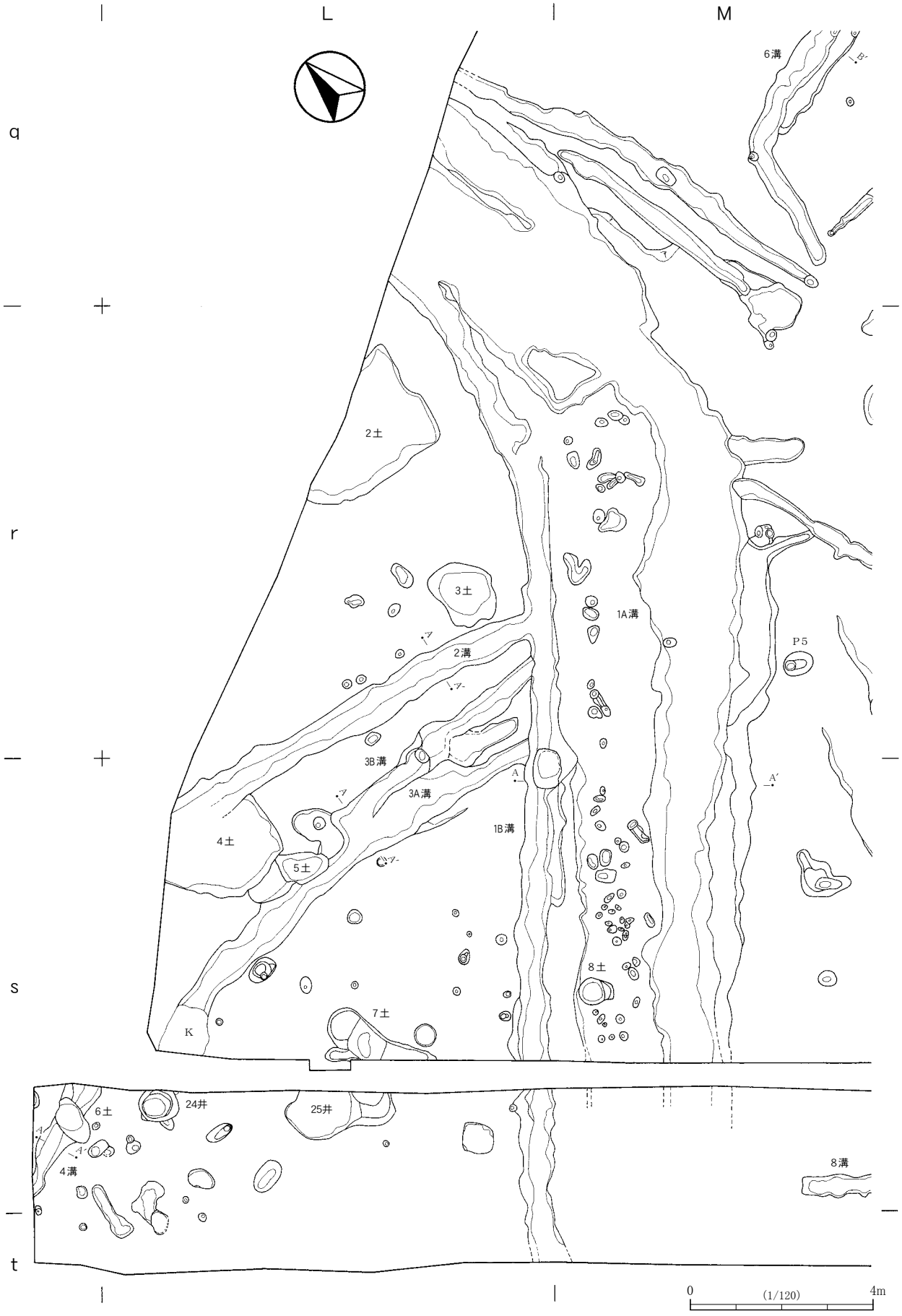
19 号掘立柱建物（第 16 図） Oq3-2～Pq3-2 グリッドに位置する。桁行４間（9.1m）×梁間２間（3.75m）で，建物内部にも柱穴が１基（P13）認められる。主軸はＮ－76°－Ｗである。本遺構の柱穴は，20・32 号掘立柱建物の柱穴，４号井戸，17・21 号土坑，18 号溝と一部重複する。新旧関係は，４号井戸，17 号土坑より新しく，それ以外は不明である。P1 から柱根，P3・P7・P8・P10・P11 から礎板が，P13 から土師質土器の小片が出土した。

20 号掘立柱建物（第 16 図） Oq5-2～Pq5-2 グリッドに位置する。桁行３間（7.11m）×梁間２間（3.54m）で，建物内部にも柱穴が１基（P11）認められる。主軸はＮ－86°－Ｅである。本遺構の柱穴は，19・33 号掘立柱建物の柱穴，22・27 号土坑と一部重複する。新旧関係は，33 号掘立柱建物より古く，それ以外は不明である。P5・P8 から礎板を検出したほか，P4・P5・P8 から土師質土器の小片が出土している。

第 4 図　調査区全体図



第5図　遺構全体図（1）


L
M
q
r
s
t
6溝
2土
3土
2溝
3B溝
3A溝
1A溝
1B溝
P5
4土
5土
8土
7土
K
A
A'
6土
24井
25井
4溝
8溝
0
(1/120)
4m

第6図　遺構全体図（2）

N
O
P
Q
R
o
p
q
9土
10土
11土
12土
13土
14土
15土
16土
17土
18土
19土
20土
21土
22土
23土
24土
25土
26土
27土
28土
31土
1掘
2掘
3掘
4掘
5掘
6掘
7掘
8掘
9掘
10掘
11掘
12掘
13掘
14掘
15掘
16掘
17掘
18掘
19掘
20掘
21掘
22掘
23掘
24掘
25掘
26掘
27掘
28掘
31掘
32掘
33掘
34掘
6溝
10溝
11溝
12溝
13溝
15溝
16溝
17溝
19溝
1流
1杭
3井
4井
5井
P6
P7
P8
K
0
(1/120)
4m

第７図　遺構全体図（３）

0 (1/120) 4m

第 8 図　遺構全体図（4）

R
S
q
r
s
t
37溝
36溝
1流
64掘
65掘
38溝
66土
P20
2杭
67土
3杭
39溝
62掘
61掘
20井
68土
P22
21井
69土
72掘
73掘
71掘
35溝
P4
40溝
0
(1/120)
4m

第 9 図　遺構全体図（5）

21 号掘立柱建物（第 17 図） Oq5-2～Pq5-3 グリッドに位置する。桁行３間（7.54m）×梁間２間（3.96m）で，建物内部にも柱穴が１基（P10）認められる。主軸はＮ－67°－Ｗである。本遺構の柱穴は，23・25・32・33 号掘立柱建物の柱穴，５号井戸，19 号溝と一部重複する。新旧関係は，25 号掘立柱建物，５号井戸より新しく，それ以外は不明である。P4 から礎板を検出したほか，P5・P6・P9 から土師質土器が出土している。

22 号掘立柱建物（第 17 図） Pq1-3～Pq5-1 グリッドに位置する。桁行３間（6.16m）×梁間２間（3.7m）で，建物内部にも柱穴が 1 基（P9）認められる。主軸はＮ－88°－Ｅである。本遺構の柱穴は，30・32 号掘立柱建物の柱穴，19・20 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から礎板，P5 から柱根を検出したほか，P2 から土師質土器の小片が出土している。

23 号掘立柱建物（第 18 図） Oq5-2～Pq2-3 グリッドに位置する。桁行２間（3.3m）×梁間２間（2.56m），主軸はＮ－24°－Ｅである。本遺構の柱穴は，21 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。P3～P5 から礎板を検出した。

24 号掘立柱建物（第 18 図） Oq5-1～Pq3-2 グリッドに位置する。桁行１間（3.88m）×梁間１間（3.12m），主軸はＮ－１°－Ｅである。本遺構の柱穴は，23 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。P4 から柱根を検出した。

25 号掘立柱建物（第 18 図） Pp3-5～Pq4-2 グリッドに位置する。桁行１間（2.98m）×梁間１間（2.56m），主軸はＮ－80°－Ｅである。本遺構の柱穴は，21 号掘立柱建物の柱穴と一部重複する。新旧関係は本遺構の方が古い。P1 から礎板，P3 から柱根を検出した。そのほかに，P1 からは土師質土器の小片も出土している。

26 号掘立柱建物（第 18 図） Pp3-5～Pq5-1 グリッドに位置する。桁行１間（2.64m）×梁間１間（2.32m），主軸はＮ－18°－Ｅである。P2 から柱根，P4 から礎板を検出した。

27 号掘立柱建物（第 18 図） Oq5-4～Pq2-5 グリッドに位置する。桁行１間（2.96m）×梁間１間（2.84m），主軸はＮ－71°－Ｗである。P2 から礎板を検出したほか，P4 から土師質土器の小片が出土している。

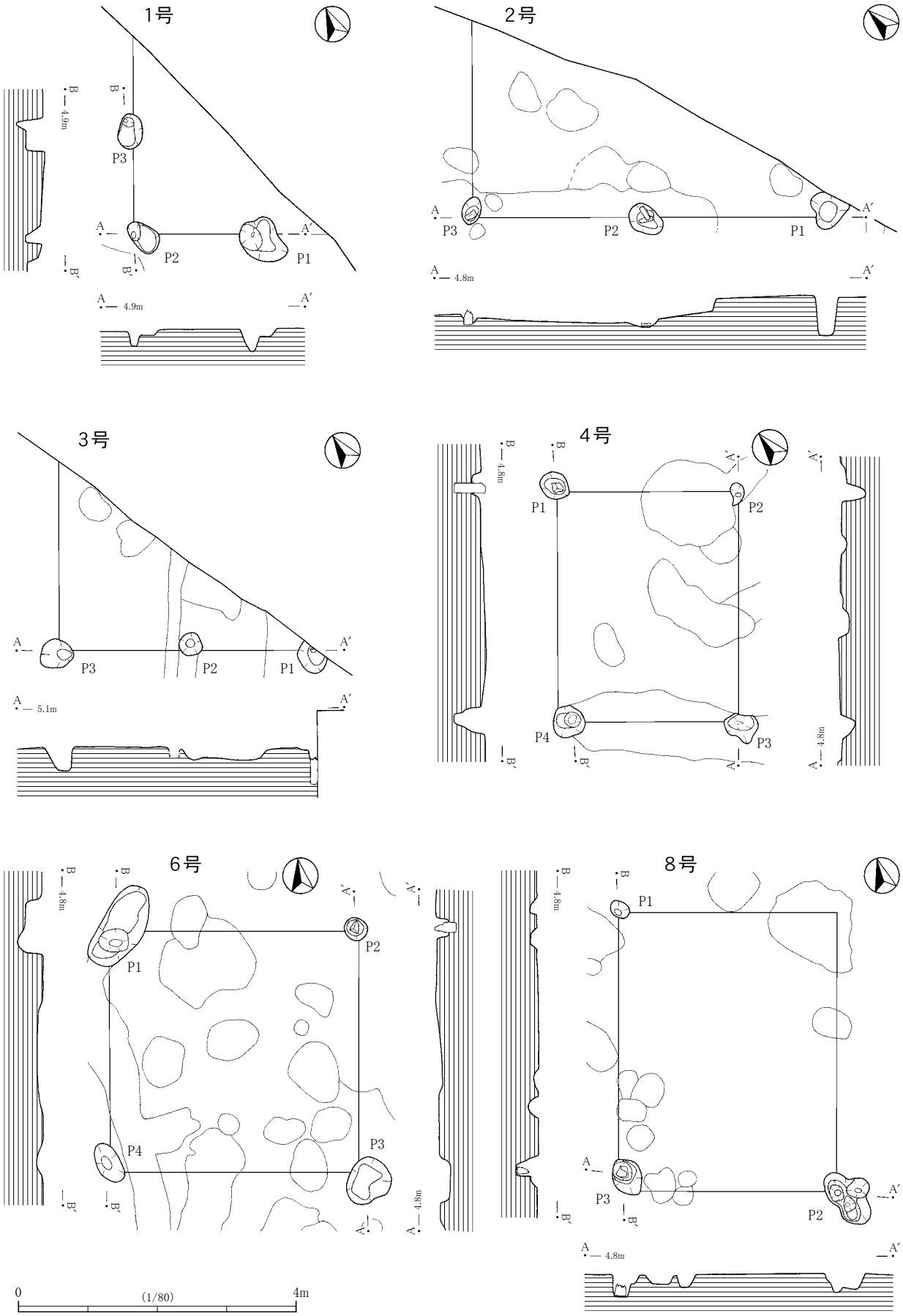
28 号掘立柱建物（第 18 図） Pq1-4～Pr3-1 グリッドに位置する。桁行１間（4.06m）×梁間１間（3.56m），主軸はＮ－３°－Ｅである。本遺構の柱穴は，16・46 号掘立柱建物の柱穴，34 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。P2 から礎板を検出した。

29 号掘立柱建物（第 19 図） Pq1-5～Pr3-1 グリッドに位置する。桁行１間（3.24m）×梁間１間（3.18m），主軸はＮ－22°－Ｅである。本遺構の柱穴は，18・46・51 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。P2・P3 から礎板を検出したほか，P2 から土師質土器が出土している。

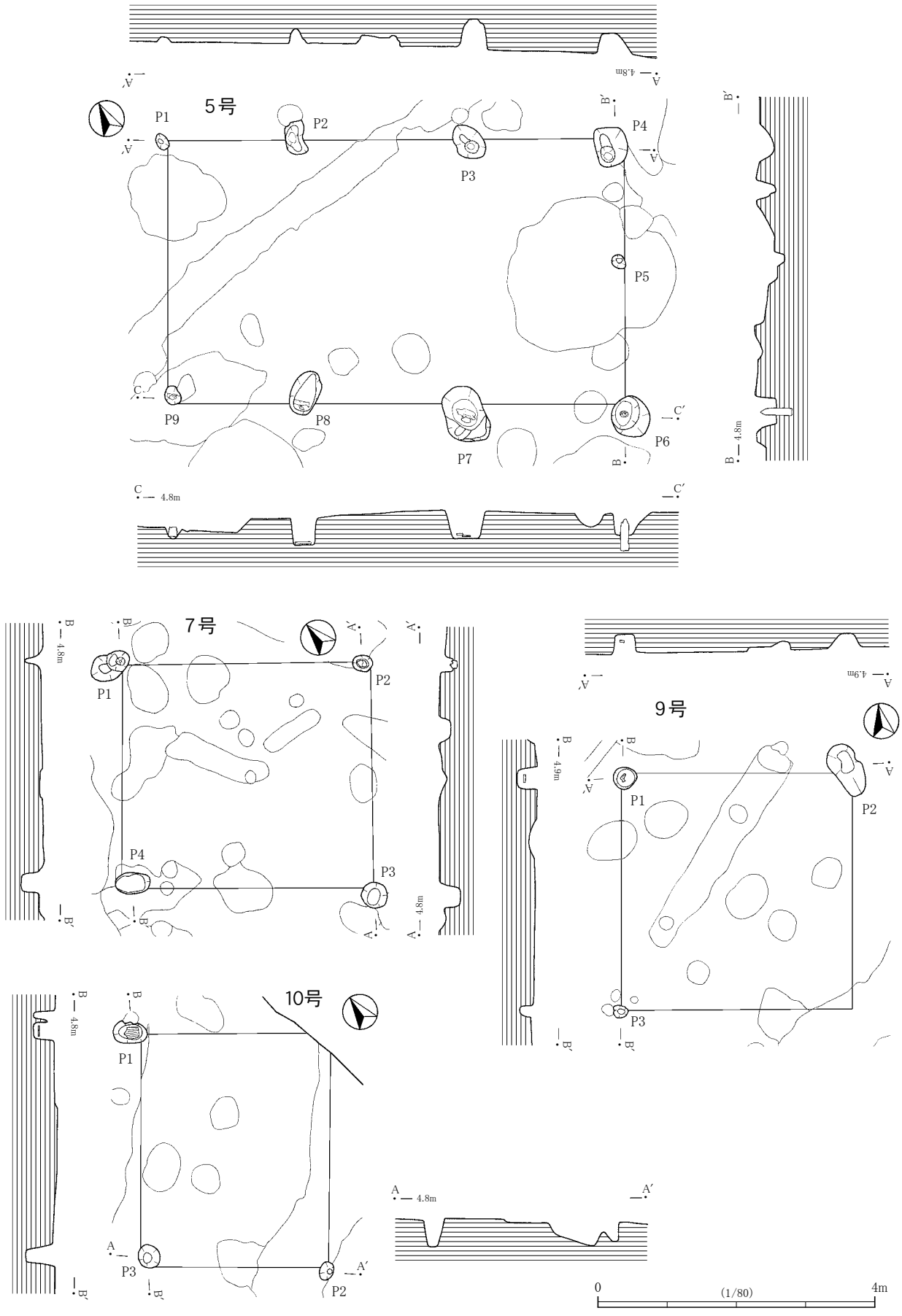
30 号掘立柱建物（第 19 図） Pq2-4～Pq4-5 グリッドに位置する。桁行１間（3.89m）×梁間１間（2.84m），主軸はＮ－85°－Ｅである。本遺構の柱穴は，22・31・32 号掘立柱建物の柱穴と一部重複する。新旧関係は，31 号掘立柱建物より古く，それ以外は不明である。P4 から下駄の歯を転用した礎板が検出された。

31 号掘立柱建物（第 19 図） Pq2-5～Pr4-1 グリッドに位置する。桁行２間（4.17m）×梁間２間（2.89m），主軸はＮ－75°－Ｗである。本遺構の柱穴は，30・32・49 号掘立柱建物の柱穴，24 号溝と一部重複する。新旧関係は，30・32 号掘立柱建物より新しく，それ以外は不明である。P1 から礎板と土師質土器の小片が出土した。

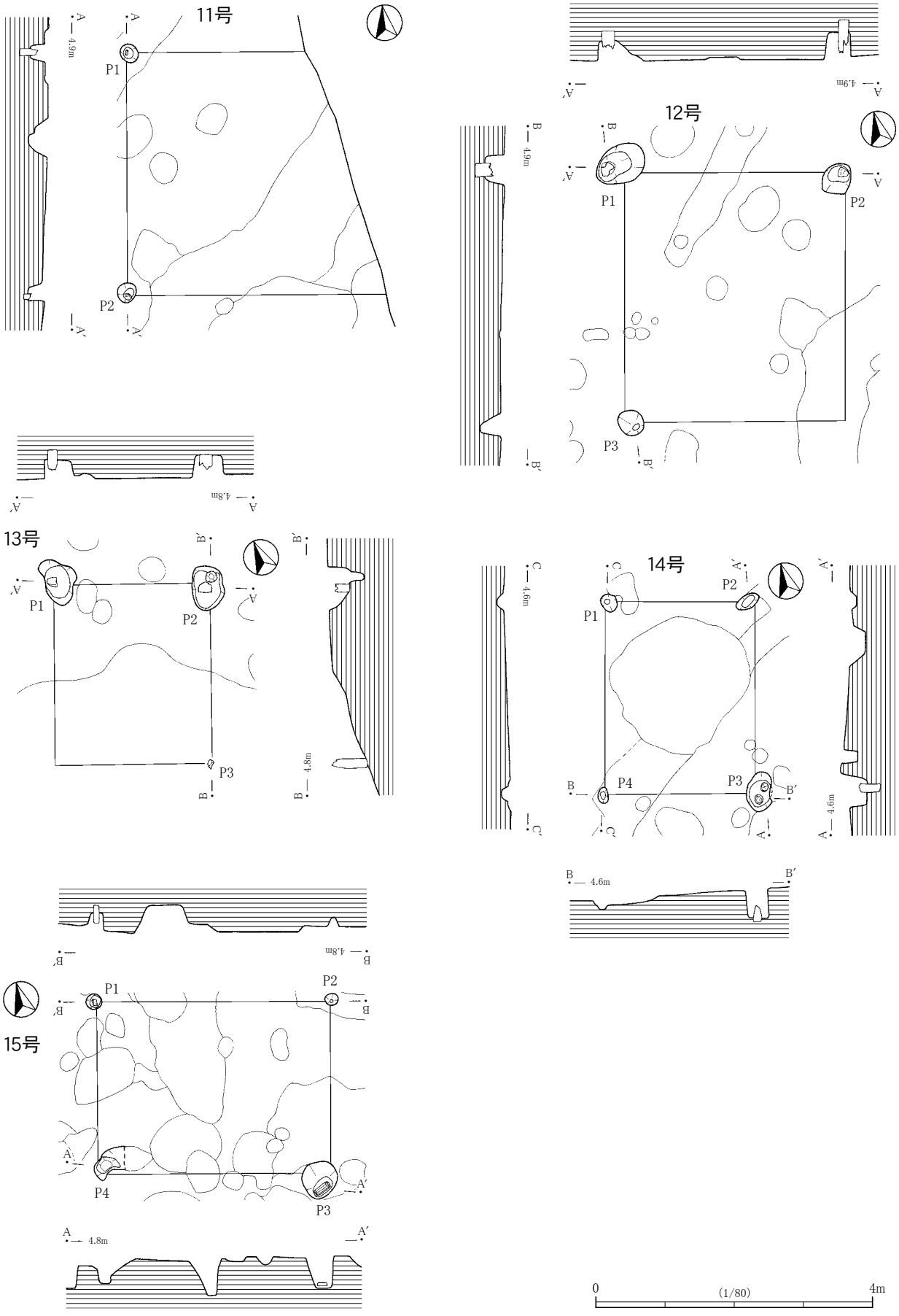
32 号掘立柱建物（第 20 図） Pq1-2～Pr4-1 グリッドに位置する。桁行４間（7.98m）×梁間２間（4.02m）で，東側と西側にそれぞれ１間の廂がつく。建物内部にも柱穴が２基（P13・P14）認められ，主軸はＮ－22°－Ｅである。本遺構の柱穴は，19・21・22・30・31・47 号掘立柱建物の柱穴，19・20・23・24 号溝と一部重複する。新旧関係は，31 号掘立柱建物より古く，24 号溝より新しい。それ以外は不明である。P1・P3・P4・P6・P7・P9～P12・P15・P16・P19～P22 から礎板，P18 から柱根を検出したほか，P4・P17・P21 から土師質土器が出土している。



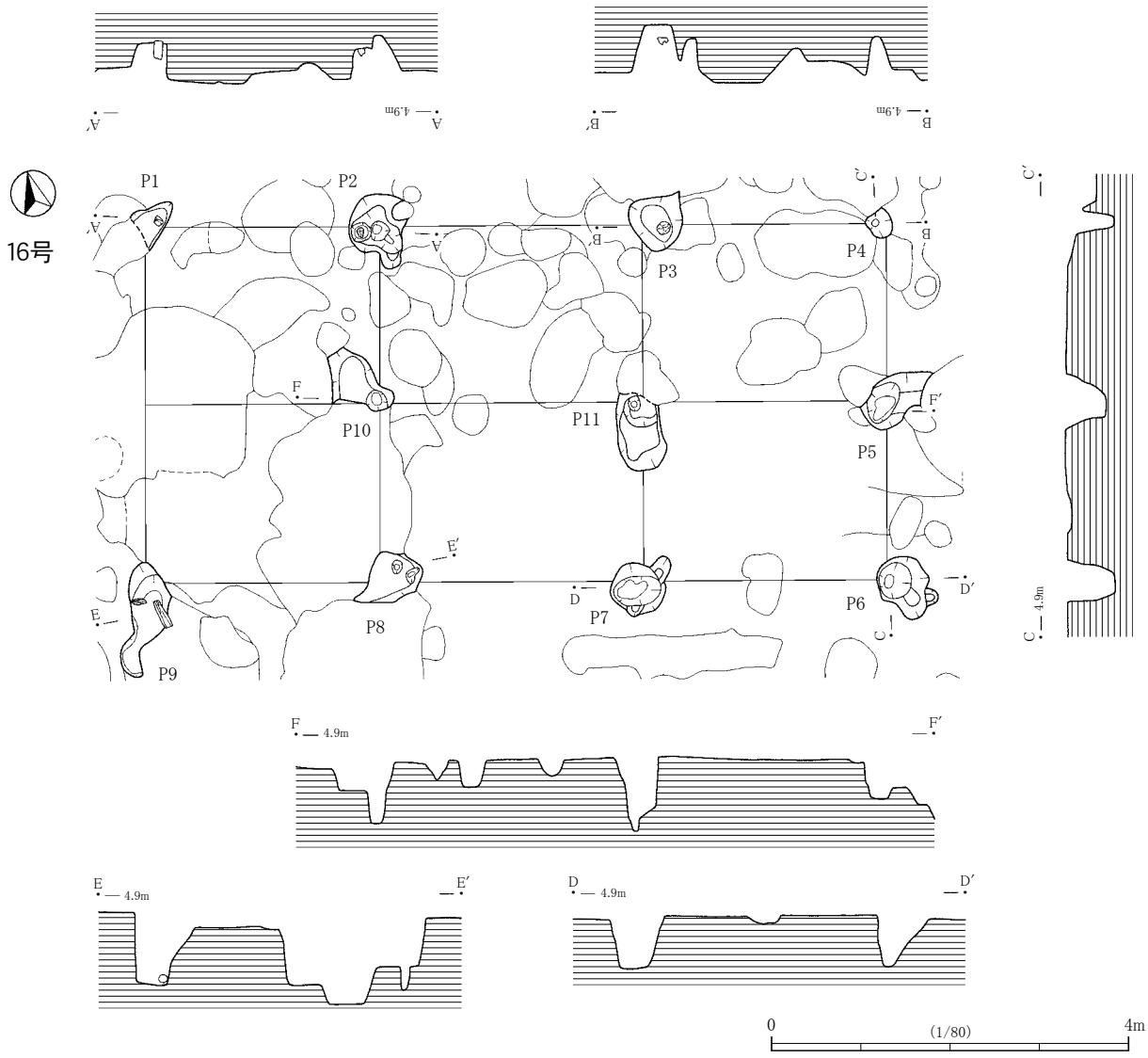
第10図　１～４・６・８号掘立柱建物



第11図　5・7・9・10号掘立柱建物



第12図　11～15号掘立柱建物



第13図　16号掘立柱建物

33 号掘立柱建物（第 21 図）　Pq2-1～Pq5-4 グリッドに位置する。桁行３間（6.98m）×梁間２間（3.87m），主軸はN－19°－E で，建物内部からも柱穴が１基（P10）認められた。本遺構の柱穴は，20・21 号掘立柱建物の柱穴，５号井戸，19 号溝と一部重複する。新旧関係は，20 号掘立柱建物より新しく，それ以外は不明である。P3・P4 から柱根，P7・P9 から礎板を検出したほか，P8・P9 から土師質土器が出土している。

34 号掘立柱建物（第 21 図）　Pq4-2～Qp1-3 グリッドに位置する。桁行１間（2.85m）×梁間１間（2.42m），主軸はN－１°－E である。本遺構の柱穴は，24 号溝と一部重複する。新旧関係は本遺構の方が新しい。P4 から柱根と土師質土器の小片が出土している。

35 号掘立柱建物（第 22 図）　0q2-5～0r5-3 グリッドに位置する。桁行３間（7.28m）×梁間２間（4.48m）で，建物内部にも柱穴が１基（P9）認められる。主軸はN－13°－E である。本遺構の柱穴は，15・16・46 号掘立柱建物の柱穴，9 ～11 号井戸と一部重複する。新旧関係は，11 号井戸より新しく，それ以外は不明である。P2・P7 から礎板，P9 から柱根を検出したほか，P6・P8 から土師質土器の小片，P9 から珠洲が出土している。

36 号掘立柱建物（第 21 図）　0r1-3～3-5 グリッドに位置する。桁行１間（3.64m）×梁間１間（2.96m），主軸はN－22°－W である。本遺構の柱穴は，42 号掘立柱建物の柱穴，42 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。P3 から礎板と土師質土器の小片が出土している。

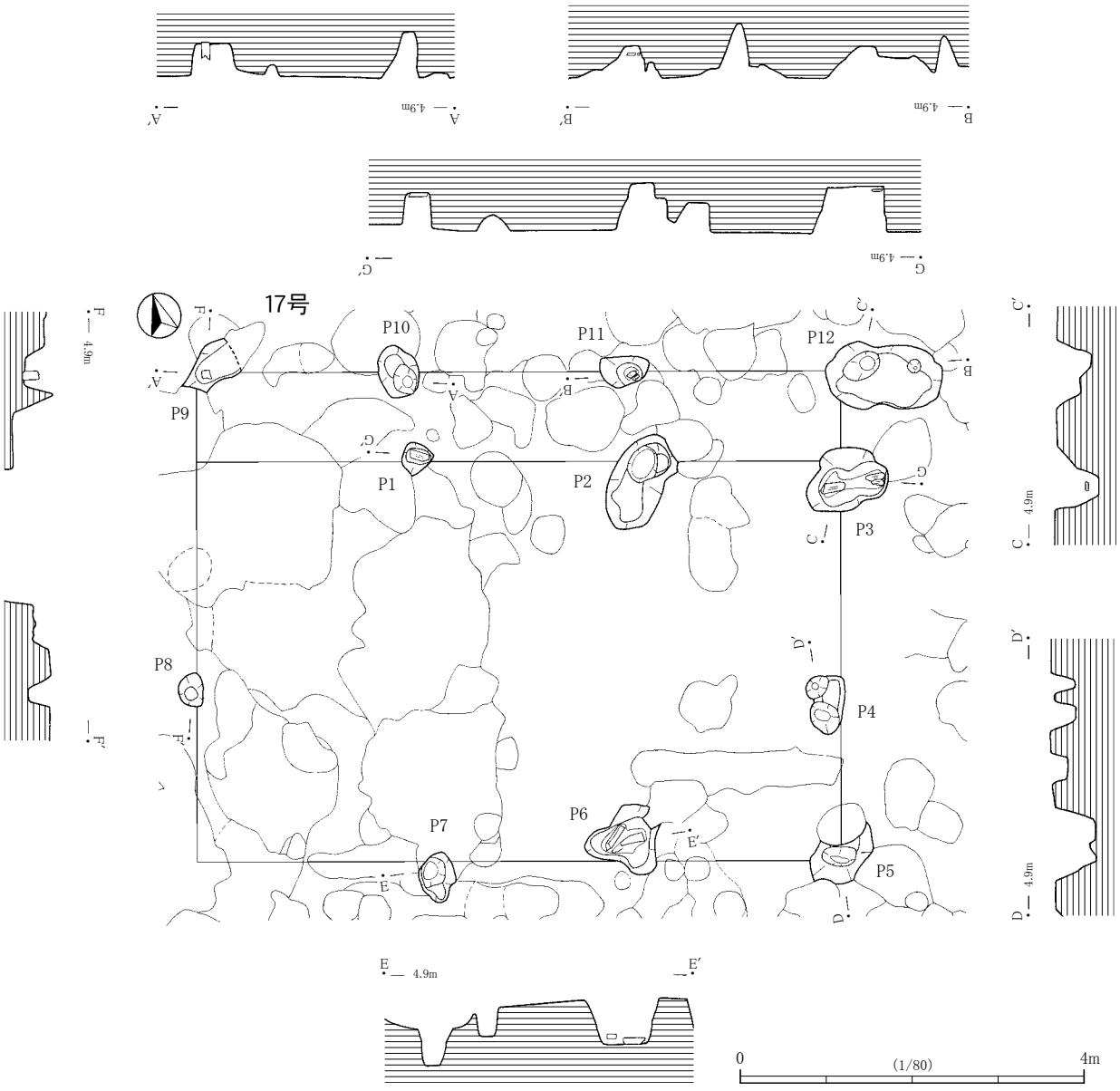
37 号掘立柱建物（第 22 図） 0r2-4～5-3 グリッドに位置する。柱穴を２基しか検出できていないが，桁行１間（3.64m）×梁間１間（3.26m），主軸はＮ－79°－Ｅと推定される。P1 から柱根を検出した。

38 号掘立柱建物（第 22 図） 0r2-5～0s4-2 グリッドに位置する。桁行１間（3.6m）×梁間１間（2.98m），主軸はＮ－２°－Ｗである。本遺構の柱穴は，43 号土坑，14 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から礎板，P2 から柱根と土師質土器の小片，P4 から礎盤石を検出した。

39 号掘立柱建物（第 23 図） 0r3-4～Pr1-4 グリッドに位置する。桁行１間（3.4m）×梁間１間（3.14m），主軸はＮ－１°－Ｅである。P1 から柱根，P2 から礎板を検出したほか，P4 から砥石が出土している。

40 号掘立柱建物（第 23 図） 0r4-4～Pr2-4 グリッドに位置する。桁行１間（3.86m）×梁間１間（3.34m），主軸はＮ－８°－Ｗである。本遺構の柱穴は，44 号掘立柱建物の柱穴，46 号土坑，22 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から礎板を検出したほか，P2 から土師質土器の小片と珠洲，P3 から珠洲が出土した。

41 号掘立柱建物（第 23 図） 0r5-3～Pr2-5 グリッドに位置し，桁行１間（3.86m）×梁間１間（3.2m），主軸Ｎ－38°－Ｅである。22 号溝と重複するが，新旧関係は不明。P2 から礎板と青磁，P3 から土師質土器片が出土。

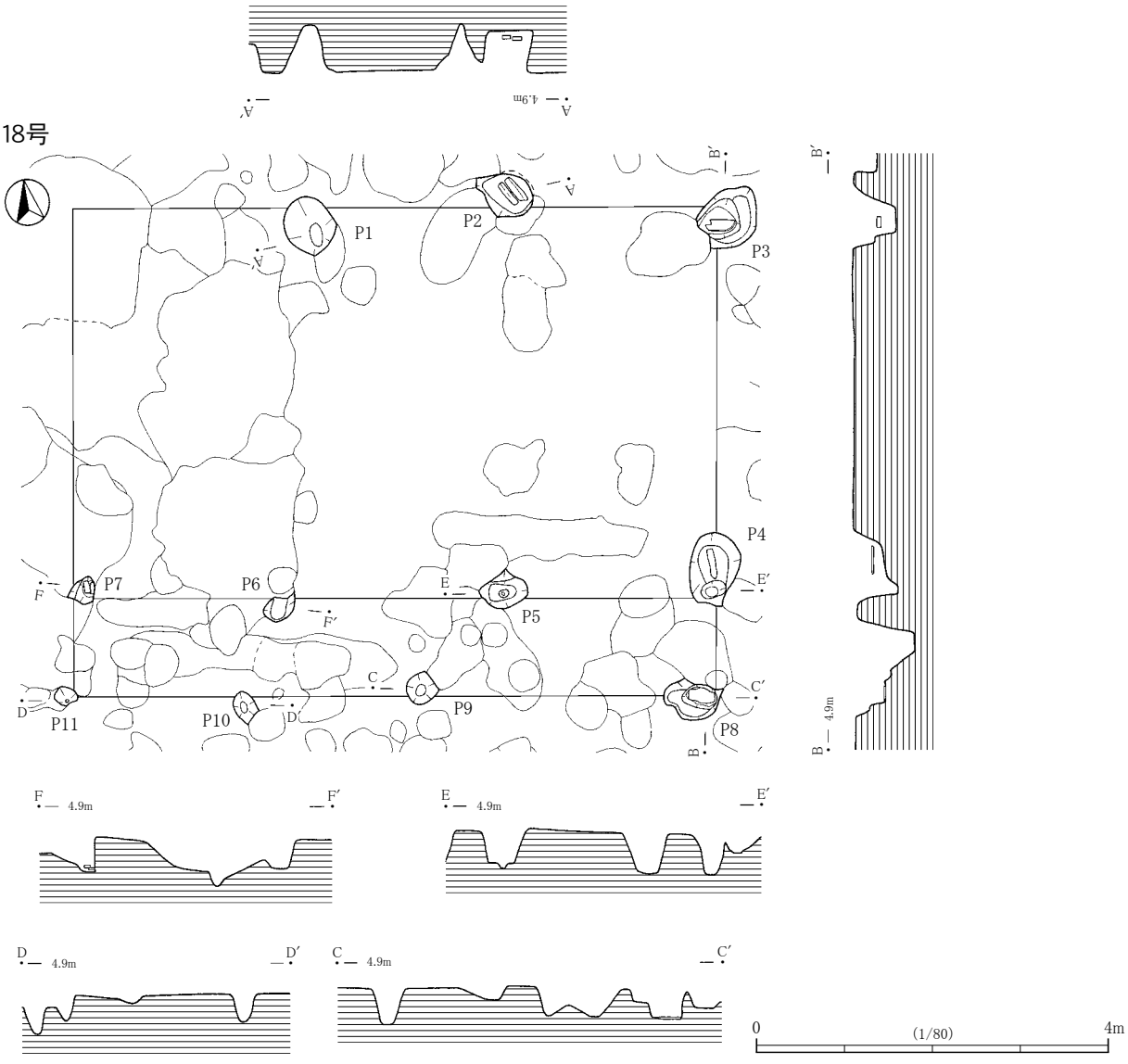


第14図　17号掘立柱建物

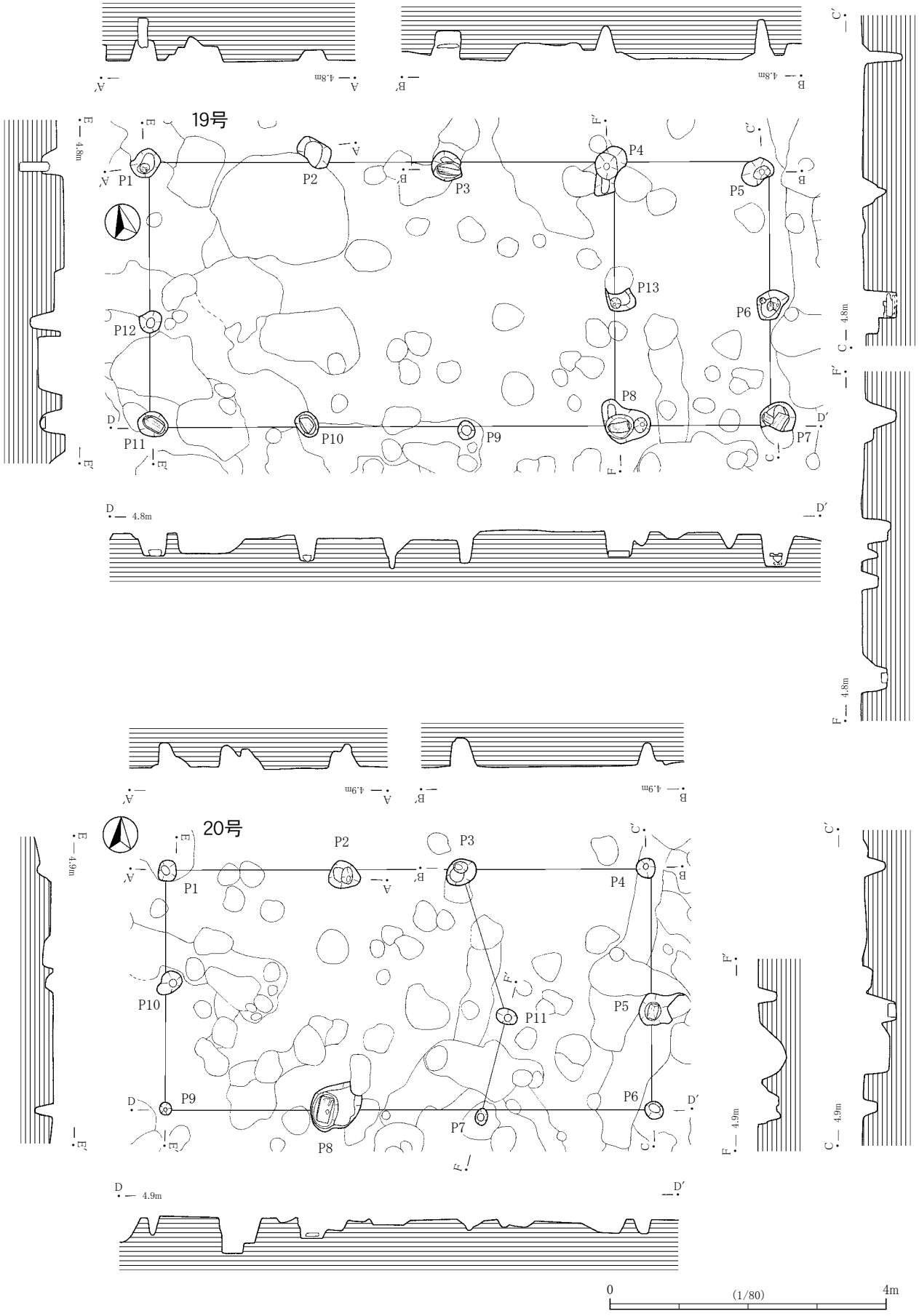
42 号掘立柱建物（第 23 図） 0r2-5～0s5-1 グリッドに位置する。桁行 3 間（6.06m）×梁間 1 間（3.58m），主軸はN－11°－E である。本遺構の柱穴は，36 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から柱根と礎板，P2・P4・P6 から礎板，P5 から柱根を検出したほか，P4・P5・P8 から土師質土器が出土した。

43 号掘立柱建物（第 24 図） 0r3-3～Ps4-1 グリッドに位置する。桁行 5 間（10.62m）×梁間 2 間（4.22m）の総柱建物で，東側と西側にそれぞれ 1 間の廂がつく。主軸はN－18°－E で，柱穴が，17・18・44・45・47・48・51・55・56 号掘立柱建物の柱穴，10 号井戸，47・52～54 号土坑，21 号溝と一部重複する。新旧関係は，10 号井戸，53・54 号土坑より古く，47 号掘立柱建物より新しい。それ以外は不明。P1～P4・P7・P8・P10・P11・P14・P15・P19・P23・P24・P26～P29 から礎板，P13・P16 から柱根が，10 基の柱穴から土師質土器が出土した。

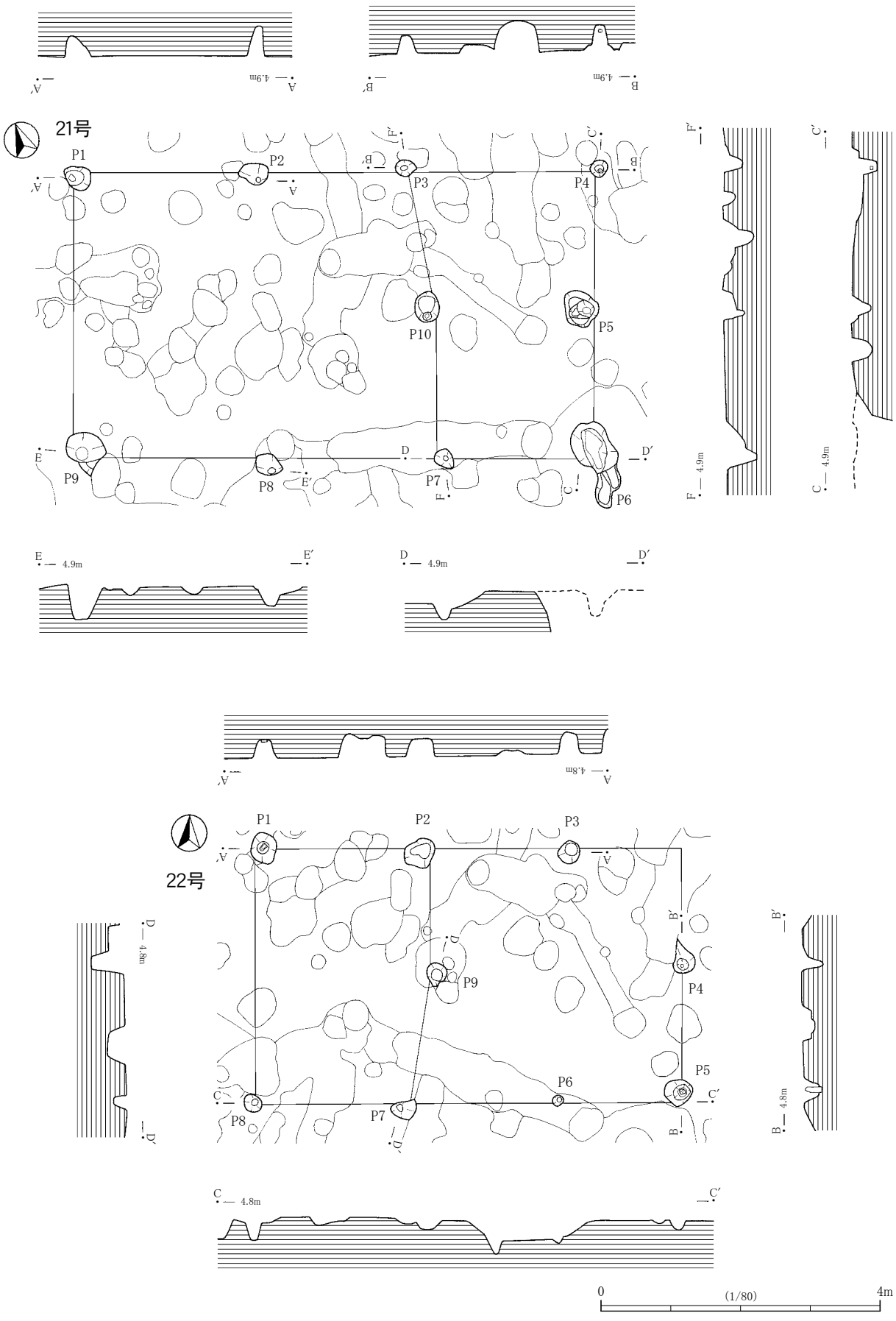
44 号掘立柱建物（第 25 図） 0r4-3～Ps2-1 グリッドに位置する。桁行 3 間（7.12m）×梁間 2 間（4.08m）で，建物内部にも柱穴が 1 基（P11）認められる。主軸はN－17°－E である。本遺構の柱穴は，17・18・40・43・45～47 号掘立柱建物の柱穴，15・17 号井戸，52 号土坑と一部重複する。新旧関係は，17 号井戸より新しく，それ以外は不明である。P1～P6・P8・P9・P11 から礎板を検出したほか，P2・P6～P8・P10・P11 から土師質土器，P3 から土師質土器と白磁が出土している。



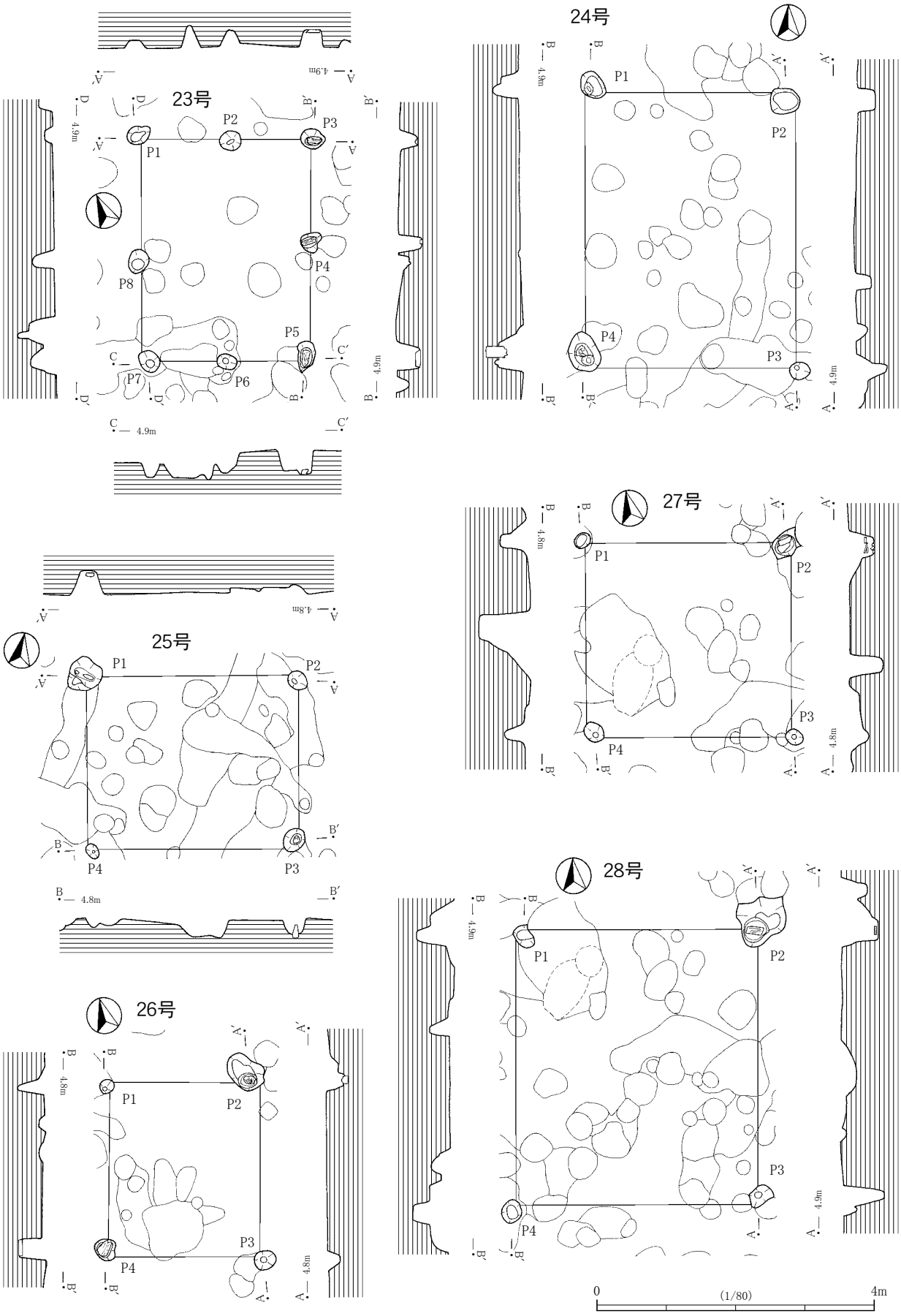
第15図　18号掘立柱建物



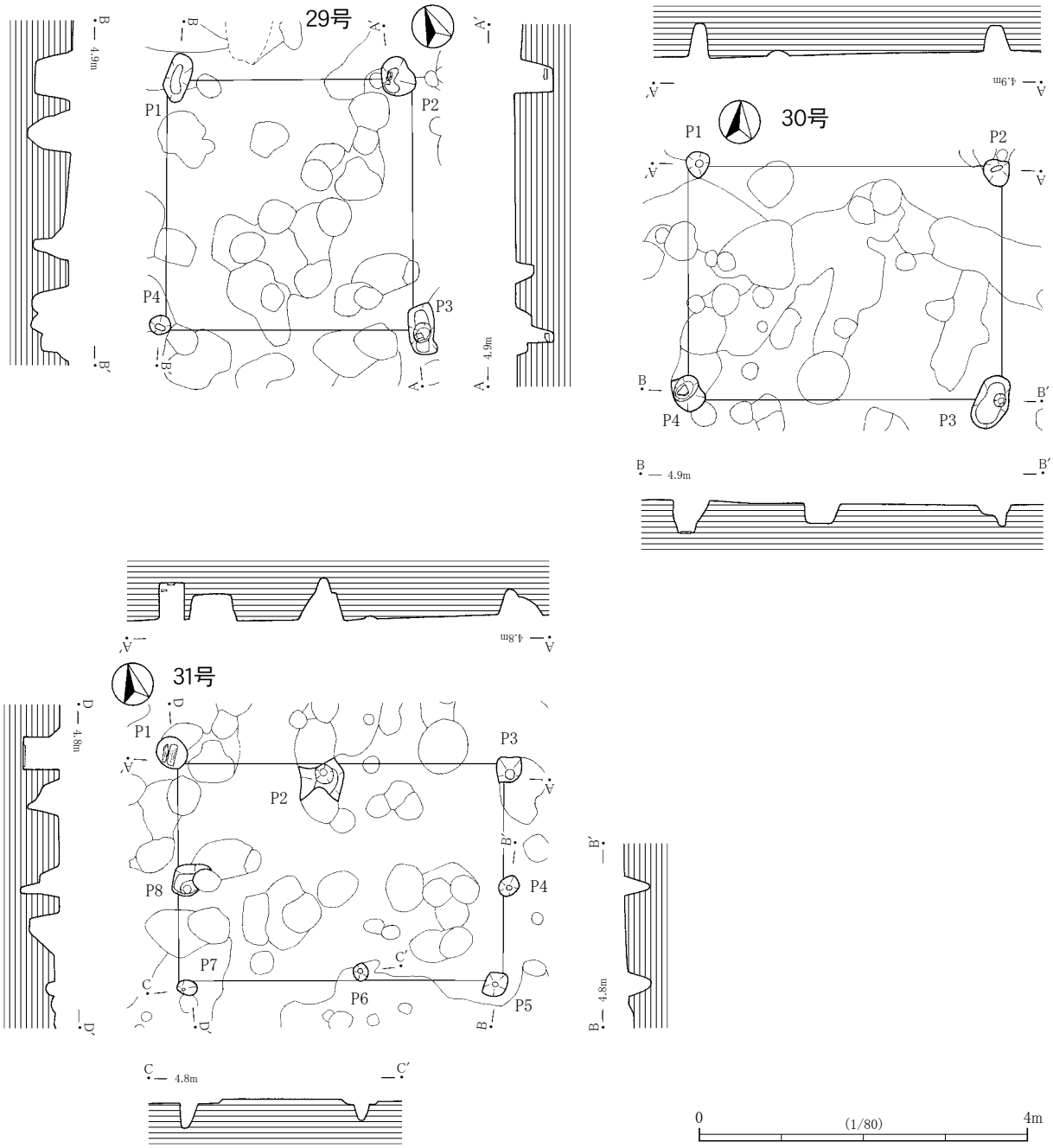
第16図　19・20号掘立柱建物



第17図　21・22号掘立柱建物



第18図　23～28号掘立柱建物



第19図　29～31号掘立柱建物

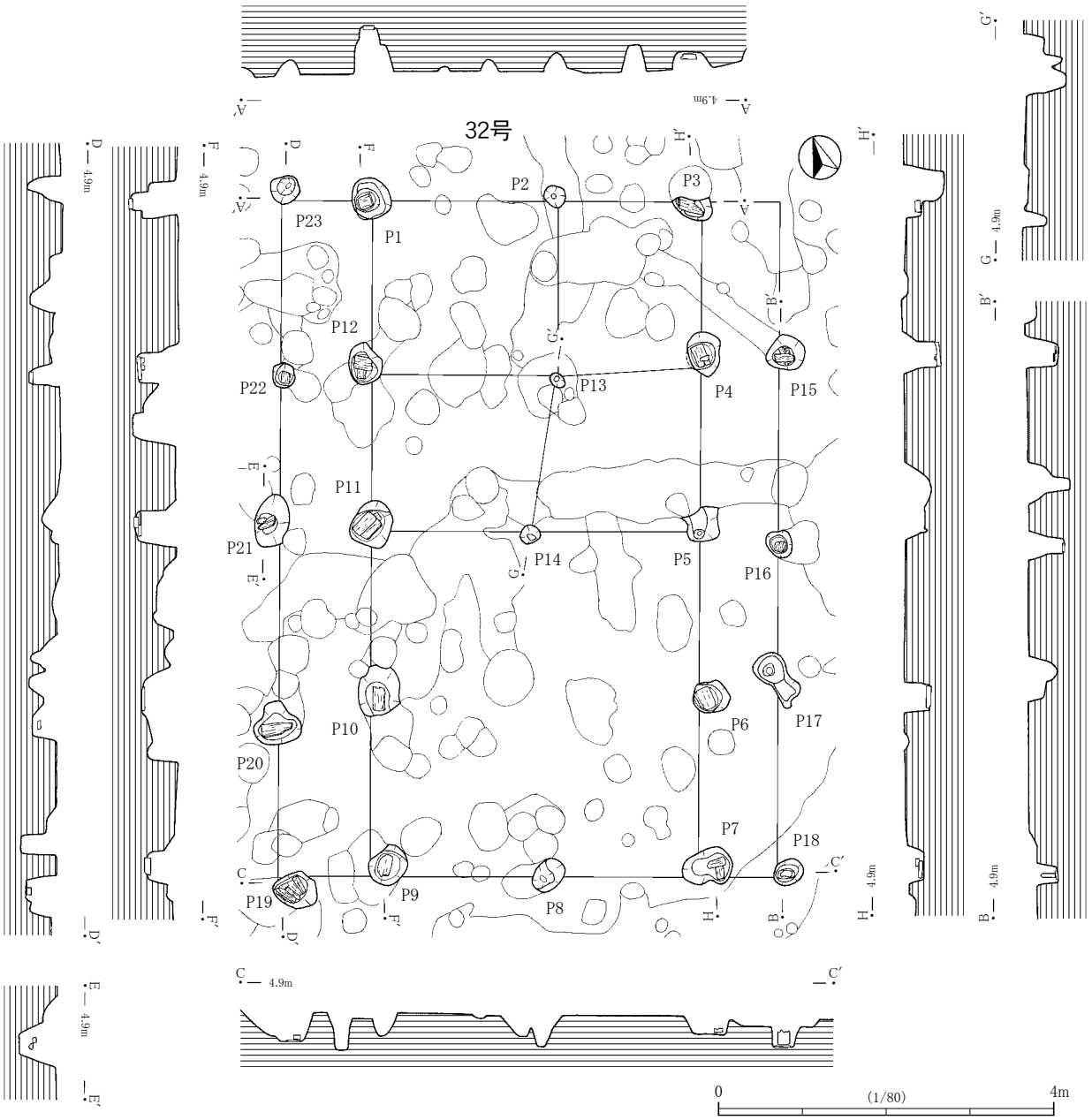
45 号掘立柱建物（第 26 図）　0r4-3～Ps3-1 グリッドに位置する。桁行 3 間（7.44m）×梁間 2 間（4.04m），主軸は N－16°－E で，建物内部にも柱穴が 1 基（P11）認められる。本遺構の柱穴は，18・43・44・47・48 号掘立柱建物の柱穴，15・17 号井戸と一部重複する。新旧関係は，15 号井戸より新しく，それ以外は不明である。P1・P2・P4～P6・P8・P10 から礎板，P9 から柱根を検出したほか，P2 から土師質土器の小片と砥石が出土した。

46 号掘立柱建物（第 24 図）　0r4-3～Ps5-3 グリッドに位置する。桁行 6 間（13.36m）×梁間 2 間（4.52m）の総柱建物で，東側と南側にそれぞれ 1 間の廂がつく。なお，南側の梁間は柱穴 4 基で構成され，その柱間は西から 1.0m，2.2m，1.18m と特徴的である。主軸は N－12°－E である。本遺構の柱穴は，17・18・28・29・35・44・48・50・51・57 号掘立柱建物の柱穴，17 号井戸，47・52～54・58 号土坑，22・23・28 号溝と一部重複する。新旧関係は，47・58 号土坑より古く，48 号掘立柱建物，17 号井戸，23・28 号溝より新しい。それ以外は不明で

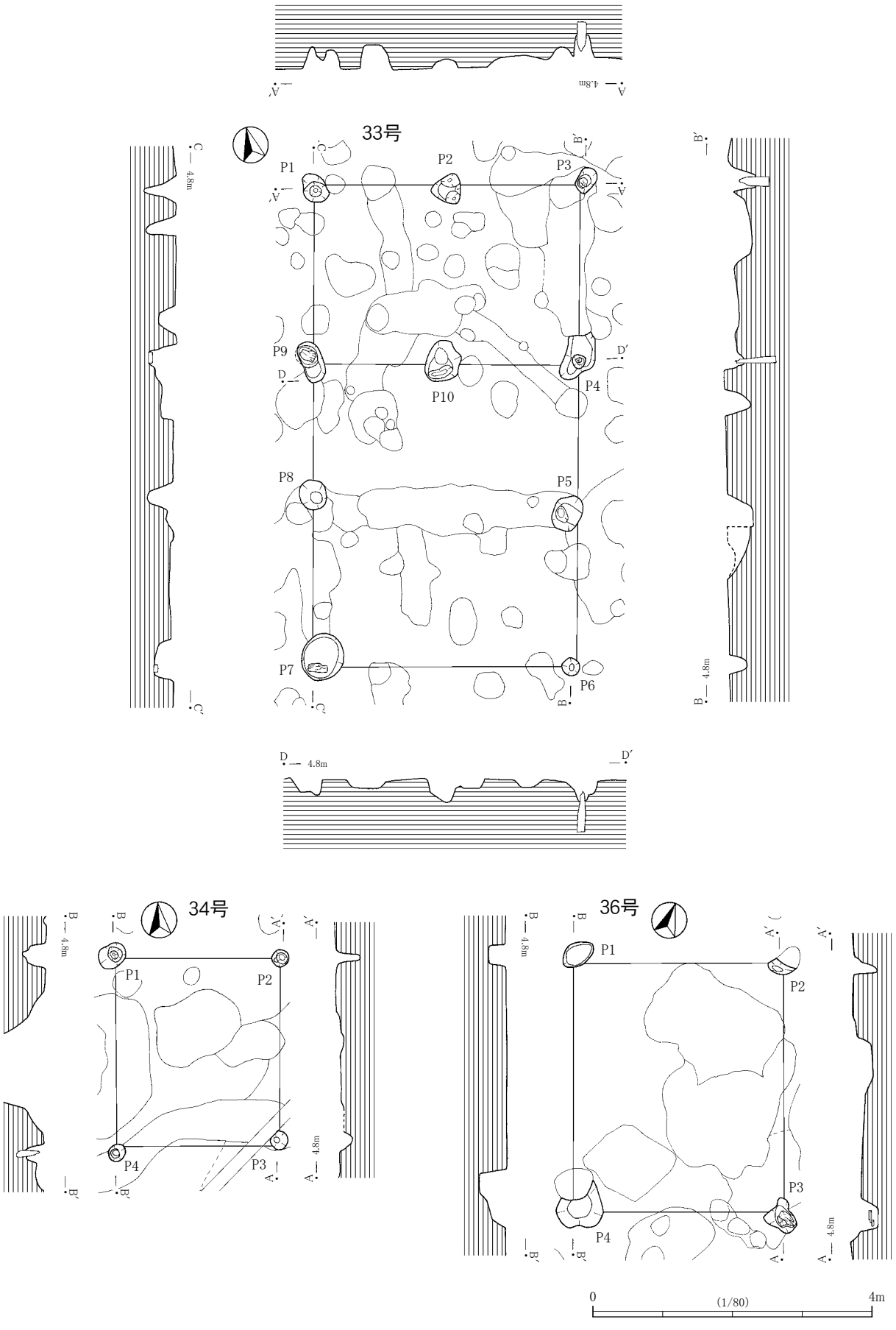
ある。P1・P2・P4・P6・P7・P9・P14～P16・P20・P26・P28～P32・P34 から礎板，P5・P8・P12・P13・P17 から柱根と礎板，P10・P23 から柱根を検出した。そのほかに，土師質土器，珠洲，土製品，砥石が出土している。

47 号掘立柱建物（第 27 図） Pr1-3～Ps5-1 グリッドに位置する。桁行４間（9.04m）×梁間３間（5.0m）で，東側に１間の廂がつく。主軸はN－13°－E で，柱穴が，32・43～45・50・52 号掘立の柱穴，18 号井戸，46・51 号土坑，22・23・28 号溝と一部重複する。新旧関係は，43・50 号掘立，51 号土坑，28 号溝よりも古い。P1・P4～P12・P14～P16 から礎板が，P2・P6・P11・P16 から土師質土器，P10 から土師質土器と珠洲が出土した。

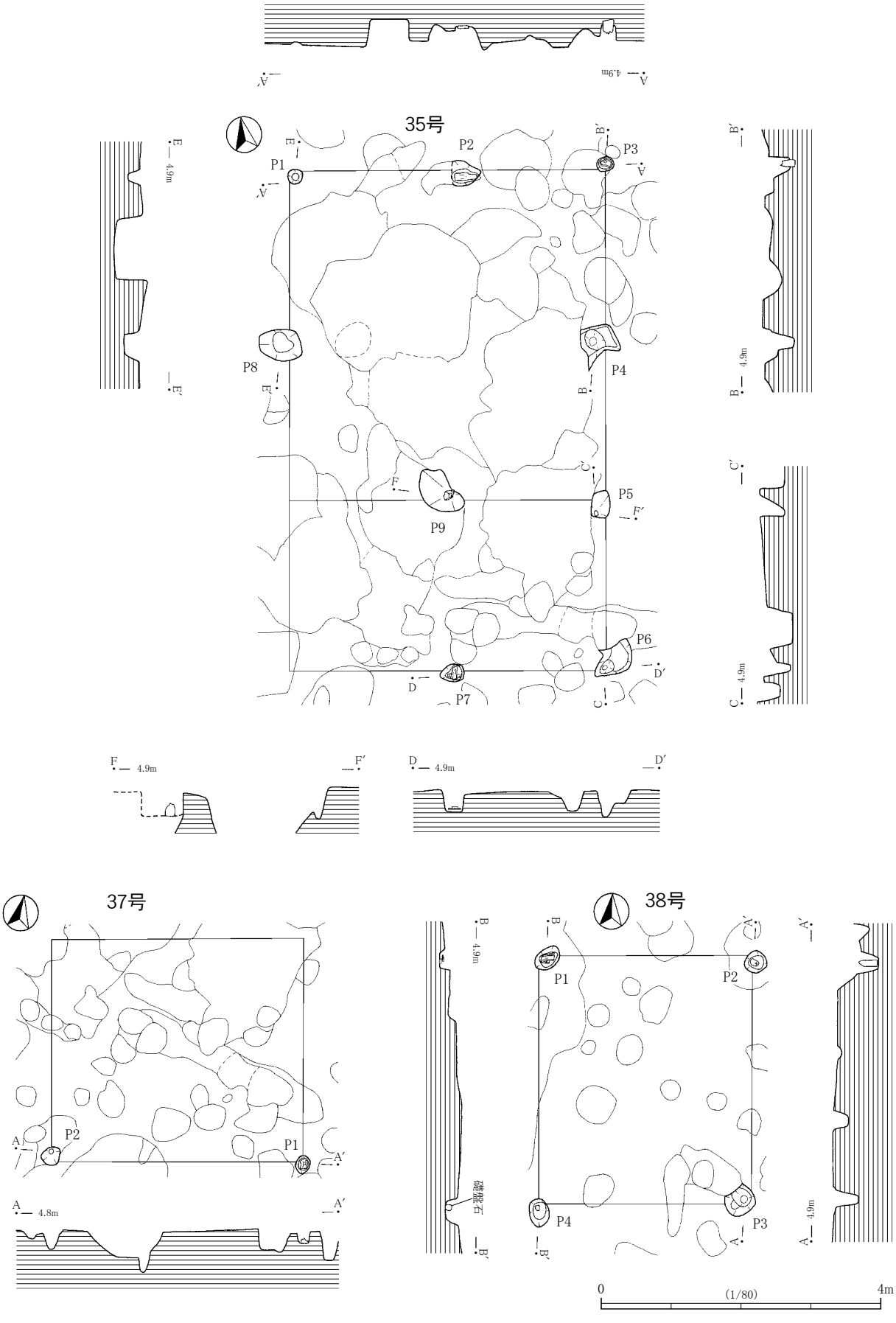
48 号掘立柱建物（第 28 図） Pr1-3～Ps4-1 グリッドに位置する。桁行３間（7.5m）×梁間１間（2.96m），主軸 N－８°－E である。本遺構の柱穴は，43・45・46・50・55 号掘立柱建物の柱穴，17 号井戸と一部重複する。新旧関係は，46 号掘立柱建物と 17 号井戸より古く，それ以外は不明である。P2 から礎板，P4 から柱根を検出したほか，P2・P6 から土師質土器が出土している。



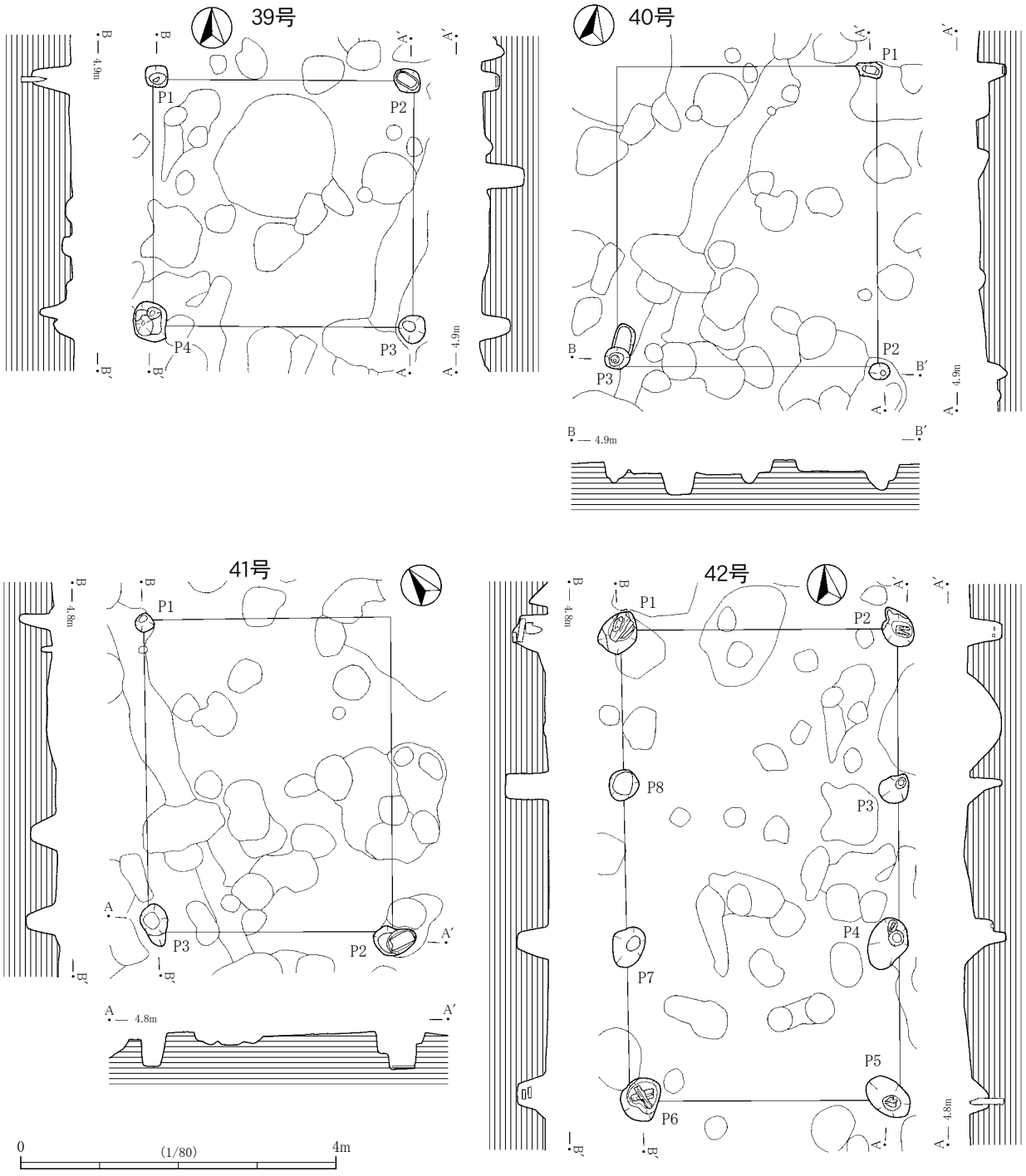
第20図　32号掘立柱建物



第21図　33・34・36号掘立柱建物



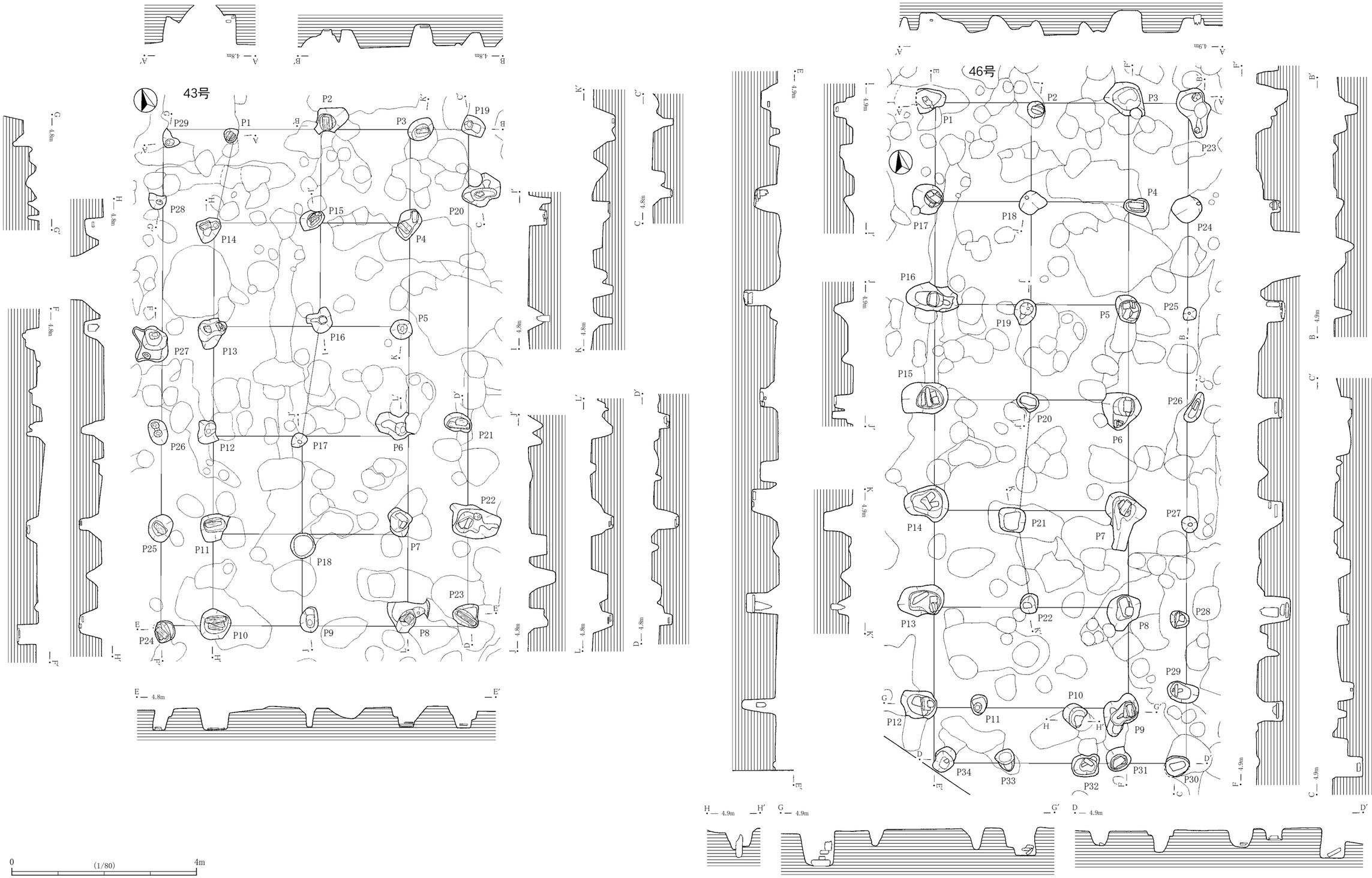
第22図　35・37・38号掘立柱建物



第23図　39～42号掘立柱建物

49 号掘立柱建物（第 28 図）　Pq4-5～Pr5-4 グリッドに位置する。桁行 3 間（6.52m）×梁間 2 間（3.3m），主軸は N－19°－E である。本遺構の柱穴は，31・50・51 号掘立柱建物の柱穴，18 号井戸，49 号土坑，23・26 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1・P7 から柱根，P2・P4・P5・P8 から礎板を検出したほか，P2 から土師質土器の小片が出土している。

50 号掘立柱建物（第 29 図）　Pr2-4～Ps5-2 グリッドに位置する。桁行 2 間（5.53m）×梁間 1 間（3.07m），主軸は N－29°－E である。東側桁行の柱穴が 1 基検出できていない。本遺構の柱穴は，46～49・57 号掘立柱建物の柱穴，18 号井戸，57 号土坑，28 号溝と一部重複する。新旧関係は，47 号掘立柱建物より新しく，それ以外は不明である。P1・P4 から礎板を検出したほか，P5 から土師質土器の小片が出土している。



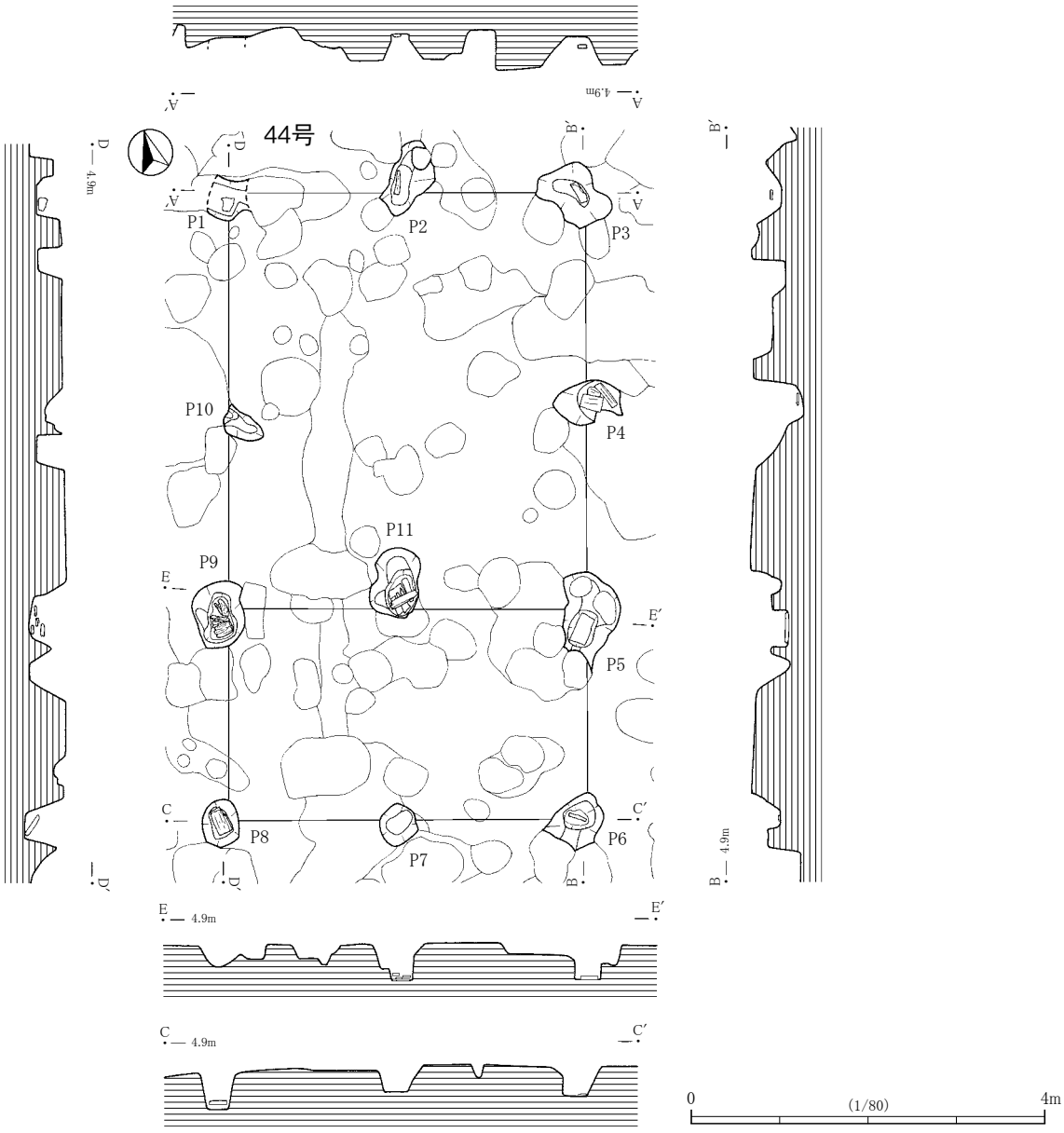
第24図　43・46号掘立柱建物

51 号掘立柱建物（第 29 図） Pr1-2～Pr3-3 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.33m）×梁間 1 間（3.05m），主軸は N－29°－E である。南西隅の柱穴は検出できていない。本遺構の柱穴は，29・43・46・49 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1・P2 から礎板を検出した。

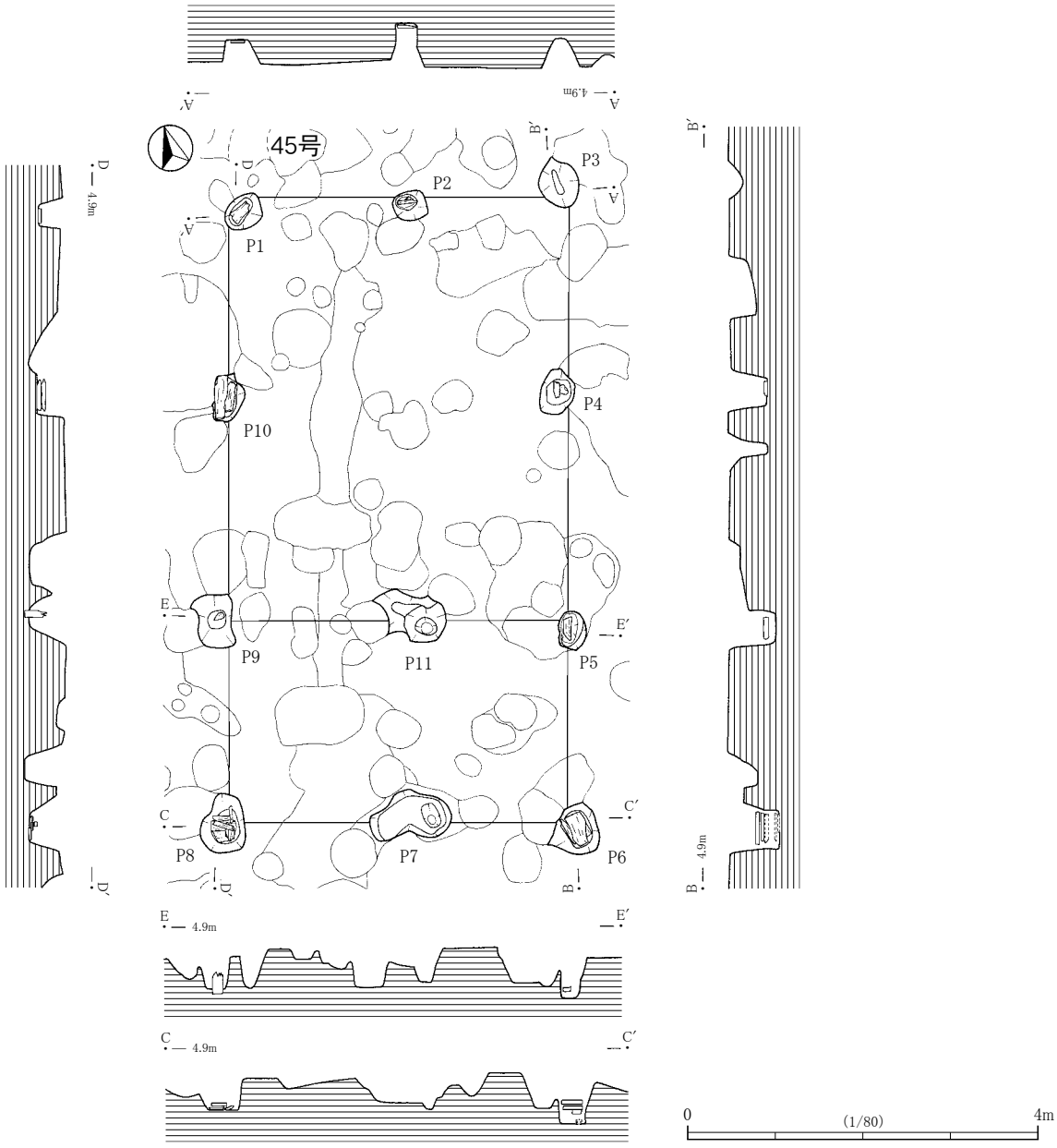
52 号掘立柱建物（第 29 図） Pq3-5～Pr4-1 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.49m）×梁間 1 間（3.2m），主軸は N－24°－E である。本遺構の柱穴は，47 号掘立柱建物の柱穴，51 号土坑，23 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1・P3 から礎板を検出したほか，P2 から土師質土器の小片が出土している。

53 号掘立柱建物（第 29 図） Pr3-2～Pr5-3 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.67m）×梁間 1 間（3.54m），主軸は N－77°－W である。遺構の新旧関係は，23 号溝より新しい。P1・P2 から柱根，P3 から礎板を検出した。

54 号掘立柱建物（第 29 図） Pr4-2～Qr1-3 グリッドに位置する。桁行 1 間（2.58m）×梁間 1 間（2.38m），主軸は N－ 4°－E である。本遺構の柱穴は，48 号土坑，26 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P3 から柱根と礎板を検出した。



第25図　44号掘立柱建物



第26図　45号掘立柱建物

55 号掘立柱建物（第 29 図）　Pr3-5～Ps5-1 グリッドに位置する。桁行 1 間（2.68m）×梁間 1 間（2.50m），主軸は N－ 1°－E である。北東隅の柱穴は検出できていない。本遺構の柱穴は，43・48 号掘立柱建物の柱穴，55 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。P1 から礎板，P2・P3 から柱根を検出したほか，P2 から土師質土器の小片が出土している。

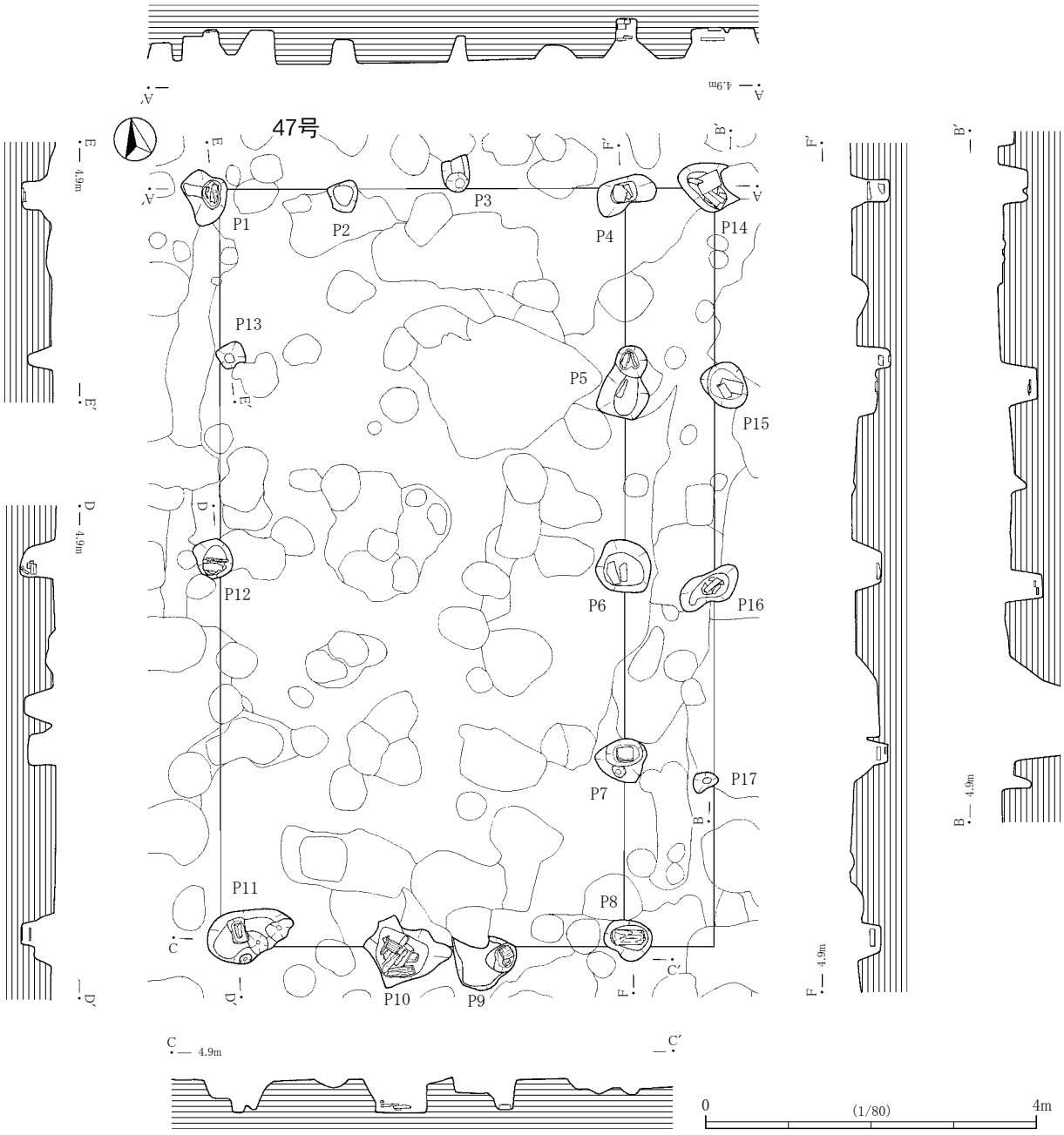
56 号掘立柱建物（第 30 図）　Ps1-1～Ps4-2 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.81m）×梁間 1 間（3.58m），主軸は N－11°－E である。本遺構の柱穴は，43 号掘立柱建物の柱穴，57・58 号土坑と一部重複する。新旧関係は，57 号土坑より古く，58 号土坑より新しい。それ以外は不明である。P4 から柱根と礎板を検出したほか，P1 から土師質土器の小片と砥石，P3 から土師質土器の小片が出土している。

57 号掘立柱建物（第 30 図）　Ps2-3～Ps5-3 グリッドに位置する。建物の一部が調査区外に延びるが，桁行 1 間（3.48m）×梁間 1 間（2.73m）と推定される。主軸は N－71°－E である。本遺構の柱穴は，46・50 号掘立柱建物の柱穴，58 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。P2 から柱根，P3 から礎板を検出した。

58 号掘立柱建物（第 30 図） Ps5-1～Qs3-2 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.95m）×梁間 1 間（3.92m），主軸は N－17°－E である。本遺構の柱穴は，28・30・31 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P2 から礎板を検出したほか，P1 から砥石，P2・P4 から土師質土器の小片が出土している。

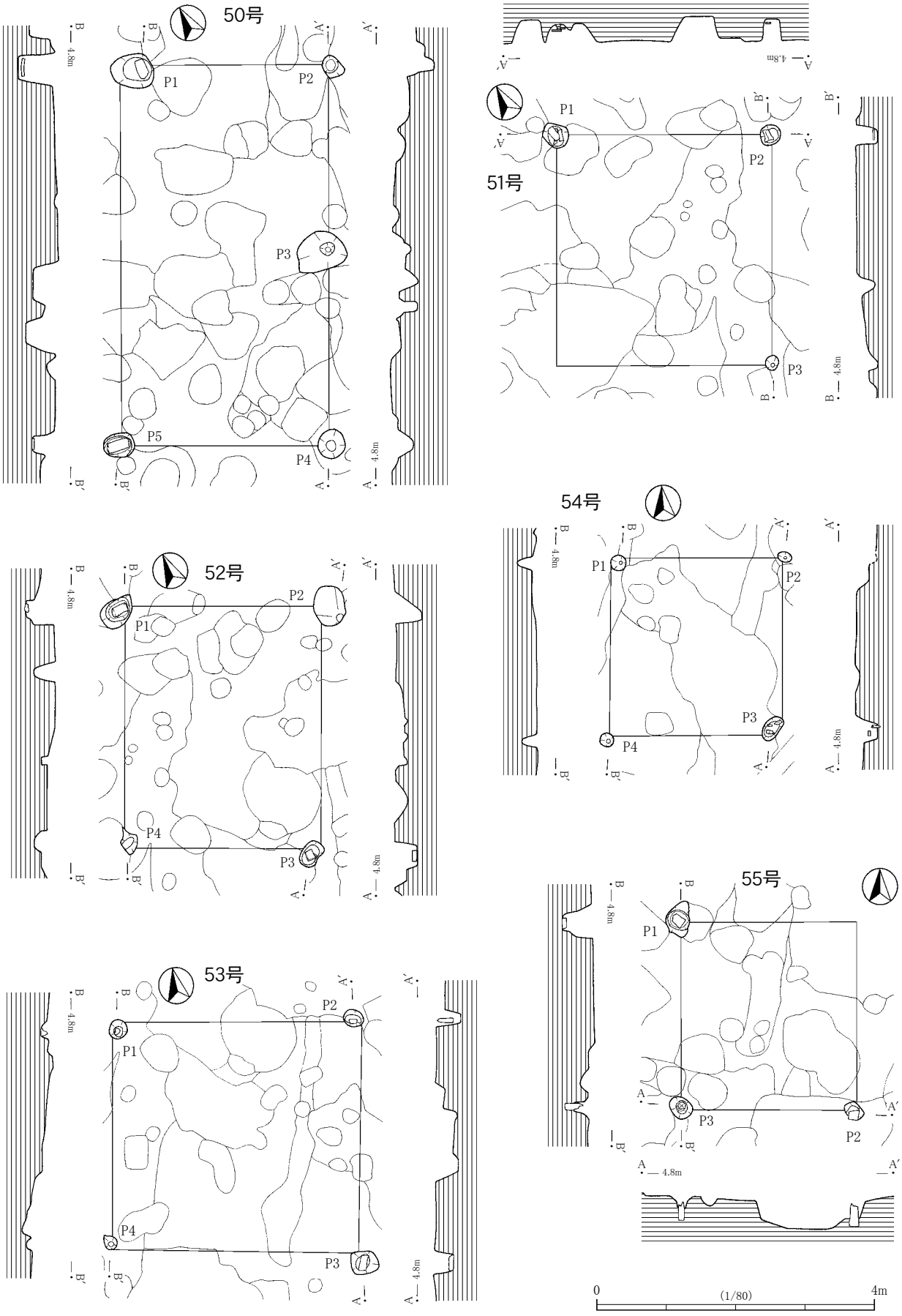
59 号掘立柱建物（第 30 図） Qr1-5～Qs3-1 グリッドに位置する。桁行 1 間（2.87m）×梁間 1 間（2.48m），主軸は N－ 3°－E である。P1・P2 から礎板を検出した。

60 号掘立柱建物（第 30 図） Qs1-1～Qs3-3 グリッドに位置する。桁行 1 間（3.0m）×梁間 1 間（2.77m），主軸は N－34°－E である。北東隅の柱穴は検出できていない。本遺構の柱穴は，30 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。P2・P3 から礎板を検出したほか，P4 から土師質土器の小片が出土している。

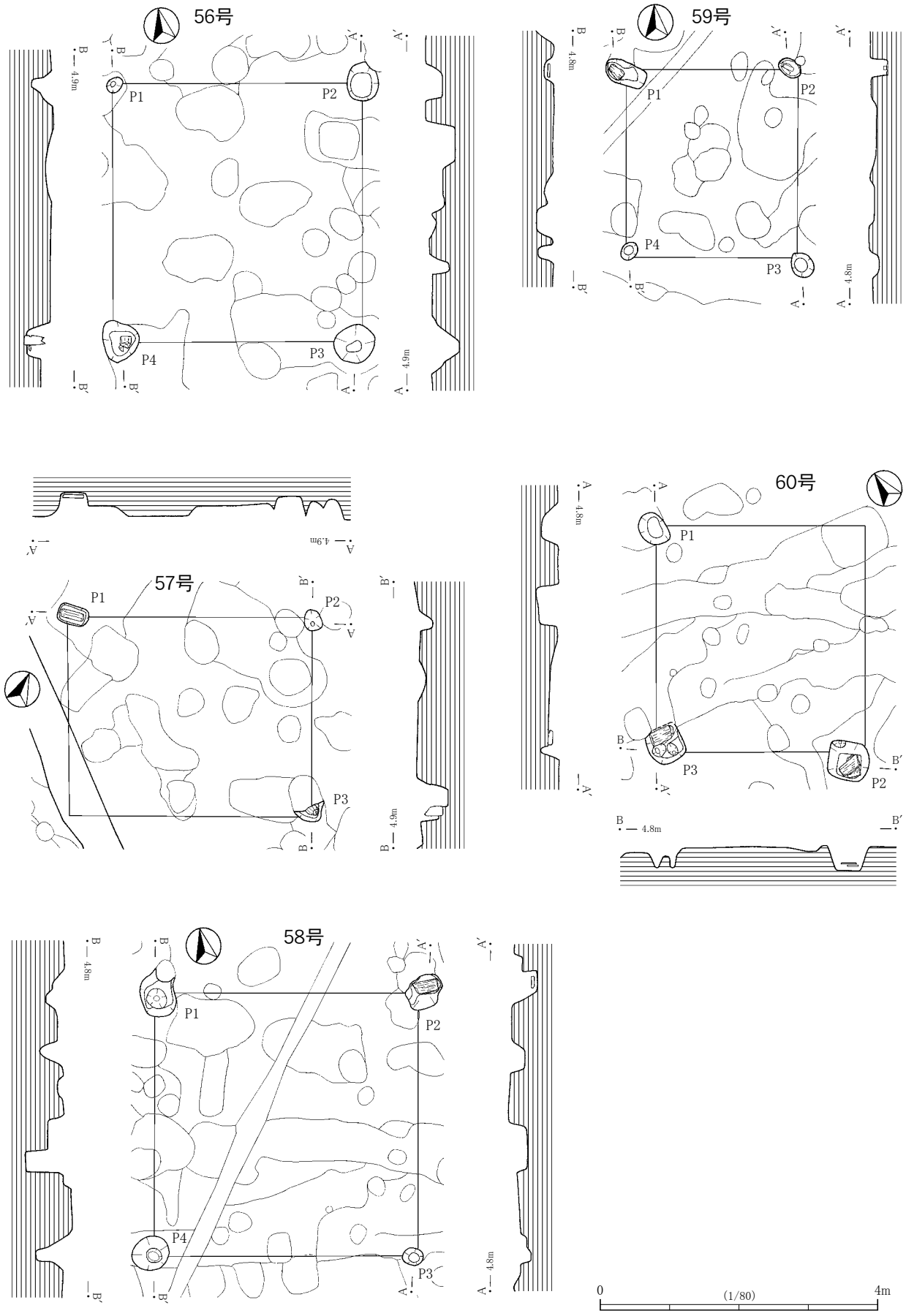


第27図 47号掘立柱建物

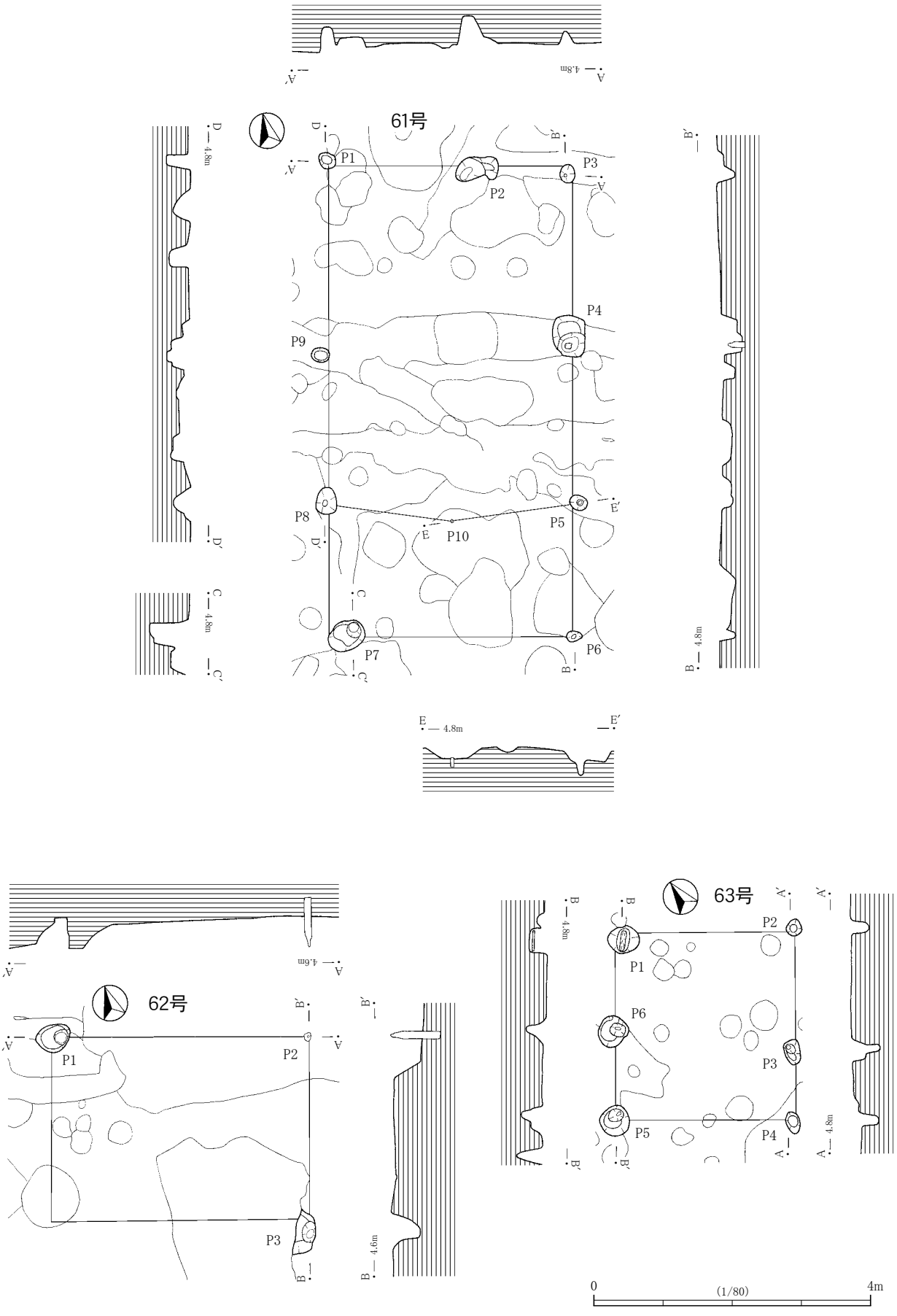
第28図　48・49号掘立柱建物



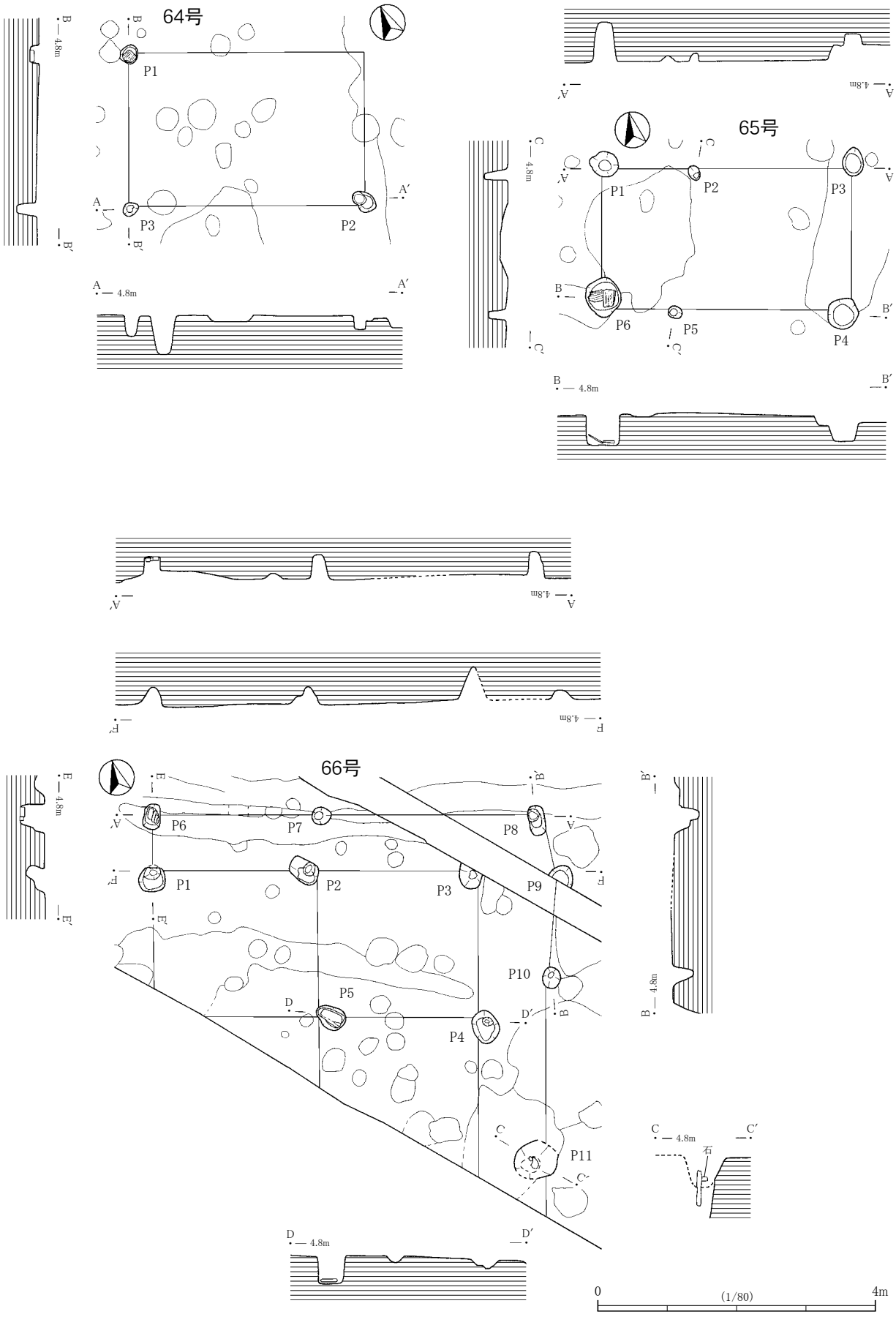
第29図　50～55号掘立柱建物



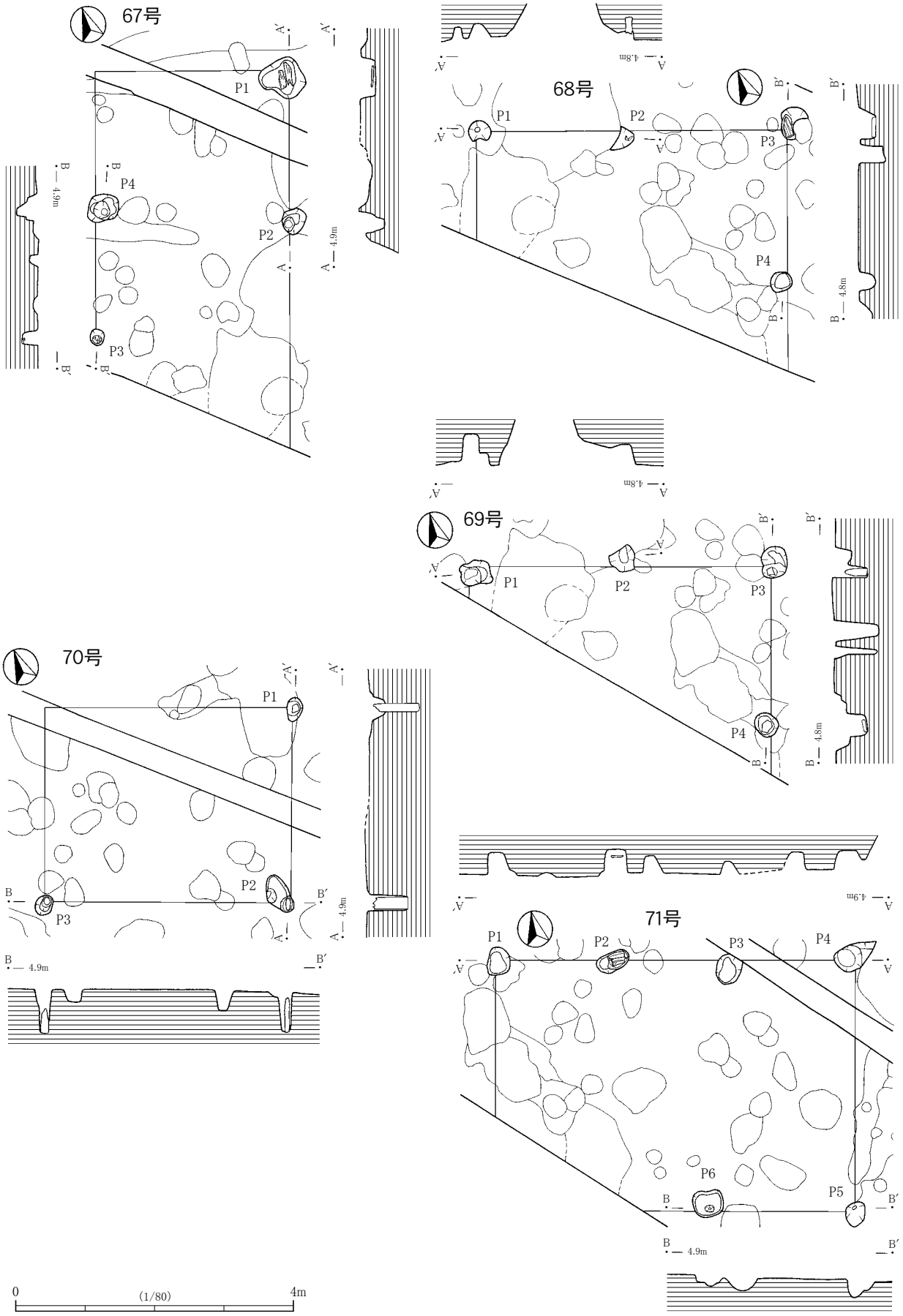
第30図　56～60号掘立柱建物



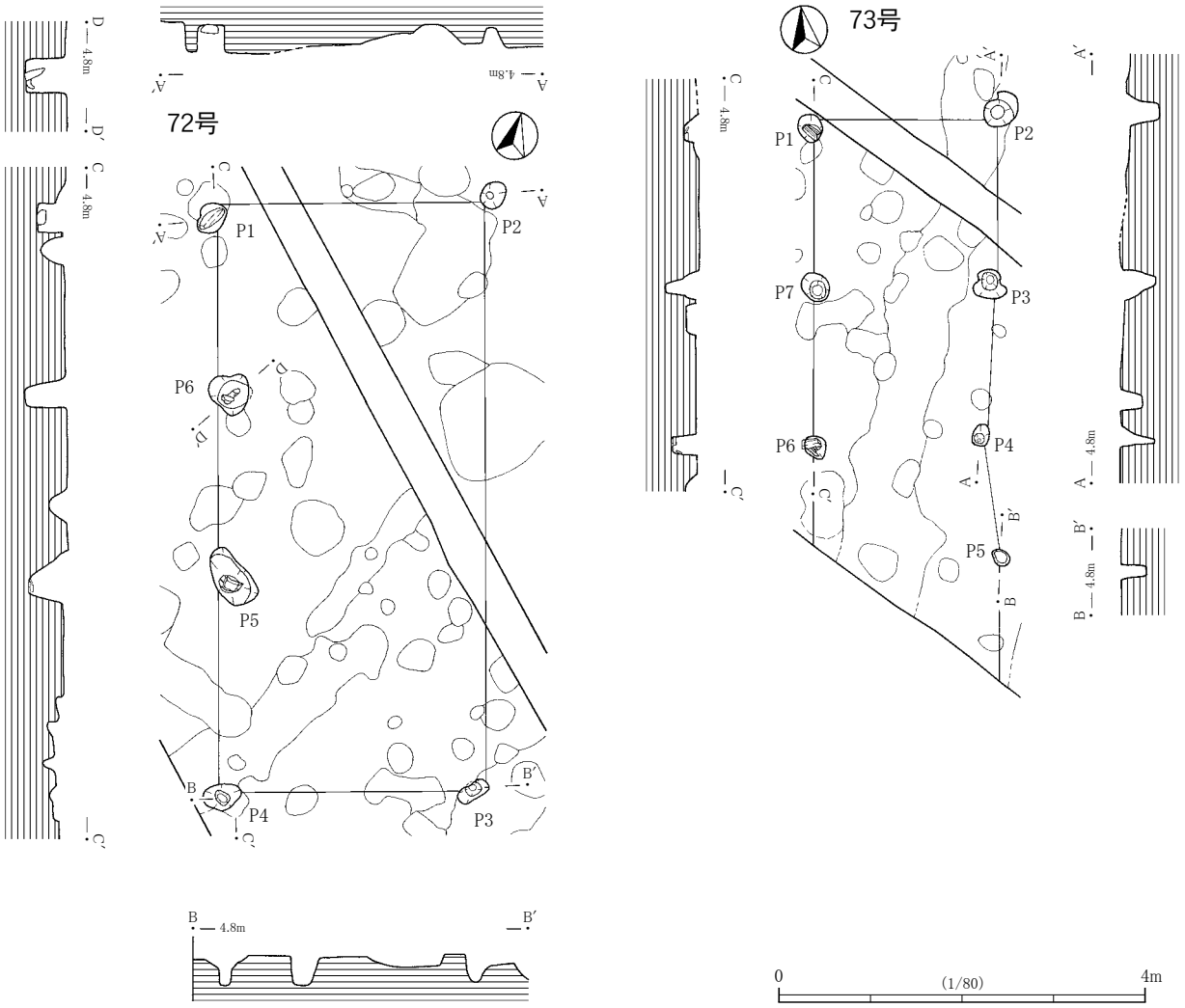
第31図　61～63号掘立柱建物



第32図　64～66号掘立柱建物



第33図　67～71号掘立柱建物



第34図　72・73号掘立柱建物

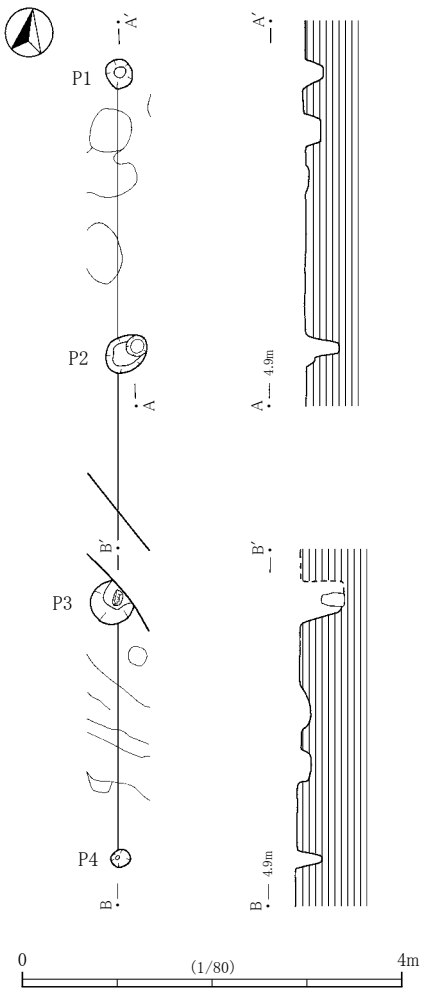
61号掘立柱建物（第31図）　Qr1-5～Qs5-2グリッドに位置する。桁行3間（6.82m）×梁間2間（3.5m），主軸はN－14°－Eである。建物内部に位置するP10は，柱根のみの検出で，柱穴のプランは確認できていない。本遺構の柱穴は，60・61号土坑，29号溝と一部重複する。新旧関係は，60号土坑より新しく，それ以外は不明である。P10のほか，P4からも柱根を検出した。

62号掘立柱建物（第31図）　Qs4-1～Rs2-2グリッドに位置する。桁行1間（3.58m）×梁間1間（2.86m），主軸はN－71°－Wである。南西隅の柱穴は検出できていない。また，P2は柱根のみの検出である。本遺構の柱穴は，67・68号土坑，31号溝と一部重複する。新旧関係は，67号土坑より新しく，それ以外は不明である。

63号掘立柱建物（第31図）　Qr3-2～Qr5-3グリッドに位置する。桁行2間（2.66m）×梁間1間（2.52m），主軸はN－38°－Eである。本遺構の柱穴は，66号土坑，27号溝と一部重複する。新旧関係は，前者より古く，後者とは不明である。P1から礎板を検出したほか，P5から土師質土器の小片が出土している。

64号掘立柱建物（第32図）　Qr4-2～Rr1-2グリッドに位置する。桁行1間（3.34m）×梁間1間（2.22m），主軸はN－62°－Wである。北東隅の柱穴は検出できていない。P1から礎板を検出した。

65号掘立柱建物（第32図）　Qr4-3～Rr1-3グリッドに位置する。桁行2間（3.68m）×梁間1間（2.17m），主軸はN－77°－Wである。本遺構の柱穴は，66号土坑，36号溝と一部重複する。新旧関係は，前者より古く，後者とは不明である。P6から礎板を検出した。



第35図　1号柵

66 号掘立柱建物（第 32 図）　Ps3-5～Pt3-3 グリッドに位置する。建物の南側部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行２間以上（4.42m以上）×梁間２間（4.64m）と推定される。主軸はＮ－15°－Ｅで，建物の北側と東側にそれぞれ１間の廂がつく。また，建物内部からも柱穴（P5）を検出しており，総柱建物の可能性も考えられる。本遺構の柱穴は，67 号掘立柱建物，23 号井戸，30・33 号溝と一部重複する。新旧関係は，23 号井戸より新しく，それ以外は不明である。P5・P6 からは礎板を，P11 からは柱根を検出した。なお，P11 の柱根の脇には，それを支えるために石が据え置かれていた。そのほかには，P1・P3・P8 から土師質土器の小片が出土している。

67 号掘立柱建物（第 33 図）　Qr3-2～Qr5-3 グリッドに位置する。建物の一部が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行３間以上（5.35m以上）×梁間１間（2.75m）と推定される。主軸はＮ－21°－Ｅで，柱穴が，66 号掘立柱建物の柱穴，22 号井戸と一部重複する。新旧関係は不明。P1・P3 から礎板を検出した。

68 号掘立柱建物（第 33 図）　Qs1-5～Qt1-3 グリッドに位置する。建物の大部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明であるが，桁行２間以上（3.52m以上）×梁間２間（4.5m）と推定される。主軸はＮ－22°－Ｅである。本遺構の柱穴は，72 号掘立柱建物の柱穴，22 号井戸と一部重複する。新旧関係は，前者より新しく，後者とは不明である。P2 から柱根，P3 から礎板を検出した。

69 号掘立柱建物（第 33 図）　Qr3-2～Qr5-3 グリッドに位置する。建物の一部しか検出できず，全容は不明であるが，桁行２間以上（2.94m以上）×梁間２間（4.36m）と推定される。主軸はＮ－14°－Ｅである。本遺構の柱穴は，22 号井戸と一部重複するが，新旧関係は不明である。P3 から柱根，P4 から礎板を検出した。

70 号掘立柱建物（第 33 図）　Qs2-4～Qs4-5 グリッドに位置する。桁行１間（3.5m）×梁間１間（2.94m），主軸Ｎ－66°－Ｗで，61 号土坑と一部重複する。新旧関係は不明。柱根のほか，土師質土器の小片が出土した。

71 号掘立柱建物（第 33 図）　Qs2-5～Qt5-1 グリッドに位置する。建物の一部が調査区外に延びると考えられるが，桁行３間（5.07m）×梁間１間（3.6m）と推定される。主軸はＮ－78°－Ｗで，柱穴が，21 号井戸と一部重複する。新旧関係は本遺構の方が古い。P2 から礎板を検出したほか，P2・P3 から土師質土器が出土している。

72 号掘立柱建物（第 34 図）　Qs3-3～Rt1-1 グリッドに位置する。桁行３間（6.54m）×梁間１間（3.94m），主軸はＮ－17°－Ｗで，柱穴が，68 号掘立柱建物の柱穴，35 号溝と一部重複する。新旧関係は前者より古く，後者より新しい。P1・P5 から礎板，P6 から柱根と礎板を検出したほか，P5・P6 から土師質土器の小片が出土した。

73 号掘立柱建物（第 34 図）　Qs5-4～Rt3-1 グリッドに位置する。建物南側部分が調査区外に延びると考えられるため，全容は不明だが，桁行４間以上（6.24m以上）×梁間１間（2.04m）と推定される。主軸はＮ－８°－Ｅで，東側桁行の柱筋はやや乱れる。35 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明。P1・P6 から礎板を検出した。

１号柵（第 35 図）　Os5-2～Ps4-5 グリッドに位置する。長さは 8.32mで，４基の柱穴で構成される。主軸はＮ－７°－Ｗである。P3 から柱根を検出したほか，P2 から土師質土器の小片が出土している。

2　井　戸

1 号井戸（第 36 図）　Mp5-3～Np1-4 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 195cm×181cm，検出面からの深さは 93cmである。底面の東寄りに，水溜施設の曲物を設置している。井戸枠は検出されなかった。須恵器系陶器の小片，青磁の小片，木製品が出土している。

2 号井戸（第 36 図）　Np1-4～Np1-5 グリッドに位置する。平面は不整な円形と推定される。検出できた規模は 130cm×93cm，検出面からの深さは 66cmである。井戸枠には曲物が使用され，その内部に水溜施設の曲物を設置している。6 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。木製品が出土している。

3 号井戸（第 36 図）　Pp5-2～Qp1-2 グリッドに位置する。平面は不整な円形で，規模は 150cm×115cm，検出面からの深さは 90cmである。井戸枠として，方形に組まれた一段の桟木および隅柱を検出した。その内部には水溜施設の曲物が設置されている。土師質土器の小片，須恵器系陶器，木製品が出土している。

4 号井戸（第 36 図）　Oq4-2～Oq5-2 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 206cm×148cm，検出面からの深さは 80cmである。井戸枠や水溜施設は検出しなかった。土師質土器と木製品が出土している。

5 号井戸（第 37 図）　Pq4-3～Pq5-4 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 284cm×188cm，検出面からの深さは 100cm以上である。井戸枠や水溜施設は検出しなかった。21・33 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は前者より古く，後者とは不明である。木製品が出土している。

6 号井戸（第 37 図）　Nq5-4～Nq5-5 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 201cm×177cm，検出面からの深さは 99cmである。井戸枠は縦板と曲物で構成され，その内部には水溜施設の曲物を設置している。12 号溝と重複しており，新旧関係は本遺構の方が新しい。土師質土器，須恵器系陶器，木製品が出土している。

7 ～10 号井戸（第 38・39 図）　Or1-1～Or3-3 グリッドに位置する。これら 4 基の井戸は重複しており，その新旧関係は，古い方から順に，8 号井戸，9 号井戸そして 7・10 号井戸となる。なお，7 号井戸と 10 号井戸の新旧関係は不明である。7 号井戸は，平面が不整な楕円形で，確認できた規模は 244cm×183cm，検出面からの深さは 89cmである。井戸枠は方形で，縦板と一段の桟木および隅柱で構成される。その内部には水溜施設の曲物を設置している。41 号土坑とも一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が新しい。井戸枠内から板材が多数出土したほか，土師質土器，青磁，珠洲の小片，木製品が出土している。

8 号井戸は，平面が不整な楕円形と推定される。確認できた規模は 250cm×215cm，検出面からの深さは 98cmである。底面の南寄りから，水溜施設の曲物を検出した。井戸枠は検出されていない。16 号掘立柱建物の柱穴とも一部重複するが，その新旧関係は不明である。土師質土器，青磁の小片，珠洲，木製品が出土している。

9 号井戸は，平面が不整な楕円形と推定される。検出した規模は 271cm×149cm，検出面からの深さは 95cmで，井戸枠や水溜施設は検出されなかった。16・35 号掘立柱建物の柱穴とも一部重複しており，新旧関係は前者より古く，後者とは不明である。土師質土器，珠洲，瓷器系陶器，木製品が出土している。

10 号井戸は，平面が不整な楕円形で，規模は 200cm×185cm，検出面からの深さは 106cmである。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。16～18・35・43 号掘立柱建物の柱穴，21 号溝とも一部重複しており，新旧関係は 43 号掘立柱建物と 21 号溝より新しく，それ以外は不明である。土師質土器の小片，珠洲，木製品が出土した。

11 号井戸（第 37 図）　Or2-3～Or3-3 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 177cm×151cm，検出面からの深さは 74cmである。底面に水溜施設の曲物を設置している。井戸枠は検出されなかった。16・18・35 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は 16・35 号掘立柱建物より古く，それ以外は不明である。曲物内から板材が多数出土したほか，土師質土器，青磁の小片，木製品が出土している。

12・13 号井戸（第 40 図） 0r1-3～0r3-4 グリッドに位置する。両者は一部重複しており，その新旧関係は 12 号井戸の方が古い。12 号井戸は，平面はやや不整な方形と推定される。規模は 192㎝×122㎝，検出面からの深さは 71㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器の小片と木製品が出土している。

13 号井戸は，一部が調査区外に延びるが，平面は不整な楕円形と推定される。検出した規模は 230㎝×187㎝，検出面からの深さは 89㎝で，底面から井戸枠を構成する桟木と隅柱を検出した。桟木は二段で，方形に組まれている。水溜施設は検出されなかった。井戸枠内から板材が多数出土したほか，珠洲と木製品が出土している。

14 号井戸（第 41 図） 0r2-4～0r3-5 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 101㎝×90㎝，検出面からの深さは 110㎝である。井戸枠は方形で，縦板と二段の桟木および隅柱で構成されている。その内部には水溜施設の曲物を設置している。土師質土器，白磁の小片，珠洲，木製品が出土した。

15 号井戸（第 41 図） 0r4-4～0r5-4 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 160㎝×156㎝，検出面からの深さは 160㎝である。底面に水溜施設の曲物を設置している。井戸枠は検出されなかった。43～45 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は 45 号掘立柱建物より古く，43 号掘立柱建物より新しい。それ以外は不明である。なお，曲物の直上からは，径 30㎝大の大型の石が 1 点出土した。井戸の埋め戻しに伴うものと考えられるが，その意味は判然としない。そのほかに土師質土器と木製品が出土している。

16 号井戸（第 41 図） 0r1-5～0s2-1 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 144㎝×115㎝，検出面からの深さは 109㎝である。水溜施設の曲物は，底面をさらに一段掘り込んで設置している。井戸枠は検出されなかった。44 号土坑，14 号溝と一部重複しており，新旧関係は後者より古く，前者より新しい。土師質土器，銭貨，木製品が出土している。

17 号井戸（第 41 図） Pr1-3～Pr2-4 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 213㎝×157㎝，検出面からの深さは 138㎝である。底面から井戸枠を構成する桟木と隅柱を検出した。桟木は一段で，方形に組まれている。水溜施設は検出されなかった。44～46・48 号掘立柱建物の柱穴と一部重複し，新旧関係は 44・46 号掘立柱建物より古く，48 号掘立柱建物より新しい。それ以外は不明。土師質土器，珠洲，木製品が出土した。

18 号井戸（第 42 図） Pr4-3～Pr5-5 グリッドに位置する。平面は方形と推定され，検出した規模は 220㎝×192㎝，検出面からの深さは 164㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。47・49・50 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器の小片と木製品が出土している。

19 号井戸（第 42 図） Qs1-3～Qs2-4 グリッドに位置する。遺構の一部が調査区外に延びるため，全容は不明であるが，平面は不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 157㎝×97㎝，検出面からの深さは 88㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器の小片と木製品が出土している。

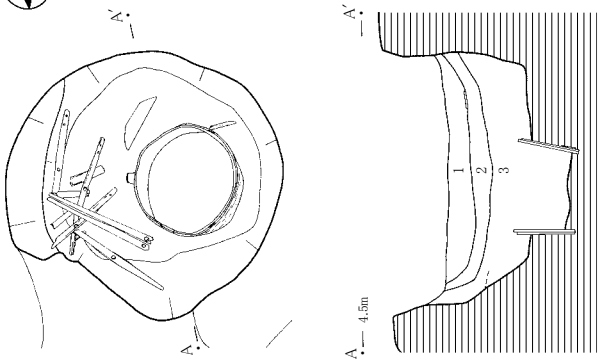
20 号井戸（第 42 図） Qs5-2 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 93㎝×85㎝，検出面からの深さは 90㎝以上である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器の小片と木製品が出土している。

21 号井戸（第 42 図） Qs4-3～Qs5-4 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 136㎝×116㎝，検出面からの深さは 107㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器と木製品が出土している。

22・23 号井戸（第 43 図） Qs1-5～Qt1-1 グリッドに位置する。両者は一部重複しており，新旧関係は 23 号井戸の方が古い。22 号井戸は，平面がやや不整な円形で，規模は 191㎝×152㎝，検出面からの深さは 72㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器と木製品が出土している。

23 号井戸は，遺構の一部が調査区外に延びるため全容は不明だが，平面は楕円形と推定される。検出した規模は 154㎝×111㎝，検出面からの深さは 101㎝である。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。66 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。土師質土器の小片，鉄滓，木製品が出土した。

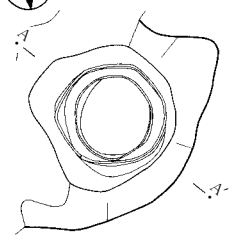
1号



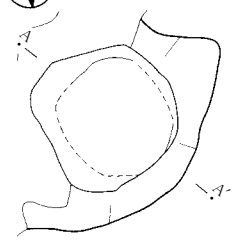
1号井戸

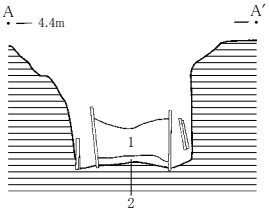
1　2.5Y4/1 黄灰色細砂と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性ややあり，しまり弱い。未分解植物を極めて多量，炭化物粒～材を微量含む。
2　5YR2/2 黒褐色腐植土　粘性ややあり，しまり強い。未分解植物を極めて多量含む。
3　2.5Y4/1 黄灰色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。炭化材を多量，灰オリーブ色細砂・灰色土をやや多く含む。

2号



掘形

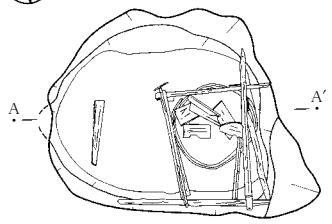


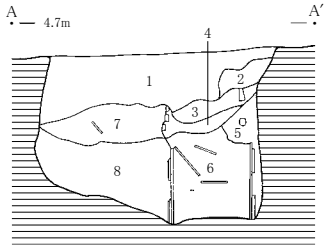


2号井戸

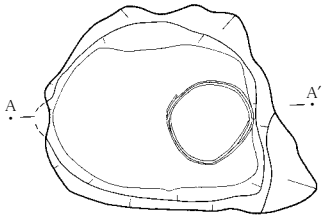
1　5Y4/2 灰色粘質シルト　粘性強く，しまり弱い。未分解植物を多量含む。
2　7.5Y6/1 灰色細砂　粘性・しまりなし。湧水が著しい。

3号





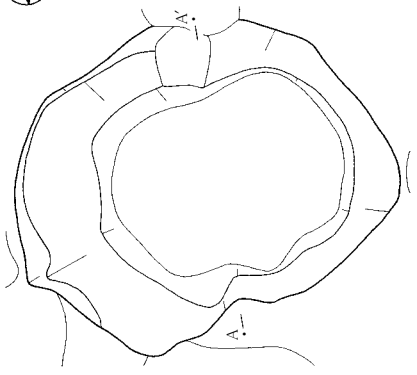
曲物出土状態

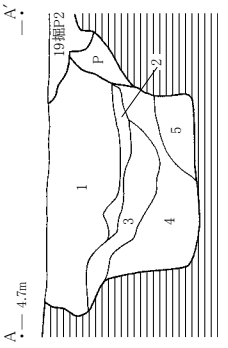


3号井戸

1　5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまりあり。オリーブ黄色～明オリーブ灰色細砂粒～ブロック・黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　5Y2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックを極めて多量，黒色土ブロックを少量含む。
3　5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。明オリーブ灰色細砂を多量，黒色土ブロックを少量含む。
4　N2/0 黒色土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒を少量，黒色土ブロック・未分解植物を微量含む。
5　2.5GY5/1　オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまり弱い。暗灰色土を少量含む。
6　N3/0 暗灰色粘質土　粘性強く，しまり弱い。オリーブ灰色細砂粒・黒色土粒を微量含む。
7　N3/0 暗灰色土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，にぶい黄色細砂をやや多く含む。
8　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。暗灰色土を多量含む。

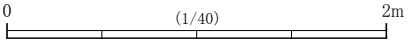
4号



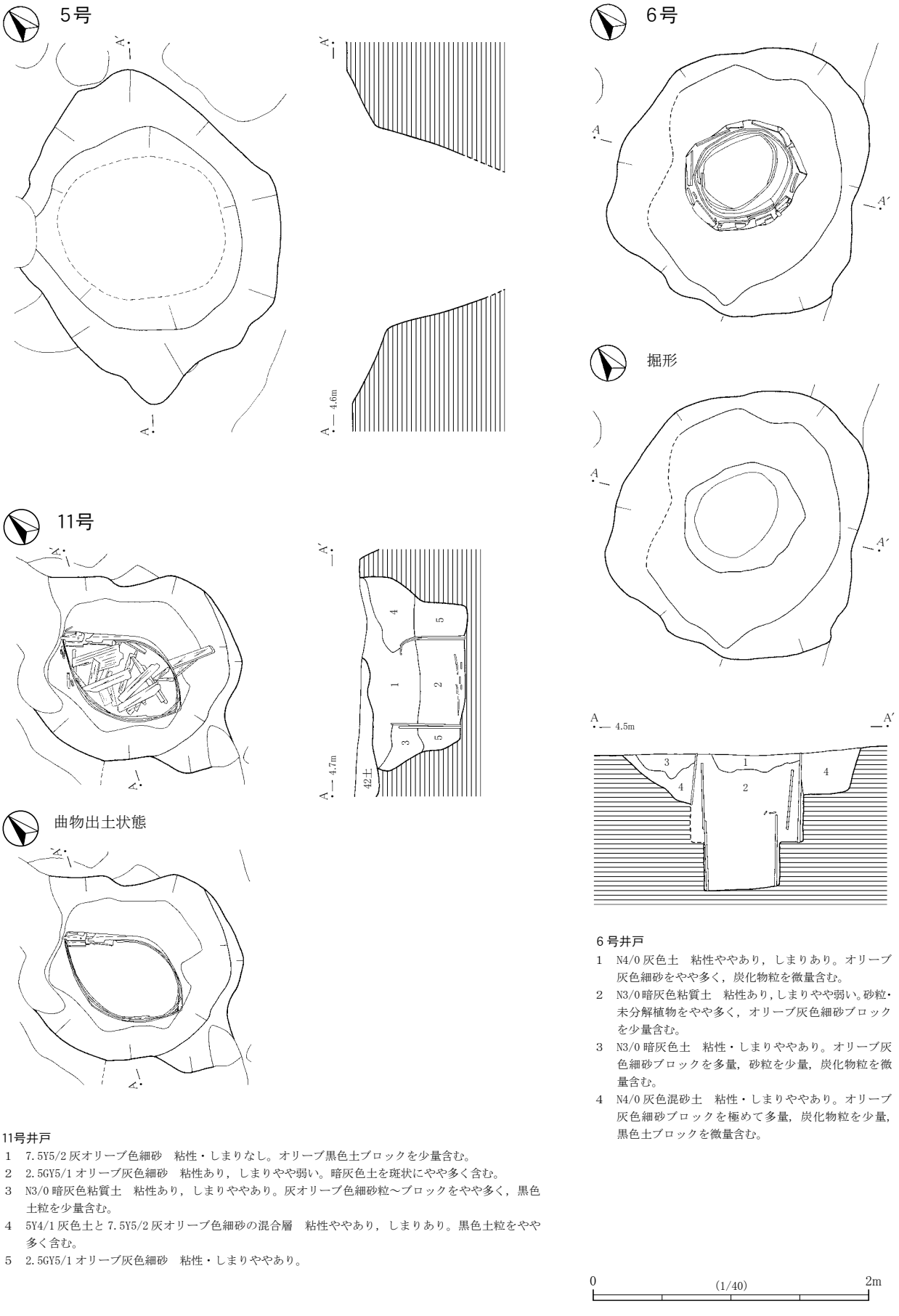


4号井戸

1　N1.5/0 黒色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを多量含む。
2　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/3 オリーブ黄色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりあり。黒色土を少量含む。
3　5Y4/1 灰色土　粘性あり，しまりやや弱い。黒色土・オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量含む。
4　5Y4/1 灰色土と 2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性あり，しまりややあり。未分解植物を少量，炭化材を微量含む。
5　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまり弱い。



第36図　1 ～ 4号井戸



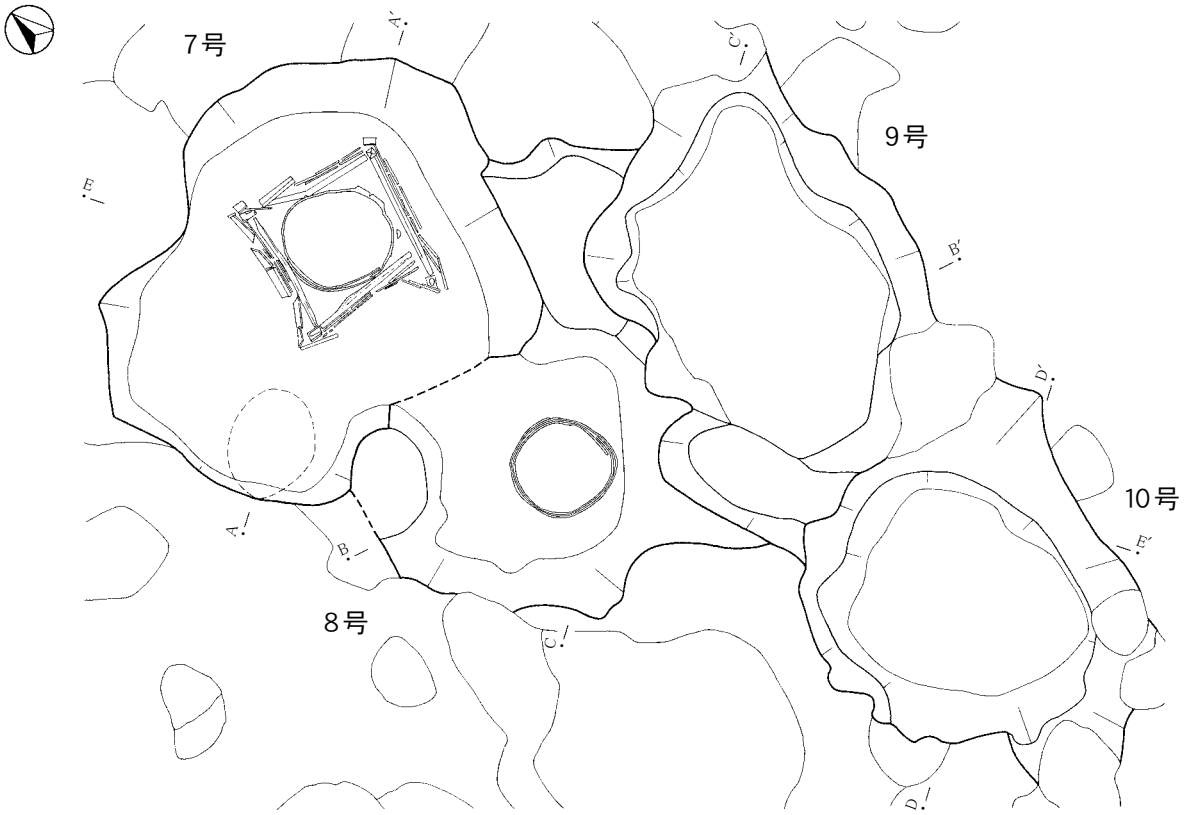
11号井戸

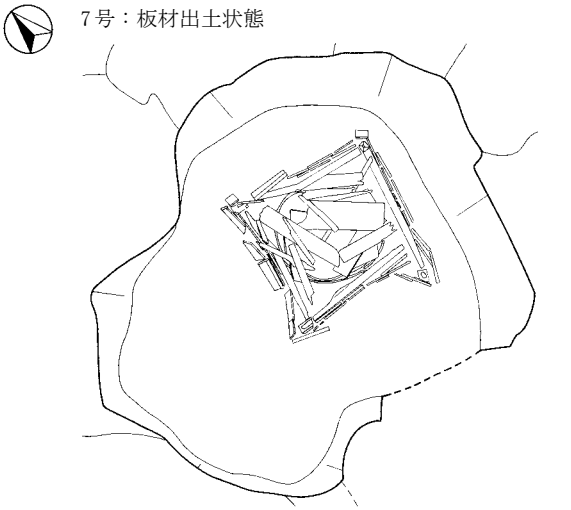
1　7.5Y5/2 灰オリーブ色細砂　粘性・しまりなし。オリーブ黒色土ブロックを少量含む。
2　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性あり，しまりやや弱い。暗灰色土を斑状にやや多く含む。
3　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土粒を少量含む。
4　5Y4/1 灰色土と 7.5Y5/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりあり。黒色土粒をやや多く含む。
5　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。

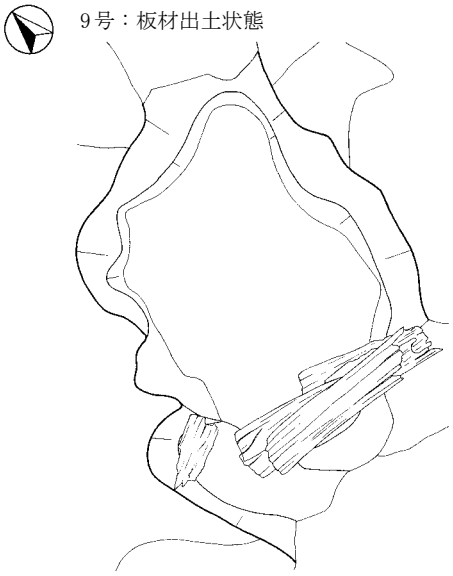
6号井戸

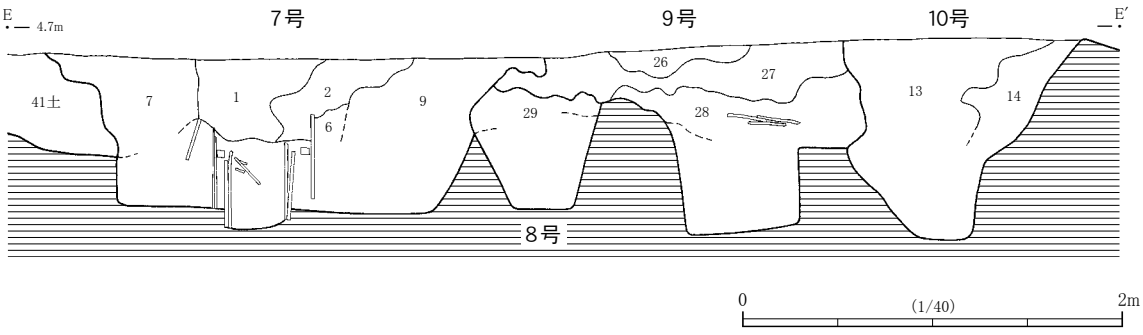
1　N4/0 灰色土　粘性ややあり，しまりあり。オリーブ灰色細砂をやや多く，炭化物粒を微量含む。
2　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。砂粒・未分解植物をやや多く，オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
3　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。
4　N4/0 灰色混砂土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量，黒色土ブロックを微量含む。

第37図　5・6・11号井戸

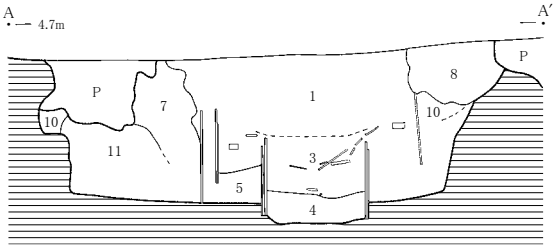


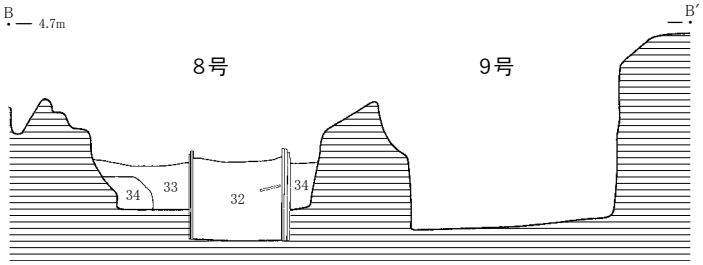


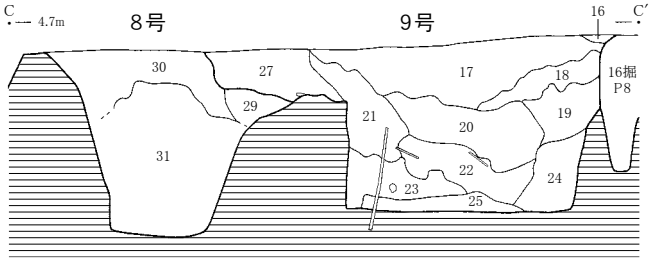


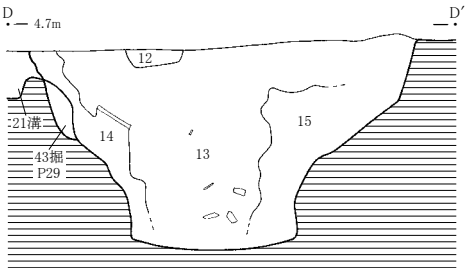


第38図　7～10号井戸（1）



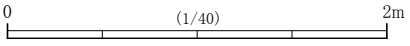




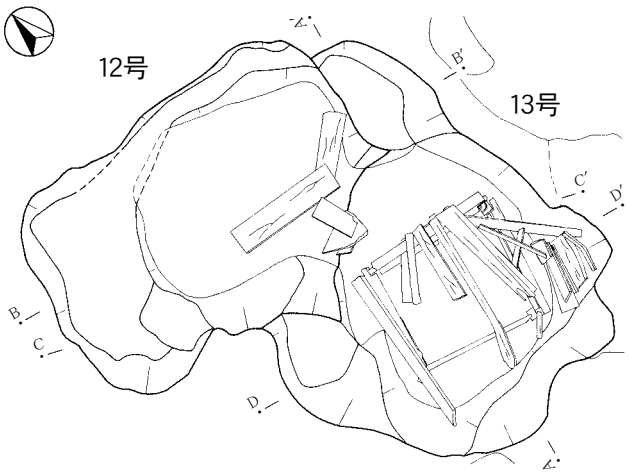


7・8・9・10号井戸

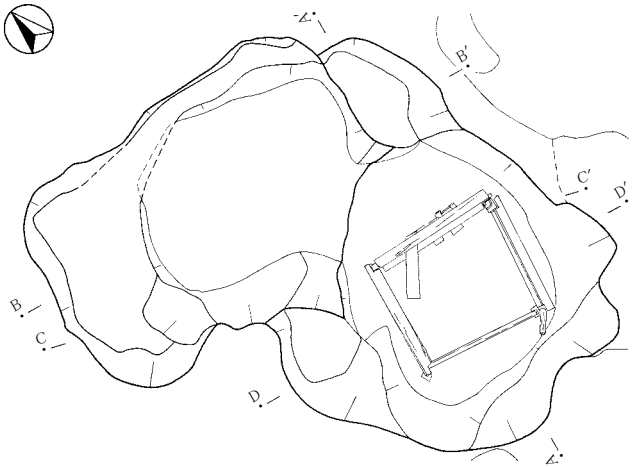
1　2.5Y4/1 黄灰色土～N3/0 暗灰色粘質土　粘性・しまりあり。黒色土粒・浅黄色細砂粒を少量含む。
2　N4/0　灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土ブロック・灰オリーブ色細砂ブロックやや多く，黄灰色土を少量含む。
3　N3/0 暗灰色シルト質細砂　粘性あり，しまり弱い。未分解植物を多量含む。
4　5Y4/1 灰色砂　粘性・しまりなし。湧水が著しい。
5　N3/0 暗灰色シルト質細砂　粘性あり，しまり弱い。
6　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，黒色土粒を少量含む。
7　2.5Y5/3 黄褐色土と N4/0 灰色土および 7.5Y6/2 灰オリーブ色～2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂大ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒～ブロックを少量含む。
8　2.5Y5/1 黄灰色土と 5Y7/3 浅黄色細砂大ブロックの混合層　粘性なく，しまりあり。黒色土粒を少量含む。
9　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色～オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，黒色土粒を少量含む。
10　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色土ブロックを少量含む。
11　N3/0 暗灰色粘質土　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を微量含む。
12　5Y2/1 黒色土　粘性なく，しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒を極めて多量含む。
13　2.5Y4/1 黄灰色～N3/0 暗灰色土と 5Y5/2 灰オリーブ色～2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土が薄い帯状に部分的に少量混じる。黒色土粒～ブロック・炭化物粒～材を少量含む。
14　5Y5/2 灰オリーブ色細砂を基調とした 2.5Y4/1 黄灰色土との混合層　粘性なく，しまりあり。黒色土粒を微量含む。
15　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂を基調とした N4/0 灰色土との混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒を微量含む。
16　5Y3/1 オリーブ黒色土と N1.5/0 黒色土の混合層　粘性なく，しまりあり。浅黄色シルト～細砂粒を極めて多量含む。
17　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂ブロックを極めて多量，黒色土粒をやや多く，炭化材を少量含む。
18　5Y3/1 オリーブ黒色土と 2.5Y6/3 にぶい黄色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。黒色土ブロックを極めて多量含む。
19　7.5Y6/2 灰オリーブ色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。黄灰色土を極めて多量，黒色土を少量含む。
20　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色～オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，黒色土を多量，黒褐色腐植土を少量含む。
21　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色～オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量，黒色土粒を微量含む。
22　N4/0 灰色細砂と 7.5Y5/2 灰オリーブ色細砂ブロックの混合層　粘性やや弱く，しまり弱い。黒色土粒を多量，未分解植物をやや多く，炭化物粒を少量含む。
23　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂と 7.5Y5/2 灰オリーブ色細砂粒～ブロックの混合層　粘性やや弱く，しまり弱い。暗灰色粘質シルトをやや多く，黒色土粒・未分解植物を少量含む。
24　2.5Y5/4 黄褐色～2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性なく，しまりやや弱い。灰色細砂を横縞状にやや多く含む。
25　N3/0 暗灰色シルト質細砂　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く含む。
26　2.5Y5/2 暗灰黄色シルト質土　粘性なく，しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，黒色土粒を多量含む。
27　2.5Y4/1 黄灰色土と 2.5Y6/3 にぶい黄色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
28　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色土ブロックを斑状にやや多く，黒色土粒を少量含む。
29　5Y3/1 オリーブ黒色土と 2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりあり。黒色土粒～ブロックをやや多く含む。
30　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性なく，しまりあり。黒色土粒・にぶい黄色細砂粒を多量，にぶい黄色細砂ブロック・炭化物粒を少量含む。
31　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色～灰オリーブ色細砂大ブロックを極めて多量，黒色土粒をやや多く含む。
32　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまり弱い。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，黒色土粒～ブロックをやや多く，未分解植物を少量含む。
33　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。砂粒・黒色土ブロックを多量含む。
34　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性あり，しまり弱い。黒色土ブロックを微量含む。

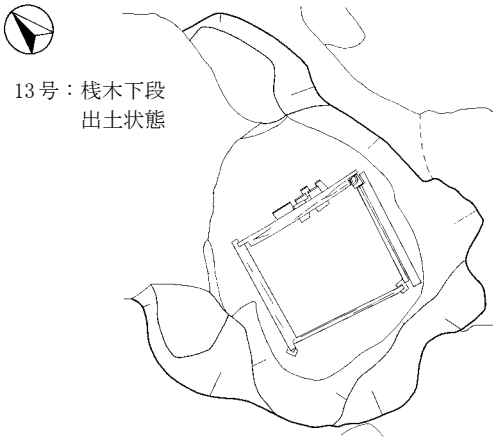


第39図　7～10号井戸（2）

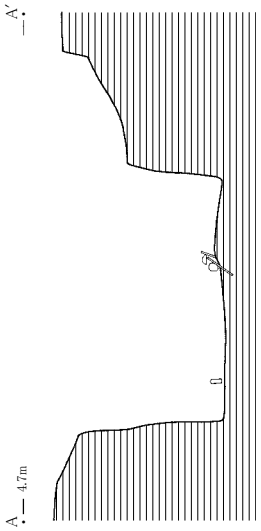


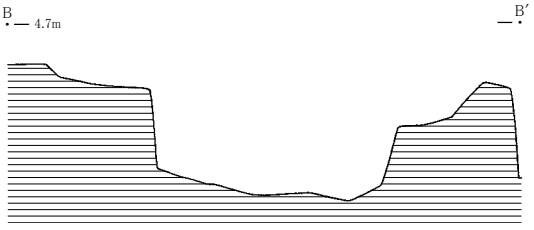
12号：掘形／13号：桟木上段出土状態

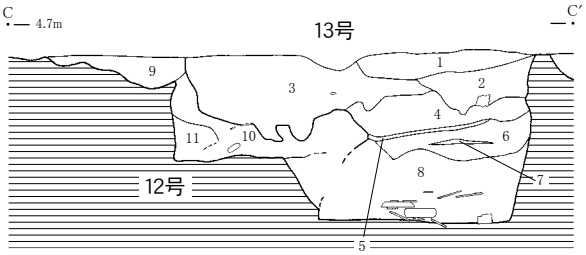


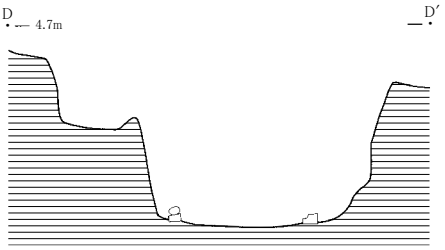


13号：桟木下段
出土状態







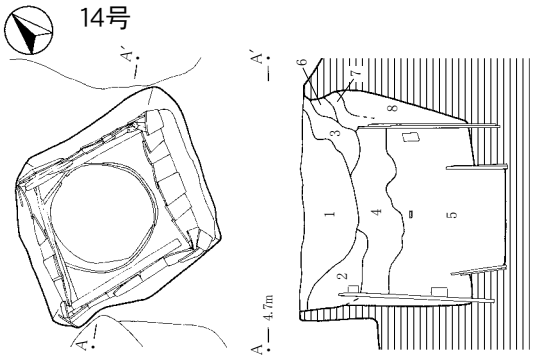


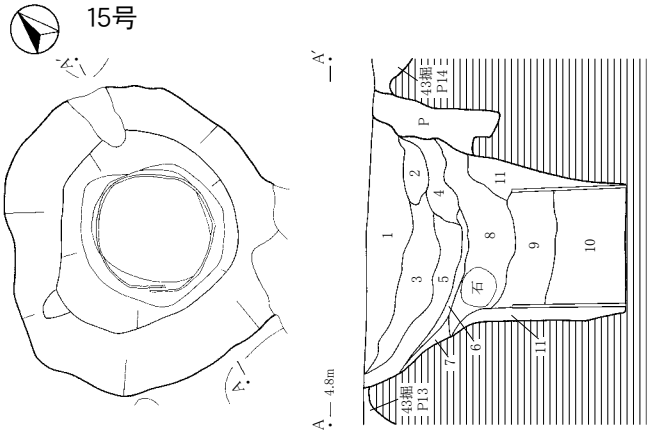
13号井戸

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒を微量含む。
2　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，炭化物粒を微量含む。
3　5Y5/2 灰オリーブ色細砂　粘性なく，しまり弱い。灰白色細砂をやや多く，黄灰色土を少量含む。
4　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒をやや多く，砂粒を少量，黒色土ブロックを微量含む。
5　7.5YR3/2 黒褐色腐植土　粘性ややあり，しまりあり。
6　2.5Y4/1 黄灰色粘質土　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを少量，黒色土粒を微量含む。
7　7.5YR3/2 黒褐色腐植土と 2.5Y4/1 黄灰色粘質土が薄く互層状に堆積する。粘性あり，しまり弱い。
8　2.5GY4/1 暗オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色粘質土を少量含む。
9　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックをやや多く，砂粒・黒色土粒を少量含む。
10　2.5Y4/1 黄灰色粘質土　粘性強く，しまりあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，炭化物粒を微量含む。
11　2.5GY4/1　暗オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。

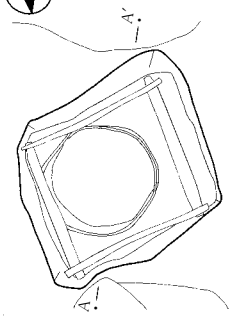
0　(1/40)　2m

第40図　12・13号井戸





曲物・桟木出土状態

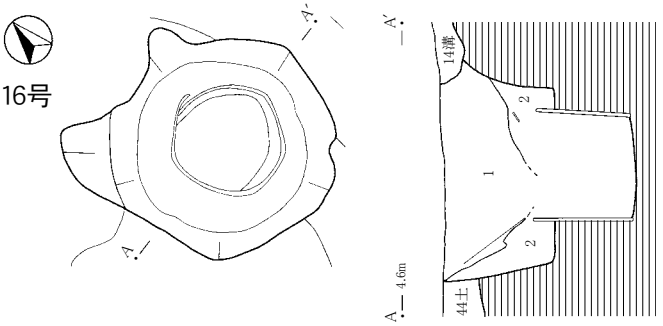


14号井戸

1　2.5Y5/1 黄灰色～2.5Y3/1 黒褐色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックを極めて多量，砂粒・黒色土粒を少量，赤色粒・炭化物粒～材を微量含む。
2　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。砂粒・オリーブ黄色～オリーブ灰色細砂粒をやや多く，炭化物粒を微量含む。
3　2.5Y6/2 灰黄色～5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒をやや多く，砂粒を少量，黒色土ブロックを微量含む。
4　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロック・炭化物粒を少量含む。
5　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまり弱い。黒褐色腐植土・オリーブ灰色細砂ブロックを多量，未分解植物をやや多く含む。
6　5Y6/3 オリーブ黄色細砂　粘性・しまりややあり。
7　N4/0 灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂をやや多く，黒色土粒を微量含む。
8　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。

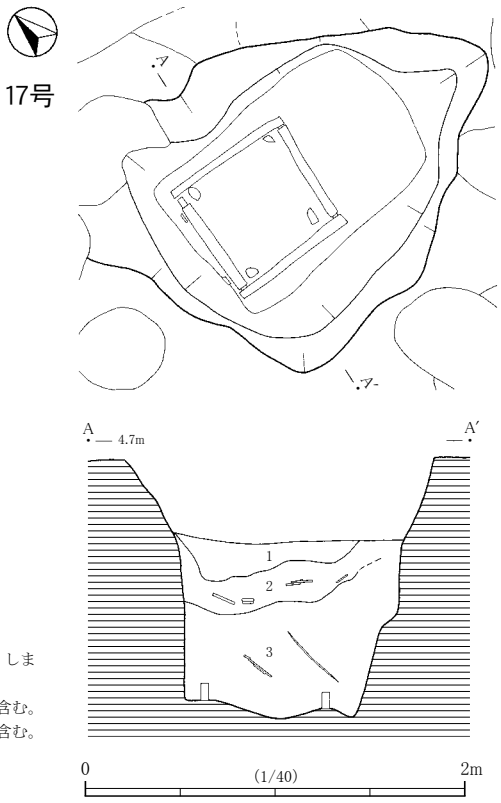
15号井戸

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒をやや多く，黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性あり，しまりややあり。黒色土・オリーブ灰色細砂を少量含む。
3　N1.5/0 黒色土と 5Y3/1 オリーブ黒色粘質土の混合層　粘性あり，しまり弱い。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを多量，腐植土を薄い帯状に少量含む。
4　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性あり，しまりややあり。灰オリーブ色～オリーブ灰色細砂粒～ブロックを多量，炭化物粒～材を少量含む。
5　2.5Y3/1 黒褐色粘質土　粘性強く，しまりやや弱い。灰オリーブ色～オリーブ灰色細砂粒をやや多く，黒色土粒・炭化物粒を微量含む。
6　N2/0 黒色土と 5Y3/1 オリーブ黒色土の混合層　粘性あり，しまり弱い。未分解植物を少量含む。
7　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰色土を少量含む。
8　N4/0 灰色砂質土　粘性ややあり，しまり弱い。オリーブ灰色細砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。
9　2.5GY5/1 オリーブ灰色粘質シルト　粘性あり，しまりやや弱い。
10　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒～ブロック・未分解植物をやや多く，炭化材を少量含む。
11　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。



16号井戸

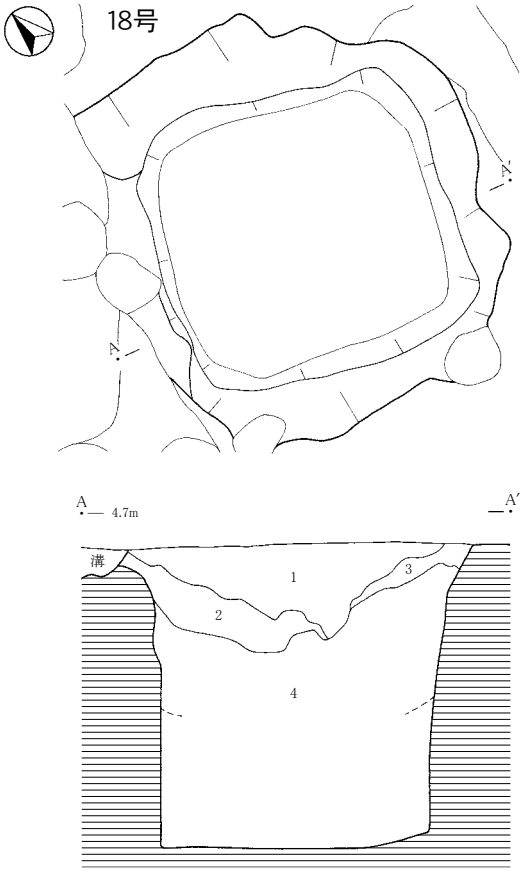
1　N4/0 灰色土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性・しまりあり。砂粒のほか黒色土を薄い帯状に少量，黒色土粒を微量含む。
2　2.5GY5/1 オリーブ灰色粘質シルト　粘性強く，しまりあり。含水性が高い。灰色土粒を少量含む。

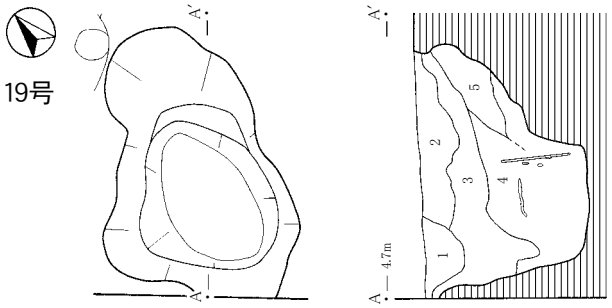


17号井戸

1　N4/0 灰色土と 2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土・砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　7.5YR2/1 黒色腐植土　粘性ややあり，しまり弱い。未分解植物を極めて多量含む。
3　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまり弱い。未分解植物を少量含む。

第41図　14～17号井戸



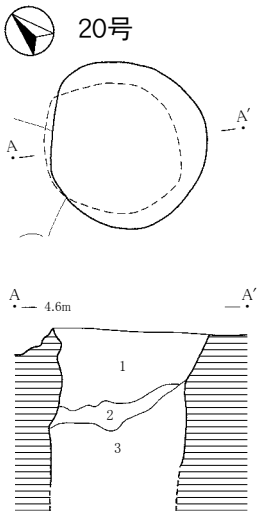


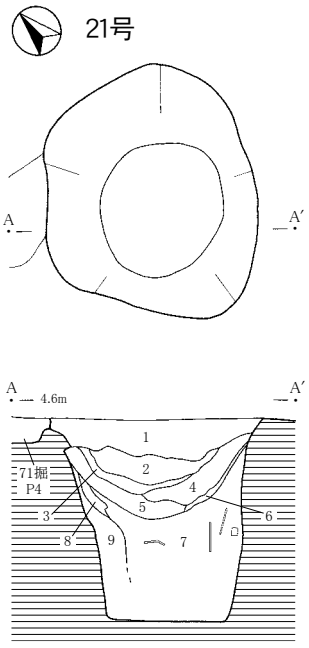
19号井戸

1　5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土粒を多量，黒色土・灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，炭化物粒を少量含む。
2　5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒を少量含む。
3　N3/0 暗灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を少量含む。
4　5GY5/1 オリーブ灰色細砂と N3/0 暗灰色土の混合層　粘性あり，しまりややあり。黒色土粒を微量含む。
5　N3/0 暗灰色土と 5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性あり，しまりややあり。黒色土粒を微量含む。

18号井戸

1　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土粒・炭化物粒を少量含む。
2　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂をやや多く，炭化物粒を微量含む。
3　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性なく，しまりややあり。灰色土を斑状にやや多く含む。
4　N4/0 灰色粘質土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性強く，しまりやや弱い。砂粒を少量，未分解植物を微量含む。



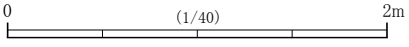


20号井戸

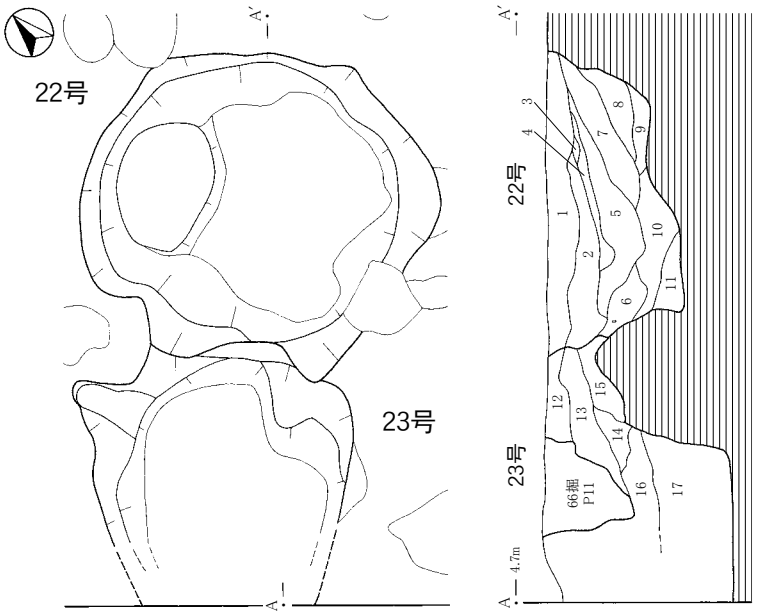
1　2.5Y4/1 黄灰色～N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色～オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，黒色土粒・炭化材を少量含む。
2　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。黒色腐植土が上層との層理面に薄く堆積する。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く含む。
3　N4/0 灰色粘質土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性あり，しまりややあり。黒色土・腐植土を少量含む。

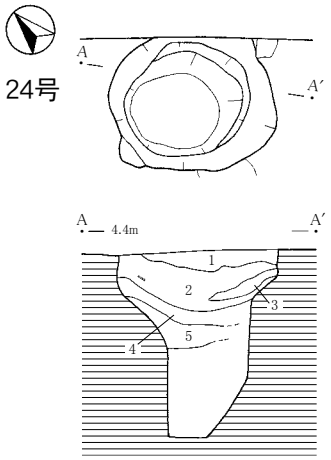
21号井戸

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土粒を少量，炭化材を微量含む。
2　N4/0 灰色土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土粒を少量含む。
3　N4/0 灰色土と N1.5/0 黒色土の混合層　粘性あり，しまりやや弱い。
4　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を少量，黒色土粒を微量含む。
5　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を微量含む。
6　N1.5/0 黒色土　粘性あり，しまり弱い。
7　7.5YR2/1　黒色腐植土　粘性あり，しまり弱い。未分解植物を多量，暗灰色土・オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
8　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，黒色土粒を微量含む。
9　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。



第42図　18～21号井戸



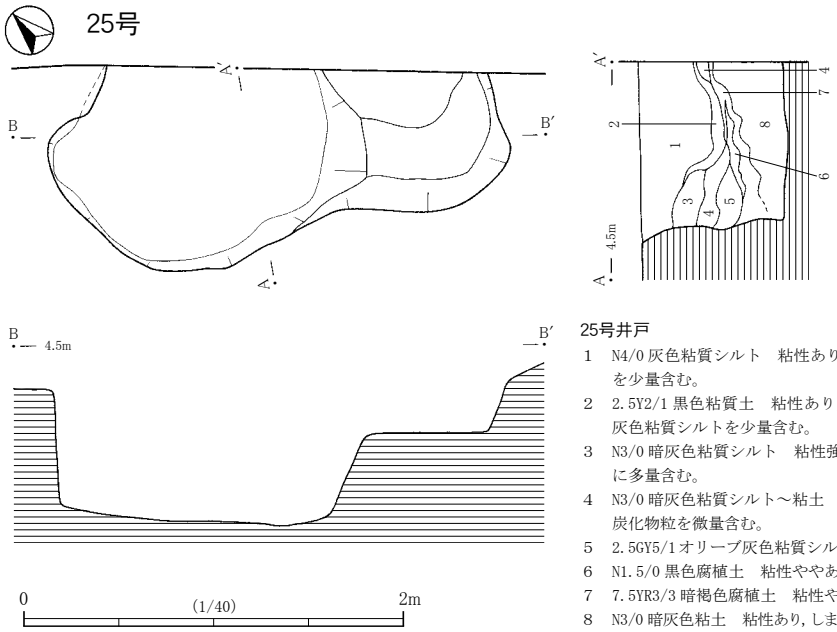


22・23号井戸

1　7.5Y5/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒をやや多く含む。
2　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。緑灰色細砂粒～ブロックを多量，炭化物粒をやや多く含む。
3　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性なく，しまり弱い。
4　N1.5/0 黒色腐植土　粘性ややあり，しまり弱い。未分解植物を多量，黒褐色土をやや多く，緑灰色細砂ブロックを少量含む。
5　7.5YR3/2 黒褐色腐植土　粘性ややあり，しまりやや弱い。未分解植物を多量，オリーブ灰色細砂を横縞状にやや多く，黒色粘質土を少量，オリーブ灰色細砂ブロックを微量含む。
6　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。黒色土・オリーブ灰色細砂粒・炭化物粒を少量含む。
7　5Y4/1 灰色シルト質細砂と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを多量，炭化物粒～材を少量，黒色土粒を微量含む。
8　N4/0 灰色シルト質細砂　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，炭化物粒を微量含む。
9　N3/0 暗灰色粘土　粘性強く，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロック・未分解植物を少量含む。
10　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，黒色土ブロックをやや多く，未分解植物を少量含む。
11　N3/0 暗灰色粘土　粘性強く，しまりあり。未分解植物をやや多く含む。
12　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
13　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂を極めて多量，未分解植物をやや多く，炭化物を少量含む。
14　N3/0 暗灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒をやや多く，炭化物粒を微量含む。
15　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，炭化物粒を少量含む。
16　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
17　N3/0 暗灰色粘土　粘性・しまりあり。

24号井戸

1　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色シルトをやや多く，黒色土・オリーブ灰色シルトブロック・炭化物粒を少量含む。
2　5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまり弱い。含水性が高い。灰オリーブ色粘土ブロック・未分解植物をやや多く，炭化材を少量含む。
3　5Y4/2 灰オリーブ色粘土　粘性あり，しまりやや弱い。黒色土を壁際にやや多く，炭化物粒を微量含む。
4　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性なく，しまり弱い。含水性が極めて高い。暗灰黄色土ブロックをやや多く含む。
5　5Y2/1 黒色土　粘性なく，しまり弱い。未分解植物をやや多く，暗灰黄色土ブロックを少量含む。



25号井戸

1　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。炭化物粒をやや多く，未分解植物を少量含む。
2　2.5Y2/1 黒色粘質土　粘性あり，しまりややあり。未分解植物をやや多く，オリーブ灰色粘質シルトを少量含む。
3　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性強く，しまりややあり。オリーブ灰色粘質シルトを斑状に多量含む。
4　N3/0 暗灰色粘質シルト～粘土　粘性・しまりあり。オリーブ灰色粘質シルト粒を少量，炭化物粒を微量含む。
5　2.5GY5/1 オリーブ灰色粘質シルト　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物を少量含む。
6　N1.5/0 黒色腐植土　粘性ややあり，しまりやや弱い。未分解植物を主体とする。
7　7.5YR3/3 暗褐色腐植土　粘性ややあり，しまりやや弱い。未分解植物を主体とする。
8　N3/0 暗灰色粘土　粘性あり，しまりややあり。含水性が高い。未分解植物をやや多く含む。

第43図　22～25号井戸

24 号井戸（第 43 図） Ls1-4 グリッドに位置する。遺構の一部が調査区外に延びるが，平面は円形である。検出した規模は 92cm×72cm，検出面からの深さは 97cmである。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器，珠洲の小片，木製品が出土している。

25 号井戸（第 43 図） Ls3-4～Ls4-5 グリッドに位置する。遺構の一部が調査区外に延びるため，全容は不明であるが，平面は楕円形と推定される。検出した規模は 281cm×116cm，検出面からの深さは 89cmである。井戸枠や水溜施設は検出されなかった。土師質土器，珠洲の小片，木製品が出土している。

3　土坑・小ピット

土坑については，今回の調査で検出した 120 基以上の中から，69 基を図示した。そのうち，規模の大きな９・11・12・26・67 号土坑については，第 51・52 図にまとめて掲載している。多数検出した小ピットについては，特徴的な遺物が出土した４基を図示した。

1 号土坑（第 44 図） Mq1-1 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 140cm×74cm，検出面からの深さは 12cmである。遺物は出土していない。

2 号土坑（第 44 図） Lr3-1～Lr4-3 グリッドに位置する。平面は不整な方形と推定される。検出できた規模は 332cm×252cm，検出面からの深さは 23cmである。土師質土器と焼成粘土塊が出土している。

3 号土坑（第 44 図） Lr4-3～Lr5-4 グリッドに位置する。平面は不整な円形で，規模は 164cm×136cm，検出面からの深さは 68cmである。土師質土器の小片と木製品が出土している。

4・5 号土坑（第 44 図） Ls1-2～Ls3-2 グリッドに位置する。両者は一部重複しており，その新旧関係は４号土坑の方が古い。４号土坑は，２号溝とも重複しており，平面形は不明である。検出面からの深さは 31cmで，２号溝との新旧関係は，本遺構の方が古い。土師質土器，青白磁，珠洲の小片，砥石が出土した。５号土坑は，平面が楕円形で，規模は 122cm×70cm，検出面からの深さは 16cmである。珠洲の小片と木製品が出土した。

6 号土坑（第 44 図） Ks5-1～Ks5-2 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 100cm×60cm，検出面からの深さは 64cmである。４号溝と一部重複し，本遺構の方が新しい。土製品の小片，種実，鉄滓が出土した。

7 号土坑（第 44 図） Ls3-3～Ls4-4 グリッドに位置する。平面は不整形と推定される。検出できた規模は 260cm×117cm，検出面からの深さは 29cmである。土師質土器の小片が出土している。

8 号土坑（第 44 図） Ms1-3 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 79cm×60cm，検出面からの深さは 36 cmである。1A 号溝と重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。遺物は出土していない。

9 号土坑（第 51 図） On2-5～Oo5-2 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 518cm×326cm，検出面からの深さは 39cmである。土師質土器，青磁の小片，珠洲の小片が出土している。

10 号土坑（第 45 図） No5-3 グッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 98cm×49cm，検出面からの深さは 25cmである。金属製品が出土している。

11 号土坑（第 51 図） Oo2-3～Oo4-5 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 509cm×300cm，検出面からの深さは 38cmである。11 号溝と連接することから，排水に関連した施設と考えられる。木製品が出土した。

12 号土坑（第 51 図） Oo4-5～Pp1-2 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 500cm×418cm，検出面からの深さは 26cmである。土師質土器と珠洲の小片が出土している。

13 号土坑（第 45 図） Po2-4～Po3-5 グリッドに位置する。平面は不整な円形で，径は 133cm，検出面からの深さは 48cmである。４号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明。土師質土器の小片が出土した。

14 号土坑（第 45 図） Pp1-2～Pp1-3 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 138㎝×134㎝，検出面からの深さは 13㎝である。木製品が出土している。

15 号土坑（第 45 図） Op2-4～Op2-5 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 147㎝×116㎝，検出面からの深さは 25㎝である。土師質土器と木製品が出土している。

16 号土坑（第 45 図） Op5-4～Pp1-4 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 246㎝×222㎝，検出面からの深さは 30㎝である。５号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。

17 号土坑（第 45 図） Op5-5～Pq1-1 グリッドに位置する。平面は不整形で，規模は 233㎝×166㎝，検出面からの深さは 24㎝である。19 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。土師質土器の小片，砥石，鉄滓が出土している。

18・19 号土坑（第 45 図） Op3-5～Oq4-1 グリッドに位置する。両者は一部重複し，その新旧関係は 18 号土坑の方が古い。18 号土坑は，平面が不整な楕円形で，規模は 222㎝×114㎝，検出面からの深さは 25㎝である。５号掘立柱建物の柱穴とも一部重複し，新旧関係は本遺構の方が新しい。土師質土器の小片が出土している。19 号土坑は，平面が円形で，規模は 169㎝×161㎝，検出面からの深さは 24㎝である。土師質土器の小片が出土した。

20 号土坑（第 45 図） Oq3-2～Oq4-2 グリッドに位置する。平面は方形で，規模は 100㎝×64㎝，検出面からの深さは 43㎝である。土師質土器が出土している。

21 号土坑（第 45 図） Oq5-1～Oq5-2 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 82㎝×56㎝，検出面からの深さは 21㎝である。19 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器が出土している。

22 号土坑（第 46 図） Pq3-1 グリッドに位置する。複数の遺構によって壊されており，平面形は不明である。検出面からの深さは８㎝である。20 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器が出土している。

23 号土坑（第 46 図） Pq2-2～Pq3-2 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 178㎝×84㎝，検出面からの深さは 32㎝である。24・33 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は後者より古く，前者とは不明である。土師質土器と瓦器が出土している。

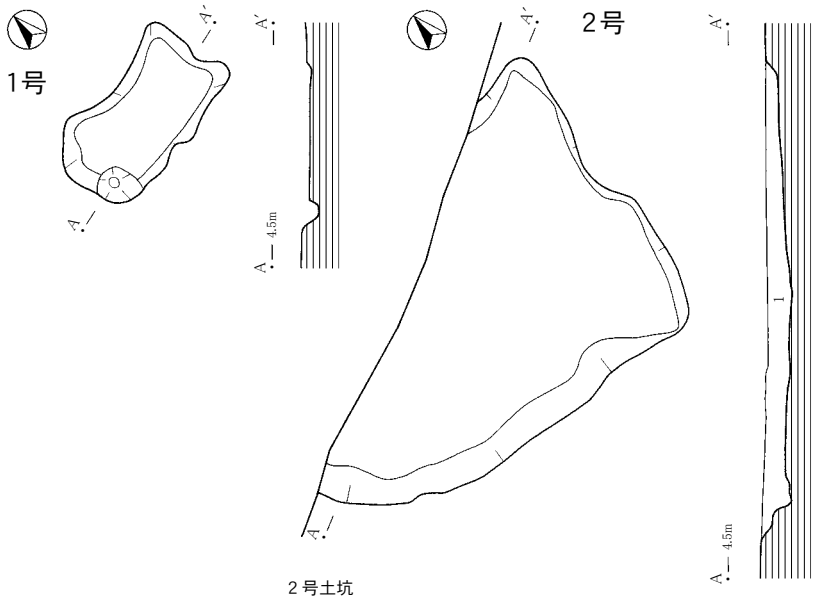
24 号土坑（第 46 図） Pq4-1～Pq5-1 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 95㎝×93㎝，検出面からの深さは 77㎝である。土師質土器の小片，焼成粘土塊，砥石が出土している。

25 号土坑（第 46 図） Pq5-2～Pq5-3 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 131㎝×90㎝，検出面からの深さは 52㎝である。土師質土器，青磁の小片，焼成粘土塊，鉄滓，木製品が出土している。

26 号土坑（第 51 図） Qp2-4～Qq4-1 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 485㎝×395㎝，検出面からの深さは 93㎝である。24 号溝と連接することから，排水に関連した施設と考えられる。13 号掘立柱建物，36 号溝と一部重複しており，新旧関係は前者より古く，後者より新しい。土師質土器，珠洲，須恵器系陶器，木製品が出土している。

27 号土坑（第 46 図） Oq5-3 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 147㎝×90㎝，検出面からの深さは 23㎝である。20 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。

28・29 号土坑（第 46 図） Oq4-3～Oq5-3 グリッドに位置する。両者とも 18 号溝より古い。28 号土坑は，平面が不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 114㎝×94㎝，検出面からの深さは 41㎝である。４号井戸とも一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。土師質土器が出土している。29 号土坑は，平面が不整な楕円形で，規模は 153㎝×92㎝，検出面からの深さは 12㎝である。土師質土器と木製品が出土している。



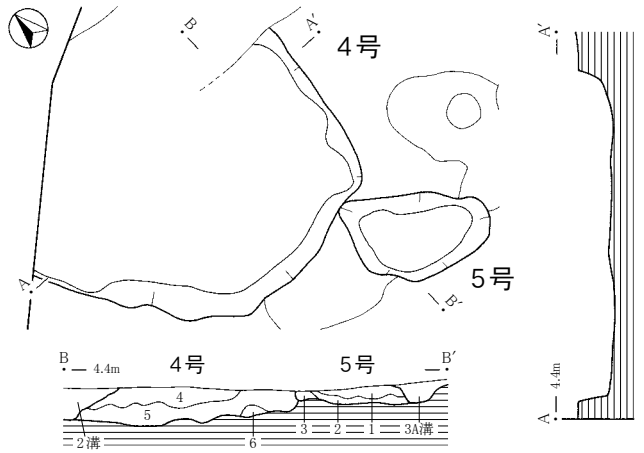
2号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色砂質土と N2/0 黒色土および 5B5/1 青灰色細砂の混合層　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ黄色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒・未分解植物をやや多く含む。

3号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色砂質土と 5Y5/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒～ブロックを極めて多量，灰オリーブ色細砂ブロックを含む。

2　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物を少量，黒色土粒を微量含む。



4・5号土坑

1　5Y4/1 灰色土と N1.5/0 黒色土の混合層　粘性・しまりややあり。灰白色細砂粒をやや多く，明褐色土粒・炭化物粒を微量含む。

2　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒を微量含む。

3　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。灰色土を斑状に極めて多量，炭化物粒を微量含む。

4　5Y4/1 灰色土　粘性弱く，しまりあり。オリーブ灰色～灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒をやや多く含む。

5　5Y4/1 灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，未分解植物をやや多く，炭化物粒を少量含む。

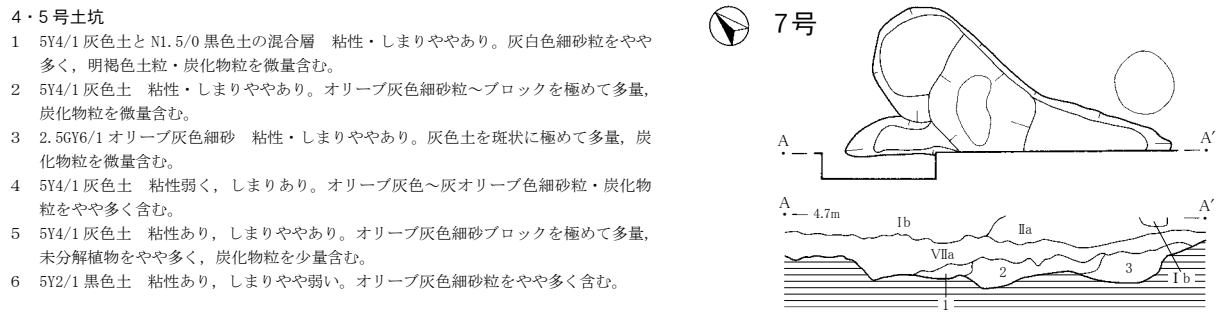
6　5Y2/1 黒色土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒をやや多く含む。

6号土坑

1　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂を斑状に極めて多量，炭化物粒をやや多く，未分解植物を少量含む。

2　N4/0 灰色粘土　粘性あり，しまりややあり。黒色腐植土を帯状に多量，オリーブ灰色細砂・未分解植物をやや多く含む。

3　N1.5/0 黒色腐植土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロック・未分解植物を多量含む。

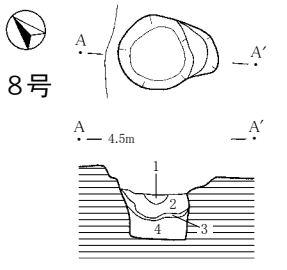


7号土坑

1　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。灰色土を斑状にやや多く，炭化物粒を微量含む。

2　5Y4/1 灰色シルト質土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量含む。

3　7.5Y2/1 黒色粘質土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。



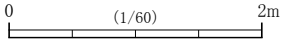
8号土坑

1　7.5Y6/2 灰オリーブ色細砂　粘性・しまりややあり。黒色土を横縞状にやや多く，炭化物粒を少量含む。

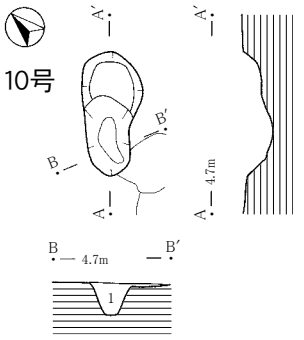
2　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。含水性が高い。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，未分解植物をやや多く含む。

3　N1.5/0 黒色～ 7.5YR2/2 黒褐色腐植土　粘性あり，しまり弱い。遺存の良好なヨシを基調とし，オリーブ灰色細砂をやや多く含む。

4　N4/0 灰色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物をやや多く，炭化物粒を少量含む。

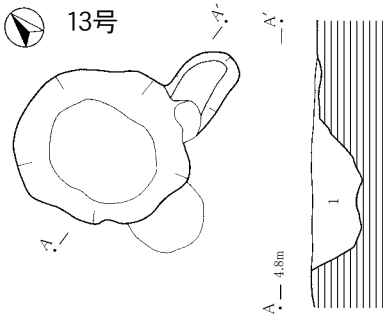


第44図　1～8号土坑



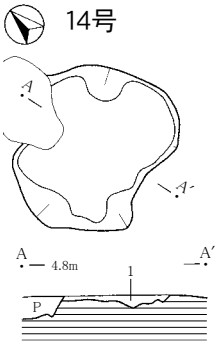
10号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性弱く，しまりあり。灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，炭化物粒を微量含む。



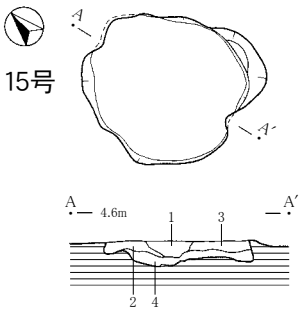
13号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を微量含む。



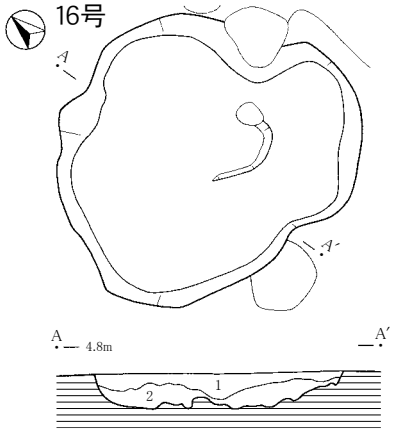
14号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，黒色土粒を微量含む。



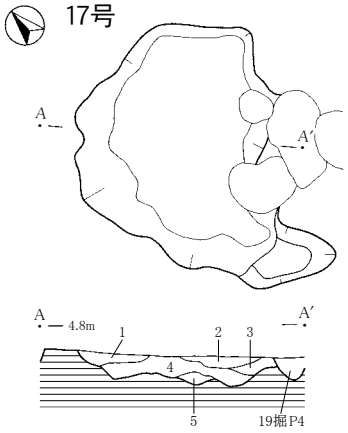
15号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性あり，しまりやや弱い。炭化物粒・未分解植物を少量，灰オリーブ色細砂粒を微量含む。
2　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒をやや多く，炭化物粒を微量含む。
3　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。黄灰色土粒～ブロックをやや多く，炭化物粒を微量含む。
4　5YR3/1 黒褐色土　粘性あり，しまりやや弱い。黄灰色土粒・未分解植物を多量，黄灰色土ブロックを少量含む。



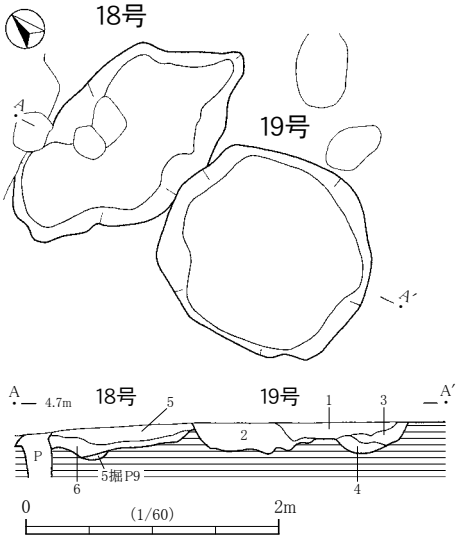
16号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
2　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量，黒色土ブロックを微量含む。



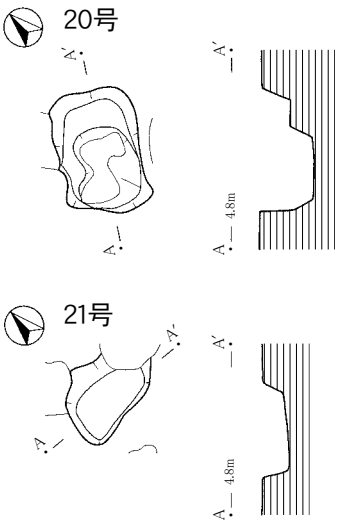
17号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックを少量，黒色土粒を微量含む。
2　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒を多量，黒色土粒を微量含む。
3　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。
4　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を多量，黒色土粒をやや多く，炭化物を微量含む。
5　5Y6/2 灰オリーブ色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色土を斑状に多量，黒色土粒を微量含む。

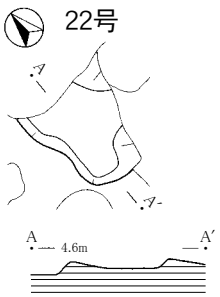


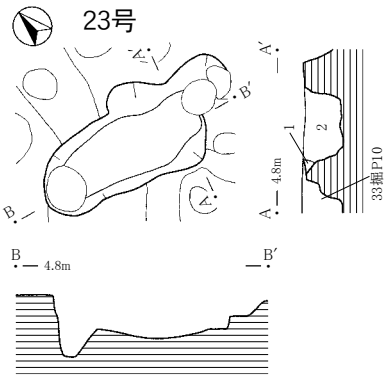
18・19号土坑

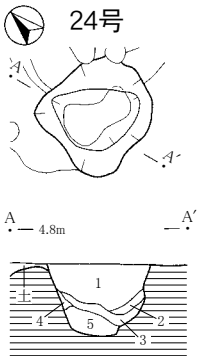
1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒を多量，炭化物粒を微量含む。
2　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒をやや多く，灰オリーブ色細砂粒を少量含む。
3　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒を微量含む。
4　N3/1 暗灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，炭化物粒を微量含む。
5　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を多量，灰オリーブ色細砂粒をやや多く含む。
6　5Y4/1 灰色土と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒を微量含む。



第45図　10・13～21号土坑







24号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロック・黒色土粒をやや多く含む。

2　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまり弱い。暗灰色土をやや多く，腐植土を少量，オリーブ灰色細砂粒を微量含む。

3　7.5YR3/2 黒褐色腐植土　粘性ややあり，しまり弱い。暗灰色土・オリーブ灰色細砂粒を少量含む。

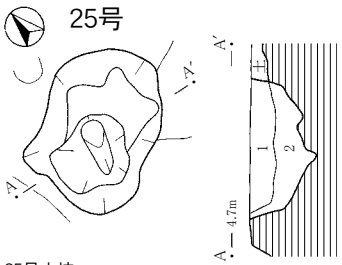
4　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。暗灰色土を多量含む。

5　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く含む。

23号土坑

1　2.5Y5/1 黄灰色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂を多量，黒色土粒を微量含む。

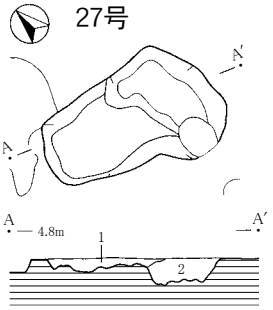
2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土粒を多量，灰オリーブ色細砂粒をやや多く含む。



25号土坑

1　2.5Y2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒～ブロック・黒色土粒～ブロックをやや多く含む。

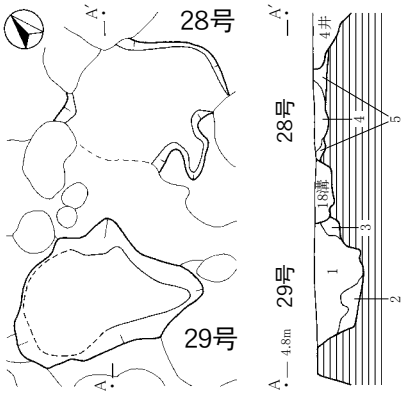
2　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土を斑状にやや多く，灰オリーブ色細砂ブロックを少量含む。



27号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒をやや多く，黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。

2　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/3 オリーブ黄色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。黒色土ブロックを微量含む。



28・29号土坑

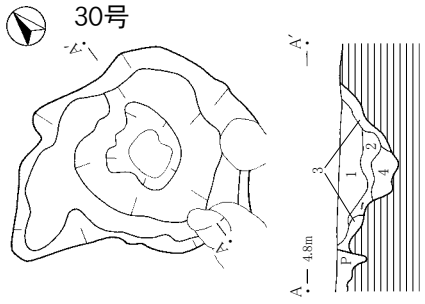
1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒・黒色土粒をやや多く，炭化物粒～材を少量含む。

2　N3/0 暗灰色土　粘性あり，しまりややあり。灰オリーブ色～オリーブ灰色細砂ブロックを多量，黒色土粒を微量含む。

3　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を極めて多量，炭化物粒を少量含む。

4　5Y5/1 灰色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを多量，黒色土粒を微量含む。

5　5Y6/3 オリーブ黄色細砂　粘性なく，しまりややあり。灰色土をやや多く含む。



30号土坑

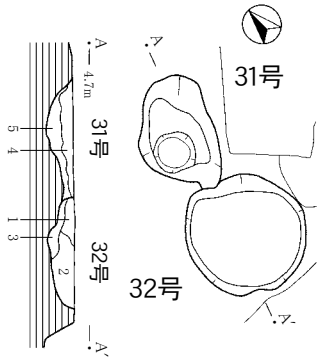
1　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒を多量，砂粒をやや多く含む。

2　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。砂粒・炭化材をやや多く，オリーブ黄色細砂粒を少量含む。

3　5Y5/2 灰オリーブ色土と 5Y6/3 オリーブ黄色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。

4　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色粘質シルトを上半部に極めて多量，オリーブ灰色シルト粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。

5　5Y3/1 オリーブ黒色土～ N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂を斑状に多量，砂粒・オリーブ黄色細砂粒をやや多く含む。



31・32号土坑

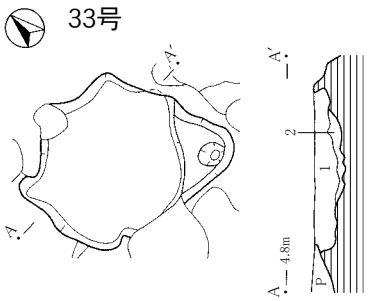
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を多量，オリーブ黄色細砂粒をやや多く含む。

2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を極めて多量，黒色土ブロックをやや多く，炭化物粒を少量含む。

3　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を多量，炭化物粒を少量含む。

4　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を多量，炭化物粒を少量含む。

5　5Y6/3 オリーブ黄色細砂　粘性なく，しまりややあり。黄灰色土をブロック状に多量含む。



33号土坑

1　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性・しまりややあり。浅黄色細砂粒～ブロックを多量，黄灰色土大ブロック・炭化物粒を少量含む。

2　2.5Y2/1 黒色土　粘性あり，しまりややあり。浅黄色細砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。

0　(1/60)　2m

第46図　22～25・27～33号土坑

30 号土坑（第 46 図） 0q1-3～0q2-4 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 216cm×157cm，検出面からの深さは 46cmである。土師質土器の小片と鉄滓が出土している。

31・32 号土坑（第 46 図） 0q2-3～0q3-4 グリッドに位置する。両者は一部重複し，その新旧関係は 31 号土坑の方が古い。31 号土坑は，平面が楕円形で，規模は 95cm×62cm，検出面からの深さは 38cmである。32 号土坑は，平面が円形で，規模は 98cm×96cm，検出面からの深さは 22cmである。土師質土器と銭貨が出土している。

33 号土坑（第 46 図） 0q3-4～0q4-4 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 173cm×124cm，検出面からの深さは 25cmである。16 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器と瓦器の小片が出土している。

34 号土坑（第 47 図） Pq1-4～Pq1-5 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 168cm×118cm，検出面からの深さは 76cmである。28 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器と木製品が出土している。

35・36・37 号土坑（第 47 図） 0q1-4～0r2-1 グリッドに位置する。三者の新旧関係は，古い方から順に，35 号土坑，36 号土坑，37 号土坑となる。平面はいずれも楕円形である。35 号土坑は，規模が 126cm×78cm，検出面からの深さは 41cmである。土師質土器の小片，瓷器系陶器の小片が出土している。36 号土坑は，規模が 238cm×106cm，検出面からの深さは 24cmである。土師質土器の小片と木製品が出土している。37 号土坑は，規模が 105cm×86cm，検出面からの深さは 20cmである。17 号掘立柱建物の柱穴とも一部重複しており，その新旧関係は本遺構の方が新しい。土師質土器の小片，珠洲，銭貨が出土している。

38 号土坑（第 47 図） 0q2-4～0q3-5 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 176cm×120cm，検出面からの深さは 19cmである。15・16・35 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は 16 号掘立柱建物より新しく，それ以外は不明。土師質土器の小片，珠洲，瓷器系陶器が出土した。

39 号土坑（第 47 図） 0q3-5 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 91cm×74cm，検出面からの深さは 25cmである。土師質土器の小片が出土している。

40 号土坑（第 47 図） 0q1-5～0r1-1 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 107cm×70cm，検出面からの深さは 22cmである。14 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器の小片が出土している。

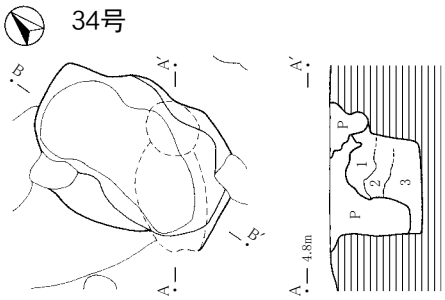
41 号土坑（第 47 図） 0r1-1～0r1-2 グリッドに位置する。 7 号井戸と一部重複しているため，平面形は不明である。検出できた規模は 176cm×106cm，検出面からの深さは 53cmである。17 号掘立柱建物の柱穴とも一部重複する。新旧関係は， 7 号井戸より古く，17 号掘立柱建物とは不明である。土師質土器が出土している。

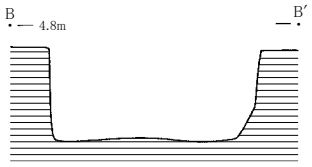
42 号土坑（第 47 図） 0r2-3～0r3-4 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 206cm×104cm，検出面からの深さは 24cmである。18・36 号掘立柱建物の柱穴，11・13 号井戸と一部重複しており，新旧関係は 11 号井戸より新しく，それ以外は不明。土師質土器の小片，砥石，木製品が出土した。

43 号土坑（第 47 図） 0r3-4～0r3-5 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 139cm×88cm，検出面からの深さは 35cmである。38 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。砥石が出土した。

44 号土坑（第 48 図） 0s1-1～0s2-1 グリッドに位置する。平面は円形と推定され，規模は 163cm×130cm，検出面からの深さは 63cmである。16 号井戸と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。珠洲の小片と須恵器系陶器が出土している。

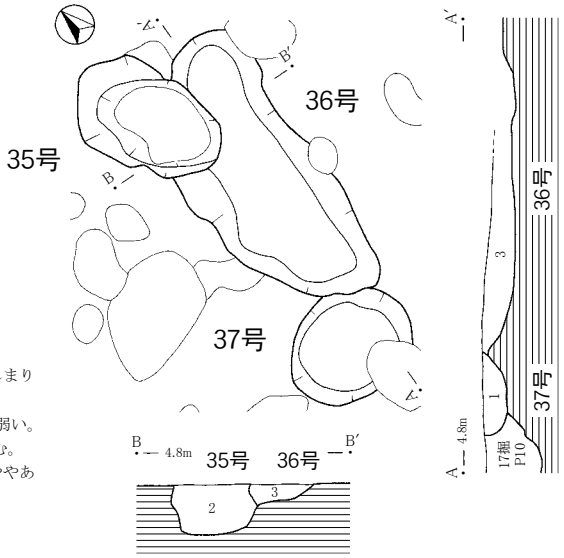
45 号土坑（第 48 図） 0s1-2～0s2-2 グリッドに位置する。平面はやや不整な円形で，規模は 162cm×144cm，検出面からの深さは 59cmである。土師質土器の小片，珠洲，木製品が出土している。





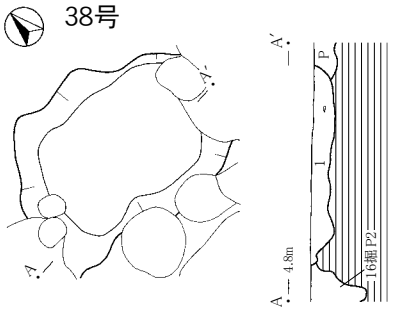
34号土坑

1　5Y5/3 灰オリーブ色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土ブロックを少量含む。
2　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量含む。
3　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。黒色土粒を微量含む。



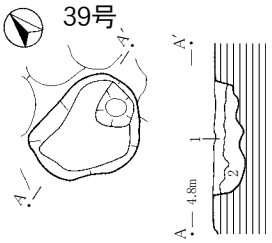
35・36・37号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土・オリーブ黄色細砂ブロックを多量，炭化物粒を微量含む。
2　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土・オリーブ黄色細砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。
3　N1.5/0 黒色土と 5Y4/1 灰色土・5Y6/3 オリーブ黄色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒を微量含む。



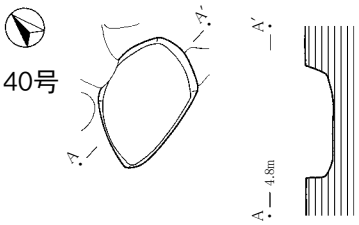
38号土坑

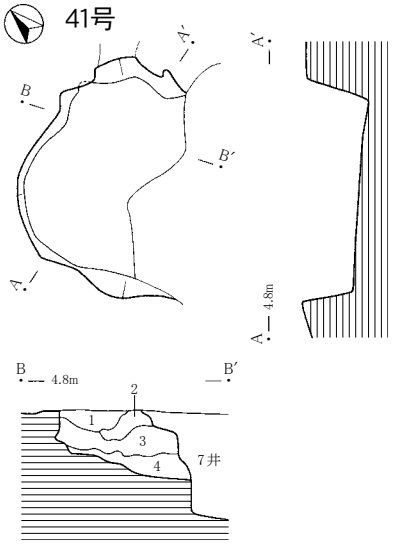
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性なし，しまりあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土ブロック・炭化物粒を少量含む。

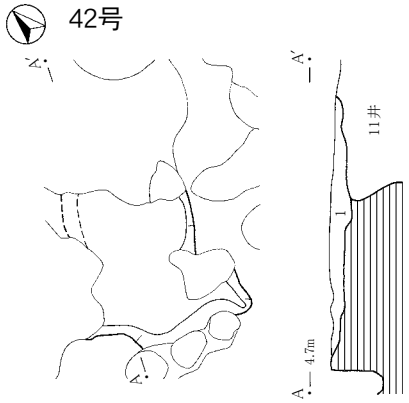


39号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりあり。オリーブ黄色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。
2　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/4 オリーブ黄色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。暗灰色土を斑状にやや多く含む。

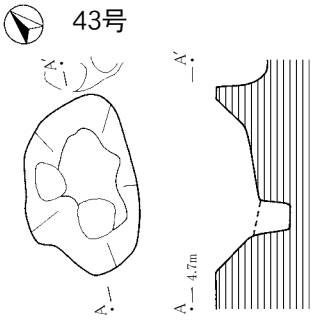






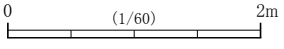
42号土坑

1　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，炭化物を少量含む。

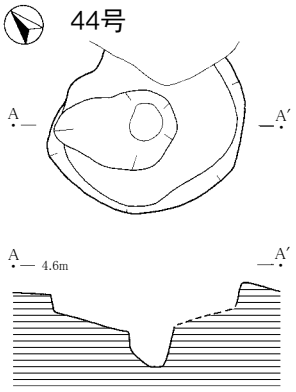


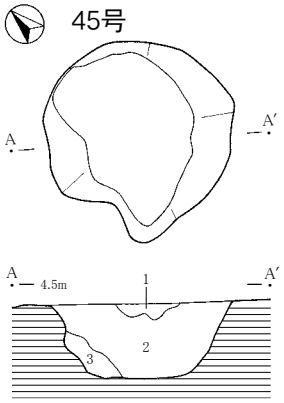
41号土坑

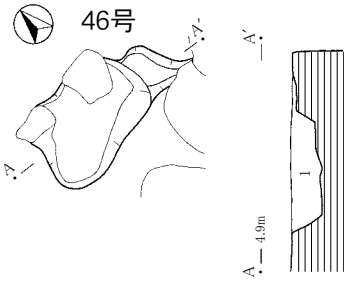
1　2.5Y5/2 暗灰黄色土　粘性なく，しまりあり。オリーブ黄色細砂大ブロックを極めて多量，オリーブ黄色細砂を多量，黒色土粒をやや多く含む。
2　2.5Y5/2 暗灰黄色土と 2.5Y3/1 黒褐色土の混合層　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒を多量，炭化物粒を微量含む。
3　N3/0 暗灰色土と N1.5/0 黒色土および 5Y6/2 灰オリーブ色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。にぶい黄色砂をやや多く含む。
4　5Y5/2 灰オリーブ色細砂　粘性ややあり，しまりあり。黒色土ブロックを多量，黒色土粒をやや多く含む。



第47図　34～43号土坑







46号土坑

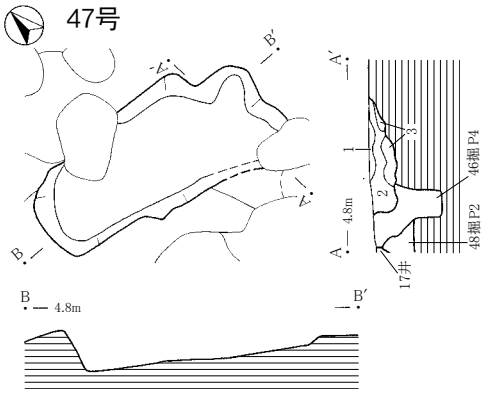
1　5Y4/1 灰色土と 5Y2/1 黒色土および 5Y5/2 灰オリーブ色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒～材をやや多く含む。

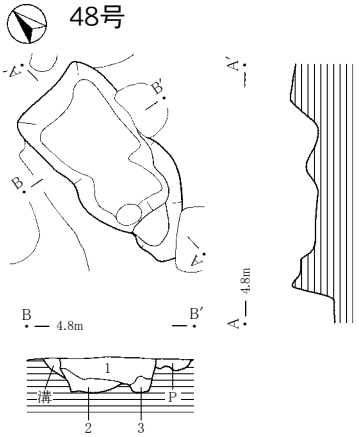
45号土坑

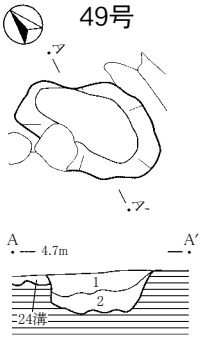
1　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く，炭化物粒を少量含む。

2　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。暗灰色土を多量，砂粒をやや多く，黒色土粒を少量，炭化材を微量含む。

3　10YR3/1 黒褐色粘質シルトと 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性・しまりあり。炭化物粒を微量含む。







47号土坑

1　5Y5/1 灰色土と 5Y6/3 オリーブ黄色細砂の混合層　粘性なく，しまりあり。黒色土粒を少量含む。

2　2.5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまりあり。黒色土粒・オリーブ黄色細砂粒～ブロックを多量，炭化材を少量含む。

3　5Y5/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を極めて多量，黒色土粒をやや多く含む。

48号土坑

1　5Y2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。黒色土をやや多く，オリーブ黄色細砂粒～ブロック・炭化物粒を少量含む。

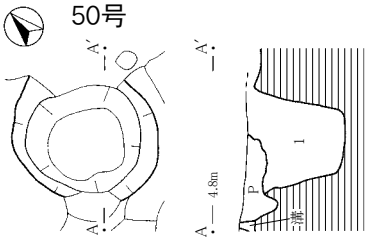
2　5Y4/1 灰色土と N2/0 黒色土および 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性ややあり，しまり弱い。

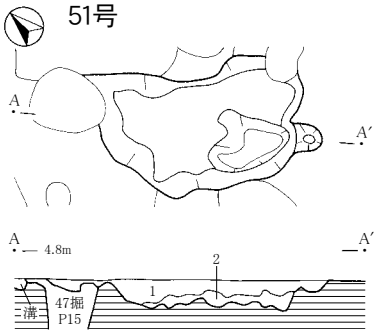
3　7.5Y4/1　灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土・オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く，黒色土粒を少量含む。

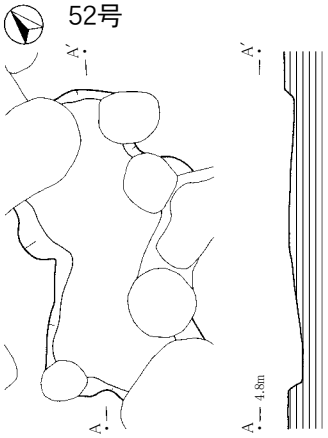
49号土坑

1　2.5Y2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。浅黄色細砂ブロックを多量，黒色土粒・暗灰黄色土ブロックをやや多く含む。

2　2.5Y2/1 黒色土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を少量含む。







50号土坑

1　N4/0 灰色土と 2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒・炭化物粒を微量含む。

51号土坑

1　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性なし，しまりあり。砂粒・オリーブ黄色細砂粒～ブロック・黒色土粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。

2　2.5Y5/1 黄灰色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂を極めて多量，黒色土粒を少量含む。

0　(1/60)　2m

第48図　44～52号土坑

46 号土坑（第 48 図） Or5-3～Pr1-3 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 125cm×72cm，検出面からの深さは 24cmである。40・47 号掘立柱建物の柱穴，47 号土坑と一部重複するが，新旧関係は不明である。古瀬戸が出土している。

47 号土坑（第 48 図） Pr1-2～Pr2-3 グリッドに位置する。平面は方形で，規模は 204cm×92cm，検出面からの深さは 32cmである。43・46 号掘立柱建物の柱穴，46 号土坑と一部重複しており，新旧関係は 46 号掘立柱建物より新しく，それ以外は不明である。土師質土器，砥石の小片，木製品が出土している。

48 号土坑（第 48 図） Pr5-1～Pr5-2 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 165cm×80cm，検出面からの深さは 27cmである。54 号掘立柱建物の柱穴，24 号溝と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器と須恵器系陶器が出土している。

49 号土坑（第 48 図） Pr4-1・Pr4-2 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 116cm×75cm，検出面からの深さは 32cmである。49 号掘立柱建物の柱穴，24 号溝と一部重複しており，新旧関係は後者より新しく，前者とは不明である。土師質土器と木製品が出土している。

50 号土坑（第 48 図） Pr3-2～Pr4-2 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 124cm×105cm，検出面からの深さは 78cmである。土師質土器の小片が出土している。

51 号土坑（第 48 図） Pr3-2～Pr4-3 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 225cm×94cm，検出面からの深さは 32cmである。47・52 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は前者より新しく，後者とは不明である。土師質土器と珠洲が出土している。

52 号土坑（第 48 図） Pr1-5～Ps2-1 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 240cm×124cm，検出面からの深さは 13cmである。43・44・46 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器が出土している。

53・54 号土坑（第 49 図） Ps2-1～Ps4-1 グリッドに位置する。両者は一部重複しているが，新旧関係は不明である。また，どちらも 43・46 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係はともに前者より新しく，後者とは不明である。53 号土坑は，平面が方形で，規模は 163cm×77cm，検出面からの深さは 32cmである。土師質土器が出土している。54 号土坑は，平面が不整な楕円形と推定される。検出できた規模は 118cm×92cm，検出面からの深さは 26cmである。土師質土器の小片が出土している。

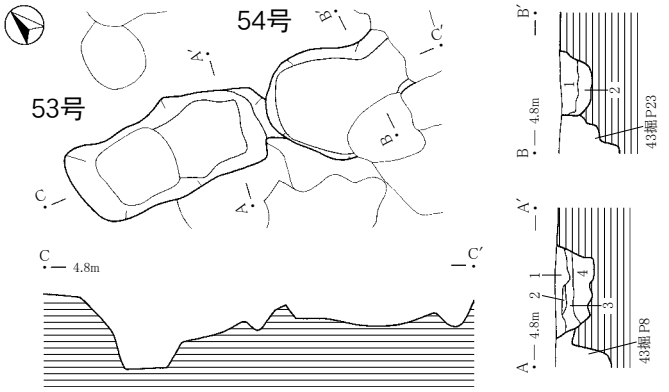
55 号土坑（第 49 図） Pr5-5～Qr1-5 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 194cm×101cm，検出面からの深さは 60cmである。55 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器，瓷器系陶器の小片，木製品が出土している。

56 号土坑（第 49 図） Qr2-4 グリッドに位置する。平面は方形で，規模は 100cm×52cm，検出面からの深さは 28cmである。土師質土器が出土している。

57 号土坑（第 49 図） Ps3-2～Ps4-3 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 225cm×105cm，検出面からの深さは 19cmである。50・56 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は後者より新しく，前者とは不明である。土師質土器の小片と木製品が出土している。

58 号土坑（第 49 図） Ps2-3～Ps3-4 グリッドに位置する。平面は不整な方形で，規模は 178cm×112cm，検出面からの深さは 21cmである。46・56・57 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は 56 号掘立柱建物より古く，46 号掘立柱建物より新しい。それ以外は不明である。珠洲が出土している。

59 号土坑（第 49 図） Ps1-5～Pt1-1 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 155cm×118cm，検出面からの深さは 23cmである。32 号溝と重複しており，新旧関係は本遺構の方が新しい。土師質土器小片が出土した。

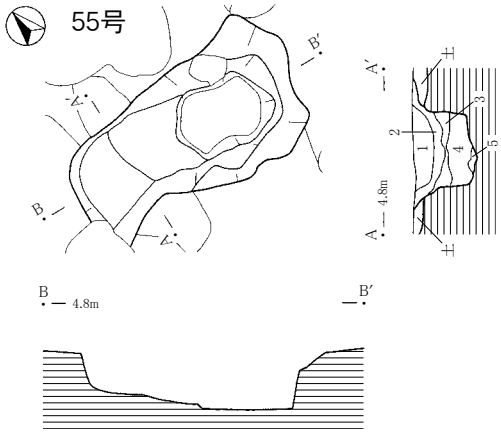


53号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒をやや多く，灰オリーブ色細砂粒を少量含む。
2　N2/0 黒色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を少量含む。
3　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量含む。
4　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を多量，灰オリーブ色細砂粒を少量含む。

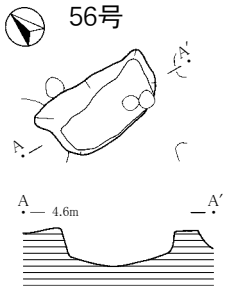
54 号土坑

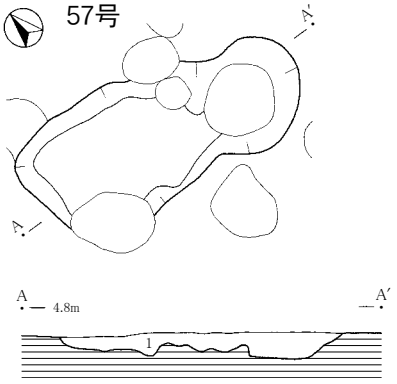
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性なく，しまりあり。炭化物粒を多量，オリーブ黄色細砂粒をやや多く含む。
2　5Y6/2 灰オリーブ色細砂　粘性弱く，しまりやや弱い。黄灰色土を斑状に少量含む。



55号土坑

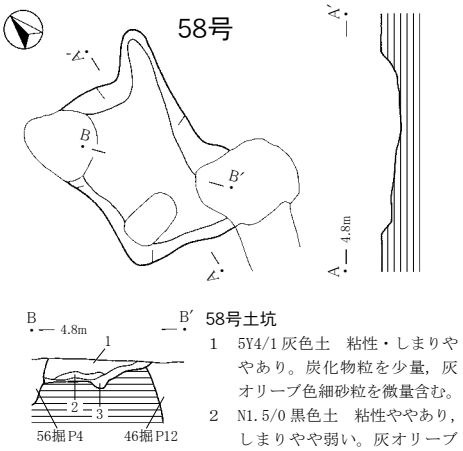
1　7.5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりややあり。黒色土粒を多量，砂粒・オリーブ黄色細砂粒を少量含む。
2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂ブロックを多量，黒色土粒～ブロックをやや多く含む。
3　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性ややあり，しまり弱い。オリーブ黄色細砂粒・黒色土粒を少量含む。
4　2.5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまり弱い。オリーブ灰色細砂粒・黒色土粒～ブロックを少量含む。
5　2.5Y2/1 黒色土　粘性ややあり，しまり弱い。





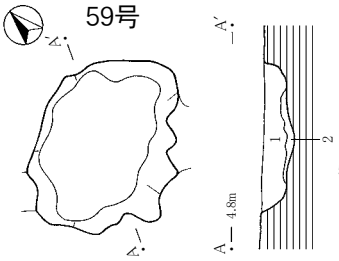
57号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒をやや多く，黒色土を横縞状に少量含む。



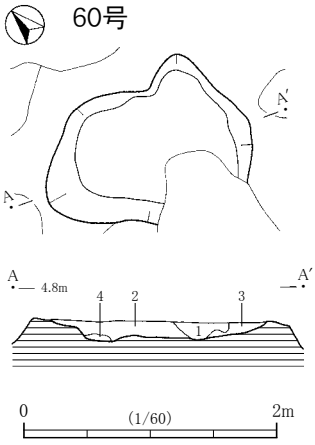
58号土坑

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を少量，灰オリーブ色細砂粒を微量含む。
2　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰オリーブ色細砂ブロックを少量含む。
3　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂を多量，黒色土粒を微量含む。



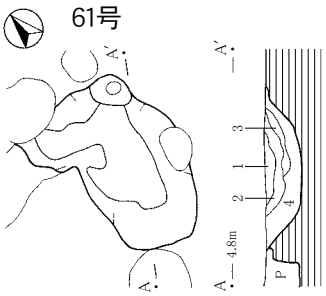
59号土坑

1　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロック・炭化物粒～材をやや多く含む。
2　N3/0 暗灰色粘土　粘性・しまりあり。炭化物粒を微量含む。



60号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒～材を多量，黒色土・灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く含む。
2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土粒・灰オリーブ色細砂粒～ブロック・炭化物粒～材をやや多く含む。
3　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりあり。炭化物粒を少量含む。
4　2.5Y5/2 暗灰黄色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色土をやや多く含む。



61号土坑

1　N4/0 灰色土　粘性なく，しまりあり。黒色土粒を少量，灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒を微量含む。
2　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土粒をやや多く，灰オリーブ色細砂粒～ブロックを少量含む。
3　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土を薄い帯状にやや多く，炭化材を微量含む。
4　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。黒色土粒～ブロックを多量，オリーブ灰色細砂粒～ブロックを少量含む。

第49図　53～61号土坑

60 号土坑（第 49 図） Qs3-2～Qs4-3 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 171cm×108cm，検出面からの深さは 16cmである。61 号掘立柱建物と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。土師質土器の小片が出土している。

61 号土坑（第 49 図） Qs3-3～Qs4-4 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 194cm×110cm，検出面からの深さは 30cmである。61・70 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。土師質土器の小片が出土している。

62 号土坑（第 50 図） Qs2-4～Qs3-4 グリッドに位置する。遺構の一部しか検出できていないため，平面形は不明である。検出できた規模は 93cm×53cm，検出面からの深さは 45cmである。土師質土器の小片，古瀬戸の小片，木製品が出土している。

63・64 号土坑（第 50 図） Qs2-5～Qt3-1 グリッドに位置する。両者は一部重複しており，新旧関係は 63 号土坑の方が古い。平面はどちらも不整な楕円形である。63 号土坑は，規模が 97cm×67cmで，検出面からの深さは 24cmである。34 号溝とも一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が新しい。土師質土器，砥石，木製品が出土している。64 号土坑は，規模が 84cm×63cm，検出面からの深さは 71cmである。土師質土器の小片が出土した。

65 号土坑（第 50 図） Qs3-5～Qt4-1 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 79cm×61cm，検出面からの深さは 56 cmである。土師質土器の小片，珠洲，焼成粘土塊，木製品が出土している。

66 号土坑（第 50 図） Qr4-3～Qr5-4 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 214cm×165cm，検出面からの深さは 36cmである。63・65 号掘立柱建物の柱穴と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が両者より新しい。土師質土器の小片のほか，珠洲の小片が出土している。

67 号土坑（第 52 図） Qr4-5～Rs1-1 グリッドに位置する。平面はやや不整な方形で，規模は 550cm×394cm，検出面からの深さは 44cmである。29・31 号溝などと連接することから，排水に関連した施設と考えられる。62 号掘立柱建物と一部重複しており，新旧関係は本遺構の方が古い。土師質土器，白磁の小片，青磁の小片，珠洲，土錘，焼成粘土塊，砥石，鉄滓，木製品などが出土している。

68 号土坑（第 50 図） Rs1-1～Rs3-3 グリッドに位置する。平面は方形で，規模は 456cm×152cm，検出面からの深さは 31cmである。62 号掘立柱建物の柱穴と一部重複するが，新旧関係は不明である。砥石が出土した。

69 号土坑（第 50 図） Ss2-3～Ss3-3 グリッドに位置する。平面は楕円形で，規模は 156cm×110cm，検出面からの深さは 19cmである。土師質土器の小片，青磁，銭貨，木製品が出土している。

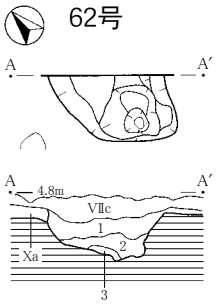
１号小ピット（Ｐ1）（第 52 図） Mp5-4～Mp5-5 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 62cm×45cm，検出面からの深さは 37cmである。オニグルミの種実のほか，土師質土器の小片が出土している。

２号小ピット（Ｐ2）（第 52 図） Or3-3～Or4-3 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 50cm×39cm，検出面からの深さは 47cmである。埋土の上位から銭貨が４枚重なって出土した。そのほかに，土師質土器の小片が出土している。

３号小ピット（Ｐ3）（第 52 図） Qs3-5 グリッドに位置する。平面は円形で，規模は 26cm×24cm，検出面からの深さは９cmである。埋土は灰色シルト（N4/0）の単層である。底面直上から銭貨が３枚重なって出土した。そのほかに，土師質土器の小片が出土している。

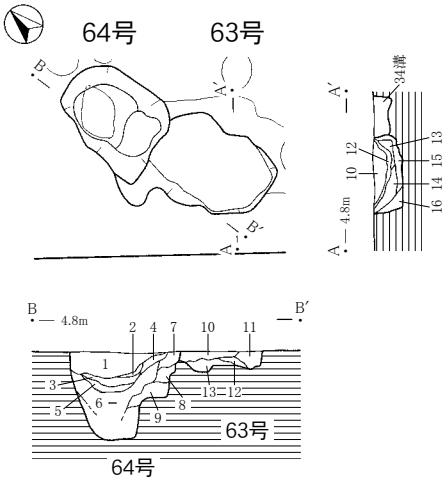
４号小ピット（Ｐ4）（第 52 図） Rs3-5～Rt3-1 グリッドに位置する。平面は不整な楕円形で，規模は 23cm×13cm，検出面からの深さは 18cmである。モモの種実のほか，土師質土器の小片が出土している。

また，ここには図示していないが，Ｐ22（第８図）からは魚類の骨が２点出土した。本遺構は，Qs5-2 グリッドに位置し，平面は円形で，規模は 32cm×26cm，検出面からの深さは 29 cmである。



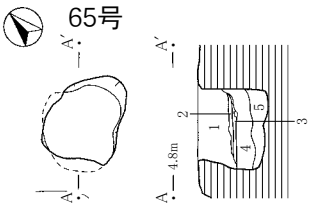
62号土坑

1　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
2　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりやや弱い。砂粒をやや多く，未分解植物を少量含む。
3　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂とN4/0 灰色粘質シルトの混合層　粘性あり，しまりややあり。炭化材を少量含む。



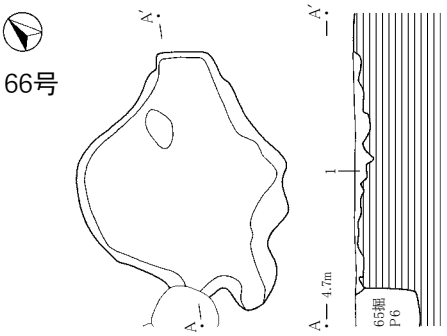
63・64号土坑

1　5Y4/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを多量，炭化材をやや多く含む。
2　2.5Y4/1 黄灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色～灰オリーブ色細砂を極めて多量，灰オリーブ色細砂粒を少量，炭化材を微量含む。
3　2.5Y3/1 黒褐色粘質土　粘性あり，しまり弱い。にぶい黄褐色ローム粒・炭化物粒をやや多く，未分解植物を少量含む。
4　7.5Y5/2 灰オリーブ色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。炭化物粒を少量含む。
5　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまり弱い。
6　N4/0 灰色粘土と 7.5YR3/1 黒褐色土の混合層　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物を極めて多量，オリーブ灰色細砂粒を少量含む。
7　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
8　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，炭化物粒を微量含む。
9　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量含む。
10　5Y4/1 灰色シルト　粘性弱く，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを多量，炭化物粒をやや多く含む。
11　5Y5/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を少量含む。
12　5Y4/1 灰色シルトと N1.5/0 黒色土の混合層　粘性・しまり弱い。
13　5Y4/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
14　7.5Y5/2 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。灰色シルトを多量，黒色土を少量含む。
15　N3/0 暗灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を少量，炭化物粒を微量含む。
16　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。



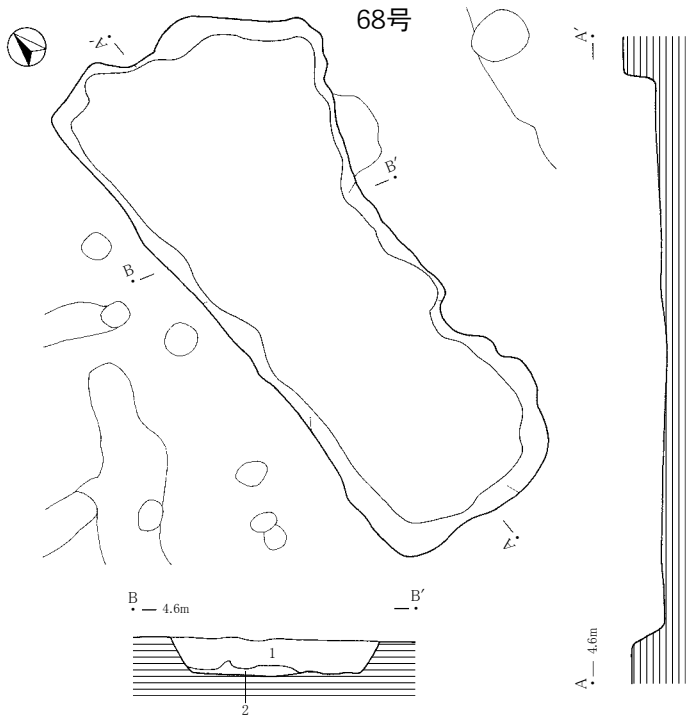
65号土坑

1　N4/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を多量含む。
2　N1.5/0 黒色腐植土　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物をやや多く含む。
3　10YR2/2 黒褐色腐植土　粘性あり，しまりやや弱い。未分解植物を極めて多量含む。
4　N1.5/0 黒色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックを多量含む。
5　N1.5/0 黒色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。砂粒・オリーブ灰色細砂粒・未分解植物を少量含む。



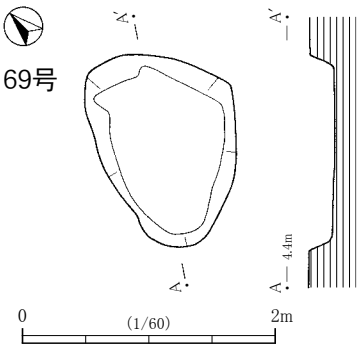
66号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりあり。黒色土・浅黄色細砂ブロックをやや多く，灰色土を少量含む。

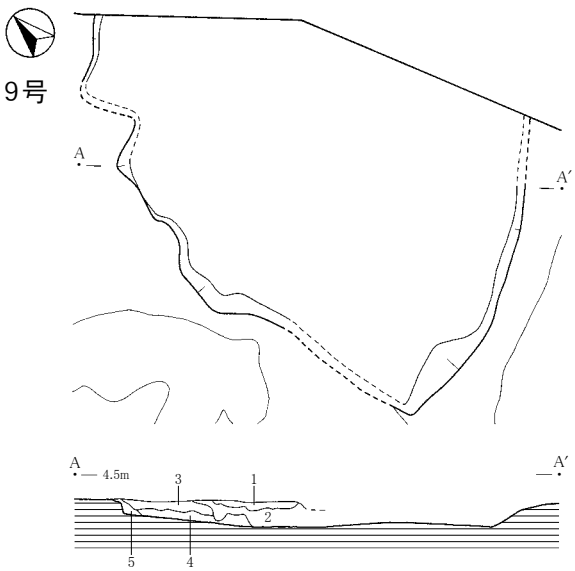


68号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，炭化物粒を微量含む。

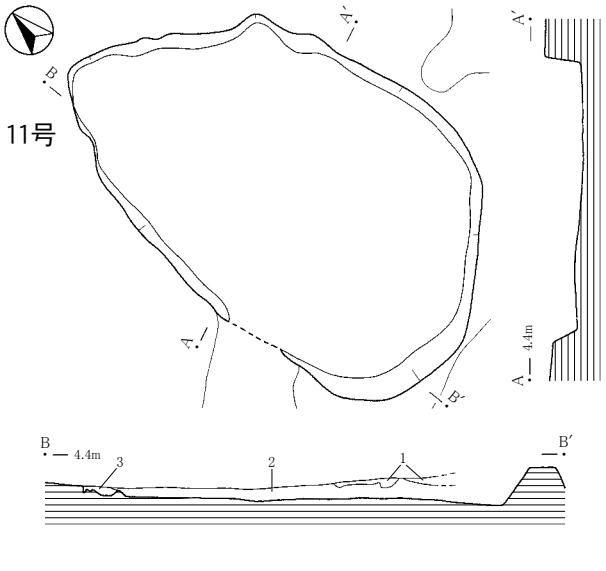


第50図　62～66・68・69号土坑



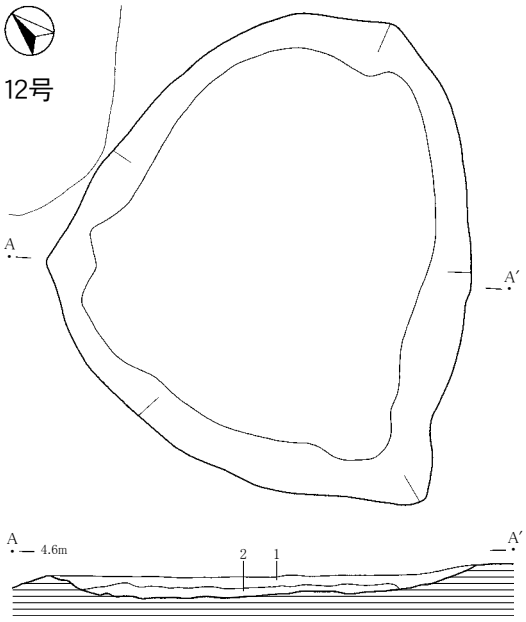
9号土坑

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を微量含む。
2　2.5Y3/1 黒褐色粘質土　粘性あり，しまりややあり。未分解植物を少量含む。
3　2.5Y3/1 黒褐色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂・砂粒を少量含む。
4　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。黒褐色粘質土・砂粒を少量含む。
5　2.5GY5/1 オリーブ灰色砂　粘性なく，しまりややあり。



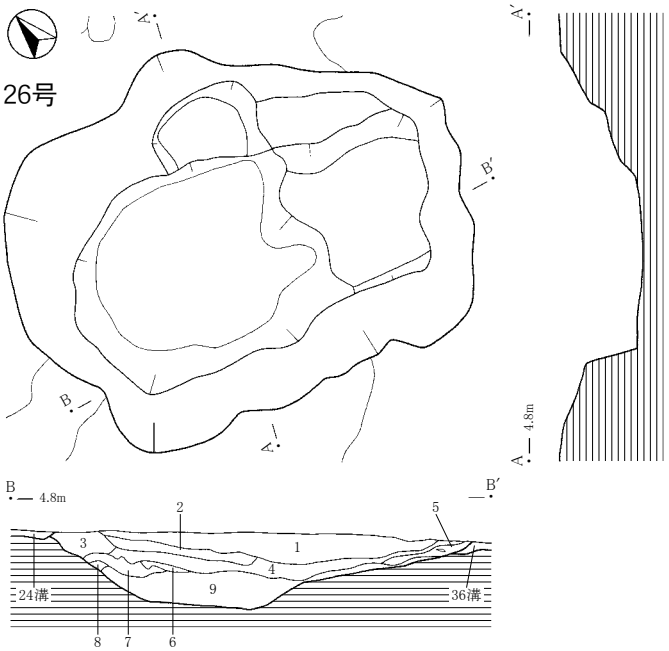
11号土坑

1　N2/0 黒色土　粘性・しまりややあり。暗灰色粘質シルトを多量，オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
2　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまり弱い。砂粒・未分解植物をやや多く，オリーブ灰色細砂大ブロックを少量，炭化物粒を微量含む。
3　N4/1 灰色砂質土　粘性ややあり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂を極めて多量含む。



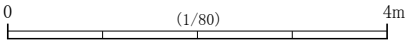
12号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。未分解植物を少量，オリーブ灰色細砂粒・炭化物粒を微量含む。
2　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。上層との層理面に黒褐色腐植土が薄く堆積する。未分解植物をやや多く，炭化物粒を微量含む。

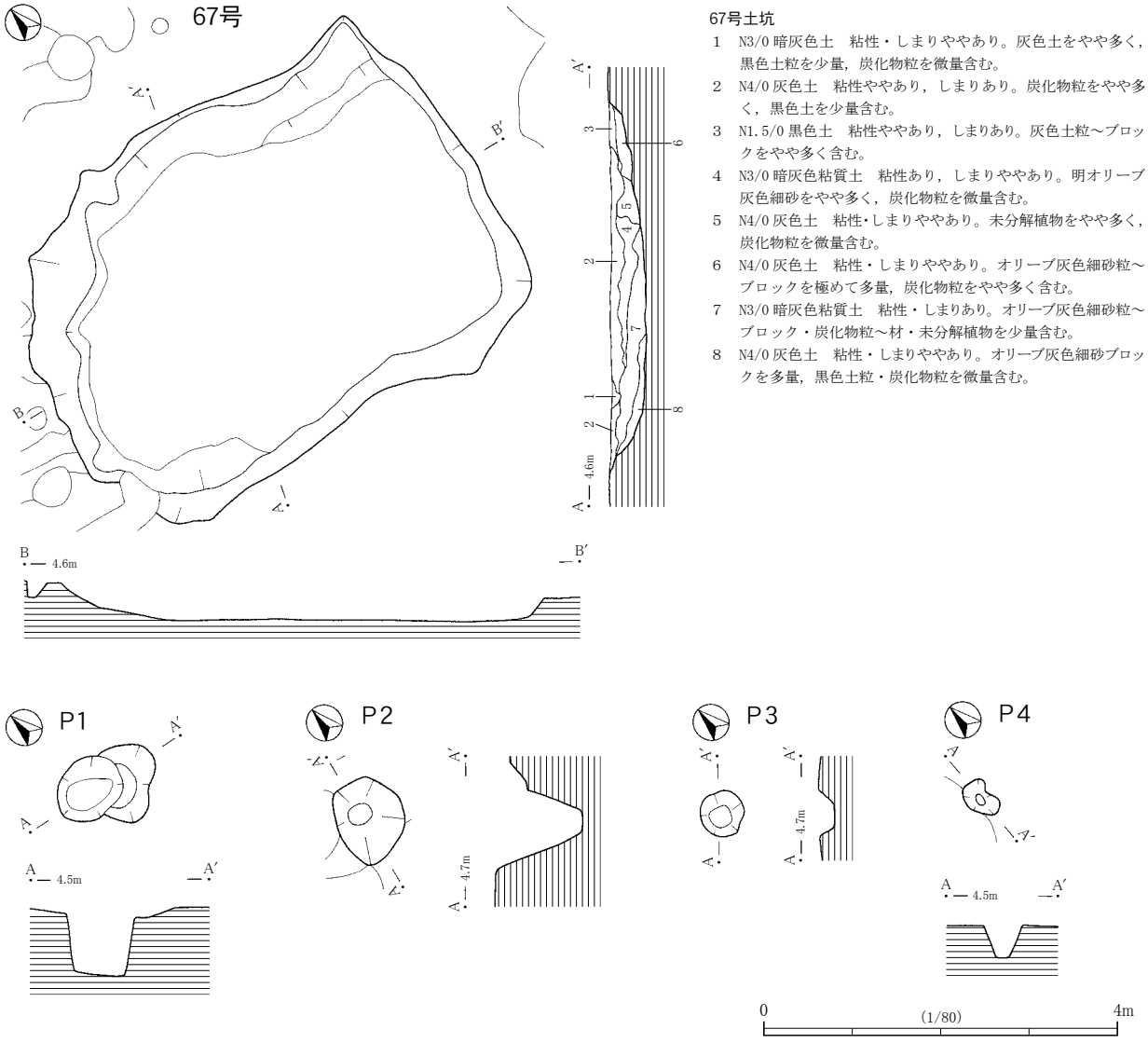


26号土坑

1　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰黄褐色土が横縞帯状に堆積する。オリーブ黄色細砂粒～ブロックをやや多く，炭化物粒～材を少量含む。
2　N4/0 灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。下層との層理面に黒色土が薄く堆積する。炭化物粒を微量含む。
3　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を多量，オリーブ黄色細砂粒～ブロックをやや多く含む。
4　5Y3/1 オリーブ黒色粘質土　粘性あり，しまりややあり。未分解植物をやや多く，炭化材を少量含む。
5　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。下位に黒褐色腐植土が薄く堆積する。オリーブ灰色細砂をやや多く含む。
6　5Y4/1 灰色土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。オリーブ黒色粘質土をやや多く含む。
7　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。黒色土粒・炭化物粒を微量含む。
8　N4/0 灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂粒～ブロックをやや多く含む。
9　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰色土ブロックを少量含む。



第51図　9・11・12・26号土坑



67号土坑

1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。灰色土をやや多く，黒色土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　N4/0 灰色土　粘性ややあり，しまりあり。炭化物粒をやや多く，黒色土を少量含む。
3　N1.5/0 黒色土　粘性ややあり，しまりあり。灰色土粒～ブロックをやや多く含む。
4　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。明オリーブ灰色細砂をやや多く，炭化物粒を微量含む。
5　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。未分解植物をやや多く，炭化物粒を微量含む。
6　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロックを極めて多量，炭化物粒をやや多く含む。
7　N3/0 暗灰色粘質土　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロック・炭化物粒～材・未分解植物を少量含む。
8　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，黒色土粒・炭化物粒を微量含む。

第52図　67号土坑と１～４号小ピット

4　溝・流路・杭列

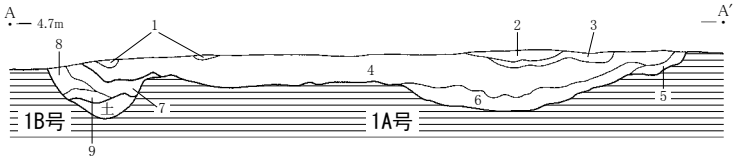
今回の調査で，溝は 90 条以上，流路は１本，杭列は４列検出した。ここでは，そのうちの溝 40 条と流路の各断面，そして杭列３列を図示する。なお，溝と流路の平面図は，遺構全体図（第５～９図）での図示とする。

溝の多くは，排水の機能だけでなく，その配置から，区画する機能も持っていると推定される。1A・1B 号溝は，Ks～Lt グリッドから調査区外へ延びる微高地を区画する。６・10～12 号溝は，Oo～Rt グリッドにあたる調査区中央部の微高地の西側周縁を，36 号溝は同東側周縁を区画し，29～33 号溝が微高地内をさらに区分している。また，７・８・13・14 号溝は，その位置関係から，この微高地へつながる通路に伴う側溝と推定される。そのほかに，16 号溝は，４号掘立柱建物の周囲を「コ」の字状に巡っており，同建物に伴う施設の可能性がある。

流路は，微高地の東側周縁部を南北方向に延びる。溝の可能性も考えられるが，埋土の観察から流路と判断した。流路より東側からは，溝７条と土坑１基を検出しただけで，遺物もほとんど出土していない。

杭列のうち，36 号溝から検出した１号杭列は，杭の配置などから，水場遺構の可能性がある。１号流路から検出した２・３号杭列は，護岸施設の一部と推定される。なお，St2-1～St3-1 グリッドの調査区壁際でも杭列を検出した。２・３号杭列と同様に，護岸施設と考えられる。図示はしていない。

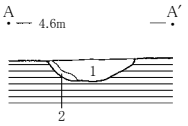
1A・1B号



1A・1B号溝

1　7.5YR2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を微量含む。
2　10YR4/1 褐灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒をやや多く，未分解植物を少量含む。
3　7.5Y4/1 灰色土と 10YR4/1 褐灰色土の混合層　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂を斑状に多量，炭化物粒を微量含む。
4　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。
5　5Y4/1 灰色土と 5Y5/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性ややあり，しまりやや弱い。炭化物粒を微量含む。
6　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性あり，しまりややあり。未分解植物を多量，炭化物粒をやや多く，灰白色細砂を少量含む。
7　7.5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，炭化物粒を少量含む。
8　7.5Y5/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を微量含む。
9　7.5Y4/1 灰色粘質土　粘性あり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂ブロックをやや多く，未分解植物を少量含む。

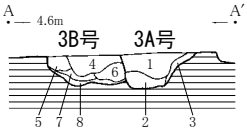
2号



2号溝

1　5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりあり。オリーブ黄色細砂粒・炭化物粒を少量含む。
2　5Y4/1 灰色土　粘性なく，しまりややあり。オリーブ黄色細砂を斑状に多量，炭化物粒を微量含む。

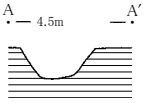
3A・3B号



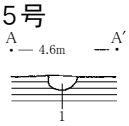
3A・3B号溝

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒・炭化物粒をやや多く含む。
2　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。炭化物粒を多量，オリーブ灰色細砂粒を少量含む。
3　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを極めて多量，炭化物粒を微量含む。
4　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒・炭化物粒を多量，リモナイトを少量含む。
5　5Y4/1 灰色土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒をやや多く含む。
6　5Y4/1 灰色土と 2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒・リモナイトを少量含む。
7　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性なく，しまりややあり。灰色土を斑状にやや多く含む。
8　N1.5/0 黒色土　粘性あり，しまり弱い。灰色粘質シルトを極めて多量，炭化物粒を少量含む。

4号



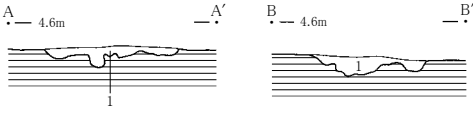
5号



5号溝

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。にぶい黄色細砂粒・炭化物粒を少量含む。

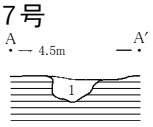
6号



6号溝

1　5Y4/1 灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒～ブロックをやや多く，炭化物粒を微量含む。

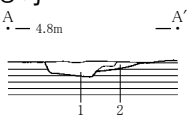
7号



7号溝

1　N3/0 暗灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。砂粒・炭化物粒・未分解植物を少量含む。

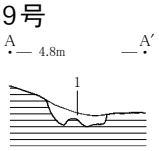
8号



8号溝

1　2.5Y4/1 黄灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂を斑状にやや多く，オリーブ黒色土粒・炭化物粒～材を微量含む。
2　5Y6/3 オリーブ黄色細砂と 2.5Y4/1 黄灰色シルトの混合層　粘性・しまりややあり。

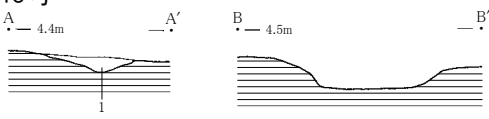
9号



9号溝

1　N2/0 黒色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量含む。

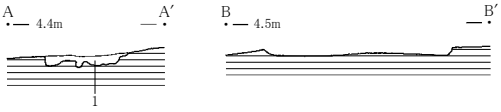
10号



10号溝

1　5Y4/1 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂・未分解植物をやや多く，黒色土粒を微量含む。

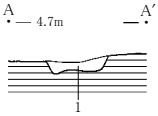
11号



11号溝

1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。オリーブ灰色細砂をやや多く，炭化物粒を微量含む。

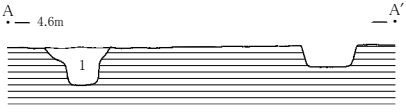
12号



12号溝

1　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロック・炭化物粒をやや多く，黒色土を少量含む。

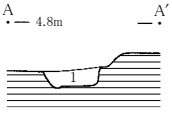
13号



13号溝

1　N3/0 暗灰色粘質土　粘性あり，しまりややあり。灰白色細砂ブロック・炭化物粒を微量含む。

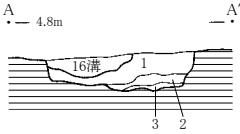
14号



14号溝

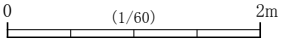
1　N3/0 暗灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロックを少量，炭化物粒を微量含む。

15号



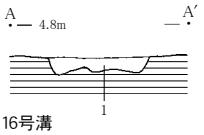
15号溝

1　2.5Y5/2 暗灰黄色細砂　粘性やや弱く，しまりややあり。黄灰土粒を少量，炭化物粒を微量含む。
2　10YR4/1 褐色混砂土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。
3　5YR3/2 暗赤褐色腐植土　粘性ややあり，しまりなし。オリーブ灰色細砂を少量含む。



第53図　1～15号溝

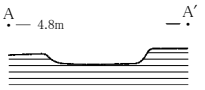
16号



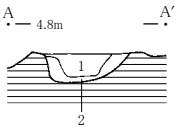
16号溝

1　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒を多量，暗灰色土ブロックをやや多く含む。

17号



18号

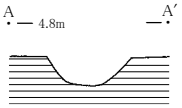


18号溝

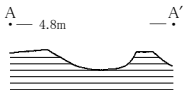
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ黄色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。

2　2.5Y4/1 黄灰色土と 5Y6/3 オリーブ黄色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。炭化物粒を微量含む。

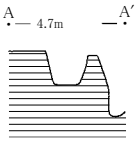
19号



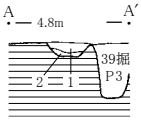
20号



21号



22号

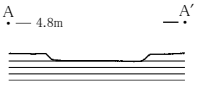


22号溝

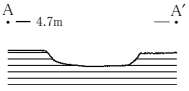
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂粒・炭化物粒を少量含む。

2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性ややあり，しまりやや弱い。灰オリーブ色細砂を横縞状に多量含む。

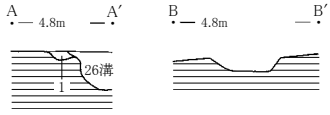
23号



24号



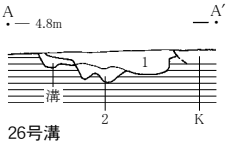
25号



25号溝

1　N3/0 暗灰色土と 5Y6/2 灰オリーブ色細砂の混合層　粘性・しまりややあり。黒色土粒を少量含む。

26号

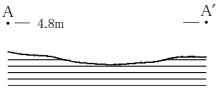


26号溝

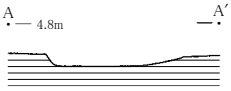
1　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックをやや多く，黒色土粒を微量含む。

2　2.5Y4/1 黄灰色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂を極めて多量，黒色土を少量含む。

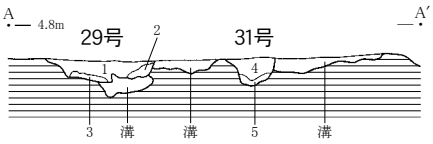
27号



28号



29・31号



29・31号溝

1　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒～ブロック・黒色土をやや多く含む。

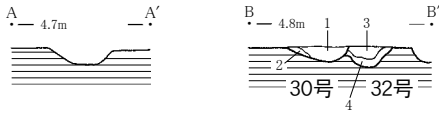
2　5Y5/2 灰オリーブ色土　粘性ややあり，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒を極めて多量，黒色土粒を微量含む。

3　5Y6/2 灰オリーブ色細砂　粘性・しまりややあり。オリーブ黒色土をやや多く，黒色土を少量含む。

4　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性なく，しまりあり。灰オリーブ色細砂粒・黒色土粒・炭化物粒を微量含む。

5　5Y3/1 オリーブ黒色土　粘性・しまりややあり。灰オリーブ色細砂ブロックを極めて多量，黒色土粒を少量含む。

30・32号



30・32号溝

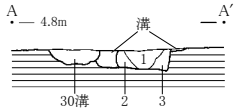
1　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒をやや多く，炭化物粒～材を少量含む。

2　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性ややあり，しまりあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量含む。

3　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒・炭化物粒～材を少量含む。

4　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂を斑状に多量含む。

33号



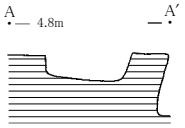
33号溝

1　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。黒色粘質土を極めて多量，灰オリーブ色細砂ブロックを多量含む。

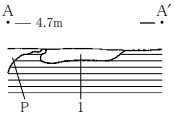
2　N4/0 灰色粘質シルト　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂ブロックを多量，灰オリーブ色細砂粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。

3　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。灰色土を斑状に極めて多量，炭化物粒を微量含む。

34号



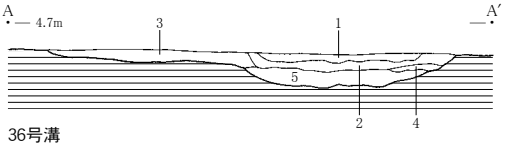
35号



35号溝

1　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，炭化物粒を少量含む。

36号



36号溝

1　7.5YR2/1 黒色土　粘性・しまりややあり。下層との層理面に黒色土が少量堆積する。オリーブ黄色細砂粒をやや多く，炭化物粒を微量含む。

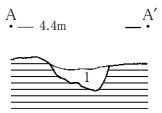
2　7.5YR3/1 黒褐色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂・黒色土粒をやや多く，炭化物粒を少量含む。

3　N4/0 灰色土　粘性・しまりあり。オリーブ灰色細砂粒を多量，黒色土粒を少量含む。

4　2.5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりやや弱い。

5　5Y4/1 灰色粘質シルト　粘性あり，しまり強い。オリーブ灰色細砂ブロックを少量，黒色土粒を微量含む。

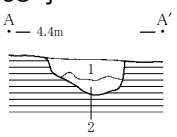
37号



37号溝

1　N4/0 灰色土　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロック・未分解植物を少量含む。

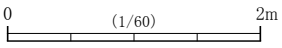
38号



38号溝

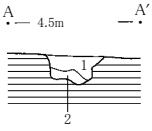
1　N3/0 暗灰色土　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロック・黒色土粒を少量含む。

2　N3/0 暗灰色土と 5GY5/1 オリーブ灰色細砂ブロックの混合層　粘性あり，しまりやや弱い。



第54図　16～38号溝

39号

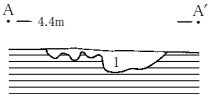


39号溝

1　N4/0 灰色土　粘性あり，しまりやや弱い。下層との層理面に黒色土が部分的に薄く堆積する。オリーブ灰色細砂ブロック・未分解植物をやや多く含む。

2　5GY6/1 オリーブ灰色細砂　粘性ややあり，しまりあり。灰色土ブロックを少量含む。

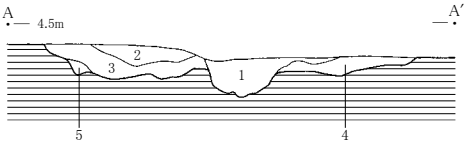
40号

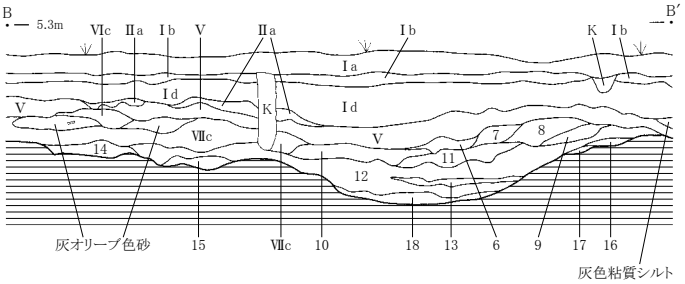


40号溝

1　N3/0 暗灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色細砂粒～ブロック・未分解植物を少量，炭化物粒を微量含む。

1号流路





1号流路

1　N3/0 暗灰色細砂　粘性・しまりややあり。黒色土粒をやや多く，オリーブ灰色細砂ブロックを少量，炭化物粒を微量含む。

2　2.5GY4/1 暗オリーブ灰色粘質シルト　粘性あり，しまり強い。黒褐色土ブロックを微量含む。

3　2.5Y4/1 黄灰色～2.5Y3/1 黒褐色粘質シルト　粘性・しまり強い。未分解植物をやや多く，黒色土粒を微量含む。

4　N4/0 灰色細砂　粘性・しまりややあり。炭化物粒をやや多く，オリーブ灰色細砂粒を少量，明オリーブ灰色細砂を薄い帯状に少量含む。

5　5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性・しまりややあり。黄灰色粘質土をやや多く含む。

6　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。炭化物粒をやや多く含む。

7　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。黒色粘質土を横縞状に多量，炭化物粒を微量含む。

8　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。青灰色細砂を多量，炭化物粒を少量含む。

9　2.5GY5/1 オリーブ灰色細砂　粘性なく，しまりやや弱い。未分解植物を少量含む。

10　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂をやや多く，炭化物粒を少量含む。

11　7.5Y6/1 灰色砂と 5Y4/1 灰色シルトの混合層　粘性・しまりややあり。未分解植物をやや多く，炭化物粒を微量含む。

12　5Y4/1 灰色シルト　粘性・しまりややあり。未分解植物をやや多く，炭化物粒を少量含む。

13　7.5Y6/1 灰色砂　粘性・しまりなし。

14　N5/0 灰色粘質シルト～粘土　粘性強く，しまりあり。オリーブ灰色粘質シルトブロックをやや多く，炭化物粒・未分解植物を微量含む。

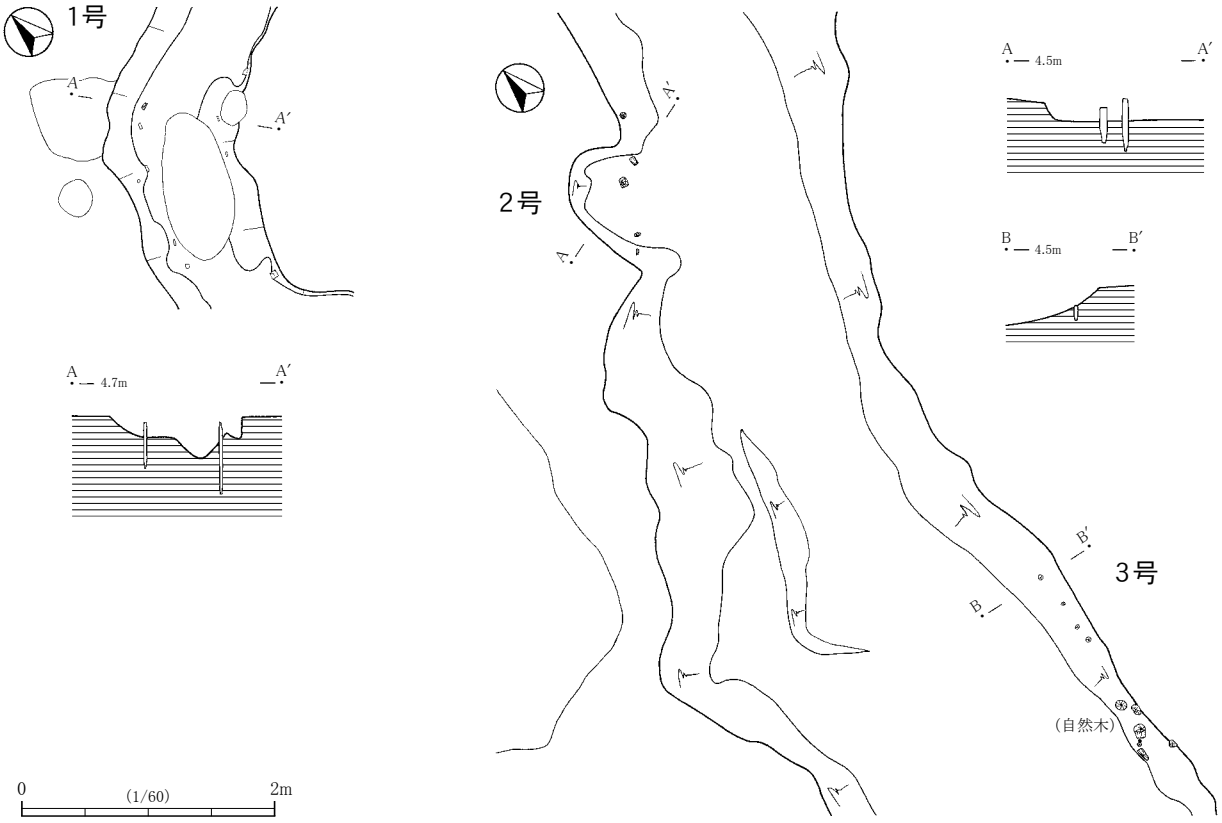
15　N4/0 灰色粘質シルト　粘性あり，しまりややあり。オリーブ灰色粘質シルトブロックを極めて多量含む。

16　N4/0 灰色シルト　粘性・しまりややあり。オリーブ灰色細砂ブロックを少量，炭化物粒を微量含む。

17　5GY5/1 オリーブ灰色シルト　粘性ややあり，しまり強い。オリーブ灰色細砂ブロックを少量含む。

18　5Y4/1 灰色細砂　粘性なく，しまり弱い。未分解植物をやや多く含む。

杭列



第55図　39・40号溝と 1 号流路および 1 ～ 3 号杭列

第Ⅳ章　遺　物

1　土師質土器

今回の調査では，多量の土師質土器が出土した。器種は，小皿，皿，坏のほか，埦，有台埦，壺，ミニチュアの羽釜である。手づくね成形とロクロ成形のものがみられ，後者については，底部の切り離し技法に，回転ヘラ切り，回転糸切り，静止糸切りが認められた。また，両者とも，底部外面に板状圧痕のあるものが確認されている。

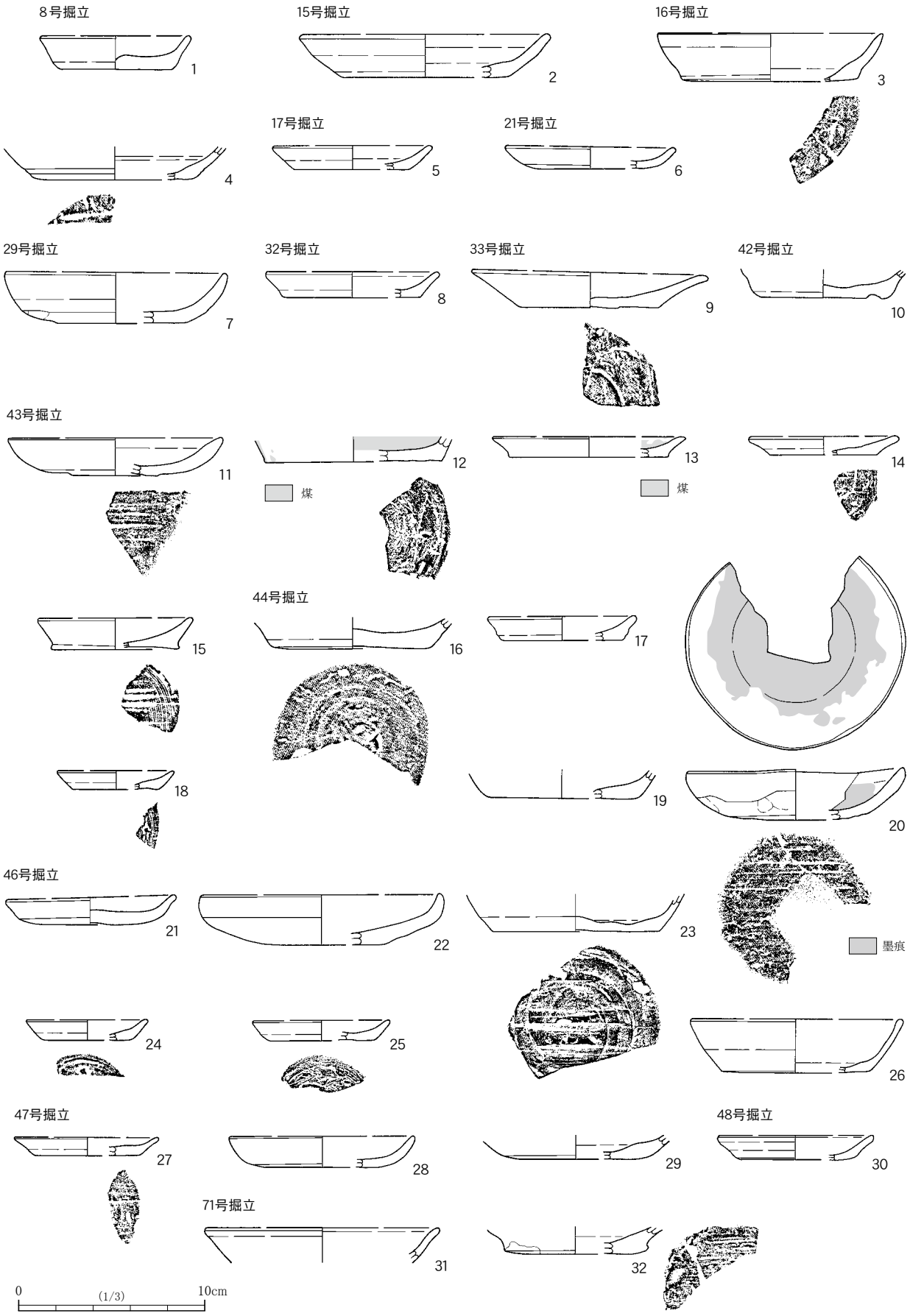
１～32（第 56 図）は，掘立柱建物から出土したものである。６・21 は手づくね成形の小皿で，７・11・20・22・28 は同皿である。20 は内面に墨痕が認められる。１・５・８・10・14・15・17・18・24・25・27・30 はロクロ成形の小皿で，確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが６点，回転糸切りが１点である。２～４・９・12・13・19・32 はロクロ成形の皿で，16・23・26・31 は同坏である。確認できた底部の切り離しは，前者は回転ヘラ切りが２点で，後者も回転ヘラ切りが２点である。

33～63（第 57・58 図）は，井戸から出土したものである。35・38・39・46 は手づくね成形の小皿で，48 は同皿である。33・34・36・41・43・47・50～52・56・60・62 はロクロ成形の小皿で，確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが４点，回転糸切りが１点である。42・45・53・55・58・59 はロクロ成形の皿で，37・40・44・49・54・57・61・63 は同坏である。確認できた底部の切り離しは，前者は回転ヘラ切りと回転糸切りがともに１点ずつで，後者は回転ヘラ切りと回転糸切りが２点ずつのほか，静止糸切りが１点である。

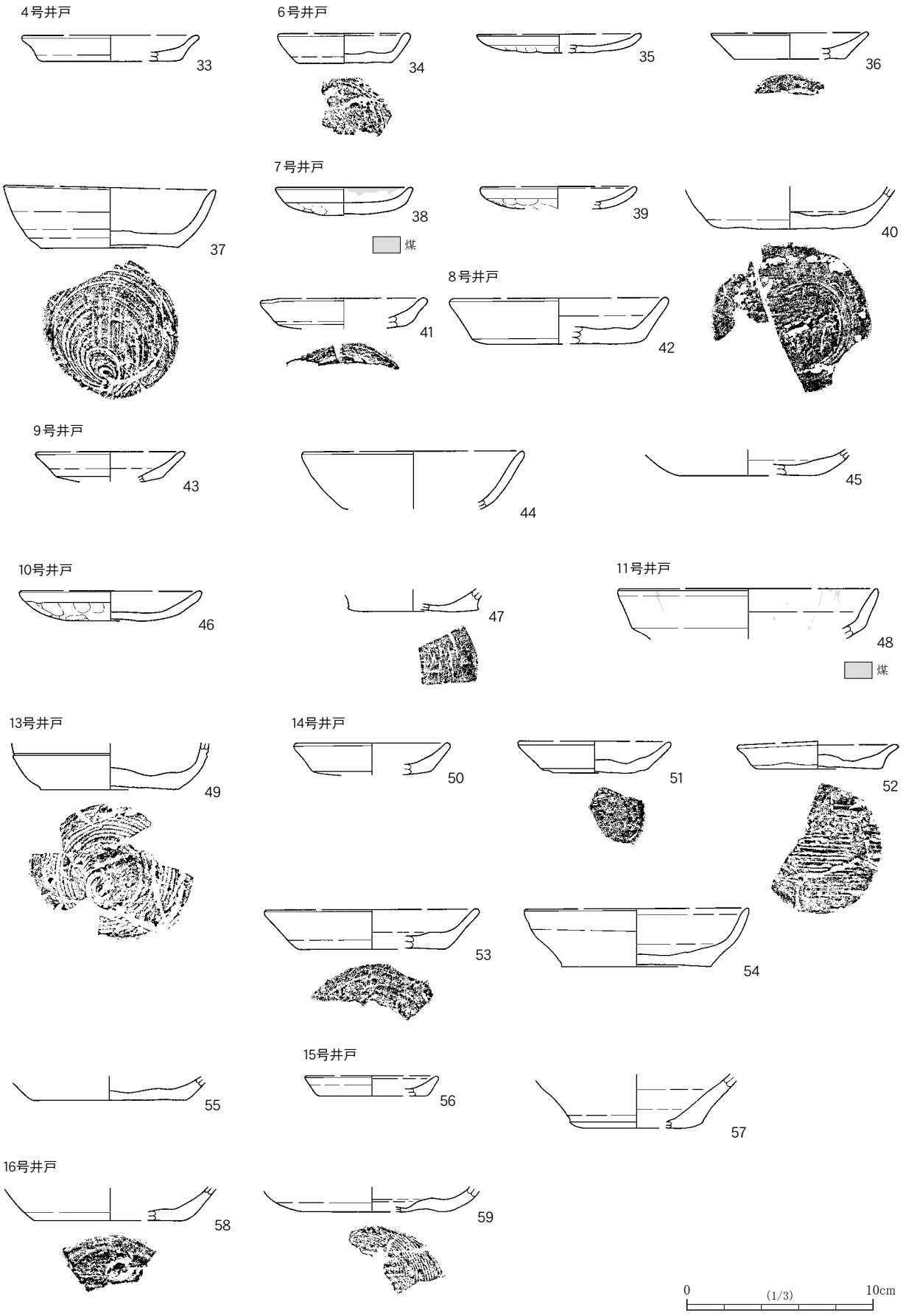
64～131（第 58～60 図）は，土坑から出土したものである。73・74・93・95・108・109・112・113 は手づくね成形の小皿で，64・75・100・116・121・124 は同皿である。66～68・70・72・77～82・88・89・94・96・97・99・106・107・114・117～120・128・131 はロクロ成形の小皿である。128 は，焼成前に底部の内外面から穿孔されている。ただし，貫通はしていない。確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが６点，回転糸切りが５点である。65・71・76・84～87・90～92・98・103・105・110・111・115・122・123・126・129 はロクロ成形の皿で，69・83・101・102・104・125 は同坏である。確認できた底部の切り離しは，前者は回転ヘラ切りが６点，回転糸切りが５点で，後者は回転ヘラ切りが６点，回転糸切りが３点，静止糸切りが１点である。

132～180（第 60・61 図）は，溝から出土したものである。138・141・143・153・154 は手づくね成形の小皿で，157 は同皿である。132・137・139・140・142・144・155・156・158～160・167・169・170・172・173・175 はロクロ成形の小皿である。144 は体部が内側に屈曲する特徴的な形で，「内折れ」や「コースター状」，「受皿」などと呼ばれるものである。確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが４点，回転糸切りが１点，静止糸切りが１点である。133～135・150～152・157・163～166・174・176 はロクロ成形の皿，136・145～149・160・161・167・168・177～180 は同坏である。底部の切り離しは，前者で回転ヘラ切りが１点，回転糸切りが３点，静止糸切りが１点，後者で回転ヘラ切りが７点，回転糸切りが１点確認された。なお，図示していないが，22 号溝の底面から完形の小皿が逆位で出土した（図版 24）。ロクロ成形で，底部外面に回転糸切り痕と板状圧痕が認められる。

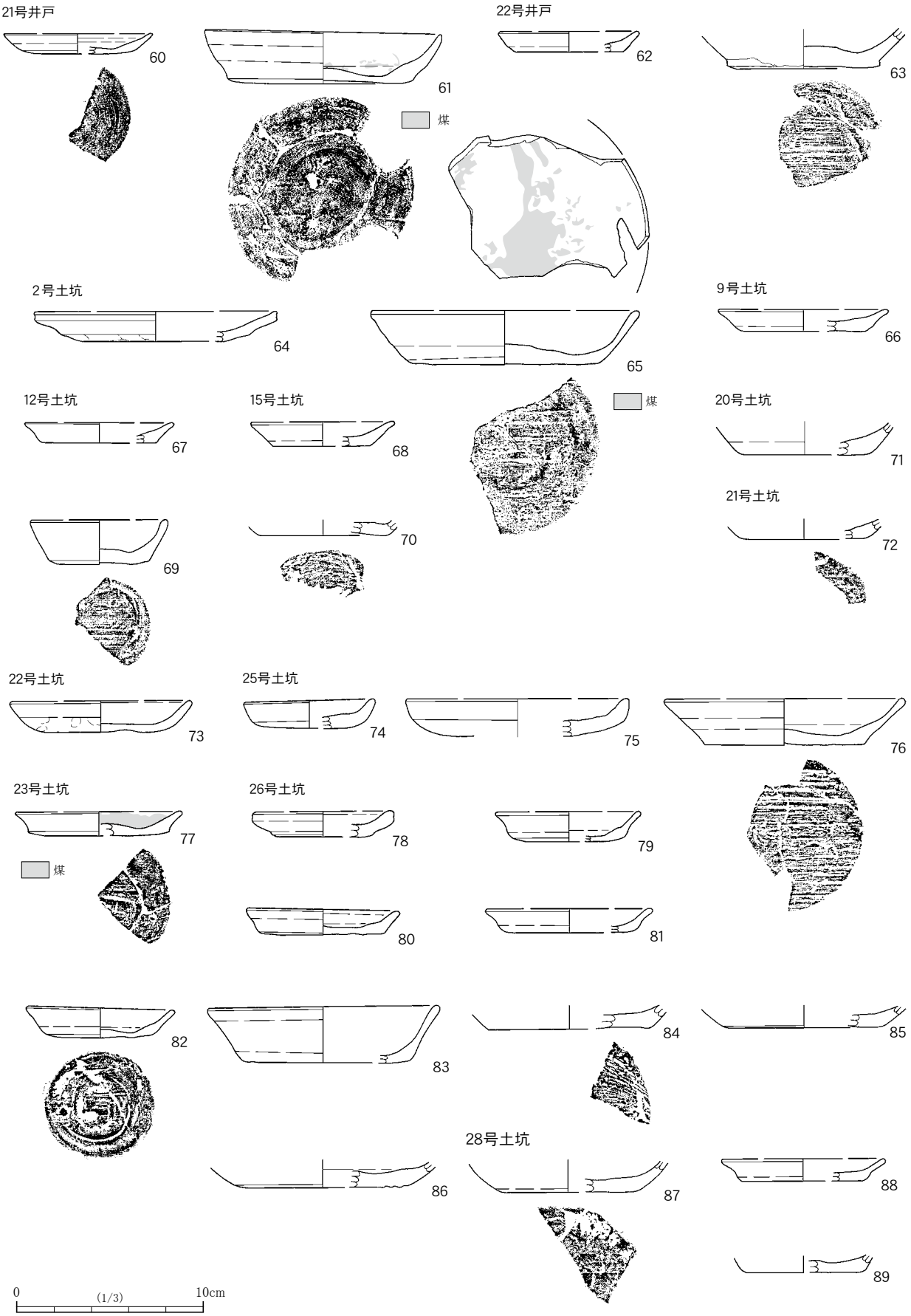
181～230（第 62・63 図）は，１号流路から出土したものである。181～189 は手づくね成形の小皿で，206・207 は同皿，213・214 は同坏である。坏はともに胎土が緻密である。190～205 はロクロ成形の小皿で，確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが２点，回転糸切りが６点である。208～211・216～228 はロクロ成形の皿で，212・215・229 は同坏である。底部の切り離しは，前者で回転ヘラ切りが８点，回転糸切りが３点確認された。230 は今回の調査で唯一出土したミニチュアの土師質土器である。器種は羽釜で，ロクロ成形，鍔は貼り付けである。


8号掘立
1
15号掘立
2
16号掘立
3
17号掘立
4
5
21号掘立
6
29号掘立
7
32号掘立
8
33号掘立
9
42号掘立
10
43号掘立
11
12
煤
13
煤
14
44号掘立
15
16
17
18
19
20
46号掘立
21
22
23
墨痕
24
25
26
47号掘立
27
28
29
48号掘立
30
71号掘立
31
32
0
(1/3)
10cm

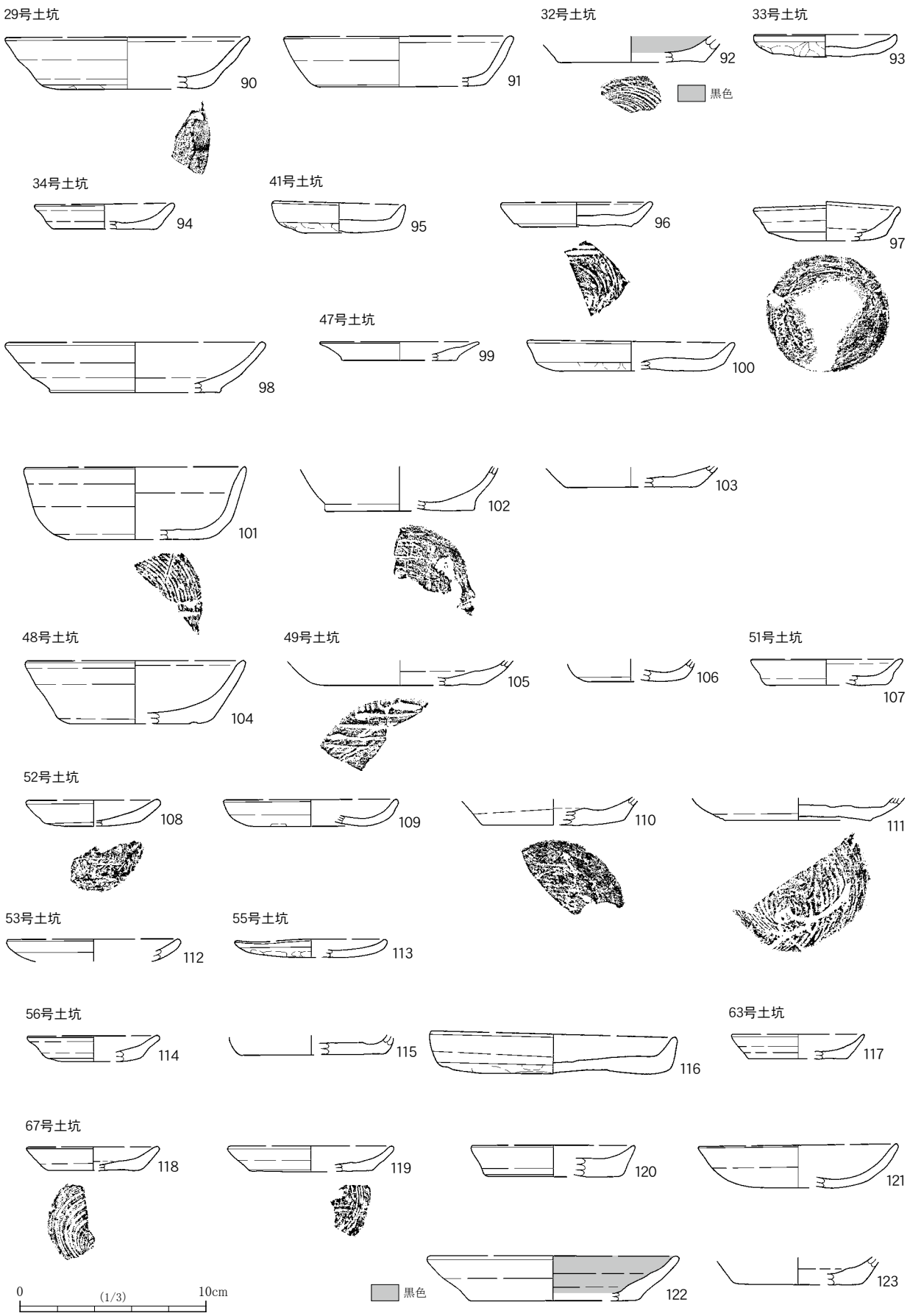
第56図　土師質土器（1）


4号井戸
33
6号井戸
34
35
36
7号井戸
37
38
煤
39
40
8号井戸
41
42
9号井戸
43
44
45
10号井戸
46
47
11号井戸
48
煤
13号井戸
49
14号井戸
50
51
52
53
54
15号井戸
55
56
57
16号井戸
58
59
0
(1/3)
10cm

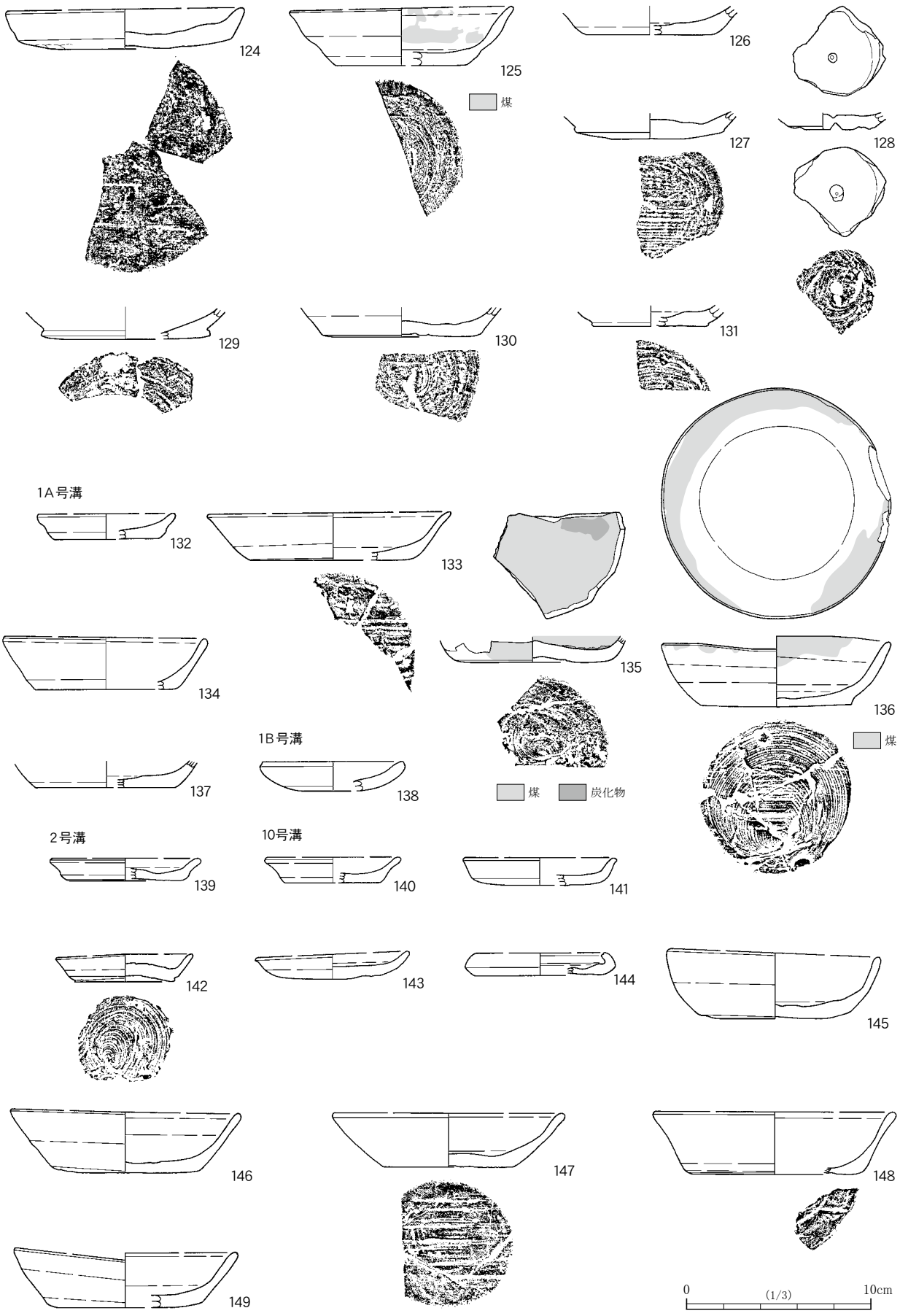
第57図　土師質土器（２）


21号井戸
60
61
煤
22号井戸
62
63
2号土坑
64
65
9号土坑
66
12号土坑
67
15号土坑
68
煤
20号土坑
71
21号土坑
69
70
72
22号土坑
73
25号土坑
74
75
76
23号土坑
77
煤
26号土坑
78
79
80
81
82
83
84
85
28号土坑
86
87
88
89
0
(1/3)
10cm

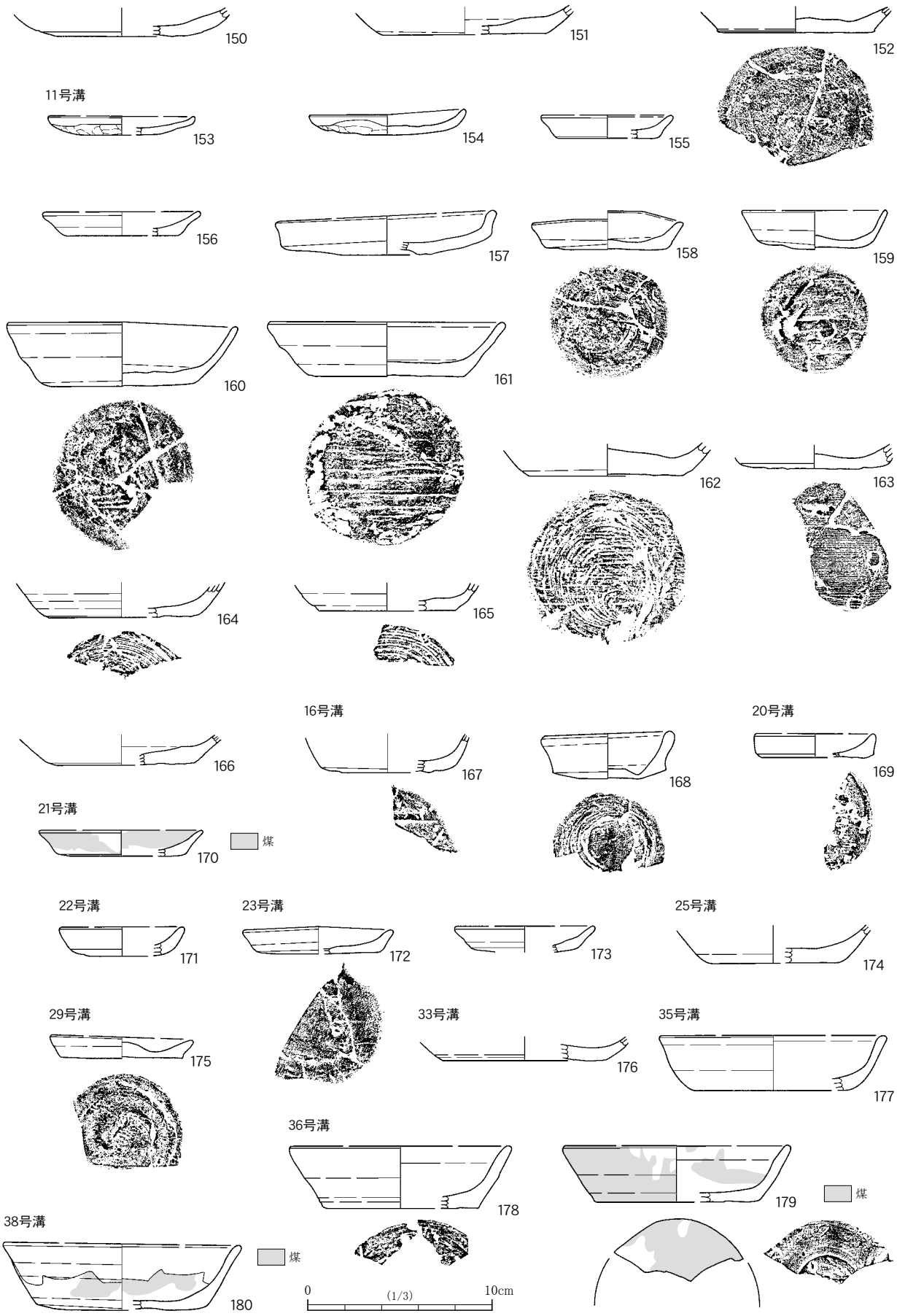
第58図　土師質土器（３）


29号土坑
90
91
32号土坑
92
黒色
33号土坑
93
34号土坑
94
41号土坑
95
96
97
47号土坑
98
99
100
101
102
103
48号土坑
104
49号土坑
105
106
51号土坑
107
52号土坑
108
109
110
111
53号土坑
112
55号土坑
113
56号土坑
114
115
116
63号土坑
117
67号土坑
118
119
120
121
122
123
黒色
0
(1/3)
10cm

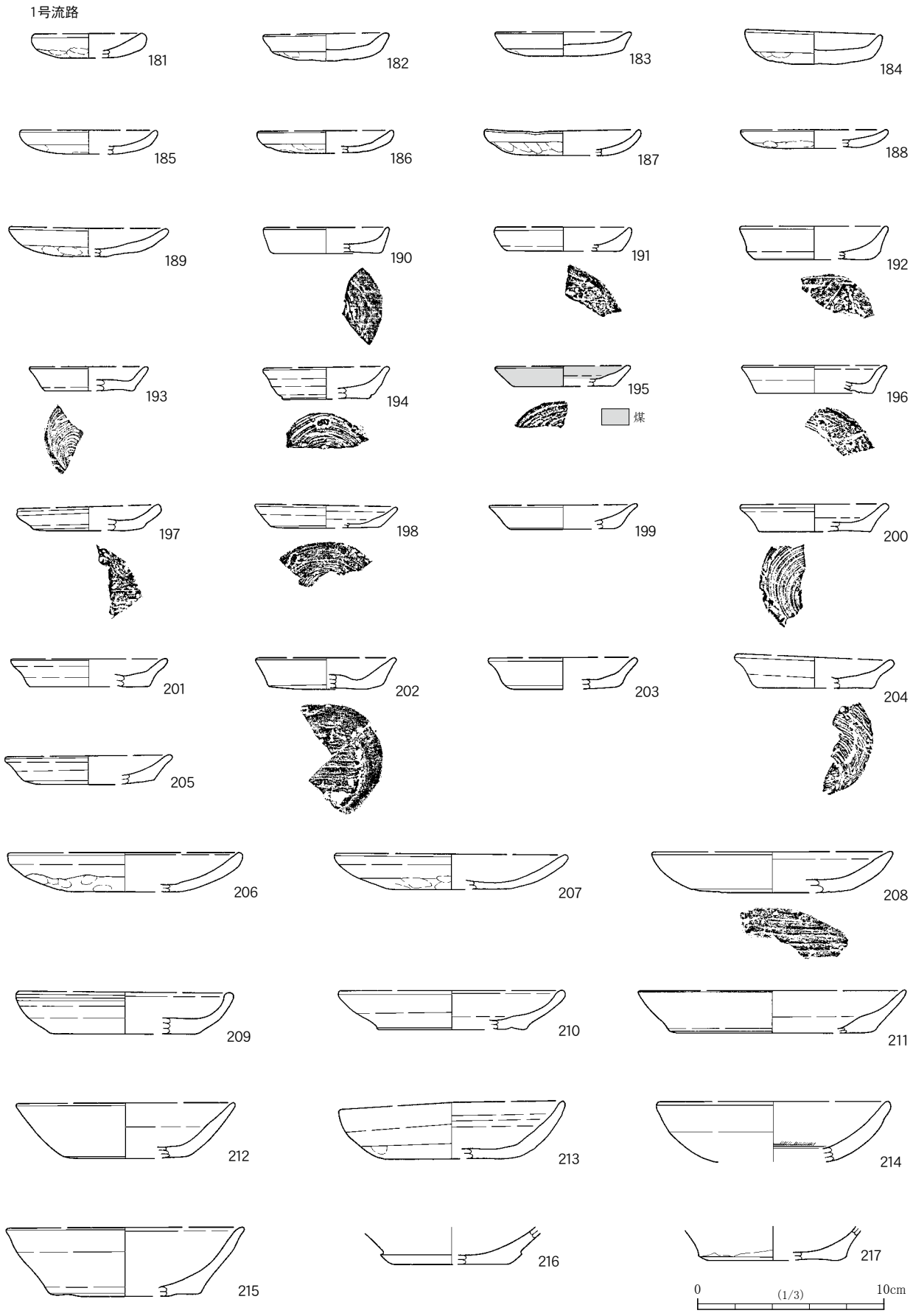
第59図　土師質土器（４）


124
125
煤
126
127
128
129
130
131
1A号溝
132
133
134
135
136
煤
1B号溝
137
138
煤
炭化物
2号溝
10号溝
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
0
(1/3)
10cm

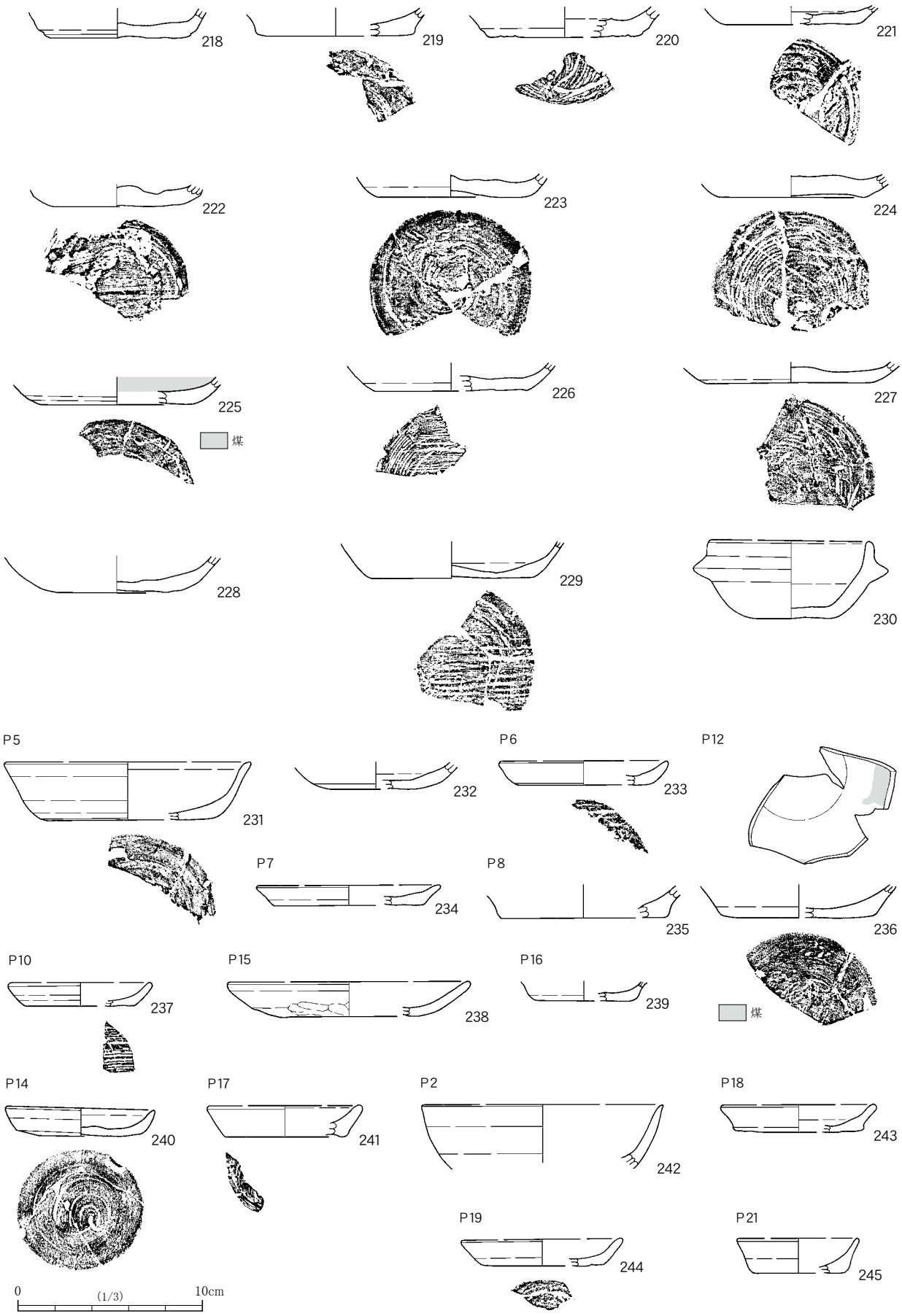
第60図　土師質土器（５）


150
151
152
11号溝
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
16号溝
166
167
168
20号溝
169
21号溝
170
煤
22号溝
171
23号溝
172
173
25号溝
174
29号溝
175
33号溝
176
35号溝
177
36号溝
178
179
煤
38号溝
180
煤
0
(1/3)
10cm

第61図　土師質土器（６）


1号流路
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
煤
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
0
(1/3)
10cm

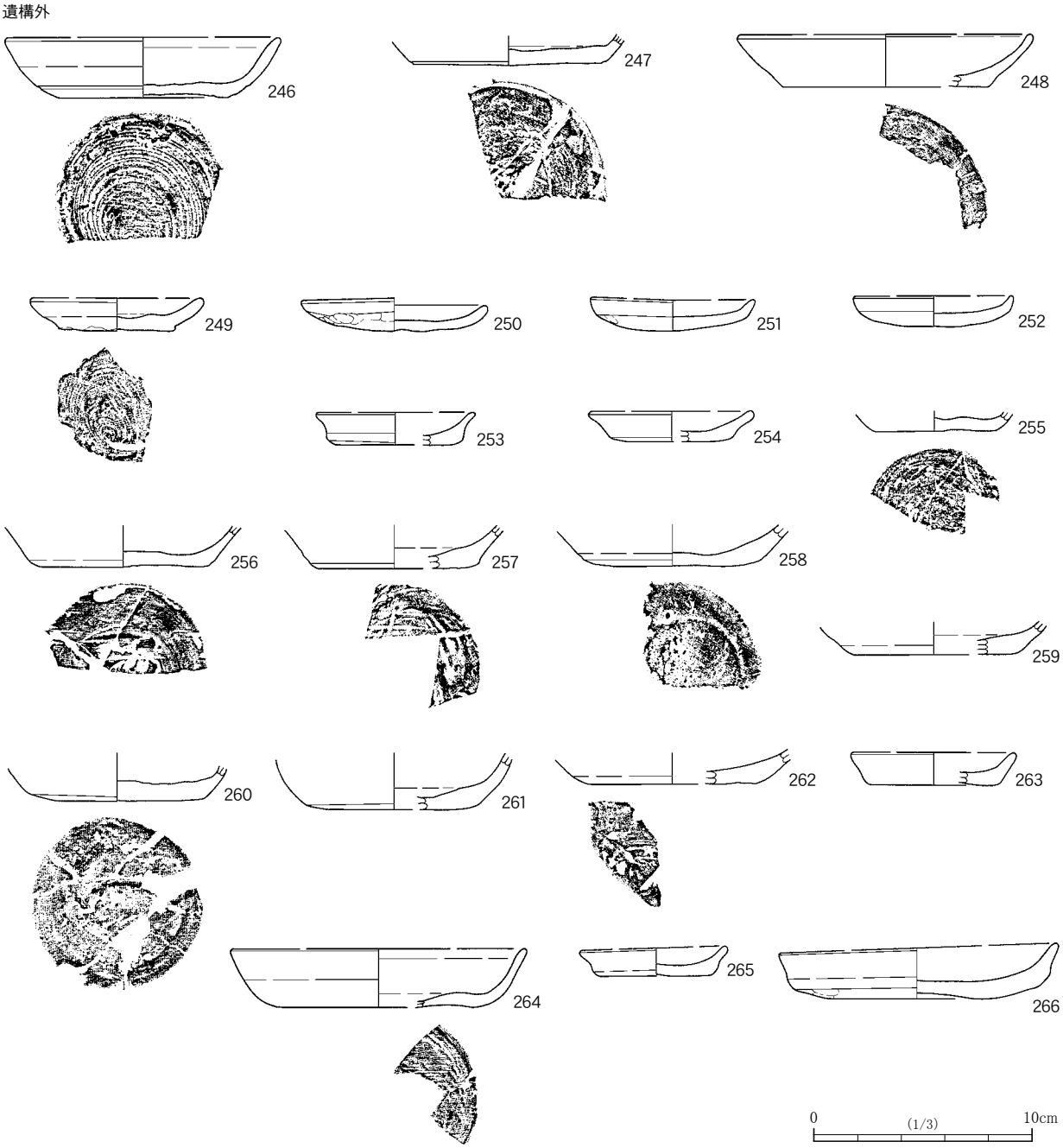
第62図　土師質土器（７）


218
219
220
221
222
223
224
225
煤
226
227
228
229
230
P5
231
232
P6
233
P12
P7
234
P8
235
236
P10
237
P15
238
P16
239
煤
P14
240
P17
241
P2
242
P18
243
P19
244
P21
245
0
(1/3)
10cm

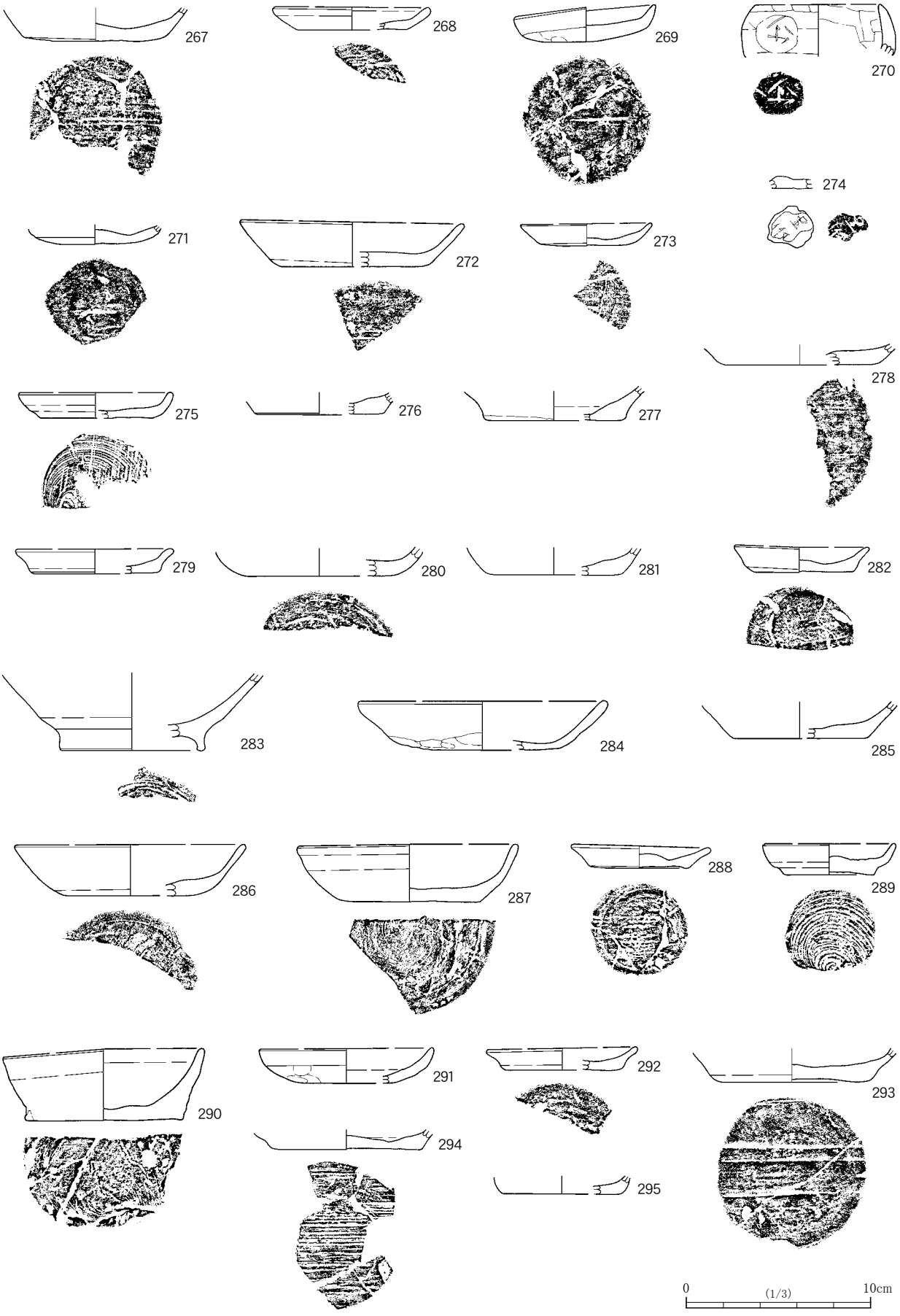
第63図　土師質土器（８）

231～245（第 63 図）は，小ピットから出土したものである。238 は手づくね成形の皿である。232～234・237・239～241・243～245 はロクロ成形の小皿で，確認できた底部の切り離しは，回転ヘラ切りが２点，回転糸切りが１点である。235・236 はロクロ成形の皿，231・242 は同坏で，確認できた底部の切り離しは，両者とも回転ヘラ切りが１点ずつである。

246～441（第 64～71 図）は，遺構外から出土したものである。手づくね成形のものは，小皿が 17 点，皿が４点，坏が２点である。ロクロ成形のものは，小皿が 82 点，皿が 59 点，坏が 27 点のほか，有台埦が２点，壺が１点である。特徴的なものとして，270 と 274 は線刻が，433 は肩部に穿孔が認められる。遺構外出土の土師質土器は，Ⅲ・Ⅵ・Ⅶ層から多量に出土している。ただし，完形品もしくはそれに近い遺存状態のものについては，出土した 31 点のうち，８割近くにあたる 24 点がⅢ層からの出土であり，出土層位に偏りが認められる。

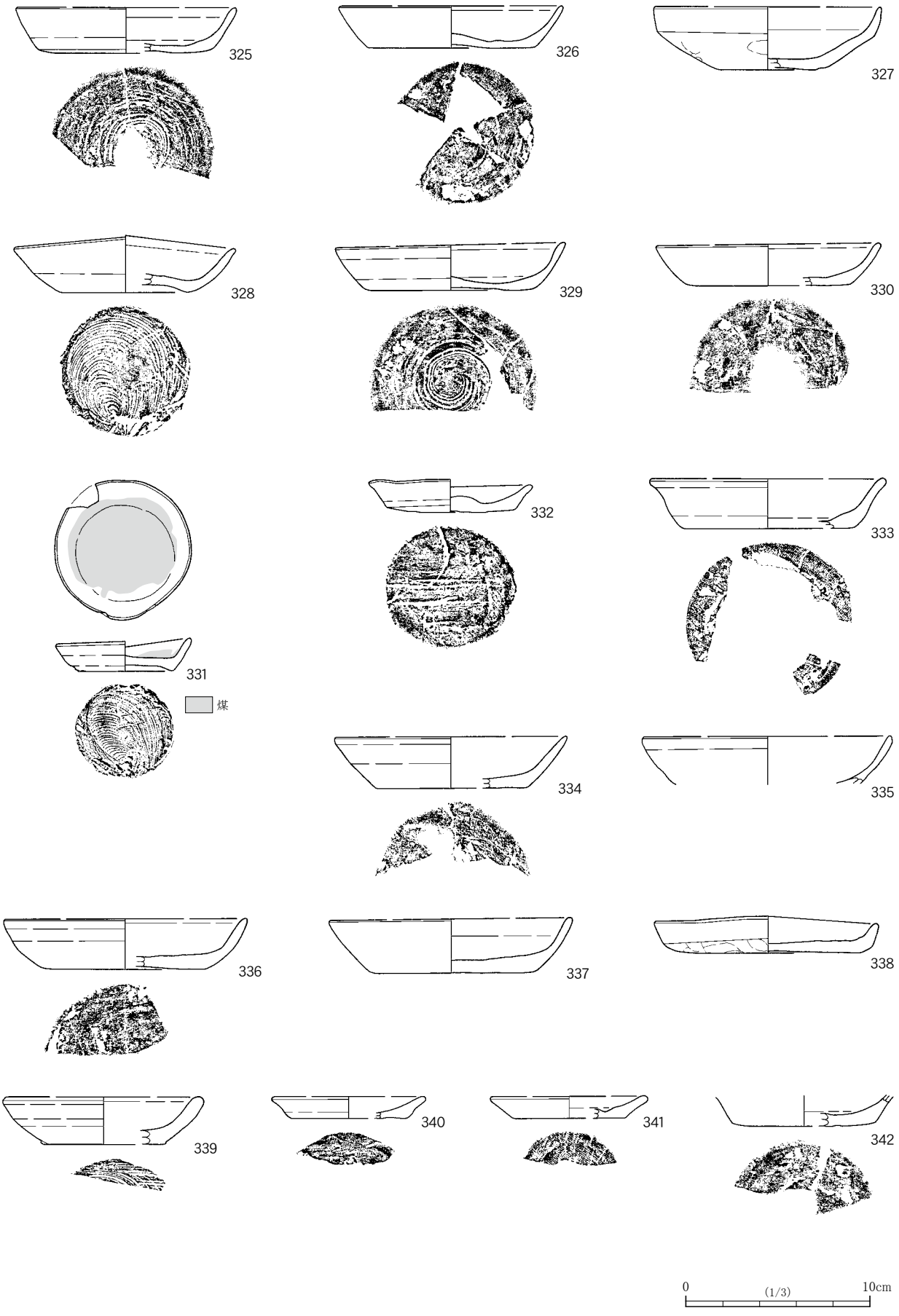


第64図　土師質土器（９）

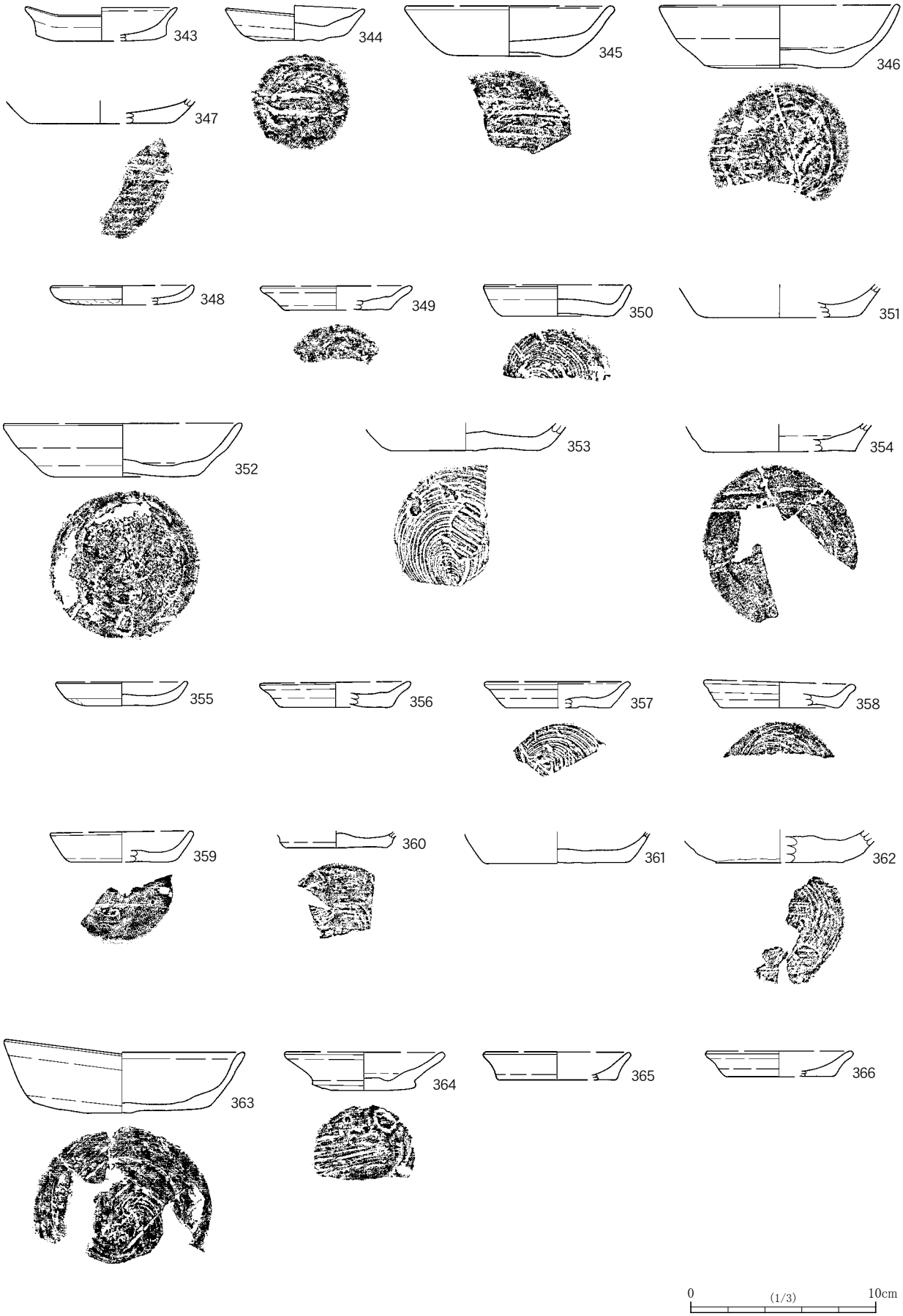


第65図　土師質土器（10）

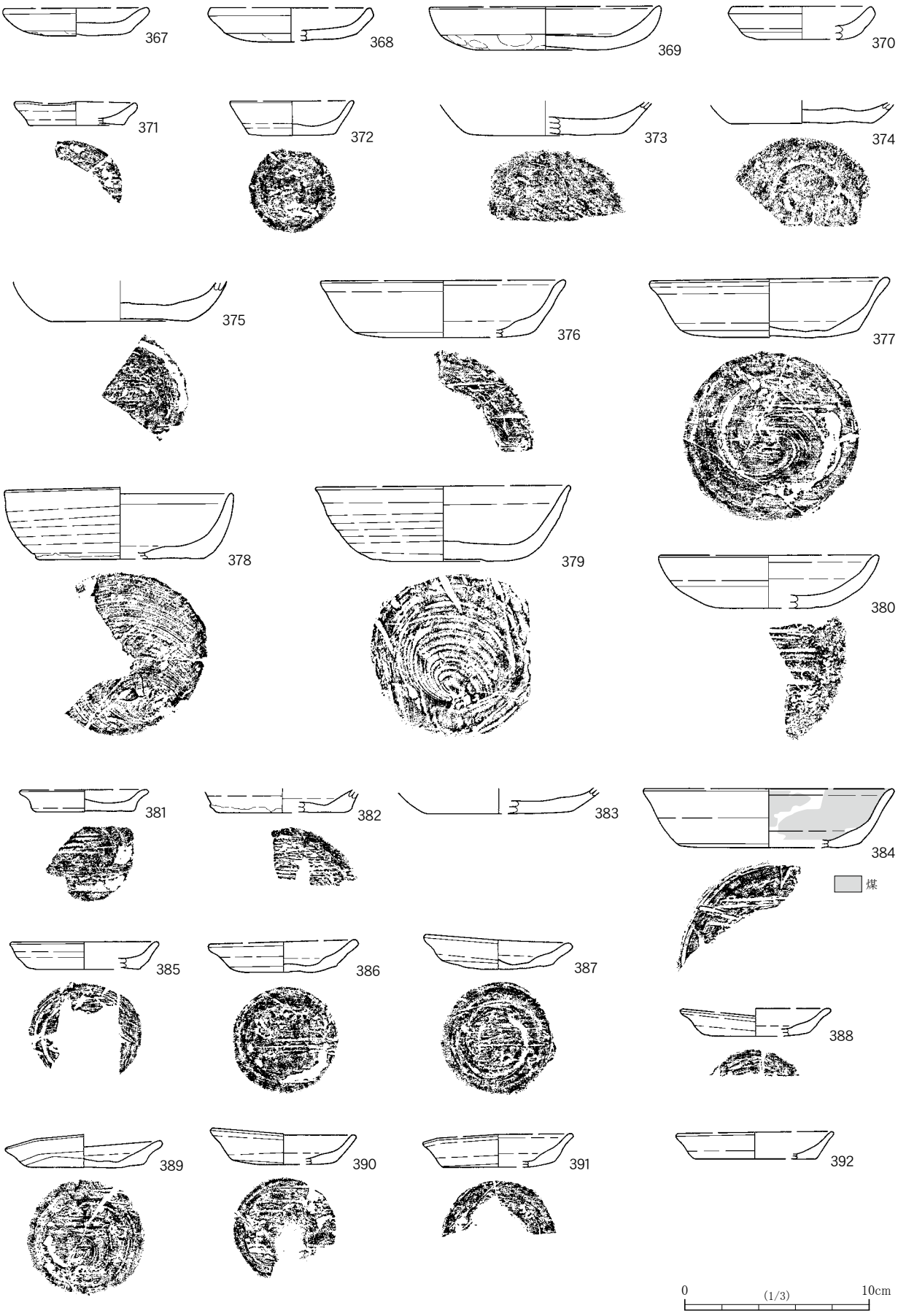
第66図　土師質土器（11）



第67図　土師質土器（12）

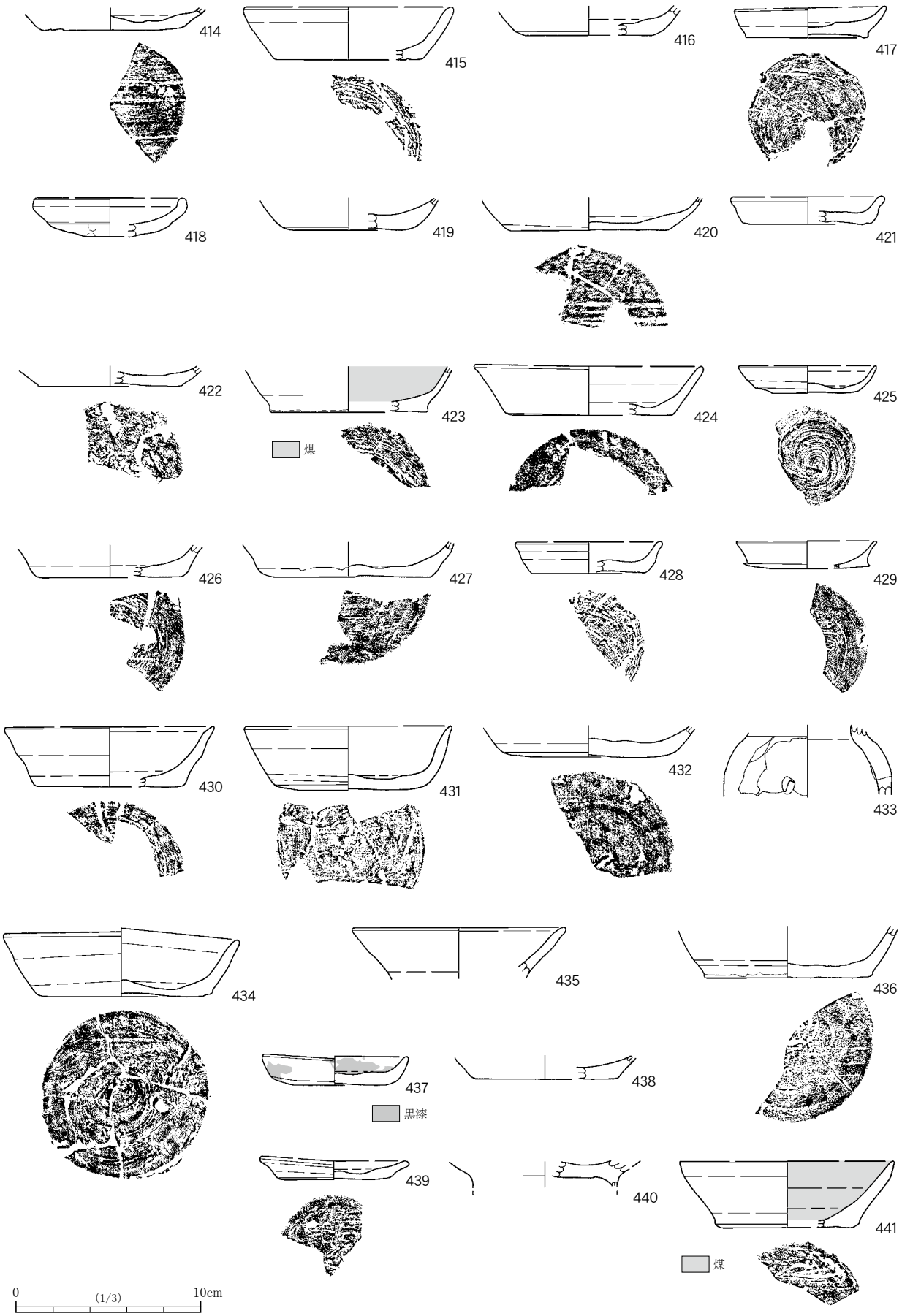


第68図　土師質土器（13）



第69図　土師質土器（14）

第70図　土師質土器（15）



第71図　土師質土器（16）

2　陶磁器・瓦器

今回の調査で出土した陶磁器のうち，磁器については，青磁，白磁，青白磁が認められた。ただし，遺存状態は良くなく，その多くが破片での出土である。器種は，坏，碗，皿，卸皿，梅瓶である。陶器については，珠洲，須恵器系陶器，瓷器系陶器のほか，わずかではあるが古瀬戸が出土している。器種は，片口鉢，壺，甕，卸皿などで，片口鉢の出土量の多いことが特徴的である。そのほかに，少量ではあるが瓦器も出土している。器種は片口鉢である。以下，種別および器種を中心に記載する。

１～７（第 72～73 図）は，掘立柱建物から出土したものである。２は青磁の碗で，底部内面に「金玉満堂」と押印されている。３は白磁の皿である。４～６は珠洲の片口鉢で，７は同甕である。１は瓷器系陶器の片口鉢で，卸目はない。

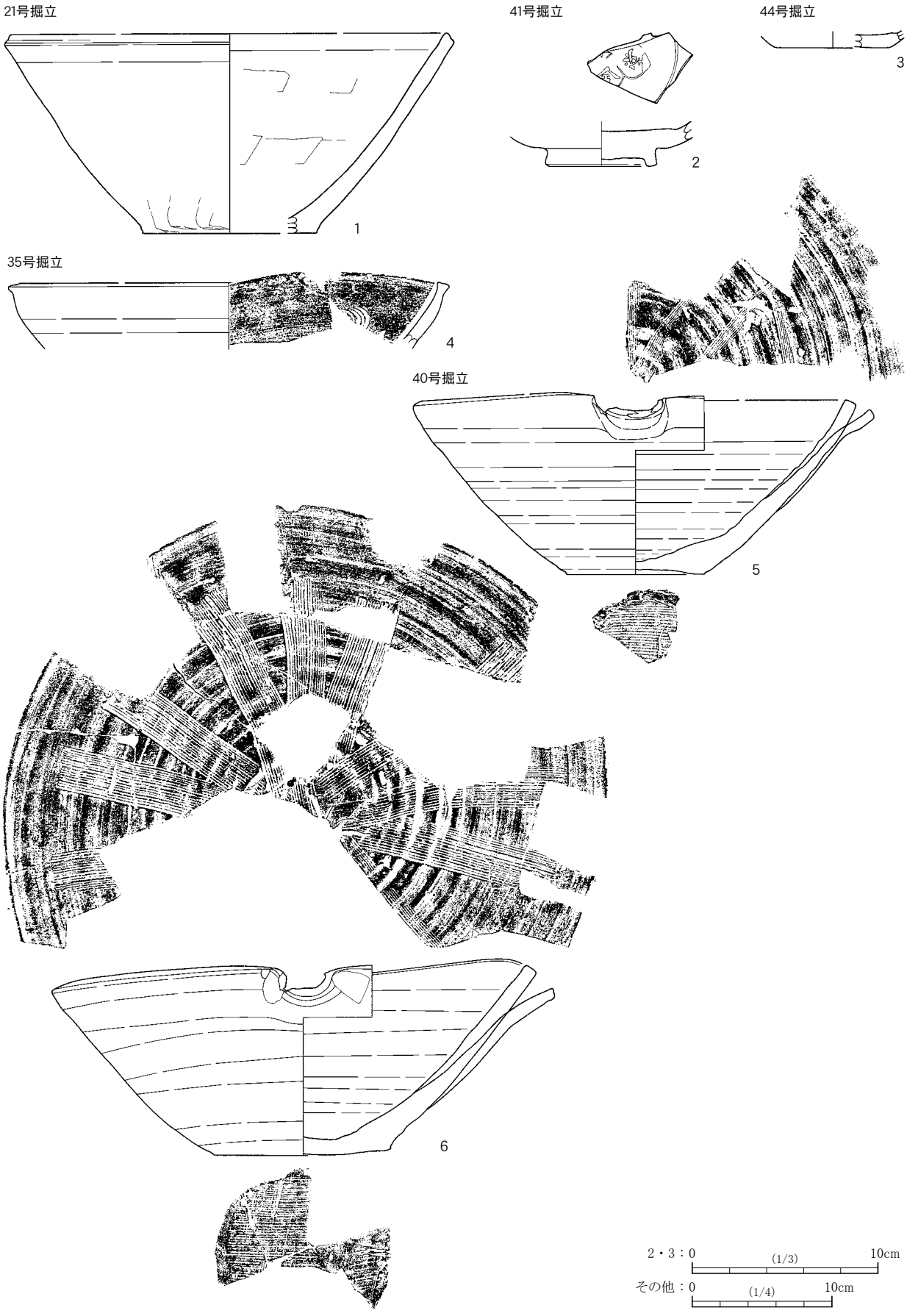
８～19（第 73～74 図）は，井戸から出土したものである。10 は青磁の坏で，内面に蓮弁文が描かれる。11・12・17～19 は珠洲の片口鉢で，11 には卸目がない。15・16 は珠洲の壺で，13 が同甕である。８は須恵器系陶器の片口鉢である。９も須恵器系陶器で，器種についてはやや判然としないが，壺の可能性が高い。底部外面に陶片重ね焼きの痕跡が確認され，産地は北沢窯と推定される。14 は瓷器系陶器の甕である。胴部と底部は接合していないが，胎土の特徴などから同一個体と判断した。なお，胴部は９号井戸から，底部は１号流路からの出土である。産地は狼沢窯と推定される。

20～38（第 75～76 図）は，土坑および小ピットから出土したものである。37 は青磁の碗である。20 は青白磁の梅瓶で，外面に刻花唐草文が描かれる。23・25・28・30・32・33・36 は珠洲の片口鉢で，23・25・28・32 には卸目がない。21・31 は珠洲の甕である。34 は須恵器系陶器の片口鉢で，卸目はない。24・26 は須恵器系陶器の壺で，29 は瓷器系陶器の壺である。27 は古瀬戸の卸皿で，内面に斜格子の卸目が入る。そのほかに，瓦器も出土している。22・38 がそれである。器種はともに片口鉢で，前者には卸目がない。

39～58（第 76～78 図）は，溝から出土したものである。50・52 は青磁の碗で，どちらも外面に鎬蓮弁文が描かれる。42 は白磁の碗である。39・40・43・44・49・51・54・58 は珠洲の片口鉢で，47・53・57 は同壺，48 は同甕である。56 は須恵器系陶器の壺である。41・45・46 は瓷器系陶器の甕で，45・46 には外面に三線格子文・「×」・菊花文を組み合わせた押印がある。産地は 45・46 が権兵衛沢窯と推定される。そのほかに，瓦器も出土している。55 がそれである。器種は片口鉢で，卸目はない。

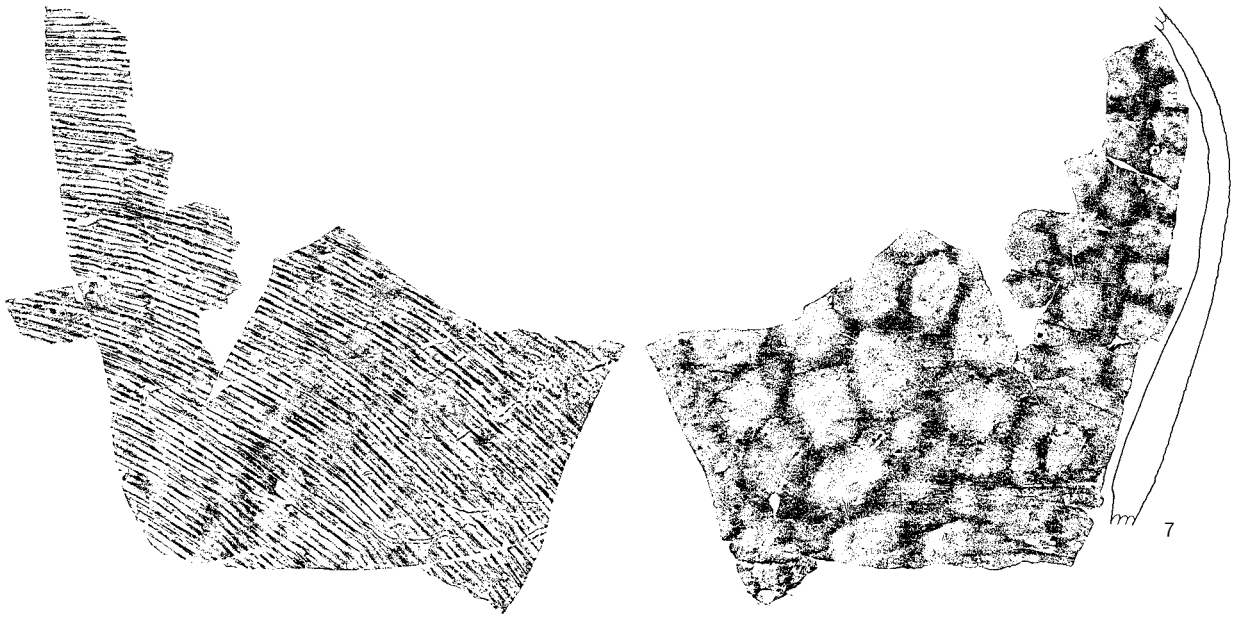
59～74（第 78～79 図）は，１号流路から出土したものである。59～62 は青磁の碗である。59 は底部内面に花弁文，61・62 は外面に鎬蓮弁文が描かれる。63～67 は珠洲の片口鉢で，69・71・73 は同壺である。69 は小型の壺で，肩部に波状文が施される。71 は双耳壺だが，耳は欠損している。70・72 は須恵器系陶器の壺である。前者は，胴部の内外面に縦方向のヘラケズリを明瞭に施す。68 は瓷器系陶器の壺で，外面に黒漆が付着する。産地は狼沢窯と推定される。74 は瓷器系陶器の甕である。

75～98（第 78～第 79 図）は，遺構外から出土したものである。78 は青磁の坏で，79～92 は同碗である。78 は内面に蓮弁文，79・80 は外面に鎬蓮弁文が描かれる。なお，78 と 79 は施釉が厚い。75・76 は白磁の皿である。94 は白磁の卸皿で，底部内面には櫛目文が入る。77 は青白磁の梅瓶で，外面に刻花唐草文が描かれる。96～98 は珠洲の片口鉢で，97･98 には卸目がない。95 は珠洲の壺である。93 は古瀬戸で，器種は判然としないが，柄付片口の可能性が考えられる。

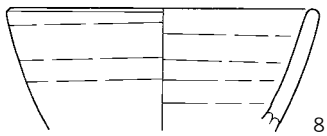

21号掘立
41号掘立
44号掘立
3
2
1
35号掘立
4
40号掘立
5
6
2・3：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

第72図　陶磁器（１）

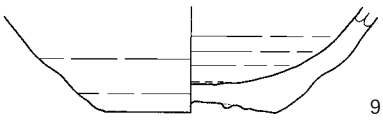
47号掘立



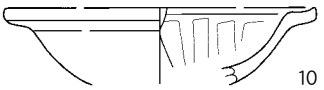
3号井戸



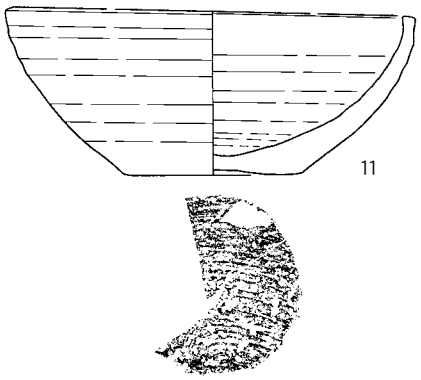
6号井戸



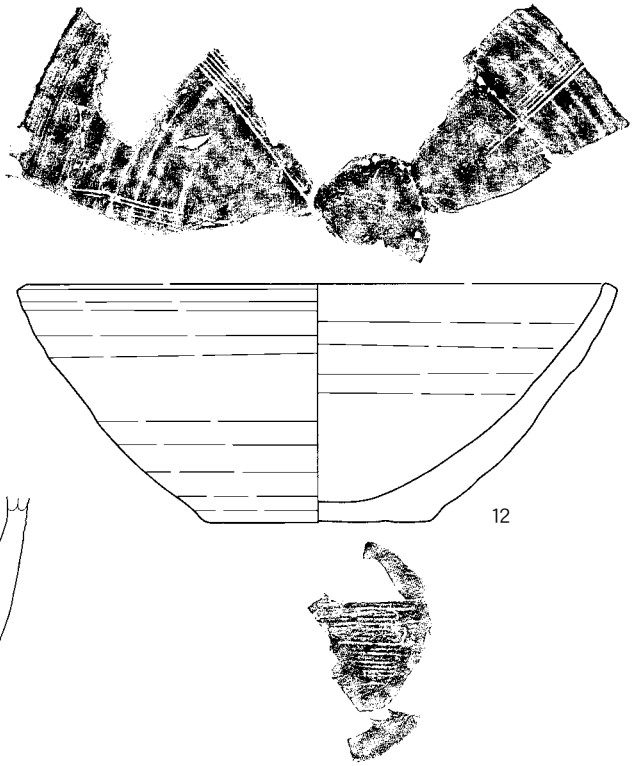
7号井戸

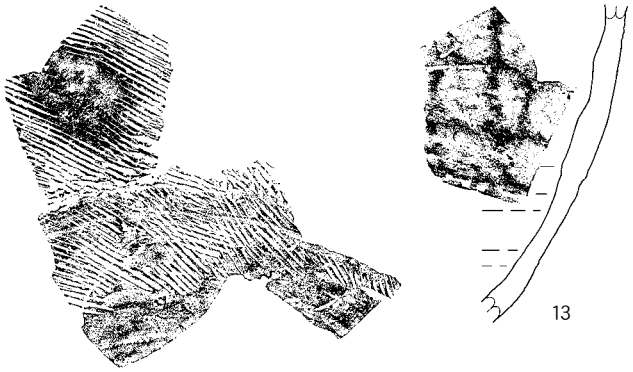


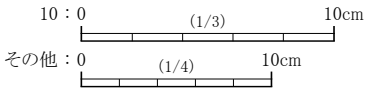
8号井戸



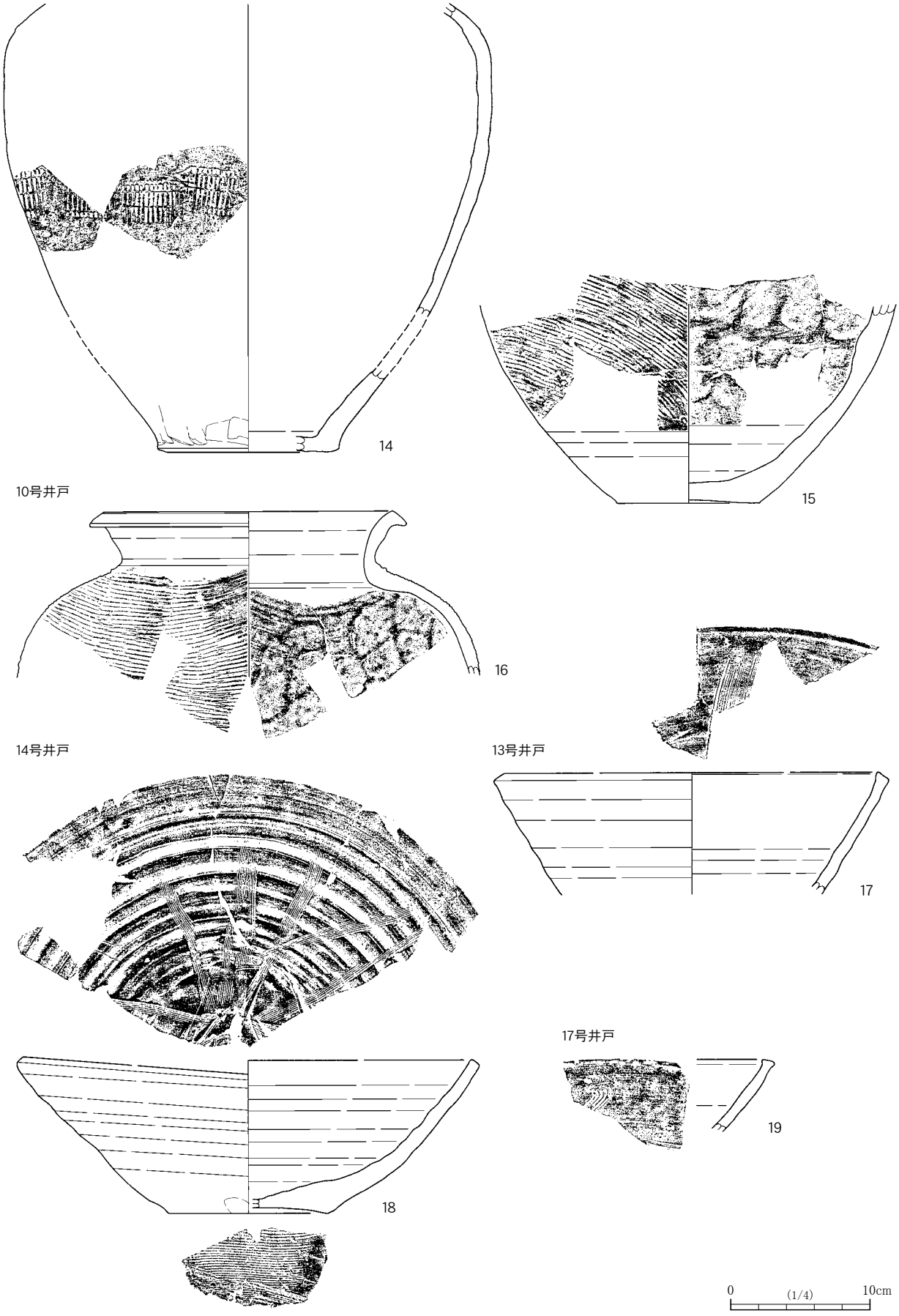
9号井戸



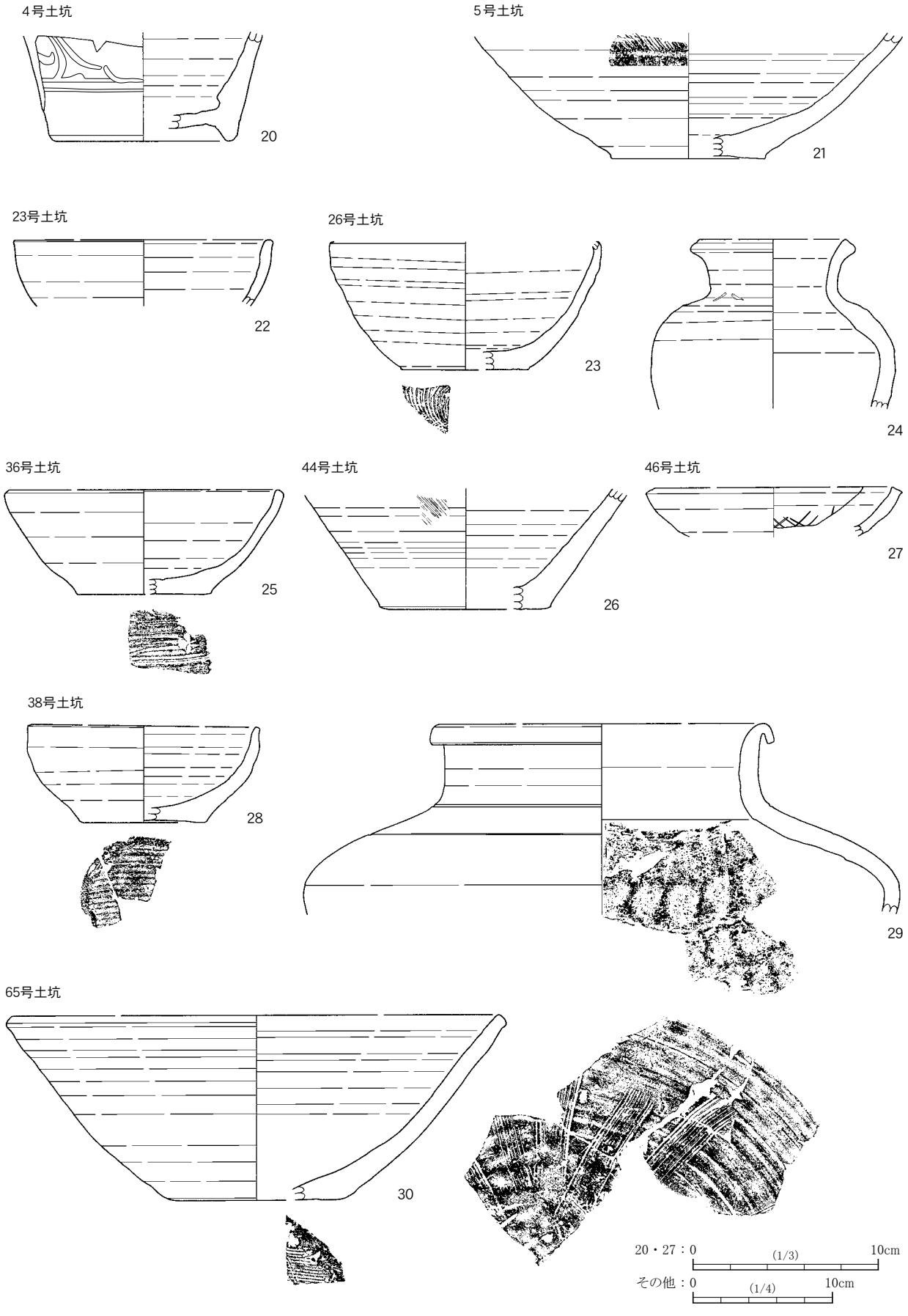




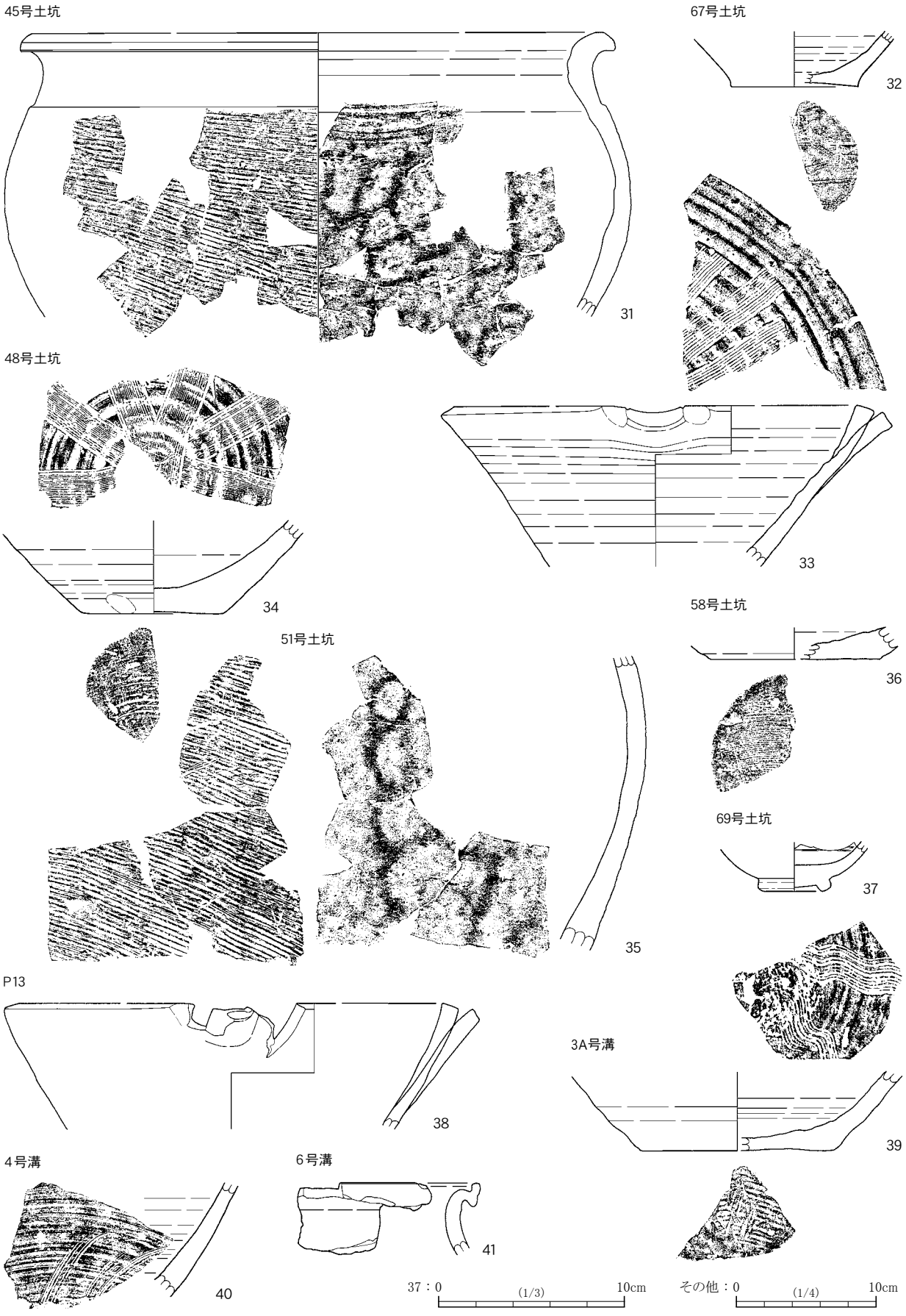
第73図　陶磁器（２）



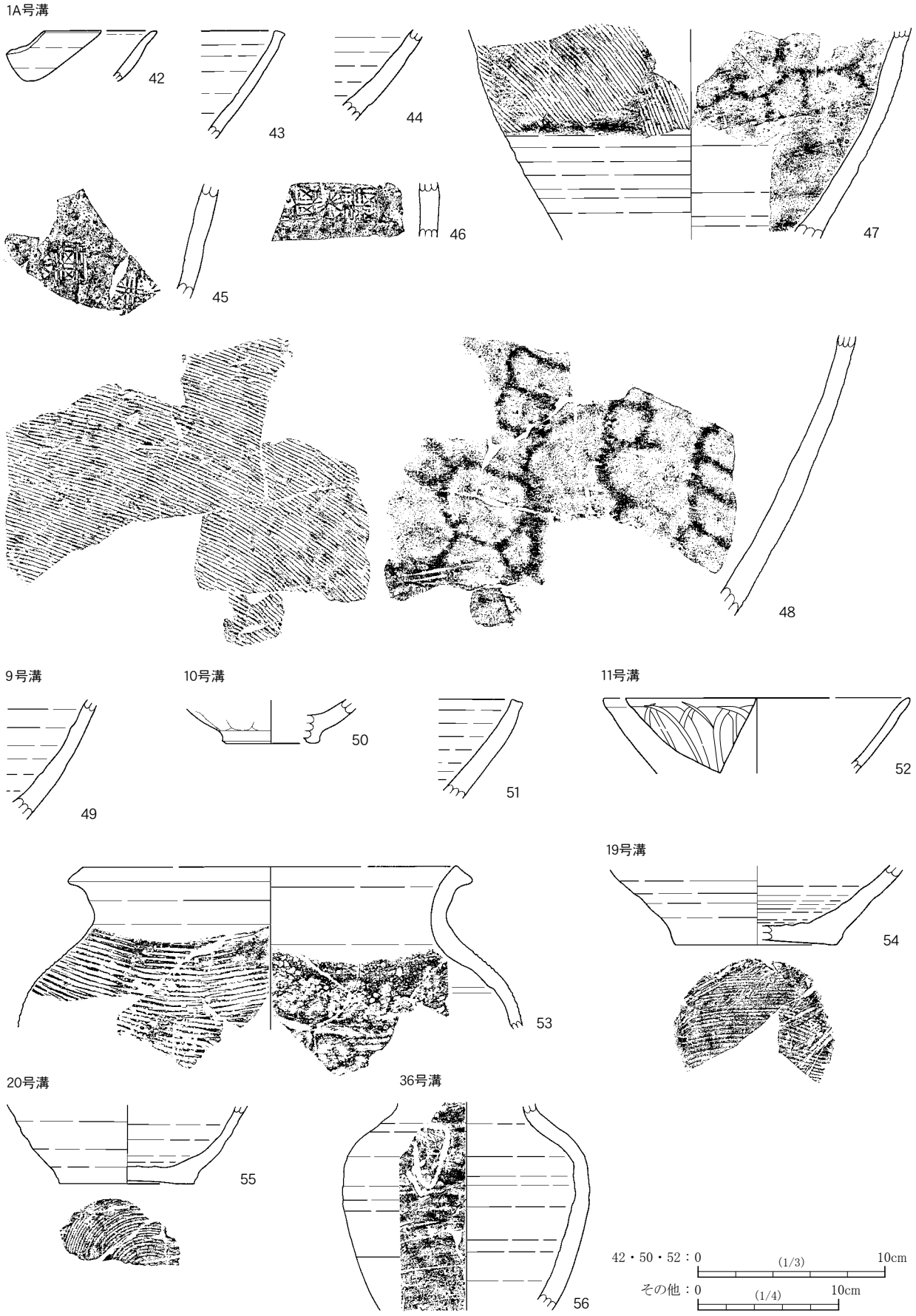
第74図　陶磁器（３）


4号土坑
20
5号土坑
21
23号土坑
22
26号土坑
23
24
36号土坑
25
44号土坑
26
46号土坑
27
38号土坑
28
29
65号土坑
30
20・27：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

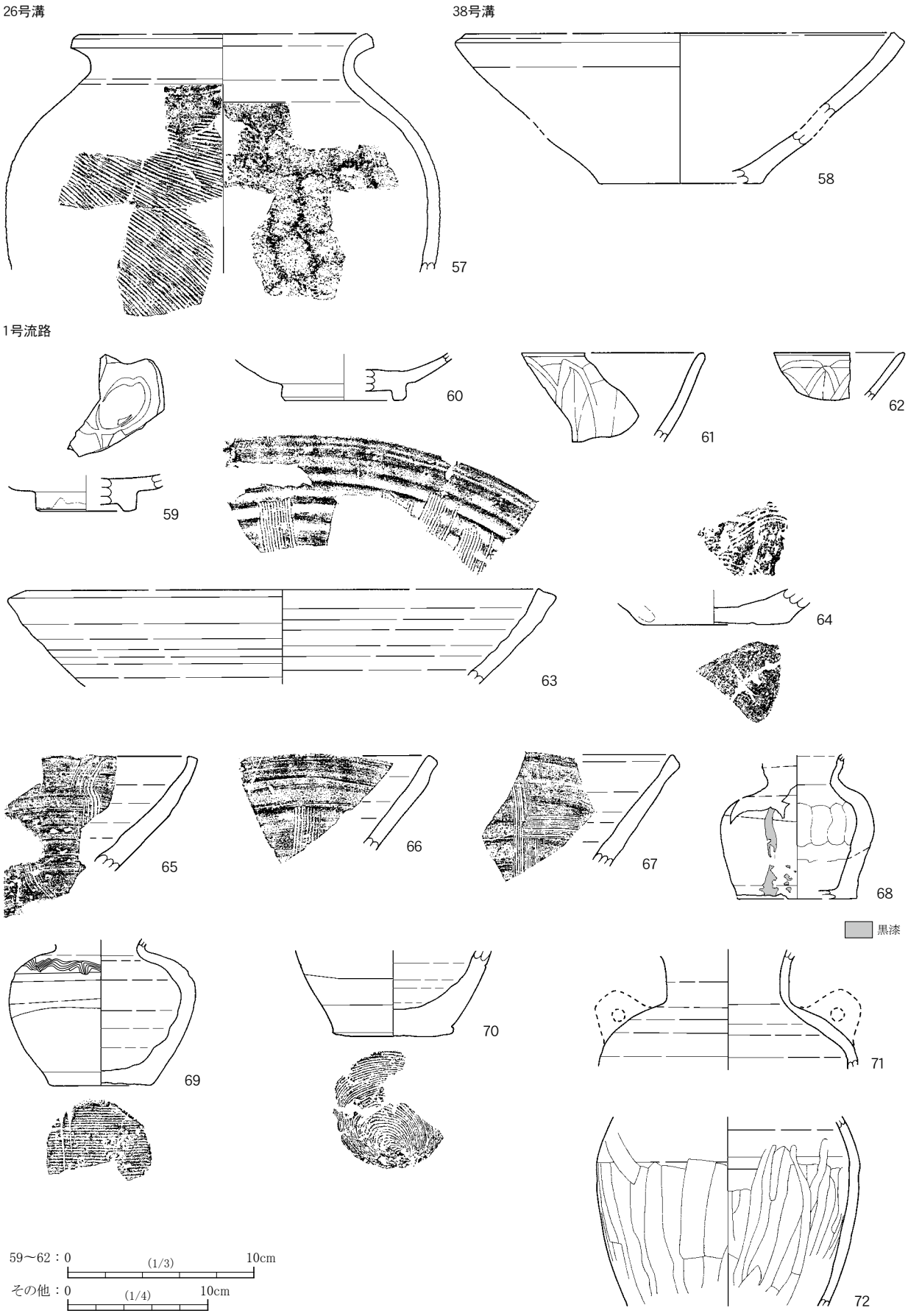
第75図　陶磁器（４）


45号土坑
67号土坑
32
31
48号土坑
33
34
58号土坑
51号土坑
36
69号土坑
37
35
P13
3A号溝
38
39
4号溝
6号溝
41
40
37：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

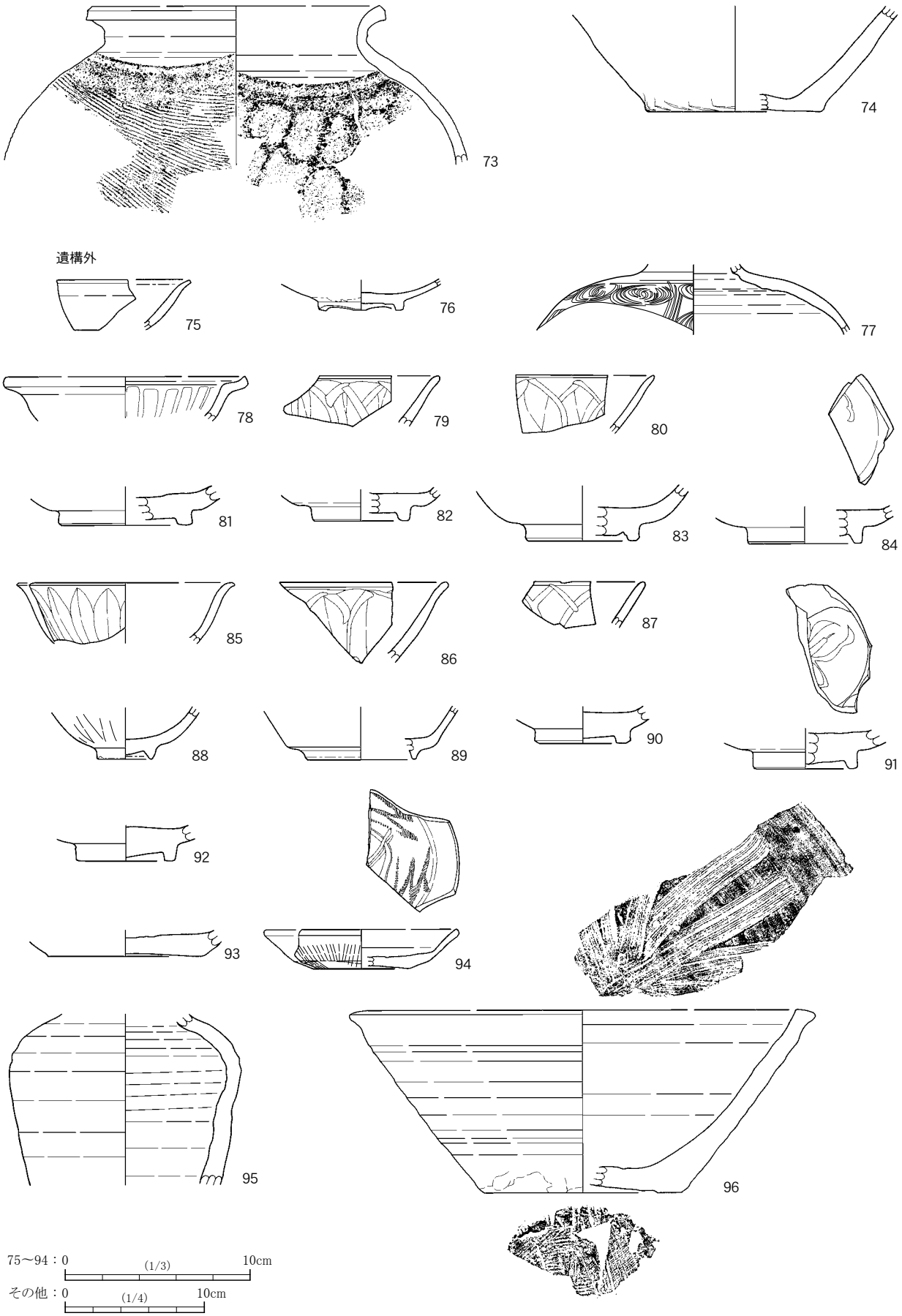
第76図　陶磁器（５）


1A号溝
42
43
44
45
46
47
48
9号溝
49
10号溝
50
51
11号溝
52
19号溝
53
54
20号溝
55
36号溝
56
42・50・52：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

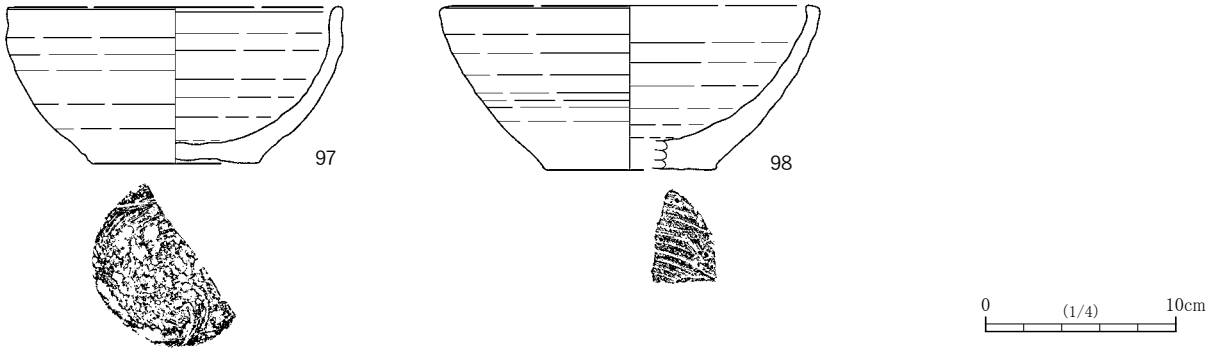
第77図　陶磁器（６）


26号溝
38号溝
57
58
1号流路
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
黒漆
69
70
71
72
59～62：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

第78図　陶磁器（７）


遺構外
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
75～94：0 (1/3) 10cm
その他：0 (1/4) 10cm

第79図　陶磁器（８）



第80図　陶磁器（９）

３　土製品

今回の調査で出土した土製品は，土錘と焼成粘土塊である。土錘は破片も含めて 12 点出土した。ここでは７点を図示する。１・10 は幅が 5.0㎝以上の大型品で，重量は 150ｇ以上である。９・12 は幅が 4.0～4.3㎝の中型品で，重量は 80 ～ 130ｇ程である。８は幅が 2.5㎝の小型品である。７・11 は幅が 1.3～1.5 ㎝の細型品で，重量は 10ｇ以下と軽い。なお，７は孔が貫通していない。未成品の可能性も含め，その用途については検討を要する。

焼成粘土塊は，２・24・25・65・67 号土坑，１号流路および遺構外から出土した。それらのうち，25 号土坑からが 24 点（計 108.2ｇ）と最も多く出土している。それ以外の遺構では，それぞれ１～２点（計 1.3～6.8ｇ）しか出土しておらず，遺構外から出土したものも８点（計 35.4ｇ）と少ない。５点を図示した。

そのほかに，転用砥石が出土している。13 がそれである。土師質土器の底部破片を素材として，側縁部を砥面に使用している。

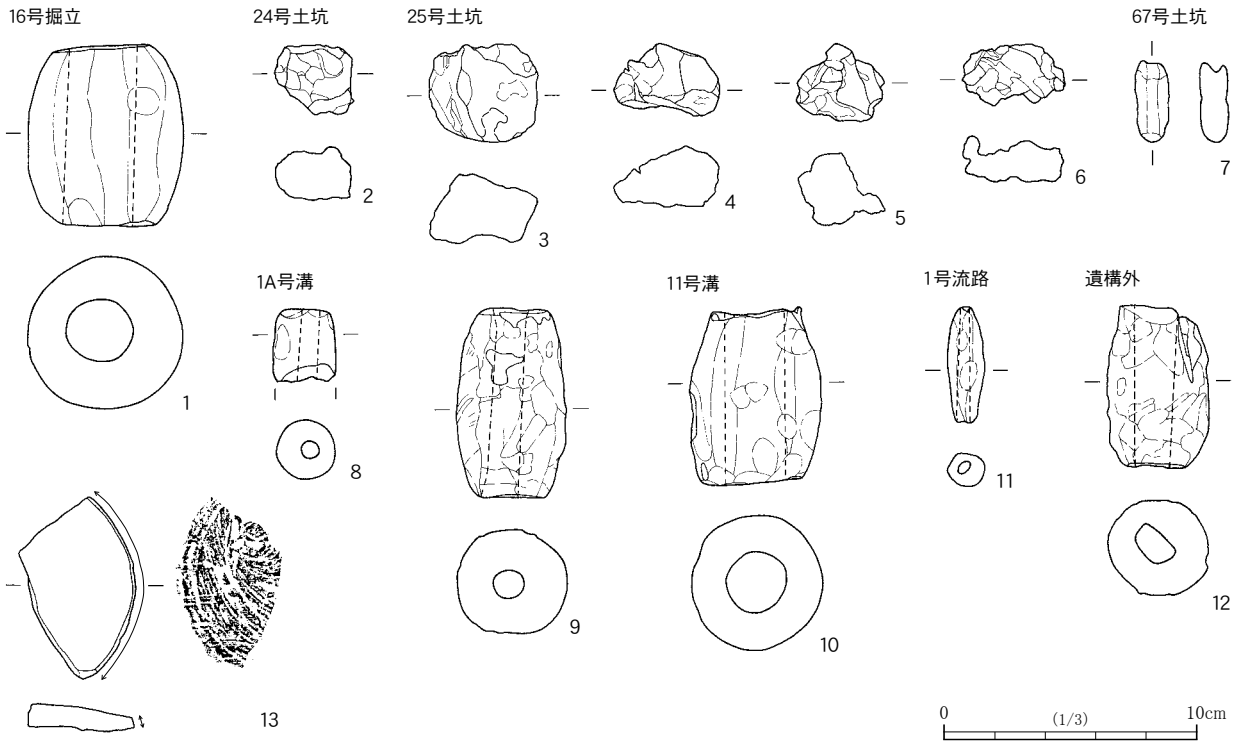
４　石製品

今回の調査で出土した石製品は，砥石，石鉢，浮子，硯などである。これらのうち，砥石の出土量が最も多い。砥石は，大型品・中型品・小型品が認められ，それぞれ荒砥・中砥・仕上砥にあたると推定される。18・36 は石鉢である。どちらも破片資料であり，器形を復元するには至っていない。19・37 は軽石で作られた浮子である。19 は上面に溝状の刻みが４本入り，下面は平坦に加工されている。37 も上面に刻みが認められるが，欠損により詳細は不明である。26 は硯である。頁岩製で，１点のみの出土である。また，特徴的なものとして，15 の球状石製品が挙げられる。人為的に加工されたものであるが，その用途は不明である。

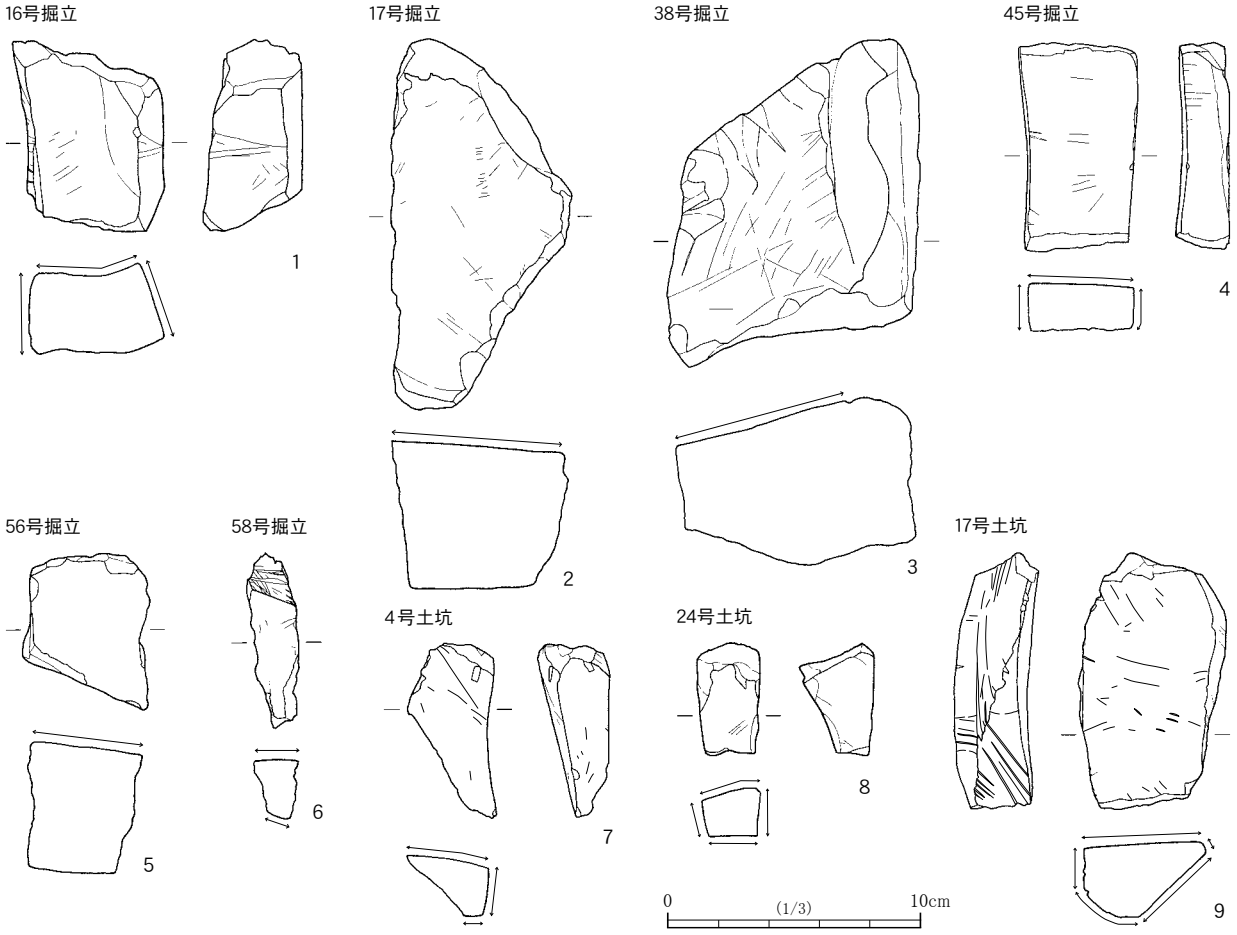
５　金属製品・鍛冶関連遺物

今回の調査で出土した金属製品は少量である。６点を図示した。１は金具の一種と考えられるが，その用途は不明である。上面はやや湾曲し，下面は平坦に加工されている。３は板状の鉄製品で，先端部はやや角度がつく。何らかの工具の可能性も考えられる。10～12 は刀子である。13 は銅製品で，金具の一種と推定される。

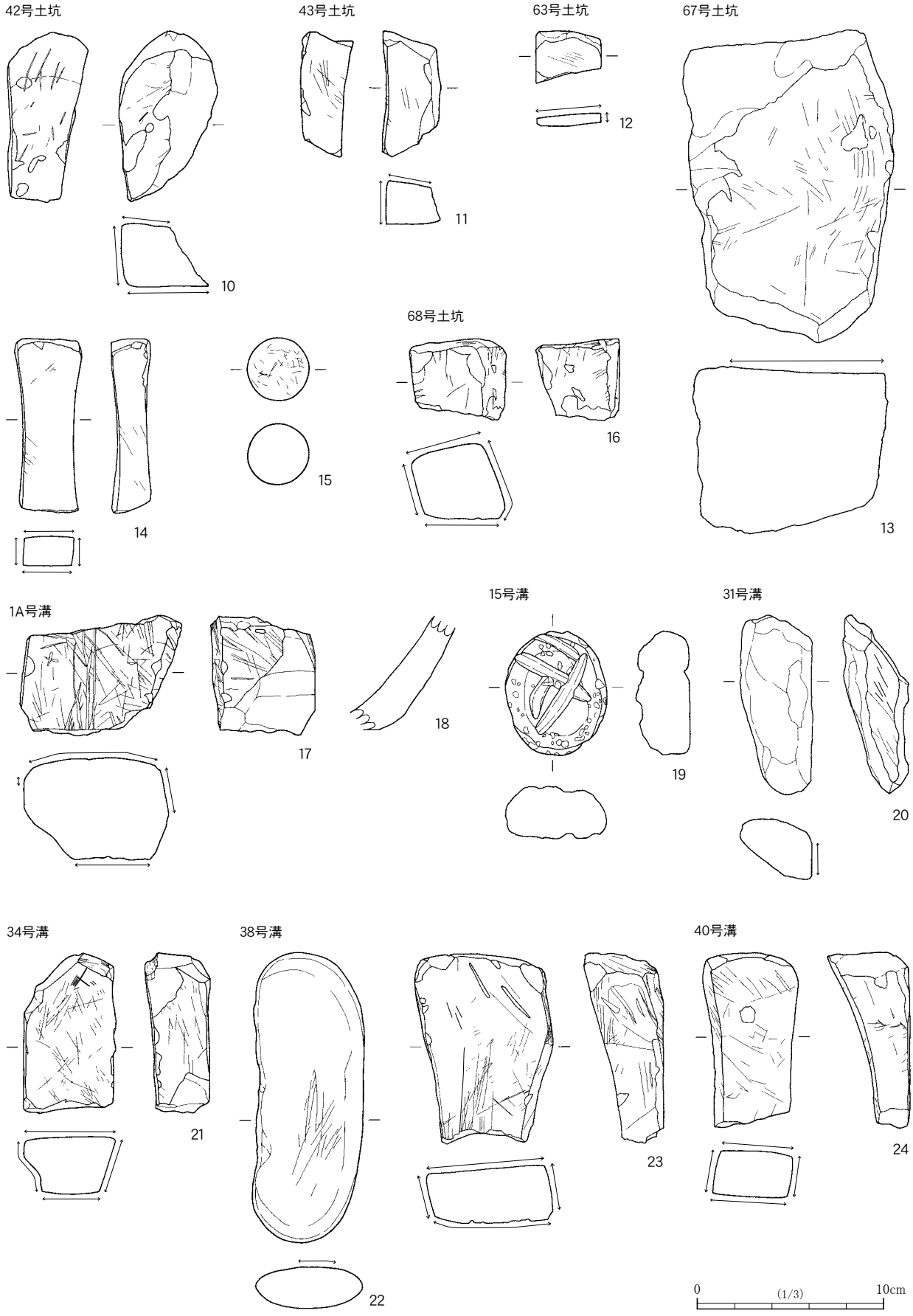
鍛冶関連遺物としては，羽口と鉄滓がある。羽口は，６号土坑，1A・２・3A・６・10 号溝，１号流路および遺構外から出土したが，出土量は少ない。３点を図示した。鉄滓は，23 号井戸，６・17・25・30・67 号土坑，1B・19 号溝，１号流路および遺構外から出土した。金属製品や羽口に比べると，出土量はやや多い。その出土重量は，遺構から計 892.6ｇ，遺構外から計 1,635.9ｇで，合計 2,528.5ｇである。ここでは４点を図示した。



第81図　土製品



第82図　石製品（１）

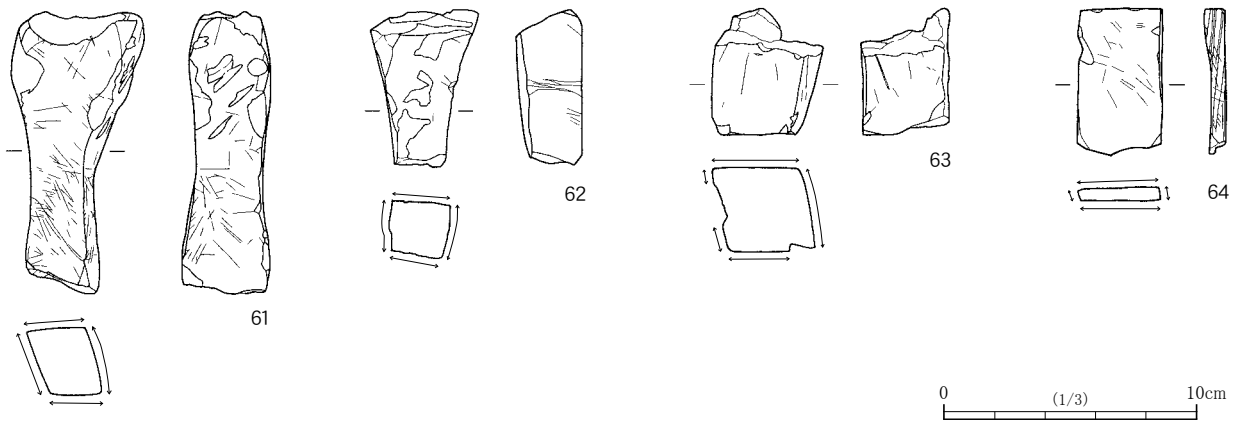

42号土坑
43号土坑
63号土坑
67号土坑
68号土坑
1A号溝
15号溝
31号溝
34号溝
38号溝
40号溝
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
0
(1/3)
10cm

第83図　石製品（２）

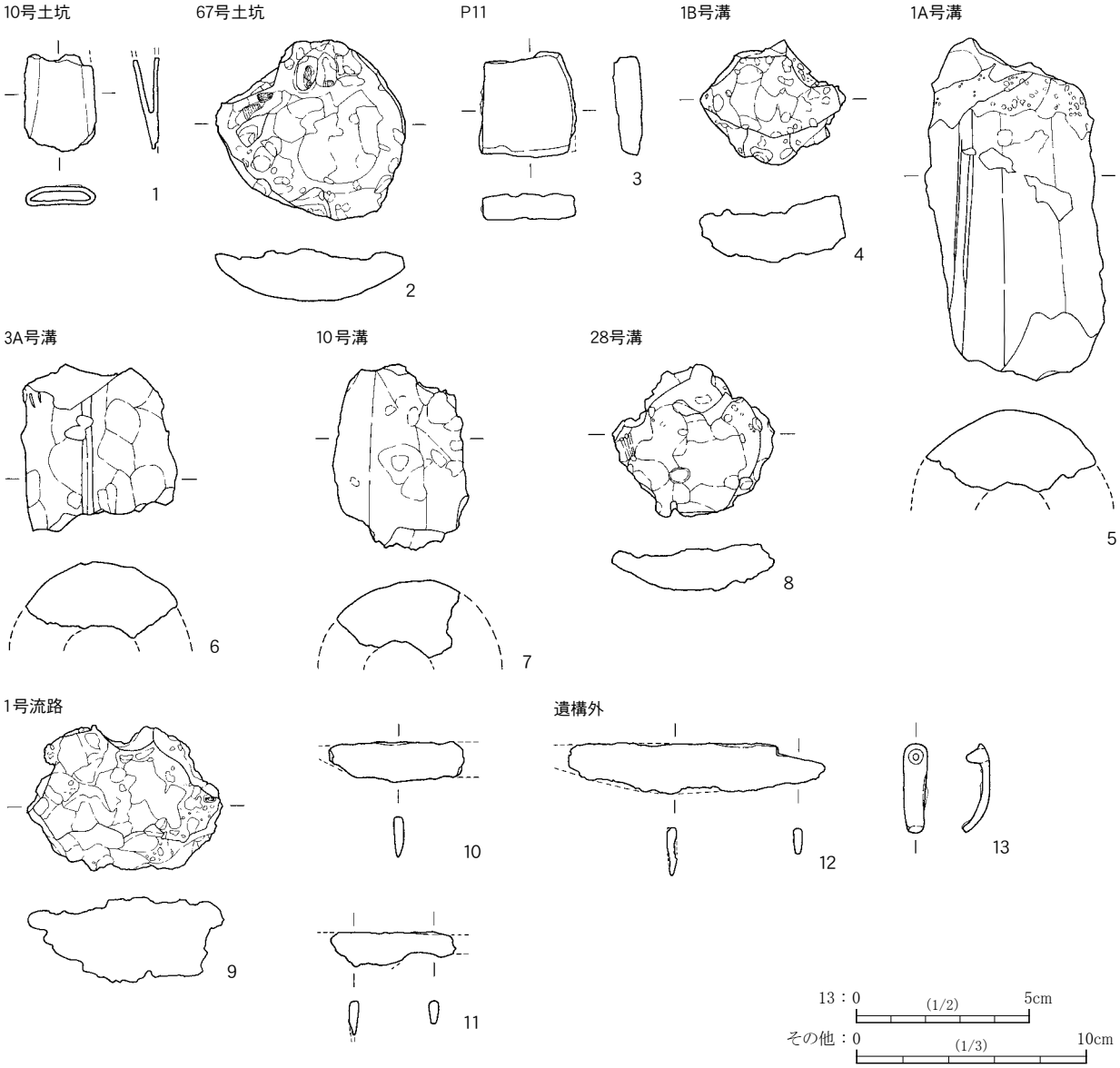
P20
1号流路
25
26
27
28
29
30
31
32
33
遺構外
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
その他：0
(1/3)
10cm
36：0
(1/4)
10cm

第84図　石製品（３）

第85図　石製品（４）

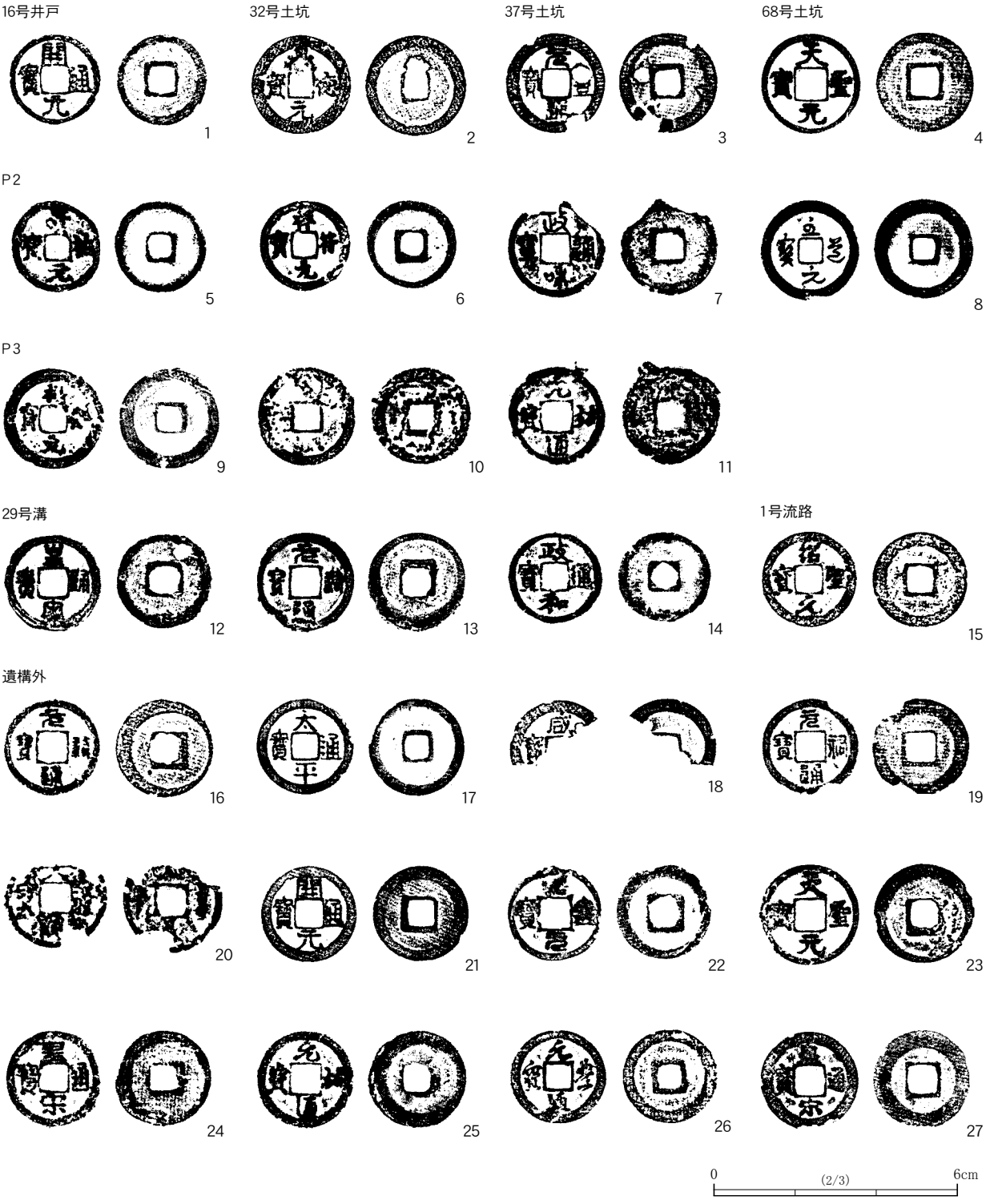


第86図　石製品（５）



第87図　金属製品と鍛冶関連遺物

銭貨は，遺構から 17 枚，遺構外から 12 枚，合計で 29 枚出土した。ここでは，小片を除いた 27 枚を図示した。銭種が判読できたものは 26 枚で，そのうちの 24 枚が北宋銭，２枚が唐銭である。最も古いものは開元通寶（初鋳年 621 年）で，最も新しいものは政和通寶（初鋳年 1111 年）である。なお，Ｐ２とＰ３からは，銭貨が特徴的な状態で検出された。Ｐ２では，埋土の上位において，上から５・６・７・８の順に４枚が重なって出土している。Ｐ３では，底面の直上において，上から９・10・11 の順に３枚が重なって出土している。どちらも地鎮などの祭祀に伴って埋納されたものと推定される。



第88図　銭貨

6　木製品

今回の調査では，調査区の地下水位が高いため，多量の木製品が良好な遺存状態で出土した。多様な種類の木製品が確認されたが，掘立柱建物の建築部材や井戸の構築部材を除けば，漆器の椀・小皿や箸，杓子形木製品などの食膳具が比較的多い。また，蓋板や箱板などの容器類や，斎串，舟形木製品などの祭祀具も出土している。なお，木簡は6点出土しているが，その内容については，次節の「7　木簡」で詳しく触れる。

1～85（第89～95図）は，掘立柱建物から出土したものである。46の箸を除き，いずれも柱根か礎板といった建築部材である。礎板は，何らかの部材を転用・再利用しているものが多く確認された。14と23の2点，および15・22・24・25の4点は，接合こそはしなかったものの，それぞれ同一部材を切断して再利用したものと考えられる。17～19は，ほぼ同じ形状の加工材をそれぞれ礎板に再利用したものである。21は下駄の歯を，31・85は蓋板を，それぞれ礎板として転用している。

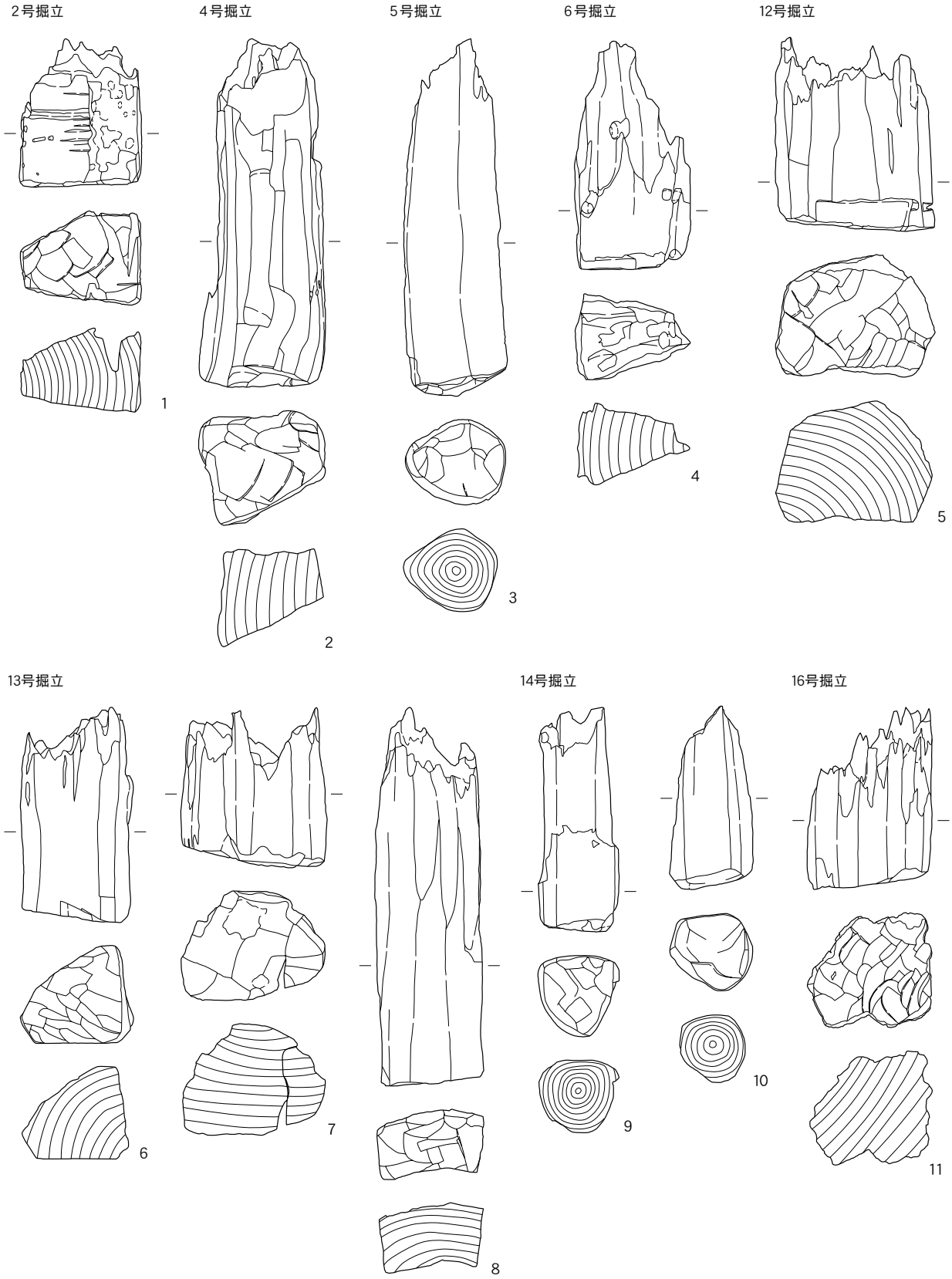
86～528（第96～120図）は，井戸から出土したものである。86・115・128・158・207・231・286・372・381・385はそれぞれ井戸の水溜施設として使用された曲物である。114・157は井戸枠の部材として使用された曲物である。140～156は6号井戸から出土した井戸枠の縦板である。そのうちの140～143・145～148・154には，それぞれ複数の穿孔が認められる。建物部材などを転用した可能性が高い。また，144は丸木舟を転用している。324～364は14号井戸から出土した井戸枠の縦板である。そのうちの344～347の4枚，350～354の5枚，355・356の2枚，357・358の2枚がそれぞれ接合した。このことから，一つの角材を打ち割って，複数枚の板を製材していたことがわかる。119～127・129・199～202・253・273～275・300～305・365～370・391～398・404は井戸枠の桟木で，203～206・306～308・371は井戸枠の隅柱である。桟木のうち，129・253・273～275・404については，それぞれ井戸の埋土から個別に出土しており，井戸を埋める際に投棄したものと推定される。

また，食膳具も出土している。137・232・233・422・423・465・522・523は漆器の椀および同小皿である。522・523は，内外面に絵や文様が描かれている。522は内面に赤漆を施した後，黒漆を用いて手描きで絵を描く。ただし，絵はやや稚拙である。高台の形状から，14世紀代の所産と推定される。523は内面に黒漆を施した後，赤漆を用いて手描きで絵を描く。絵の内容は，中央に花，上下に鶴である。高台の形状から，13世紀代の所産と推定される。それ以外の食膳具としては，291・402・427の杓子形木製品，321の匙のほか，多数の箸が出土している。

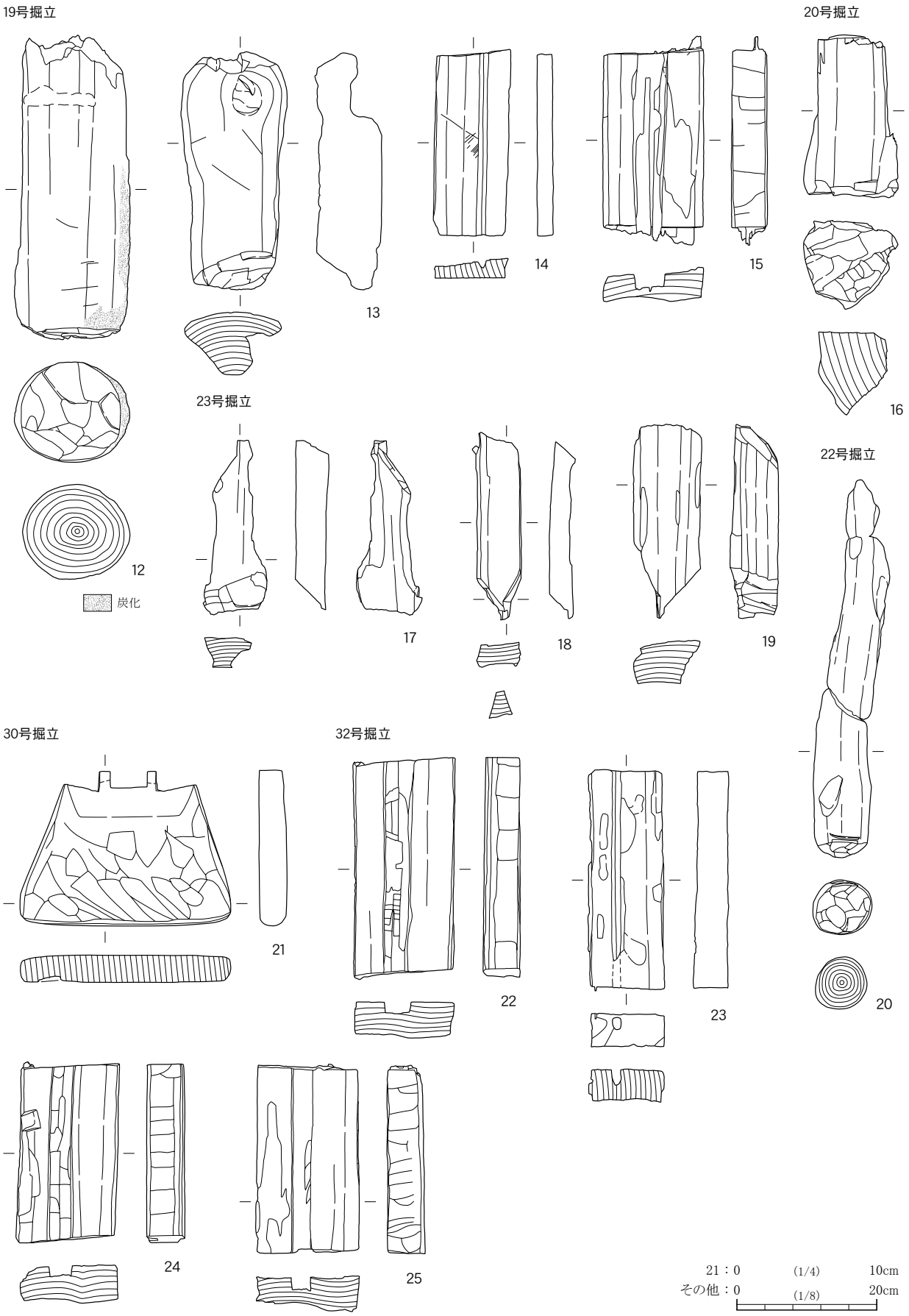
井戸からは，そのほかに部材や容器類なども出土している。87～93は丁寧な整形が施された部材で，形状が特徴的である。96・424～426は，組合せ箱の側板で，内外面に炭化処理を施している。97・138・210・287・388・414・415・441・442・468は蓋板である。309は部材で，孔の一つには小片の板材が複数はめ込まれている。382・420・466は下駄および下駄の歯，467は曲物の底板，469は斎串である。また，用途は不明であるが，376は表面を丁寧に整形した中実の木製品，445・446は一定間隔に刻み目の入った木製品である。なお，401は木簡である。

529～585（第120～122図）は，土坑から出土したものである。そのうち，67号土坑からは比較的多くの木製品が出土した。568～571は漆器の椀である。568～570は内外面に黒漆が施されている。571は内面に黒漆を施した後，赤漆で絵を描く。ただし，遺存状態が悪く，その詳しい内容は不明である。572は下駄，585は下駄の歯である。573は櫛，575は方形の板材，579～581は蓋板である。なお，574は木簡で，墨痕が認められる。

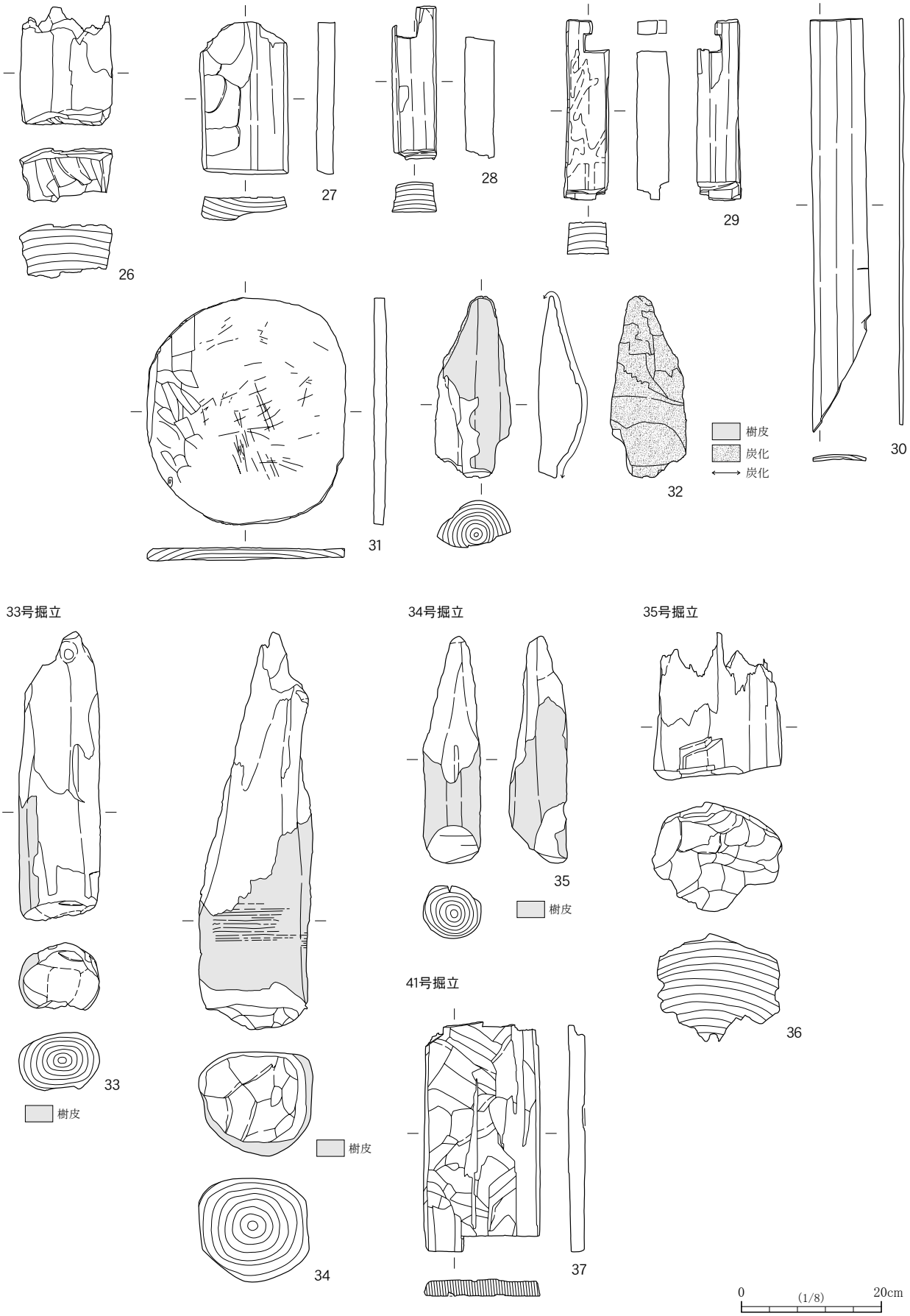
586～639（第123～125図）は，溝から出土したものである。586・589・598・608は漆器の椀，607は同小皿で，いずれも内外面に黒漆が施されている。588・609・610～612・638は蓋板である。そのうち，612は全面炭化している。596は1A号溝から出土した木簡で，卒塔婆である。613は下駄である。624・625は箸と考えられるが，長さが25㎝以上と長く，斎串の可能性もある。629～635は36号溝に伴う1号杭列の杭である。


2号掘立
4号掘立
5号掘立
6号掘立
12号掘立
1
2
3
4
5
13号掘立
14号掘立
16号掘立
6
7
8
9
10
11
0
(1/8)
20cm

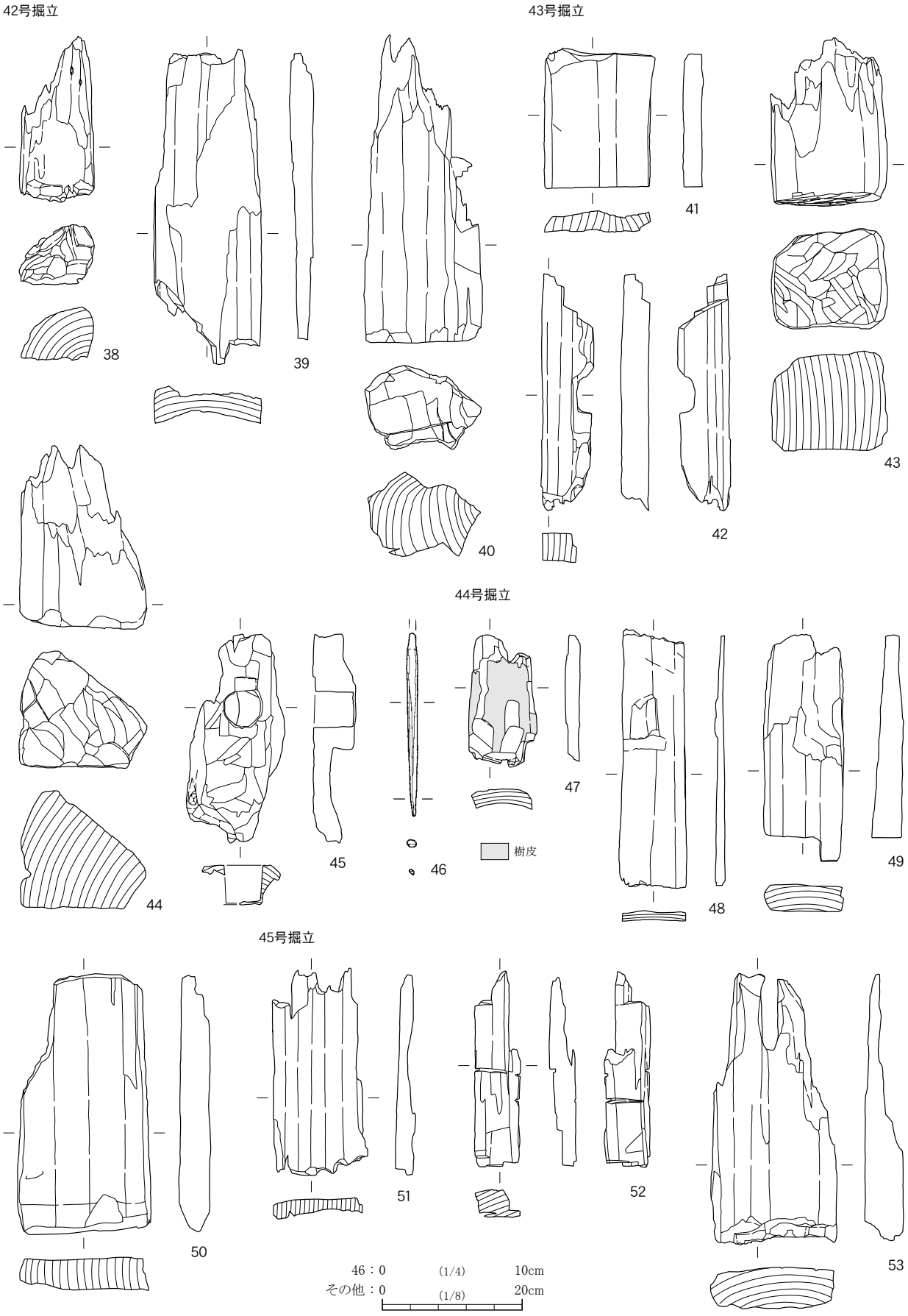
第89図　木製品（１）


19号掘立
20号掘立
23号掘立
22号掘立
30号掘立
32号掘立
12
炭化
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
21：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm

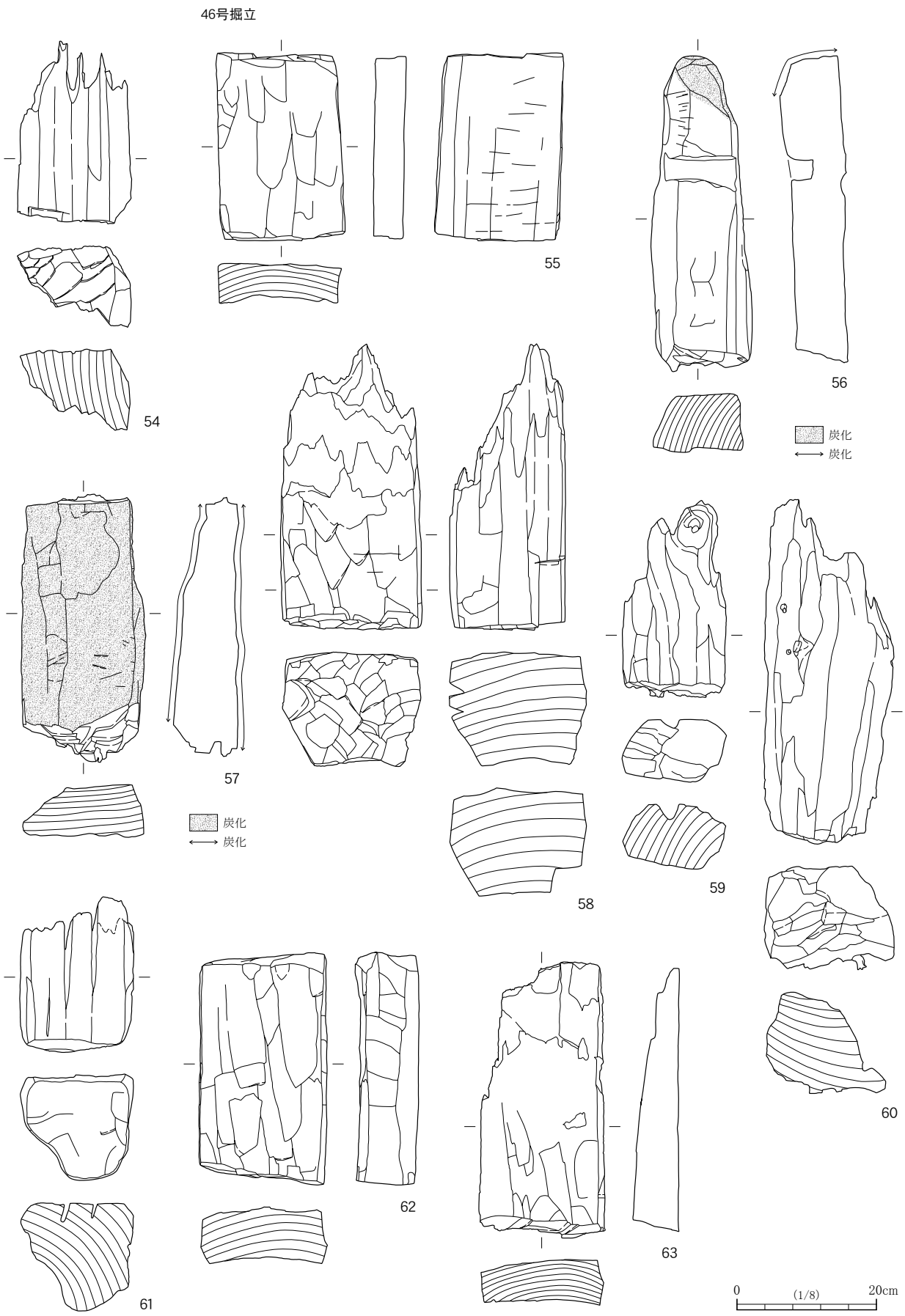
第90図　木製品（２）


26
27
28
29
30
31
32
樹皮
炭化
炭化
33号掘立
33
樹皮
34
樹皮
34号掘立
35
樹皮
35号掘立
36
41号掘立
37
0
(1/8)
20cm

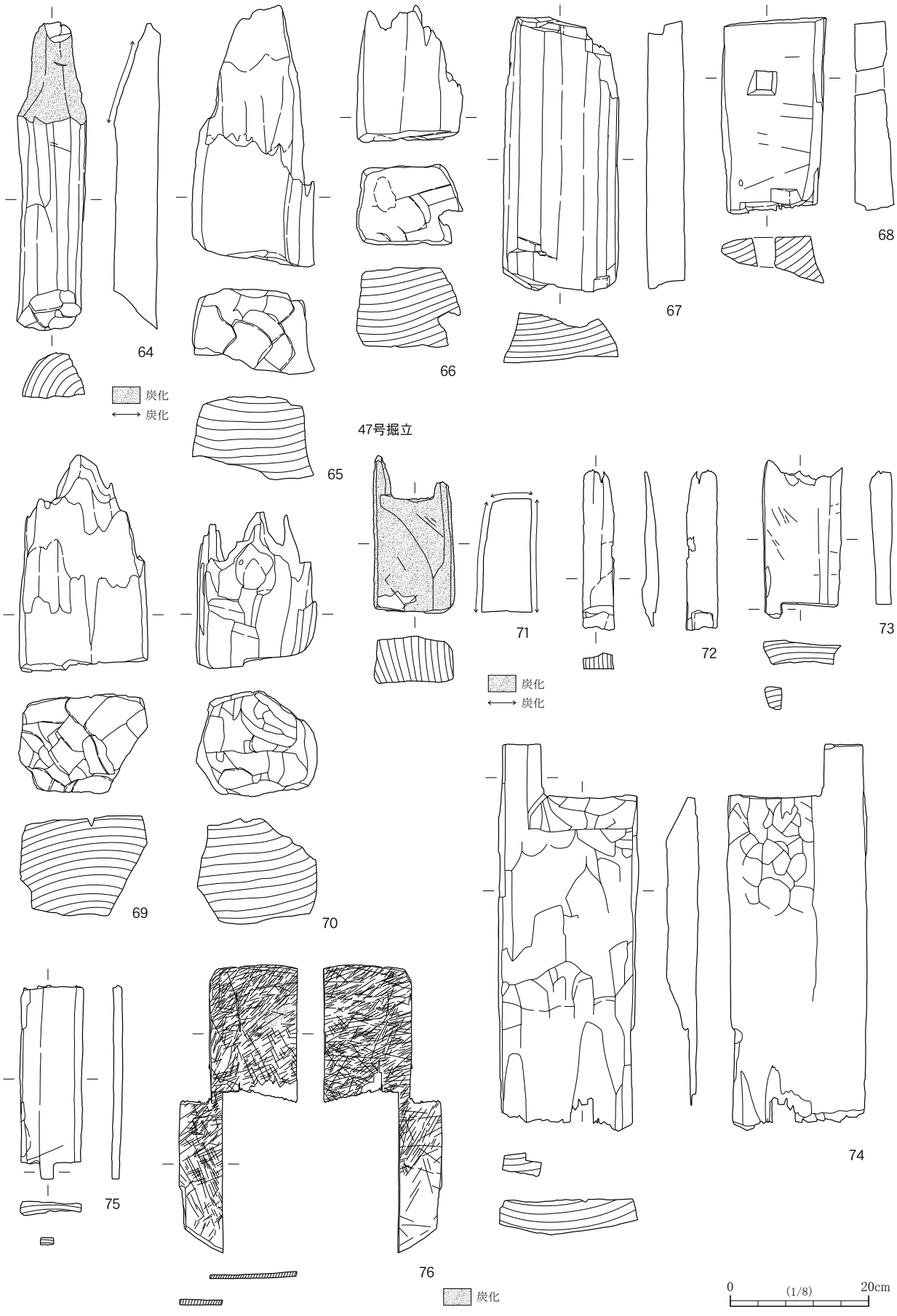
第91図　木製品（３）


42号掘立
43号掘立
44号掘立
45号掘立
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
樹皮
46：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm

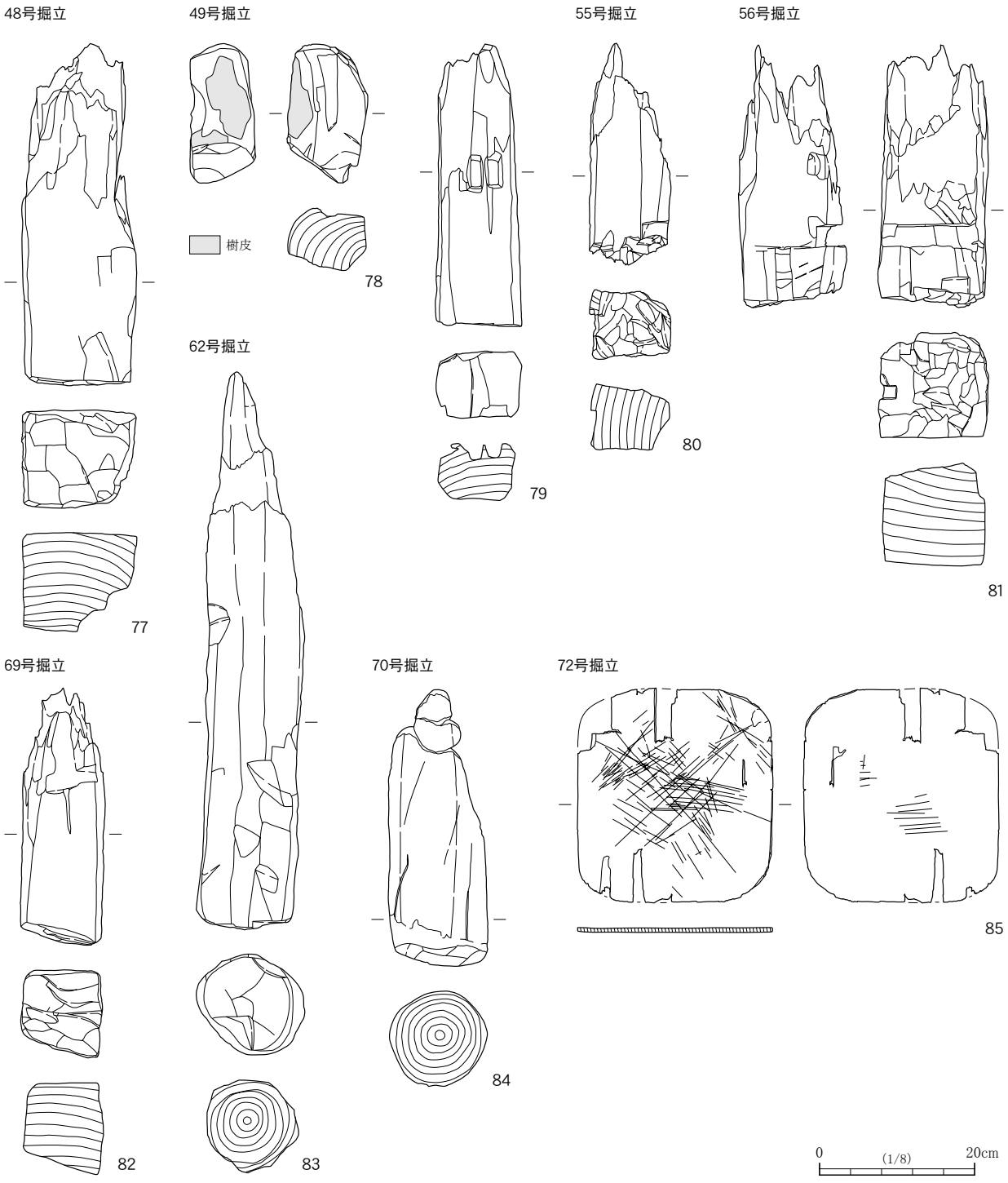
第92図　木製品（４）



第93図　木製品（5）

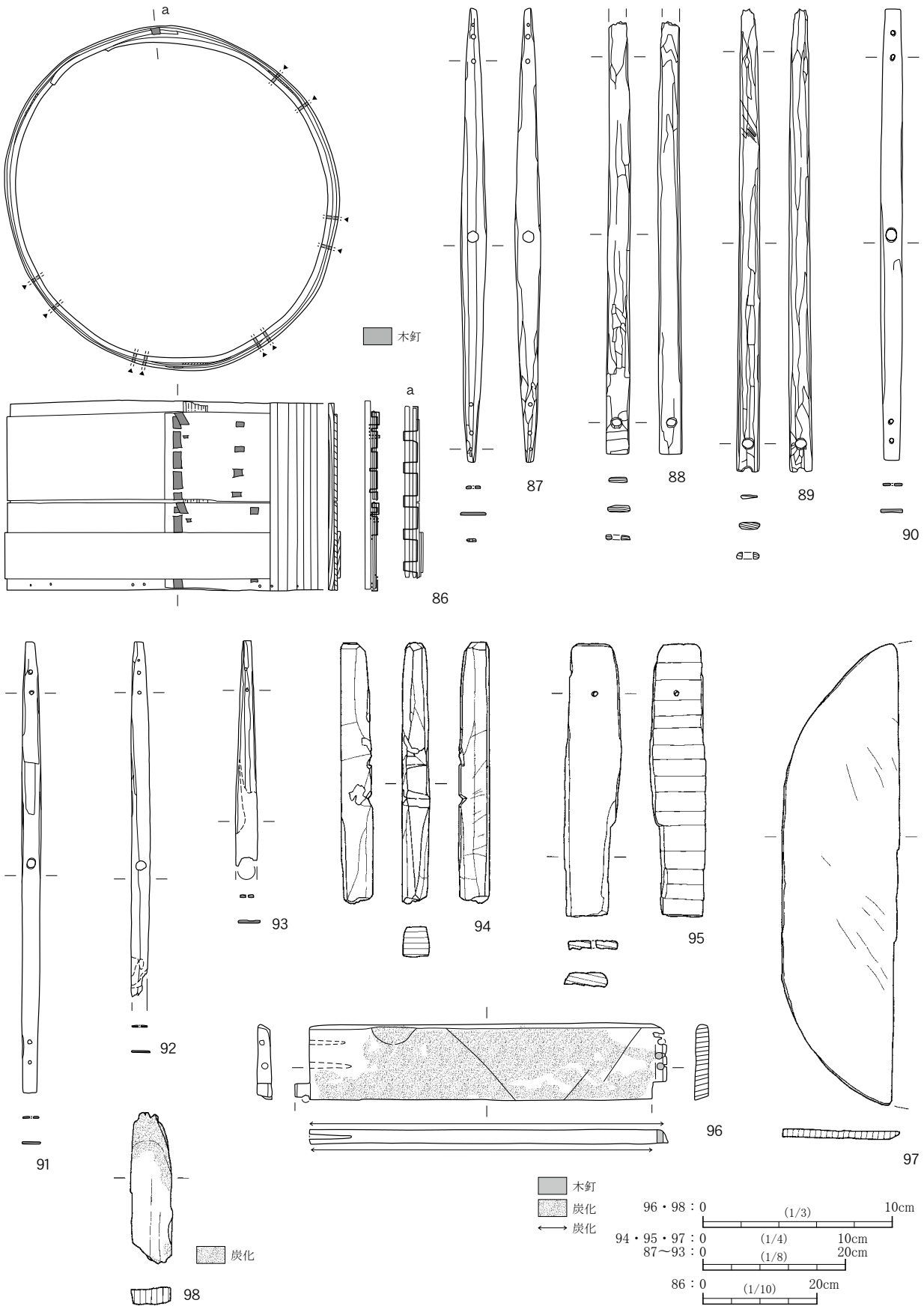


第94図　木製品（6）

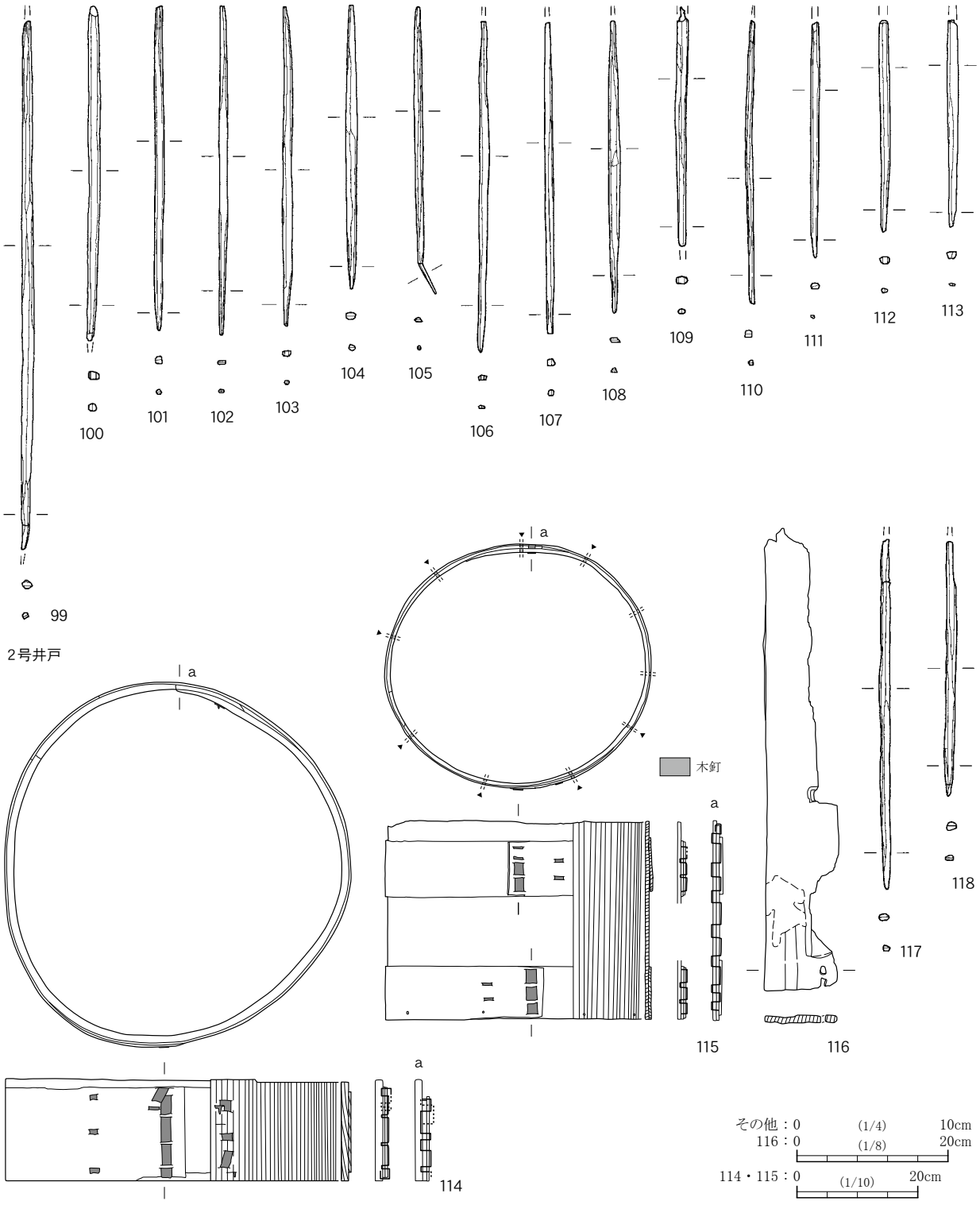

48号掘立
49号掘立
55号掘立
56号掘立
樹皮
78
79
80
81
62号掘立
77
69号掘立
70号掘立
72号掘立
82
83
84
85
0
(1/8)
20cm

第95図　木製品（7）

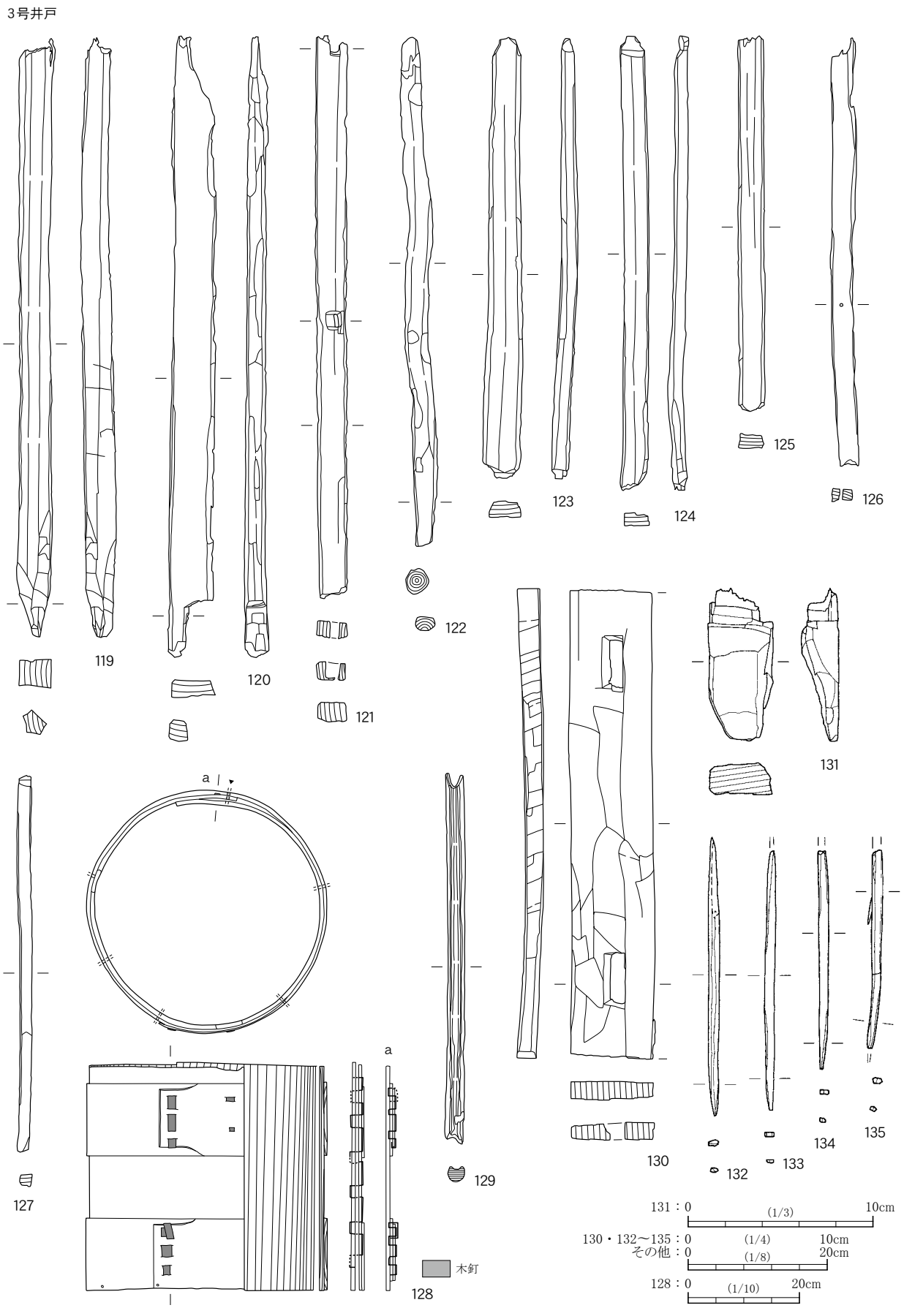
1号井戸



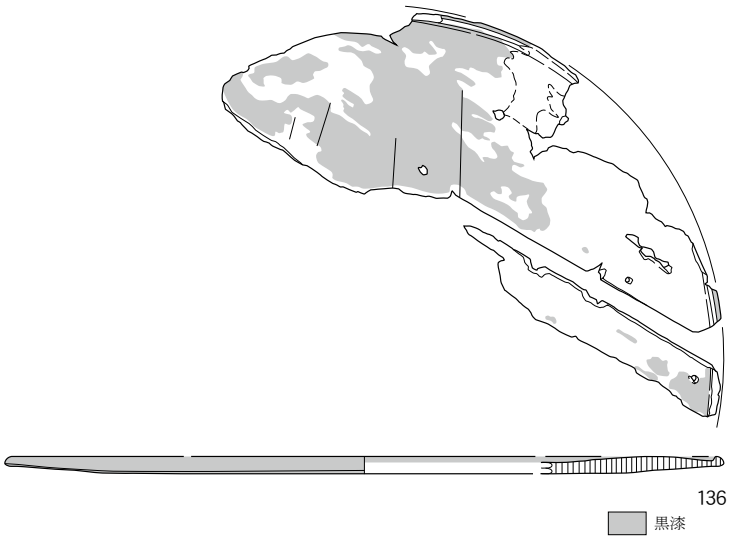
第96図　木製品（8）

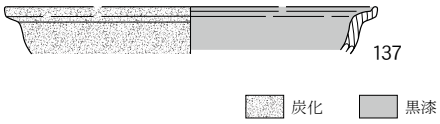

99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
2号井戸
a
a
a
木釘
114
115
116
117
118
その他：0 (1/4) 10cm
116：0 (1/8) 20cm
114・115：0 (1/10) 20cm

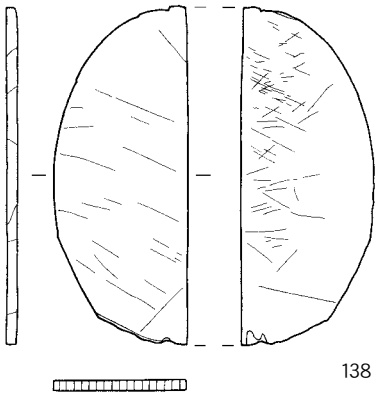
第97図　木製品（9）


3号井戸
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
a
a
木釘
131：0 (1/3) 10cm
130・132～135：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm
128：0 (1/10) 20cm

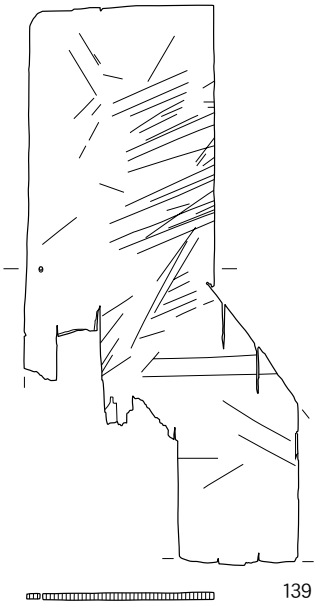
第98図　木製品（10）



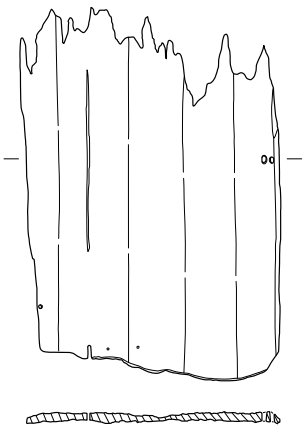


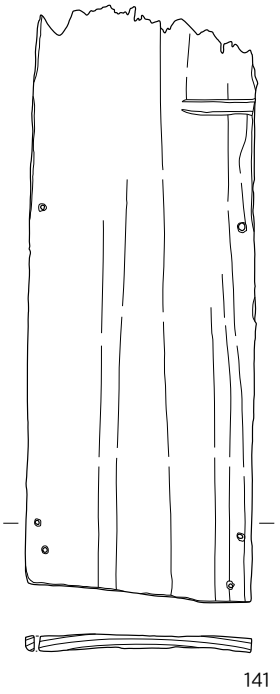


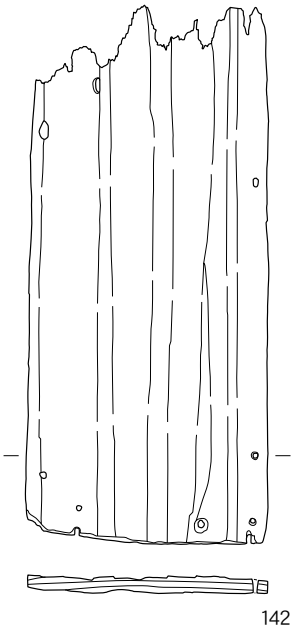
4号井戸

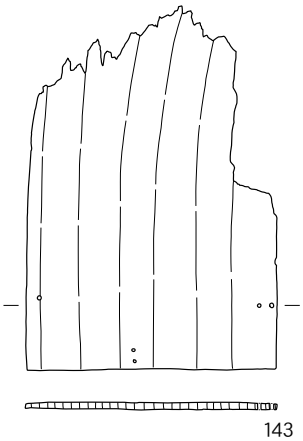


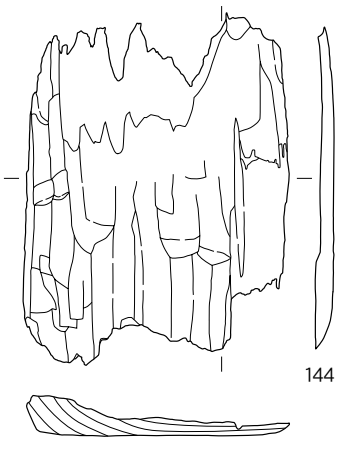
6号井戸





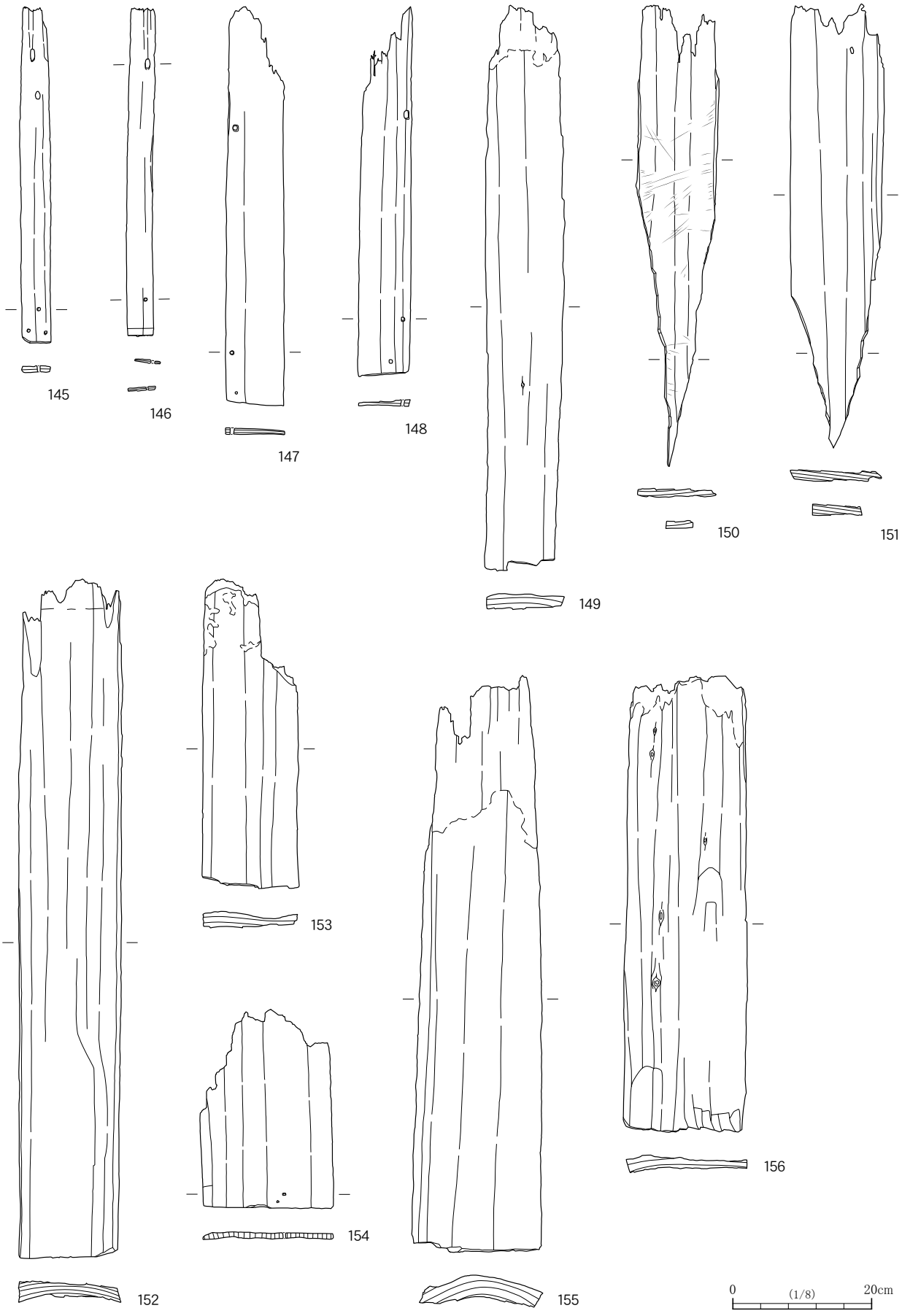




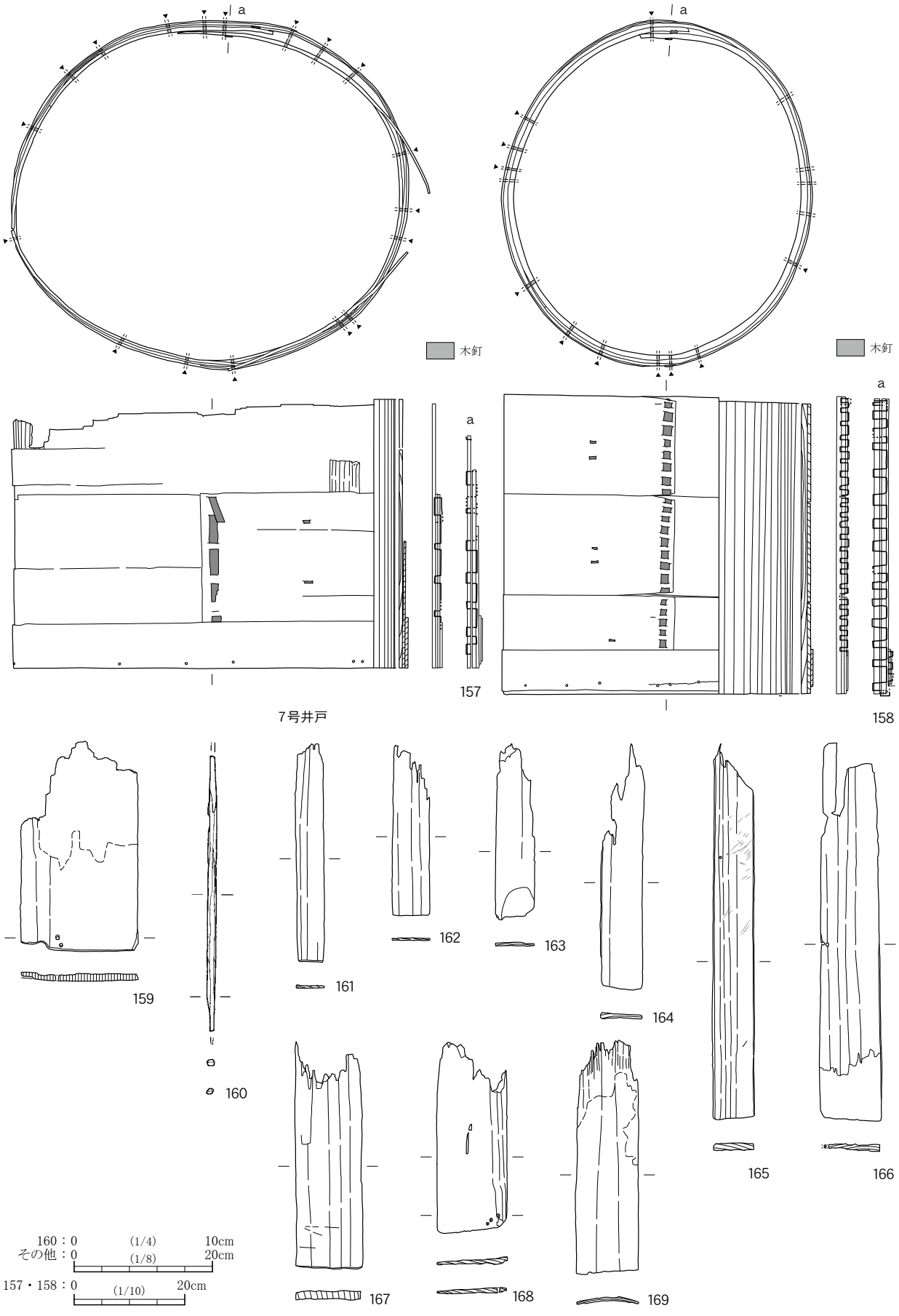


136・137：0 (1/3) 10cm
138・139：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm

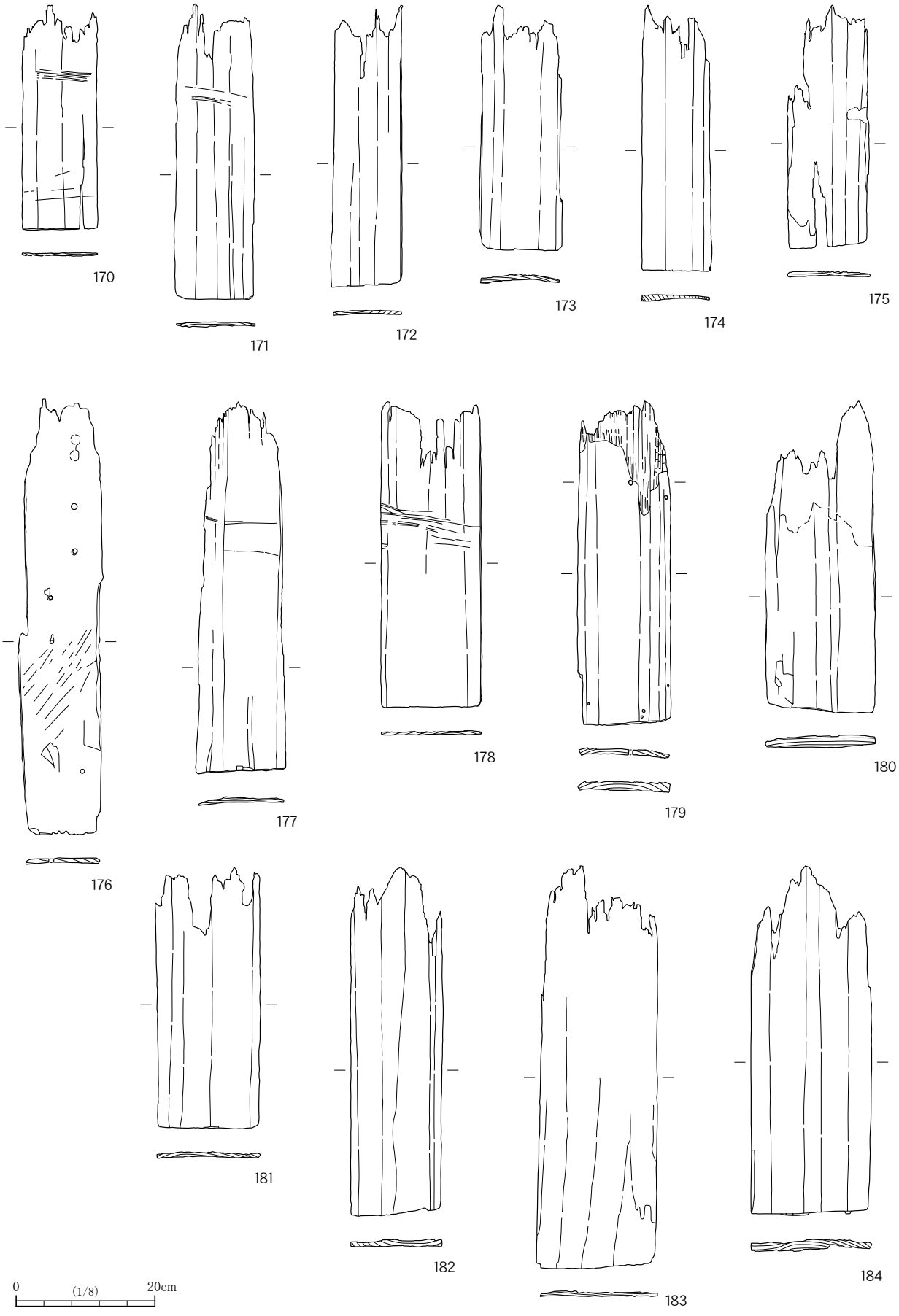
第99図　木製品（11）



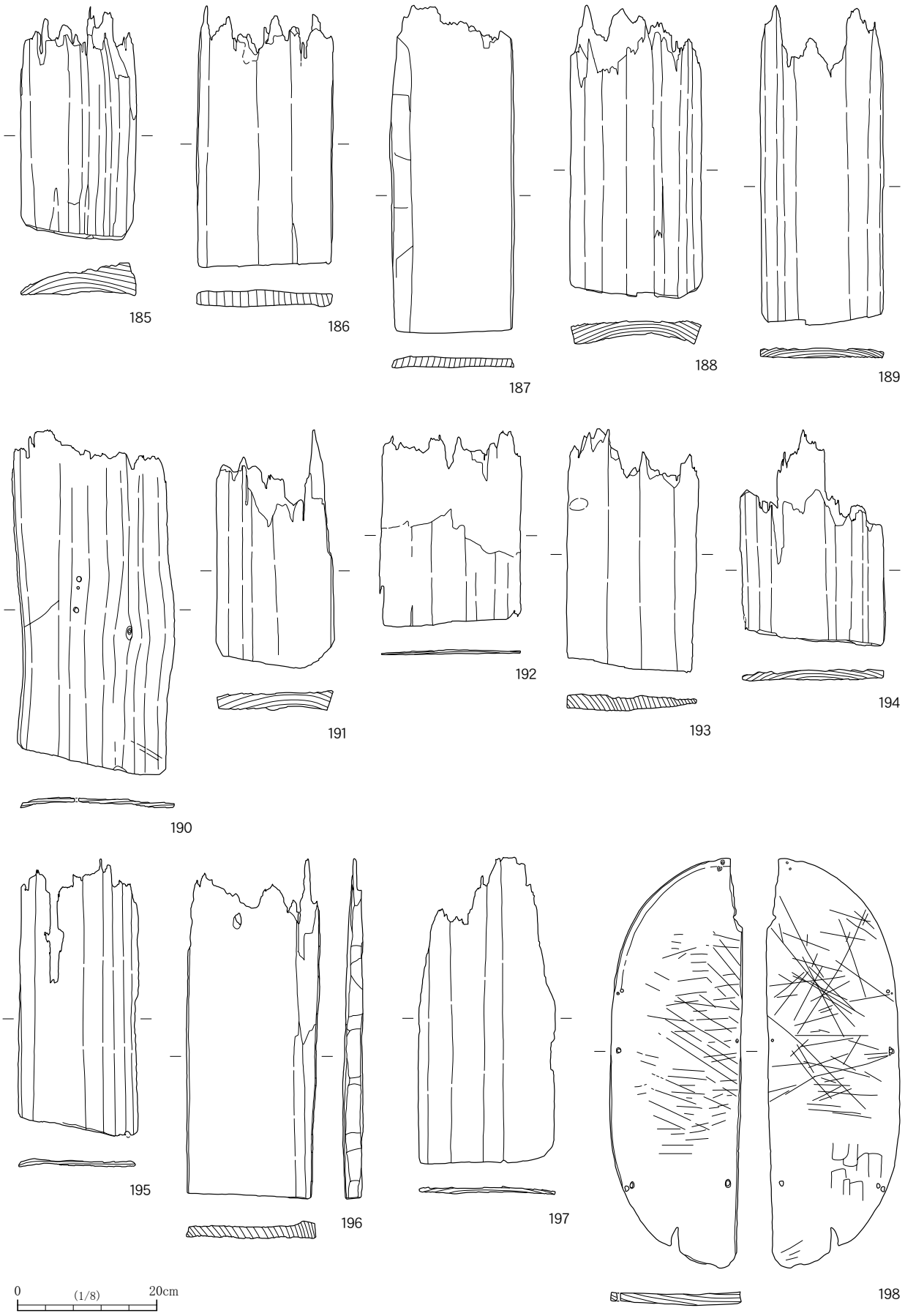
第100図　木製品（12）


a
a
木釘
木釘
a
157
158
7号井戸
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
160：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm
157・158：0 (1/10) 20cm

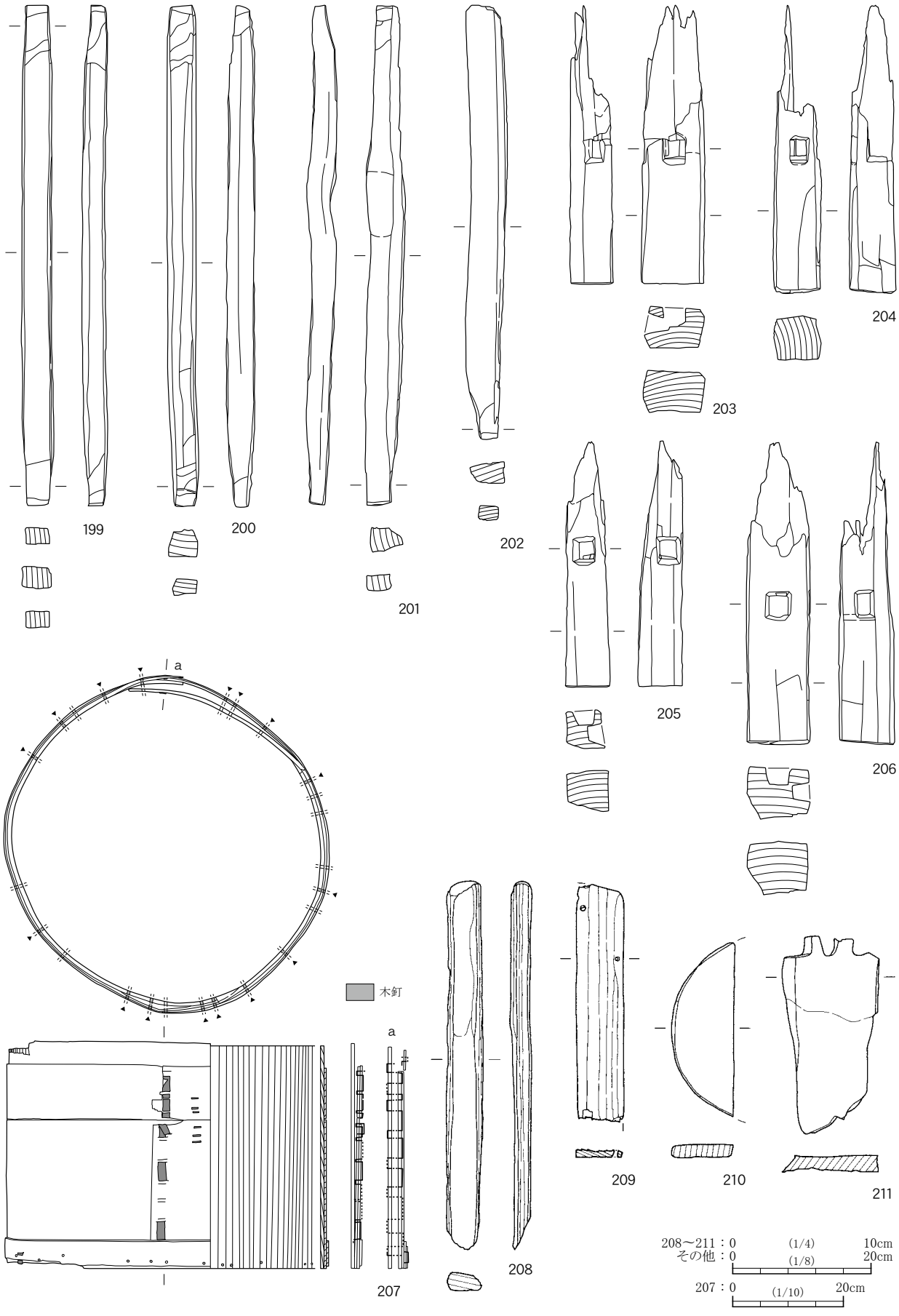
第101図　木製品（13）


170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
0
(1/8)
20cm

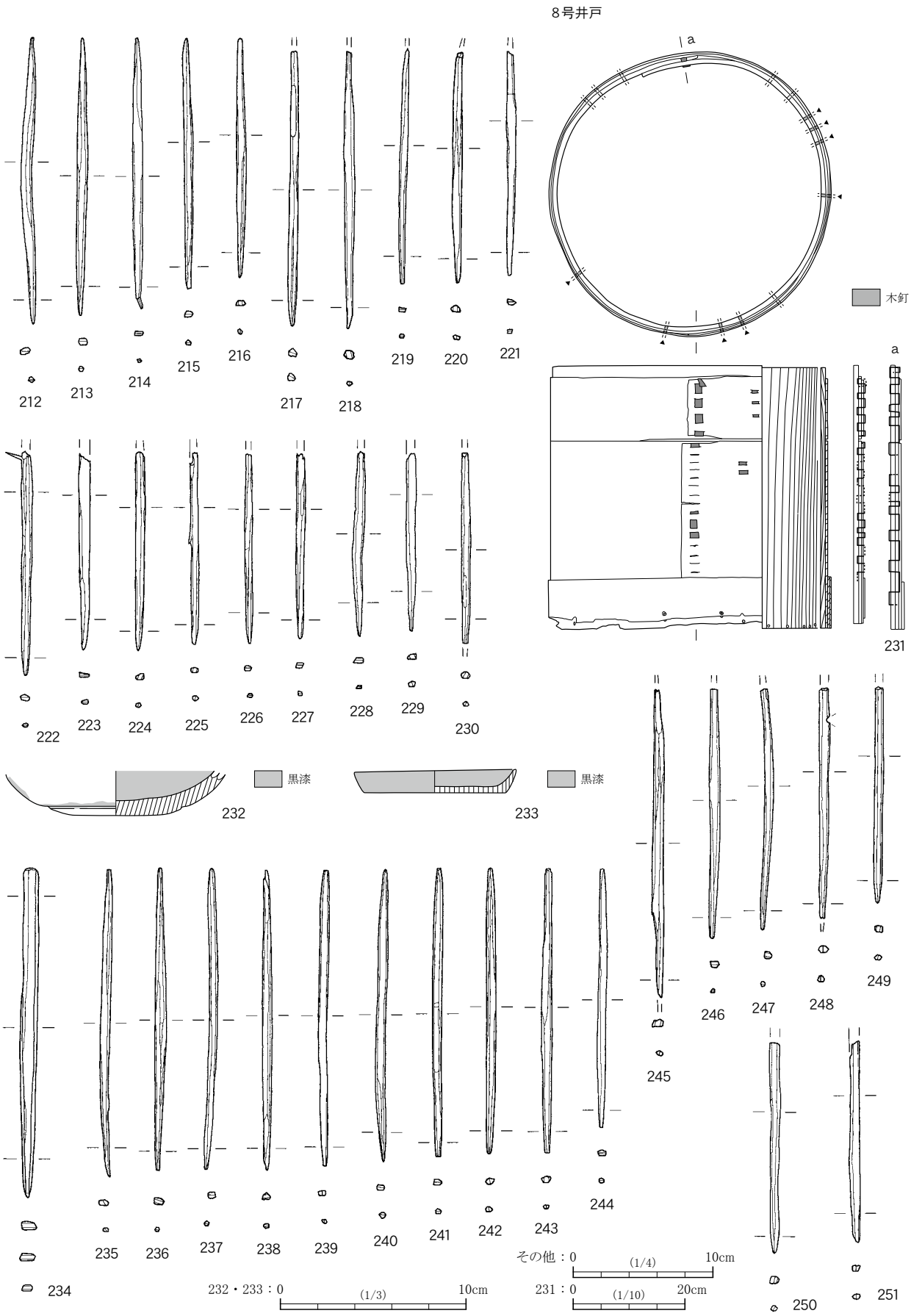
第102図　木製品（14）



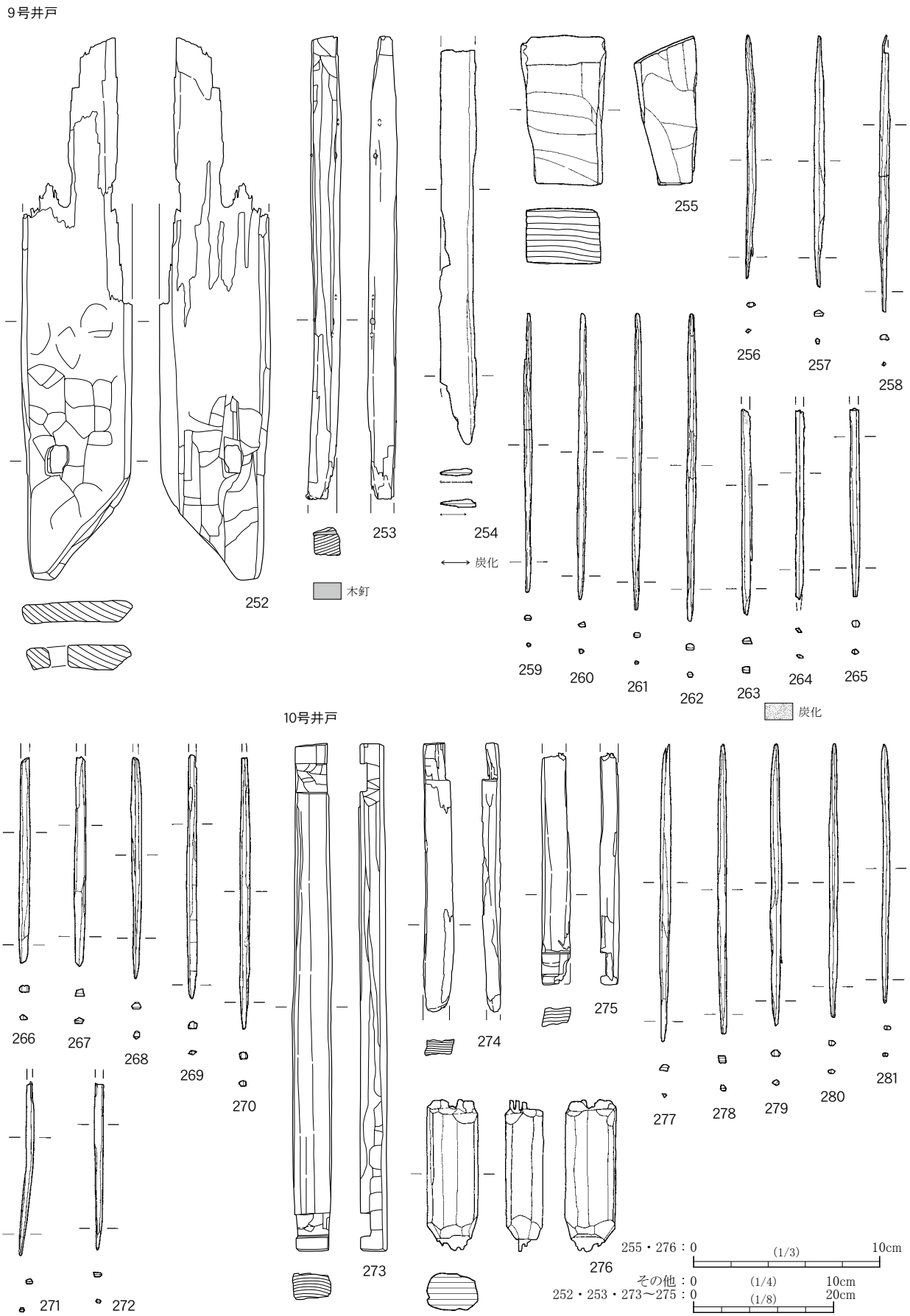
第103図　木製品（15）


199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
a
a
木釘
208～211：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm
207：0 (1/10) 20cm

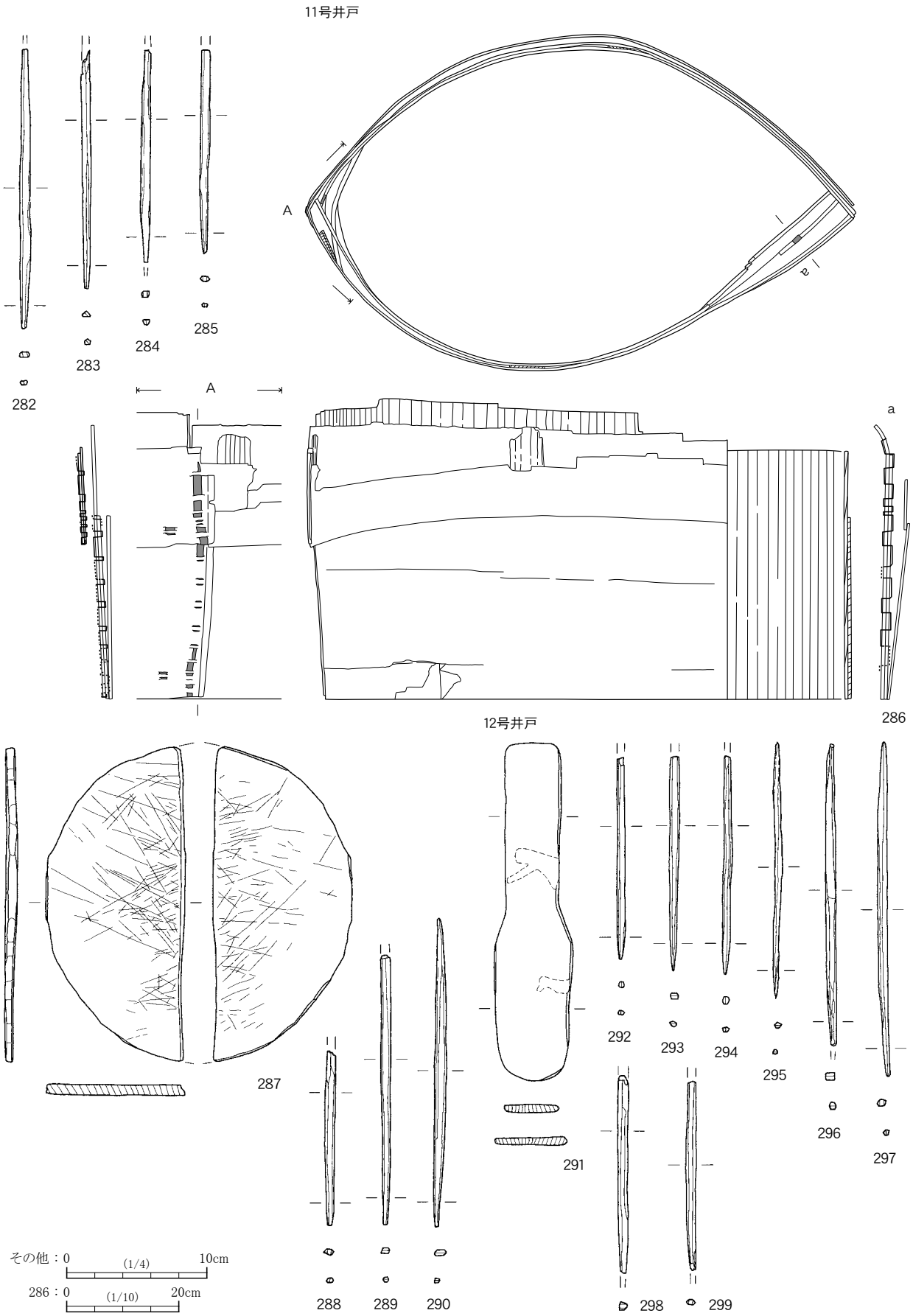
第104図　木製品（16）


8号井戸
a
木釘
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
黒漆
黒漆
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
その他：0
(1/4)
10cm
232・233：0
(1/3)
10cm
231：0
(1/10)
20cm

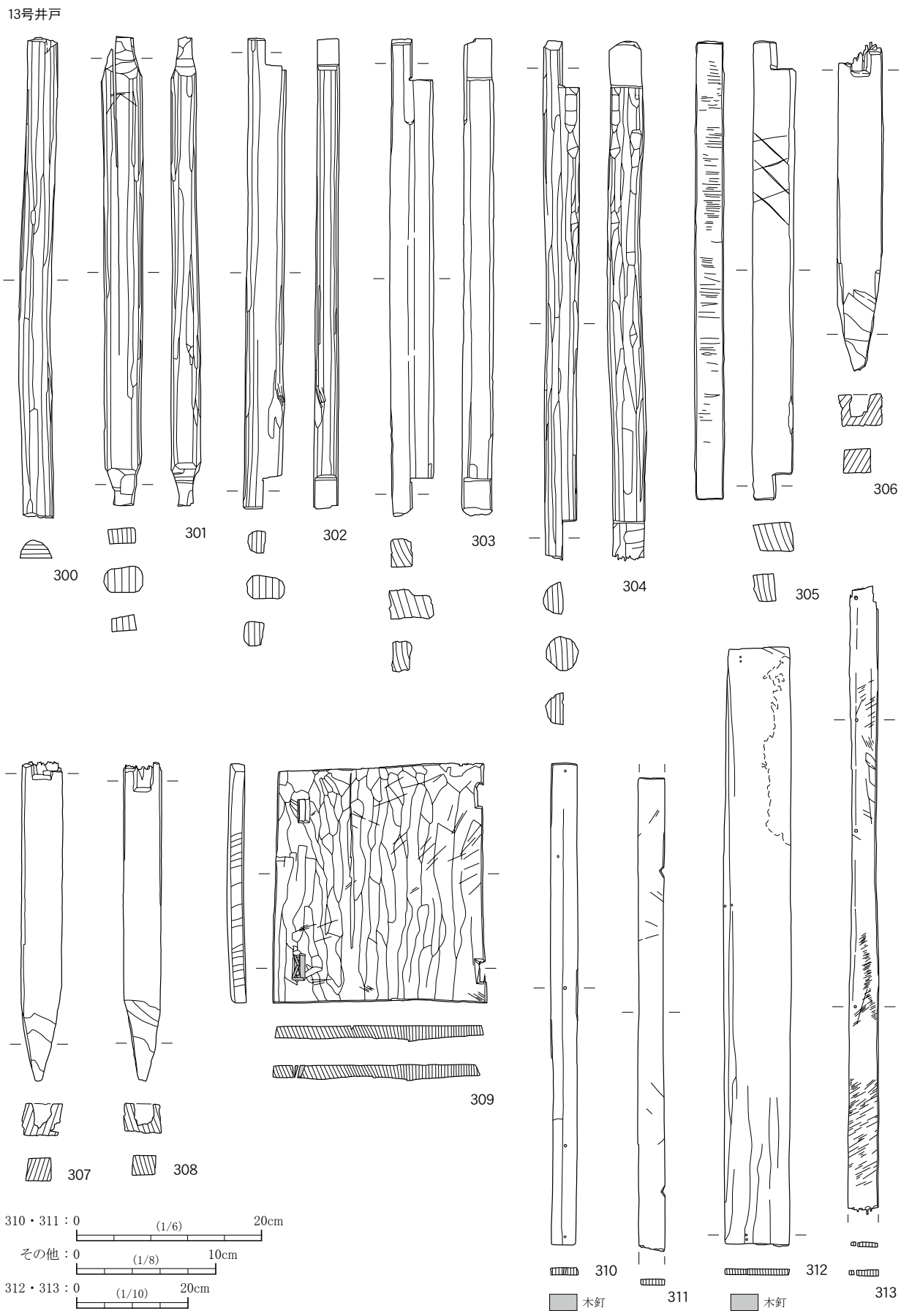
第105図　木製品（17）


9号井戸
252
253
木釘
254
炭化
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
炭化
10号井戸
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
255・276：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm
252・253・273～275：0
(1/8)
20cm

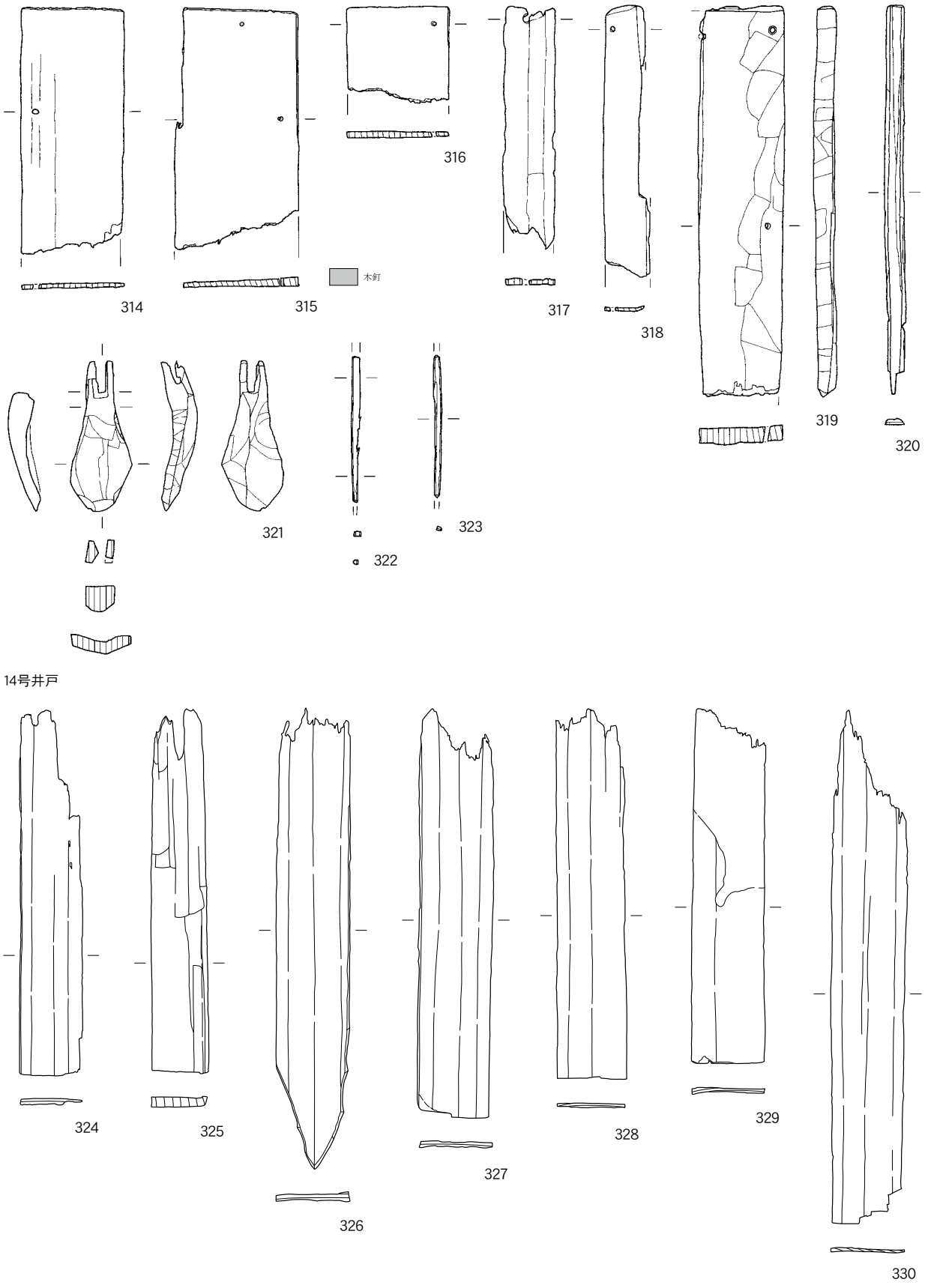
第106図　木製品（18）


11号井戸
A
282
283
284
285
A
a
286
12号井戸
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
その他：0 (1/4) 10cm
286：0 (1/10) 20cm

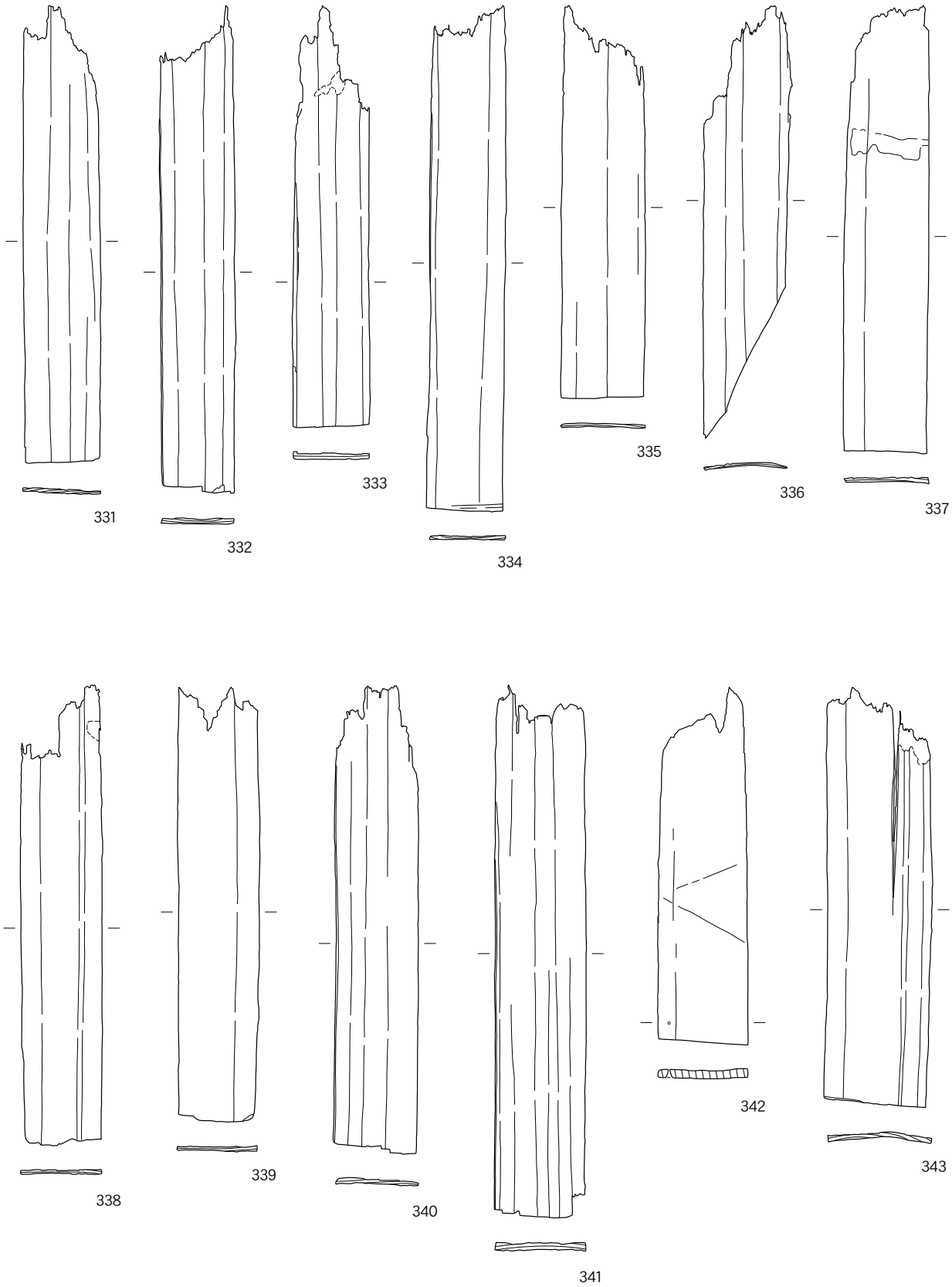
第107図　木製品（19）


13号井戸
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
木釘
木釘
310・311：0 (1/6) 20cm
その他：0 (1/8) 10cm
312・313：0 (1/10) 20cm

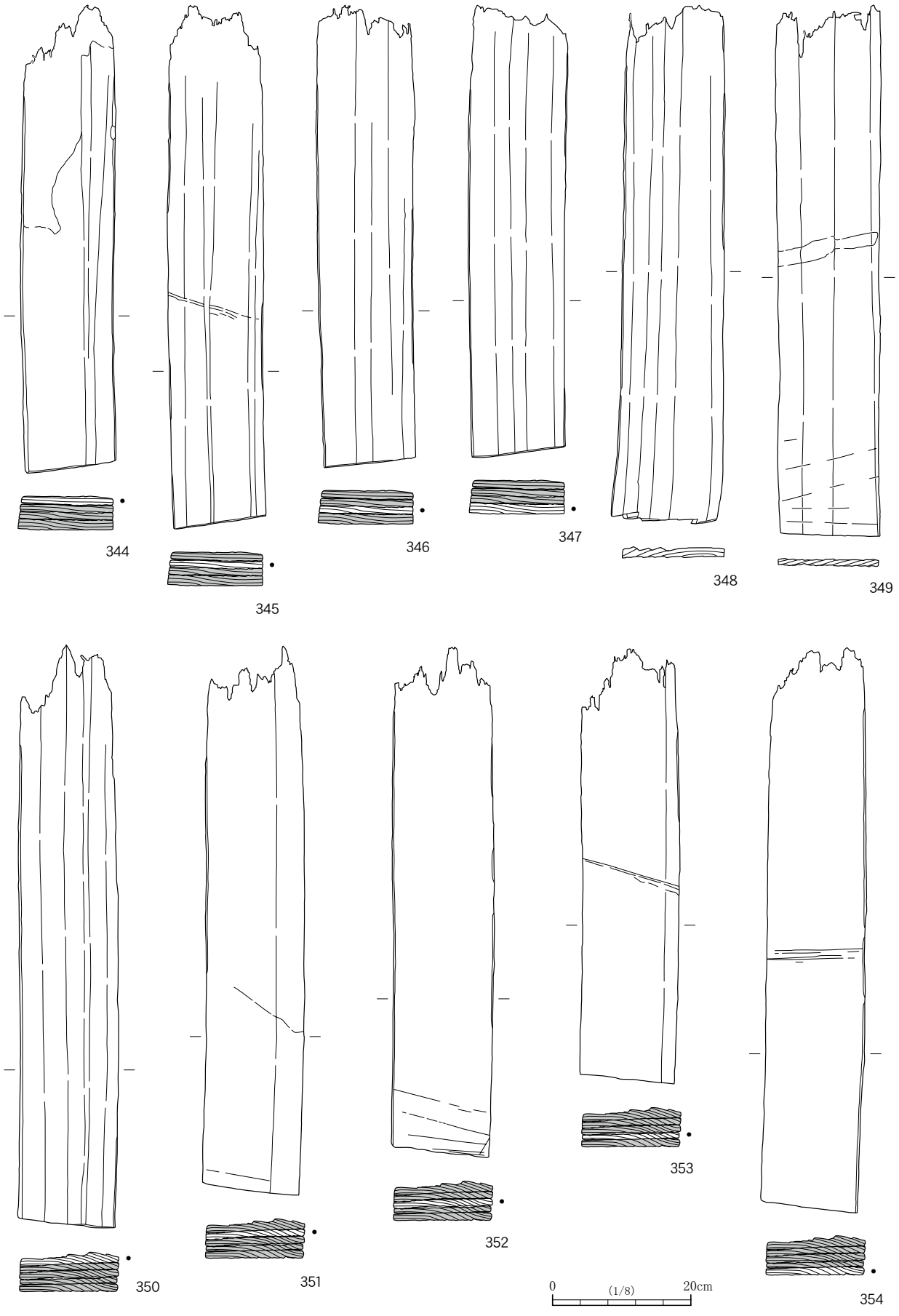
第108図　木製品（20）


316
木釘
314
315
317
318
319
320
321
322
323
14号井戸
324
325
326
327
328
329
330
321：0 (1/3) 10cm
320：0 (1/6) 20cm
その他：0 (1/4) 10cm
324～330：0 (1/8) 20cm

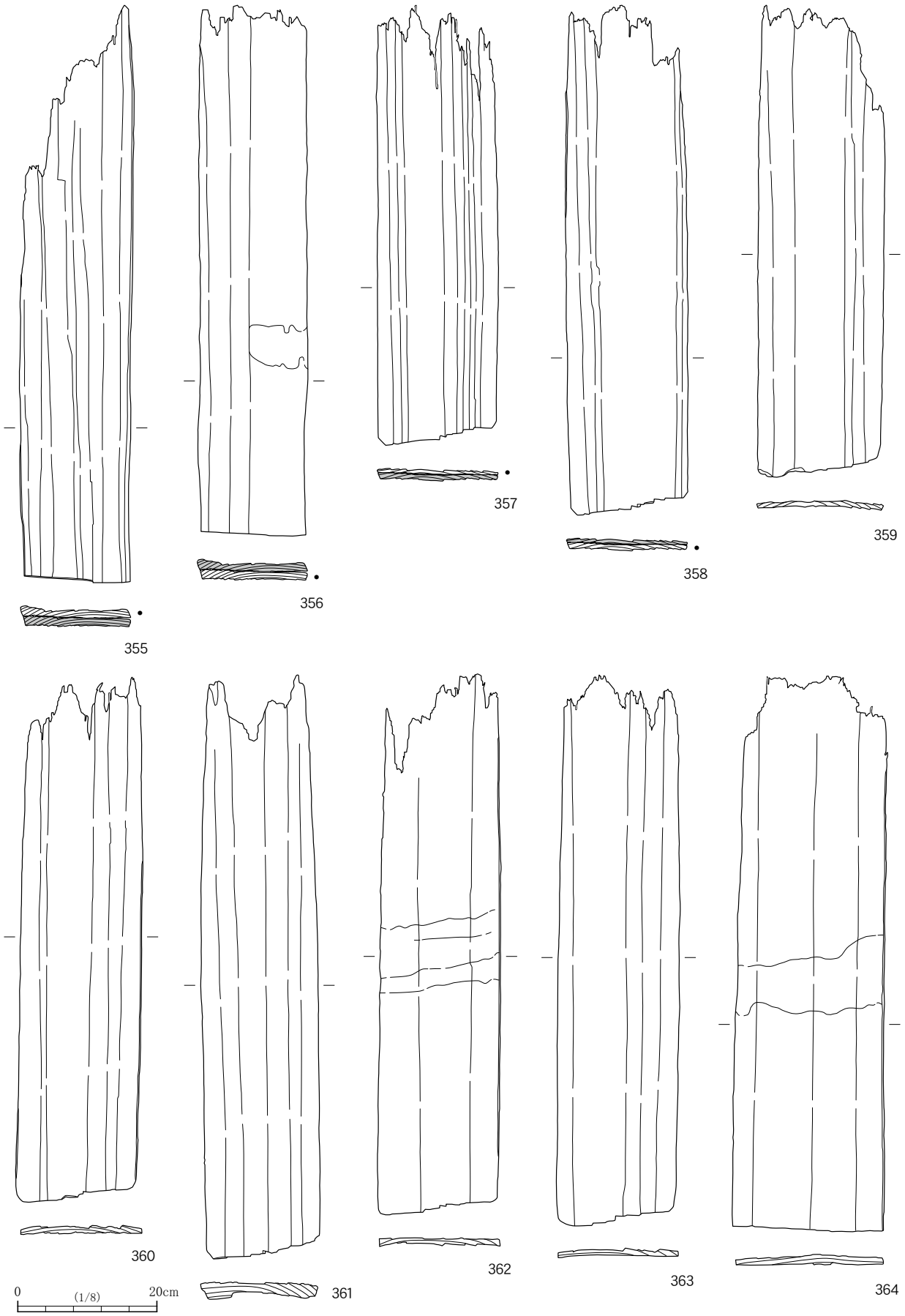
第109図　木製品（21）



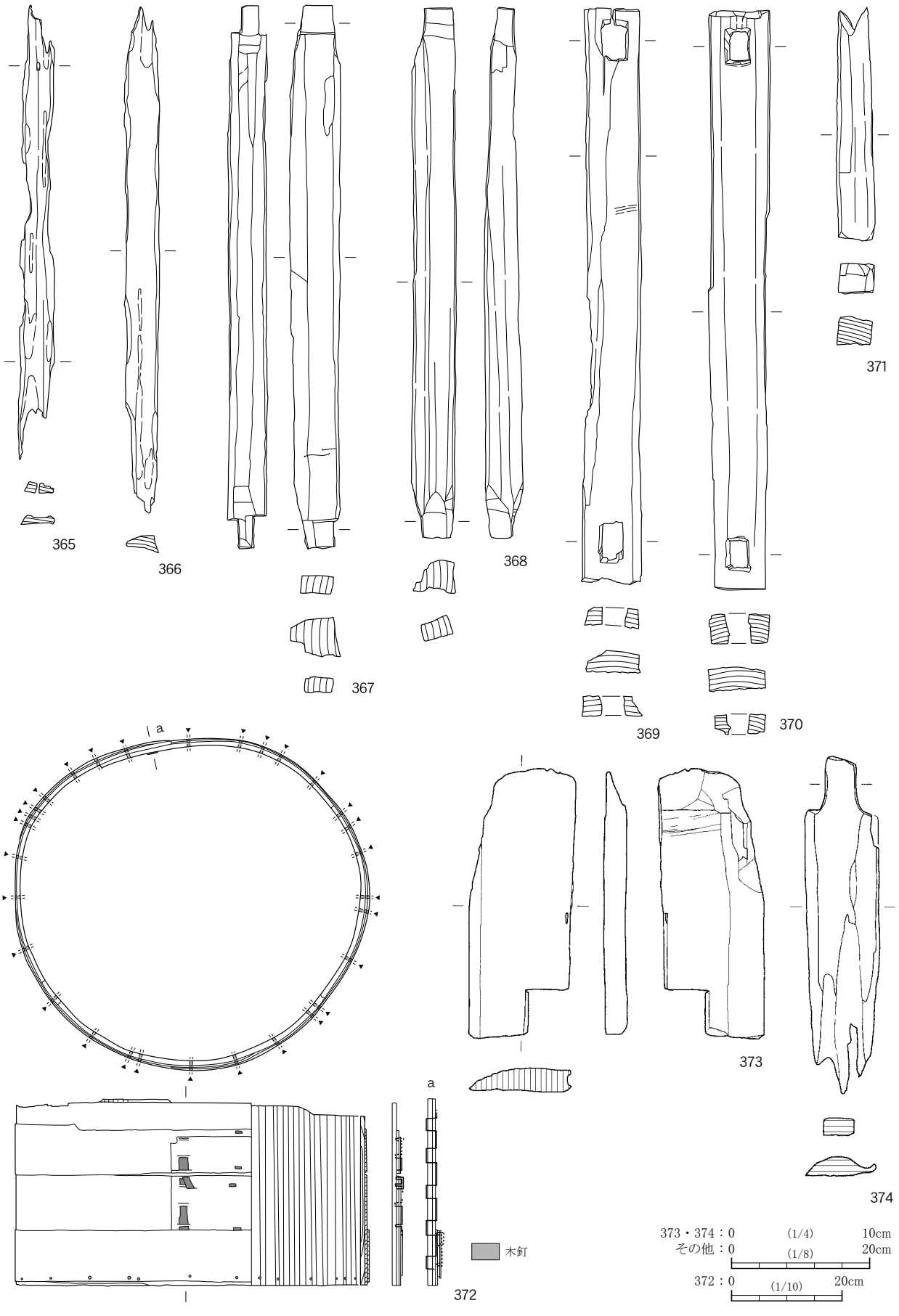
第110図　木製品（22）



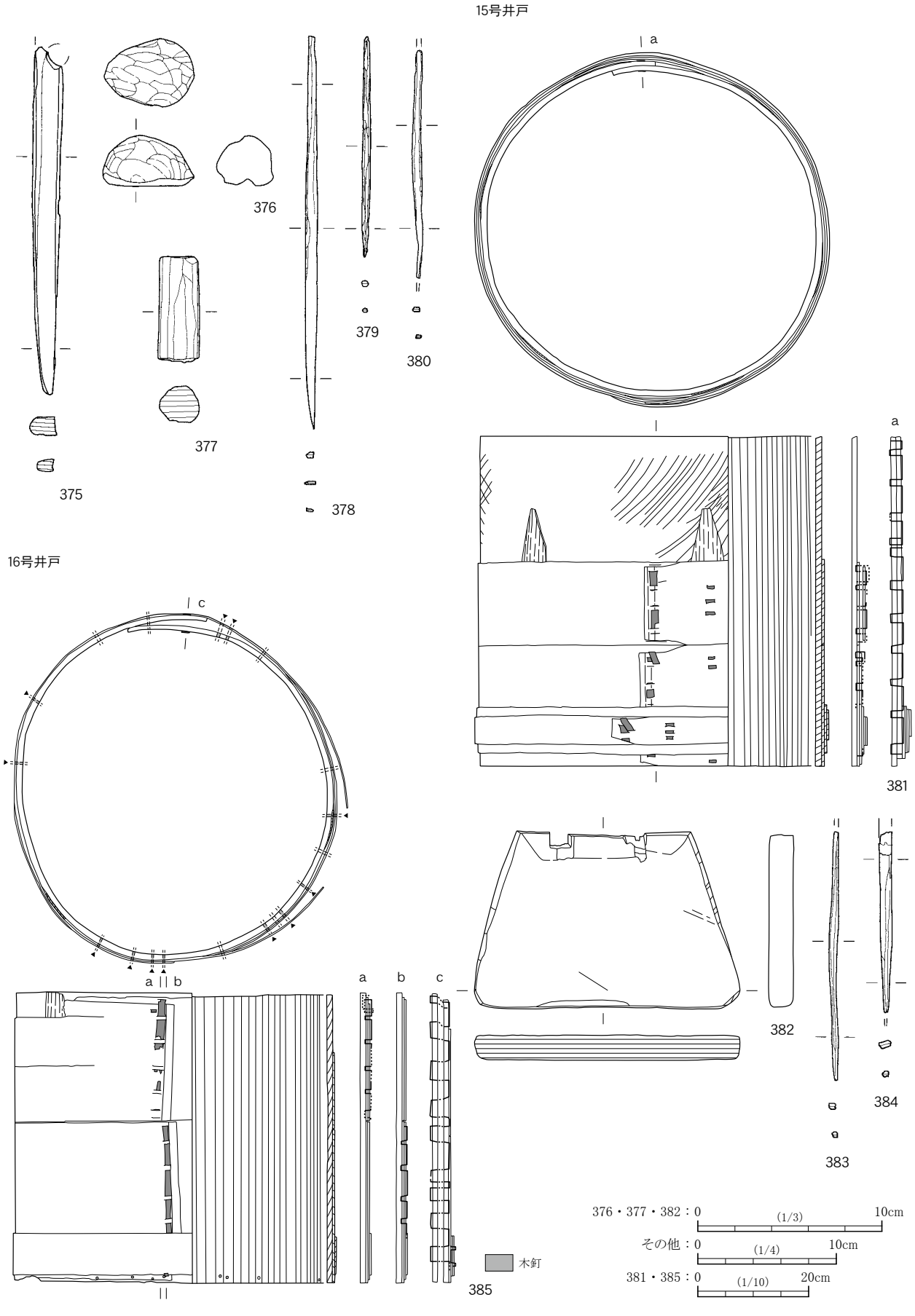
第111図　木製品（23）



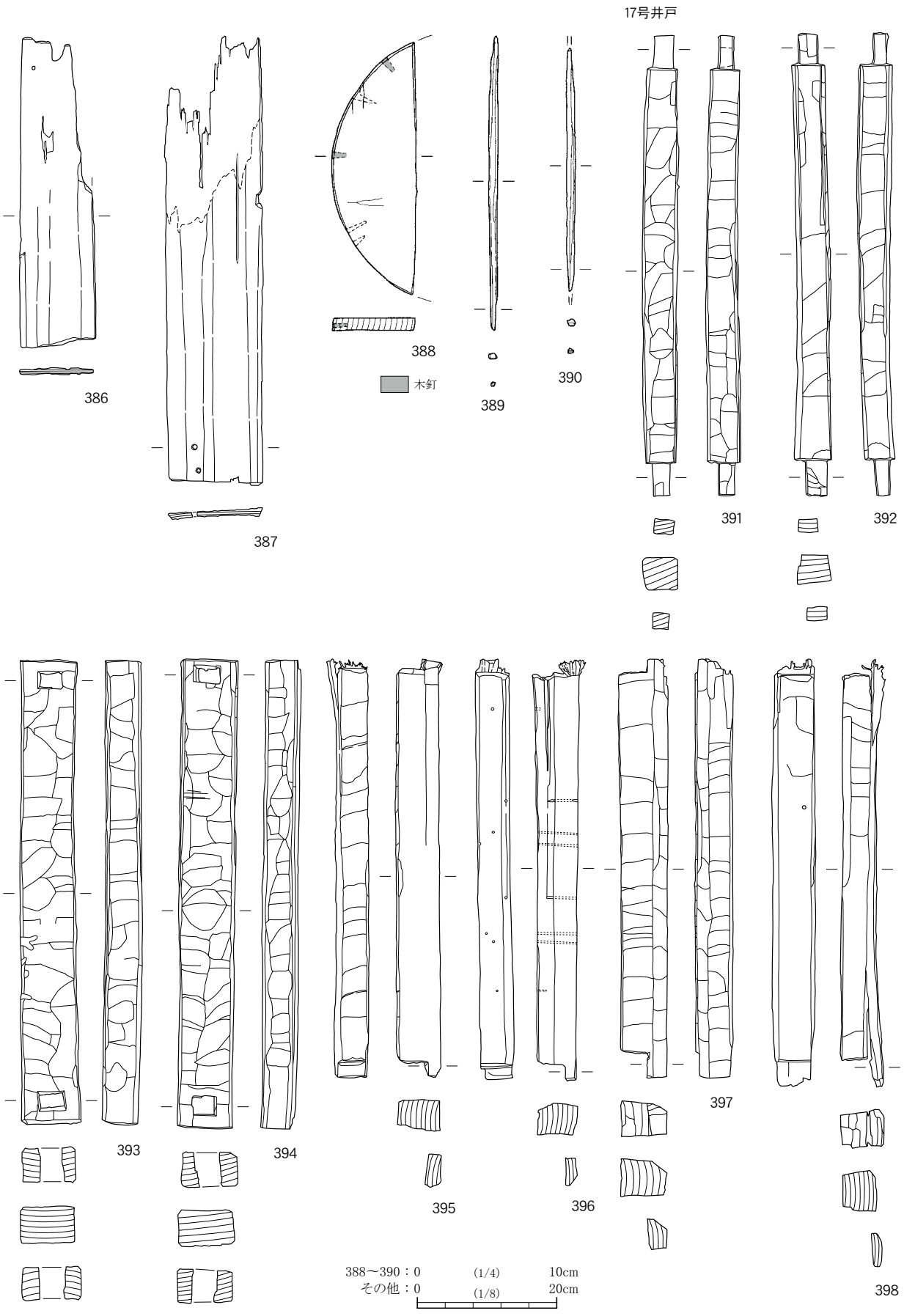
第112図　木製品（24）


365
366
367
368
369
370
371
a
a
372
373
374
木釘
373・374：0 (1/4) 10cm
その他：0 (1/8) 20cm
372：0 (1/10) 20cm

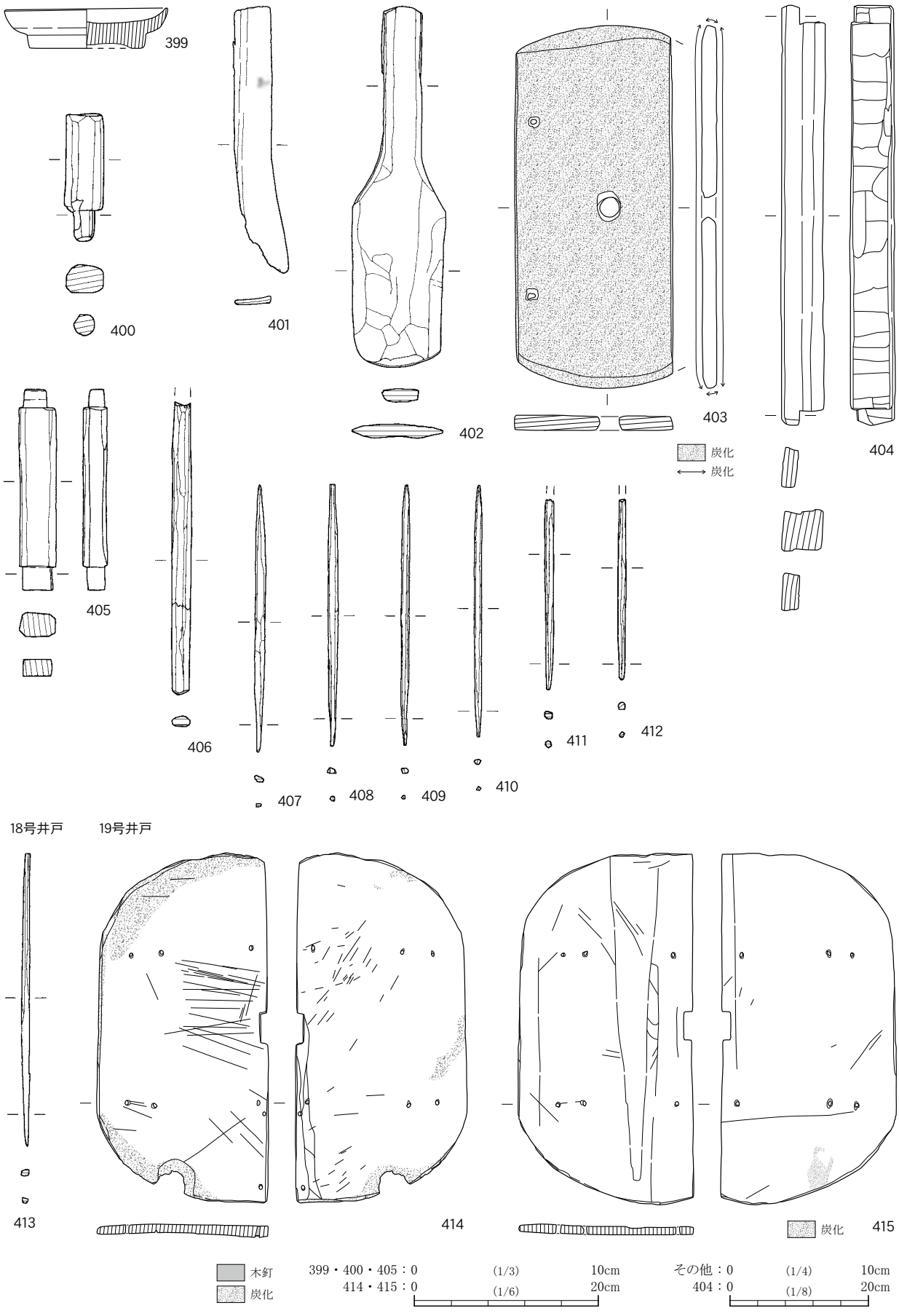
第113図　木製品（25）


15号井戸
16号井戸
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
a
b
c
木釘
376・377・382：0 (1/3) 10cm
その他：0 (1/4) 10cm
381・385：0 (1/10) 20cm

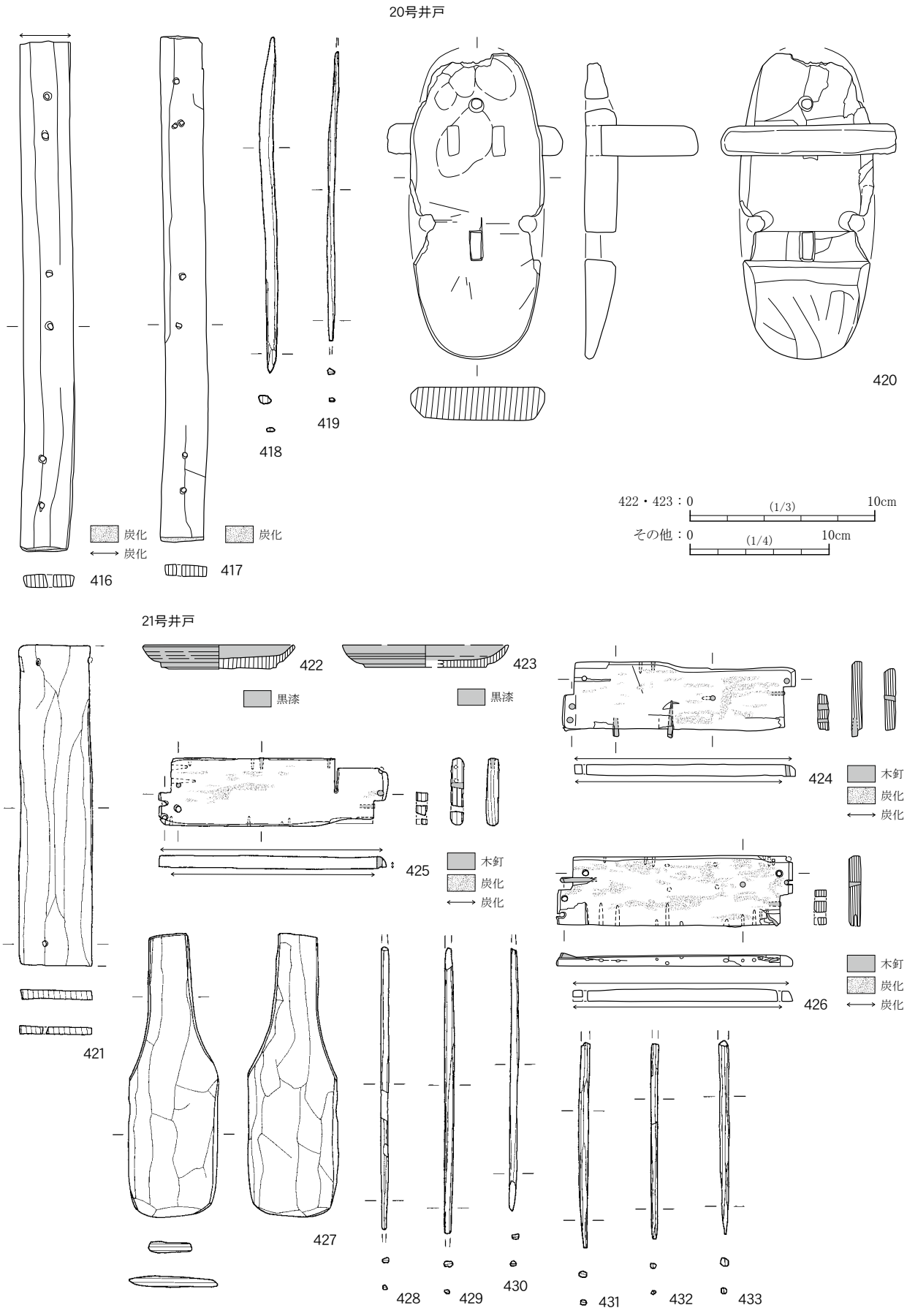
第114図　木製品（26）


17号井戸
386
387
388
木釘
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
388～390：0
その他：0
(1/4)
(1/8)
10cm
20cm

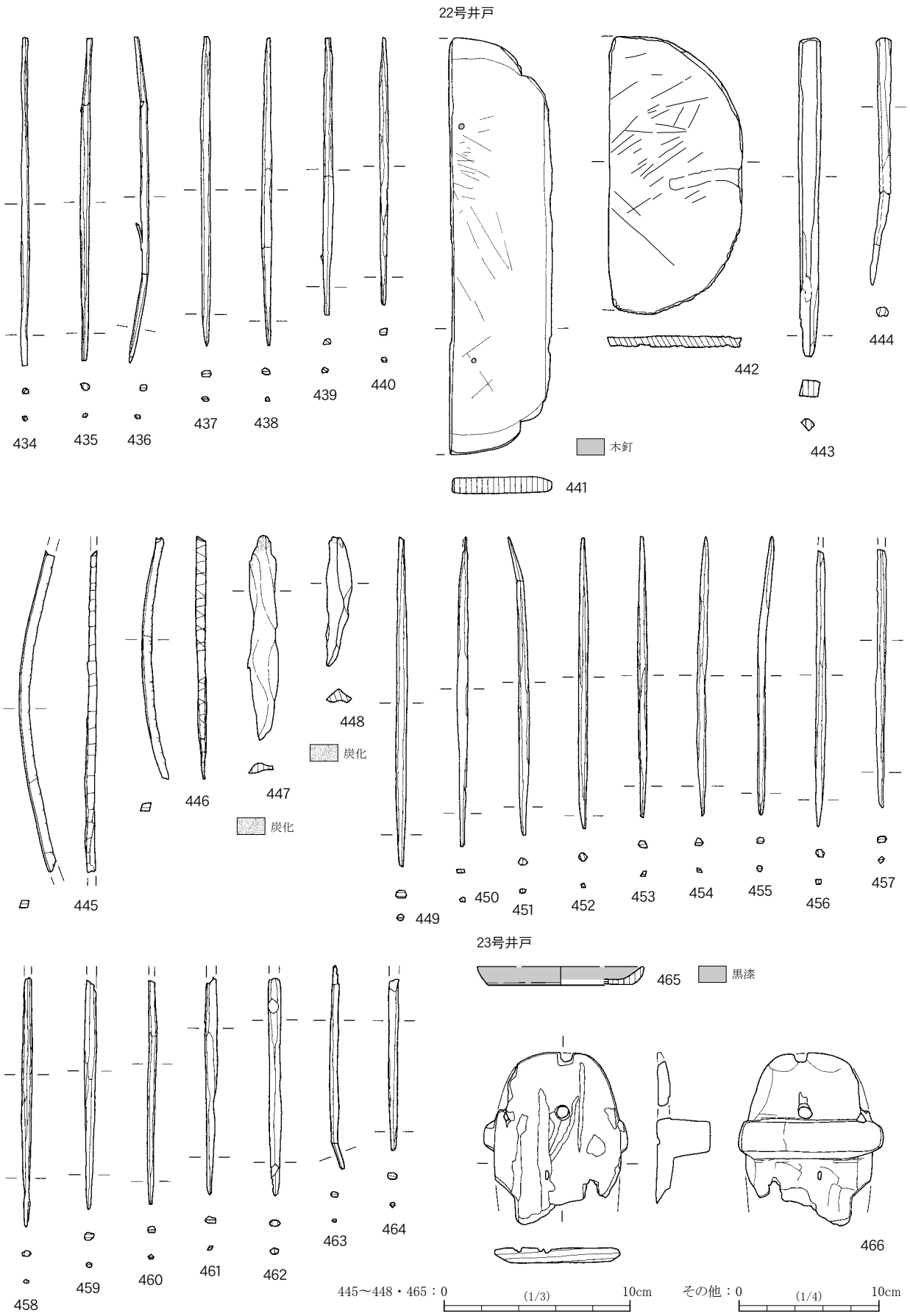
第115図　木製品（27）


399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
炭化
炭化
18号井戸
19号井戸
413
414
415
炭化
木釘
炭化
399・400・405：0 (1/3) 10cm
414・415：0 (1/6) 20cm
その他：0 (1/4) 10cm
404：0 (1/8) 20cm

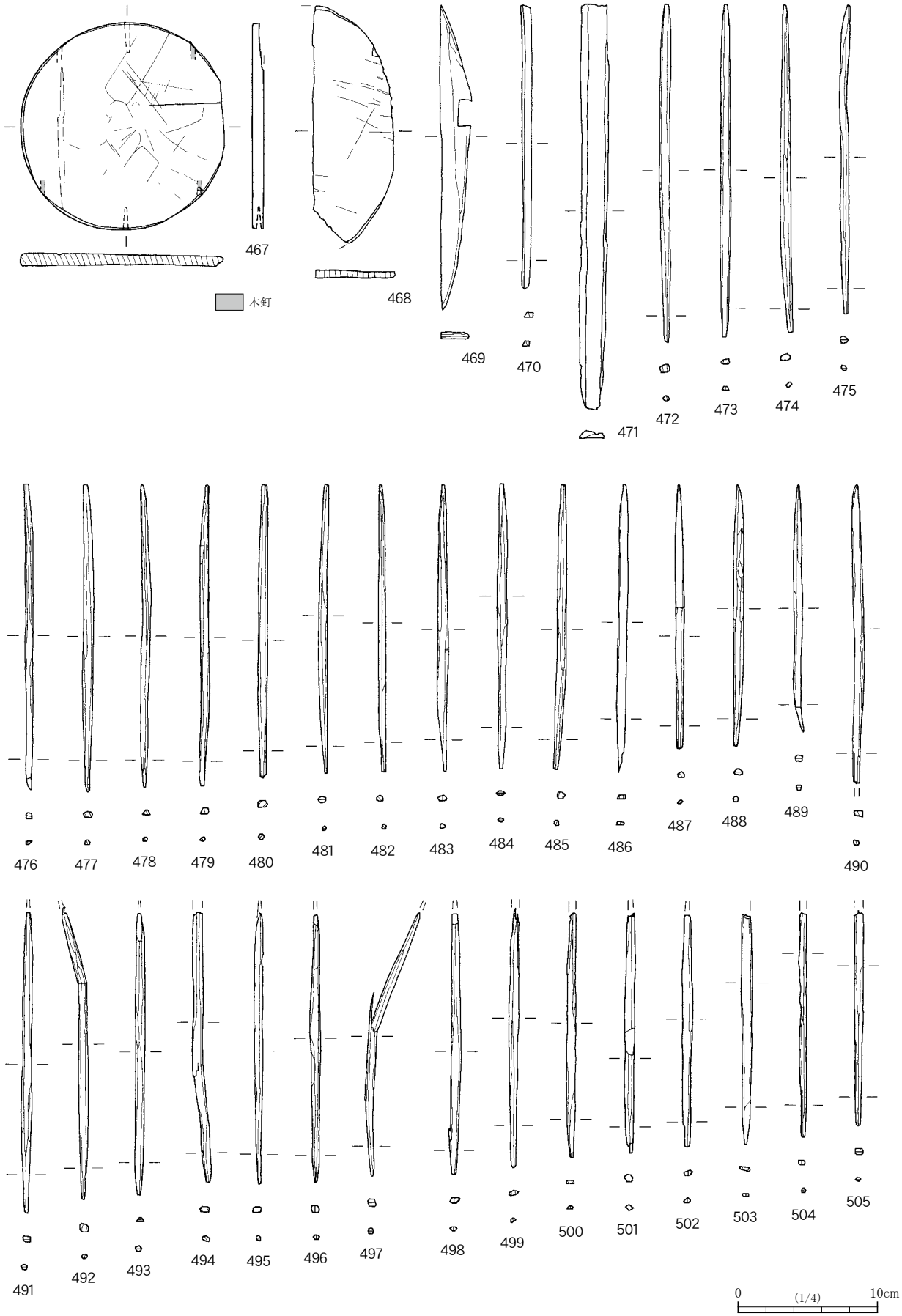
第116図　木製品（28）


20号井戸
炭化
炭化
炭化
416
417
418
419
420
422・423：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm
21号井戸
422
423
黒漆
黒漆
424
425
426
木釘
炭化
炭化
421
427
428
429
430
431
432
433

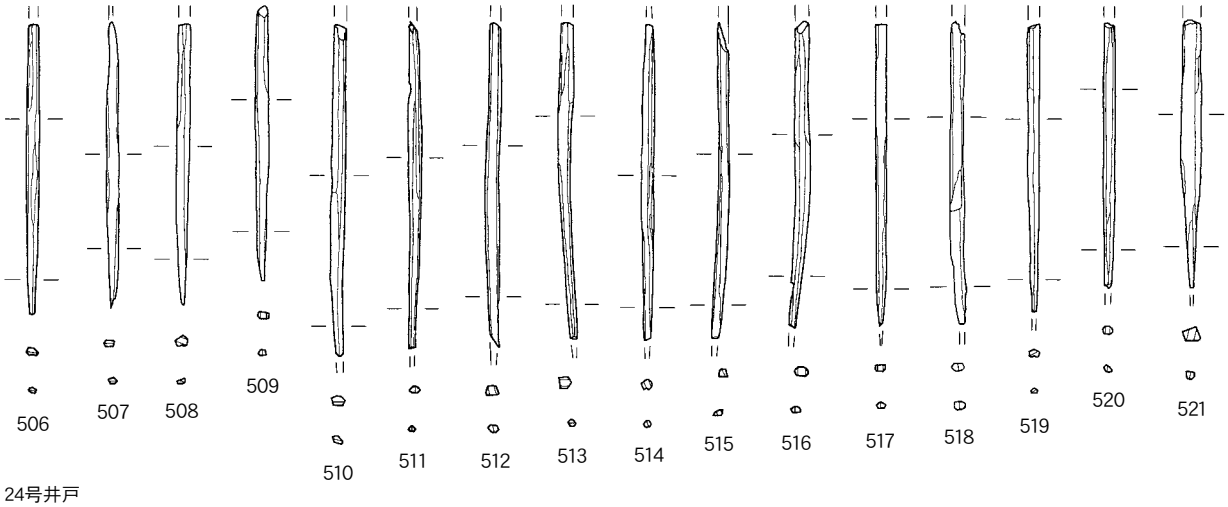
第117図　木製品（29）


22号井戸
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
木釘
445
446
447
448
炭化
炭化
449
450
451
452
453
454
455
456
457
23号井戸
458
459
460
461
462
463
464
465
黒漆
466
445～448・465：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

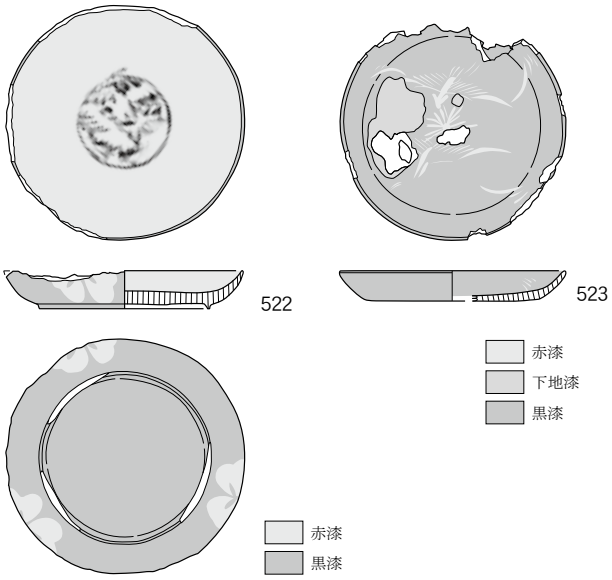
第118図　木製品（30）

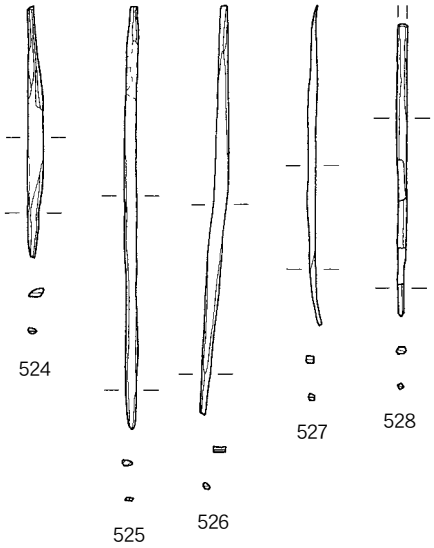

467
木釘
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
0
(1/4)
10cm

第119図　木製品（31）

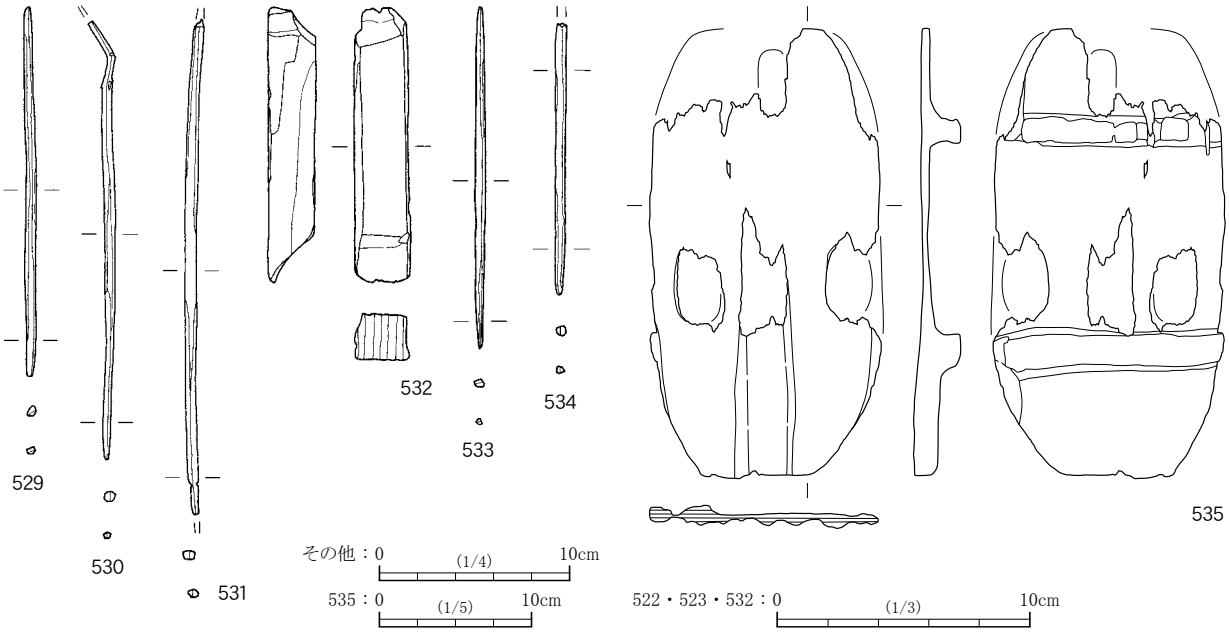


24号井戸

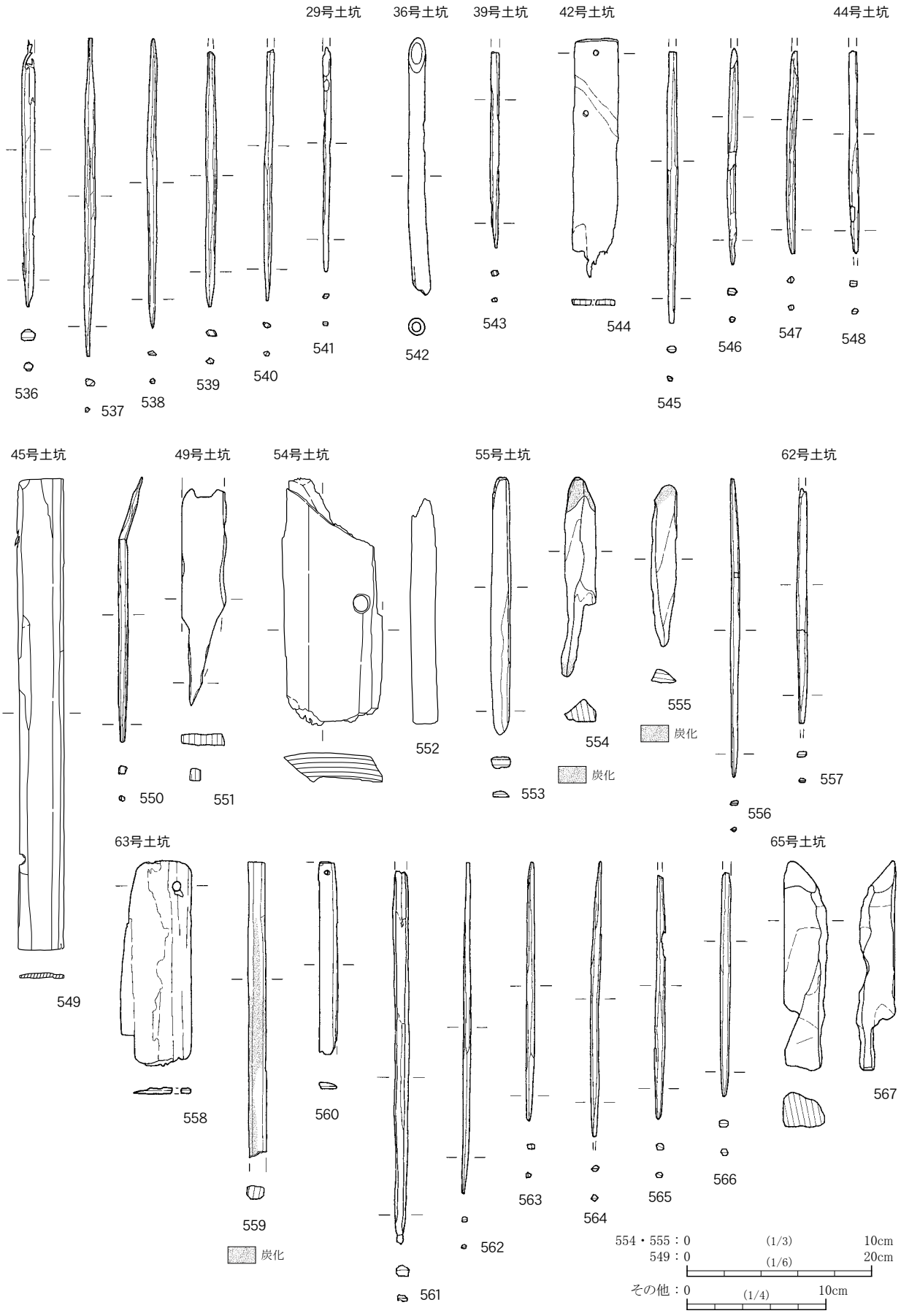




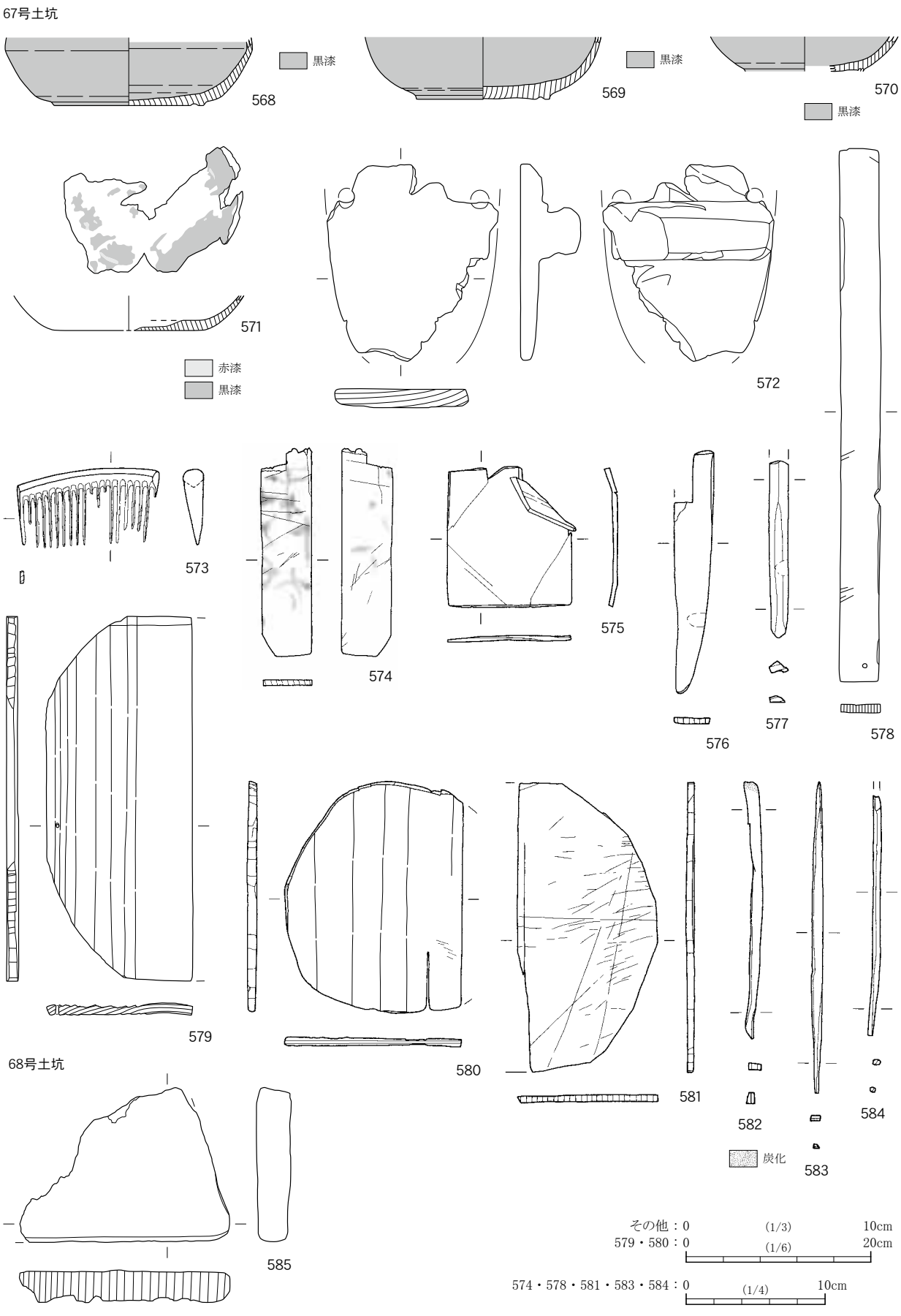
5号土坑　11号土坑　15号土坑　26号土坑



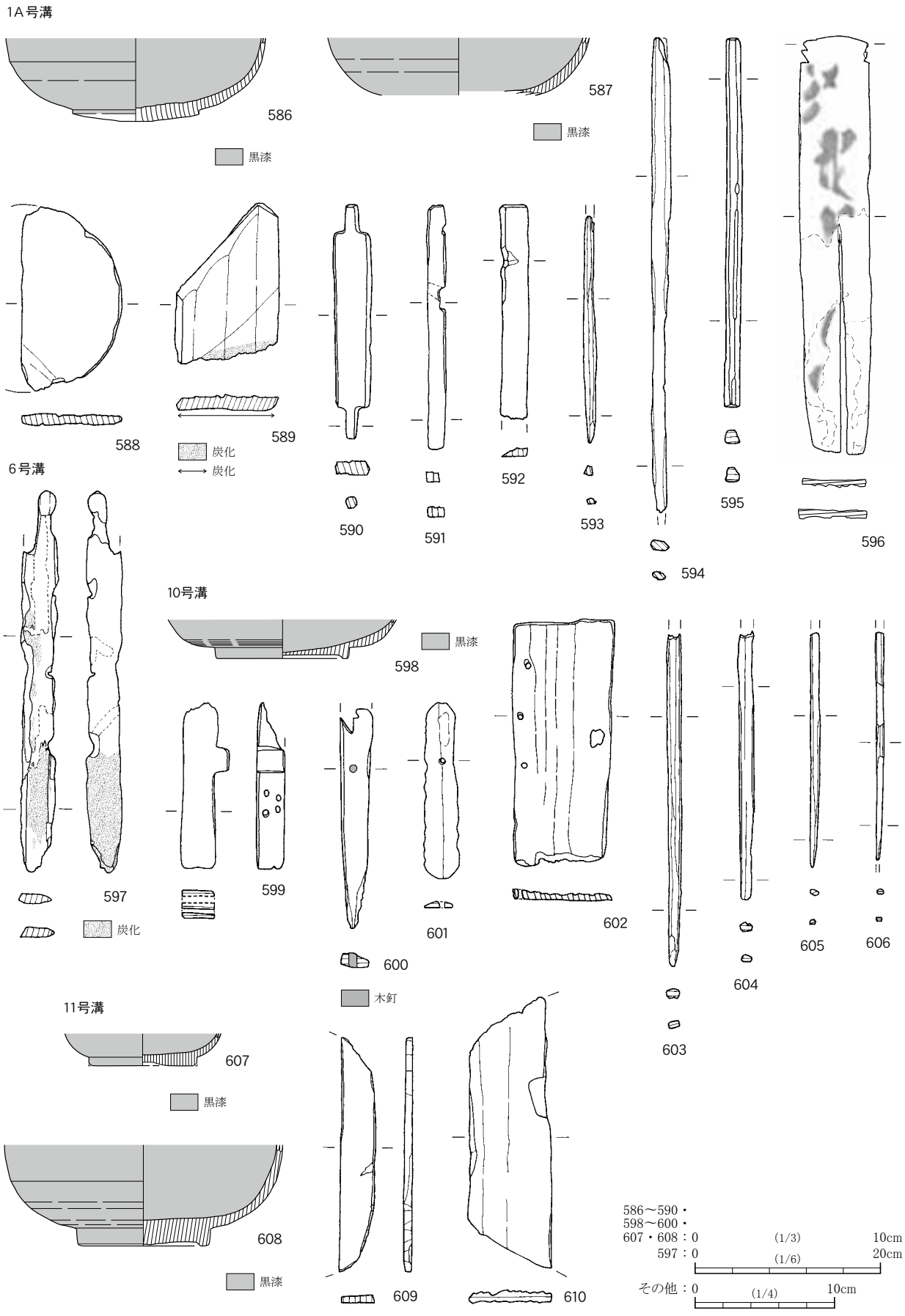
第120図　木製品（32）


29号土坑
36号土坑
39号土坑
42号土坑
44号土坑
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
45号土坑
49号土坑
54号土坑
55号土坑
62号土坑
549
550
551
552
553
554
555
556
557
炭化
63号土坑
65号土坑
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
炭化
554・555：0 (1/3) 10cm
549：0 (1/6) 20cm
その他：0 (1/4) 10cm

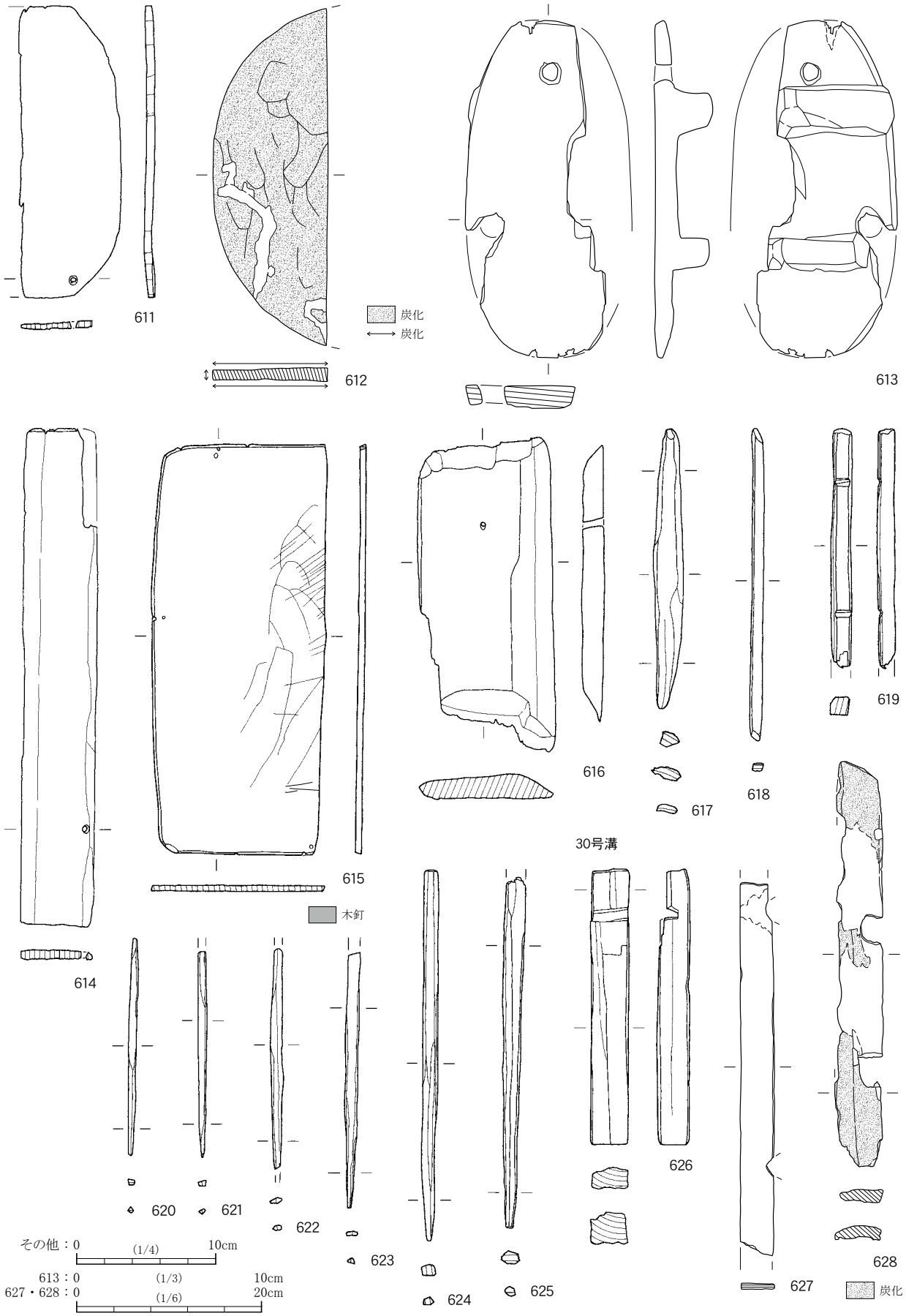
第121図　木製品（33）


67号土坑
黒漆
568
黒漆
569
570
黒漆
571
赤漆
黒漆
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
584
炭化
583
68号土坑
585
その他：0 (1/3) 10cm
579・580：0 (1/6) 20cm
574・578・581・583・584：0 (1/4) 10cm

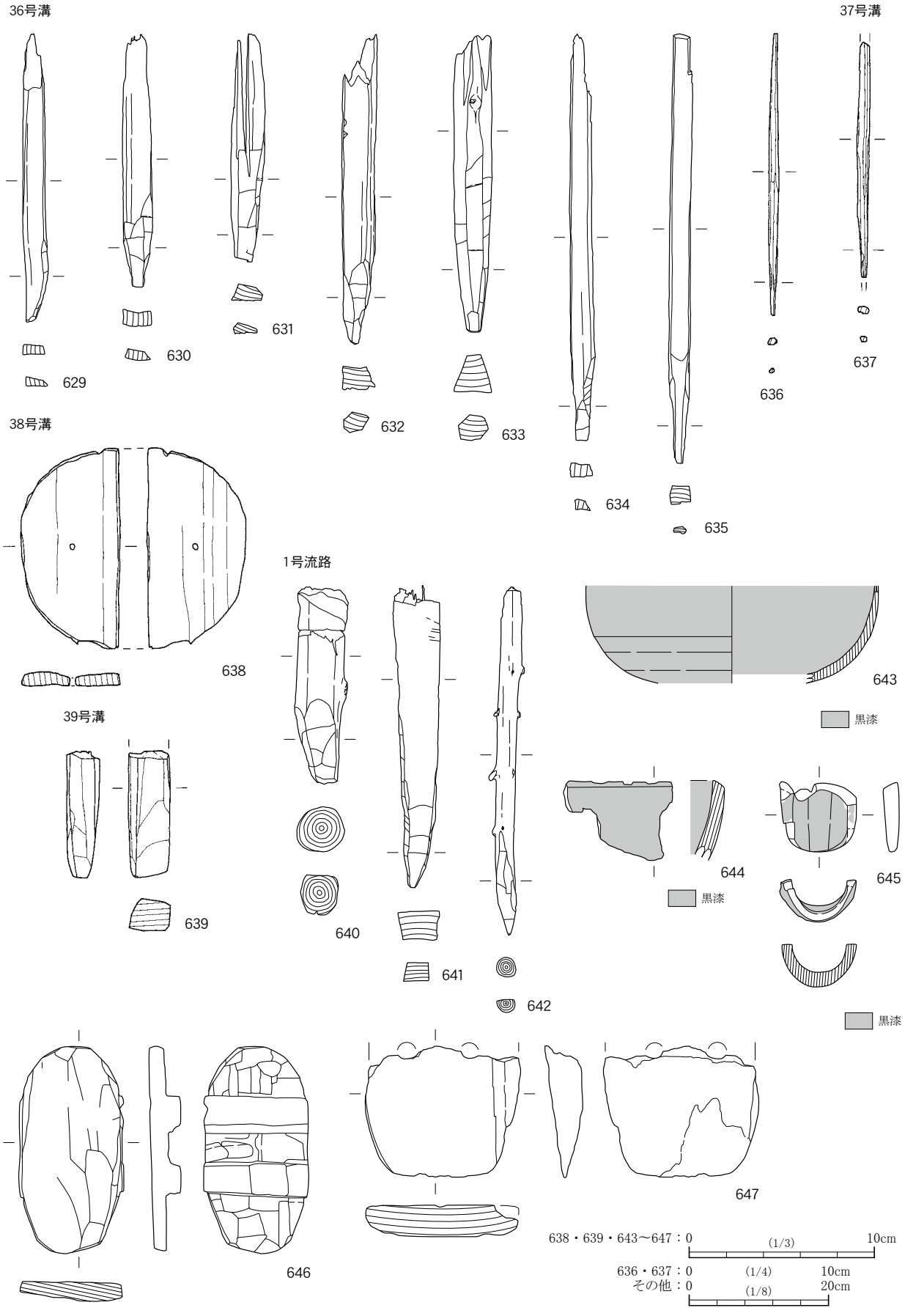
第122図　木製品（34）


1A号溝
586
黒漆
587
黒漆
588
589
炭化
炭化
590
591
592
593
594
595
596
6号溝
597
炭化
10号溝
598
黒漆
599
600
601
602
603
604
605
606
木釘
11号溝
607
黒漆
608
黒漆
609
610
586～590・
598～600・
607・608：0
(1/3)
10cm
597：0
(1/6)
20cm
その他：0
(1/4)
10cm

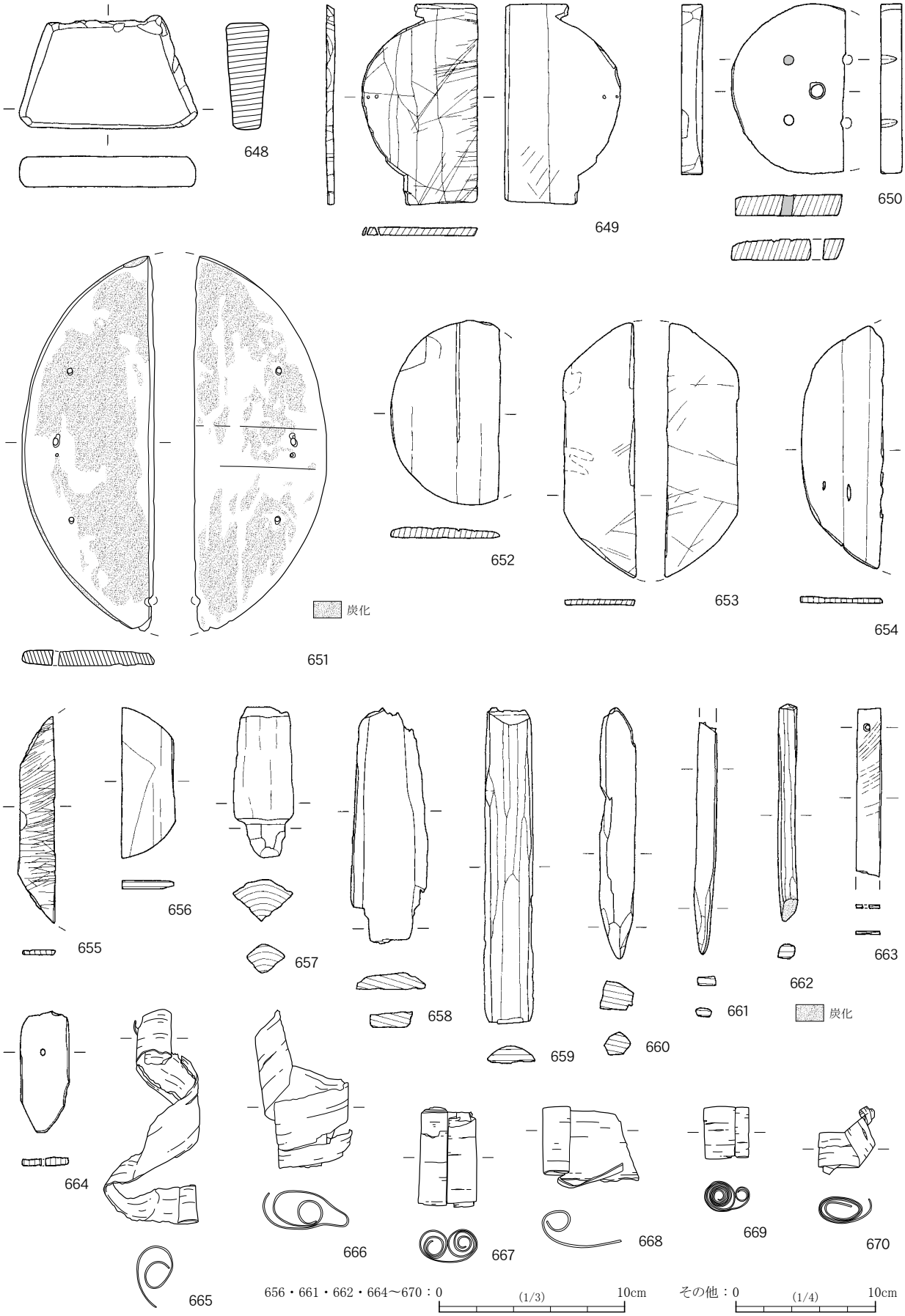
第123図　木製品（35）


611
612
炭化
炭化
613
614
615
木釘
616
617
618
619
30号溝
620
621
622
623
624
625
626
627
628
炭化
その他：0 (1/4) 10cm
613：0 (1/3) 10cm
627・628：0 (1/6) 20cm

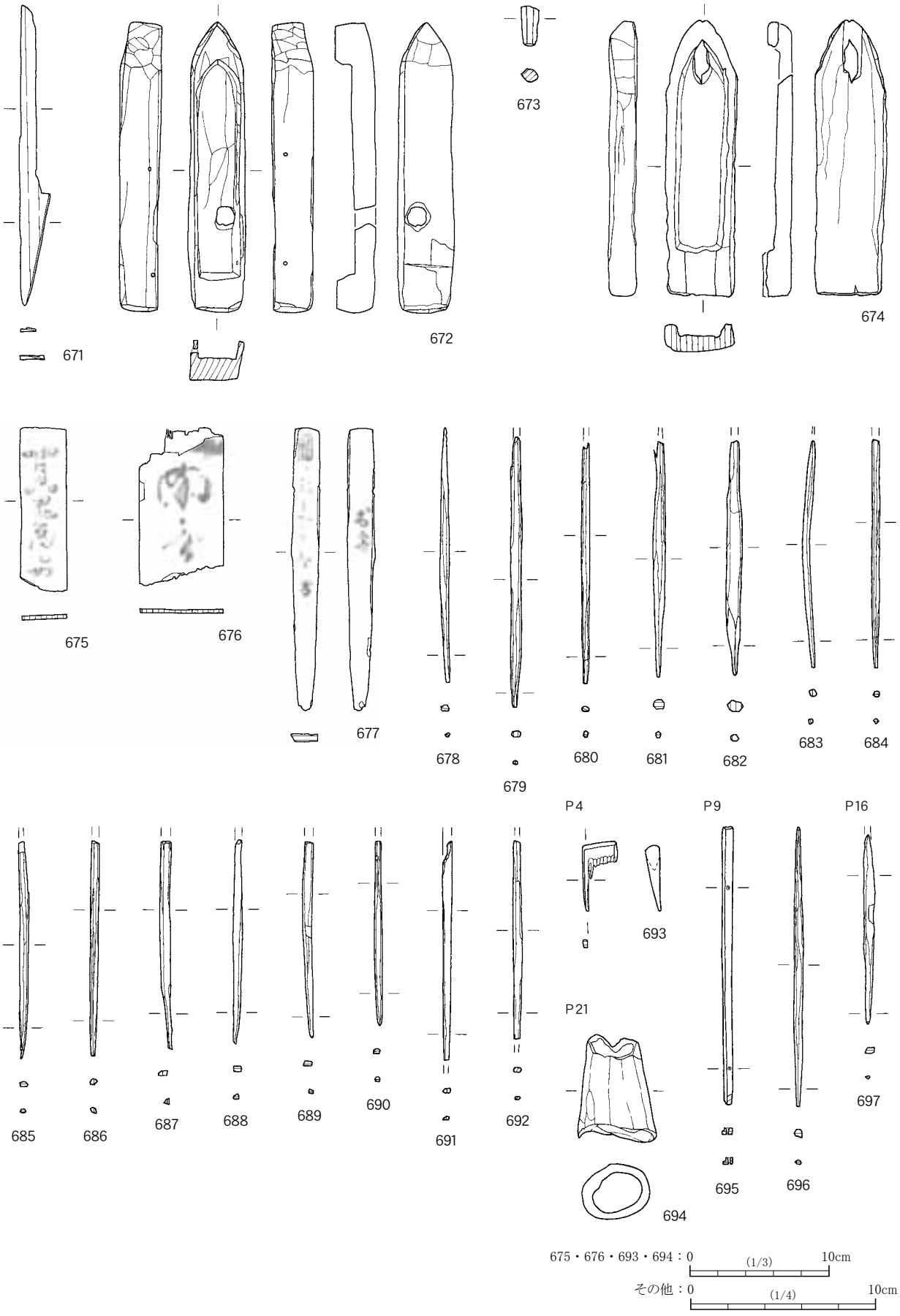
第124図　木製品（36）


36号溝
37号溝
629
630
631
632
633
634
635
636
637
38号溝
638
39号溝
639
1号流路
640
641
642
643
黒漆
644
黒漆
645
黒漆
646
647
638・639・643～647：0
(1/3)
10cm
636・637：0
(1/4)
10cm
その他：0
(1/8)
20cm

第125図　木製品（37）



第126図　木製品（38）

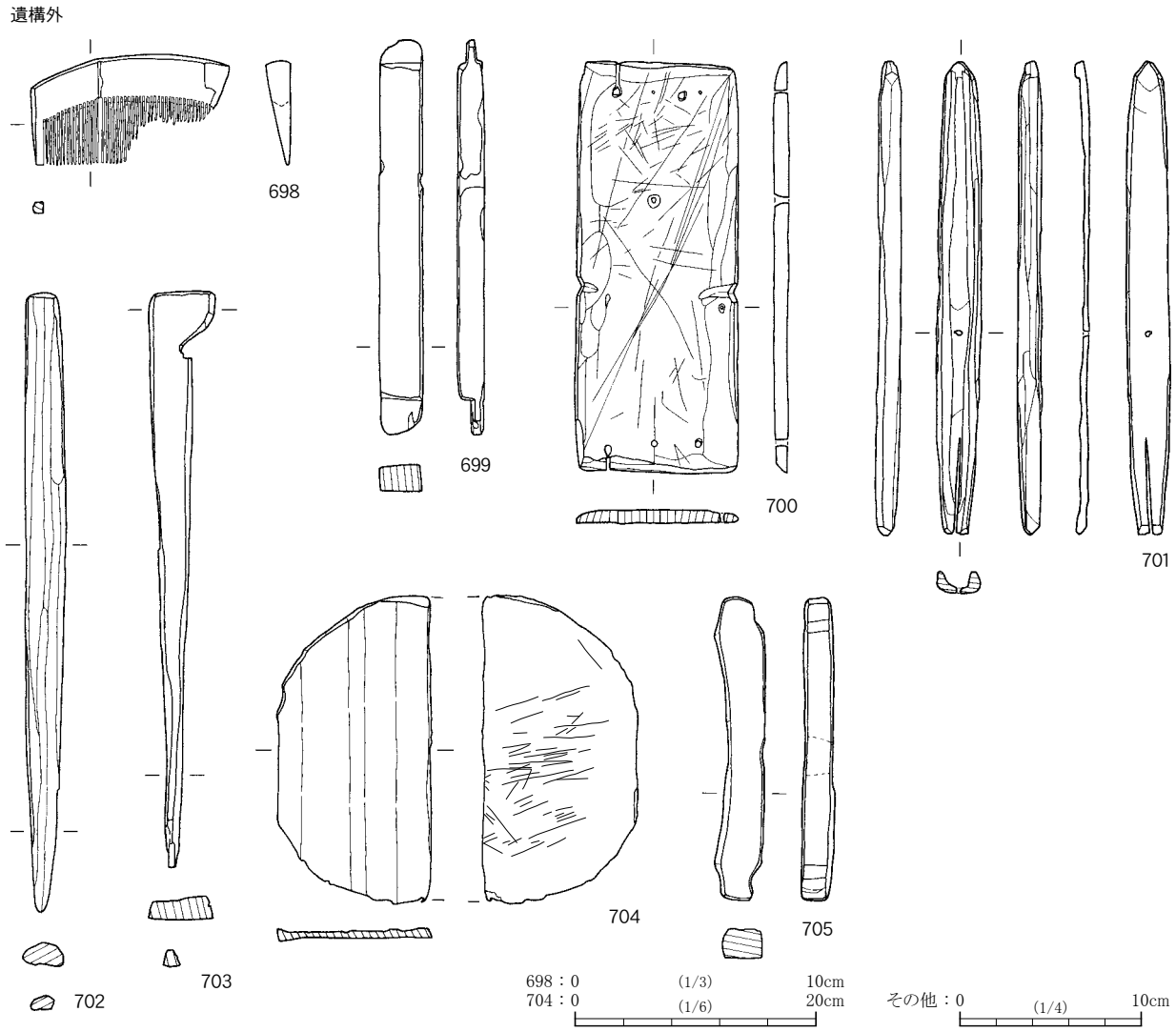

671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
P4
693
P9
P16
697
P21
694
695
696
675・676・693・694：0
(1/3)
10cm
その他：0
(1/4)
10cm

第127図　木製品（39）

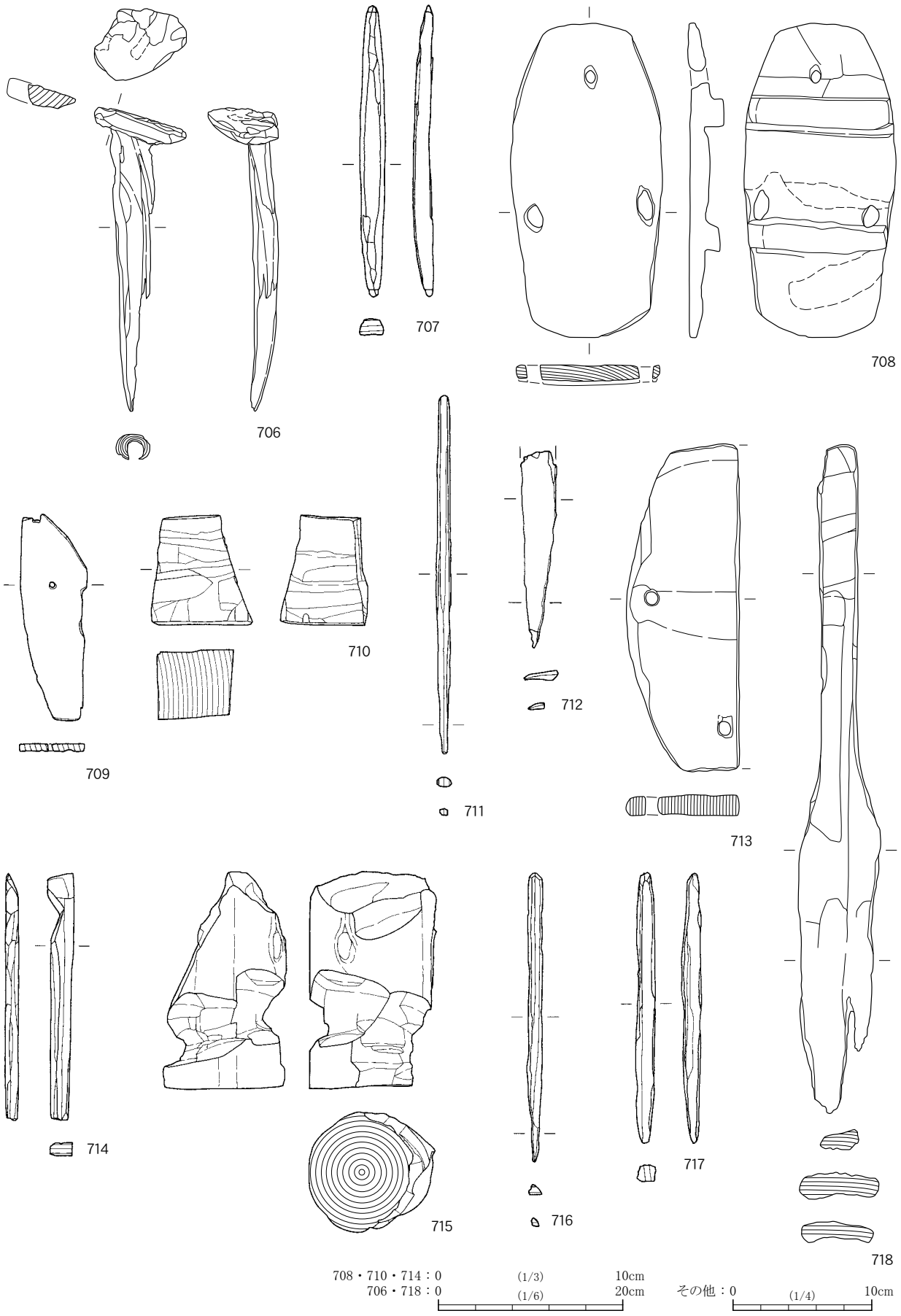
640～697（第 125～127 図）は，1 号流路から出土したものである。640～642 は杭である。640・641 は本流路に伴う 2 号杭列のそれである。642 は本流路の東岸際に単体で打ち込まれていた。643～645 は漆器で，同じ地点から出土した。643 は椀である。644・645 はともに片口鉢と推定され，同一個体の可能性がある。646～648 は下駄および下駄の歯である。なかでも，646 は小型品で，子供用と推定される。ただし，鼻緒を通すための孔がなく，未成品と考えられる。649～656 は蓋板である。649 は未成品である。650 は穿孔が五つあり，そのうちの一つには木製の部材がはめ込まれている。651 は，欠損している右側面を除き，全面炭化している。665～670 は樹皮で，皮綴じの素材と推定される。671 は斎串である。672・674 は舟形木製品で，どちらも底部に穿孔が認められる。なお，673 は非常に短い棒状の木製品で，672 の舟形木製品に近接して出土した。その形状と出土位置から，672 に付属して，底部の孔に挿入して使用した可能性が考えられる。675～677 は木簡である。

693～697（第 127 図）は，小ピットから出土したものである。693 は櫛である。694 は外面を整形した中空の木製品で，形状が特徴的である。ただし，その用途は不明である。

698～718（第 128～129 図）は，遺構外から出土したものである。698 は櫛である。701 は舟形木製品で，672 や 674 と同様，底部に穿孔が認められる。704・713 は蓋板である。706 は鍬の未成品と推定される。身と柄を一木で作り出している。708 は下駄で，712 は斎串である。718 は鋤で，身と柄を一本で作り出している。



第128図　木製品（40）


706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
708・710・714：0 (1/3) 10cm
706・718：0 (1/6) 20cm
その他：0 (1/4) 10cm

第129図　木製品（41）

7　木　簡

本遺跡からは，6点の墨書のみられる木簡が確認された。そこで，それらについてみていきたい。まず，釈文を示そう。

掲載№401（17 号井戸出土）

□（墨痕あり）

掲載№574（67 号土坑出土）

・　］□□□

・□(十カ)

掲載№596（1A 号溝出土）

（梵字）キャ　（梵字）カ　□(梵字)ラか　［

掲載№675（１号流路出土）

（符籙）鬼急々如［

掲載№676（１号流路出土）

］南無［

掲載№677（１号流路出土）

・（記号？）□□□□出

・出処

401 は，上端が方頭で，下端は破損している。墨痕は確認されるが，判読できていない。形状ならびに墨痕からは，木簡の性格は判断しがたい。

574 は，上端は折損しており，下端はほぼ方形であるが，左方が斜めに切断されている。墨痕は確認されるが，判読できていない。形状ならびに墨痕からは，木簡の性格は判断しがたい。

596 は，上端には二重の切れ込みがみられ（二条線），下端は尖らせていたか。縦方向に割れている。表面が削れており，とくに下部の墨書は判読できない。ただし，判読できる部分からすれば，表には梵字《キャ･カ･ラ･バ･ア》が記されていたか。また，裏面も判読は困難であるが，梵字《バン》が記されていたか。《キャカラバア》は仏教の五大要素である空（キャ），風（カ），火（ラ），水（バ），地（ア）をあらわしており，卒塔婆に記される場合が多い。《バン》は大日如来（金剛界）をあらわし，その救いを祈願するものである。本資料は形状ならびに墨書からしても，卒塔婆として使用されたものと考えられる。

675 は，上端が方頭で，下端は折損によって原形が失われている。墨書も折損のため下部が失われているが，「急々如」以下は「律令」と続いていたと考えてよいであろう。「急々如律令」は，急ぎ律令のごとくせよ，の意で，そもそもは中国漢代の公文書で用いられたが，のちにまじない・護符にも用いられるようになった語である。上部の符籙（中国の道教に起源をもつまじないの記号）は浦廻遺跡出土 52 号呪符木簡と同じ形状である（参考図）。本資料は何らかの信仰，あるいは呪術行為に用いられた呪符木簡といえる。

676 は，上下端ともに破損して原形が失われている。墨書も表面に「南無」の 2 字が残るのみであるが，「南無大日如来」「南無阿弥陀仏」など，信仰・供養等にかかる語が記されていたとみられる。したがって，本資料は呪符木簡あるいは卒塔婆等として使用されたものと考えられる。なお，上部の墨痕は何らかの梵字が記されていた可能性も窺われるが，不明。

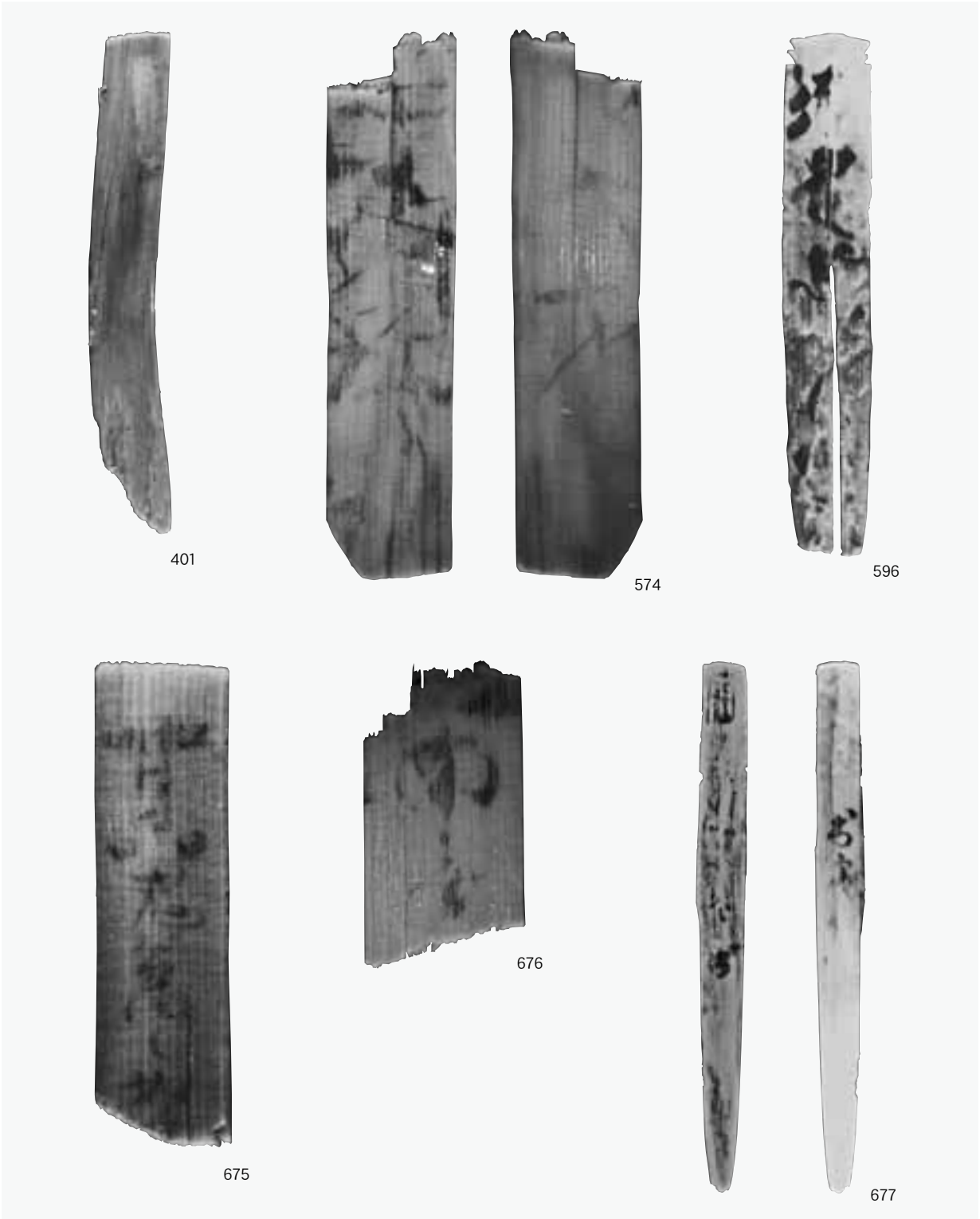
677 は，上端が方頭で，下端は尖らせている。墨書は両面にあり，表面上部に何らかの記号および下部に「出」の文字が確認できる。また，裏面には「出処」の文字が確認できる。なお，上記の 675 において触れた浦廻遺跡出土 52 号木簡には「出所」の文字が確認されており，関連性が注目さ

<参考図>
浦廻遺跡出土
52号呪符木簡

撮影：新潟県教育委員会
提供：新潟市文化財センター

れる。このことなどからすると，本資料も呪符木簡の可能性があろうか。ただし，「出所」「出処」の意味は現時点では判然としない。

以上からすれば，今回確認した６点のうち３点は信仰・供養等にかかる木簡であり，さらにもう１点にもその可能性があることになる。こうした傾向は，本遺跡の性格を窺わせるものとも考えられる。これら木簡と遺跡の性格とのかかわりについて，さらに検討を深める必要があろう。（前嶋 敏）



第130図　木簡

第Ⅴ章　自然科学分析

1　住吉遺跡出土木製品の樹種同定報告

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

住吉遺跡（新潟県新発田市中島字住吉）は，現在の加治川右岸，９世紀以降に形成されたとされる紫雲寺潟（塩津潟）の南東部の潟端付近に立地する。本遺跡は，これまでの発掘調査の結果，中世（13～14 世紀前半）を主体とする集落跡であることが明らかとされており，掘立柱建物や井戸跡，土坑，溝跡などが確認されている（新潟県教育委員会ほか，2006）。

本分析では，住吉遺跡の発掘調査により出土した中世の井戸部材（施設材，器具材）や建築部材などの木製品の樹種および木材利用の検討を目的として，樹種同定を実施した。

１　試料

今回の樹種同定の対象とされた資料は，井戸部材（施設材，器具材），建築部材などの木製品 221 資料である。なお，井戸の水溜として利用された曲物は複数の部材より構成されていることから，本分析では各部材も対象としている。なお，各資料の詳細（出土地点（遺構・層位），器種，木取りなど）は，同定結果と共に遺物観察表に記したので参照されたい。

２　分析方法

資料の木取りを観察した上で，剃刀を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の３断面の徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し，プレパラートとする。プレパラートは，生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し，その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類（分類群）を同定する。

なお，木材組織の名称や特徴は，島地・伊東（1982），Wheeler 他（1998），Richter 他（2006）を参考にする。また，日本産木材の組織配列は，林（1991）や伊東（1995-1999）を参考にする。

３　結果

同定結果を遺物観察表に示す。木製品 221 資料は，針葉樹２分類群（マツ属複維管束亜属，スギ）と，広葉樹 10 分類群（ヤナギ属，クリ，エノキ属，ケヤキ，イスノキ，アカメガシワ，キハダ，ヌルデ，カエデ属，ガマズミ属）に同定された。以下に，各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複維管束亜属（*Pinus* subgen. *Diploxylon*）　マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで，晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は，仮道管，柔細胞，水平樹脂道，エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列，１-15 細胞高。

・スギ（*Cryptomeria japonica*（L. f.）D. Don） スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で，晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で，１分野に２-４個。放射組織は単列，１-10 細胞高。

・ヤナギ属（*Salix*） ヤナギ科

散孔材で，道管は単独または２- ３個が複合して散在し，年輪界付近で径を減少させる。道管は，単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性，単列，１-15 細胞高。

・クリ（*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.） ブナ科クリ属

環孔材で，孔圏部は３-４列，孔圏外で急激に管径を減じたのち，漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性，単列，１-15 細胞高。

・エノキ属（*Celtis*） ニレ科

環孔材で，孔圏部は１-３列，孔圏外で急激に管径を減じたのち，塊状に複合し接線・斜方向に配列し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列，小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性，１-６細胞幅，１-50 細胞高で鞘細胞が認められる。

・ケヤキ（*Zelkova serrata*（Thunb.）Makino） ニレ科ケヤキ属

環孔材で，孔圏部は１-２列，孔圏外で急激に管径を減じたのち，塊状に複合して接線・斜方向に紋様状あるいは帯状に配列し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列，小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性，１-６細胞幅，１-50 細胞高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・イスノキ（*Distylium racemosum* Sieb. et Zucc.） マンサク科イスノキ属

散孔材で，道管は横断面で多角形，ほとんど単独で散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性，１-３細胞幅，１-20 細胞高。柔組織は，独立帯状または短接線状で，放射方向にほぼ等間隔に配列する。

・アカメガシワ（*Mallotus japonicus*（Thunb.)Mueller-Arg.） トウダイグサ科アカメガシワ属

環孔材で，孔圏部は１-５列，孔圏外への移行は緩やかで，小道管は単独または２-４個が放射方向に複合して配列し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列する。放射組織は単列異性，１-30 細胞高。

・キハダ（*Phellodendron amurense* Ruprecht） ミカン科キハダ属

環孔材で，孔圏部は３-５列，孔圏外でやや急激に径を減じたのち，多数が塊状に複合して接線・斜方向に紋様状に配列し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列，小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性，１-５細胞幅，１-40 細胞高。

・ヌルデ（*Rhus javanica* L.） ウルシ科ウルシ属

環孔材で孔圏部は４-５列，孔圏外への移行は緩やかで，晩材部では２-５個が塊状に複合して配列し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は交互状に配列，小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性，１-４細胞幅，１-30 細胞高。

・カエデ属（*Acer*） カエデ科

散孔材で，道管は単独または２-３個が複合して散在し，年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し，壁孔は対列～交互状に配列，内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性，１-３細胞幅，１-30

細胞高。木繊維が木口面において不規則な紋様をなす。

・ガマズミ属（*Viburnum*） スイカズラ科

散孔材で，道管はほぼ単独で散在する。道管は階段穿孔を有し，壁孔は対列状～階段状に配列する。放射組織は異性，１－４細胞幅，１-40 細胞高。

４　考察

今回の樹種同定の対象とされた木製品は，井戸部材が半数以上を占め，次いで柱根や礎板が多い。これらの木製品は，伊東・山田（2012）の木器分類を参考にすると，農耕土木具（鋤），服飾具（櫛），容器（蓋板，漆器類），調理加工具（杓子形木製品），食事具（匙，折敷），建築部材（柱根，礎板），施設材・器具材（井戸部材，部材），土木材（杭），祭祀具（舟形木製品），その他（不明木製品）に分けられる（表２）。

これらの木製品には，針葉樹のマツ属複維管束亜属，スギ，広葉樹のヤナギ属，クリ，エノキ属，ケヤキ，イスノキ，アカメガシワ，キハダ，ヌルデ，カエデ属，ガマズミ属などの，計 12 種類が確認された。これらの種類のうち，針葉樹のマツ属複維管束亜属は，二次林や海岸砂丘等に生育する常緑高木であり，本州にはアカマツとクロマツの２種が分布する。木材の材質は針葉樹としては重硬な部類に入り，強度と保存性が高い。スギは，谷沿いや扇状地扇端部の湧水点周辺などの比較的水分の多い土地に生育する常緑高木であり，木材は木理が通直で割裂性と耐水性が比較的高い。広葉樹のヤナギ属には多くの種類が含まれ，生育場所も河畔や山地など幅広い。木材は，概して軽軟な部類に入り，強度と保存性は低い。クリは二次林等に生育する落葉高木であり，木材は重硬で強度と耐朽性が高い。エノキ属は河畔等に生育する落葉高木であり，木材はやや重硬な部類に入る。ケヤキは山地・丘陵地の谷沿いなどに生育する落葉高木であり，木材は重硬で強度と耐朽性が高い。イスノキは暖温帯性常緑広葉樹林中に生育する常緑高木であり，木材は極めて重硬・緻密で強度と耐朽性が高い。アカメガシワは伐採地等に先駆的に生育する陽樹であるほか，林縁部や河畔などの日照条件が良い場所に生育する落葉高木である。木材は軽軟な部類に入り，強度と保存性は低い。キハダは山地・丘陵地の谷沿い等に生育する落葉高木であり，木材は軽軟な部類に入り，強度は低いが耐朽性は高い。ヌルデは二次林等に生育する落葉小高木であり，木材は軽軟な部類に入り，強度は低いが耐朽性は高い。カエデ属には多くの種類が含まれ，山地の落葉広葉樹林中，河畔，二次林などに広く生育する落葉小高木～高木である。木材は重硬・緻密で強度が高い。ガマズミ属は落葉性の種類のほか，常緑性の種類も含まれるが，調査地や現在の分布など考慮すると落葉性の種類と考えられる。ガマズミ属は山地・丘陵地の落葉広葉樹林内等に生育する落葉低木～高木であり，木材は比較的重硬・緻密で強度が高い。

器種別にみると，農耕土木具の鋤（掲載№718）は，板目板状を呈し，身と柄が一木で作られるが，柄に相当する部分はやや短い。樹種はクリであったことから，強度の高い木材の利用が窺える。新潟県内の古代～中世の鍬・鋤類の調査事例では，野中土手付遺跡（旧加治川村）の古代の曲柄鍬身にクヌギ節，砂山中道下遺跡（旧加治川村）の室町時代前半の直柄鍬身にコナラ節，寺前遺跡（出雲崎町）の 12 世紀後半～15 世紀とされる鍬先にアサダ，馬越遺跡（加茂市）の古代の曲柄鍬身にケヤキ，大武遺跡（旧和島村）の中世の一木鋤にスギ，仲田遺跡（旧板倉町）の鎌倉～室町時代前半の直柄鍬身にトチノキ，用言寺遺跡（上越市）の室町時代前半とされる直柄鍬身にコナラ節等の報告がある（伊東・山田,2012）。スギやトチノキなどの強度が低い木材の利用も認められるものの，アサダ，コナラ節，クヌギ節，コナラ節，ケヤキなどの比較的重硬な木材の利用が多い点は，今回の結果とも調和的と言える。

服飾具は，櫛２点がある。いずれも横櫛で，薄い歯が高い密度で削り出される資料（掲載№698）と，やや厚い歯が低い密度で削り出される資料（掲載№573）とがある。樹種は，２点ともイスノキであったことから，重

表２　器種別種類構成（１）

器種	農耕	服飾	容器				調理	食事具		建築部材	
	鋤	櫛	蓋板	漆器			杓子	匙	折敷	柱根	礎板
種類（分類群）	－	－	－	小皿	盤	椀	－	－	底板	－	－
針葉樹											
マツ属複維管束亜属											
スギ			1				2	1	1	23	10
広葉樹											
ヤナギ属											
クリ	1									12	
エノキ属										1	
ケヤキ				6	1	9					
イスノキ		2									
アカメガシワ											1
キハダ										1	
ヌルデ										2	
カエデ属											
ガマズミ属										1	
合　計	1	2	1	6	1	9	2	1	1	40	11

表２　器種別種類構成（２）

器種	施設材・器具材					土木	祭祀	他	合計
	井戸部材				部材	杭	舟形	不明	
種類（分類群）	隅柱	桟木	縦板	曲物	桟木	－	－	－	
針葉樹									
マツ属複維管束亜属						1			1
スギ	10	31	76	31	3	8	2		199
広葉樹									
ヤナギ属						1			1
クリ								1	14
エノキ属									1
ケヤキ									16
イスノキ									2
アカメガシワ									1
キハダ									1
ヌルデ									2
カエデ属		1							1
ガマズミ属									1
合　計	10	32	76	31	3	10	2	1	240

硬かつ緻密な材質の広葉樹材が利用されたと考えられる。新潟県内の中世の櫛については，これまでに 19 例の調査事例があり，城田遺跡や山屋遺跡群（旧神林村）でスギが各１例確認されているほかは，全てイスノキが確認されている（伊東・山田,2012)。イスノキは，太平洋側の伊豆半島以西の本州，四国，九州の主に沿海地を中心に分布しており，日本海側には分布していない。このことから，今回の資料を含めて，県内から出土したイスノキの櫛は，製品として流通していた可能性がある。

容器は，蓋板と漆器類がある。蓋板（掲載№414・415）は，左右対称な２枚の（柾目）板で構成される。それぞれ孔が６カ所あり，長片中央に見られる窪みも２枚を合わせると四角い穴になる。本資料はスギが利用されることから，分割加工が容易な木材を利用したと考えられる。また，漆器類は，小皿，盤，椀などの器種がある。いずれも横木地柾目取の資料であり，一部には内面に同心円状のろくろ挽の痕跡も認められる。漆塗りは，基本的に内面・外面共に黒色であるが，外面に赤漆による模様があり，内面が赤色で黒漆により模様が描かれる資料（掲載№522）や，内外面が黒色で内面に赤漆による模様が描かれる資料（掲載№523)，内面が黒色，外面が茶褐色となる資料（掲載№643・644・645）などもある。これらの漆器類は，全てケヤキに同定されたことから，木地とした木材の選択的な利用が示唆される。ケヤキは，漆器の木地として，ブナ属やトチノキと共によく利用される樹種の一つである。四柳（2006）によれば，11～12 世紀にかけて材料や工程を大幅に省略した渋下地漆器が出現し，木地の樹種もケヤキからより安価なブナやトチノキなど多様な種類が利用されるようになると指摘している。住吉遺跡では，過去の発掘調査で出土した漆器類の分析結果においても，ケヤキが多くを占め，スギや

トチノキが僅かに混じる組成が明らかとされている（植田,2006）。また，新潟県内の中世の漆器類についても，馬越遺跡（加茂市），鬼倉遺跡（加茂市），浦廻遺跡（旧白根市），砂山中道下遺跡（旧加治川村），寺前遺跡等の調査事例ではケヤキの利用が圧倒的に多く，ブナ属やトチノキの利用は少ない。このような傾向から，新潟県内では中世の漆器にはケヤキが多く利用されていた状況が窺える。

調理加工具は，杓子形木製品２点（掲載№402・427）がある。２資料は，大きさは異なるが，いずれも（板目）板状を呈し，形状が類似する。いずれもスギが利用されており，加工性の高い木材を利用したことが推定される。

食事具は，匙と折敷がある。匙（掲載№321）は，匙の広い面が柾目，側面が板目となる木取りで削出された資料である。また，柄部分にホゾがあることから，別材を組み合わせた可能性がある。本資料は，スギに同定されたことから，加工性の高い木材の利用が推定される。折敷（掲載№85）は，一部欠損するため全体の形状は不明であるが，隅丸方形あるいは長方形の板状を呈することから，折敷の底板と考えられる。スギが利用されることから，分割加工が容易な木材の利用が推定される。折敷は，本遺跡の過去の発掘調査で出土した５点も全てスギに同定されており（植田,2006），同様の木材利用が考えられる。

建築部材は，柱根と礎板がある。柱根は計 40 点が分析対象とされたが，このうちスギ（23 点）とクリ（12 点）が多数を占め，この他に４種類（エノキ，キハダ，ヌルデ，ガマズミ属）が認められた。柱根の多数を占めるスギは耐水性が高く，クリは重硬で耐久性が高いことから，柱材として適材と言える。また，この他に確認された種類も重硬である，あるいは耐久性が高いという材質などにより利用された可能性がある。なお，住吉遺跡の過去の発掘調査で出土した柱根では，スギとクリを主体として，コナラ節，キハダ，ケヤキ，ヌルデ，ブナ属が混じる組成が明らかとされている（植田,2006）が，今回の確認された種類構成も概ね同様の傾向を示すことが明らかとなった。

なお，柱根資料のうち，建物との帰属関係が明らかで，１棟で複数資料を対象とした結果についてみると，46 号掘立の柱８点は，全て分割材あるいは分割角材であり，スギとクリが混在するという組成を示す。また，13 号掘立，20 号掘立，32 号掘立，33 号掘立，42 号掘立，48 号掘立は，いずれも分割材，分割角材，半裁状などの柱が利用され，全てスギであった。一方，芯持丸木材が利用される建物は，33 号掘立ではクリとヌルデ，５号掘立ではクリが利用される。全体的な傾向としては，スギは分割材が利用され，クリは芯持丸木と分割材とがあるが，スギと共に利用される場合にはクリは分割材が多く，その他の広葉樹との組合せ，あるいは組合せが不明な資料には芯持丸木が多いという特徴が見出せる。

新潟県内の中世の柱材の調査事例では，砂山中道下遺跡，田屋道遺跡（旧神林村）などのクリの利用が多く見られる遺跡がある一方，スギが確認された事例は下割遺跡（上越市），三角田遺跡（上越市），住吉遺跡，寺前遺跡の４遺跡に限られる（伊東・山田,2012）。このうち，比較的多くの資料が調査された寺前遺跡についてみると，柱 38 点のうち 22 点にクリが確認されている一方，スギは所属不明の１点に確認されているのみである。今回の分析で確認されたスギとクリと共に多く利用されるという傾向は，これまでに明らかとされている新潟県内の調査事例と比較して特徴的である。本遺跡では，後述するように，井戸部材を主体とする施設材・器具材にスギが多く認められており，本遺跡におけるスギの利用状況を反映していると推定される。

一方，礎板は，資料 11 点のうち，10 点がスギ，１点がアカメガシワであった。スギの礎板は，板状や分割角材状を呈するが，形状や大きさは区々であり，板の中央に溝があり，建築部材からの転用と考えられる資料（掲載№15・24・25）も含まれる。この結果から，スギの選択利用はもとより，建築部材や施設材にスギ材が多く利用されている状況を反映している可能性がある。また，アカメガシワに同定された礎板は，半裁状を呈しており，破断面が炭化している。アカメガシワは軽軟な木材であることから強度などを考慮した木材利用は考え難く，周

囲で入手が容易であった木材を利用した可能性がある。

井戸部材を主体とする施設材・器具材は，隅柱，桟木，縦板，曲物（水溜）などの器種から構成される。資料は計 149 点あるが，カエデ属が１点確認されたほかは，全てスギであった。この結果から，分割加工が容易で耐水性の高いスギ材の選択利用が示唆される。なお，スギの縦板には，端部の形状や表面の凹凸から，同一材から分割加工したと思われる資料もあり，一部では分割面が完全に一致する資料も認められた。一方，カエデ属に同定された桟木は，芯持丸木材であり，他の井戸部材とは明らかに加工状況が異なる。カエデ属の桟木については，応急的な修理など，スギ材の選択とは別の要因が推定される。

土木材は，杭 10 点がある。分割角材，柾目板状，板目板状などの分割加工された資料と芯持丸木の資料とがあり，分割加工された杭８点は全てスギに同定された。この結果から，井戸部材と同様のスギ材の利用が推定される。一方，芯持丸木の２点はマツ属複観測亜属とヤナギ属に同定された。マツ属複維管束亜属については，強度や保存性が考慮された可能性があるが，ヤナギ属については材質的な特徴を考慮すると，手近で入手可能な木材を利用した可能性がある。

祭祀具は，舟形木製品２点（掲載№672・674）である。２資料は，形状は類似し，分割角材状を呈し，中央に四角の抉りがあり，一方の端部に舳先を作る。いずれもスギであり，分割加工が容易な木材を利用したと考えられる。

不明木製品（掲載№706）は，樹木の枝分かれ部分が利用されており，形状から幹あるいは太い枝側を身，細い枝を柄とした鍬の可能性がある。クリが利用されたことから，強度の高い木材を利用したと考えられる。

＜引用文献＞

林　昭三,1991, 日本産木材　顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.

伊東隆夫,1995, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料,31, 京都大学木質科学研究所,81-181.

伊東隆夫,1996, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料,32, 京都大学木質科学研究所.66-176.

伊東隆夫,1997, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料,33, 京都大学木質科学研究所,83-201.

伊東隆夫,1998, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料,34, 京都大学木質科学研究所,30-166.

伊東隆夫,1999, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料,35, 京都大学木質科学研究所,47-216.

伊東隆夫・山田昌久（編）, 2012, 木の考古学　出土木製品用材データベース. 海青社,449p.

新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団,2006, 住吉遺跡　日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告Ⅻ. 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 157 集,147p.

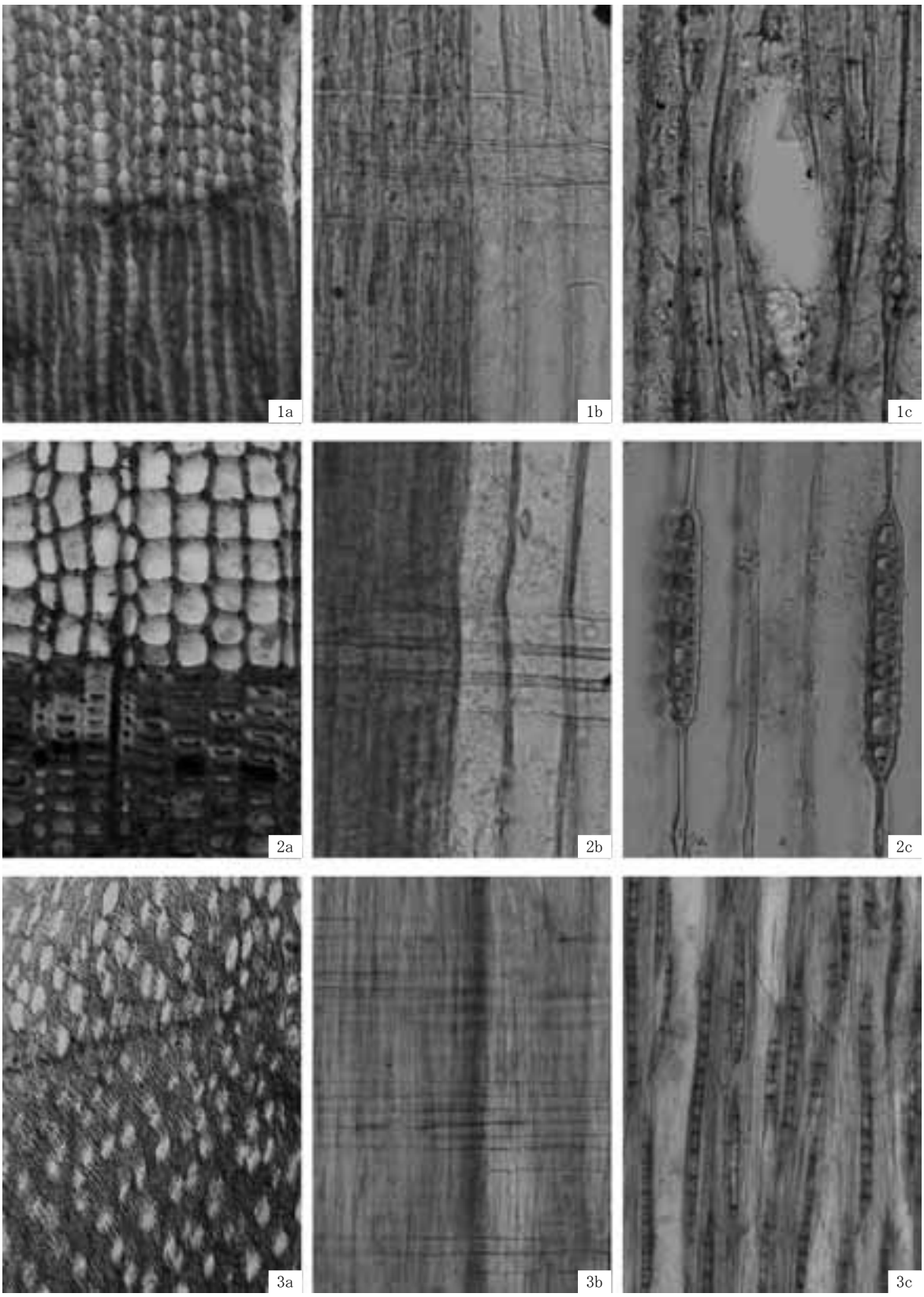
Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.（編）,2006, 針葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部　久・内海泰弘（日本語版監修）, 海青社,70p.［Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.,2004,IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.

島地　謙・伊東隆夫,1982, 図説木材組織. 地球社,176p.

植田弥生,2006, 出土木製品の樹種同定. 住吉遺跡　日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告Ⅻ. 新潟県埋蔵文化財調査報告書第 157 集, 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団,75-82.

Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(編),1998, 広葉樹材の識別　IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯　浩（日本語版監修), 海青社,122p.［Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.,1989,IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification］.

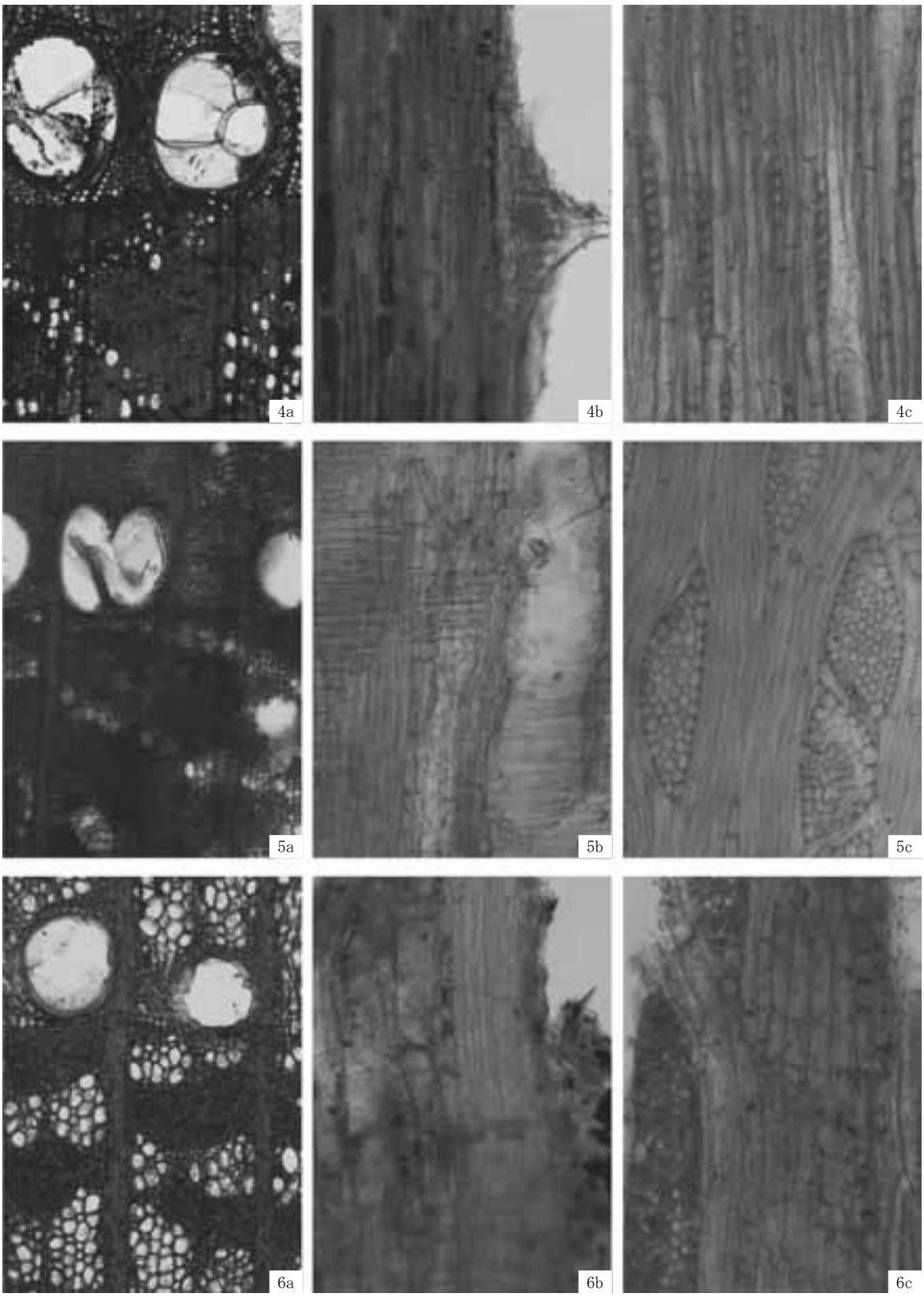
四柳嘉章,2006, 漆（うるし）Ⅰ. ものと人間の文化史 131-I, 法政大学出版局,252p.



1. マツ属複維管束亜属(No.642)
2. スギ(No.171)
3. ヤナギ属(No.640)
   a:木口,b:柾目,c:板目

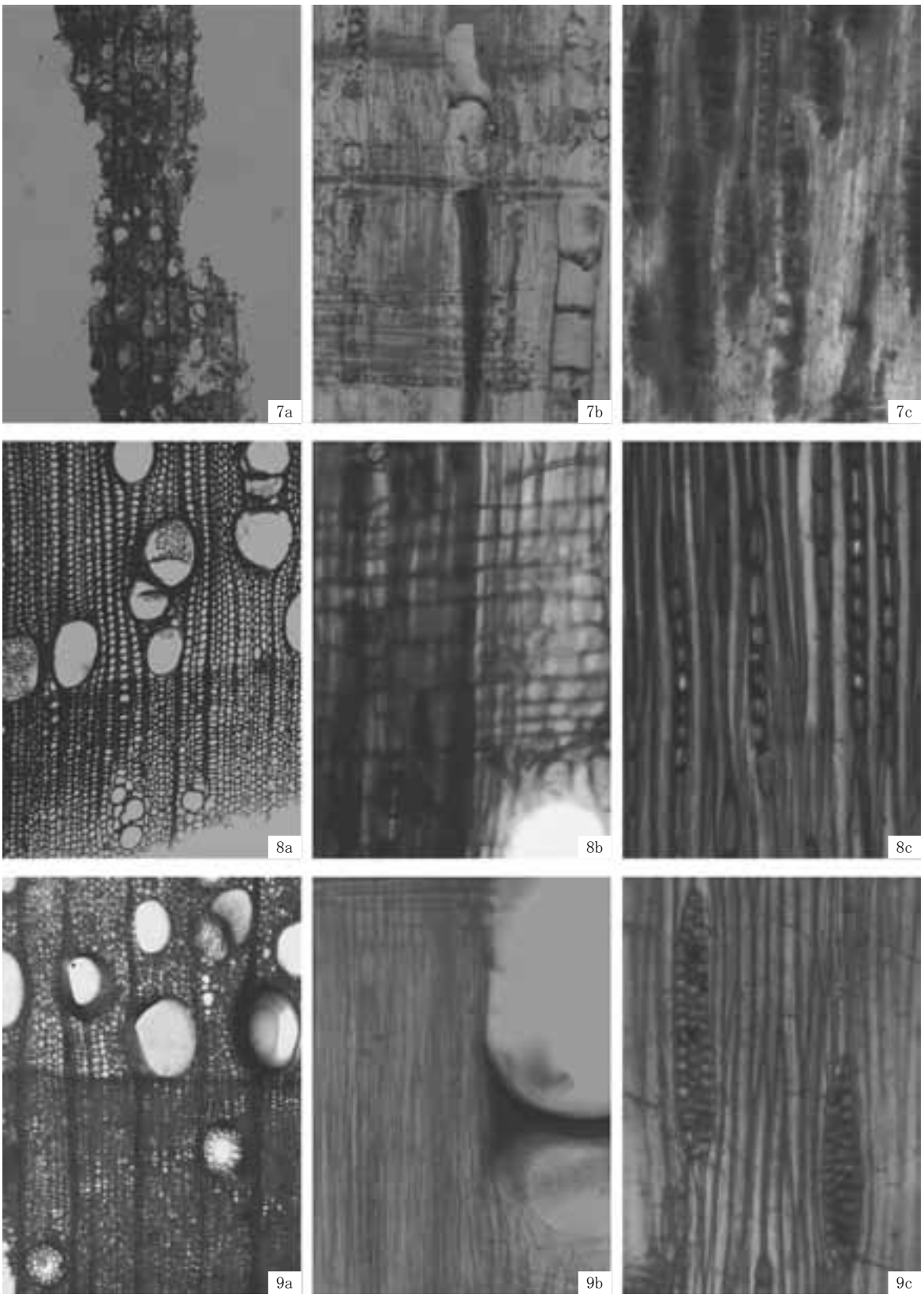
100μm:3a
100μm:1-2a,3b,c
100μm:1-2b,c

第131図　樹種同定　木材（１）



4. クリ(No.1)
5. エノキ属(No.78)
6. ケヤキ(No.233)
a:木口,b:柾目,c:板目

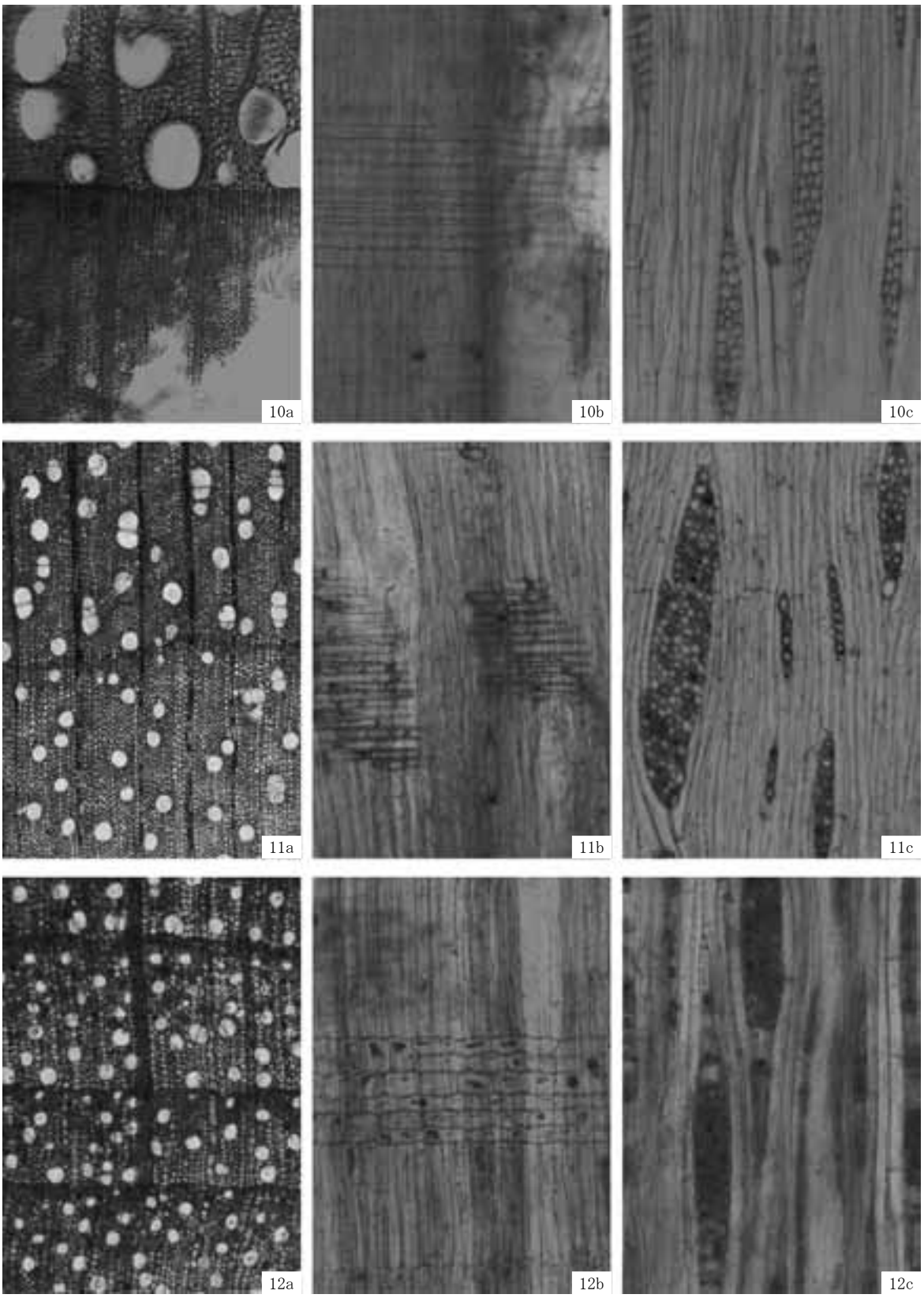
第132図　樹種同定　木材（２）



7. イスノキ(No.573)
8. アカメガシワ(No.32)
9. キハダ(No.84)
a:木口,b:柾目,c:板目

100μm:a
100μm:b,c

第133図　樹種同定　木材（３）



10. ヌルデ(No.35)
11. カエデ属(No.122)
12. ガマズミ属(No.20)
a:木口, b:柾目, c:板目

第134図　樹種同定　木材（４）

2　住吉遺跡における遺構内堆積物の分析

一般社団法人　文化財科学研究センター

1　はじめに

遺構の堆積物の遺体群集や性状を調べることによって，堆積環境や周辺の植生，利用植物，堆積物の生成の由来などが推定復原できる。便所遺構等では，寄生虫卵密度，花粉群集組成，種実群集組成において特異性を示し，その遺体群集から食べた食物を直接的に探ることができる。ここでは県営ほ場整備事業に伴い調査が行われた住吉遺跡における土坑内堆積物の寄生虫卵分析，花粉分析，種実同定と参考に珪藻分析を行い，検討を加える。

2　試料

分析試料は，６号土坑より採取された試料４点である。１層（№①）は，灰色粘質シルトで，未分解植物を少量含み，細砂が斑状に多量に含まれる。２層（№②－１，№②－２）は，灰色粘土で，黒色腐植土が帯状に多量に含まれる。３層（№③－１，№③－２）は，黒色腐植土で，ブロック状に細砂が多量に含まれ，未分解植物も多い。

3　寄生虫卵分析

（１）原理

人，動物などに寄生する寄生虫の卵殻は堆積物中に残存しやすい。人が密度高く居住すると周囲の寄生虫卵の汚染度も高くなる。また，トイレ遺構等の糞便の堆積物では寄生虫卵密度が高く，他の堆積物と識別することができ，トイレ遺構を確認することも可能である。さらに，寄生虫特有の生活史や感染経路から食性を探ることもできる。

（２）方法

微化石分析法を基本に，以下のように行う。

１）試料から１㎤を採量
２）0.5％リン酸三ナトリウム（12 水）溶液を加え，15 分間湯煎
３）篩別により大きな砂粒や木片などを除去し，沈澱法を施す
４）25％フッ化水素酸を加え，30 分静置（２・３度混和）
５）水洗後サンプルを２つにわける
６）サンプルの一方にアセトリシス処理を施す
７）両方のサンプルを染色後グリセリンゼリーで封入し，それぞれ標本を作製
８）検鏡はプレパラート作製後，直ちに生物顕微鏡によって 300～1000 倍で行う

以上の物理・化学の各処理間の水洗は，1500rpm，２分間の遠心分離を行った後，上澄みを捨てるという操作を３回繰り返して行う。

（３）結果

１層から３層（№①から№③－２）のいずれの試料からも，寄生虫卵および明らかな消化残渣は，検出されなかった。

（４）寄生虫卵分析から推定される環境

分析の結果，寄生虫卵および明らかな消化残渣も検出されず，当所より寄生虫卵の混入は無かったと考えられ

る。したがって，６号土坑には糞便の堆積は含まれていないとみなされる。

４　花粉分析

（１）原理

花粉分析は，一般に低湿地の堆積物を対象とした比較的広域な植生・環境の復原に応用されており，遺跡調査においては遺構内の堆積物などを対象とした局地的な植生の推定も試みられている。花粉などの植物遺体は，水成堆積物では保存状況が良好であるが，乾燥的な環境下の堆積物では分解されて残存していない場合もある。

（２）方法

アセトリシス処理を施したサンプルの沈渣に石炭酸フクシンを加えて染色し，グリセリンゼリーで封入してプレパラート作製，検鏡・計数を行う。

検鏡は，生物顕微鏡によって 300～1000 倍で行う。花粉の同定は，島倉（1973）および中村（1980）と参照して，所有の現生標本との対比で行う。結果は同定レベルによって，科，亜科，属，亜属，節および種の階級で分類し，複数の分類群にまたがるものはハイフン（－）で結んで示す。イネ属については，中村（1974・1977）を参考にして，現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが，個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。

（３）結果

１）分類群

出現した分類群は，樹木花粉 23，樹木・草本花粉３，草本花粉 21，シダ植物胞子２形態の計 49 である。これらの学名と和名および粒数を表３に示し，花粉数が 200 個以上計数できた試料は，周辺の植生を復元するために花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを第 135 図に示す。なお，200 個未満であっても 100 個以上の試料については傾向をみるため参考に図示し，主要な分類群は顕微鏡写真に示した（第 138 図）。また，寄生虫卵についても観察したが検出されなかった。以下に出現した分類群を記載する。

〔樹木花粉〕

ツガ属，マツ属複維管束亜属，マツ属単維管束亜属，スギ，イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科，ヤナギ属，クルミ属，サワグルミ，ハンノキ属，カバノキ属，ハシバミ属，クマシデ属－アサダ，クリ，シイ属，ブナ属，コナラ属コナラ亜属，コナラ属アカガシ亜属，ニレ属－ケヤキ，アカメガシワ，モチノキ属，トチノキ，トネリコ属，タニウツギ属

〔樹木花粉・草本花粉〕

クワ科－イラクサ科，バラ科，ウコギ科

〔草本花粉〕

ガマ属－ミクリ属，サジオモダカ属，オモダカ属，イネ科，イネ属型，カヤツリグサ科，ミズアオイ属，タデ属サナエタデ節，ソバ属，アカザ科－ヒユ科，ナデシコ科，カラマツソウ属，アブラナ科，ツリフネソウ属，セリ亜科，シソ科，オオバコ属，タンポポ亜科，キク亜科，オナモミ属，ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕

単条溝胞子，三条溝胞子

２）花粉群集の特徴

６号土坑，１層（№①），２層（№②－１，№②－２），３層（№③－１，№③－２）において，下位より花粉構成と花粉組成の変化の特徴を記載する（第 135 図）。

下部の３層（№③－１，№③－２）では，花粉構成，組成ともによく類似しているが，№③－１の方が樹木花粉の占める割合が高い。樹木花粉では，スギ，ハンノキ属の出現率が高く，コナラ属コナラ亜属，クリ，マツ属複維管束亜属が低率に伴われる。草本花粉では，イネ科（イネ属型を含む）を主にヨモギ属，カヤツリグサ科，アカザ科－ヒユ科が出現し，ソバ属が検出される。他に樹木・草本花粉のクワ科－イラクサ科の出現率もやや高い。２層（№②－１，№②－２）では，№②－２で草本花粉が 64％を占め，３層よりスギ，ハンノキ属，コナラ属コナラ亜属が減少する。草本花粉の，イネ科（イネ属型を含む）が増加し，アカザ科－ヒユ科，カヤツリグサ科が微増する。№②－１では，樹木花粉と樹木・草本花粉の占める割合がやや増加し，ハンノキ属，クワ科－イラクサ科が増加する。３層より継続してソバ属が検出される。

１層（№①）では，樹木花粉より草本花粉の占める割合が高く，イネ科（イネ属型を含む）の出現率が高く，ヨモギ属，カヤツリグサ科，アカザ科－ヒユ科，アブラナ科が伴われる。樹木花粉では，スギ，ハンノキ属の出現率がやや高く，マツ属複維管束亜属，クリ，ヤナギ属，コナラ属コナラ亜属が伴われる。

（４）花粉分析から推定される植生と環境

分析の結果，１層から３層まで花粉構成，組成ともに大きな変化は認められない。イネ科にはイネ属型が伴われ，カヤツリグサ科，オモダカ属，サジオモダカ属，ミズアオイ属などの水田雑草も出現し，周囲に水田の分布が示唆される。また，栽培植物のソバ属が耕地雑草であるアカザ科－ヒユ科などと共に検出され，畑作も行われたとみなされる。堆積地周囲では，水田や畑などの耕作地が分布し，イネ科の雑草，ヨモギ属，カラムシやカナムグラなどのクワ科－イラクサ科の雑草が生育する。周辺には，コナラ属コナラ亜属，クリなどの落葉広葉樹が生育し，比較的出現率の高いハンノキ属やスギは，近隣に生育し，ハンノキ属の河辺林や湿地林，スギ林が分布していた。

５　種実同定

（１）原理

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く，堆積物中に残存する。堆積物から種実を検出しその群集の構成や組成を調べることで，過去の植生や群落の構成要素を明らかにし古環境の推定を行うことが可能である。また出土した単体試料等を同定し，栽培植物や固有の植生環境を調べることができる。

（２）方法

試料（堆積物）に以下の物理処理を施して，抽出および同定を行う。

１）試料 200㎤に水を加え放置し，泥化

２）攪拌した後，沈んだ砂礫を除去しつつ，0.25㎜の篩で水洗選別

３）残渣を双眼実体顕微鏡下で観察し，種実の同定計数

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い，結果は同定レベルによって科，属，種の階級で示す。

（３）結果

１）分類群

樹木１，草本 19 の計 20 分類群が同定される。学名，和名および粒数を表４に示して，主要な分類群を写真に示す（第 139 図）。200㎤中の種実数をダイアグラムに示す（第 136 図）。以下に同定根拠となる形態的特徴，写真に示したもののサイズを記載する。

〔樹木〕

ヤマグワ　*Morus australis* Poir.　種子　クワ科　長さ×幅：1.96㎜×1.58㎜

茶褐色で広倒卵形を呈し，基部に突起がある。表面はやや粗い。

〔草本〕

ヘラオモダカ　*Alisma canaliculatum* A. Br. et Bouche　果実　オモダカ科　長さ×幅：2.26㎜×1.58㎜

黄褐色で倒卵形を呈す。背部には縦方向に１本の深い溝がある。

イネ　*Oryza sativa* L.　穎（破片）・炭化果実（完形・破片）　イネ科

穎は茶褐色で扁平楕円形を呈し，下端に枝梗が残る。表面には微細な顆粒状突起がある。完形のものは無く，炭化した個体，未炭化個体が確認できる。

果実は全て炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し，胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。

エノコログサ属　*Setaria*　穎　イネ科

穎は茶褐色で楕円形を呈す。表面には横方向の微細な隆起がある。

イヌビエ属　*Echinochloa*　穎　イネ科

茶褐色で楕円形を呈す。表面には微細な縦方向の模様がある。

イネ科　*Gramineae*　穎（破片）

穎は灰褐色～茶褐色で楕円形を呈す。腹面はやや平ら。背面は丸い。表面は滑らかである。

カヤツリグサ科　*Cyperaceae*　果実

茶褐色でやや狭い倒卵形を呈す。断面は両凸レンズ形である。

茶褐色で倒卵形を呈す。断面は三角形である。

イグサ科　*Juncaceae*　種子

半透明の黄褐色ないし茶褐色，ゆがんだ卵形を呈す。両端は尖り，黒褐色。表面には網目模様がある。

イボクサ　*Aneilema Keisak* Hassk.　種子　ツユクサ科

黒褐色～黒色で楕円形を呈す。腹部に一文字状のへそがあり，側面にくぼんだ発芽孔がある。

アサ　*Cannabis sativa* L.　種子（破片）　クワ科

茶褐色で広卵形を呈す。一端には円形のへそ部がある。

タデ属　*Polygonum*　果実　タデ科

黒灰色で頂端の尖る卵形を呈す。断面は両凸レンズ状で，表面には微細な網目模様がある。

黒褐色で頂端の尖る広卵形を呈す。断面は三角形，表面には光沢がある。

タデ属サナエタデ節　*Polygonum* sect. *Persicaria*　果実　タデ科

黒褐色で頂端が尖る広卵形を呈す。表面は滑らかで光沢があり，断面は扁平で中央がややくぼむ。

アカザ属　*Chenopodium*　種子　アカザ科

黒色で光沢がある。円形を呈し，片面の中央から周縁まで浅い溝が走る。

ザクロソウ　*Mollugo pentaphylla* L.　種子　ザクロソウ科

黒色でやや光沢がある。円形を呈し，一ヶ所が切れ込み，白い種柄がある。表面には微細な網状斑紋がある。

ナデシコ科　*Caryophyllaceae*　種子

黒色で円形を呈し，側面にへそがある。表面全体に突起がある。

キジムシロ属　*Potentill*　種子　バラ科

黄褐色で腎臓形を呈す。表面はやや粗い。

オトギリソウ属　*Hypericum*　種子　オトギリソウ科

暗褐色で円柱状長楕円形を呈す。表面に不明瞭な網目模様が発達。

アブラナ科　*Cruciferae*　種子

茶褐色で楕円形を呈し，下端にへそがある。表面には長方形の網目がある。

シソ属　*Perilla*　果実　シソ科

茶褐色で球形を呈し，下端にへそがある。表面には大きい網目模様がある。

ウリ類　*Cucumis melo* L.　種子　ウリ科

淡褐色～黄褐色で長楕円形を呈し，上端は「ハ」字状にくぼむ。

２）種実群集の特徴

６号土坑の１層から３層において出現した種実群集を記載する。

①１層

樹木種実のヤマグワ２，草本種実のイネ穎３，炭化果実１，タデ属２が検出された。

②２層

樹木種実のヤマグワ８，草本種実のイネ穎 20，炭化果実１，エノコログサ属１，イヌビエ属１，イネ科穎１，カヤツリグサ科４，イグサ科２，アサ２，タデ属８，アカザ属 37，ナデシコ科 14，キジムシロ属２，オトギリソウ属１，アブラナ科１，シソ属４，ウリ類１が検出された。

③３層

樹木種実のヤマグワ 20，草本種実のヘラオモダカ３，イネ穎 67，炭化果実３，エノコログサ属１，イヌビエ属４，イネ科穎４，カヤツリグサ科６，イグサ科２，イボクサ１，タデ属２，タデ属サナエタデ節２，アカザ属 35，ナデシコ科 10，キジムシロ属１，アブラナ科１が検出された。

（４）種実同定から推定される植生と環境および農耕

６号土坑の１層から３層において出現した種実群集から，植生と環境および農耕の復原を行う。

①１層

種実は少なく，樹木種実のヤマグワ，草本種実のイネ，タデ属が検出される。イネは栽培植物で食用である。

②２層

イネ，アカザ属が多く，ナデシコ科などが続く。イネは穎が多く，下部の３層の様相からも脱穀した残滓が投棄されたものとみなされる。他に栽培植物ではアサ，ウリ類が検出され，シソ属も食用になる。アカザ属，ナデシコ科，タデ属，キジムシロ属，オトギリソウ属，アブラナ科は集落域や畑作およびその周辺の雑草であり，これらが多いことから周囲には陽当たりの良い乾燥地が分布していた。エノコログサ属，イヌビエ属，イネ科は，乾燥と湿潤な環境の双方を含む。カヤツリグサ科，イグサ科は水生植物であり湿地から浅い水域に生育し，土坑内に分布していたことが考えられる。

③３層

イネ穎が極めて多く，アカザ属，ナデシコ科，タデ属，キジムシロ属，アブラナ科も多く，周囲にはこれらの草本が生育する陽当たりの良い乾燥地が分布していた。ヘラオモダカ，カヤツリグサ科，タデ属サナエタデ節，イグサ科，イボクサは水生植物であり，土抗内に分布していた。

６　珪藻分析

（１）はじめに

珪藻は，珪酸質の被殻を有する単細胞植物であり，海水域や淡水域などの水域をはじめ，湿った土壌，岩石，コケの表面にまで生息している。珪藻の各分類群は，塩分濃度，酸性度，流水性などの環境要因に応じて，それ

ぞれ特定の生息場所を持っている。珪藻化石群集の組成は，当時の堆積環境を反映しており，水域を主とする古環境復原の指標として利用されている。

（２）方法

以下の手順で，珪藻の抽出と同定を行った。

１）試料から１㎤を採量

２）10％過酸化水素水を加え，加温反応させながら一晩放置

３）上澄みを捨て，細粒のコロイドを水洗（５～６回）

４）残渣をマイクロピペットでカバーグラスに滴下して乾燥

５）マウントメディアによって封入し，プレパラート作製

６）検鏡，計数

検鏡は，生物顕微鏡によって 600～1500 倍で行った。計数は珪藻被殻が 200 個体以上になるまで行い，少ない試料についてはプレパラート全面について精査を行った。

（３）結果

１）分類群

試料から出現した珪藻は，真塩性種（海水生種）１分類群，貧塩性種（淡水生種）76 分類群である。破片の計数は，基本的に中心域を有するものと，中心域がない種については両端２個につき１個と数えた。分析結果を表５に示し，珪藻総数を基数とする百分率を算定した珪藻ダイアグラムを第 137 図に示す。珪藻ダイアグラムにおける珪藻の生態性は Lowe（1974）の記載により，陸生珪藻は小杉（1986）により，環境指標種群は海水生種から汽水生種は小杉（1988）により，淡水生種は安藤（1990）による。また，主要な分類群について顕微鏡写真を示した。以下にダイアグラムで表記した主要な分類群を記載する。

〔貧塩性種〕

Achnanthes lanceolata, *Achnanthes minutissima*, *Amphora montana*, *Caloneis bacillum*, *Cocconeis placentula*, *Cymbella silesiaca*, *Cymbella sinuata*, *Diatoma mesodon*, *Eunotia minor*, *Fragilaria capucina*, *Gomphonema clevei*, *Gomphonema minutum*, *Gomphonema parvulum*, *Gomphonema* spp., *Hantzschia amphioxys*, *Navicula contenta*, *Navicula elginensis*, *Navicula kotschyi*, *Navicula mutica*, *Navicula pseudoacceptata*, *Navicula veneta*, *Navicula* spp., *Neidium alpinum*, *Nitzschia nana*, *Nitzschia palea*, *Nitzschia* spp., *Pinnularia appendiculata*, *Pinnularia lagerstedtii*, *Pinnularia obscura*, *Pinnularia schoenfelderi*, *Pinnularia subcapitata*, *Surirella angusta*

２）珪藻群集の特徴

６号土坑の１層（№①），２層（№②－１，№②－２），３層（№③－１，№③－２）において，下位より珪藻構成と珪藻組成の変化の特徴を記載する（第 137 図）。

３層（№③－１，№③－２）においては，№③－２で陸生珪藻が 66％を占め，*Pinnularia schoenfelderi* を主に *Amphora montana*, *Navicula contenta*, *Hantzschia amphioxys*, *Achnanthes minutissima*, *Pinnularia subcapitata*, *Pinnularia appendiculata* の出現率がやや高い。他に流水不定性種の *Cymbella silesiaca*, *Gomphonema minutum*，好流水性種の *Gomphonema parvulum* が低率に出現する。№③－１では，陸生珪藻が 42％で，*Achnanthes minutissima* の出現率が高く，好流水性種の *Gomphonema parvulum*，中～下流性河川種の *Achnanthes lanceolata*，流水不定性種の *Fragilaria capucina* が増加する。２層（№②－１，№②－２）では，№②－２の方が陸生珪藻の占める割合が高く，58％を占め，№②－１では，41％を占める。また，№②－１の方が真・好流水性種の占める割合が 24％，№②－２は 14％を占める。これは，３層（№③－１，№③－２）と優

占する組成，構成と同じ傾向である。№②－２は，陸生珪藻の*Achnanthes minutissima, Navicula contenta, Navicula mutica, Pinnularia schoenfelderi, Hantzschia amphioxys, Pinnularia appendiculata, Pinnularia subcapitata* が出現する。他に好流水性種の*Gomphonema parvulum*，沼沢湿地付着生種の*Cocconeis placentula, Eunotia minor*，流水不定性種の*Fragilaria capucina, Navicula veneta, Nitzschia palea* など，多様に出現する。№②－１では，中～下流性河川種の*Achnanthes lanceolata, Cymbella sinuata* が増加する。１層（№①）は，№②－１と極めて類似した出現傾向を示す。

３）珪藻分析から推定される堆積環境

いずれの試料も陸生珪藻が多く，湿った程度の環境に適応する種で，流水不定性種も出現することから，６号土坑は常時滞水した環境ではなかったが，基本的には湿った環境から不安定な浅い水域の環境であったと推定される。中～下流性河川種が出現することから，河川の流水の影響を受けることもあった。

７　考察とまとめ

（１）遺構堆積物の性状と生成環境，遺構の性格

分析の結果，６号土坑の１層から３層まで寄生虫卵および明らかな消化残渣は検出されなかった。花粉分析では，イネ科（イネ属型を含む）が優占し，クワ科－イラクサ科の草本，ヨモギ属，カヤツリグサ科が比較的多く，特に食性を反映する特定の分類群も認められず，周囲に生育する植物に由来し植生を示すとみなされる。種実同定においても食用になるのは，ヤマグワ，イネ，アサ，ウリ類，シソ属であるが，イネ穎を除けば量的には少ない。２層，３層からはイネ穎の破片，細片が多数検出され，炭化，未炭化の個体が確認できる。また，珪藻は陸生珪藻が多く，他は多様で，流水域の影響のある湿った環境から不安定な浅い水域の環境が示唆された。以上から，本土坑は下部３層から２層にかけてイネ籾が投棄され，１層は種実が少ないことから，堆積速度が速く，埋められた可能性があり，イネ籾が投棄されている。

（２）周囲の植生および環境

周囲には，イネ科，アカザ科－ヒユ科（種実からアカザ属）やナデシコ科を中心にキジムシロ属，オトギリソウ属，アブラナ科などの乾燥を好む雑草が分布し，集落域ないし畑の環境が分布していたとみられる。また，周辺には水田も分布していた。ヤマグワは，集落域などの人為環境の二次植生に多く，堆積地の周囲に生育していたと考えられる。イネ以外の栽培植物はアサ，ウリ類が少量であり，利用された残滓と考えられる。近隣の森林植生としては，スギ林が分布し，河辺など湿潤なところにハンノキ属が分布し，人為干渉の著しいところにはコナラ属コナラ亜属，クリなどの落葉広葉樹が生育していたと考えられる。

８　種実同定（水洗選別済み試料）

（１）はじめに

植物の種子や果実は比較的強靭なものが多く，堆積物中に残存する。堆積物から種実を検出しその群集の構成や組成を調べ，過去の植生や群落の構成要素を明らかにし古環境の推定を行うことが可能である。また出土した単体試料等を同定し，栽培植物や固有の植生環境を調べることができる。

（２）試料

各グリットに分けられた試料で，水洗選別されている。遺構名６号井戸４層，10 号井戸 13 層，６号土坑２・３層，25 号土坑１・２層，30 号土坑２層，62 号土坑２層，1A 号溝４層，10 号溝，11 号溝，41 号溝，１号流路 11・13 層，P1，P4，遺物包含層Ⅶc 層より出土した種実，１式である。当遺跡の時代は中世（鎌倉時代から室町

時代）である。

（３）方法

試料を肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し，形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行う。結果は同定レベルによって科，属，種の階級で示す。

（４）結果

１）分類群

樹木３，草本１の計４分類群が同定される。学名，和名および粒数を表６に示し，主要な分類群を写真に示す(第 140 図)。以下に同定根拠となる形態的特徴，写真に示したもののサイズを記載する。

〔樹木〕

オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. 核（半形） クルミ科 長さ×幅：32.34㎜×25.84㎜，32.74㎜×29.98㎜，30.95㎜×25.67㎜

茶褐色で円形～楕円形を呈し，一端がとがる。側面には縦に走る一本の縫合線がめぐる。表面全体に不規則な隆起がある。

モモ *Prunus persica* Batsch 核（完形・破片） バラ科 長さ×幅：31.64㎜×19.04㎜，34.64㎜×21.51㎜，36.31㎜×21.33㎜

黄褐色～黒褐色で楕円形を呈し，側面に縫合線が発達する。表面にはモモ特有の隆起がある。

トチノキ *Aesculus turbinata* Blume 種子（完形・破片） トチノキ科 長さ×幅：31.17㎜×31.83㎜，30.42㎜×30.75㎜，28.52㎜×32.24㎜

楕円形を呈し，黒色と茶褐色の部分とに分かれ，黒色の部分に光沢がある。

〔草本〕

キカラスウリ *Trichosanthes kirilowii* Maxim. var. japonica Kitam 種子（完形・破片） ウリ科 長さ×幅：15.32㎜×9.33㎜，14.51㎜×9.87㎜，13.90㎜×10.48㎜

淡褐色で扁平楕円形を呈す。中央部がやや膨らみ，周辺はざらつく。

２）種実群集の特徴

１．６号井戸４層

樹木種実のトチノキ１が同定された。

２．10 号井戸 13 層

樹木種実のモモ半形１が同定された。

３．６号土坑２層・３層

２層から草本種実のキカラスウリ 19，破片９，３層から樹木種実のモモ１が同定された。

４．25 号土坑１層・２層

１層，２層から樹木種実のモモが各１ずつ，計２が同定された。

５．30 号土坑２層

樹木種実のモモ１が同定された。

６．62 号土坑２層

樹木種実のモモ１，破片２が同定された。

７．1A 号溝４層

樹木種実のモモ１が同定された。

８．10 号溝

樹木種実のトチノキ３，破片５が同定された。

９．11 号溝

樹木種実のモモ１，樹木種実のオニグルミ半形１が同定された。

10．41 号溝

樹木種実のモモ１，破片１が同定された。

11．１号流路 11 層・13 層

11 層，13 層から樹木種実のモモが各１ずつ，計２が同定された。

12．P1

樹木種実のオニグルミ１が同定された。

13．P4

樹木種実のモモ１が同定された。

14．遺物包含層Ⅶc 層

樹木種実のモモ３が同定された。

９　動物遺存体同定

（１）はじめに

一般に日本の国土は，火山灰性の酸性土壌に広く覆われ，高温多湿というモンスーン気候ともあいまって動物遺存体の保存状態には恵まれていない。そのため，ほとんどの乾燥地遺跡では動物や植物性の遺物は分解されて残らず，遺跡で動物遺存体が出土するのは，貝塚，石灰岩地帯の洞穴や岩陰が代表的で，近年では湿地環境の遺跡や遺構からも多くの動物遺存体が報告されつつある。本遺跡のように乾燥した沖積平野の遺跡では，ほとんどの動物遺存体が腐食し，土に還ってしまっているが，例外的に消失を免れ，発掘で取りあげられるものもある。そうした断片的な資料を集積することによって，その遺跡を残した人々の動物利用，食生活などを解明する手掛かりとすることができ，ひいては当時の自然環境や人間の適応の歴史を明らかにすることができる。

（２）試料

分析試料は，住吉遺跡の平成 24・25 年度の発掘調査で出土したものであり，12 世紀から 14 世紀の集落跡で検出された土坑，小ピット，溝から出土した骨片４点である。

（３）方法

試料を肉眼で観察し，試料の形態の特徴を現生標本との比較によって同定した。

（４）結果

同定した学名，和名および部位を示し，主要な分類を写真に示す（第 141 図）。また，同定の結果を調査地点別に報告する。

１）分類群

種名

アジ科　Carangiae

ブリ属の一種　*Seriola* sp.

２）動物遺存体の特徴

・８号土坑２層

出土した骨片は微細であり，鑑別点が認められず同定には至らなかった。骨片は被熱して白色を呈する。

・35 号土坑２層

魚類の棘１点が出土した。試料は被熱して白色を呈する。

・39 号溝

ブリ属（*Seriola* sp.）の歯骨（右）１点が出土した。試料は被熱して白色を呈する。

・P22

魚類の椎骨２点が出土した。試料は被熱して白色を呈する。なお，２点の破片は接合する可能性がある。

10　考察とまとめ

住吉遺跡の土坑，流路，溝，P1，P4，遺構包含層より出土した種実は全て大型種実で，土坑からは樹木のオニグルミ，モモ，トチノキ，草本のキカラスウリが同定され，流路からはモモが同定され，溝からは樹木のオニグルミ，モモ，トチノキが同定された。その他の P1，P4 からは樹木のオニグルミ，モモが同定され，遺物包含層からはモモが同定された。一番多く同定された草本のキカラスウリは蔓性の多年草で集落域や畑周辺の雑草で有用植物としても利用できる。次に栽培植物のモモが多く，トチノキ，オニグルミと続き，いずれも食用になる。モモは稲作と共に伝来し，以降，多くの遺跡から出土し，特に弥生時代から古墳時代にかけて多くなる。トチノキ，オニグルミは温帯を中心に広く分布し，谷沿いの湿潤地を好み，ともに食用となる。以上のことから，住吉遺跡出土の種実類は，栽培植物のモモ，樹木のオニグルミ，トチノキ，草本のキカラスウリであり，食用になるものおよび有用植物で人との関わりの深い種実類ばかりが同定された。

出土した動物遺存体は，魚類と不明骨であった。骨片は全て被熱して白色を呈する。動物骨は，長時間高温に晒されることで白色に変化するため，調理中の被熱ではない。食用となった後，竈や炉などの火中に投棄されたために変色したのであろう。同定したブリ属は食用魚として扱われ，沿岸表層を群れで回遊しており，現代では網漁で漁獲するのが一般的である。なお，ブリ属のブリは江戸時代に人見必大によって著された『本朝食鑑』では「当今，丹後の産を上品のものとし，越中の産がこれにつぐ」とあり，古くから日本海側がブリの名産地であったことがわかる。

参考文献

金子清俊・谷口博一（1987）線形動物・扁形動物．医動物学，新版臨床検査講座，8，医歯薬出版，p.9-55.

金原正明・金原正子（1992）花粉分析および寄生虫．藤原京跡の便所遺構－藤原京７条１坊－，奈良国立文化財研究所，p.14-15.

金原正明（1999）寄生虫．考古学と動物学，考古学と自然科学，2，同成社，p.151-158.

中村純（1967）花粉分析．古今書院，p.82-102.

金原正明（1993）花粉分析法による古環境復原．新版古代の日本第10巻古代資料研究の方法，角川書店，p.248-262.

島倉巳三郎（1973）日本植物の花粉形態．大阪市立自然科学博物館収蔵目録第５集，60p.

中村純（1967）花粉分析．古今書院，p.82-102.

中村純（1974）イネ科花粉について，とくにイネ（Oryza sativa）を中心として．第四紀研究，13,p.187-193.

中村純（1977）稲作とイネ花粉．考古学と自然科学，第 10 号，p.21-30.

中村純（1980）日本産花粉の標徴．大阪自然史博物館収蔵目録第 13 集，p.91.

金原正明・金原正子（1993）石棺内の花粉分析および消化管内残渣の分析．斑鳩藤ノ木古墳第二・三次調査報告書，奈良県立橿原考古学研究所，p.18-26.
南木睦彦（1992）低湿地遺跡の種実．月刊考古学ジャーナルNo.355，ニューサイエンス社，p.18-22.
Hustedt,F.(1937-1938) Systematische und ologishe Untersuchungen uber die DiatomeenFlora von Java,Bali und Sumatra nach dem Material der Deutschen Limnologischen Sunda-Expedition. Arch. Hydrobiol,Suppl.15,p.131-506.
Lowe,R.L.(1974) Environmental Requirements and pollution tolerance of fresh-water diatoms. 333p., National Environmental Reserch.Center.
K. Krammer・H.Lange-Bertalot (1986-1991) Bacillariophyceae・1－4.
Asai,K.&,Watanabe,T.(1995) Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relaiting to Organic Water Pollution(2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,p.35-47.
安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復原への応用．東北地理，42，p.73-88.
伊藤良永・堀内誠示（1991）陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用．珪藻学会誌，6，p.23-45.
小杉正人（1986）陸生珪藻による古環境解析とその意義－わが国への導入とその展望－．植生史研究，第1号，植生史研究会，p.29-44.
小杉正人（1988）珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究，27，p.1-20.
渡辺仁治（2005）淡水珪藻生態図鑑　群集解析に基づく汚濁指数DAIpo，pH耐性能．内田老鶴圃，666p.
笠原安夫（1985）日本雑草図説，養賢堂，494p.
笠原安夫（1988）作物および田畑雑草種類．弥生文化の研究第2巻生業，雄山閣　出版，p.131-139.
金原正明（1996）古代モモの形態と品種．月刊考古学ジャーナルNo.409，ニューサイエンス社，p.15-19.
南木睦彦（1991）栽培植物．古墳時代の研究第4巻生産と流通Ⅰ，雄山閣出版株式会社，p.165-174.
南木睦彦（1993）葉・果実・種子．日本第四紀学会編，第四紀試料分析法，東京大学出版会，p.276-283.
魚類文化研究会編，望月賢二監修（2005）図説魚と貝の辞典，柏書房，p.339-341.

表３　遺構内における寄生虫卵・花粉分析結果

分類群		６号土坑				
		１層	２層		３層	
		①	②-1	②-2	③-1	③-2
Helminth eggs	寄生虫卵	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
Stone cell	石細胞	(-)	(-)	(-)	(-)	(+)
Digestion rimeins	明らかな消化残渣	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
学名	和名					
Arboreal pollen	樹木花粉					
Tsuga	ツガ属				1	
Pinus subgen. Diploxylon	マツ属複維管束亜属	12	2	6	11	7
Pinus subgen. Haploxylon	マツ属単維管束亜属				1	
Cryptomeria japonica	スギ	29	31	35	61	68
Taxaceae-Cephalotaxaxeae-Cupressaceae	イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科		1	2	3	1
Salix	ヤナギ属	6	2	3	5	4
Juglans	クルミ属		2		1	2
Pterocarya rhoifolia	サワグルミ			2	2	
Alnus	ハンノキ属	28	44	10	57	50
Betula	カバノキ属			1	1	1
Corylus	ハシバミ属				1	
Carpinus-Ostrya japonica	クマシデ属-アサダ				2	1
Castanea crenata	クリ	12	14	3	6	6
Castanopsis	シイ属	1	1	2	1	1
Fagus	ブナ属		4	1	4	1
Quercus subgen. Lepidobalanus	コナラ属コナラ亜属	7	9	9	26	14
Quercus subgen. Cyclobalanopsis	コナラ属アカガシ亜属	1				3
Ulmus-Zelkova serrata	ニレ属-ケヤキ	2	1	1	1	2
Mallotus japonicus	アカメガシワ				1	
Ilex	モチノキ属		7			1
Aesculus turbinata	トチノキ	2	6	2	7	2
Fraxinus	トネリコ属				2	
Weigela	タニウツギ属				1	
Arboreal・Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉					
Moraceae-Urticaceae	クワ科-イラクサ科	37	76	34	20	49
Rosaceae	バラ科			1	1	
Araliaceae	ウコギ科				1	
Nonarboreal pollen	草本花粉					
Typha-Sparganium	ガマ属-ミクリ属				1	
Alisma	サジオモダカ属	1		1		
Sagittaria	オモダカ属					1
Gramineae	イネ科	104	103	102	67	91
Oryza type	イネ属型	56	69	67	22	30
Cyperaceae	カヤツリグサ科	13	5	19	9	15
Monochoria	ミズアオイ属		1			
Polygonum sect. Persicaria	タデ属サナエタデ節		1	1	2	
Fagopyrum	ソバ属		2	1	1	2
Chenopodiaceae-Amaranthaceae	アカザ科-ヒユ科	7	7	25	4	19
Caryophyllaceae	ナデシコ科	1	1		1	1
Thalictrum	カラマツソウ属		1		1	
Cruciferae	アブラナ科	4	2	8	6	2
Impatiens	ツリフネソウ属		1			
Apioideae	セリ亜科	3	1	2	1	
Labiatae	シソ科				1	
Plantago	オオバコ属		2	1	1	1
Lactucoideae	タンポポ亜科	4		1		1
Asteroideae	キク亜科	2	1	1	1	2
Xanthium	オナモミ属					1
Artemisia	ヨモギ属	30	27	26	23	36
Fern spore	シダ植物胞子					
Monolate type spore	単条溝胞子	22	24	23	20	28
Trilate type spore	三条溝胞子	8	9	8	2	10
Arboreal pollen	樹木花粉	100	124	77	195	164
Arboreal・Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉	37	76	35	22	49
Nonarboreal pollen	草本花粉	225	224	255	141	202
Total pollen	花粉総数	362	424	367	358	415
Pollen frequencies of 1cm³	試料 1cm³中の花粉密度	8.3 $\times10^3$	1.1 $\times10^4$	1.2 $\times10^4$	1.6 $\times10^4$	1.2 $\times10^4$
Unknown pollen	未同定花粉	3	1	2	5	4
Fern spore	シダ植物胞子	30	33	31	22	38
Charcoal・woods fragments	微細炭化物・微細木片	(+)	(+)	(+)	(+)	(++)
微細植物遺体 (Charcoal・woods fragments)	($\times10^5$)					
未分解遺体片		1.3	1.3	0.5	0.9	3.4
分解質遺体片		19.6	26.3	26.3	19.7	41.9
炭化遺体片 (微粒炭)		1.3	4.4	4.7	2.3	9.2

表４　遺構内における種実同定結果

分類群		部位	６号土坑		
学名	和名		１層	２層	３層
Arbor	樹木				
Morus australis Poir.	ヤマグワ	種子	2	8	20
Herb	草本				
Alisma canaliculatum A. Br. et Bouche	ヘラオモダカ	果実			3
Oryza sativa L.	イネ	穎（破片）	3	20	67
		（細片）		(+)	(++)
Oryza sativa L.	イネ	炭化果実	1	1	2
		（破片）			1
Setaria Beauv.	エノコログサ属	穎		1	1
Echinochloa Beauv.	イヌビエ属	穎		1	4
Gramineae	イネ科	穎（破片）		1	4
Cyperaceae	カヤツリグサ科	果実		4	6
Juncaceae	イグサ科	種子		2	2
Aneilema keisak Hassk.	イボクサ	種子			1
Cannabis sativa L.	アサ	種子(破片)		2	
Polygonum	タデ属	果実	2	8	2
Polygonum sect. *Persicaria*	タデ属サナエタデ節	果実			2
Chenopodium	アカザ属	種子		37	35
Caryophyllaceae	ナデシコ科	種子		14	10
Potentilla	キジムシロ属	種子		2	1
Hypericum	オトギリソウ属	種子		1	
Cruciferae	アブラナ科	種子		1	1
Perilla	シソ属	果実		4	
Cucumis melo L.	ウリ類	種子		1	
Total	合計		8	108	162

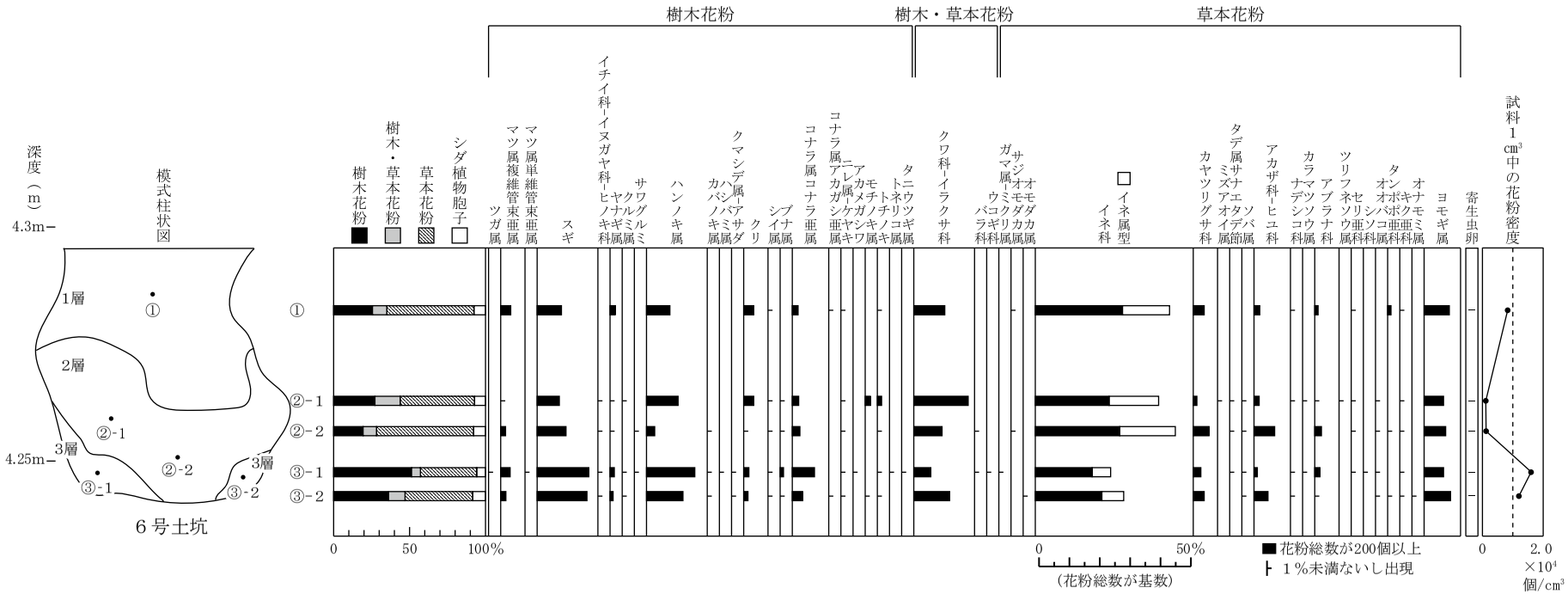
（200㎠中 0.25㎜篩）

表６　種実同定結果

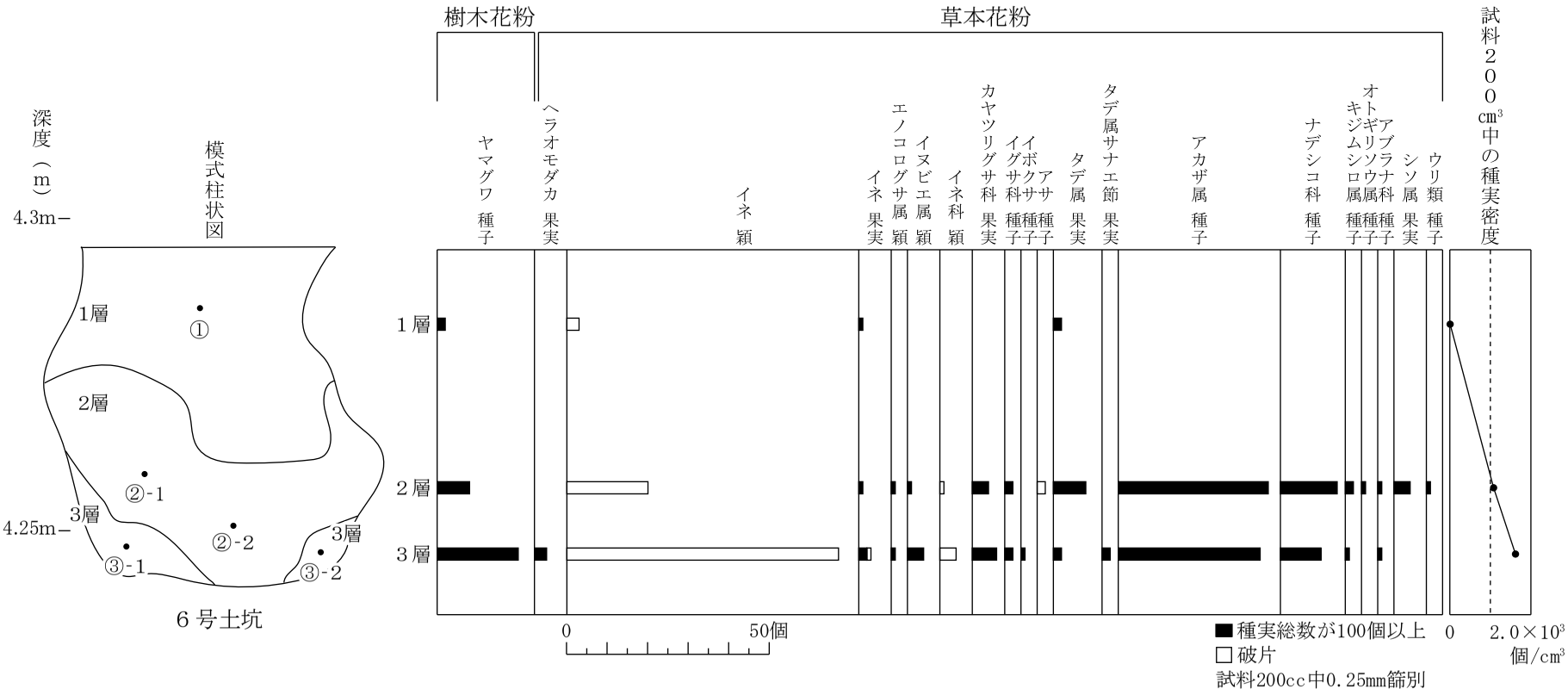
出土遺構			分類群		部位	個数
遺構名	グリッド	出土層位	学名	和名		
６号井戸	Nq5-5	４層	*Aesculus turbinata* Blume	トチノキ	種子	1
10号井戸	Or3-2	13層	*Juglans ailanthifolia* Carr	オニグルミ	核（半形）	1
６号土坑	Ks5-4	３層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
６号土坑	Ks5-4	２層	*Trichosanthes kirilowii* Maxim. var. *japonica* Kitam	キカラスウリ	種子	1
					（破片）	1
６号土坑	Ks5-4	２層	*Trichosanthes kirilowii* Maxim. var. japonica Kitam	キカラスウリ	種子	18
					（破片）	8
25号土坑	Pq5-2	１層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
25号土坑	Pq5-2	２層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
30号土坑	Oq2-3	２層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
62号土坑	Qs2-4	２層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
					（破片）	2
1A号溝	Ms2-3	４層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
10号溝	Nt5-1	—	*Aesculus turbinata* Blume	トチノキ	種子	2
					（破片）	1
10号溝	Ns4-5	—	*Aesculus turbinata* Blume	トチノキ	種子	1
					（破片）	4
11号溝	Op2-3	—	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
11号溝	Nr3-5	—	*Juglans ailanthifolia* Carr	オニグルミ	核（半形）	1
41号溝	Op3-2	—	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
					（破片）	1
１号流路	St2-1	11層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
１号流路	St2-1	13層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
P1	Mp5-4	—	*Juglans ailanthifolia* Carr	オニグルミ	核	1
P3	Rt3-1	—	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	1
遺物包含層	Op2-2	Ⅶc層	*Prunus persica* Batsch	モモ	核	3

表５　遺構内における珪藻分析結果

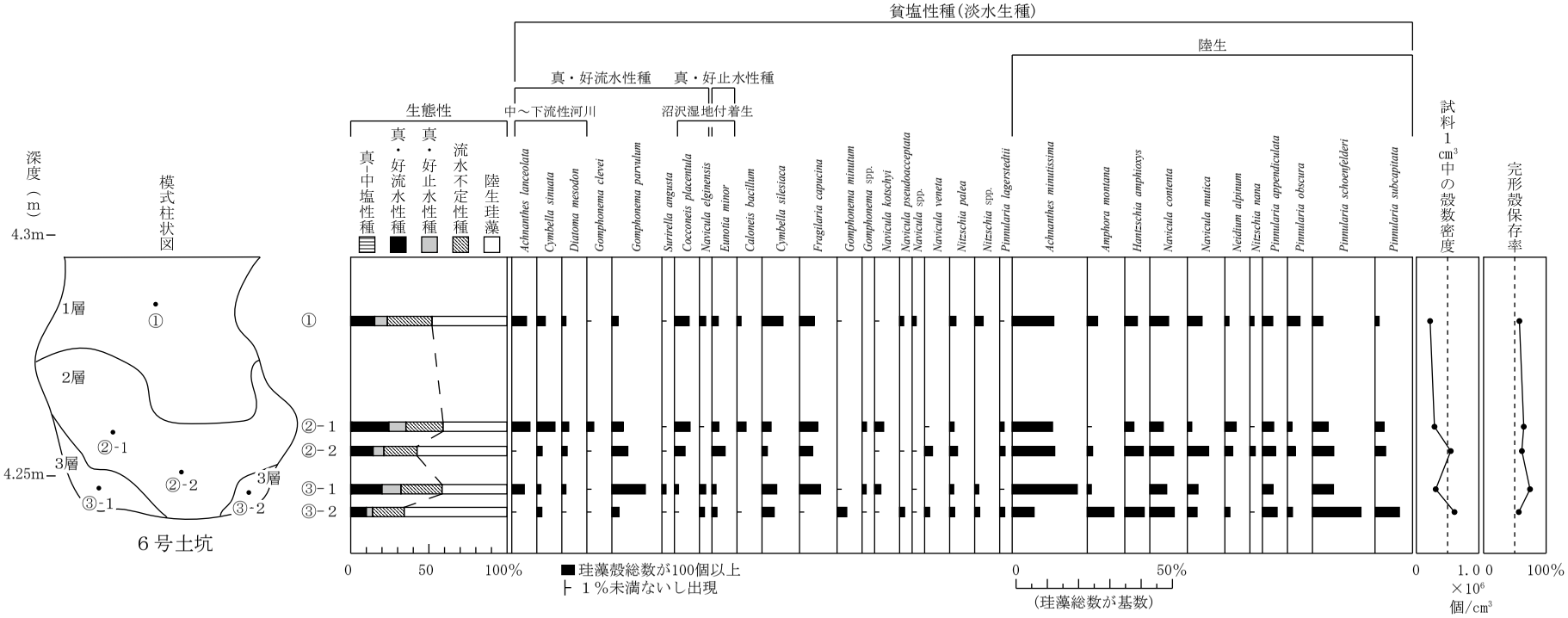
分類群	６号土坑				
	１層	２層		３層	
	①	②-1	②-2	③-1	③-2
貧塩性種（淡水生種）					
Achnanthes crenulata	1			1	1
Achnanthes exigua	1				
Achnanthes lanceolata	7	8	1	6	1
Achnanthes minutissima	20	18	16	31	9
Amphora montana	5	1	2	2	11
Caloneis bacillum	2	4			1
Cocconeis disculus			1		
Cocconeis placentula	7	7	4	2	1
Cymbella gracilis				2	
Cymbella minuta	1	2			
Cymbella silesiaca	10	4	2	7	5
Cymbella sinuata	4	8	2	2	2
Cymbella tumida		1			
Cymbella turgidula	1	1		1	1
Diatoma mesodon	2	3	2	2	1
Diatomella balfouriana		1	1		
Diploneis elliptica		1			
Diploneis ovalis				1	
Diploneis spp.			1		
Eunotia arcus				1	
Eunotia bilunaris				2	
Eunotia minor	3	3	5	2	2
Eunotia praerupta		1			
Fragilaria brevistriata	1				
Fragilaria capucina	7	8	5	10	1
Fragilaria construens v. *venter*		1			1
Fragilaria exigua			1	1	1
Frustulia vulgaris				1	
Gomphonema angustatum	1			1	
Gomphonema angustum			1		
Gomphonema clevei	1	3	1	1	1
Gomphonema gracile		2		1	
Gomphonema minutum	1			1	4
Gomphonema parvulum	3	5	6	16	3
Gomphonema sphaerophorum			1	1	
Gomphonema spp.		2		2	1
Gyrosigma spp.	1	1			
Hantzschia amphioxys	6	4	7		8
Meridion circulare v. *constrictum*		1	1		1
Navicula capitata		1			
Navicula cohnii	1				
Navicula confervacea					1
Navicula contenta	9	6	9	8	10
Navicula cryptotenella		1		1	1
Navicula elginensis	3	1		3	2
Navicula gallica	2				
Navicula goeppertiana	2			1	
Navicula ignota		1		1	1
Navicula kotschyi	1	4	1	3	1
Navicula laevissima		1			
Navicula mutica	7	2	8	5	4
Navicula pseudoacceptata	2		1		2
Navicula pupula			1		
Navicula veneta		1	3		2
Navicula spp.	2		1	1	1
Neidium alpinum	2	5	3		2
Nitzschia amphibia	1				
Nitzschia capitellata	1			1	
Nitzschia clausii	1	1			
Nitzschia debilis	1				
Nitzschia nana	2	1	2		1
Nitzschia palea	3	2	3	2	2
Nitzschia spp.	4			2	2
Pinnularia aestuarii			1		
Pinnularia appendiculata	5	5	5	5	6
Pinnularia borealis			1		
Pinnularia interrupta				2	
Pinnularia lagerstedtii	1	2	2	1	2
Pinnularia obscura	6	2	3		2
Pinnularia schoenfelderi	5	7	8	10	20
Pinnularia subcapitata	2	4	4		10
Pinnularia viridis			1	1	
Rhopalodia gibberula	1				
Stauroneis phoenicenteron				1	
Surirella angusta	1	1	1	2	1
Synedra ulna				1	
真塩性種（海水生種）					
Thalassionema nitzschioides		1		1	
合　計	150	139	118	149	129
未同定	5	4	3	3	3
破片	114	79	75	52	102
試料１㎤中の殻数密度	2.2 $\times 10^5$	2.9 $\times 10^5$	5.5 $\times 10^5$	3.1 $\times 10^5$	6.1 $\times 10^5$
完形殻保存率（%）	57.6	64.4	61.7	74.5	56.4



第135図　遺構内における花粉ダイアグラム



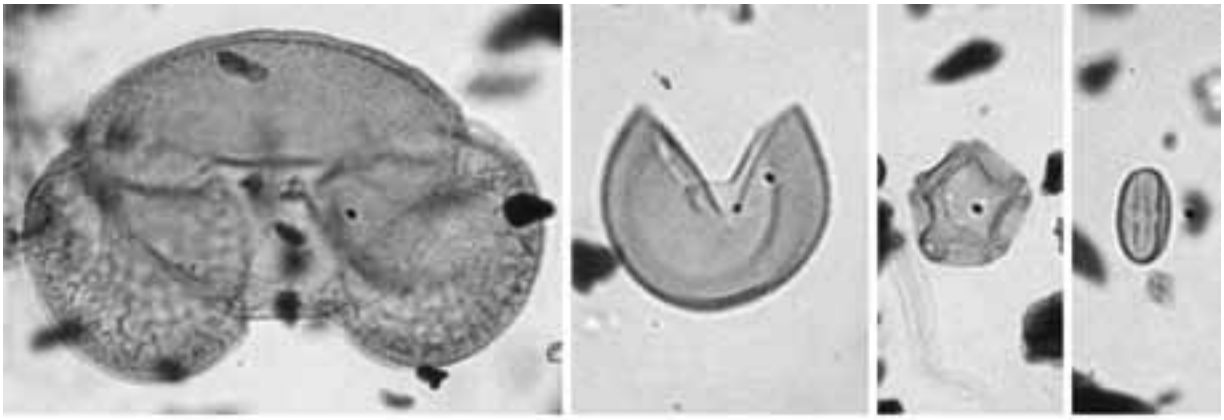
第136図　遺構内における種実ダイアグラム



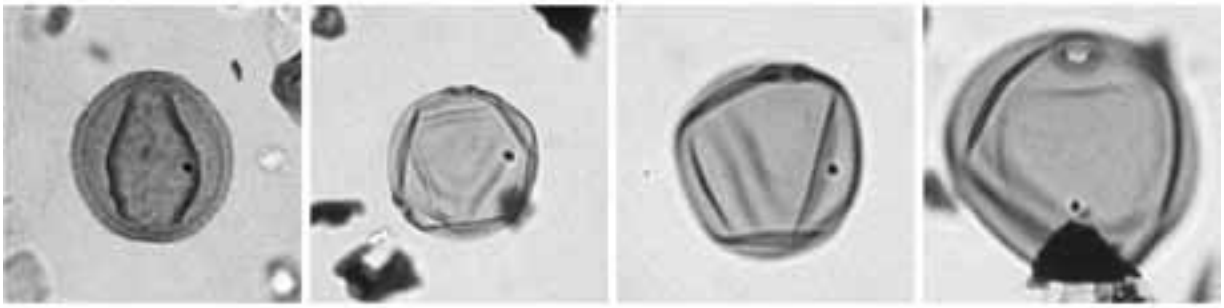
第137図　遺構内における主要珪藻ダイアグラム

・６号土坑

※()内は、検出箇所

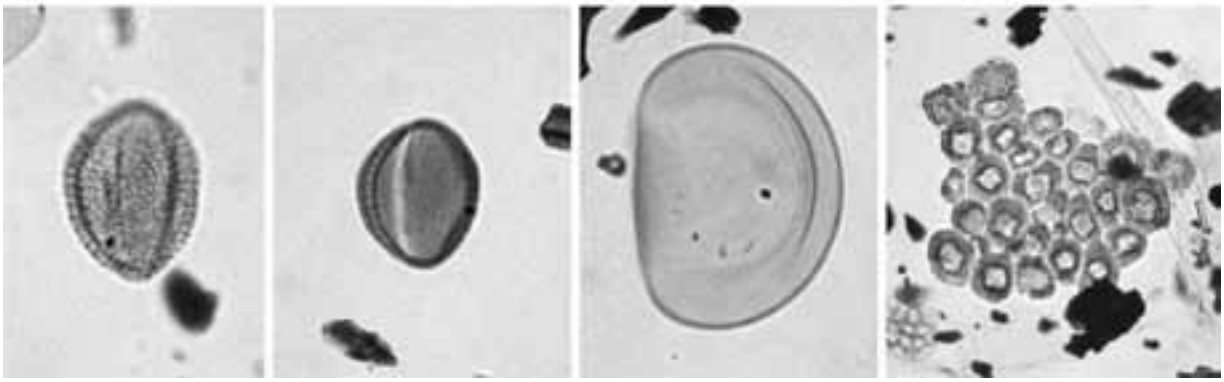


1　マツ属複維管束亜属(3層-1)　2　スギ(3層-1)　3　ハンノキ属(3層-2)　4　クリ(2層-1)



5　コナラ属コナラ亜属(3層-1)　6　クワ科-イラクサ科(3層-2)　7　イネ科(3層-1)　8　イネ属型(3層-2)

9　カヤツリグサ科(3層-1)　10　ミズアオイ属(2層-1)　11　ソバ属(2層-2)　12　アカザ科-ヒユ科(3層-1)



13　アブラナ科(3層-1)　14　ヨモギ属(3層-2)　15　シダ植物単条溝胞子(3層-2)　16　石細胞(3層-2)

1-15 ━━ 10μm、16 ━ 10μm

第138図　遺構内の花粉・胞子

・６号土坑

※()内は、検出箇所

1　ヤマグワ種子（１層）　0.5㎜

2　ヘラオモダカ果実（３層）　0.5㎜

3　イネ頴破片（３層）　1.0㎜

4　イネ頴破片（１層）　1.0㎜

5　イネ炭化果実（１層）　1.0㎜

6　イネ炭化果実（３層）　1.0㎜

7　イヌビエ属頴（３層）　1.0㎜

8　カヤツリグサ科果実（３層）　0.5㎜

9　アサ種子破片（２層）　1.0㎜

10　アカザ属種子（２層）　0.5㎜

11　アカザ属種子（２層）　0.5㎜

12　タデ属果実（２層）　0.5㎜

13　ナデシコ科種子（２層）　0.5㎜

14　ナデシコ科種子（３層）　0.5㎜

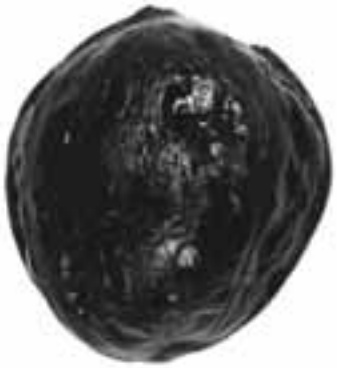
15　シソ属果実（２層）　0.5㎜

16　ウリ類種子（２層）　1.0㎜

第139図　遺構内の種実

※()内は、検出箇所

1　オニグルミ核半形
（10号井戸13層）



2　オニグルミ核半形
（62号土坑２層）

3　オニグルミ核（P1）

5.0㎜

4　モモ核（62号土坑２層）

5　モモ核（11号溝１層）

6　モモ核（41号溝）

5.0㎜

7　トチノキ種子（６号井戸４層）

8　トチノキ種子（10号溝）

9　トチノキ種子（10号溝）

5.0㎜

10　キカラスウリ種子
（６号土坑２層）

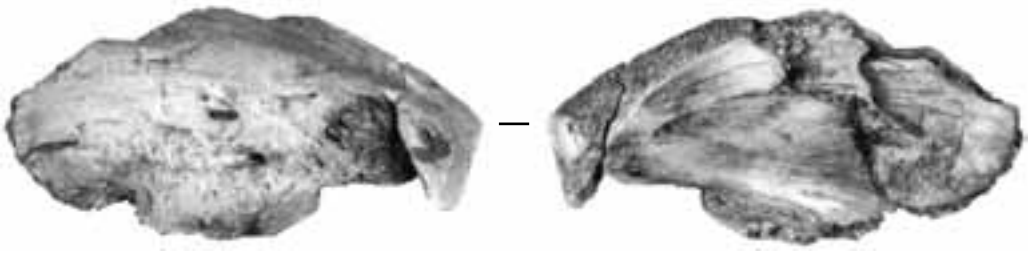
11　キカラスウリ種子
（６号土坑２層）

12　キカラスウリ種子
（６号土坑２層）

5.0㎜

第140図　種実（水洗選別済み試料）

※()内は、検出箇所



1　ブリ科歯骨（39号溝）　　1.0cm

第141図　動物遺存体

3　放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ
伊藤　茂・安昭炫・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・小林紘一
Zaur Lomtatidze・黒沼保子

1　はじめに

新発田市に位置する住吉遺跡から出土した木製品について，遺構の時期と遺跡の存続年代を探る目的で，加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。一部の試料はウィグルマッチング法を用いて年代の絞り込みを行っている。

2　試料と方法

試料は，４～70 号掘立柱建物から出土した建築部材が 23 点と，３号，６号，７号，13 号，14 号，17 号井戸から出土した井戸材が６点である。このうち，ウィグルマッチングを行った木材が 17 点，単体の木材試料が 12 点である。

４号掘立柱建物の P1 から出土した柱根（掲載№２）は，残存径 15×16㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 104 年で，外側から１-５年目（PLD-31037）と 96-100 年目（PLD-31038）をウィグルマッチング試料として採取した。

５号掘立柱建物の P6 から出土した柱根（掲載№３）（PLD-31045）は，直径 14㎝の丸木で，最終形成年輪は残っていなかったが，辺材であった。

12 号掘立柱建物の P1 から出土した柱根（掲載№５）は，残存径 22×17㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 71 年で，外側から１-５年目（PLD-31039），36-40 年目（PLD-31040），66-70 年目（PLD-31041）をウィグルマッチング試料として採取した。

13 号掘立柱建物の P1 から出土した柱根（掲載№６）は，残存径 17×14㎝のみかん割り状で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 54 年で，外側から１-５年目（PLD-31042），26-30 年目（PLD-31043），46-50 年目（PLD-31044）をウィグルマッチング試料として採取した。

19 号掘立柱建物の P1 から出土した柱根（掲載№12）（PLD-31053）は，直径 15 ㎝の丸木で，最終形成年輪が残存していた。

20 号掘立柱建物の P5 から出土した柱根（掲載№16）は，残存径 12×10㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 35 年で，１-５年目（PLD-31025），16-20 年目（PLD-31026），31-35 年目（PLD-31027）をウィグルマッチング試料として採取した。

32 号掘立柱建物の P18 から出土した柱根（掲載№26）は，残存径 13×７㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 42 年で，最外部分に加工痕があったため，外側から６-10 年目（PLD-31015），21-25 年目（PLD-31016），36-40 年目（PLD-31017）をウィグルマッチング試料として採取した。P21 から出土した柱根（掲載№32）（PLD-31036）は，直径 11㎝の半割状で，最終形成年輪が残存していた。

33 号掘立柱建物の P3 から出土した柱根（掲載№33）（PLD-31028）は，直径 12㎝の丸木，P4 から出土した柱根（掲載№34）（PLD-31029）は，直径 15㎝の丸木で，どちらも最終形成年輪が残存していた。

34 号掘立柱建物の P4 から出土した柱根（掲載№35）（PLD-31018）は，直径 8.5㎝の丸木で，最終形成年輪が残存していた。

42 号掘立柱建物の P5 から出土した柱根（掲載№40）は，残存径 11×15㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 70 年で，外側から１－５年目（PLD-31047），36-40 年目（PLD-31048），66-70 年目（PLD-31049）をウィグルマッチング試料として採取した。

43 号掘立柱建物の P13 から出土した柱根（掲載№43）は，残存径 13.5×15.5㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 143 年で，最外部分に加工痕があったため，外側から６-10 年目（PLD-31054），71-75 年目（PLD-31055），136-140 年目（PLD-31056）をウィグルマッチング試料として採取した。P16 から出土した柱根（掲載№44）は，残存径 17×19㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 77 年で，外側から１－５年目（PLD-31030），36-40 年目（PLD-31031），71-75 年目（PLD-31032）をウィグルマッチング試料として採取した。

44 号掘立柱建物の P8 から出土した礎板（掲載№50）は，残存径５×18㎝の柾目材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 165 年で，外側から１－５年目（PLD-31019），161-165 年目（PLD-31020）をウィグルマッチング試料として採取した。

45 号掘立柱建物の P9 から出土した柱根（掲載№54）は，残存径 12×17㎝の角材で，最終形成年輪が残存していなかった。残存年輪数は 143 年で，１－５年目（PLD-31050），71-75 年目（PLD-31051），136-140 年目（PLD-31052）をウィグルマッチング試料として採取した。

46 号掘立柱建物の P8 から出土した柱根（掲載№58）は，残存径 20×10.6㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 100 年で，最外部分に加工痕があったため，外側から 11-15 年目（PLD-31023），96-100 年目（PLD-31024）をウィグルマッチング試料として採取した。P17 から出土した柱根（掲載№66）は，残存径 15×12㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は約 88 年（芯側が不明瞭）で，外側から１－５年目（PLD-31057），41-45 年目（PLD-31058），76-80 年目（PLD-31059）をウィグルマッチング試料として採取した。

48 号掘立柱建物の P4 から出土した柱根（掲載№77）は，残存径 14×11.5 ㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 84 年で，外側から１－５年目（PLD-31033），41-45 年目（PLD-31034），76-80 年目（PLD-31035）をウィグルマッチング試料として採取した。

49 号掘立柱建物の P7 から出土した柱根（掲載№79）は，残存径 11× ９㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 69 年で，最外部分に加工痕があったため，外側から６-10 年目（PLD-31010），36-40 年目（PLD-31011），61-65 年目（PLD-31012）をウィグルマッチング試料として採取した。

56 号掘立柱建物の P4 から出土した柱根（掲載№81）は，残存径 14×13㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 184 年で，外側から１－５年目（PLD-31021）と 176-180 年目（PLD-31022）をウィグルマッチング試料として採取した。

69 号掘立柱建物の P3 から出土した柱根（掲載№82）は，残存径 11×11㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。残存年輪数は 48 年で，外側から１－５年目（PLD-31001），21-25 年目（PLD-31002），41-45 年目（PLD-31003）をウィグルマッチング試料として採取した。

70 号掘立柱建物の P3 から出土した柱根（掲載№84）は，直径 11.5㎝の丸木で，最終形成年輪が残存していた。残存年輪数は 17 年で，外側から１－５年目（PLD-31004）と 11-15 年目（PLD-31005）をウィグルマッチング試料として採取した。

３号井戸から出土した桟木（掲載№122）（PLD-31008）は，直径 3.5㎝の丸木で，最終形成年輪が残存していた。

６号井戸から出土した縦板（掲載№152）（PLD-31013）は，残存径 14×3.0㎝の板目で，最終形成年輪は残存して

いなかった。

７号井戸から出土した隅柱（掲載№206）（PLD-31007）は，残存径 8.5×8.0㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。

13 号井戸から出土した隅柱（掲載№306）（PLD-31006）は，残存径 4.5×6.3㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。

14 号井戸から出土した桟木（掲載№371）（PLD-31009）は，残存径 5.5×4.5㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。

17 号井戸から出土した桟木（掲載№397）（PLD-31014）は，残存径 5.0×6.5 ㎝の角材で，最終形成年輪は残存していなかった。

単体試料は残存している一番外側から約２年輪を採取した。ウィグルマッチング試料は，年輪の計数後，１試料につき年輪の外側と内側の２点もしくは中間を含めた３点を採取した。

測定試料の情報，調製データは表７～10 のとおりである。試料は調製後，加速器質量分析計（パレオ・ラボ，コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後，^{14}C 年代，暦年代を算出した。

３　結果

表 11～27 に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（$\delta^{13}C$），同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲，慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代，ウィグルマッチング結果を，表 28 に単体試料の暦年較正結果を，第 142～158 図にウィグルマッチング結果を，第 159・160 図に単体試料の暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下１桁を丸めていない値であり，今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。^{14}C 年代（yrBP）の算出には，^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また，付記した ^{14}C 年代誤差（±１σ）は，測定の統計誤差，標準偏差等に基づいて算出され，試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2％であることを示す。

なお，暦年較正，ウィグルマッチング法の詳細は以下のとおりである。

［暦年較正］

暦年較正とは，大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し，過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動，および半減期の違い（^{14}C の半減期 5730±40 年）を較正して，より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.2（較正曲線データ：IntCal13）を使用した。なお，１σ暦年代範囲は，OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2％信頼限界の暦年代範囲であり，同様に２σ暦年代範囲は 95.4％信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は，その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し，二重曲線は暦年較正曲線を示す。

［ウィグルマッチング法］

ウィグルマッチング法とは，複数の試料を測定し，それぞれの試料間の年代差の情報を用いて試料の年代パターンと較正曲線のパターンが最も一致する年代値を算出することによって，高精度で年代値を求める方法である。測定では，得られた年輪数が確認できる木材について，１年毎或いは数年分をまとめた年輪を数点用意し，それぞれ年代測定を行う。個々の測定値から暦年較正を行い，得られた確率分布を最外試料と当該試料の中心値の差

だけずらしてすべてを掛け合わせることにより最外試料の確率分布を算出し，年代範囲を求める。なお，得られた最外試料の年代範囲は，まとめた試料の中心の年代を表している。そのため試料となった木材の最外年輪年代を得るためには，最外試料の中心よりも外側にある年輪数を考慮する必要がある。そこで，最外試料の中心から外側にある２年分（2.5年を小数以下切り捨て）を足して最外年輪年代とした。また，残存している最外年輪より内側を最外試料とした試料については，さらに残存最外年輪までの年輪数を足した。

４　考察

以下，各試料の暦年較正結果のうち２σ暦年代範囲（確率95.4%）に着目して，遺構ごとに結果を整理する。また，第161図に掘立柱建物のマルチプロット図，第162図に井戸のマルチプロット図を示す。

４号掘立柱建物の柱根（掲載№２）（PLD-31037～31038）は，1163-1225 cal AD（94.8%）および1240-1243 cal AD（0.6%）であった。これは平安時代後期末～鎌倉時代に相当する。

５号掘立柱建物の柱根（掲載№３）（PLD-31045）は，1215-1271 cal AD（95.4%）であった。これは12世紀末～13世紀後半で，鎌倉時代に相当する。

12号掘立柱建物の柱根（掲載№５）（PLD-31039～31041）は，1217-1262 cal AD（95.4%）であった。これは13世紀前半～後半で，鎌倉時代に相当する。

13号掘立柱建物の柱根（掲載№６）（PLD-31042～31044）は，1205-1247 cal AD（95.4%）であった。これは13世紀初頭～中頃で，鎌倉時代に相当する。

19号掘立柱建物の柱根（掲載№12）（PLD-31053）は，1270-1300 cal AD（88.4%）および1369-1381 cal AD（7.0%）であった。これは13世紀後半～末もしくは14世紀後半で，鎌倉～室町時代に相当する。

20号掘立柱建物の柱根（掲載№16）（PLD-31025～31027）は，1165-1212 cal AD（95.4%）であった。これは12世紀後半～13世紀前半で，平安時代末～鎌倉時代に相当する。

32号掘立柱建物の柱根では，掲載№26（PLD-31015～31017）は1267-1290 cal AD（95.4%）で13世紀後半，掲載№32（PLD-31036）は1221-1275 cal AD（95.4%）で13世紀前半～後半であった。ともに鎌倉時代に相当する。

33号掘立柱建物の柱根では，掲載№33（PLD-31028）は1191-1265 cal AD（95.4%），掲載№34（PLD-31029）は1164-1250 cal AD（95.4%）であった。これらは12世紀後半～13世紀後半で，平安時代末～鎌倉時代に相当する。

34号掘立柱建物の柱根（掲載№35）（PLD-31018）は，1223-1280 cal AD（95.4%）であった。これは13世紀前半～後半で，鎌倉時代に相当する。

42号掘立柱建物の柱根（掲載№40）（PLD-31047～31049）は，1160-1177 cal AD（11.2%）および1186-1221 cal AD（84.2%）であった。これは12世紀後半～13世紀前半で，平安時代後期末～鎌倉時代に相当する。

43号掘立柱建物の柱根では，掲載№43（PLD-31054～31056）は1023-1053 cal AD（95.4%）で，掲載№44（PLD-31030～31032）は1025-1051 cal AD（95.4%）であった。これらは11世紀前半～中頃で，ともに平安時代中期に相当する。

44号掘立柱建物の礎板（掲載№50）（PLD-31019～31020）は，1198-1262 cal AD（95.4%）であった。これは12世紀末～13世紀後半で，鎌倉時代に相当する。

45号掘立柱建物の柱根（掲載№54）（PLD-31050～31052）は，1224-1235 cal AD（6.7%）および1257-1287 cal AD（88.7%）であった。これは13世紀前半～後半で，鎌倉時代に相当する。

46号掘立柱建物の柱根では，掲載№58（PLD-31023～31024）は1270-1301 cal AD（95.4%）で，13世紀後半～14世紀初頭であった。これは鎌倉時代に相当する。掲載№66（PLD-31057～31059）は1162-1222 cal AD（95.4%）

で，12 世紀後半～13 世紀前半であった。これは平安時代後期末～鎌倉時代に相当する。

48 号掘立柱建物の柱根（掲載№77）（PLD-31033～31035）は，1100-1140 cal AD（24.5%）および 1152-1196 cal AD（70.9%）であった。これは 11 世紀末～12 世紀末で，平安時代後期に相当する。

49 号掘立柱建物の柱根（掲載№79）（PLD-31010～31012）は，1226-1272 cal AD（95.4%）であった。これは 13 世紀前半～後半で，鎌倉時代に相当する。

56 号掘立柱建物の柱根（掲載№81）（PLD-31021～31022）は，1067-1152 cal AD（95.4%）であった。これは 11 世紀後半～12 世紀中頃で，平安時代中期末～後期に相当する。

69 号掘立柱建物の柱根（掲載№82）（PLD-31001～31003）は，1163-1208 cal AD（95.4%）であった。これは 12 世紀後半～13 世紀初頭で，平安時代後期末～鎌倉時代に相当する。

70 号掘立柱建物の柱根（掲載№84）（PLD-31004～31005）は，1221-1266 cal AD（95.4%）であった。これは 13 世紀前半～後半で，鎌倉時代に相当する。

３号井戸の桟木（掲載№122）（PLD-31008）は，695-701 cal AD（1.2%）および 709-745 cal AD（23.1%）と 764-881 cal AD（71.1%）であった。これは 7 世紀末～９世紀後半で，飛鳥～平安時代前期に相当する。

６号井戸の縦板（掲載№152）（PLD-31013）は，1170-1259 cal AD（95.4%）であった。これは 12 世紀後半～13 世紀中頃で，平安時代後期末～鎌倉時代に相当する。

７号井戸の隅柱（掲載№206）（PLD-31007）は，1293-1329 cal AD（37.6%）および 1341-1397 cal AD（57.8%）であった。これは 13 世紀末～14 世紀末で，鎌倉～室町時代に相当する。

13 号井戸の隅柱（掲載№306）（PLD-31006）は，1292-1328 cal AD（37.8%）および 1341-1396 cal AD（57.6%）であった。これは 13 世紀末～14 世紀末で，鎌倉～室町時代に相当する。

14 号井戸の隅柱（掲載№371）（PLD-31009）は，1056-1076 cal AD（4.1%）および 1153-1220 cal AD（91.3%）であった。これは 11 世紀中頃～後半もしくは 12 世紀中頃～13 世紀前半で，平安時代中期～鎌倉時代に相当する。

17 号井戸の桟木（掲載№397）（PLD-31014）は，1038-1165 cal AD（95.4%）であった。これは 11 世紀前半～12 世紀後半で，平安時代中期～後期に相当する。

木材は最終形成年輪部分を測定すると枯死もしくは伐採年代が得られるが，内側の年輪を測定すると内側であるほど古い年代が得られる（古木効果）。今回の試料では，19 号掘立柱建物の掲載№12，32 号掘立柱建物の掲載№32，33 号掘立柱建物の掲載№34，34 号掘立柱建物の掲載№35，70 号掘立柱建物の掲載№84，３号井戸の掲載№122 は，最終形成年輪が残存しており，得られた最終形成年輪の年代は，木材が伐採もしくは枯死した年代を示していると考えられる。また，５号掘立柱建物の掲載№３は，終形成年輪が残存していなかったが辺材であったため，得られた暦年代は伐採された年代に近い年代を示していると考えられる。

一方，４号掘立柱建物の掲載№２，12 号掘立柱建物の掲載№５，13 号掘立柱建物の掲載№６，20 号掘立柱建物の掲載№16，32 号掘立柱建物の掲載№26，42 号掘立柱建物の掲載№40，43 号掘立柱建物の掲載№43・44，44 号掘立柱建物の掲載№50，46 号掘立柱建物の掲載№58・66，48 号掘立柱建物の掲載№77，49 号掘立柱建物の掲載№79，56 号掘立柱建物の掲載№81，69 号掘立柱建物の掲載№82，６号井戸の掲載№152，７号井戸の掲載№206，13 号井戸の掲載№306，14 号井戸の掲載№371，17 号井戸の掲載№397 は，最終形成年輪が残存していなかったため，残存している最外年輪のさらに外側にも年輪が存在していたはずであり，木材が実際に枯死もしくは伐採されたのは，測定結果の年代よりもやや新しい時期であったと考えられる。

また，古材を転用している試料についても古い年代が出る。特に３号井戸の掲載№122 は，最終形成年輪が残存しているが，測定結果は推定年代よりもかなり古い年代であり，転用材の可能性が高い。

参考文献

Bronk Ramsey, C., van der Plicht, J., and Weninger, B. (2001) 'Wiggle matching' radiocarbon dates. Radiocarbon, 43(2A), 381-389.

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.

中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の ^{14}C 年代編集委員会編「日本先史時代の ^{14}C 年代」: 3-20, 日本第四紀学会.

Reimer, P.J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Cheng, H., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatte, C., Heaton, T.J., Hoffmann, D.L., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., Manning, S.W., Niu, M., Reimer, R.W., Richards, D.A., Scott, E.M., Southon, J.R., Staff, R.A., Turney, C.S.M., and van der Plicht, J.(2013) IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55(4), 1869-1887.

表7　ウィグルマッチング測定試料および処理（1）

測定番号	遺跡・試料データ	採取データ	前処理
PLD-31037	掲載№2 遺構：4号掘立 P1 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 15×16cm，残存年輪 104 年） 状態：wet	採取位置：1－5年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31038		採取位置：96-100 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31039	掲載№5 遺構：12 号掘立 P1 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 22×17cm，残存年輪 71 年） 状態：wet	採取位置：1－5年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31040		採取位置：36-40 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31041		採取位置：66-70 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31042	掲載№6 遺構：13 号掘立 P1 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：みかん割り状（残存径 17×14cm，残存年輪 54 年） 状態：wet	採取位置：1－5年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31043		採取位置：26-30 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31044		採取位置：46-50 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31025	掲載№16 遺構：20 号掘立 P5 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 12×10cm，残存年輪 35 年） 状態：wet	採取位置：1－5年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31026		採取位置：16-20 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31027		採取位置：31-35 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31015	掲載№26 遺構：32 号掘立 P18 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 13×7cm，残存年輪 42 年） 状態：wet	採取位置：6-10 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31016		採取位置：21-25 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31017		採取位置：36-40 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31047	掲載№40 遺構：42 号掘立 P5 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 11×15cm，残存年輪 70 年） 状態：wet	採取位置：1－5年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31048		採取位置：36-40 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31049		採取位置：66-70 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）

表8　ウィグルマッチング測定試料および処理（2）

測定番号	遺跡・試料データ	採取データ	前処理
PLD-31054	掲載№.43 遺構：43 号掘立 P13 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 13.5×15.5cm，残存年輪 143 年） 状態：wet	採取位置： 6-10 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31055		採取位置：71-75 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31056		採取位置：136-140年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31030	掲載№.44 遺構：43 号掘立 P16 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 17×19cm，残存年輪 77 年） 状態：wet	採取位置： 1-5 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31031		採取位置：36-40 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31032		採取位置：71-75 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31019	掲載№.50 遺構：44 号掘立 P8 種類：生材（礎板） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：柾目材（残存径5×18cm，残存年輪165年） 状態：wet	採取位置： 1-5 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31020		採取位置：161-165年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31050	掲載№.54 遺構：45 号掘立 P9 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 12×17cm，残存年輪 143 年） 状態：wet	採取位置： 1-5 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31051		採取位置：71-75 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31052		採取位置：136-140年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31023	掲載№.58 遺構：46 号掘立 P8 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径20×10.6cm，残存年輪100年） 状態：wet	採取位置：11-15 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31024		採取位置：96-100 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31057	掲載№.66 遺構：46 号掘立 P17 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径15×12cm，残存年輪88年？） 状態：wet	採取位置： 1-5 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31058		採取位置：41-45 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31059		採取位置：76-80 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31033	掲載№.77 遺構：48 号掘立 P4 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径14×11.5cm，残存年輪84年） 状態：wet	採取位置： 1-5 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31034		採取位置：41-45 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31035		採取位置：76-80 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）

表 9　ウィグルマッチング測定試料および処理（3）

測定番号	遺跡・試料データ	採取データ	前処理
PLD-31010	掲載№.79 遺構：49 号掘立 P7 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 11×9cm，残存年輪 69 年） 状態：wet	採取位置：６-10 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31011		採取位置：36-40 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31012		採取位置：61-65 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31021	掲載№.81 遺構：56 号掘立 P4 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 14×13cm，残存年輪 184 年） 状態：wet	採取位置：１－５年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31022		採取位置：176-180年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31001	掲載№.82 遺構：69 号掘立 P3 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 11×11cm，残存年輪 48 年） 状態：wet	採取位置：１－５年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31002		採取位置：21-25 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31003		採取位置：41-45 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31004	掲載№.84 遺構：70 号掘立 P3 種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 11.5cm，年輪数 17 年） 状態：wet	採取位置：１－５年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31005		採取位置：11-15 年目	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）

表10　単体測定試料および処理

測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理
PLD-31045	掲載№3 遺構：５号掘立 P6	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪以外（辺材） 形状：丸木（直径 14cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31053	掲載№12 遺構：19 号掘立 P1	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 15cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31036	掲載№32 遺構：32 号掘立 P21	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：半割状（直径 11cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31028	掲載№33 遺構：33 号掘立 P3	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 12cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31029	掲載№34 遺構：33 号掘立 P4	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 15cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31018	掲載№35 遺構：34 号掘立 P4	種類：生材（柱根） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 8.5cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31008	掲載№122 遺構：３号井戸	種類：生材（桟木） 試料の性状：最終形成年輪 形状：丸木（直径 3.5cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31013	掲載№152 遺構：６号井戸	種類：生材（縦板） 形状：板目材（残存径 14×3cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31007	掲載№206 遺構：７号井戸	種類：生材（隅柱） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 8.5×8cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31006	掲載№306 遺構：13 号井戸	種類：生材（隅柱） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 4.5×6.3cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31009	掲載№371 遺構：14 号井戸	種類：生材（桟木） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 5.5×4.5cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）
PLD-31014	掲載№397 遺構：17 号井戸	種類：生材（桟木） 試料の性状：最終形成年輪以外，部位不明 形状：角材（残存径 5×6.5cm） 状態：wet	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N，水酸化ナトリウム：1.0N，塩酸：1.2N）

表11　4号掘立 P1　柱根（掲載№.２）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31037	-27.55±0.41	858±21	860±20	1168-1211 cal AD (68.2%)	1058-1075 cal AD (2.1%) 1153-1225 cal AD (91.4%) 1232-1245 cal AD (1.9%)
PLD-31038	-26.22±0.16	950±19	950±20	1030-1049 cal AD (18.0%) 1085-1124 cal AD (38.6%) 1137-1150 cal AD (11.6%)	1025-1059 cal AD (25.8%) 1066-1155 cal AD (69.6%)
		最外試料年代		1183-1215 cal AD (68.2%)	1161-1223 cal AD (94.8%) 1238-1241 cal AD (0.6%)
		最外年輪年代		1185-1217 cal AD (68.2%)	1163-1225 cal AD (94.8%) 1240-1243 cal AD (0.6%)

表12　12 号掘立 P1　柱根（掲載№.５）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31039	-24.47±0.15	813±19	815±20	1219-1252 cal AD (68.2%)	1190-1265 cal AD (95.4%)
PLD-31040	-24.22±0.17	829±20	830±20	1192-1198 cal AD (5.8%) 1205-1250 cal AD (62.4%)	1170-1257 cal AD (95.4%)
PLD-31041	-24.66±0.14	897±19	895±20	1049-1084 cal AD (38.3%) 1125-1137 cal AD (8.8%) 1150-1169 cal AD (21.1%)	1044-1100 cal AD (44.3%) 1118-1208 cal AD (51.1%)
		最外試料年代		1219-1233 cal AD (45.4%) 1243-1252 cal AD (22.8%)	1215-1260 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1221-1235 cal AD (45.4%) 1245-1254 cal AD (22.8%)	1217-1262 cal AD (95.4%)

表13　13 号掘立 P1　柱根（掲載№.６）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31042	-23.77 ± 0.12	833 ± 20	835 ± 20	1186-1246 cal AD (68.2%)	1167-1255 cal AD (95.4%)
PLD-31043	-27.26 ± 0.14	856 ± 21	855 ± 20	1168-1213 cal AD (68.2%)	1154-1250 cal AD (95.4%)
PLD-31044	-26.49 ± 0.17	863 ± 22	865 ± 20	1165-1209 cal AD (68.2%)	1052-1080 cal AD (5.5%) 1151-1225 cal AD (89.2%) 1235-1242 cal AD (0.7%)
		最外試料年代		1208-1225 cal AD (52.3%) 1232-1240 cal AD (15.9%)	1203-1245 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1210-1227 cal AD (52.3%) 1234-1242 cal AD (15.9%)	1205-1247 cal AD (95.4%)

表14　20 号掘立 P5　柱根（掲載№16）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31025	-23.17±0.26	864±20	865±20	1165-1206 cal AD (68.2%)	1056-1076 cal AD (3.6%) 1153-1223 cal AD (91.8%)
PLD-31026	-23.82±0.24	879±20	880±20	1155-1210 cal AD (68.2%)	1049-1084 cal AD (17.2%) 1125-1137 cal AD (2.9%) 1150-1218 cal AD (75.3%)
PLD-31027	-26.42±0.23	915±20	915±20	1046-1093 cal AD (41.8%) 1121-1140 cal AD (16.3%) 1147-1160 cal AD (10.1%)	1036-1165 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1175-1192 cal AD (68.2%)	1163-1210 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1177-1194 cal AD (68.2%)	1165-1212 cal AD (95.4%)

表15　32 号掘立 P18　柱根（掲載№26）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31015	-24.50±0.17	726±19	725±20	1269-1284 cal AD (68.2%)	1261-1290 cal AD (95.4%)
PLD-31016	-24.47±0.13	811±19	810±20	1220-1251 cal AD (68.2%)	1191-1265 cal AD (95.4%)
PLD-31017	-24.37±0.14	807±19	805±20	1221-1255 cal AD (68.2%)	1206-1268 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1266-1277 cal AD (68.2%)	1260-1283 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1273-1284 cal AD (68.2%)	1267-1290 cal AD (95.4%)

表16　42 号掘立 P5　柱根（掲載№40）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31047	-26.66±0.12	877±21	875±20	1156-1211 cal AD (68.2%)	1049-1084 cal AD (15.8%) 1124-1137 cal AD (2.8%) 1150-1219 cal AD (76.8%)
PLD-31048	-26.10±0.19	873±20	875±20	1160-1206 cal AD (68.2%)	1050-1083 cal AD (10.7%) 1126-1135 cal AD (1.3%) 1151-1220 cal AD (83.4%)
PLD-31049	-25.85±0.14	963±20	965±20	1025-1046 cal AD (29.4%) 1094-1120 cal AD (32.8%) 1141-1147 cal AD (6.0%)	1020-1055 cal AD (34.7%) 1077-1154 cal AD (60.7%)
		最外試料年代		1194-1215 cal AD (68.2%)	1158-1175 cal AD (11.2%) 1184-1219 cal AD (84.2%)
		最外年輪年代		1196-1217 cal AD (68.2%)	1160-1177 cal AD (11.2%) 1186-1221 cal AD (84.2%)

表17　43 号掘立 P13　柱根（掲載№.43）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31054	-22.97±0.17	1000±20	1000±20	998-1004 cal AD (5.4%) 1012-1035 cal AD (62.8%)	988-1045 cal AD (87.8%) 1097-1120 cal AD (6.8%) 1143-1147 cal AD (0.7%)
PLD-31055	-25.00±0.14	1078±20	1080±20	902-919 cal AD (18.1%) 965-996 cal AD (50.1%)	898- 924 cal AD (22.4%) 944-1017 cal AD (73.0%)
PLD-31056	-24.64±0.12	1119±20	1120±20	895-907 cal AD (14.9%) 914-929 cal AD (17.9%) 940-968 cal AD (35.4%)	888-980 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1020-1035 cal AD (68.2%)	1016-1046 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1027-1042 cal AD (68.2%)	1023-1053 cal AD (95.4%)

表18　43 号掘立 P16　柱根（掲載№.44）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31030	-23.56±0.13	948±19	950±20	1032-1049 cal AD (16.5%) 1085-1124 cal AD (39.5%) 1137-1150 cal AD (12.2%)	1026-1059 cal AD (24.7%) 1065-1155 cal AD (70.7%)
PLD-31031	-24.00±0.14	1051±19	1050±20	989-1015 cal AD (68.2%)	969-1024 cal AD (95.4%)
PLD-31032	-25.56±0.21	1128±20	1130±20	892-903 cal AD (13.1%) 919-965 cal AD (55.1%)	880-982 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1029-1042 cal AD (68.2%)	1023-1049 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1031-1044 cal AD (68.2%)	1025-1051 cal AD (95.4%)

表19　44 号掘立 P8　礎板（掲載№.50）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31019	-24.95±0.27	823±20	825±20	1210-1254 cal AD (68.2%)	1170-1173 cal AD (1.3%) 1181-1261 cal AD (94.1%)
PLD-31020	-23.07±0.28	927±20	925±20	1044-1059 cal AD (12.4%) 1064-1102 cal AD (27.5%) 1119-1154 cal AD (28.4%)	1036-1158 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1211-1252 cal AD (68.2%)	1196-1260 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1213-1255 cal AD (68.2%)	1198-1262 cal AD (95.4%)

表20　45 号掘立 P9　柱根（掲載№54）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31050	-23.83±0.16	735±20	735±20	1267-1281 cal AD (68.2%)	1256-1289 cal AD (95.4%)
PLD-31051	-23.58±0.33	913±22	915±20	1046-1092 cal AD (41.5%) 1121-1140 cal AD (16.0%) 1148-1161 cal AD (10.7%)	1035-1169 cal AD (95.4%)
PLD-31052	-23.44±0.12	923±20	925±20	1046-1095 cal AD (42.5%) 1120-1141 cal AD (18.9%) 1147-1155 cal AD (6.8%)	1037-1160 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1265-1279 cal AD (68.2%)	1222-1233 cal AD (6.7%) 1255-1285 cal AD (88.7%)
		最外年輪年代		1267-1281 cal AD (68.2%)	1224-1235 cal AD (6.7%) 1257-1287 cal AD (88.7%)

表21　46 号掘立 P8　柱根（掲載№58）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31023	-24.84±0.24	730±19	730±20	1269-1282 cal AD (68.2%)	1260-1290 cal AD (95.4%)
PLD-31024	-24.90±0.25	903±20	905±20	1048-1086 cal AD (40.7%) 1123-1138 cal AD (11.9%) 1149-1165 cal AD (15.6%)	1040-1109 cal AD (51.0%) 1116-1190 cal AD (43.1%) 1198-1205 cal AD (1.3%)
		最外試料年代		1265-1280 cal AD (68.2%)	1258-1289 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1277-1292 cal AD (68.2%)	1270-1301 cal AD (95.4%)

表22　46 号掘立 P17　柱根（掲載№66）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31057	-27.61±0.18	860±20	860±20	1167-1210 cal AD (68.2%)	1058-1075 cal AD (2.2%) 1153-1225 cal AD (93.2%)
PLD-31058	-26.17±0.12	897±20	895±20	1049-1085 cal AD (36.3%) 1124-1137 cal AD (8.8%) 1150-1170 cal AD (19.9%) 1176-1182 cal AD (3.2%)	1043-1102 cal AD (44.0%) 1118-1209 cal AD (51.4%)
PLD-31059	-26.23±0.18	931±19	930±20	1041-1056 cal AD (11.7%) 1077-1109 cal AD (26.0%) 1116-1153 cal AD (30.5%)	1036-1156 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1165-1177 cal AD (20.0%) 1191-1209 cal AD (48.2%)	1160-1220 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1167-1179 cal AD (20.0%) 1193-1211 cal AD (48.2%)	1162-1222 cal AD (95.4%)

表23　48 号掘立 P4　柱根（掲載№77）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31033	-23.76±0.15	902±19	900±20	1049-1085 cal AD (41.0%) 1124-1137 cal AD (11.1%) 1150-1165 cal AD (16.1%)	1041-1107 cal AD (50.7%) 1116-1190 cal AD (43.4%) 1198-1205 cal AD (1.3%)
PLD-31034	-23.85±0.13	943±19	945±20	1035-1049 cal AD (13.7%) 1084-1125 cal AD (40.6%) 1136-1151 cal AD (13.9%)	1029-1154 cal AD (95.4%)
PLD-31035	-23.04±0.15	964±19	965±20	1025-1045 cal AD (31.1%) 1095-1120 cal AD (31.7%) 1142-1147 cal AD (5.4%)	1021-1053 cal AD (36.1%) 1080-1153 cal AD (59.3%)
		最外試料年代		1120-1126 cal AD (6.4%) 1153-1190 cal AD (61.8%)	1098-1138 cal AD (24.5%) 1150-1194 cal AD (70.9%)
		最外年輪年代		1122-1128 cal AD (6.4%) 1155-1192 cal AD (61.8%)	1100-1140 cal AD (24.5%) 1152-1196 cal AD (70.9%)

表24　49 号掘立 P7　柱根（掲載№79）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31010	-24.92±0.14	827±20	825±20	1206-1253 cal AD (68.2%)	1170-1258 cal AD (95.4%)
PLD-31011	-23.84±0.14	801±20	800±20	1225-1255 cal AD (68.2%)	1210-1270 cal AD (95.4%)
PLD-31012	-23.49±0.22	861±20	860±20	1166-1210 cal AD (68.2%)	1057-1076 cal AD (2.6%) 1153-1224 cal AD (92.8%)
		最外試料年代		1245-1260 cal AD (68.2%)	1219-1265 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1252-1267 cal AD (68.2%)	1226-1272 cal AD (95.4%)

表25　56 号掘立 P4　柱根（掲載№81）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ暦年代範囲	2 σ暦年代範囲
PLD-31021	-21.50±0.22	958±20	960±20	1028-1046 cal AD (24.0%) 1092-1121 cal AD (35.5%) 1140-1148 cal AD (8.7%)	1021-1057 cal AD (31.1%) 1076-1154 cal AD (64.3%)
PLD-31022	-24.90±0.31	1131±21	1130±20	890-903 cal AD (14.7%) 919-965 cal AD (53.5%)	780-788 cal AD (1.2%) 873-984 cal AD (94.2%)
		最外試料年代		1091-1124 cal AD (60.3%) 1138-1145 cal AD (7.9%)	1065-1150 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1093-1126 cal AD (60.3%) 1140-1147 cal AD (7.9%)	1067-1152 cal AD (95.4%)

表26　69 号掘立 P3　柱根（掲載№82）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

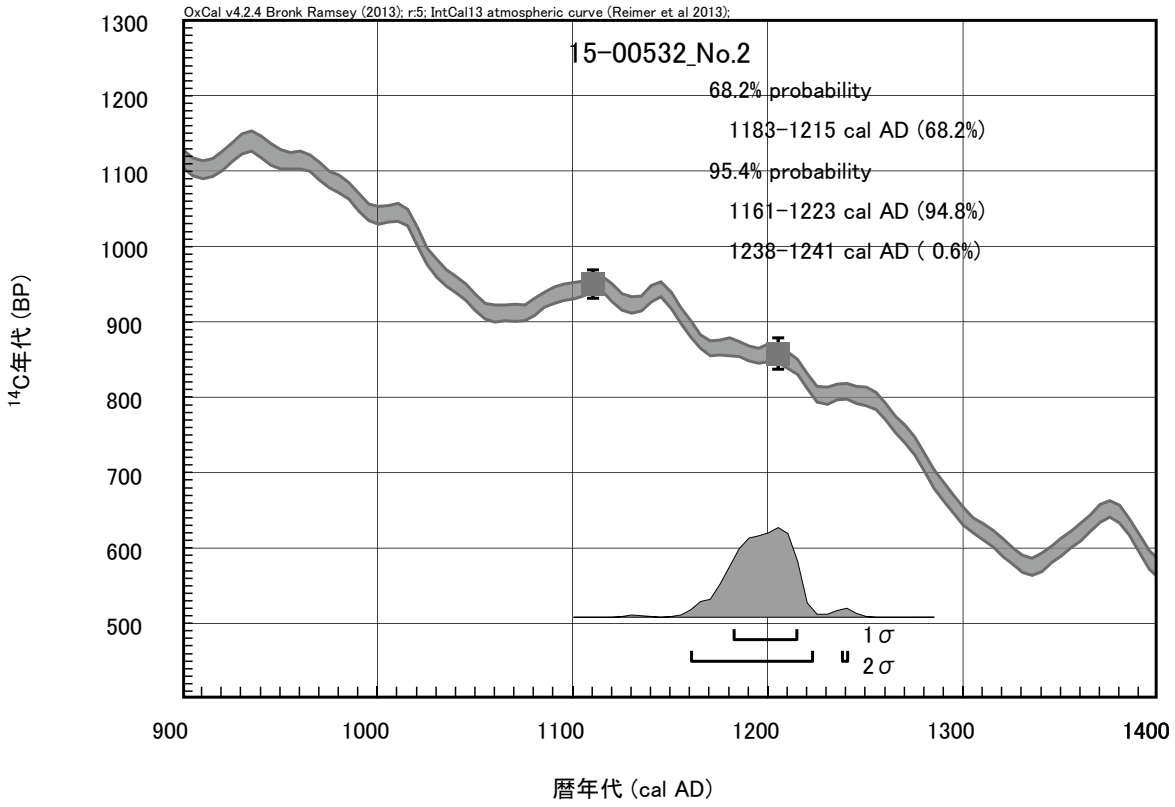
測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31001	-25.89±0.14	861±19	860±20	1166-1209 cal AD (68.2%)	1058-1073 cal AD (1.3%) 1154-1224 cal AD (94.1%)
PLD-31002	-24.48±0.16	900±19	900±20	1049-1085 cal AD (40.5%) 1124-1137 cal AD (10.0%) 1150-1166 cal AD (17.7%)	1042-1104 cal AD (48.4%) 1117-1206 cal AD (47.0%)
PLD-31003	-24.92±0.12	909±19	910±20	1049-1085 cal AD (43.4%) 1124-1137 cal AD (13.0%) 1150-1161 cal AD (11.8%)	1038-1169 cal AD (94.6%) 1178-1182 cal AD (0.8%)
		最外試料年代		1168-1183 cal AD (54.5%) 1193-1200 cal AD (13.7%)	1161-1206 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1170-1185 cal AD (54.5%) 1195-1202 cal AD (13.7%)	1163-1208 cal AD (95.4%)

表27　70 号掘立 P3　柱根（掲載№84）の放射性炭素年代測定，暦年較正，ウィグルマッチングの結果

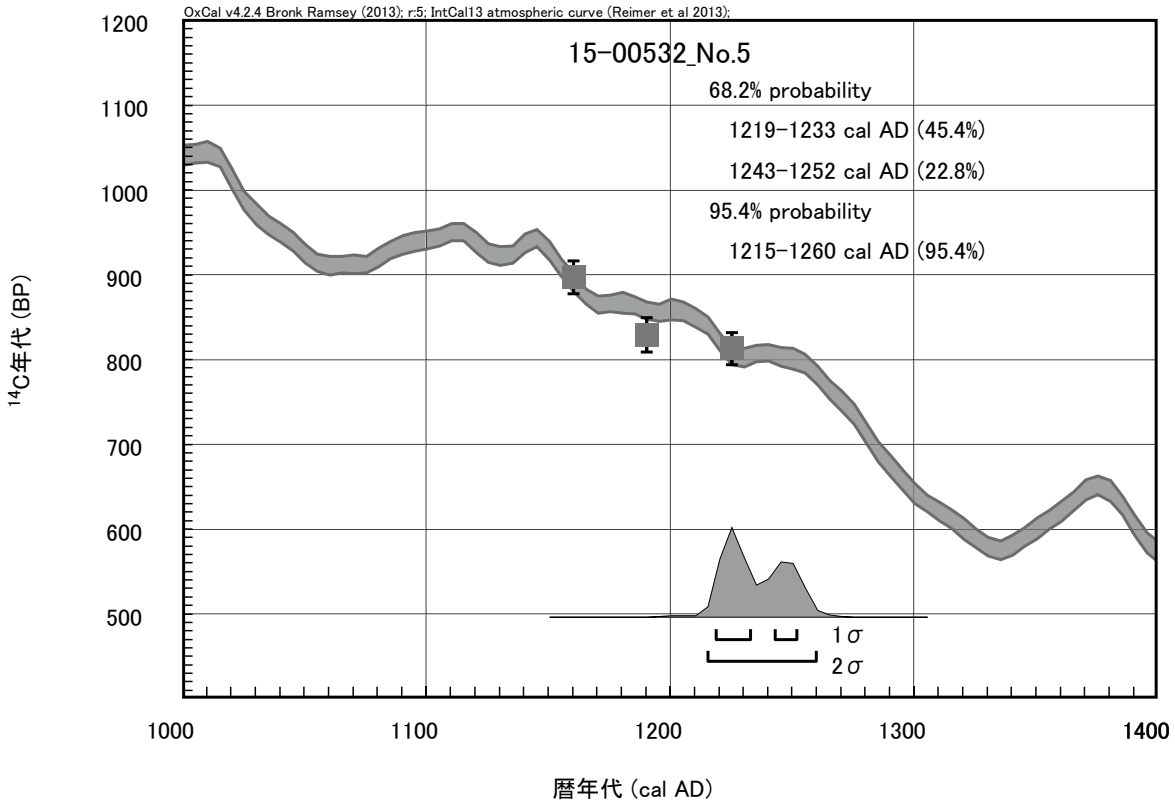
測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
PLD-31004	-28.13±0.13	803±20	805±20	1223-1256 cal AD (68.2%)	1207-1270 cal AD (95.4%)
PLD-31005	-28.20±0.14	818±19	820±20	1215-1254 cal AD (68.2%)	1184-1264 cal AD (95.4%)
		最外試料年代		1227-1255 cal AD (68.2%)	1219-1264 cal AD (95.4%)
		最外年輪年代		1229-1257 cal AD (68.2%)	1221-1266 cal AD (95.4%)

表28　単体試料の放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

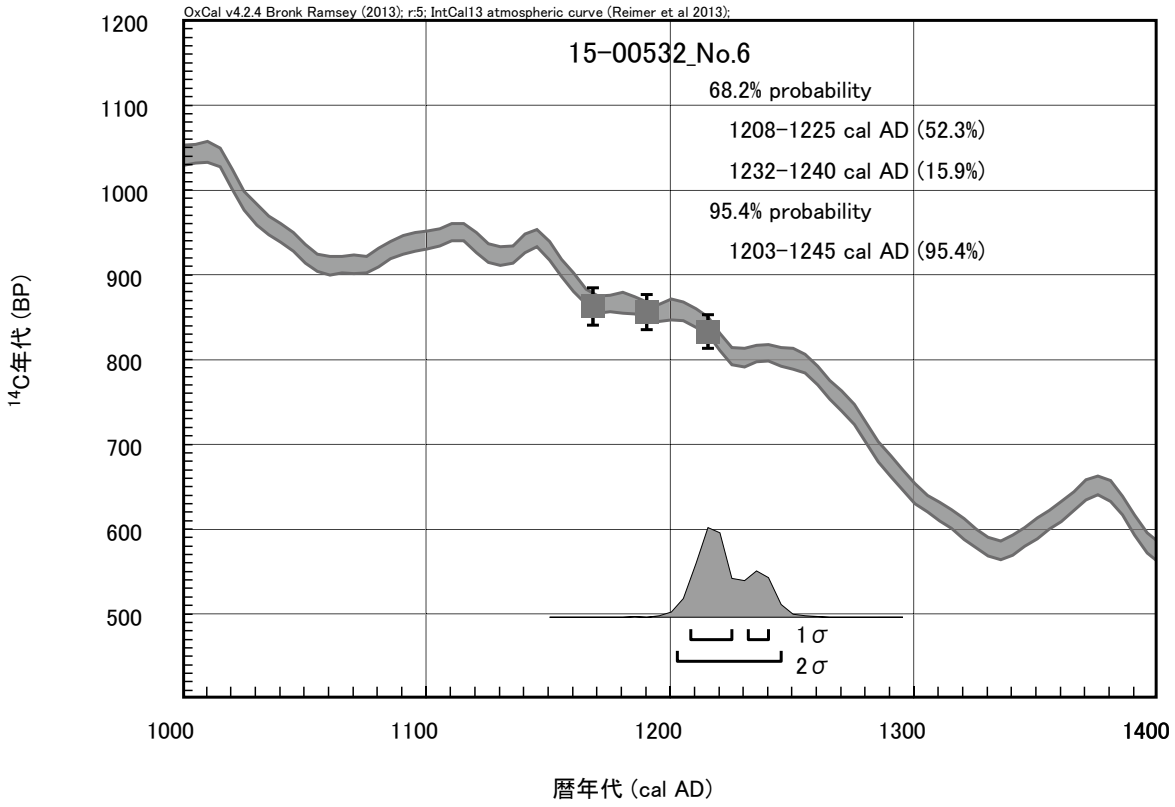
測定番号	δ ^{13}C (‰)	暦年較正用年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-31045 5号掘立 P6 掲載№.3	-27.41±0.13	795±21	795±20	1224-1259 cal AD (68.2%)	1215-1271 cal AD (95.4%)
PLD-31053 19号掘立 P1 掲載№.12	-27.86±0.17	698±20	700±20	1276-1294 cal AD (68.2%)	1270-1300 cal AD (88.4%) 1369-1381 cal AD (7.0%)
PLD-31036 32号掘立 P21 掲載№.32	-26.10±0.18	779±19	780±20	1225-1232 cal AD (11.8%) 1244-1269 cal AD (56.4%)	1221-1275 cal AD (95.4%)
PLD-31028 33号掘立 P3 掲載№.33	-26.46±0.23	811±20	810±20	1219-1252 cal AD (68.2%)	1191-1265 cal AD (95.4%)
PLD-31029 33号掘立 P4 掲載№.34	-27.63±0.19	840±19	840±20	1170-1174 cal AD (4.8%) 1182-1222 cal AD (63.4%)	1164-1250 cal AD (95.4%)
PLD-31018 34号掘立 P4 掲載№.35	-24.37±0.13	763±20	765±20	1253-1277 cal AD (68.2%)	1223-1280 cal AD (95.4%)
PLD-31008 3号井戸 掲載№.122	-22.30±0.16	1226±20	1225±20	721-741 cal AD (16.9%) 767-778 cal AD (11.1%) 791-827 cal AD (24.0%) 840-864 cal AD (16.3%)	695-701 cal AD (1.2%) 709-745 cal AD (23.1%) 764-881 cal AD (71.1%)
PLD-31013 6号井戸 掲載№.152	-22.49±0.13	826±19	825±20	1207-1253 cal AD (68.2%)	1170-1259 cal AD (95.4%)
PLD-31007 7号井戸 掲載№.206	-23.97±0.13	622±19	620±20	1300-1320 cal AD (28.4%) 1350-1369 cal AD (26.2%) 1381-1391 cal AD (13.6%)	1293-1329 cal AD (37.6%) 1341-1397 cal AD (57.8%)
PLD-31006 13号井戸 掲載№.306	-25.41±0.13	625±19	625±20	1299-1318 cal AD (28.1%) 1352-1370 cal AD (25.7%) 1380-1390 cal AD (14.4%)	1292-1328 cal AD (37.8%) 1341-1396 cal AD (57.6%)
PLD-31009 14号井戸 掲載№.371	-22.84±0.13	867±19	865±20	1164-1206 cal AD (68.2%)	1056-1076 cal AD (4.1%) 1153-1220 cal AD (91.3%)
PLD-31014 17号井戸 掲載№.397	-22.76±0.17	914±19	915±20	1046-1091 cal AD (42.3%) 1121-1140 cal AD (15.8%) 1148-1160 cal AD (10.1%)	1038-1165 cal AD (95.4%)



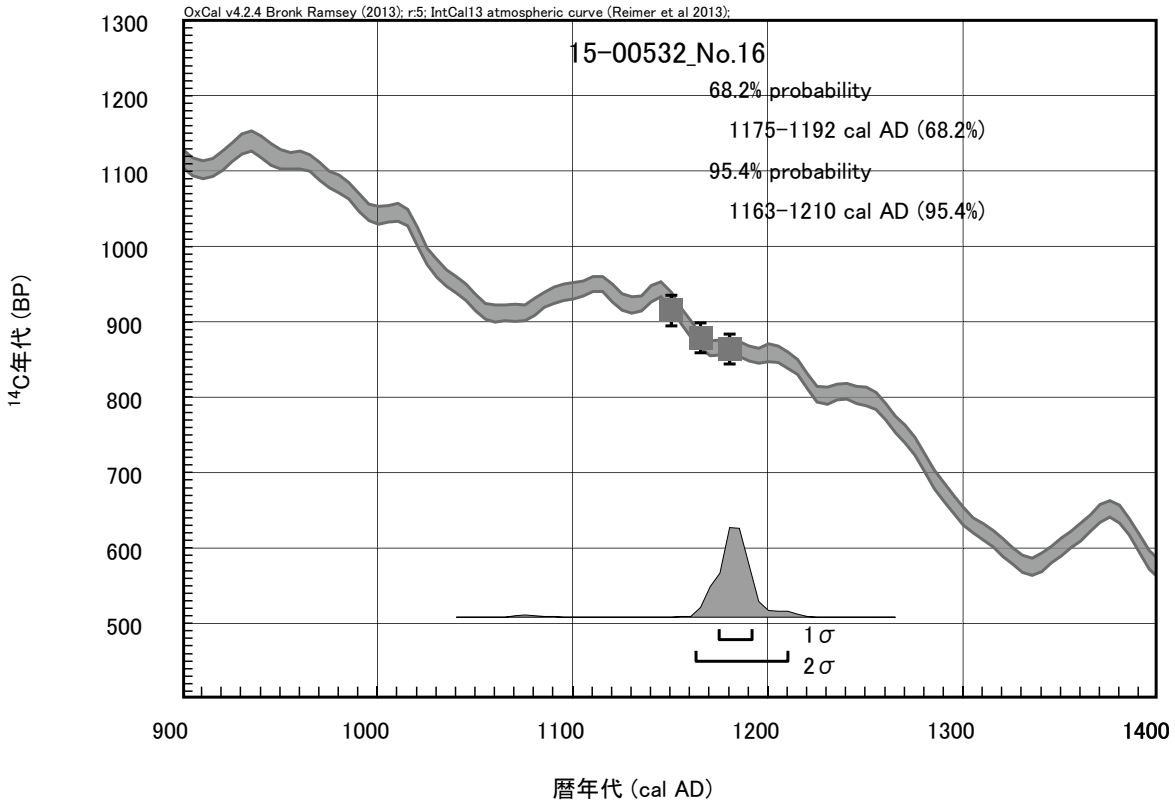
第142図　4 号掘立 P1　柱根（掲載№.２）のウィグルマッチング結果



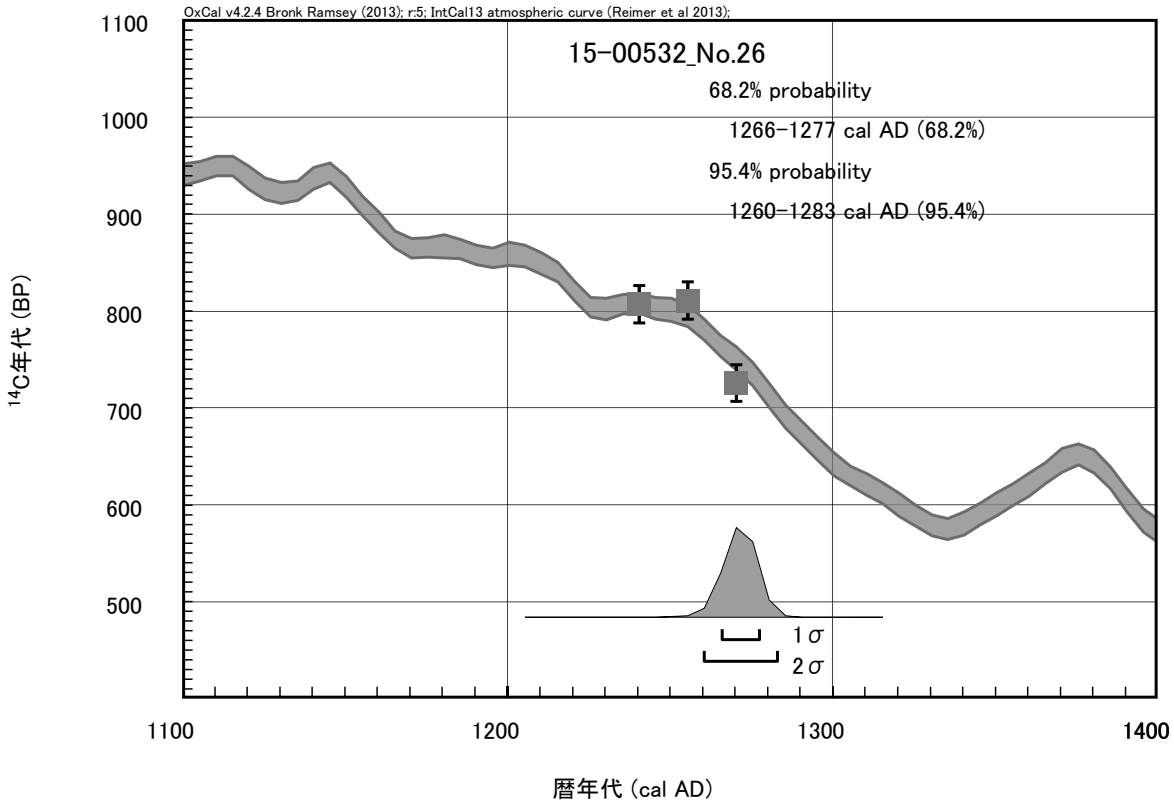
第143図　12 号掘立 P1　柱根（掲載№.５）のウィグルマッチング結果



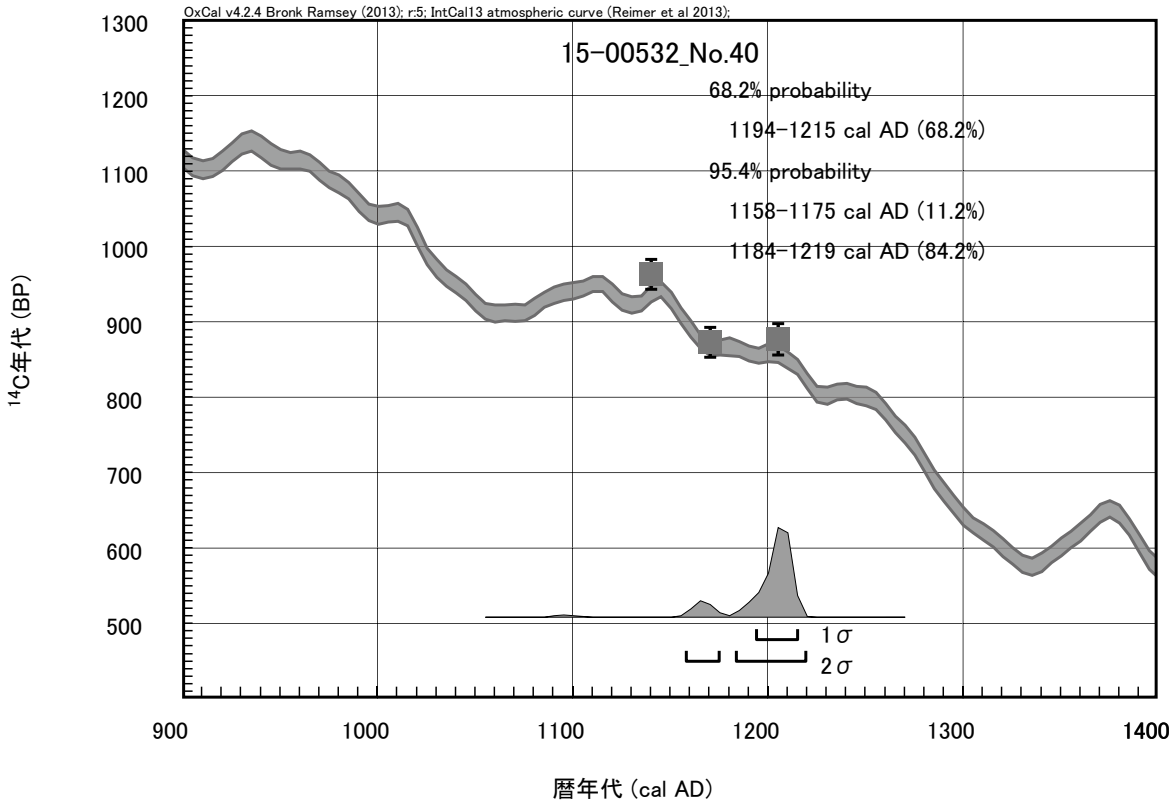
第144図　13 号掘立 P1　柱根（掲載№.６）のウィグルマッチング結果



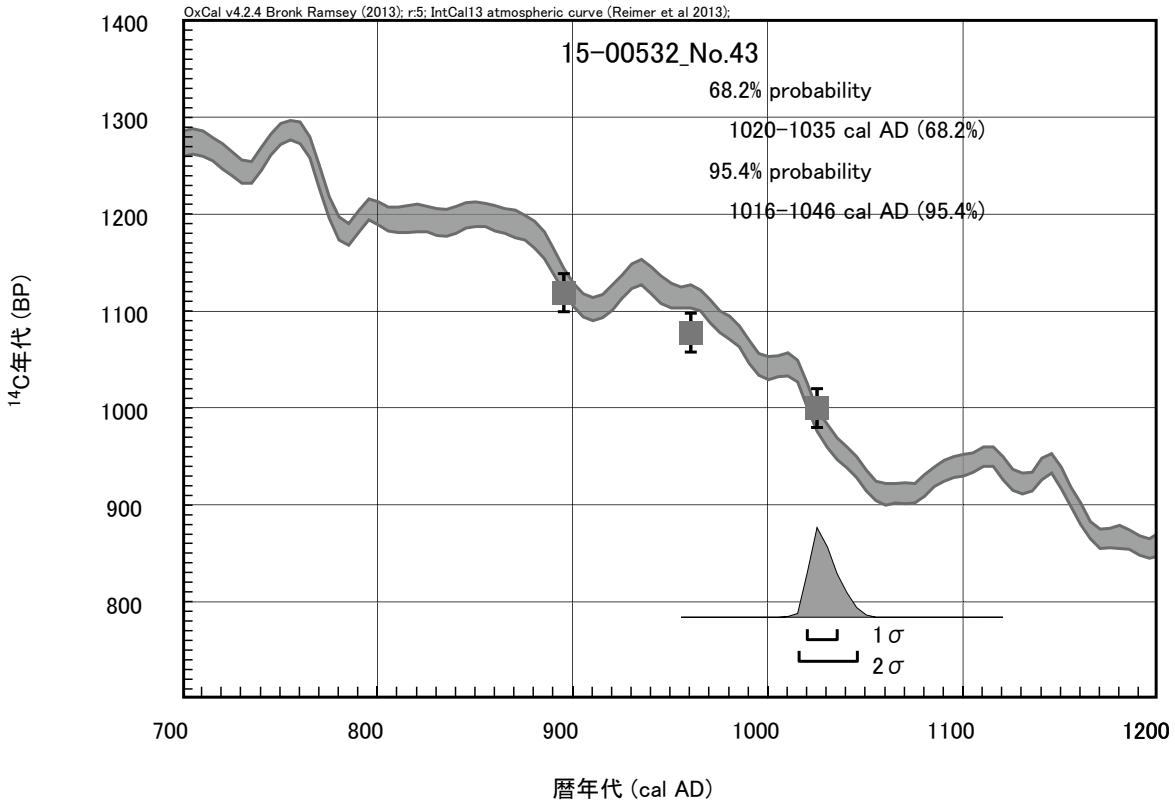
第145図　20 号掘立 P5　柱根（掲載№.16）のウィグルマッチング結果



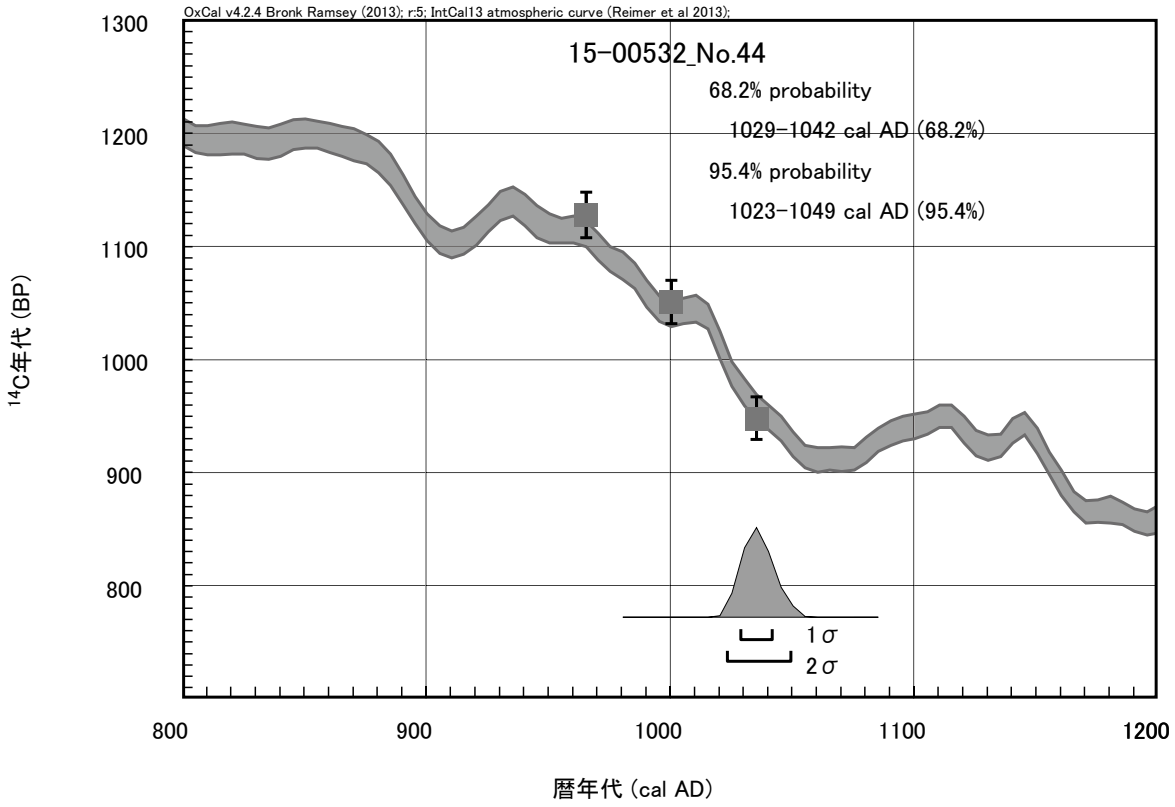
第146図　32 号掘立 P18　柱根（掲載№ 26）のウィグルマッチング結果



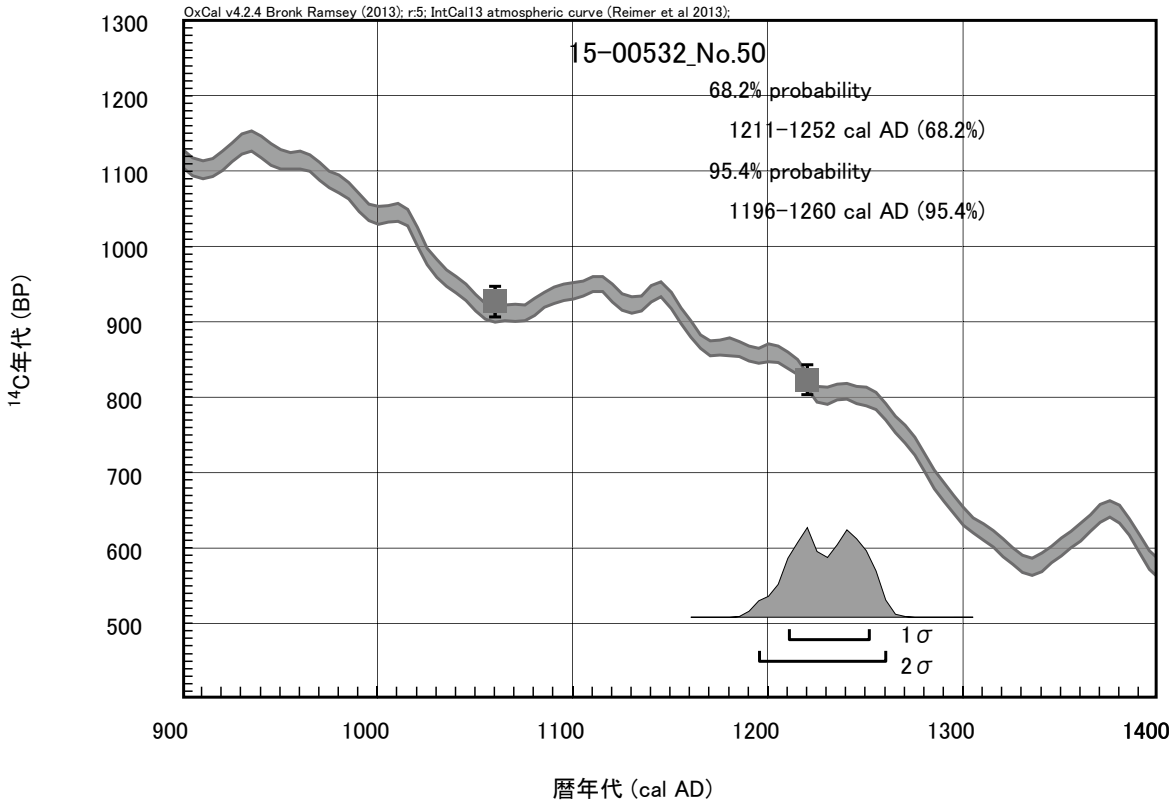
第147図　42 号掘立 P5　柱根（掲載№ 40）のウィグルマッチング結果



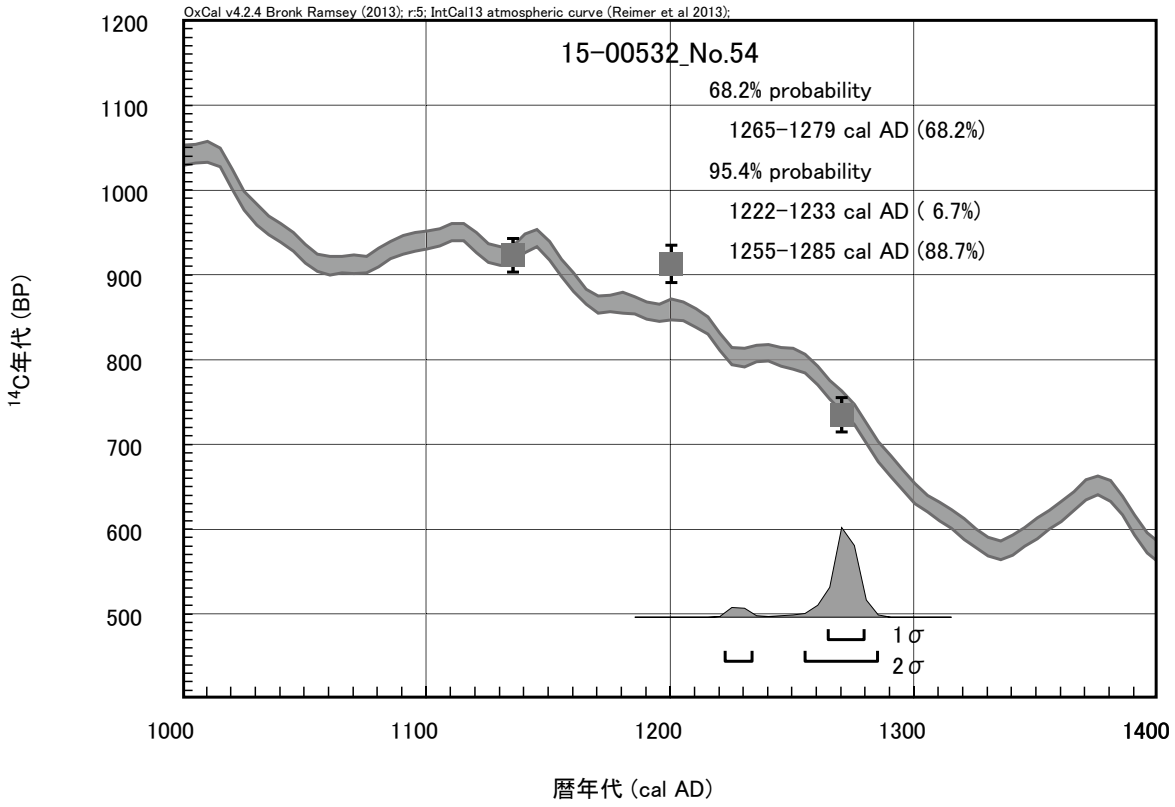
第148図　43 号掘立 P13　柱根（掲載№43）のウィグルマッチング結果



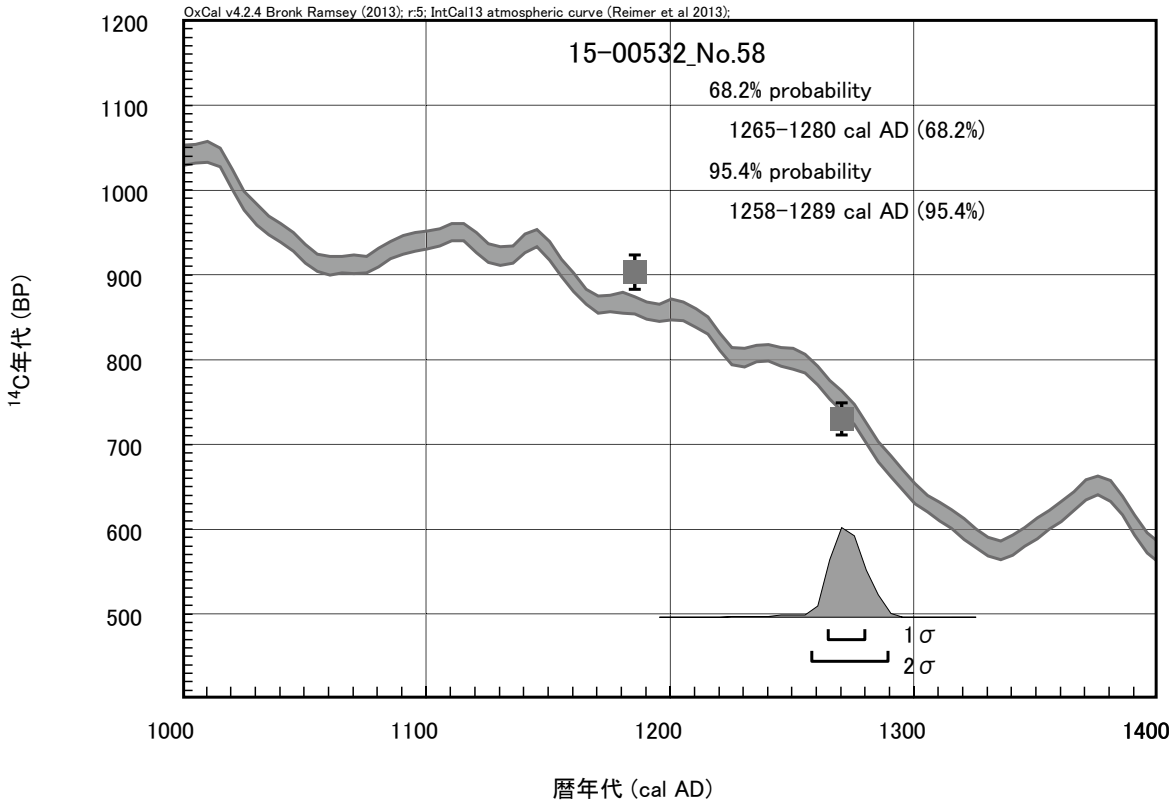
第149図　43 号掘立 P16　柱根（掲載№44）のウィグルマッチング結果



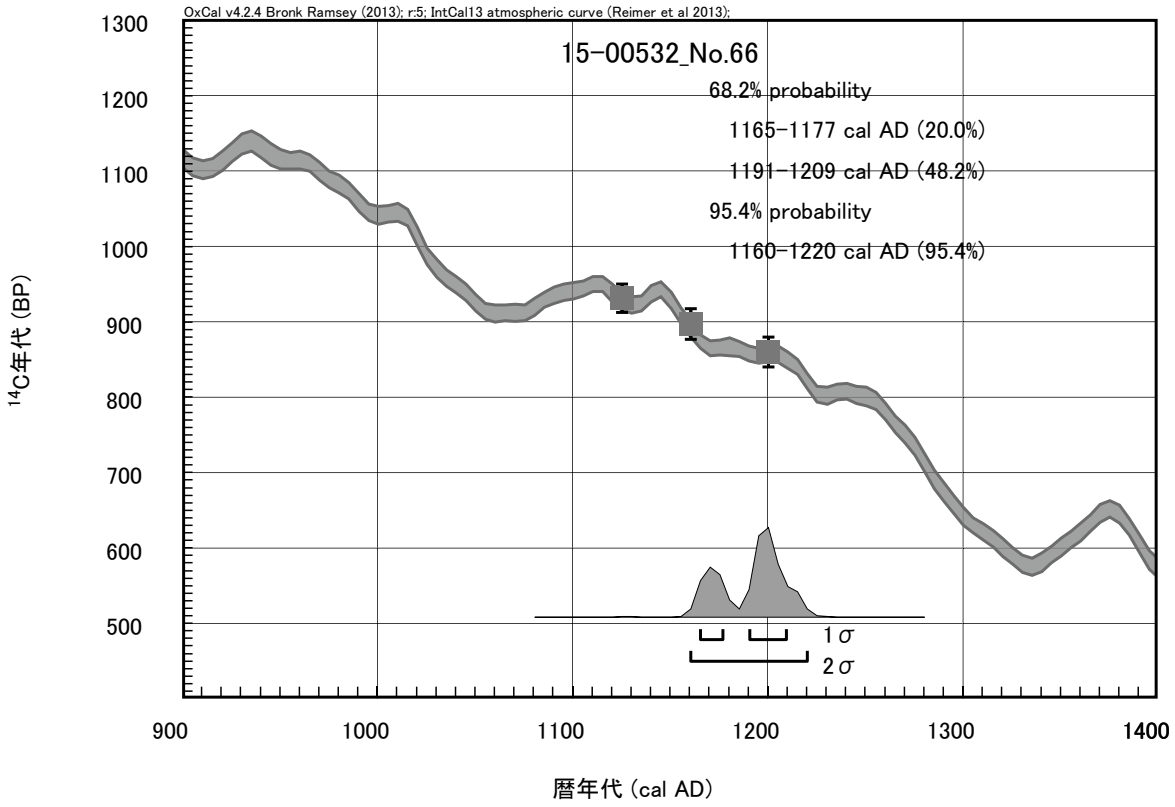
第150図　44 号掘立 P8　礎板（掲載№50）のウィグルマッチング結果



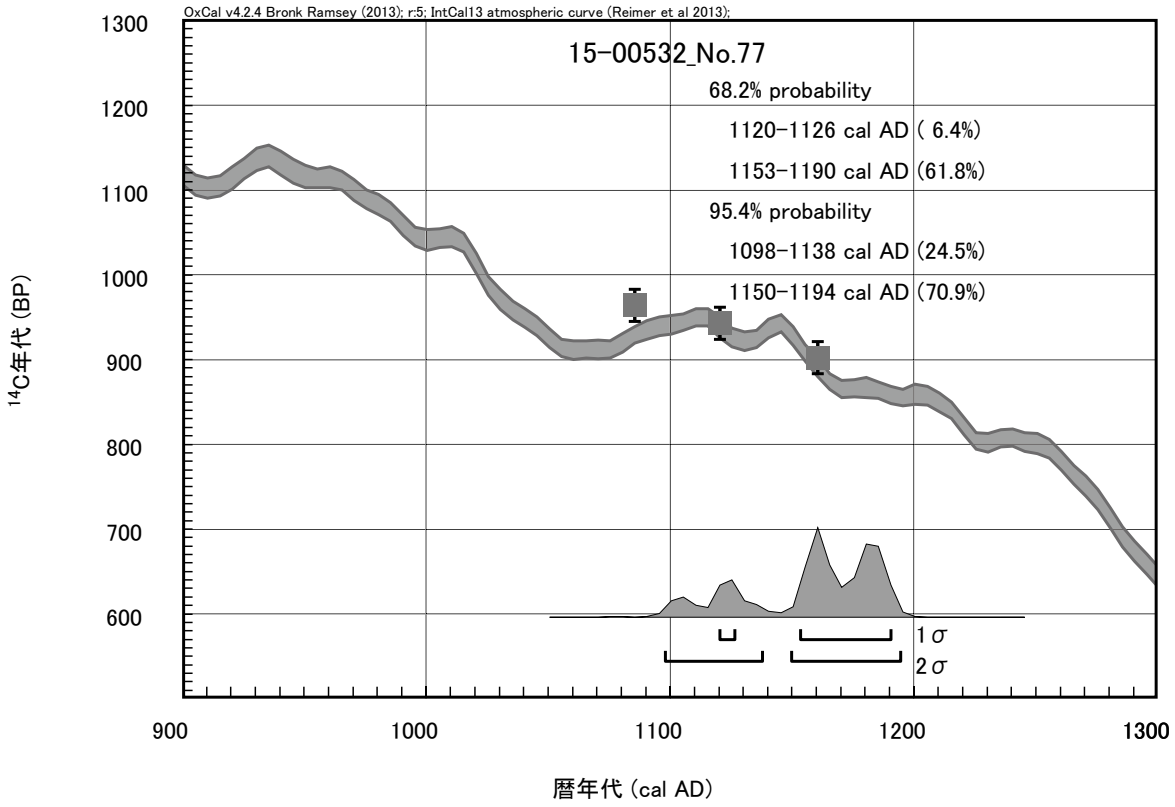
第151図　45 号掘立 P9　柱根（掲載№54）のウィグルマッチング結果



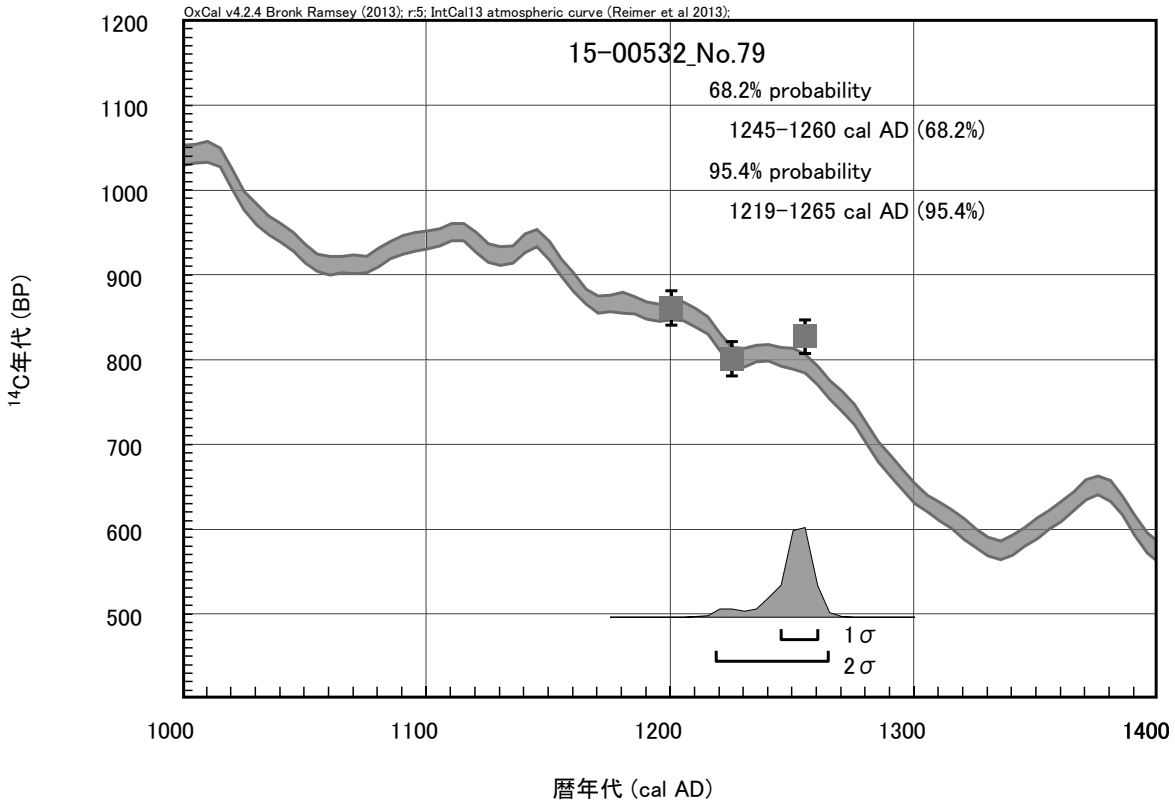
第152図　46 号掘立 P8　柱根（掲載№58）のウィグルマッチング結果



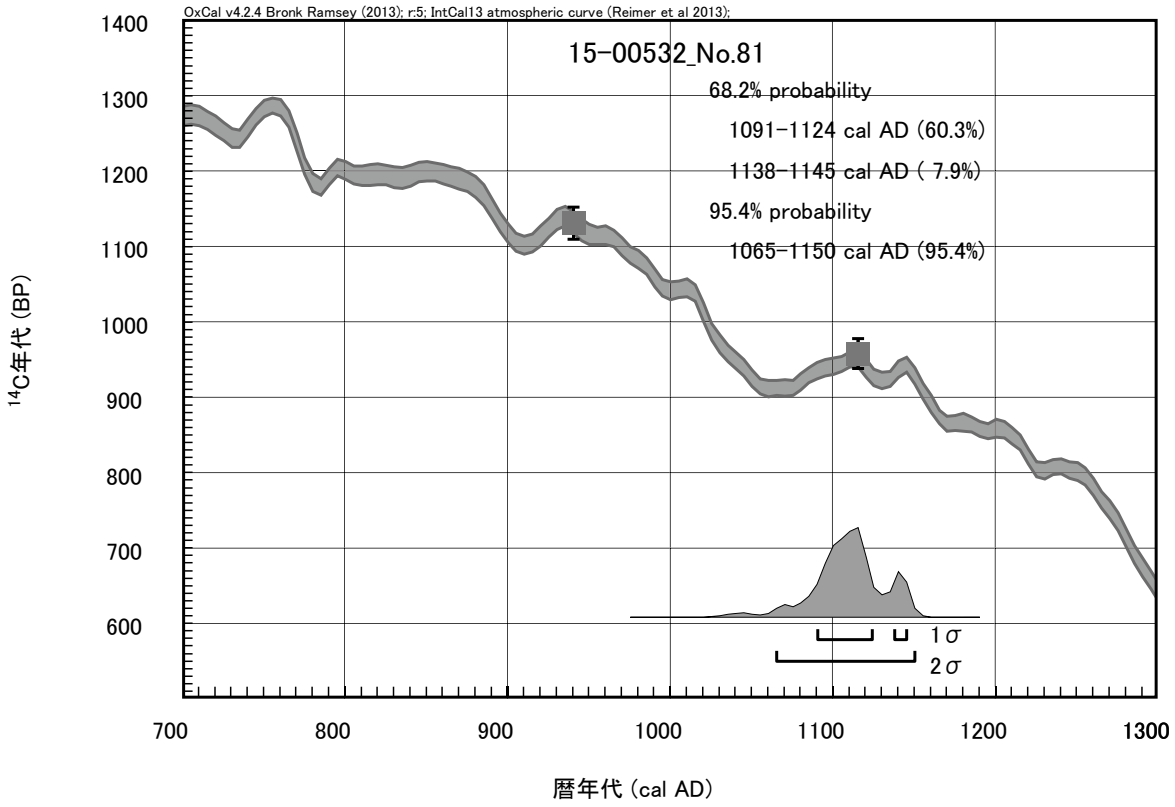
第153図　46 号掘立 P17　柱根（掲載№66）のウィグルマッチング結果



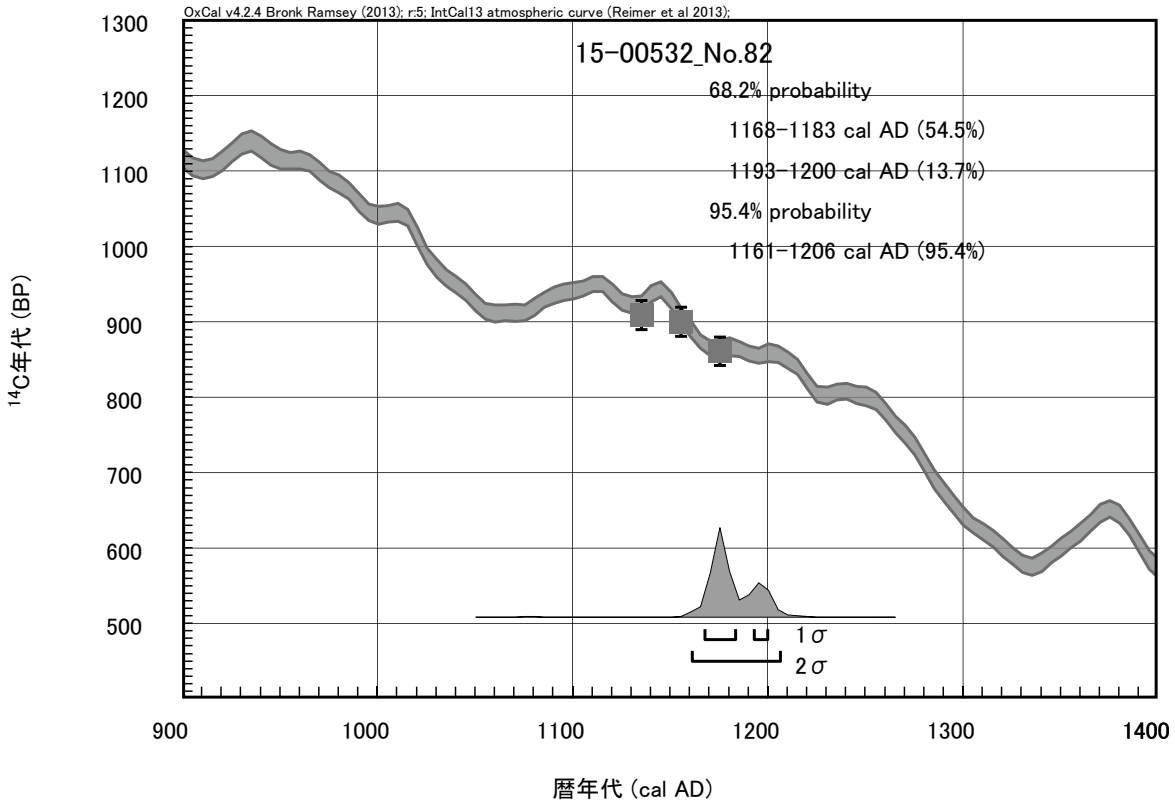
第154図　48 号掘立 P4　柱根（掲載№ 77）のウィグルマッチング結果



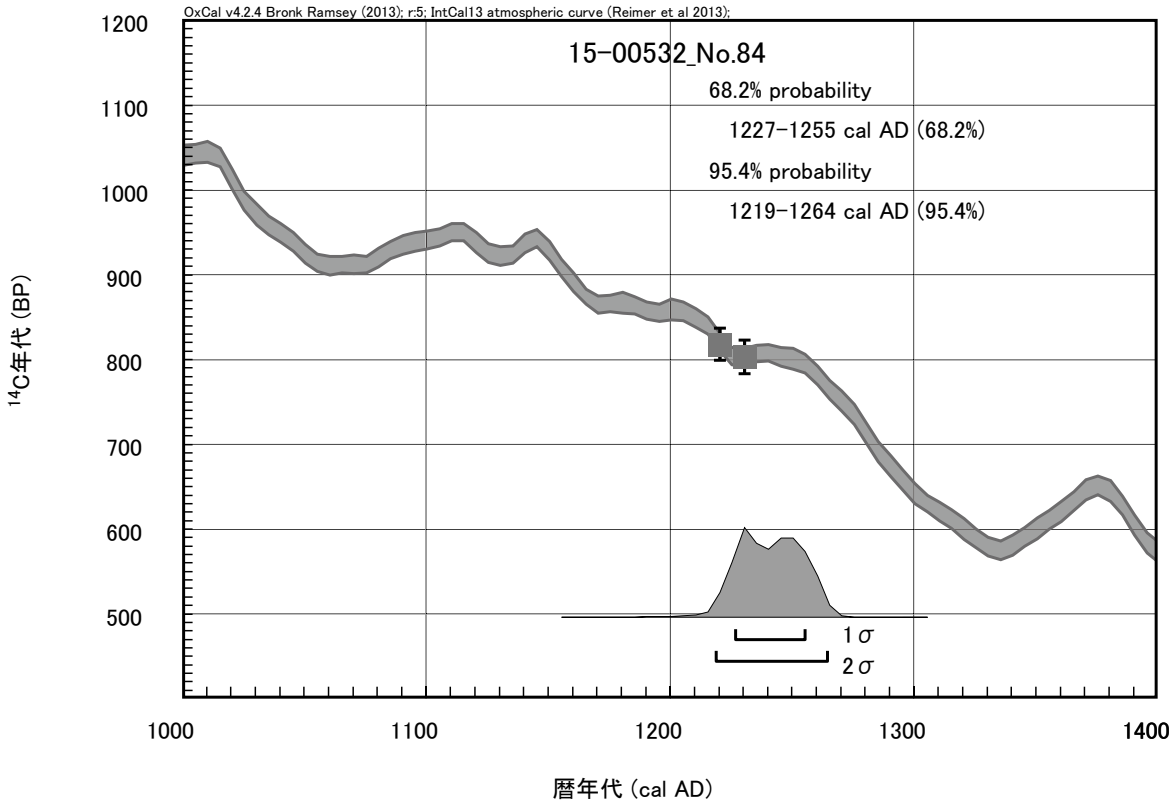
第155図　49 号掘立 P7　柱根（掲載№ 79）のウィグルマッチング結果



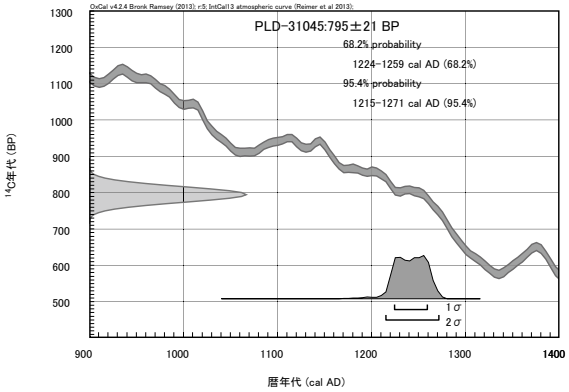
第156図　56 号掘立 P4　柱根（掲載№.81）のウィグルマッチング結果



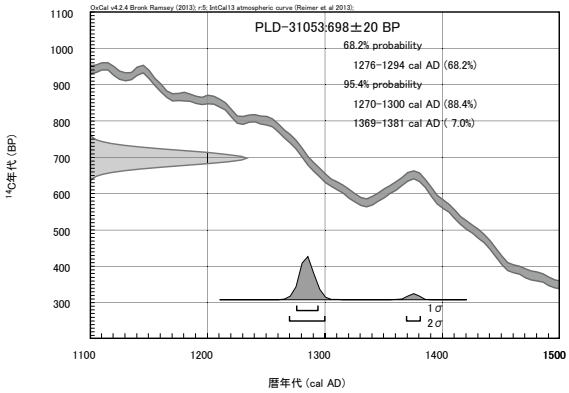
第157図　69 号掘立 P3　柱根（掲載№.82）のウィグルマッチング結果



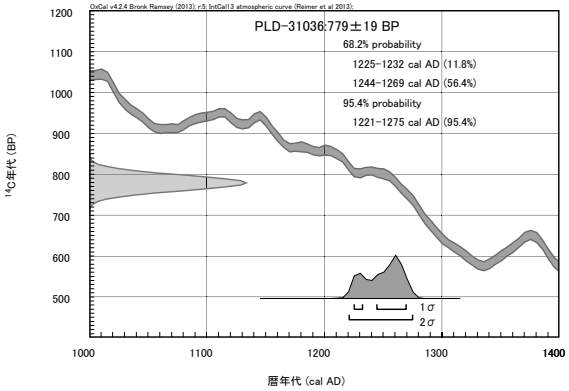
第158図　70 号掘立 P3　柱根（掲載№84）のウィグルマッチング結果



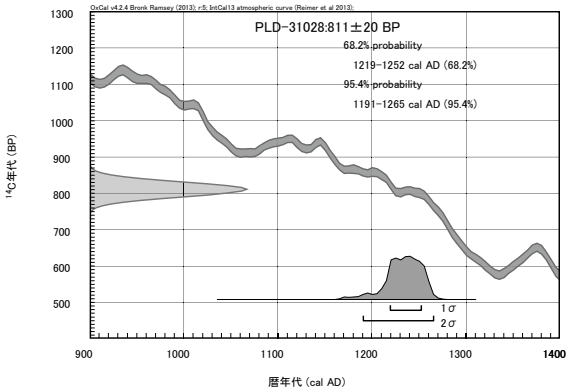
5 号掘立 P6　柱根（掲載№３）



19 号掘立 P1　柱根（掲載№12）

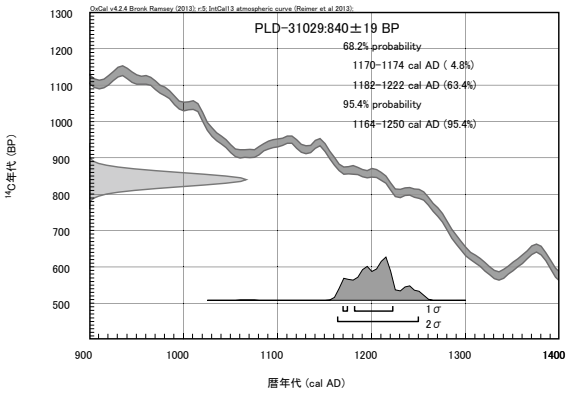


32 号掘立 P21　柱根（掲載№32）

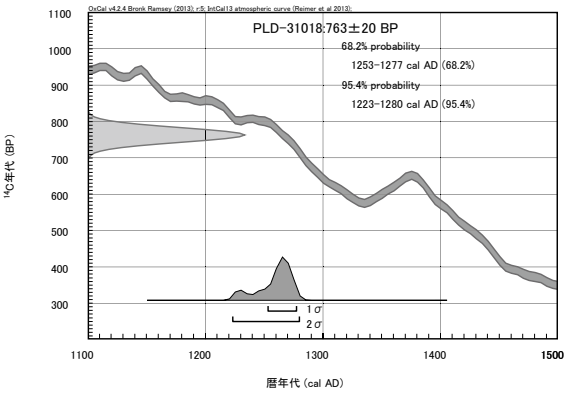


33 号掘立 P3　柱根（掲載№33）

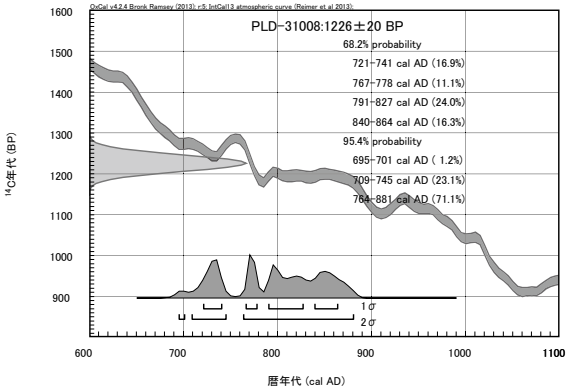
第159図　単体試料の暦年較正結果（１）



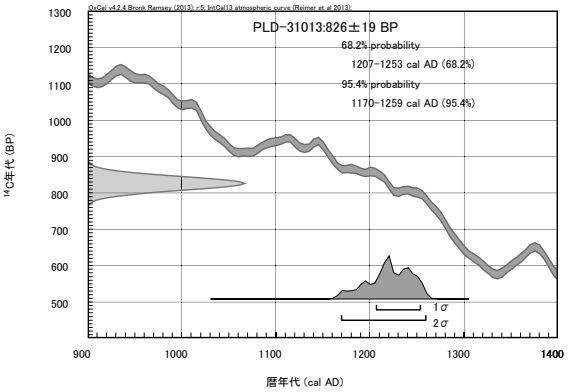
33 号掘立 P4　柱根（掲載№34）



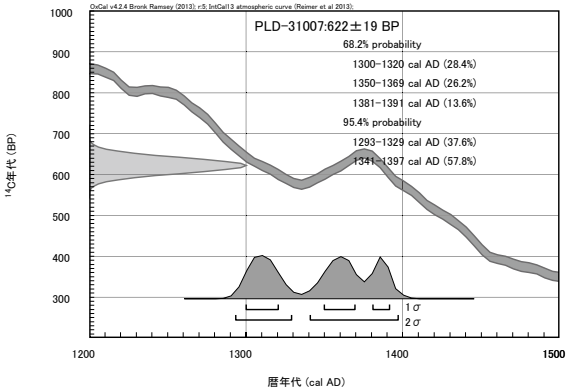
34 号掘立 P4　柱根（掲載№35）



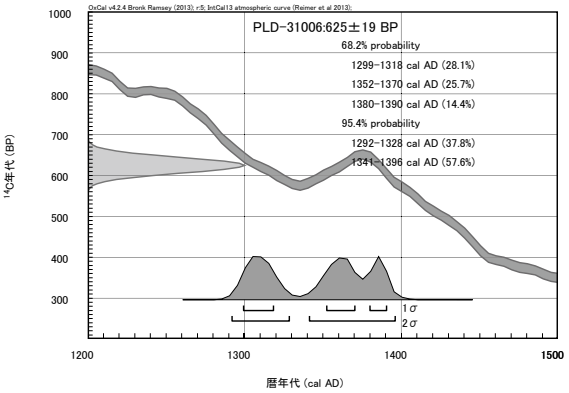
3 号井戸　桟木（掲載№122）



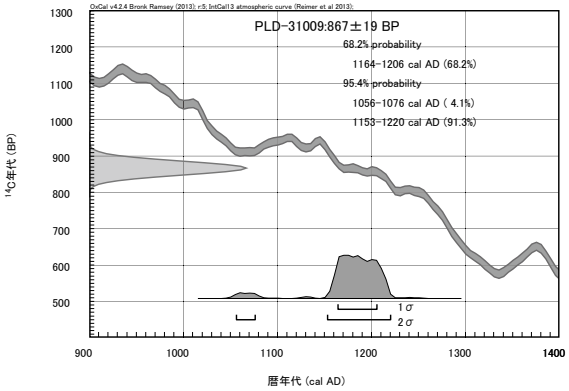
6 号井戸　縦板（掲載№152）



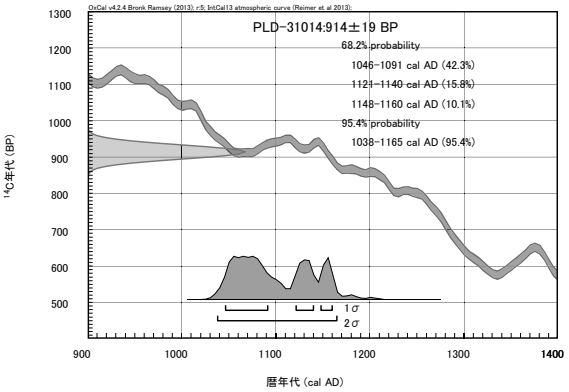
7 号井戸　隅柱（掲載№206）



13 号井戸　隅柱（掲載№306）

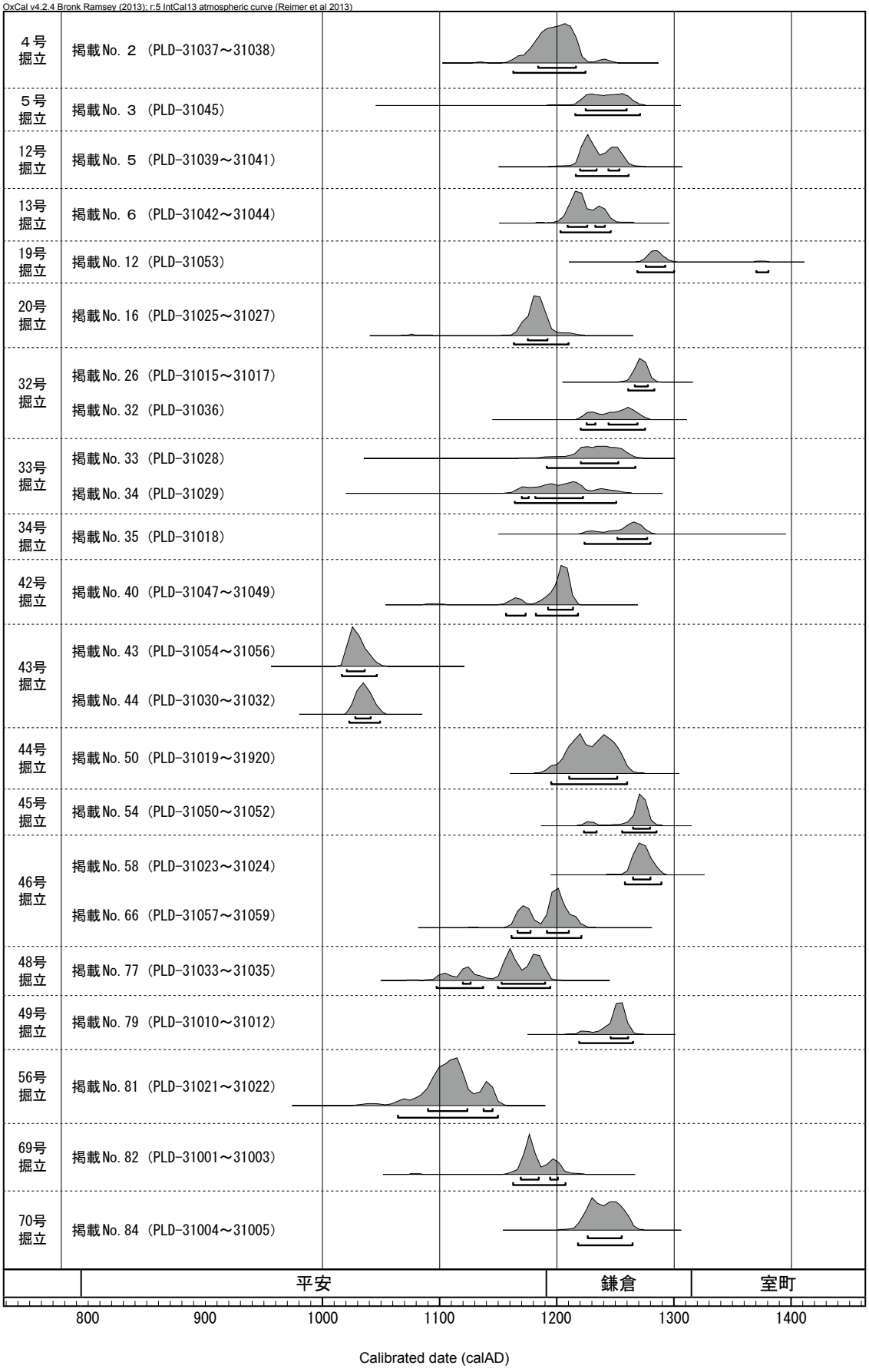


14 号井戸　隅柱（掲載№371）

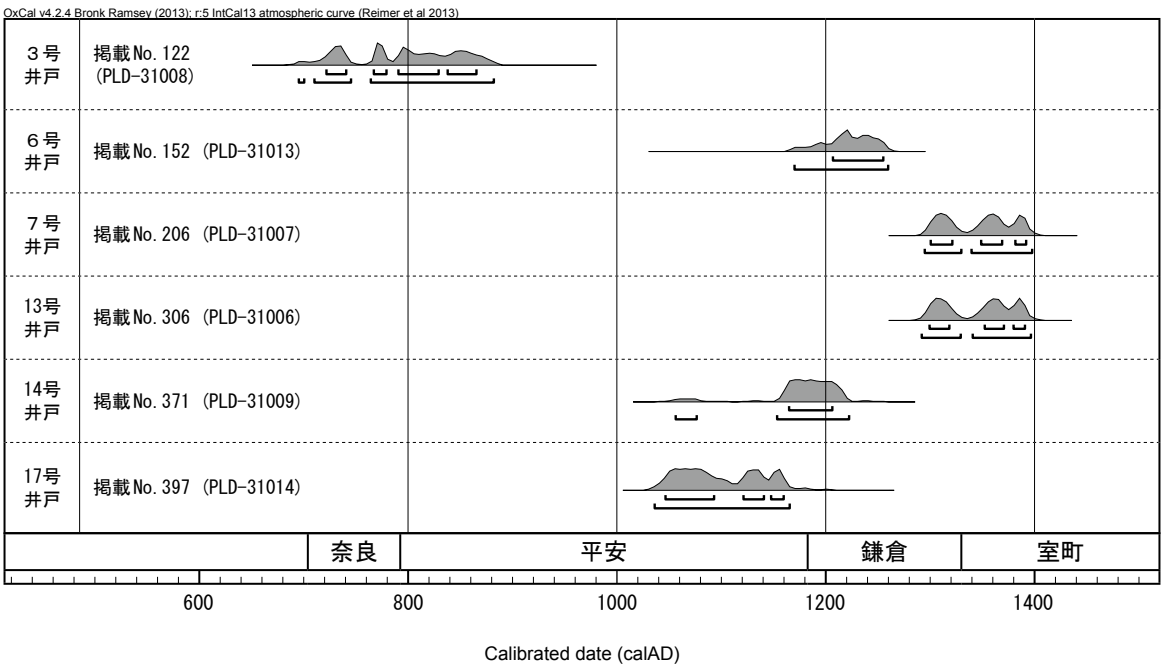


17 号井戸　桟木（掲載№397）

第160図　単体試料の暦年較正結果（２）



第161図　掘立柱建物のマルチプロット



第162図　井戸のマルチプロット図

4　住吉遺跡出土の掘立柱建物柱根および曲物井筒の年輪年代

廣野友哉・木村勝彦（福島大学）
中塚武（総合地球環境学研究所）

1　はじめに

住吉遺跡では，中世前期を中心とする多くの井戸跡や掘立柱建物跡が検出されている。井戸材や柱材は，地上部の木造構造物に比べて残りやすいため，年輪幅を用いた年輪年代法に利用されている（奈良国立文化財研究所 1990，光谷 2012，木村・荒木 2012 など）。さらに近年では，酸素同位体比を用いた年輪年代法が開発され（中塚 2012），年輪幅による年輪年代法では年代を決めることが出来なかった木材の年代決定も行われている（木村 2015，樋上ほか 2015 など）。本報告では，住吉遺跡から出土した曲物や柱根に対して，年輪幅と酸素同位体比による年輪年代法を用いることで年代決定を行い，構築年の推定を行った。

2　試料

調査対象は，９基の井戸から出土した曲物 11 点の側板 25 枚と，６棟の掘立柱建物跡から出土した柱根８点と礎板１点である（表 29）。曲物の側板および礎板は，現地でデジタルカメラを用いて撮影した画像をもとに年輪を計測した。撮影の際は，側線上に隣同士のコマが半分程度の重なりを持つようにして，スケールが分かるようにメジャーを写し込んだ。また，柱根からは現地で径 12㎜の成長錐を用いてコアサンプルを採取し，研究室へ持ち帰って分析した。

3　方法

持ち帰ったコアサンプルは，小口面を耐水サンドペーパー 240 番，400 番，800 番を粗いものから順次細かいものへ切り替えて流水下で研磨し，年輪界が明瞭に見えるようにした。研磨した試料は，フラットベッドスキャナ上に乗せ，ガラス面と研磨面の間を水で満たして解像度 2400dpi で画像を取り込んだ。

写真撮影画像およびスキャナ画像は，どちらもパソコン上で年輪計測ソフトを用いて，外側から１年ごとに年輪幅の計測を行った。

クロスデーティングには，「cross9」（Kimura 1995）を用いて，個体間および境塚遺跡の木材で構築された年輪幅標準変動パターン（木村・荒木 2012）と照合した。照合には，Baillie and Pilcher（1973）に倣って年輪パターンの標準化には５年移動平均法を用い，有意性の検討には student の t を用いた。

柱根のうち，年輪幅解析によって年代を決定することのできなかった６点は，年輪酸素同位体比分析を実施して暦年代決定を試みた。分析方法は Kagawa et al.(2015) に倣って行い，幅 10㎜，厚さ２㎜に切り出した薄板試料をテフロンパンチングシートに挟み込みセルロース抽出を行う「板ごと抽出法」でセルロース抽出を行った。抽出したセルロース試料を顕微鏡下で１年輪ごとに切り分け秤量をし，銀箔で梱包したものを，福島大学の環境放射能研究所に設置してある TCEA/DeltaV を用いて酸素同位体比分析を行った。

得られた酸素同位体比の変動パターンは，境塚遺跡出土木材の酸素同位体比変動パターン（木村 2016）とクロスデーティングを行い，暦年代決定を試みた。

４　結果

曲物の年代

曲物に使用されていた木材は全てスギ材で，年輪数は 50 年～250 年程度で比較的年輪数が多い木材が使用されていた。平均年輪幅は 0.7㎜～2.2㎜であり，成長の良いものは見られなかった（表 30)。

年輪幅による年輪年代学的分析で，曲物側板 25 点のうち 16 点の年代を決定することが出来た。なお，年代を決定できた 16 点のうち５点は，境塚マスタークロノロジーとは十分な相関が得られなかったものの，住吉遺跡の他個体との相関をもとに暦年代を決めることが出来た。曲物の年代は，井戸別の側板の最も新しい年代でみると 12 世紀初頭（14 号井戸）から 13 世紀半ば（８号井戸）となった（第 163 図)。

曲物側板の年輪を比較すると，いくつかの組み合わせで極めて類似した年輪パターンを示し，これらを同材と判断した。同材と判断したのは掲載№158 の側板１～３，掲載№207 の側板１～２である。さらに，掲載№86 の側板１～３と掲載№114 の側板１は，異なる井戸から出土した曲物ではあるが，非常に高い相関を示したため，同材を使用しているものと考えられる。なお，同材の判断に明確な基準は設けていないが，t 値の高さと長周期成分の同調性の高さで判断した。

柱根および礎板の年代

柱根および礎板の平均年輪幅は 0.62㎜～2.60㎜で，成長の良いものは見られなかった。また，年輪数は 62 年～195 年で，曲物よりはやや少なかった（表 30)。年輪幅による年輪年代解析で，柱根８点のうち２点と，礎板１点は暦年代を決定することが出来た。しかし，年輪数が 100 年以下のスギ材やクリ材は暦年代を決定することが出来なった。そこで酸素同位体比分析を行ったところ，クリを含む全ての柱根の暦年代を決定することが出来た（第 163 図)。

残存する表層の年代は，11 世紀半ばから 13 世紀末となった。46 号掘立柱建物のスギ２本とクリ１本の３本の柱根は，表層が 1290 年～1298 年となり年代が揃った。いずれも樹皮は残存しないが，成長錐試料であるために不明瞭ではあるものの，スギ２点には辺材が確認できるため，伐採年はほぼ 1300 年頃であると考えられる。

５　考察

住吉遺跡から出土した曲物側板 25 点，柱根８点，礎板１点の試料の年輪解析により，曲物側板 16 点と柱根８点，礎板１点の暦年代を決定することができた。曲物の年代は，側板の柾目面の撮影による年輪幅計測をもとにしており，不完全な計測や年輪幅による年輪年代法の限界もあって，100 年を超える側板を含む９点は年代が決まらなかった（表 30)。

一方で，柱根は成長錐による試料採取をしたため，酸素同位体比年輪年代法を併用することで全ての試料の年代が決定できた。この分析法は樹種を問わないため，クリ２点の年代が決まっただけでなく，53 年輪のみのスギの年代も決定できた。このように，酸素同位体比年輪年代法はある程度破壊的なサンプリングが必要になるものの，極めて強力な年代決定手法である。

参考文献

Baillie, M. & Pilcher, J. (1973) A simple cross-dating program for tree-ring research. Tree-Ring Bulletin, 33: 7-14.

樋上 昇, 中塚 武, 大石恭平 (2015) 稲沢市下津宿遺跡井戸枠の酸素同位体比年輪年代測定結果について. 愛知県埋文化財センター研究紀要, 16:49-68

Kagawa, A., Sano, M., Nakatuka, T., Ikeda, T. & Kubo, S., 2015. An optimized method for stable isotope analysis of tree rings by extracting cellulose directly from cross-sectional laths. Chemical Geology, 393-394:16-25

木村勝彦・荒木里菜 (2012) 境塚遺跡出土井戸材の年輪解析. 新潟県埋蔵文化財調査報告書, 232:90-96. 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団.

木村勝彦 (2016) 境塚遺跡出土木材の年輪年代. 新潟県埋蔵文化財調査報告書, 262:80-82. 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 .

木村勝彦・廣野友哉・佐野雅規・李貞・中塚武 (2018) 年輪酸素同位体比分析による境塚遺跡出土井戸材および自然木の暦年代決定. 新潟県埋蔵文化財調査報告書, 278:99-102. 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団.

光谷 拓実 (2012) 境塚遺跡出土の曲物 6 点の年輪年代. 新潟県埋蔵文化財調査報告書, 232:89-90.

奈良国立文化財研究所 (1990) 年輪に歴史を読む―日本における古年輪学の成立― 奈良国立文化財研究所学報告 (第 48 冊)

新潟県埋文化財調査事業団 (2012) 一般国道 49 号 阿賀野バイパス関係発掘調査報告書Ⅴ 境塚遺跡Ⅱ 新潟県埋蔵文化財調査報告書, 232

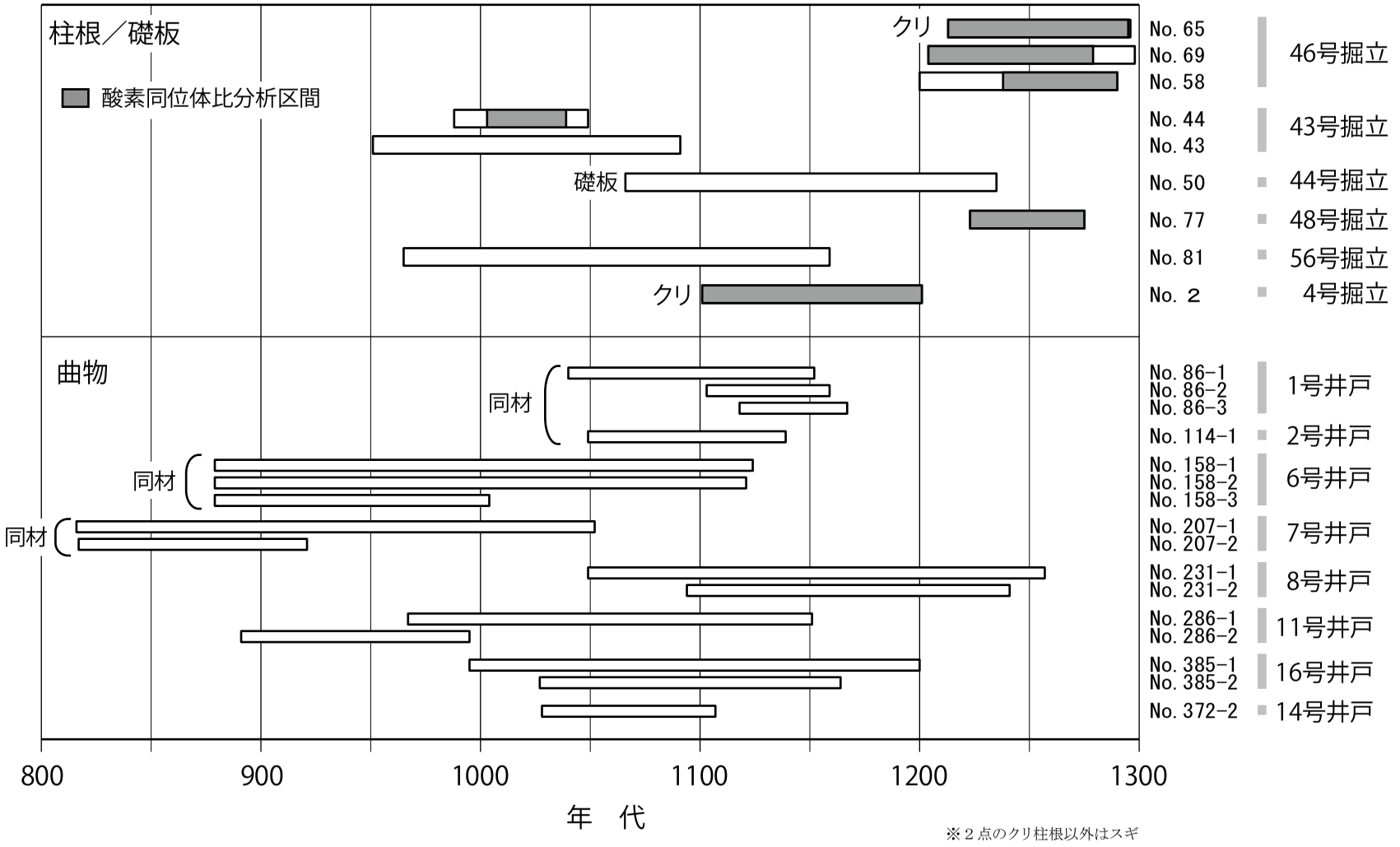
表29　年輪解析を実施した試料

遺構	掲載№	種別	測定側板数	樹種	測定方法
４号掘立	2	柱根		クリ	コアサンプル
43号掘立	43	柱根		スギ	コアサンプル
43号掘立	44	柱根		スギ	コアサンプル
44号掘立	50	礎板		スギ	撮影
46号掘立	65	柱根		クリ	コアサンプル
46号掘立	69	柱根		スギ	コアサンプル
46号掘立	58	柱根		スギ	コアサンプル
48号掘立	77	柱根		スギ	コアサンプル
56号掘立	81	柱根		スギ	コアサンプル
１号井戸	86	曲物	3	スギ	撮影
２号井戸	114	曲物	1	スギ	撮影
２号井戸	115	曲物	3	スギ	撮影
６号井戸	158	曲物	3	スギ	撮影
６号井戸	157	曲物	3	スギ	撮影
７号井戸	207	曲物	2	スギ	撮影
８号井戸	231	曲物	2	スギ	撮影
11号井戸	286	曲物	2	スギ	撮影
14号井戸	372	曲物	2	スギ	撮影
15号井戸	381	曲物	2	スギ	撮影
16号井戸	385	曲物	2	スギ	撮影

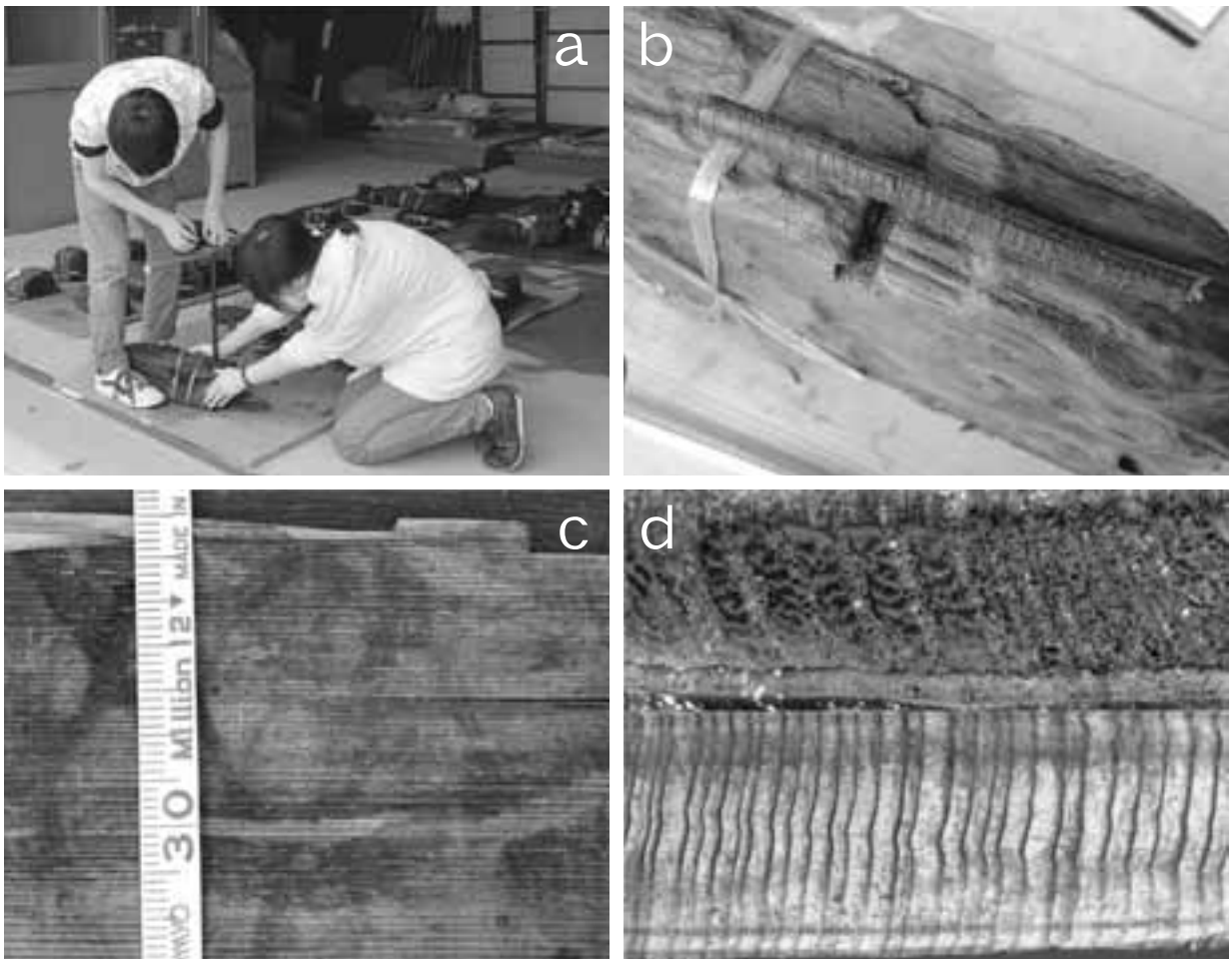
表30　試料の年輪解析結果

出土遺構	掲載№	種別	部位	樹種	年輪数	平均年輪幅（㎜）	マスタとの相関＊		表層の暦年代	
							r	t		
４号掘立	2	柱根		クリ	101	1.38	0.551	6.52	1201	
43号掘立	43	柱根		スギ	141	1.16	0.29	3.59	1091	
43号掘立	44	柱根		スギ	62	2.60	0.762	7.07	1048	
44号掘立	50	礎板		スギ	170	1.47	0.39	5.54	1235	
46号掘立	65	柱根		クリ	84	1.15	0.548	5.90	1296	
46号掘立	69	柱根		スギ	95	1.35	0.767	10.20	1298	
46号掘立	58	柱根		スギ	92	1.67	0.823	10.36	1290	
48号掘立	77	柱根		スギ	53	1.96	0.731	7.65	1178	
56号掘立	81	柱根		スギ	195	0.62	0.46	7.10	1159	
１号井戸	86	曲物	側板１	スギ	113	1.57	0.41	4.71	1152	↑
			側板２	スギ	57	1.41	0.45	3.69	1159	86　同材
			側板３	スギ	50	1.51	0.40	2.99	1167	↓
２号井戸	114	曲物	側板１	スギ	91	1.65	0.41	4.24	1139	↓
２号井戸	115	曲物	側板１	スギ	114	1.47				
			側板２	スギ	58	2.19				
			側板３	スギ	54	1.25				
６号井戸	158	曲物	側板１	スギ	246	0.70	0.31	5.03	1124	↑
			側板２	スギ	243	0.71	0.37	6.14	1121	158 同材
			側板３	スギ	126	0.82	0.24	2.72	1004	↓
６号井戸	157	曲物	側板１	スギ	131	1.92				
			側板２	スギ	65	2.14				
			側板３	スギ	46	2.28				
７号井戸	207	曲物	側板１	スギ	237	1.32	0.28	4.19	1052	↑
			側板２	スギ	105	1.42	0.22	1.99	921	↓ 207 同材
８号井戸	231	曲物	側板１	スギ	209	1.26	0.48	7.96	1257	
			側板２	スギ	148	0.79	0.30	4.08	1241	
11号井戸	286	曲物	側板１	スギ	185	1.69	0.36	5.28	1151	
			側板２	スギ	105	2.01	0.30	2.73	995	
14号井戸	372	曲物	側板１	スギ	120	1.25				
			側板２	スギ	80	1.11	0.29	1.98	1107	
15号井戸	381	曲物	側板１	スギ	148	1.39				
			側板２	スギ	114	1.22				
16号井戸	385	曲物	側板１	スギ	206	1.15	0.39	6.07	1200	
			側板２	スギ	138	1.25	0.25	3.06	1164	

＊ 網掛けは年輪酸素同位体比での相関，他は年輪幅での相関



第163図　暦年代の確定した出土木材の年代



a　柱根からの成長錘によるコア試料採取

b　採取されたコア試料

c　曲物側板の撮影画像

d　コア試料のスキャン画像

第164図　分析試料

要　約

1　住吉遺跡は，新潟県新発田市中島字住吉 108 番地ほかに所在する。加治川右岸の沖積低地に位置しており，旧紫雲寺潟（塩津潟）の潟端にある標高約 4.5ｍの微高地に立地する。

2　調査は，県営ほ場整備事業（紫雲寺２期地区）に伴って，試掘調査を平成 23 年 10～11 月，本発掘調査を平成 24 年 10～12 月と平成 25 年５～12 月まで実施した。本発掘調査の調査面積は，合計 3,126㎡である。

3　調査の結果，本遺跡は集落跡であることが明らかとなった。営まれた時期は，出土遺物から，中世前期（12 世紀後半～14 世紀）と考えられる。

4　検出した遺構は，掘立柱建物 73 棟，柵１列，井戸 25 基，土坑 120 基以上，溝 90 条以上，杭列４列，流路１本のほか，小ピット多数である。掘立柱建物と柵については，整理作業時に検討・復元したものである。

5　掘立柱建物，井戸，土坑は，調査区中央部の，北東から南西方向に延びる微高地から集中して検出された。なお，微高地はその周縁と内部を溝によって区画されている。

6　検出した掘立柱建物は，１間×１間のような規模の小さい建物を除けば，建物の主軸方向とその配置から，複数のグループに大きく分けられる。ただし，グループ内での新旧関係やグループ間の関係性については，今後の検討課題である。

7　検出した井戸は，平面プランが円形，楕円形，方形である。井戸枠は，縦板と桟木・隅柱で構築するものと縦板と曲物で構築するものが認められる。曲物または桟木・隅柱しか検出されなかった井戸枠は，縦板が抜かれたものと推定される。なお，出土した縦板の中から，丸木舟を転用したものが１点確認されている。

8　出土した遺物の種別は，土師質土器，陶磁器，瓦器，土製品，石製品，金属製品，鍛冶関連遺物，木製品である。そのうち，木製品を除いて，最も出土量が多かったものは土師質土器である。

9　土師質土器は，手づくね成形とロクロ成形のものが出土している。出土量は後者の方が多い。ロクロ成形の底部切り離し技法は，回転ヘラ切り，回転糸切りのほかに，わずかだが静止糸切りも確認された。また，底部外面の板状圧痕は，手づくね・ロクロ成形の両者で認められる。器種は，小皿と皿が多い。特徴的なものとして，内折れの小皿や有台埦，ミニチュアの羽釜のほか，線刻や穿孔のあるものが出土している。

10　磁器は，多くが破片資料である。出土した種別は，青磁，白磁，青白磁で，器種は碗が最も多い。特徴的なものとして，青白磁の梅瓶が出土している。

11　土製品は，土錘と焼成粘土塊が出土している。石製品は砥石が主体で，そのほかに石鉢，浮子，硯などが出土した。土錘と浮子は，漁業関連の遺物として注目される。金属製品は出土量が少なく，刀子や金具などが認められた。鍛冶関連遺物としては，羽口と鉄滓が出土している。

12　調査区は，地下水位が高かったため，多量の木製品が良好な遺存状態で出土した。その内容は，柱根や礎板といった掘立柱建物の建築部材や，縦板，桟木，曲物などの井戸構築部材が主体であるが，漆器の椀，箸などの食膳具や，斎串，舟形木製品といった祭祀具，木簡なども出土している。

13　自然科学分析では，木製品の樹種同定，遺構埋土の土壌分析，出土種実と骨片の同定を実施したほか，柱根や礎板，曲物などの木製品について放射性炭素年代測定と年輪年代法による分析を行い，その年代の把握を試みた。年輪年代法は，年輪幅解析と酸素同位体比分析を用いた。

14　自然科学分析の結果，種実ではオニグルミ，モモ，トチノキ，キカラスウリが，骨片では魚類とブリ属が確認された。木製品の年代については，７世紀末～９世紀後半と 11 世紀前半～14 世紀末という結果が得られたが，出土陶磁器類の年代観と一部乖離が認められる。古材を転用した可能性も含め，今後の検討課題である。

引用・参考文献

相田泰臣ほか　2015『大沢谷内遺跡Ⅳ　第 19・20・21 次調査』新潟市教育委員会・新潟市文化財センター

荒川隆史ほか　2012『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 232 集　境塚遺跡』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

2016『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 262 集　境塚遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

2018『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 278 集　境塚遺跡Ⅲ』新潟県教育委員会・（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

伊藤喜代子ほか　2006『新発田市埋蔵文化財調査報告第 31 太田遺跡・箱館跡発掘調査報告書』新発田市教育委員会

2008『新発田市埋蔵文化財調査報告第 37 加治天王前遺跡発掘調査報告書』新発田市教育委員会

小野正敏ほか　2001『図解・日本の中世遺跡』（財）東京大学出版会

春日真実ほか　2015『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 254 集　箕輪遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

加藤　学ほか　2014『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 247 集　小船渡遺跡』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

鐘方正樹　2003『ものが語る歴史シリーズ⑧ 井戸の考古学』（株）同成社

川上貞夫･伊藤敦　1984『加治川村文化財調査報告（２）小島西遺跡』加治川村教育委員会

坂野井絵里ほか　2005『紫雲寺町埋蔵文化財調査報告書第４集　デト山遺跡発掘調査報告書』紫雲寺町教育委員会

佐藤友子ほか　2006『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 164 集　野中土手付遺跡・砂山中道下遺跡』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

高橋　保ほか　2006『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 157 集　住吉遺跡』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

高濱信行･卜部厚志　2004『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 133 集　青田遺跡　関連諸科学・写真図版編』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

東北中世考古学会　2001『掘立と竪穴－中世遺構論の課題－』高志書院

土橋由理子ほか　2011『新潟県埋蔵文化財調査報告書第 221 集　古渡呂遺跡』新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

新潟県　1983『新潟県史 資料編４ 中世二 文書編Ⅱ』

藤澤良祐　2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院

水澤幸一　2006『日本の遺跡 15　奥山荘城館遺跡』（株）同成社

2018「加地荘加地領の中世遺物」『新潟考古』第 29 号　新潟県考古学会

宮内信雄ほか　2002『紫雲寺町埋蔵文化財調査報告書第１集　二ツ割遺跡、中住吉遺跡発掘調査概要報告書』紫雲寺町教育委員会

2004『紫雲寺町埋蔵文化財調査報告書第３集　二ツ割遺跡、中住吉遺跡発掘調査報告書Ⅱ』紫雲寺町教育委員会

吉岡康暢　1994『中世須恵器の研究』吉川弘文館

遺物観察表

※計測値の（ ）は復元値，＜ ＞は残存値を表す。

土師質土器

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
	1	8号掘立P2	Qp1-4		土師質土器	小皿	(8.2)	1.8	(6.0)	1/3	灰白色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	2	15号掘立P3	Oq3-5		土師質土器	皿	(13.6)	2.3	(9.0)	1/8	灰白色	良	石英やや多，長石・雲母微	ロクロ成形	
	3	16号掘立P5	Pq1-5		土師質土器	皿	(12.1)	2.6	(9.4)	1/5	にぶい橙色	良	雲母極多，長石やや多，赤色粒・石英微	ロクロ成形	
	4	16号掘立P11	Or4-1		土師質土器	皿	－	〈1.7〉	(8.8)	体部下半～底部1/9	浅黄橙色	やや軟	長石少・石英微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	5	17号掘立P4	Or5-1		土師質土器	小皿	(8.6)	1.3	(6.1)	1/8	灰白色	良	白色針状物やや多，石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	6	21号掘立P5	Pq4-2		土師質土器	小皿	(9.2)	1.2	(7.2)	1/6	にぶい黄橙色	良	雲母多，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	7	29号掘立P2	Pq2-5		土師質土器	皿	(12.0)	1.3	(9.9)	1/5	灰白色	良	赤色粒微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	8	32号掘立P4	Pq4-2		土師質土器	小皿	(9.4)	1.4	(7.4)	1/16	黒褐色	良	緻密，白色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	9	33号掘立P9	Pq2-3		土師質土器	皿	(12.8)	1.9	(7.6)	1/6	灰白色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	10	42号掘立P5	Os5-1		土師質土器	小皿	－	〈1.5〉	(7.0)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	11	43号掘立P3	Pr1-2		土師質土器	皿	(11.6)	2.0	(8.1)	1/7	灰白色	良	石英少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面板状圧痕	
	12	43号掘立P6	Pr2-4		土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(9.6)	体部下部～底部1/4	黒褐色	硬質	緻密	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内外面煤付着
	13	43号掘立P10	Pq5-2		土師質土器	皿	(10.4)	1.1	(8.6)	1/10	灰黄褐色	良	緻密，石英・長石微	ロクロ成形	内面煤付着
	14	43号掘立P16	Pr1-4		土師質土器	小皿	(8.1)	1.0	(5.8)	1/7	浅黄橙色	良	石英・白色針状物少，雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	15	43号掘立P28	Pr3-5		土師質土器	小皿	(8.4)	1.7	(6.9)	1/5	橙色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
56	16	44号掘立P2	Or5-2		土師質土器	坏	－	1.4	(8.6)	体部下部～底部5/8	灰白色	やや軟	赤色粒多，石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	17	44号掘立P3	Pr1-2		土師質土器	小皿	(8.0)	1.3	(6.6)	1/8	灰白色	やや軟	赤色粒やや多，石英微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	18	44号掘立P8	Ps1-1		土師質土器	小皿	(6.3)	1.0	(4.6)	1/8	灰白色	良	雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	19	44号掘立P10	Or5-4		土師質土器	皿	－	〈1.3〉	(8.1)	体部下部～底部1/6	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石少	ロクロ成形	
	20	44号掘立P11	Pr1-4		土師質土器	皿	11.8	2.7	7.4	3/4	灰白色	良	石英・長石少，雲母微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	内面墨痕
	21	46号掘立P1	Or4-3		土師質土器	小皿	(9.2)	1.5	(7.8)	1/3	にぶい橙色	良	赤色粒・雲母多，石英・長石やや多，小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	22	46号掘立P1	Or4-3		土師質土器	皿	(13.0)	2.7	(8.6)	1/5	灰黄褐色	良	雲母多，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	23	46号掘立P8	Ps4-1		土師質土器	坏	－	〈2.0〉	(9.0)	体部下半～底部1/3	にぶい橙色	良	石英・長石少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	24	46号掘立P16	Or5-5		土師質土器	小皿	(6.6)	1.1	(5.0)	1/4	浅黄橙色	やや軟	赤色粒やや多	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	25	46号掘立P16	Pr1-5		土師質土器	小皿	(7.4)	1.1	(5.6)	1/5	灰白色	やや軟	赤色粒少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	26	46号掘立P25	Pr3-3		土師質土器	坏	(11.6)	2.9	(8.0)	1/10	浅黄橙色	良	石英やや多，長石・雲母少	ロクロ成形	
	27	47号掘立P2	Or5-3		土師質土器	小皿	(7.8)	1.0	(5.6)	1/8	灰白色	良	石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	28	47号掘立P2	Pr1-3		土師質土器	皿	(10.0)	1.7	(7.8)	1/10	浅黄橙色	良	雲母多，石英・長石少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	29	47号掘立P16	Pr4-4		土師質土器	皿	－	〈1.0〉	(8.0)	体部下部～底部1/6	にぶい黄橙色	良	白色針状物少，石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	30	48号掘立P6	Ps3-2		土師質土器	小皿	(8.4)	1.3	(6.4)	1/8	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	31	71号掘立P3	Qs4-4		土師質土器	坏	(12.6)	〈1.9〉	－	口縁部～体部上半1/6	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	32	71号掘立P3	Qs4-4		土師質土器	皿	－	〈1.3〉	(7.6)	体部下部～底部1/4	にぶい橙色	良	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，体部外面下端未調整，底部外面板状圧痕	
57	33	4号井戸	Oq4-2		土師質土器	小皿	(9.6)	1.4	(7.6)	1/8	灰白色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石・雲母微	ロクロ成形	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
57	34	6号井戸	Nq5-4	3層	土師質土器	小皿	(7.1)	1.6	(5.0)	1/3	にぶい橙色	良	赤色粒・雲母多，石英やや多，長石少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	35	6号井戸	Nq5-5	3層	土師質土器	小皿	(8.8)	1.0	(7.8)	1/6	灰黄褐色	良	白色針状物多	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	36	6号井戸	Nq5-5	4層	土師質土器	小皿	(8.5)	1.4	(6.0)	1/6	にぶい黄橙色	良	石英少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	37	6号井戸	Nq5-5	4層	土師質土器	坏	(11.4)	3.3	7.4	2/3	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	38	7号井戸	Or2-1	1層	土師質土器	小皿	7.4	1.5	6.5	完形	にぶい黄橙色	良	白色針状物少，赤色粒・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	内面煤付着
	39	7号井戸	Or1-2	9層	土師質土器	小皿	(8.4)	〈1.2〉	(6.0)	1/4	灰黄褐色	良	白色針状物多，赤色粒少	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	
	40	7号井戸	Or2-2	1層	土師質土器	坏	-	〈2.1〉	(8.2)	体部下半～底部3/5	灰黄褐色	良	石英・雲母少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	41	7号井戸	Or1-1	1層	土師質土器	小皿	(9.0)	〈1.6〉	(7.0)	口縁部～体部1/3	にぶい橙色	良	赤色粒少，白色針状物少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	42	8号井戸	Or2-2	30層	土師質土器	皿	(11.8)	2.4	(9.3)	1/4	灰白色	良	石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	43	9号井戸	Or3-2	26層	土師質土器	小皿	(8.0)	〈1.6〉	(5.8)	1/8	にぶい橙色	やや軟	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	44	9号井戸	Or3-2	26層	土師質土器	坏	(12.0)	〈3.1〉	-	口縁部～体部1/4	にぶい黄橙色	良	白色針状物多，赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形	
	45	9号井戸	Or3-2	28層	土師質土器	皿	-	〈1.4〉	(7.6)	体部下半～底部1/5	浅黄橙色	やや軟	赤色粒多，石英・長石微	ロクロ成形	
	46	10号井戸	Or3-3	13層	土師質土器	小皿	(9.8)	1.6	(6.6)	1/4	灰黄褐色	良	白色針状物多，雲母微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	
	47	10号井戸	Or4-3	13層	土師質土器	小皿	-	〈0.9〉	(7.0)	体部下部～底部1/4	橙色	良	石英・長石微	ロクロ成形	
	48	11号井戸	Or3-3	1層	土師質土器	皿	(14.0)	〈2.7〉	-	口縁部～体部1/8	にぶい黄橙色	硬質	緻密，長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	内外面煤付着
	49	13号井戸	Or2-3	1層	土師質土器	坏	-	〈2.5〉	(7.5)	1/2	にぶい橙色	良	赤色粒極多，石英・長石少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	50	14号井戸	Or2-5		土師質土器	小皿	(8.4)	〈1.7〉	(6.4)	1/6	にぶい黄橙色	良	石英・雲母少，長石微	ロクロ成形	
	51	14号井戸	Or2-4	5層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.7	(5.8)	1/6	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形	
	52	14号井戸	Or2-4・Or2-5	1層	土師質土器	小皿	(8.6)	1.5	6.8	2/3	灰白色	良	赤色粒・石英・長石少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	53	14号井戸	Or2-5	1層	土師質土器	皿	(11.6)	2.2	(8.0)	1/4	灰白色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	54	14号井戸	Or2-5		土師質土器	坏	(12.1)	3.1	(8.0)	1/3	浅黄橙色	良	石英やや多，長石少	ロクロ成形	
	55	14号井戸	Or2-4	5層	土師質土器	皿	-	〈0.9〉	(8.4)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	やや軟	石英少，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	56	15号井戸	Or4-4	8層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.1	(5.9)	1/10	にぶい黄橙色	良	雲母多，長石少，石英微	ロクロ成形	
	57	15号井戸	Or4-4	1層	土師質土器	坏	-	〈2.6〉	(7.2)	体部下半～底部1/8	にぶい橙色	良	赤色粒少，石英・白色針状物微	ロクロ成形	
	58	16号井戸	Or1-5	1層	土師質土器	皿	-	〈1.7〉	(8.0)	体部下半～底部1/5	灰黄褐色	良	石英少，雲母微	ロクロ成形	
	59	16号井戸	Os1-1・Or1-5	1・2層	土師質土器	皿	-	〈1.1〉	(7.6)	体部下部～底部 1/6	にぶい橙色	良	石英・長石やや多，赤色粒少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
58	60	21号井戸	Qs5-4	7層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.1	(6.0)	1/4	灰白色	良	雲母やや多，赤色粒・白色粒・石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	61	21号井戸	Qs5-4	7層	土師質土器	坏	12.8	2.8	10.1	2/3	にぶい黄橙色	良	雲母多，石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内面煤付着
	62	22号井戸	Qs1-5	1層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.1	(5.8)	1/16	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	63	22号井戸	Qs1-5	5層	土師質土器	坏	-	〈1.8〉	(8.2)	体部下部～底部1/3	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面静止糸切り→周縁ナデ	
	64	2号土坑	Lr4-2	1層	土師質土器	皿	(13.0)	1.6	(10.2)	1/9	灰白色	良	雲母少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	65	2号土坑	Lr3-2・Lr4-2・Mr3-2	1層	土師質土器	皿	(14.4)	2.9	(10.0)	1/3	灰黄褐色	良	石英少，赤色粒・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	内面煤付着
	66	9号土坑	Oo4-2		土師質土器	小皿	(9.1)	1.2	(6.8)	1/8	灰白色	良	雲母少，石英・長石微	ロクロ成形	
	67	12号土坑	Op5-1		土師質土器	小皿	(8.0)	1.1	(6.2)	1/6	にぶい橙色	良	赤色粒・石英・長石少	ロクロ成形	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
58	68	15号土坑	0p2-4	4層	土師質土器	小皿	(7.7)	1.3	(5.2)	1/8	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	69	15号土坑	0p2-4	3層	土師質土器	坏	(7.4)	2.4	(5.4)	1/3	にぶい黄橙色	良	雲母極多，赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	70	15号土坑	0p2-4	4層	土師質土器	小皿	-	〈0.5〉	(6.8)	底部1/6	にぶい黄橙色	良	石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切りか	
	71	20号土坑	0q4-2		土師質土器	皿	-	〈1.5〉	(6.8)	体部下部～底部1/5	灰白色	やや軟	白色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	72	21号土坑	0q5-1		土師質土器	小皿	-	〈0.7〉	(7.0)	体部下部～底部1/16	にぶい橙色	良	石英やや多，赤色粒少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	73	22号土坑	Pq4-2		土師質土器	小皿	(9.8)	1.7	(7.4)	1/4	橙色	硬質	雲母多，石英少，白色粒微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	
	74	25号土坑	Pq5-2	1層	土師質土器	小皿	(7.1)	1.5	(6.2)	2/5	灰白色	やや軟	石英少，長石・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	75	25号土坑	Pq5-2		土師質土器	皿	(12.0)	2.0	(10.3)	1/4	にぶい黄橙色	良	雲母多，長石少，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	76	25号土坑	Pq5-2	1層	土師質土器	皿	(13.0)	2.5	(8.6)	2/5	にぶい黄橙色	良	長石少，赤色粒・白色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	77	23号土坑	Pq3-2	2層	土師質土器	小皿	(9.0)	1.3	(7.6)	1/4	浅黄橙色	良	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	内面煤付着
	78	26号土坑	Qp3-5		土師質土器	小皿	(7.6)	1.4	(5.4)	1/6	灰白色	良	長石少，石英・雲母微	ロクロ成形，強いナデで体部外面下端に段を作り出す	
	79	26号土坑	Qq3-1		土師質土器	小皿	(7.8)	1.6	(6.0)	1/5	浅黄橙色	良	長石少，赤色粒・石英微	ロクロ成形	
	80	26号土坑	Qp3-5	1層	土師質土器	小皿	8.2	1.4	6.7	完形	灰白色	良	石英少，長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	81	26号土坑	Qp3-5		土師質土器	小皿	(9.0)	1.3	(6.8)	1/9	淡橙色	良	赤色粒微，長石微	ロクロ成形	
	82	26号土坑	Qp3-5	1層	土師質土器	小皿	8.0	1.6	5.8	完形	にぶい黄橙色	良	白色針状物やや多，雲母少，石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	83	26号土坑	Qp3-5	1層	土師質土器	坏	(12.5)	3.0	(9.0)	1/3	にぶい橙色	良	雲母やや多，長石少，石英微	ロクロ成形	
	84	26号土坑	Qp3-5		土師質土器	皿	-	〈0.9〉	(8.6)	体部下部～底部1/6	灰白色	良	石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	85	26号土坑	Qp3-5		土師質土器	皿	-	〈1.0〉	(8.7)	体部下部～底部1/10	灰白色	良	石英多，長石少	ロクロ成形	
	86	26号土坑	Qp3-5		土師質土器	皿	-	〈1.1〉	(9.4)	体部下部～底部1/4	灰白色	良	石英・長石少，白色粒微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	87	28号土坑	0q4-3		土師質土器	皿	-	〈1.6〉	(7.2)	体部下部～底部1/8	灰白色	やや軟	石英やや多，長石少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	88	28号土坑	0q4-3		土師質土器	小皿	(8.8)	1.2	(6.4)	1/5	灰白色	やや軟	赤色粒やや多，石英・長石微	ロクロ成形	
	89	28号土坑	0q4-3		土師質土器	小皿	-	〈0.8〉	(6.0)	底部1/2	灰白色	やや軟	赤色粒多，石英やや多，長石微	ロクロ成形	
59	90	29号土坑	0q4-4	4層	土師質土器	皿	(13.2)	2.8	(9.2)	1/16	灰黄褐色	硬質	緻密，雲母微	ロクロ成形，底部外面周縁手持ちヘラケズリ	
	91	29号土坑	0q4-4		土師質土器	皿	(12.4)	2.7	(9.4)	1/8	にぶい黄橙色	良	石英やや多，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	92	32号土坑	0q3-3	2層	土師質土器	皿	-	〈0.9〉	(8.0)	1/8弱	にぶい黄橙色	良	赤色粒少，白色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	内面黒色
	93	33号土坑	Qq3-4		土師質土器	小皿	(7.7)	1.2	(6.9)	1/3	灰白色	良	白色針状物やや多，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	94	34号土坑	Pq1-5	2層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.3	(5.6)	1/4	灰白色	良	赤色粒・石英やや多，長石微	ロクロ成形	
	95	41号土坑	0r1-1	3層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.6	(6.6)	1/3	灰黄褐色	良	赤色粒・石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	96	41号土坑	0r1-1	3層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.3	(6.0)	1/5	浅黄橙色	良	石英・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	97	41号土坑	0r1-1	3層	土師質土器	小皿	(8.0)	2.1	(6.4)	3/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒少，白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	98	41号土坑	0r1-2	1・3層	土師質土器	皿	(14.1)	2.7	(9.3)	1/14	にぶい橙色	良	雲母多，石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切りか	
	99	47号土坑	Pr1-3		土師質土器	小皿	(8.6)	1.0	(6.2)	1/8	にぶい黄橙色	良	石英・長石少	ロクロ成形	
	100	47号土坑	Pr1-3	3層	土師質土器	皿	(11.2)	1.6	(10.1)	1/6	にぶい橙色	良	雲母極多，赤色粒・石英・長石・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	101	47号土坑	Pr1-3		土師質土器	坏	(12.0)	3.9	(7.2)	1/8	橙色	良	石英極多，長石多，赤色粒少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	102	47号土坑	Pr1-2	1層	土師質土器	坏	-	〈2.3〉	(8.0)	体部～底部1/4	浅黄橙色	良	赤色粒・石英少	ロクロ成形	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
59	103	47号土坑	Pr1-2	1層	土師質土器	皿	-	〈1.0〉	(7.0)	体部下部～底部1/5	にぶい橙色	良	赤色粒やや多，石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	104	48号土坑	Pr5-2	1層	土師質土器	坏	(11.9)	3.4	(7.0)	1/3	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	105	49号土坑	Pr5-1	1層	土師質土器	皿	-	〈1.3〉	(9.2)	体部下部～底部1/6	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	106	49号土坑	Pr5-1	1層	土師質土器	小皿	-	〈1.0〉	(6.0)	体部下部～底部1/3	灰白色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	107	51号土坑	Pr3-3	1層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.4	(6.5)	1/5	灰白色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	108	52号土坑	Pr1-5		土師質土器	小皿	(7.3)	1.4	(5.2)	1/3	褐灰色	良	石英・長石・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面板状圧痕	
	109	52号土坑	Ps1-5		土師質土器	小皿	(9.4)	1.4	(7.2)	1/4	浅黄橙色	やや軟	雲母やや多，赤色粒少，石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	110	52号土坑	Pr1-5		土師質土器	皿	-	〈1.3〉	(7.6)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	111	52号土坑	Ps1-1		土師質土器	皿	-	〈1.2〉	7.8	底部1/2	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英やや多，長石少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	112	53号土坑	Ps3-1	1層	土師質土器	小皿	(9.4)	〈1.2〉	-	1/16	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	113	55号土坑	Qr1-5	1層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.0	(6.8)	1/6	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母・白色針状物・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	114	56号土坑	Qr2-4		土師質土器	小皿	(7.2)	1.4	(5.0)	1/6	にぶい黄橙色	良	石英やや多，白色粒・長石微	ロクロ成形	
	115	56号土坑	Qr2-4		土師質土器	皿	-	〈0.9〉	(8.0)	底部1/8	灰白色	良	赤色粒・石英・長石少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	116	56号土坑	Qr2-4		土師質土器	皿	(13.4)	2.1	12.6	2/5	にぶい橙色	良	赤色粒・雲母やや多，石英・長石少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	117	63号土坑	Qt2-1	1層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.3	(5.4)	1/4	浅黄橙色	良	長石微	ロクロ成形	
	118	67号土坑	Rr1-5		土師質土器	小皿	(7.2)	1.3	(5.0)	1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	119	67号土坑	Qr5-5	2層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.4	(6.6)	1/9	浅黄橙色	良	石英やや多，長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	120	67号土坑	Qr5-5	2層	土師質土器	小皿	(8.8)	1.7	(7.4)	1/6	灰白色	やや軟	赤色粒多	ロクロ成形	
	121	67号土坑	Rr2-5		土師質土器	皿	(10.8)	2.3	(7.2)	1/3	にぶい黄橙色	良	赤色粒やや多，石英少，白色粒・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面板状圧痕	
	122	67号土坑	Rs1-1		土師質土器	皿	(13.6)	2.4	(9.2)	1/16	にぶい黄橙色	良	赤色粒やや多，白色針状物微	ロクロ成形	内面黒色
	123	67号土坑	Qr5-5	2層	土師質土器	皿	-	〈1.2〉	(7.0)	体部下部～底部1/4	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
60	124	67号土坑	Rr2-5	2層	土師質土器	皿	(13.0)	2.2	(11.6)	2/5	にぶい橙色	良	雲母多，赤色粒・石英やや多，長石少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕→板状圧痕	
	125	67号土坑	Rr1-4	3層	土師質土器	坏	(12.1)	3.1	(7.0)	1/3	灰白色	良	石英少，赤色粒微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→周縁の一部手持ちヘラケズリ	内面煤付着
	126	67号土坑	Rr2-5・Rs1-1	2層	土師質土器	皿	-	〈1.2〉	(7.0)	体部下部～底部1/4	灰白色	良	赤色粒多，石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	127	67号土坑	Rr1-4	3層	土師質土器	皿	-	〈1.2〉	(8.0)	体部下部～底部1/3	褐灰色	良	雲母極多，石英多，長石少，白色針状物微	ロクロ成形，底部外面静止糸切り→周縁ナデ	
	128	67号土坑	Rr1-5		土師質土器	小皿	-	〈0.6〉	(4.8)	底部1/2	にぶい黄橙色	良	石英少，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	焼成前の底部に内外面から穿孔（未貫通）
	129	67号土坑	Rr1-4	3層	土師質土器	皿	-	〈1.5〉	(9.2)	体部下部～底部1/6	赤橙色	良	赤色粒少，石英微	ロクロ成形，体部外面下端未調整，底部外面回転ヘラ切り	
	130	67号土坑	Qr5-5	7層	土師質土器	皿	-	〈1.6〉	(8.6)	体部下部～底部1/4	灰白色	硬質	緻密，赤色粒・石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	131	67号土坑	Rr2-5		土師質土器	小皿	-	〈0.8〉	(6.4)	体部下部～底部1/4	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英多，赤色粒・長石少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	132	1A号溝	Lg4-5		土師質土器	小皿	(7.4)	1.4	(5.7)	1/4	灰白色	やや軟	赤色粒多，石英・長石少，白色針状物微	ロクロ成形	
	133	1A号溝	Ms2-1	4層	土師質土器	皿	(13.2)	2.6	(8.9)	1/6	灰白色	良	白色針状物多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	134	1A号溝	Mq1-5		土師質土器	皿	(11.2)	2.8	(7.8)	1/9	にぶい橙色	良	赤色粒多，白色針状物少，長石微	ロクロ成形	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
60	135	1A号溝	Ms2-2	6層	土師質土器	皿	-	〈1.2〉	8.4	体部下半～底部1/3	褐色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→ナデ	外面煤付着，内面煤・炭化物付着
	136	1A号溝	Mr2-4	6層	土師質土器	坏	12.5	3.8	8.2	完形	灰白色	良	赤色粒・石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	内外面煤付着
	137	1A号溝	Ms2-1	6層	土師質土器	小皿	-	〈1.3〉	(7.6)	体部～底部1/8	にぶい黄橙色	良	赤色粒・白色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	138	1B号溝	Ls5-2	7層	土師質土器	小皿	(7.9)	1.6	(5.4)	1/6	灰白色	良	石英・長石やや多，雲母少，白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	139	2号溝	Lr5-4	1層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.2	(6.5)	1/4	灰白色	やや軟	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	140	10号溝	Ns3-3		土師質土器	小皿	(7.4)	1.4	(5.2)	1/4	灰黄褐色	良	石英・雲母少	ロクロ成形	
	141	10号溝	Nq1-4		土師質土器	小皿	(8.4)	1.5	(7.3)	1/3	橙色	良	長石多，赤色粒・石英・雲母やや多	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	142	10号溝	Ns2-3		土師質土器	小皿	(7.5)	1.5	5.4	2/3	橙色	良	赤色粒・雲母微	ロクロ成形，体部外面下端未調整，底部外面回転糸切り	底部内面ロクロナデによる渦巻き状痕
	143	10号溝	Ns2-4・Ns3-3		土師質土器	小皿	(8.4)	1.4	7.2	1/2	にぶい橙色	良	石英・長石極多，雲母多，赤色粒・少礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	144	10号溝	Nq1-5		土師質土器	小皿	(7.0)	1.2	(7.0)	1/9	灰白色	良	長石・白色針状物少，赤色粒・石英微	ロクロ成形	内折れ
	145	10号溝	Ns4-5		土師質土器	坏	(11.7)	3.6	8.1	2/3	灰白色	やや軟	赤色粒多	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切りか	
	146	10号溝	Ns2-2		土師質土器	坏	(12.5)	3.3	8.0	1/2	灰白色	良	石英多，赤色粒・雲母少，長石微	ロクロ成形	
	147	10号溝	Ns2-3・Ns3-3		土師質土器	坏	(12.6)	2.9	7.0	1/3	浅黄橙色	良	石英多，赤色粒やや多，長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	148	10号溝	Ns2-4		土師質土器	坏	(13.2)	3.4	(9.2)	1/8	灰白色	良	石英・長石・白色針状物少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	149	10号溝	Ns2-2		土師質土器	坏	(12.1)	3.0	(8.4)	1/2	灰白色	良	石英やや多，赤色粒少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
61	150	10号溝	Ns2-4		土師質土器	皿	-	〈1.2〉	(8.8)	体部～底部1/6	灰白色	良	石英少，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	151	10号溝	Np3-5	1層	土師質土器	皿	-	〈1.2〉	(8.8)	体部下部～底部1/6	にぶい黄橙色	良	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	152	10号溝	Ns2-3		土師質土器	皿	-	〈1.2〉	8.5	体部下部～底部2/3	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・雲母やや多，長石少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	153	11号溝	Np5-4	1層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.0	(7.7)	1/3	灰黄褐色	良	白色針状物やや多	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	154	11号溝	Op2-2		土師質土器	小皿	8.6	1.1	7.7	3/4	灰黄褐色	良	白色針状物多，石英・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	155	11号溝	Op2-3		土師質土器	小皿	(7.2)	1.3	(5.6)	1/12	灰黄褐色	良	長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	156	11号溝	Os1-3		土師質土器	小皿	(8.6)	1.3	(6.2)	1/6	灰白色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	157	11号溝	Ns5-2		土師質土器	皿	(12.0)	2.1	(11.4)	1/5	褐灰色	良	石英・長石多，赤色粒少	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	158	11号溝	Os1-3		土師質土器	小皿	8.3	1.6	6.6	完形	浅黄橙色	良	石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	159	11号溝	Nr3-5		土師質土器	小皿	(7.3)	2.1	6.3	1/2	にぶい黄橙色	良	石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	160	11号溝	Ns5-3		土師質土器	坏	12.6	3.5	8.0	2/3	灰白色	良	赤色粒・石英やや多，白色粒・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	161	11号溝	Ns5-3		土師質土器	坏	13.0	3.0	8.5	3/4	灰白色	良	赤色粒少，石英・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	162	11号溝	Nq4-2	1層	土師質土器	皿	-	〈1.4〉	8.4	底部	灰白色	良	石英多，赤色粒・長石・小礫少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	163	11号溝	Ns4-2		土師質土器	皿	-	〈0.6〉	(8.1)	底部1/2	にぶい橙色	良	雲母極多，長石少，石英微	ロクロ成形，底部外面静止糸切り	
	164	11号溝	Nq4-2	1層	土師質土器	皿	-	〈1.9〉	(8.2)	体部下半～底部1/4	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	165	11号溝	Nr3-1	1層	土師質土器	皿	-	〈1.4〉	(7.4)	体部下部～底部1/5	にぶい黄橙色	良	雲母極多，長石少，石英微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
61	166	11号溝	Os1-3		土師質土器	皿	-	〈1.4〉	(8.0)	体部下半～底部1/4	灰白色	やや軟	赤色粒多，石英微	ロクロ成形	
	167	16号溝	Pp3-2		土師質土器	坏	-	〈1.9〉	(7.2)	体部下半～底部1/6	灰白色	良	石英やや多，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	168	16号溝	Pp4-2		土師質土器	坏	7.2	2.4	6.1	2/3	橙色	良	赤色粒多，白色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	169	20号溝	Ps3-4		土師質土器	小皿	(6.6)	1.3	(6.4)	1/4	黄橙色	良	赤色粒やや多，長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面静止糸切り	
	170	21号溝	Or3-3		土師質土器	小皿	(8.9)	1.4	(6.9)	1/8	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	内外面煤付着
	171	22号溝	Or5-4	1層	土師質土器	小皿	(6.8)	1.6	(5.6)	1/5	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	172	23号溝	Pr2-3		土師質土器	小皿	8.2	1.5	6.7	1/2	灰白色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	173	23号溝	Pr3-2		土師質土器	小皿	(7.6)	〈1.4〉	(5.9)	1/5	浅黄橙色	良	赤色粒やや多	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	174	25号溝	Pr5-4	1層	土師質土器	皿	-	〈1.8〉	(7.2)	体部下半～底部1/4	灰白色	やや軟	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	175	29号溝	Qs1-2	1層	土師質土器	小皿	(7.8)	1.2	6.6	2/3	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	176	33号溝	Ps3-5		土師質土器	皿	-	〈1.0〉	(9.0)	体部下部～底部1/8	にぶい黄橙色	良	赤色粒・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形	
	177	35号溝	Rs1-3	1層	土師質土器	坏	(12.4)	3.0	(8.8)	1/4	にぶい橙色	良	長石やや多，赤色粒・石英・雲母・白色針状物微	ロクロ成形	
	178	36号溝	Qp4-3		土師質土器	坏	(12.0)	3.4	(8.4)	1/5	浅黄橙色	良	赤色粒少，石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	179	36号溝	Qp4-2		土師質土器	坏	(12.4)	3.1	(9.0)	1/4	灰白色	良	緻密，石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内外面煤付着
	180	38号溝	Rr4-2		土師質土器	坏	(13.0)	3.6	(9.2)	1/3	灰白色	良	緻密，石英・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内外面煤付着
62	181	1号流路	Ss1-5	12層	土師質土器	小皿	(6.2)	1.3	(5.8)	1/4	にぶい黄橙色	良	緻密，赤色粒微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	182	1号流路	Rr2-1		土師質土器	小皿	(6.8)	1.5	(5.8)	1/4	浅黄橙色	良	赤色粒少，石英・長石・雲母・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	183	1号流路	Rq2-4		土師質土器	小皿	(7.4)	1.3	(6.5)	1/3	にぶい橙色	良	雲母やや多，赤色粒少，石英・長石・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	184	1号流路	St2-1	12層	土師質土器	小皿	7.4	1.8	6.5	2/3	灰白色	良	白色針状物やや多，赤色粒・石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	割れ口の一部に研磨痕
	185	1号流路	Rr2-2		土師質土器	小皿	(7.4)	1.3	(6.6)	1/8	にぶい黄橙色	良	白色針状物やや多，赤色粒少，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	186	1号流路	Rr3-3		土師質土器	小皿	(7.4)	1.2	(6.8)	1/6	灰黄褐色	良	白色針状物多，	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	187	1号流路	Rr2-1		土師質土器	小皿	(8.4)	1.3	(7.8)	1/3	灰黄褐色	良	白色針状物多，石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	188	1号流路	Ss2-4	18層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.0	(6.8)	1/8	浅黄橙色	良	白色針状物多，赤色粒・石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	189	1号流路	Rq2-3		土師質土器	小皿	(8.6)	1.5	(7.0)	1/3	浅黄橙色	良	石英・長石少，雲母・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	190	1号流路	Rq1-5		土師質土器	小皿	(6.8)	1.4	(6.0)	1/5	にぶい橙色	良	赤色粒やや多	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	191	1号流路	Rr2-2		土師質土器	小皿	(7.4)	1.3	(6.2)	1/7	橙色	良	赤色粒やや多，石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	192	1号流路	Rr3-4		土師質土器	小皿	(8.0)	1.8	(6.5)	1/6	橙色	良	赤色粒少，白色針状物・小礫微	ロクロ成形，体部外面下端強いナデ，底部外面板状圧痕	
	193	1号流路	Rq2-3		土師質土器	小皿	(6.4)	1.3	(4.8)	1/6	橙色	良	赤色粒・石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	194	1号流路	Rq2-5		土師質土器	小皿	(6.8)	1.7	(4.8)	1/4	褐灰色	良	赤色粒・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	内面灰黄褐色
	195	1号流路	Rq2-5		土師質土器	小皿	(7.3)	1.1	(5.4)	1/8	黒色	良	緻密	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	内外面煤付着
	196	1号流路	Rq1-5		土師質土器	小皿	(7.8)	1.5	(6.3)	1/6	にぶい橙色	良	石英やや多，赤色粒少，長石・雲母微	ロクロ成形	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
62	197	1号流路	Rr2-1		土師質土器	小皿	(7.8)	1.3	(5.9)	1/6	浅黄橙色	良	長石少，石英・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	198	1号流路	Rr2-1		土師質土器	小皿	(7.7)	1.2	(5.9)	1/6	浅黄橙色	良	石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	199	1号流路	Rr3-3		土師質土器	小皿	(8.0)	1.3	(5.8)	1/8	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母微	ロクロ成形	
	200	1号流路	Rq1-3		土師質土器	小皿	(8.0)	1.5	(6.0)	1/6	にぶい橙色	良	赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	201	1号流路	Rq1-1		土師質土器	小皿	(8.4)	1.5	(6.4)	1/8	浅黄橙色	良	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	202	1号流路	Rq1-2・Rq1-5		土師質土器	小皿	(7.6)	1.7	(6.2)	3/8	浅黄橙色	良	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	203	1号流路	Rs3-1		土師質土器	小皿	(8.0)	1.7	(6.2)	1/4	灰白色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石・雲母微	ロクロ成形	
	204	1号流路	Rr3-1		土師質土器	小皿	(8.6)	1.7	(6.2)	1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	205	1号流路	Pq2-3・Pq2-4		土師質土器	小皿	(9.0)	1.6	(7.0)	1/6	褐灰色	良	長石・石英少，雲母微	ロクロ成形	
	206	1号流路	Pq2-4		土師質土器	皿	(12.6)	2.1	(10.6)	1/7	にぶい橙色	良	雲母・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	207	1号流路	Rs3-1		土師質土器	皿	(12.6)	1.9	(10.1)	1/6	灰黄褐色	良	白色針状物やや多	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	208	1号流路	Rq1-5		土師質土器	皿	(13.0)	2.2	(8.6)	1/6	灰白色	良	石英やや多，雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	209	1号流路	Ss2-5	13層	土師質土器	皿	(11.8)	2.3	(8.0)	1/8	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	210	1号流路	Rq2-5		土師質土器	皿	(12.2)	2.1	(8.0)	1/6	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	割れ口の一部に研磨痕
	211	1号流路	Ss1-3		土師質土器	皿	(14.4)	2.3	(11.0)	1/10	にぶい橙色	良	石英・雲母多，長石やや多	ロクロ成形	
	212	1号流路	Rr2-1・Ss2-4・Ss2-5	18層	土師質土器	坏	(11.8)	3.0	(6.6)	1/5	にぶい橙色	良	雲母多，石英やや多，長石微	ロクロ成形	
	213	1号流路	Rr2-2・Rr3-4		土師質土器	坏	(12.2)	3.1	(7.6)	1/3	灰白色	良	緻密，赤色粒微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	214	1号流路	Rr3-3		土師質土器	坏	(12.6)	〈3.3〉	－	口縁部～体部1/6	にぶい橙色	良	緻密，長石・雲母微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，底部内面ハケナデ	
	215	1号流路	Rp1-3		土師質土器	坏	(12.8)	3.7	(8.1)	1/6	浅黄橙色	良	赤色粒極多，白色針状物少，雲母微	ロクロ成形	
	216	1号流路	Rp1-5・Rq1-1		土師質土器	皿	－	〈1.7〉	(6.2)	体部下半～底部1/3	浅黄橙色	良	長石少，石英・白色針状物微	ロクロ成形	
	217	1号流路	Rr3-2		土師質土器	皿	－	〈1.6〉	(8.0)	体部下半～底部1/6	にぶい黄橙色	良	赤色粒多，白色針状物微	ロクロ成形	
63	218	1号流路	Rr3-1		土師質土器	皿	－	〈1.4〉	(8.0)	体部下部～底部1/2	灰白色	良	緻密，赤色粒・石英微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	219	1号流路	Rq1-2		土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.4)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	良	雲母極多，石英・長石少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	220	1号流路	Rs5-4		土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.2)	体部下部～底部1/6	にぶい黄橙色	良	長石少，石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	221	1号流路	Rr2-3・St2-1	13層	土師質土器	皿	－	〈0.9〉	(7.8)	体部下部～底部1/4	灰白色	良	緻密，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	222	1号流路	Rr2-1		土師質土器	皿	－	〈0.9〉	(7.2)	体部下部～底部1/3	にぶい橙色	良	赤色粒少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	埋土の作用で全面黒色化か
	223	1号流路	Qp5-3		土師質土器	皿	－	〈1.1〉	(8.6)	体部下部～底部5/8	にぶい橙色	良	赤色粒・石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	224	1号流路	Rr2-2・Rr3-2		土師質土器	皿	－	〈0.7〉	(8.2)	体部下部～底部3/4	浅黄橙色	良	赤色粒・石英多，長石やや多，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	225	1号流路	Ss1-5	12層	土師質土器	皿	－	〈1.1〉	(8.4)	体部下部～底部1/5	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内面煤付着
	226	1号流路	St3-1	12層	土師質土器	皿	－	〈1.4〉	(8.2)	体部下部～底部1/6	にぶい黄橙色	良	赤色粒・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	227	1号流路	Rq1-5・Rq2-4・Rr3-1		土師質土器	皿	－	〈0.9〉	(9.0)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	良	石英やや多，赤色粒・長石少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	228	1号流路	Rq1-4		土師質土器	皿	－	〈1.9〉	(7.0)	体部下半～底部1/2	にぶい黄橙色	良	石英やや多，赤色粒・雲母少，長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
63	229	1号流路	Rr2-1		土師質土器	坏	－	〈1.9〉	(9.0)	体部下半～底部1/4	灰黄褐色	良	白色針状物やや多，石英・雲母少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	230	1号流路	Rq2-4		土師質土器	ミニチュア（羽釜）	(8.9)	4.3	(5.1)	1/4	にぶい橙色	良	石英多，赤色粒やや多，雲母少	ロクロ成形，鍔は貼り付け	
	231	P5	Mr3-5		土師質土器	坏	(13.4)	3.2	(9.4)	1/6	にぶい黄橙色	良	白色針状物やや多，長石少，石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	232	P5	Mr3-5		土師質土器	小皿	－	〈1.2〉	(6.8)	体部下部～底部1/4	にぶい黄橙色	良	白色針状物少，赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	233	P6	Qp2-2		土師質土器	小皿	(9.2)	1.3	(7.6)	1/8	浅黄橙色	良	石英・雲母極多，長石多，赤色粒微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	234	P7	Qp1-3		土師質土器	小皿	(10.0)	1.1	(8.0)	1/8	浅黄橙色	良	雲母少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	235	P8	Pp5-4		土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.9)	体部下部～底部1/10	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	236	P12	Oq5-5		土師質土器	皿	－	〈1.7〉	(8.4)	体部下部～底部1/3	灰白色	やや軟	赤色粒・白色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内面煤付着
	237	P10	Oq3-4		土師質土器	小皿	(7.8)	1.3	(6.0)	1/8	灰黄褐色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	238	P15	Pq1-5		土師質土器	皿	(13.2)	1.9	(10.4)	1/8	浅黄橙色	良	石英・白色針状物少，赤色粒・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	239	P16	Pr2-1		土師質土器	小皿	－	〈1.0〉	(5.0)	体部下部～底部1/8	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・長石少，石英・雲母微	ロクロ成形	
	240	P14	Or2-1		土師質土器	小皿	8.1	1.5	6.8	完形	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	241	P17	Or4-3		土師質土器	小皿	(8.4)	1.7	(6.6)	1/7	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	242	P2	Or4-3		土師質土器	坏	(13.1)	〈3.5〉	－	口縁部～体部1/6	にぶい黄橙色	良	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	243	P18	Or2-5		土師質土器	小皿	(8.6)	1.5	(7.0)	1/6	灰白色	やや軟	赤色粒やや多，石英少，白色粒・長石・小礫微	ロクロ成形	
	244	P19	Pr1-5		土師質土器	小皿	(8.8)	1.5	(6.6)	1/10	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英やや多，長石少	ロクロ成形	
	245	P21	Pt5-1		土師質土器	小皿	(6.6)	1.9	(5.0)	1/6	橙色	良	赤色粒多，白色針状物やや多，雲母・長石微	ロクロ成形	
64	246		Mr3-1	Ⅶa層	土師質土器	皿	(12.7)	2.8	7.8	1/2	灰黄褐色	良	雲母極多，長石やや多，石英少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	247		Mr4-2	Ⅶa層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.6)	体部下部～底部1/3	灰白色	良	石英少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	248		Nq3-4・Qq4-5	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	皿	(13.6)	2.4	(9.4)	1/8	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・長石少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	249		Nq4-4	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.5	5.3	1/2	灰白色	良	赤色粒やや多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	250		Nr2-2	Ⅶc層	土師質土器	小皿	8.6	1.5	8.2	3/5	褐灰色	良	白色針状物やや多，白色粒・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	251		Ns3-2	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.4	(6.9)	1/2	にぶい橙色	良	石英多，長石・雲母やや多	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	252		Ns4-3	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.4)	1.4	(7.0)	1/4	にぶい黄橙色	良	雲母，白色針状物少，石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面板状圧痕	
	253		Ns3-3	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.3)	1.5	(6.2)	1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	254		Ns2-3	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.4	(5.6)	1/3	灰白色	良	石英やや多，赤色粒・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	255		Ns4-2	Ⅶc層	土師質土器	小皿	－	〈0.8〉	(5.6)	体部下部～底部2/5	橙色	良	雲母極多，長石多，石英やや多，赤色粒少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	256		Ns3-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	－	〈1.8〉	(7.8)	体部下半～底部1/2	にぶい黄橙色	良	緻密，雲母やや多，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	257		Ns3-2	Ⅶc層	土師質土器	皿	－	〈1.7〉	(7.8)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	良	赤色粒多，石英・長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕か	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
64	258		Ns1-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈1.6〉	(8.2)	体部下半～底部1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英やや多，長石・雲母少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	259		Ns1-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈1.3〉	(7.6)	体部下部～底部1/4	灰白色	やや軟	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	260		Ns4-5	Ⅰ層	土師質土器	皿	−	〈1.5〉	8.0	体部下部～底部1/1	灰白色	やや軟	赤色粒やや多，白色粒・小礫少	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	261		Ns3-2	Ⅶc層	土師質土器	坏	−	〈2.3〉	(8.0)	体部下半～底部1/2	灰白色	やや軟	石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	262		Ns5-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈1.1〉	(7.6)	体部下部～底部1/5	灰白色	やや軟	石英・小礫少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕か	
	263		Nt2-1	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.5	(6.1)	1/4	浅黄橙色	やや軟	赤色粒多，石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
	264		Nt5-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	(13.6)	2.7	(8.8)	1/4	浅黄橙色	良	緻密，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	265		Op2-1	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(6.8)	1.3	(5.2)	1/4	浅黄橙色	良	石英少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	266		Op2-2	Ⅶc層	土師質土器	皿	(12.8)	2.3	(11.2)	1/4	にぶい橙色	良	雲母極多，石英・長石少，赤色粒微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕→板状圧痕か	
65	267		Oq1-5	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈1.7〉	7.7	体部下半～底部1/2	にぶい橙色	良	赤色粒多，石英やや多，長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	268		Oq2-1	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(8.6)	1.3	(5.9)	1/4	浅黄橙色	良	石英多，赤色粒・長石やや多	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	269		Or1-2	Ⅶc層	土師質土器	小皿	7.7	1.9	6.9	7/8	灰黄褐色	良	長石・雲母・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕→板状圧痕	
	270		Or1-2	Ⅶc層	土師質土器	埦	(6.8)	〈2.8〉	−	口縁部～体部1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・雲母微	口縁部外面・体部内面ヘラナデ，体部外面ヨコナデ	体部外面線刻
	271		Or5-4	Ⅶc層	土師質土器	小皿	−	〈0.8〉	(6.4)	底部1/2	灰白色	やや軟	石英やや多，赤色粒・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	272		Or2-5	Ⅶc層	土師質土器	皿	(12.2)	2.4	(8.2)	1/4	にぶい黄橙色	良	石英やや多，長石・雲母少，赤色粒微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	273		Or2-5	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.2	(5.2)	1/4	にぶい橙色	やや軟	白色粒・石英・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	274		Or3-5	Ⅶc層	土師質土器	小皿か	−	−	−	底部片	浅黄橙色	良	赤色粒・長石微		底部外面線刻
	275		Os1-4	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(8.4)	1.4	(6.2)	1/2	浅黄橙色	良	緻密，石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	276		Os2-3	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈0.7〉	(7.0)	体部下部～底部1/6	灰白色	良	石英やや多，赤色粒・白色粒・雲母微	ロクロ成形	
	277		Os5-5・Ps1-3	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈1.6〉	(7.4)	体部下部～底部1/2	浅黄橙色	良	赤色粒極多	ロクロ成形	
	278		Ot2-1	Ⅶc層	土師質土器	皿	−	〈0.9〉	(8.4)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	やや軟	赤色粒多，白色粒・小礫微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	279		Pq3-4	Ⅶa層	土師質土器	小皿	(8.6)	1.4	(7.0)	1/6	灰黄褐色	良	長石少，石英・雲母微	ロクロ成形	
	280		Pq3-4	Ⅶa層	土師質土器	皿	−	〈1.3〉	(8.6)	体部下部～底部1/6	浅黄橙色	やや軟	石英やや多，長石少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	281		Pq3-5	Ⅵc層	土師質土器	皿	−	〈1.5〉	(7.4)	体部下部～底部1/6	灰白色	やや軟	赤色粒・石英少	ロクロ成形	
	282		Pq5-1	Ⅵc層	土師質土器	小皿	(7.3)	1.4	5.9	1/2	浅黄橙色	良	赤色粒・石英やや多，長石少，雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	283		Pq4-3	Ⅵc層	土師質土器	有台埦	−	〈4.1〉	(7.9)	体部下半～底部1/8	にぶい橙色	良	長石やや多，赤色粒・石英・雲母少，小礫微	ロクロ成形，貼り付け高台	
	284		Pq5-2	Ⅵc層	土師質土器	皿	(13.6)	2.7	(10.4)	1/4	灰黄褐色	良	白色針状物多，石英微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	285		Pq5-2	Ⅵc層	土師質土器	皿	−	〈1.8〉	(7.4)	体部下半～底部1/3	浅黄橙色	良	石英多，赤色粒やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形	
	286		Pq5-2	Ⅵc層	土師質土器	皿	(12.6)	2.8	(7.2)	1/4	灰白色	良	石英・雲母やや多，長石少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕か	
	287		Pq5-2	Ⅵc層	土師質土器	坏	(12.0)	3.2	7.7	1/2	灰白色	良	石英やや多，赤色粒・長石少，雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	288		Pq5-2	Ⅵc層	土師質土器	小皿	7.6	1.2	5.5	ほぼ完形	灰黄褐色	良	雲母少，赤色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	289		Pq5-2・Qp2-5	Ⅵc・Ⅰd層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.7	4.9	1/3	橙色	良	石英・長石多，赤色粒少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	底部内面同心円状痕

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
65	290		Pr5-3	VIc層	土師質土器	坏	(11.0)	3.9	8.6	1/2	にぶい黄橙色	良	雲母やや多，石英・長石少，小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	291		Pq5-3	VIc層	土師質土器	小皿	(9.5)	1.9	(7.6)	1/6	灰黄褐色	良	雲母やや多，石英・長石微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	
	292		Pq5-4	VIc層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.2	(6.2)	1/4	浅黄橙色	良	石英・長石少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	293		Pq5-5	VIc層	土師質土器	皿	-	〈1.6〉	8.4	体部下部～底部1/1	浅黄橙色	良	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	294		Rq・Rs	VIIc層	土師質土器	皿	-	〈0.9〉	8.1	体部下部～底部1/2	橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	295		Pq5-5	VIc層	土師質土器	小皿	-	〈0.9〉	(6.4)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	良	石英やや多，赤色粒・長石少，雲母微	ロクロ成形	
66	296		Qq1-2	III層	土師質土器	坏	(13.0)	3.2	(8.1)	1/6	灰白色	良	石英やや多，赤色粒・長石少，黒色粒・雲母微	ロクロ成形	8号掘立P2出土破片と接合
	297		Qp2-5	Id層	土師質土器	皿	-	〈1.1〉	(9.1)	体部下部～底部1/6	浅黄橙色	やや軟	赤色粒やや多，黒色粒微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	298		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(9.3)	1.5	(6.8)	1/6	浅黄橙色	良	石英少，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	299		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.4	(5.6)	1/3	にぶい橙色	良	雲母やや多，赤色粒・黒色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	300		Qp4-5	III層	土師質土器	皿	-	〈1.3〉	(8.3)	体部下部～底部1/2	灰白色	やや軟	石英やや多，赤色粒少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕か	
	301		Qp4-5	III層	土師質土器	皿	(11.4)	2.3	(8.6)	1/5	にぶい黄橙色	良	雲母やや多，白色針状物少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	302		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(7.4)	1.5	5.4	2/3	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	303		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.3	1.6	4.8	完形	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	304		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(8.3)	1.6	(5.6)	1/2	にぶい橙色	良	雲母極多，赤色粒・黒色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	305		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.3	5.7	2/3	浅黄橙色	良	赤色粒・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	底部内面渦巻き状痕
	306		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(7.4)	1.2	(5.2)	1/2	浅黄橙色	良	赤色粒・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	307		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.3	1.3	5.3	ほぼ完形	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	308		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.4	1.6	5.4	完形	浅黄橙色	良	石英・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	309		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	8.2	1.7	5.6	ほぼ完形	にぶい橙色	良	雲母極多，赤色粒・石英少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	310		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.8	1.6	5.8	完形	にぶい橙色	良	雲母やや多，赤色粒少，白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	311		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.4	(6.2)	1/2	にぶい橙色	良	雲母多，長石やや多，石英少，赤色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	312		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.9	1.4	6.2	2/3	にぶい黄橙色	良	石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	313		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.4	1.8	6.2	7/8	にぶい橙色	良	赤色粒・雲母・白色針状物・小礫微	ロクロ成形，体部外面下端未調整，底部外面回転糸切り	
	314		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	8.4	1.9	6.3	完形	にぶい黄橙色	良	石英・雲母少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	315		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.8	1.5	6.0	2/3	にぶい黄橙色	良	雲母少，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	316		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	8.2	1.5	6.0	7/8	褐灰色	良	雲母やや多，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	317		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	7.5	1.5	5.7	9/10	浅黄橙色	良	石英・長石・雲母少	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	318		Qp4-5	III層	土師質土器	小皿	8.2	1.6	5.5	1/2	灰黄褐色	良	雲母やや多，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
66	319		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.1	1.5	5.3	7/8	橙色	良	雲母少，黒色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	320		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.2	1.4	5.3	ほぼ完形	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒・黒色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	321		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.7	1.4	5.4	ほぼ完形	にぶい橙色	良	雲母多，赤色粒少，白色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	322		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.8)	1.7	(6.4)	1/4	にぶい黄橙色	良	雲母少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	323		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.3	(6.0)	1/5	灰黄褐色	良	雲母やや多，赤色粒・黒色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	324		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.4	1.6	6.0	ほぼ完形	にぶい橙色	良	雲母少，赤色粒・長石・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
67	325		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.0)	2.5	(9.4)	3/7	にぶい黄橙色	良	雲母やや多，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	326		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.2)	2.3	(9.0)	1/4	灰黄褐色	良	雲母少，長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	327		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	坏	(12.4)	3.5	(5.6)	1/2	浅黄橙色	良	石英やや多，長石少，雲母微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，体部外面下半～底部指頭圧痕	
	328		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	坏	12.1	3.1	7.0	7/8	橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	329		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.5)	2.5	(9.2)	5/8	にぶい黄橙色	良	雲母やや多，赤色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	330		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.2)	2.3	(9.0)	1/4	にぶい黄橙色	良	雲母少，赤色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	331		Qp4-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.4	1.6	5.4	ほぼ完形	橙色	良	雲母少，赤色粒・黒色粒・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	内面煤付着
	332		Qq1-2	Ⅵc層	土師質土器	小皿	8.9	1.8	6.9	ほぼ完形	灰黄褐色	良	石英・雲母やや多，長石少，白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	333		Qq1-2・Qq1-4・Qq2-4	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	皿	(12.8)	2.7	(9.4)	1/6	浅黄橙色	良	石英・長石少，赤色粒微	ロクロ成形	
	334		Qq1-2	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	皿	(12.6)	2.8	(8.2)	1/4	灰白色	良	雲母少，長石・白色針状物微	ロクロ成形	
	335		Qq1-2	Ⅲ層	土師質土器	皿	(13.6)	〈2.6〉	－	口縁部～体部3/7	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母少，石英・長石・小礫微	ロクロ成形	
	336		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	皿	(13.2)	2.8	(8.9)	1/4	灰白色	やや軟	石英多，長石少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形	
	337		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	坏	(13.3)	3.0	(8.9)	1/3	灰白色	やや軟	石英・長石やや多，雲母微	ロクロ成形	
	338		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	皿	(12.2)	2.0	11.4	5/9	橙色	良	赤色粒・石英少，長石・雲母・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	339		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	皿	(11.0)	2.6	(6.8)	1/8	灰黄褐色	良	雲母少，赤色粒・長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	340		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	小皿	(8.4)	1.2	(6.3)	1/6	にぶい黄橙色	良	雲母・白色針状物少，赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	341		Qq1-3	Ⅵc層	土師質土器	小皿	(8.6)	1.2	(6.0)	1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	342		Qq1-4	Ⅵc層	土師質土器	皿	－	〈1.6〉	(7.7)	体部下部～底部1/3	灰白色	良	石英やや多，雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
68	343		Qq1-2・Qq1-4	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.8	(7.0)	1/2	浅黄橙色	良	石英やや多，赤色粒・長石・雲母少，小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	344		Qq1-4	Ⅵc層	土師質土器	小皿	7.5	1.9	5.5	ほぼ完形	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・雲母少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	345		Qq1-4	Ⅵc層	土師質土器	皿	(11.4)	2.7	(6.6)	1/3	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英・長石・雲母少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	346		Qq1-4・Qq1-5	Ⅵc層	土師質土器	坏	(13.0)	3.4	8.0	1/2	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
68	347		Qq1-4	VIc層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.0)	体部下部～底部1/4	灰白色	やや軟	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	348		Qq1-5	VIc層	土師質土器	小皿	(7.8)	1.1	(6.7)	1/6	浅黄橙色	良	白色針状物やや多，赤色粒・石英少，小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	349		Qq1-5	VIc層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.3	(5.8)	1/4	灰白色	やや軟	赤色粒・長石少，石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	350		Qq1-5	VIc層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.7	(6.1)	1/4	にぶい黄橙色	良	石英・長石少，赤色粒・白色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	351		Qq1-5	VIc層	土師質土器	皿	－	〈1.6〉	(8.6)	体部下部～底部1/8	灰白色	やや軟	赤色粒少，白色粒・石英・長石・小礫微	ロクロ成形	
	352		Qq1-5	VIc層	土師質土器	皿	(12.9)	2.9	8.2	2/3	灰白色	良	赤色粒・石英やや多，長石・雲母少，小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	353		Qq1-5	VIc層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.0)	体部下部～底部1/2	浅黄橙色	良	雲母やや多，赤色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	354		Qq1-5	VIc層	土師質土器	皿	－	〈1.4〉	(8.3)	体部下部～底部1/2	灰白色	良	赤色粒やや多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	355		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(7.2)	1.3	(6.0)	2/3	灰黄褐色	良	雲母少，長石・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	356		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.4	(6.1)	1/4	灰白色	やや軟	石英少，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	357		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(7.9)	1.4	(5.7)	1/4	にぶい橙色	良	赤色粒・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	割れ口～内面の一部に研磨痕
	358		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.4	(6.5)	1/3	灰白色	やや軟	石英やや多，赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	359		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(7.8)	1.7	(5.8)	1/3	灰白色	やや軟	赤色粒・石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	360		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	－	〈0.7〉	(5.6)	体部下部～底部1/2	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	361		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.6〉	(7.8)	体部下半～底部1/3	浅黄橙色	やや軟	石英多，赤色粒・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	362		Qq2-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(6.9)	体部下部～底部1/3	灰黄褐色	良	石英多，長石やや多，雲母少，赤色粒・黒色粒微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	363		Qq2-1・Qq2-2・Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	坏	13.1	3.3	9.6	4/7	灰白色	良	黒色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	364		Qq2-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.7)	2.1	5.6	3/8	灰白色	良	白色針状物少，赤色粒・石英・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，体部外面下端に段・一部未調整，底部外面板状圧痕	底部外面の一部に研磨痕
	365		Qq2-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.5	(6.4)	1/6	にぶい黄橙色	良	雲母少，長石微	ロクロ成形	
	366		Qq2-3	VIc層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.4	(5.8)	1/5	灰白色	良	白色針状物やや多，石英・長石・雲母微	ロクロ成形	
69	367		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.5	(6.0)	3/7	浅黄橙色	良	石英やや多，雲母少，赤色粒・黒色粒微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	368		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(9.0)	1.9	(7.2)	1/3	灰白色	良	雲母・白色針状物少，赤色粒・石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	369		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.6)	2.4	(11.4)	3/8	にぶい黄橙色	良	雲母極多，赤色粒・黒色粒・石英・長石・小礫微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	370		Qq3-1・Qq3-2・Qq5-4	Ⅲ・IVc層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.8	(6.6)	1/6	にぶい黄橙色	良	雲母少，長石・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	371		Qq2-1・Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(6.7)	1.3	(5.2)	1/5	浅黄橙色	良	石英・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	372		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(6.8)	1.9	4.7	1/2	灰白色	良	赤色粒少，石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	373		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.7〉	(8.4)	体部下部～底部2/5	灰白色	やや軟	赤色粒・石英やや多，長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
69	374		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.0〉	(7.8)	体部下部～底部1/2	灰白色	やや軟	石英やや多，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	375		Qq3-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈2.2〉	(7.6)	体部下半～底部1/4	浅黄橙色	良	石英・長石やや多，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	376		Qq3-1・Qq3-2・Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	坏	(13.3)	3.1	(9.6)	1/4	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母少，赤色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	377		Qq3-2	Ⅲ層	土師質土器	坏	13.1	3.2	9.6	ほぼ完形	浅黄橙色	良	石英・長石少，赤色粒・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	378		Qq3-2・Qq3-3・Qq4-3	Ⅲ・Ⅵa・Ⅵc層	土師質土器	坏	12.5	3.9	9.1	5/8	にぶい黄橙色	良	雲母極多，石英・長石少，赤色粒・黒色粒微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	底部内面擦れ
	379		Qq3-3・Qq4-3	Ⅵa・Ⅵc層	土師質土器	坏	(13.8)	4.1	7.6	2/3	浅黄橙色	良	雲母極多，赤色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	380		Qq4-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	(12.0)	2.9	(6.5)	1/6	橙色	良	赤色粒やや多，白色針状物少，石英・雲母微	手づくね成形，体部外面上半・内面ヨコナデ，底部外面板状圧痕	
	381		Qq4-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(7.0)	1.2	(5.5)	2/5	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	382		Qq4-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.0〉	(7.3)	体部下部～底部1/4	にぶい黄橙色	良	石英・長石少，雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	383		Qq4-1	Ⅲ層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.1)	体部下部～底部1/3	灰白色	やや軟	石英やや多，赤色粒・白色粒・長石・雲母微	ロクロ成形	
	384		Qq3-2・Qq4-1・Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	坏	(13.6)	3.2	(9.9)	1/4	褐灰色	良	長石・雲母少，白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	内面煤付着
	385		Qp4-5・Qq4-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.1	1.5	6.1	1/2	にぶい黄橙色	良	赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕か	
	386		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.2	1.7	5.9	完形	にぶい黄橙色	良	雲母・白色針状物やや多，長石少，石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	387		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.1	1.6	6.1	ほぼ完形	浅黄橙色	良	雲母やや多，白色針状物少，赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	388		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.5	(5.8)	1/4	浅黄橙色	良	石英・長石・雲母・白色針状物少，赤色粒微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	389		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.6	1.8	6.5	完形	褐灰色	良	白色針状物多，雲母やや多，石英・長石少，礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	390		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.0	1.7	5.6	5/8	灰黄褐色	良	白色針状物やや多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	391		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.8	(6.2)	1/3	褐灰色	良	白色針状物多，長石・雲母少，石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	392		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.6)	1.5	(6.6)	1/3	浅黄橙色	良	長石やや多，石英・雲母微	ロクロ成形	
70	393		Qq4-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.6	2.1	6.9	完形	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母少，赤色粒・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕→板状圧痕	
	394		Qq4-3・Rq5-4	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	小皿	8.3	1.9	7.0	1/2	灰白色	良	白色針状物・雲母少，石英・長石微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕→板状圧痕	
	395		Qq4-4	Ⅵa層	土師質土器	小皿	(8.0)	2.1	(6.0)	3/8	灰白色	良	石英やや多，長石・白色針状物少，雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	
	396		Qq4-5	Ⅵa層	土師質土器	小皿	(8.4)	1.3	(6.6)	3/7	橙色	良	石英・長石・雲母少，小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	397		Qq4-3	Ⅵa層	土師質土器	坏	12.8	3.0	8.8	2/3	灰白色	良	白色針状物少，赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	398		Qq4-4	Ⅵa層	土師質土器	坏	(12.9)	3.1	9.4	5/8	にぶい黄橙色	良	雲母多，石英・長石少，赤色粒・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	399		Qq4-4	Ⅵa層	土師質土器	坏	(12.8)	3.1	(8.0)	1/4	橙色	硬質	緻密，雲母少，長石微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	400		Qq5-1	Ⅲ層	土師質土器	小皿	7.9	1.8	6.0	完形	灰黄褐色	良	石英・長石・雲母少，赤色粒・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	401		Qq5-1・Qr5-2	Ⅲ・Ⅳc層	土師質土器	皿	－	〈1.0〉	(7.5)	体部下部～底部1/2	灰白色	やや軟	石英やや多，長石少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
70	402		Qq4-1・Qq5-2	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.6	1.6	6.4	3/4	にぶい黄橙色	良	石英少，赤色粒・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	内面沈線状痕2
	403		Qq5-3・Qq5-4	Ⅲ・Ⅳa層	土師質土器	坏	13.0	3.4	9.5	9/10	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	404		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	坏	(13.5)	3.4	9.4	3/4	にぶい黄橙色	良	長石・雲母少，石英・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	405		Qq5-4	Ⅳa層	土師質土器	坏	(13.0)	3.0	(9.6)	1/8	にぶい橙色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	406		Qq5-4	Ⅳa層	土師質土器	小皿	8.2	1.8	6.2	ほぼ完形	にぶい黄橙色	良	赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	407		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.5	1.7	5.8	7/8	灰黄褐色	良	長石・雲母少，石英・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	408		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	小皿	8.1	1.8	5.5	7/8	灰白色	良	長石やや多，石英少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	409		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(9.4)	2.3	7.0	1/2	にぶい橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	410		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.4)	1.9	(6.2)	3/8	浅黄橙色	やや軟	石英・長石少，雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	411		Qq5-4	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(7.7)	1.5	(5.7)	1/3	にぶい黄橙色	良	石英・長石・雲母少	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	412		Qq5-5	Ⅲ・Ⅵc層	土師質土器	皿	-	〈1.4〉	(9.1)	体部下部～底部1/4	橙色	良	石英・長石少，雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り→板状圧痕	
	413		Qq5-5	Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.2)	1.8	(6.8)	3/8	灰白色	良	石英少，長石・雲母・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
71	414		Qr1-2	Ⅵc層	土師質土器	皿	-	〈1.1〉	(7.6)	体部下部～底部1/3	にぶい橙色	良	石英少，赤色粒・長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	415		Qr2-1・Qr2-2	Ⅵc層	土師質土器	皿	(11.4)	2.9	(8.0)	1/5	橙色	良	長石極多，石英多，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	416		Qr2-1	Ⅵc層	土師質土器	皿	-	〈1.3〉	(8.0)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	やや軟	赤色粒やや多，石英・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	417		Qr3-3・Qr5-1	Ⅵc層	土師質土器	小皿	(8.3)	3.6	(6.6)	2/3	にぶい褐色	良	長石・雲母・小礫微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	418		Qr2-3	Ⅵc層	土師質土器	小皿	(8.4)	2.1	(6.7)	1/4	灰白色	良	石英・長石少，赤色粒・雲母・白色針状物微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ，底部外面指頭圧痕	
	419		Qr2-3	Ⅵc層	土師質土器	皿	-	〈1.6〉	(7.2)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・石英多，長石やや多，雲母微	ロクロ成形	
	420		Qr2-3	Ⅹb層	土師質土器	皿	-	〈1.7〉	(8.6)	体部下半～底部1/4	浅黄橙色	良	赤色粒少，黒色粒・石英・長石・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	421		Qr2-4・Qq5-2	Ⅲ・Ⅶc層	土師質土器	小皿	(8.4)	1.5	(7.0)	1/8	灰白色	やや軟	赤色粒・石英・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	422		Qr5-1	Ⅵc層	土師質土器	皿	-	〈0.9〉	(7.8)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	やや軟	石英・長石やや多，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	423		Qs3-4	Ⅶc層	土師質土器	坏	-	〈2.3〉	(8.4)	体部下半～底部1/6	にぶい黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	内面煤付着
	424		Qs4-4	Ⅶc層	土師質土器	坏	(12.4)	3.7	(9.0)	1/4	浅黄橙色	やや軟	石英・長石やや多，雲母少	ロクロ成形	
	425		Rq5-4	Ⅷb層	土師質土器	小皿	(7.5)	1.5	5.7	3/7	灰白色	良	石英・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	426		Rp1-2・Rq2-2	Ⅶc層	土師質土器	皿	-	〈1.6〉	(8.0)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	硬質	緻密，赤色粒・石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	427		Rq1-4	Ⅲ層	土師質土器	皿	-	〈1.8〉	(9.0)	体部下部～底部1/4	浅黄橙色	良	石英・長石少，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面板状圧痕	
	428		Rq	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.7	(6.1)	1/3	褐灰色	良	長石やや多，石英少，雲母微	ロクロ成形，底部外面回転糸切り	
	429		Rq	Ⅶc層	土師質土器	小皿	(7.6)	1.5	(6.8)	1/4	灰黄褐色	良	石英・長石・雲母・白色針状物微	ロクロ成形，体部外面下端未調整，底部外面回転ヘラ切り	
	430		Rq	Ⅶc層	土師質土器	坏	(11.4)	3.3	(8.0)	1/5	灰白色	良	赤色粒・石英微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	431		Rr4-3・Rt3-1・Ss4-5	Ⅶb・Ⅶc層	土師質土器	坏	(11.2)	3.5	8.0	1/3	にぶい橙色	良	赤色粒・長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	432		Rr5-5	Ⅶc層	土師質土器	皿	-	〈1.6〉	(9.2)	体部下部～底部1/3	浅黄橙色	やや軟	赤色粒・石英少，白色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	割れ口～内面の一部に研磨痕
	433		Rs4-2	Ⅶc層	土師質土器	壺	-	〈3.5〉	-	肩部～胴部上部1/4	にぶい黄橙色	良	長石・雲母微	ロクロ成形	肩部に穿孔，外面著しく剥離

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	成形・調整	備考
							口径	器高	底径						
71	434		Rs3-4	Ⅶc層	土師質土器	坏	12.8	3.7	9.0	9/10	浅黄橙色	良	赤色粒やや多，石英少，長石・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り	
	435		Rs5-5・Rt3-1	Ⅶc層	土師質土器	坏	(11.6)	〈2.8〉	－	口縁部～体部1/4	にぶい黄橙色	良	赤色粒少，黒色粒・雲母・白色針状物微	ロクロ成形	
	436		Ss3-5	Ⅶb層	土師質土器	坏	－	〈2.6〉	(9.0)	体部下半～底部3/8	灰白色	良	赤色粒・石英・長石微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	437		Ss1-1	Ⅶc層	土師質土器	小皿	7.9	1.6	6.8	完形	浅黄橙色	良	赤色粒・石英・長石・雲母微	手づくね成形，体部内外面ヨコナデ	内外面黒漆付着
	438		Ss	Ⅶc層	土師質土器	皿	－	〈1.2〉	(8.0)	体部下部～底部1/6	浅黄橙色	やや軟	石英やや多，赤色粒・長石少，雲母微	ロクロ成形	
	439			Ⅲ層	土師質土器	小皿	(8.0)	1.0	(6.0)	3/8	にぶい黄橙色	良	石英・長石・白色針状物やや多，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，底部外面回転ヘラ切り→板状圧痕	
	440			Ⅵc・Ⅶc層	土師質土器	有台埦	－	〈1.0〉	－	底部1/6	浅黄橙色	良	長石多，石英やや多，赤色粒・雲母微	ロクロ成形，貼り付け高台	
	441	排土			土師質土器	坏	(11.6)	3.6	(7.8)	1/5	にぶい褐色	良	白色針状物少，赤色粒微	ロクロ成形	内面煤付着

陶磁器・瓦器

※珠洲の編年は，吉岡 1994 を参照

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	施釉・調整	時期	備考
							口径	器高	底径							
72	1	21号掘立P6	Pq5-3		瓷器系陶器	片口鉢	(32.4)	14.4	(12.6)	1/8	黄灰色	良	石英・長石極多，白色粒多，小礫微	体部内面ヘラナデ，卸目なし	13C後半	内面擦れ
	2	41号掘立P2	Pr2-5		青磁	碗	－	〈1.6〉	(6.0)	体部下端～底部1/5	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部内面押印「金玉満堂」	13C	
	3	44号掘立P3	Pr1-2		白磁	皿	－	〈0.6〉	(6.2)	底部1/4	釉：灰白色	堅緻	灰白色，緻密	内外面薄く施釉，底部外面露胎	13C後半	
	4	35号掘立P9	0r3-3		珠洲	片口鉢	(31.8)	〈4.7〉	－	口縁部～体部上部1/6	灰色	良	白色針状物極多，白色粒多，長石少	卸目４条以上一単位	Ⅱ期	
	5	40号掘立P3	Pr1-5		珠洲	片口鉢	(32.0)	12.9	(10.0)	1/6	灰色	良	白色針状物やや多，白色粒・小礫少	卸目７条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内面擦れ
	6	40号掘立P2	Pr2-4		珠洲	片口鉢	34.9	13.7	12.7	1/2	灰色	良	白色粒・白色針状物やや多	卸目16条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内外面擦れ，底部外面線刻「－」
73	7	47号掘立P10	Ps3-1		珠洲	甕	－	－	－	胴部片	灰色	良	白色粒やや多，白色針状物・小礫少	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕		
	8	３号井戸	Pp5-2	７層	須恵器系陶器	片口鉢	(16.6)	〈6.5〉	－	口縁部～体部上半1/8	暗灰色	良	石英・長石・白色粒微			
	9	６号井戸	Nq5-5・0r4-4	３層	須恵器系陶器	壺か	－	〈5.1〉	(9.0)	胴部下部～底部1/4	灰色	良	緻密，白色粒微	陶片重ね焼き痕	13C前半	北沢窯産
	10	７号井戸	0r1-1	１層	青磁	坏	(12.4)	〈3.0〉	－	口縁部～体部1/8	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，体部内面蓮弁文	13C	
	11	８号井戸	0r2-2	34層	珠洲	片口鉢	(21.8)	8.7	9.5	3/7	灰白色	良	白色粒・小礫少，石英・赤色粒微	卸目なし，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内面擦れ
	12	９号井戸	0r3-2	26層	珠洲	片口鉢	(31.8)	12.7	(12.0)	1/4	黄灰色	良	白色粒少，白色針状物微	卸目６条以上一単位，底部外面静止糸切り	Ⅲ期	内面擦れ
	13	９号井戸	0s3-2・Qs2-5	26層	珠洲	甕	－	－	－	胴部片	灰色	良	白色粒・白色針状物微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕	Ⅰ～Ⅲ期	
74	14	９号井戸	0r2-3・0r3-2・0r3-3	20・26・27層	瓷器系陶器	甕	－	－	(13.2)	胴部片，底部1/6	暗灰黄色	良	白色粒・石英・長石多，赤色粒やや多	胴部外面押印：格子目文	13C末	底部は１号流路出土，狼沢窯産
	15	９号井戸	0r3-2	16・27層	珠洲	壺	－	〈14.4〉	10.4	胴部下半～底部1/2	灰色	良	白色粒・小礫少	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕，底部外面静止糸切りか	Ⅱ～Ⅲ期	
	16	10号井戸	0r3-2	13層	珠洲	壺	(21.1)	〈12.0〉	－	口縁部～肩部1/6	灰色	良	白色粒・小礫微	肩部外面平行タタキ・内面指頭圧痕	Ⅱ～Ⅲ期	
	17	13号井戸	0r2-3・0r2-4	２・６層	珠洲	片口鉢	(28.6)	〈8.8〉	－	口縁部～体部上半1/8	灰色	良	白色粒・長石・白色針状物・小礫微	卸目19条以上一単位	Ⅰ期	
	18	14号井戸	0r2-5	１層	珠洲	片口鉢	(33.6)	11.1	(11.6)	2/5	灰色	良	白色粒・白色針状物やや多，小礫微	卸目９条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内面擦れ
	19	17号井戸	Pr2-3	３層	珠洲	片口鉢	－	〈5.3〉	－	口縁部片	灰色	良	白色針状物極多，白色粒多，長石少	卸目６条一単位	Ⅱ期	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	施釉・調整	時期	備考
							口径	器高	底径							
75	20	4号土坑	Ls2-1	5層	青白磁	梅瓶	−	〈5.7〉	(10.2)	胴部下部～底部1/3	釉：明緑灰色	堅緻	灰白色，緻密	胴部内外面～底部内面施釉，胴部外面刻花唐草文		
	21	5号土坑	Ls3-2	2層	珠洲	甕	−	〈8.8〉	(11.1)	胴部下部～底部1/7	暗灰色	良	白色粒・白色針状物やや多，石英・長石微	胴部外面平行タタキ	Ⅰ～Ⅲ期	
	22	23号土坑	Pq3-2	2層	瓦器	片口鉢	(18.8)	〈4.8〉	−	口縁部～体部上半1/5	灰色	良	灰白色，白色針状物少，白色粒微	卸目なし		
	23	26号土坑	Qq3-1		珠洲	片口鉢	(19.6)	〈9.3〉	(9.3)	1/4	灰白色	良	白色粒やや多，白色針状物少	卸目なし，底部外面回転糸切り	Ⅰ期	
	24	26号土坑	Qq3-1		須恵器系陶器	壺	(10.6)	〈12.3〉	−	口縁部～胴上半部1/2	灰色	良	長石・白色粒少，小礫微	胴部内外面ロクロナデ	13C前半	肩部外面線刻「ハ」
	25	36号土坑	Oq1-5	3層	珠洲	片口鉢	(20.1)	7.6	(9.8)	1/6	灰色	良	白色針状物やや多，白色粒微	卸目なし，底部外面静止糸切り	Ⅰ期	内面擦れ，底部外面線刻「−」
	26	44号土坑	Os1-1		須恵器系陶器	壺	−	〈8.3〉	(12.4)	胴部下部～底部1/6	灰色	良	石英・長石多	胴部外面平行タタキ	13C	
	27	46号土坑	Pr1-3	1層	古瀬戸	卸皿	(13.5)	〈2.7〉	−	口縁部～体部上半1/4	釉：灰白色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，斜格子の卸目	13C後葉～14C初	
	28	38号土坑	Oq3-5	1層	珠洲	片口鉢	(16.8)	7.0	(9.2)	1/3	灰色	良	白色粒少，白色針状物微	卸目なし，底部外面静止糸切り	Ⅰ～Ⅱ期	内面擦れ，底部外面線刻「−」
	29	38号土坑	Oq1-5・Oq3-5	1層	瓷器系陶器	壺	(23.5)	〈13.8〉	−	口縁部～肩部1/4	灰色	良	石英・長石極多	頸部・肩部外面沈線，肩部内面ヘラナデ・指頭圧痕	13C後半	
	30	65号土坑	Qs4-5	5層	珠洲	片口鉢	(36.2)	13.5	(13.0)	1/8	灰白色	良	黒色粒・長石・白色針状物微	卸目15条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅲ期	内面擦れ
76	31	45号土坑	Os1-1・Os1-2・Ps3-1	2層	珠洲	甕	(42.2)	〈20.5〉	−	口縁部～胴部上半1/10	灰色	良	白色粒やや多，石英・白色針状物微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕	Ⅱ期	
	32	67号土坑	Qr5-5	2層	珠洲	片口鉢	−	〈3.4〉	(9.2)	体部下部～底部1/3	灰色	良	白色針状物少，長石・白色粒微	卸目なし，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内面擦れ
	33	67号土坑	Rr1-4	2層	珠洲	片口鉢	(30.9)	〈11.6〉	−	口縁部～体部1/8	暗灰色	良	白色粒・長石・白色針状物微	卸目11条一単位	Ⅳ期	
	34	48号土坑	Pr5-1	2層	須恵器系陶器	片口鉢	−	〈5.8〉	(10.4)	体部下部～底部1/4	にぶい橙色	良	白色粒少，赤色粒・雲母微	卸目なし，底部外面静止糸切り	13C	内面擦れ，23号溝・1号流路出土破片と接合
	35	51号土坑	Pr4-3	1層	珠洲	甕	−	−	−	胴部片	灰色	良	白色粒やや多，黒色粒少，長石・白色針状物微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕		
	36	58号土坑	Ps2-3	1層	珠洲	片口鉢	−	〈1.0〉	(12.4)	底部1/3	灰色	良	白色粒・白色針状物少，黒色粒・石英・長石微	卸目３条一単位，底部外面静止糸切り		内面擦れ
	37	69号土坑	Ss2-3		青磁	碗	−	〈2.3〉	3.9	体部下半～底部3/4	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	13C	
	38	P13	Or3-1		瓦器	片口鉢	(32.8)	〈9.1〉	−	口縁部～体部上半1/8	灰色	やや軟	黒色粒・石英・雲母・白色針状物微			
	39	3A号溝	Ls2-2		珠洲	片口鉢	−	〈5.4〉	(14.0)	体部下部～底部1/5	黄灰色	良	白色粒・黒色粒・石英・長石・白色針状物微	卸目11条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	内面擦れ
	40	4号溝	Ks5-4		珠洲	片口鉢	−	−	−	体部片	灰色	良	白色粒・白色針状物少，黒色粒・石英・長石微	卸目６条一単位	Ⅱ期	内面擦れ
	41	6号溝	Mq5-1	1層	瓷器系陶器	甕	−	〈4.9〉	−	口縁部片	黄灰色	良	石英・長石極多，赤色粒やや多，白色粒少		13C後半	
77	42	1A号溝	Ms2-1	4層	白磁	碗	−	〈2.7〉	−	口縁部片	釉：灰白色	堅緻	灰白色，緻密	口縁端部内面釉ハギ	13C	
	43	1A号溝	Mr2-3	4層	珠洲	片口鉢	−	〈7.8〉	−	口縁部片	灰色	良	白色粒・白色針状物少，長石微		Ⅱ期	
	44	1A号溝	Mr1-1		珠洲	片口鉢	−	−	−	胴部片	灰色	良	白色針状物やや多，白色粒少，小礫微	卸目８条一単位	Ⅱ期	内面擦れ
	45	1A号溝	Lq4-4		瓷器系陶器	甕	−	−	−	胴部片	暗灰色	良	石英・長石多	胴部外面押印：三線格子目文＋「×」＋菊花文（12弁）	13C中葉	権兵衛沢窯産
	46	1A号溝	Ms1-1	4層	瓷器系陶器	甕	−	−	−	胴部片	灰赤色	良	石英極多，長石微	胴部外面押印：三線格子目文＋「×」＋菊花文（12弁）	13C中葉	権兵衛沢窯産
	47	1A号溝	Lq4-5・Lq5-5・Lr5-5	4層	珠洲	壺	−	〈15.0〉	−	胴部1/6	灰色	良	黒色粒極多，石英多，白色粒・長石微	胴部外面平行タタキ	Ⅱ期	
	48	1A号溝	Lq5-4・Mr1-5・Mr2-4	4層	珠洲	甕	−	−	−	胴部片	灰色	良	白色粒・石英・白色針状物微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕		
	49	9号溝	Nt2-1	1層	珠洲	片口鉢	−	−	−	胴部片	灰色	良	白色粒・黒色粒・長石・白色針状物微	卸目なしか	Ⅱ期	内面擦れ

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	施釉・調整	時期	備考
							口径	器高	底径							
77	50	10号溝	Mq5-5		青磁	碗	－	〈1.8〉	(5.2)	体部下部～底部1/6	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰色，緻密	内外面薄く施釉，体部外面蓮弁文	13C	
	51	10号溝	Np3-5	1層	珠洲	片口鉢	－	〈7.2〉	－	口縁部片	灰色	良	白色粒・白色針状物やや多		Ⅱ期	
	52	11号溝	Op2-2		青磁	碗	(16.0)	〈4.0〉	－	口縁部～体部上半1/8	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C	
	53	11号溝	Oq3-3・Ns5-3		珠洲	壺	(26.8)	〈11.5〉	－	口縁部～肩部1/4	灰白色	やや軟	白色粒・雲母微	肩部外面平行タタキ・内面指頭圧痕		18号溝出土破片と接合
	54	19号溝	Pq4-3		珠洲	片口鉢	－	〈5.4〉	11.6	体部下部～底部5/8	灰色	良	白色針状物少，白色粒・黒色粒・石英・長石微	卸目19条一単位，底部外面静止糸切り	Ⅲ～Ⅳ期	内面擦れ
	55	20号溝	Pq3-4		瓦器	片口鉢	－	〈5.7〉	(9.7)	体部下半～底部1/4	外：灰色 内：黒色	良	白色針状物少，長石微	卸目なし，底部外面回転糸切り		
	56	36号溝	Rr1-2・Rr1-3	5層	須恵器系陶器	壺	－	〈14.8〉	－	頸部～胴部1/4	灰色	良	白色粒極多，黒色粒やや多，石英・雲母・小礫微	肩部外面線刻	13C前半	
78	57	26号溝	Qr1-3	1層	珠洲	壺	(20.8)	〈16.9〉	－	口縁部～胴部上半1/8	暗灰色	良	長石多，白色粒・石英微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕	Ⅰ期	
	58	38号溝	Rr4-2		珠洲	片口鉢	(32.4)	－	(11.9)	口縁部～体部上半1/6，体部下部～底部1/10	浅黄橙色	良	石英多，雲母・白色針状物・小礫微		Ⅱ期	
	59	1号流路	Rq2-5		青磁	碗	－	〈1.4〉	(5.4)	底部1/2	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰色，緻密	内外面薄く施釉，底部外面露胎，底部内面花弁文	13C	
	60	1号流路	Rq2-4		青磁	碗	－	〈2.2〉	(6.7)	体部下部～底部1/8	釉：オリーブ色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	13C	
	61	1号流路	Rr3-4		青磁	碗	－	〈4.8〉	－	口縁部～体部片	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C	
	62	1号流路	Rq2-4		青磁	碗	－	〈2.6〉	－	口縁部～体部片	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰色，緻密	内外面施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C	
	63	1号流路	Rq1-5・Rq2-3・Rq2-4		珠洲	片口鉢	(39.5)	〈6.8〉	－	口縁部～体部上半1/6	灰色	良	白色粒・石英・長石・白色針状物微	内外面自然釉，卸目11条一単位	Ⅳ期	
	64	1号流路	Rq2-4		珠洲	片口鉢	－	〈1.6〉	10.8	体部下端～底部1/5	黄灰色	良	白色粒少，石英・雲母・白色針状物微	卸目６条以上一単位，底部外面線刻「－」か		内面擦れ
	65	1号流路	Rr2-3		珠洲	片口鉢	－	〈8.3〉	－	口縁部～体部片	灰白色	良	白色粒少，赤色粒・雲母・白色針状物・小礫微	卸目９条一単位	Ⅱ期	内面擦れ
	66	1号流路	Rr2-2		珠洲	片口鉢	－	〈6.8〉	－	口縁部～体部片	灰白色	良	白色粒・白色針状物少，黒色粒・石英・長石微	卸目10条一単位	Ⅲ期	内面擦れ
	67	1号流路	Rr3-4		珠洲	片口鉢	－	〈8.0〉	－	口縁部～体部上半片	灰色	良	白色粒・長石少，白色針状物微	卸目縦19条・横14条一単位	Ⅰ期	
	68	1号流路	Rq2-4・Rr2-2・Rr3-2		瓷器系陶器	壺	－	〈10.4〉	(8.5)	3/4	にぶい褐色	良	石英・長石極多	肩部外面自然釉・内面指頭圧痕	13C末	肩部～体部外面黒漆付着，狼沢窯産
	69	1号流路	Rq2-3・Rq2-4・Rr2-1・Rr3-2		珠洲	壺	－	〈10.2〉	7.6	頸部～底部3/4	灰色	良	白色粒・黒色粒少，石英・長石・白色針状物微	肩部外面波状文・沈線，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	
	70	1号流路	Rr2-1・Rr2-2		須恵器系陶器	壺	－	〈6.2〉	8.6	胴部下部～底部1/2	褐灰色	良	白色粒やや多，黒色粒・石英・長石・白色針状物微	底部外面回転糸切り	13C前半か	
	71	1号流路	Rq2-4		珠洲	双耳壺	－	〈7.9〉	－	頸部～肩部1/3	灰色	良	白色粒・石英・雲母微			耳剥離
	72	1号流路	Rr2-1・Rr2-2		須恵器系陶器	壺	－	〈13.7〉	－	肩部～胴部上半1/4	灰色	良	白色粒少，石英・長石・雲母微	胴部内外面ヘラケズリ		
79	73	1号流路	Rr3-2・Rr3-3		珠洲	壺	(20.9)	〈11.2〉	－	口縁部～胴部上部1/5	灰色	良	長石多，石英やや多，白色粒少，小礫微	胴部外面平行タタキ・内面指頭圧痕	Ⅰ期	
	74	1号流路	Rq2-5		瓷器系陶器	甕	－	〈7.0〉	(12.6)	胴部下部～底部1/4	灰褐色	良	石英・長石極多	胴部外面下端ヘラナデ		
	75				白磁	皿	－	〈2.7〉	－	口縁部～体部片	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，口縁端部内面釉ハギ	13C後半～14C初	
	76			Ⅶc層	白磁	皿	－	〈1.4〉	(4.6)	体部下半～底部1/3	釉：灰白色	堅緻	灰白色，緻密	内外面薄く施釉，底部外面～高台露胎	15C前半	
	77		Nr5-4・Pq3-1	Ⅶc・Ⅵc層	青白磁	梅瓶	－	〈3.5〉	－	肩部1/4	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	外面施釉，肩部外面刻花唐草文		
	78		Lq5-4	Ⅶa層	青磁	坏	(12.9)	〈2.4〉	－	口縁部～体部1/6	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面厚く施釉，体部内面蓮弁文	13C後半～14C初	
	79		Ms1-3	Ⅶa層	青磁	碗	－	〈2.8〉	－	口縁部～体部片	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰白色，緻密	内外面厚く施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C前半	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			遺存度	色調	焼成	胎土	施釉・調整	時期	備考
							口径	器高	底径							
79	80		Pq5-3	VIc層	青磁	碗	－	〈3.2〉	－	口縁部～体部片	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C前半	
	81		Pq5-5	VIc層	青磁	碗	－	〈1.5〉	(7.2)	底部1/3	釉：オリーブ色	堅緻	灰黄色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	12C後半～13C前半	
	82		Rr	VIIb層	青磁	碗	－	〈1.4〉	(5.2)	底部3/8	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	13C前半	
	83		Rs	VIIc層	青磁	碗	－	〈2.7〉	(6.2)	体部下部～底部1/4	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰色～浅黄橙色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎		
	84		Pq5-5	VIc層	青磁	碗	－	〈1.4〉	(6.2)	底部1/6	釉：オリーブ黄色	堅緻	灰黄色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎，底部内面花弁文か	13C前半か	
	85			VIIc層	青磁	碗	(11.8)	〈3.3〉	－	口縁部～体部1/5	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面厚く施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C後半～14C初	
	86			VIIc層	青磁	碗	－	〈4.4〉	－	口縁部～体部片	釉：灰オリーブ色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C前半	
	87			VIIc層	青磁	碗	－	〈2.5〉	－	口縁部～体部片	釉：オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，口縁部～体部外面蓮弁文	14C	
	88		Nr2-4	VIIc層	青磁	碗	－	〈2.5〉	(3.0)	体部下部～底部1/4	釉：緑灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面厚く施釉，体部外面鎬蓮弁文	13C後半	
	89			VIc・VIIc層	青磁	碗	－	〈2.6〉	(5.9)	体部下部～底部1/8	釉：緑灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉	13C後半	
	90			VIIc層	青磁	碗	－	〈1.3〉	5.2	底部1/1	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	12C後半～13C前半	
	91		Op1-2	VIIc層	青磁	碗	－	〈1.4〉	(5.6)	体部下部～底部2/5	釉：にぶい黄色	堅緻	灰黄褐色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎・内面花弁文	12C後半	
	92			VIIc層	青磁	碗	－	〈1.2〉	(5.4)	底部1/2	釉：明オリーブ灰色	堅緻	灰白色，緻密	内外面施釉，底部外面露胎	12C後半～13C前半	
	93			VIIc層	古瀬戸	柄付片口か	－	〈0.8〉	(8.4)	底部1/3	釉：灰釉	良	緻密	内外面施釉，底部外面露胎・回転糸切り		
	94			VIIc層	白磁	卸皿	(10.6)	2.1	(5.2)	1/4	釉：灰オリーブ色	良	緻密	内外面施釉，底部外面露胎・内面櫛目文	12C	
	95		Nq4-4・Nr2-2・Nr4-4・Or3-1	VIIc層	珠洲	壺	－	〈12.5〉	－	肩部～胴部上半1/3	灰色	良	黒色粒極多，白色粒少		Ⅱ～Ⅲ期	
	96		L	VIIa層	珠洲	片口鉢	(33.8)	13.3	(14.2)	1/8	灰色	良	白色粒・白色針状物少，長石微	卸目15条一単位，底部外面静止糸切り→ハケナデ	Ⅳ期	内面擦れ
80	97		Pq3-1・Pq4-1	VIc・Ⅲ層	珠洲	片口鉢	(17.8)	8.3	(8.9)	1/4	灰白色	良	白色粒少，黒色粒・白色針状物微	卸目なし，底部外面回転糸切り	Ⅰ期	内面擦れ
	98		Qq4-5	VIa層	珠洲	片口鉢	(20.0)	8.7	(9.2)	1/5	黄灰色	良	白色粒やや多，赤色粒・黒色粒・白色針状物微	卸目なし，底部外面静止糸切り	Ⅱ期	

土製品

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値				備考
							長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	
	1	16号掘立 P7	Or5-1		土製品	土錘	7.2	6.2	6.0	221.3	管状
	2	24号土坑	Pq4-1	1層	土製品	焼成粘土塊	2.7	3.0	2.0	14.3	
	3	25号土坑	Pq5-2	1層	土製品	焼成粘土塊	3.8	4.3	2.7	22.3	
	4	25号土坑	Pq5-2	1層	土製品	焼成粘土塊	2.8	4.2	2.4	10.9	
	5	25号土坑			土製品	焼成粘土塊	3.1	3.4	2.8	12.2	
	6	25号土坑	Pq5-2		土製品	焼成粘土塊	2.4	4.0	1.8	8.7	
81	7	67号土坑	Rr1-4	3層	土製品	土錘	3.2	1.3	1.1	4.5	上端部に未貫通孔，未成品か
	8	1A号溝	Lq4-5		土製品	土錘	〈2.9〉	2.5	2.3	〈13.1〉	管状
	9	1A号溝	Mr2-3	6層	土製品	土錘	7.5	4.3	4.1	130.2	管状
	10	11号溝	Op2-3		土製品	土錘	7.0	5.2	5.3	〈156.7〉	管状，一部欠損，1号流路出土破片と接合
	11	1号流路	Rq1-1		土製品	土錘	4.6	1.5	1.3	7.1	管状
	12		Ns5-2	Ⅶc層	土製品	土錘	6.4	4.0	3.7	〈82.1〉	管状，一部欠損
	13		Qq1-5	Ⅵc層	土製品	転用砥石	7.2	4.2	1.0	25.5	土師質土器底部破片を転用

石製品

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値				石材	備考
							長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）		
	1	16号掘立 P7	Or5-1		石製品	砥石	〈7.5〉	5.6	3.7	〈194.4〉	凝灰岩	
	2	17号掘立 P3	Oq5-5		石製品	砥石	14.6	〈7.1〉	5.8	〈810.5〉	安山岩	
	3	38号掘立 P4	Os3-1		石製品	砥石	〈13.0〉	〈9.7〉	6.6	〈910.6〉	粗粒玄武岩	
	4	45号掘立 P2	Or5-3		石製品	砥石	〈8.2〉	4.6	2.1	〈128.0〉	凝灰岩	
82	5	56号掘立 P1	Ps1-2		石製品	砥石	〈6.1〉	〈4.8〉	5.1	〈221.3〉	変成岩	
	6	58号掘立 P1	Qr1-5		石製品	砥石	〈6.9〉	〈1.8〉	2.4	〈38.5〉	凝灰岩	
	7	4号土坑	Ls2-2	4層	石製品	砥石	〈6.9〉	3.2	2.7	〈45.2〉	凝灰岩	
	8	24号土坑	Pq4-1	1層	石製品	砥石	〈4.5〉	2.4	2.9	〈33.0〉	凝灰岩	
	9	17号土坑	Pp1-5	4層	石製品	砥石	〈10.2〉	5.6	3.0	〈179.3〉	凝灰岩	
	10	42号土坑	Or2-4	1層	石製品	砥石	〈9.1〉	〈5.3〉	4.2	〈174.4〉	凝灰岩	
	11	43号土坑	Or3-5		石製品	砥石	〈6.7〉	〈2.9〉	2.4	〈62.1〉	凝灰岩	
	12	63号土坑	Qt2-1	1層	石製品	砥石	〈2.7〉	3.5	0.5	〈7.6〉	頁岩	
	13	67号土坑	Qr5-4		石製品	砥石	16.7	11.0	8.9	2750.0	粗粒玄武岩	
	14	67号土坑	Qr5-5	2層	石製品	砥石	9.4	3.6	2.1	95.4	流紋岩	
	15	67号土坑	Qr5-5	2層	石製品	球状石製品	3.3	3.3	3.3	36.1	凝灰岩	
	16	68号土坑	Rs1-1	1層	石製品	砥石	〈4.3〉	5.1	4.5	〈123.5〉	凝灰岩	
83	17	1A号溝	Ms1-1	4層	石製品	砥石	〈6.4〉	8.1	5.5	〈348.6〉	凝灰岩	
	18	1A号溝	Ms2-4	4層	石製品	石鉢	－	器高〈7.3〉	－	－	砂岩	体部～底部片
	19	15号溝	Po4-4		石製品	浮子	6.6	5.4	2.9	34.1	軽石	上面溝状の刻み4
	20	31号溝	Qs4-1		石製品	砥石	9.5	3.8	3.4	139.8	粗粒玄武岩	
	21	34号溝	Qt4-1		石製品	砥石	〈8.2〉	4.9	3.5	〈208.0〉	凝灰岩	
	22	38号溝	Rr4-2		石製品	砥石	15.5	5.8	2.2	378.5	変成岩	
	23	38号溝	Rr4-2		石製品	砥石	〈10.2〉	7.0	3.9	〈291.5〉	凝灰岩	
	24	40号溝	St4-1	1層	石製品	砥石	9.3	5.1	4.1	180.5	凝灰岩	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値				石材	備考
							長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）		
84	25	P20	Rr1-3		石製品	砥石	7.8	3.0	2.6	〈68.5〉	凝灰岩	
	26	1号流路	Rq2-5		石製品	硯	〈4.6〉	〈3.6〉	〈1.3〉	〈19.3〉	頁岩	
	27	1号流路	Rp1-3		石製品	砥石	〈6.4〉	5.5	2.7	〈122.9〉	粗粒玄武岩	
	28	1号流路	Rr2-1		石製品	砥石	〈3.5〉	〈3.3〉	2.7	〈35.0〉	凝灰岩	
	29	1号流路	Rr2-1		石製品	砥石	〈5.0〉	3.6	1.4	〈28.2〉	凝灰岩	
	30	1号流路	Rq2-4		石製品	砥石	〈5.0〉	4.9	1.6	〈44.1〉	凝灰岩	
	31	1号流路	Rr2-3		石製品	砥石	〈9.7〉	5.2	3.9	〈220.9〉	凝灰岩	
	32	1号流路	Rs4-1		石製品	砥石	〈10.0〉	4.5	3.1	〈155.9〉	凝灰岩	
	33	1号流路	Rr4-5		石製品	砥石	〈5.2〉	5.9	2.3	〈86.3〉	変成岩	
	34	1号流路	Rs4-1		石製品	砥石	〈12.5〉	〈12.4〉	5.2	〈1065.0〉	粗粒玄武岩	
	35	1号流路	Rr2-4		石製品	砥石	〈2.9〉	2.2	1.5	〈9.9〉	凝灰岩	
	36		Ms2-4	Ⅶa層	石製品	石鉢	-	器高〈10.6〉	-	-	砂岩	口縁部～体部片
	37		Qr2-1	Ⅵc層	石製品	浮子	〈6.7〉	5.5	3.7	〈50.4〉	軽石	上面刻みあり
	38		Lr5-5	Ⅶa層	石製品	砥石	〈6.6〉	3.3	2.7	〈66.1〉	凝灰岩	
	39		Lt1-1	Ⅰa層	石製品	砥石	〈4.0〉	2.2	1.3	〈10.5〉	安山岩	
	40		Ns2-4	Ⅰa層	石製品	砥石	13.8	4.2	2.5	153.0	凝灰岩	
	41		Ns2-4	Ⅰa層	石製品	砥石	11.5	〈4.9〉	3.5	〈328.0〉	凝灰岩	
	42		Ms2-1	Ⅶa層	石製品	砥石	〈9.7〉	8.5	4.6	〈419.4〉	安山岩	
	43		Ms2-4	Ⅶa層	石製品	砥石	13.8	4.4	4.5	377.4	凝灰岩	
85	44		Np5-4	Ⅶc層	石製品	砥石	〈5.1〉	〈3.0〉	1.7	〈22.5〉	凝灰岩	
	45		Op2-5	Ⅶc層	石製品	砥石	〈2.4〉	4.8	2.5	〈30.7〉	凝灰岩	
	46		Oq3-5	Ⅶc層	石製品	砥石	〈7.2〉	〈8.3〉	4.7	〈411.7〉	安山岩	
	47		Ns4-3	Ⅶc層	石製品	砥石	〈11.5〉	〈9.1〉	3.4	〈488.8〉	安山岩	
	48		Os4-2	Ⅶc層	石製品	砥石	〈7.9〉	3.8	2.6	〈83.2〉	凝灰岩	
	49		Or1-1	Ⅶc層	石製品	砥石	〈8.3〉	〈11.0〉	7.0	〈548.0〉	変成岩	
	50		Po	Ⅶc層	石製品	砥石	〈9.4〉	8.1	6.0	〈525.0〉	凝灰岩	
	51		Qq2-1	Ⅲ層	石製品	砥石	〈9.5〉	3.5	2.6	〈133.9〉	変成岩	
	52		Qq5-5	Ⅲ層	石製品	砥石	8.8	3.2	1.9	98.8	安山岩	
	53		Qs2-1	Ⅰd層	石製品	砥石	〈4.7〉	3.8	3.7	〈67.5〉	凝灰岩	
	54		Qq5-4	Ⅲ層	石製品	砥石	3.7	3.7	1.7	〈26.0〉	凝灰岩	
	55		Qr2-3	Ⅵc層	石製品	砥石	〈13.4〉	5.9	5.9	〈483.3〉	凝灰岩	
	56		Qr5-2	Ⅵc層	石製品	砥石	〈8.2〉	3.8	1.7	〈91.3〉	凝灰岩	
	57		Rq	Ⅶc層	石製品	砥石	〈5.0〉	3.2	2.6	〈46.6〉	凝灰岩	
	58		Ss3-4	Ⅶb層	石製品	砥石	〈5.5〉	2.3	2.5	〈36.1〉	凝灰岩	
	59		Ss4-4	Ⅶb層	石製品	砥石	〈6.6〉	4.0	2.6	〈51.8〉	凝灰岩	
	60		Rs2-1	Ⅶc層	石製品	砥石	〈13.1〉	〈7.3〉	3.3	〈346.4〉	粗粒玄武岩	
86	61			Ⅶc層	石製品	砥石	11.1	5.0	3.5	〈176.4〉	凝灰岩	
	62			Ⅶc層	石製品	砥石	6.2	4.0	2.6	〈71.4〉	凝灰岩	
	63			Ⅵc層	石製品	砥石	〈5.0〉	4.4	3.5	〈85.0〉	凝灰岩	
	64			Ⅵc・Ⅶc層	石製品	砥石	〈5.8〉	3.3	0.8	〈21.5〉	頁岩	

金属製品

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値				備考
							長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	
87	1	10号土坑	No5-3	1層	鉄製品	金具	〈4.3〉	3.1	0.8	〈7.2〉	
	2	67号土坑	Rr1-5		鍛冶関連	鉄滓	7.9	8.2	2.3	135.4	椀形
	3	P11	Oq4-4		鉄製品	板状鉄製品	4.6	4.2	1.2	〈36.6〉	
	4	1B号溝	Ls5-1		鍛冶関連	鉄滓	5.4	6.3	2.3	74.9	椀形
	5	1A号溝	Mr1-2	4層	鍛冶関連	羽口	〈15.0〉	〈7.8〉	〈3.2〉	〈320.7〉	上部一部ガラス質化
	6	3A号溝	Ls3-1	2層	鍛冶関連	羽口	〈7.3〉	〈6.8〉	〈2.8〉	〈127.8〉	
	7	10号溝	Nr1-5		鍛冶関連	羽口	〈8.1〉	〈5.9〉	〈3.1〉	〈105.2〉	外面一部ガラス質化
	8	28号溝	Ps5-2		鍛冶関連	鉄滓	6.6	7.0	1.3	60.3	椀形
	9	1号流路	Rs4-1		鍛冶関連	鉄滓	6.3	8.5	3.7	240.2	椀形
	10	1号流路	Rq2-5		鉄製品	刀子	〈5.8〉	1.8	0.4	〈8.3〉	11と同一個体の可能性あり
	11	1号流路	Rq2-5		鉄製品	刀子	〈5.4〉	〈1.5〉	0.4	〈4.7〉	10と同一個体の可能性あり
	12		Pq5-1	VIc層	鉄製品	刀子	〈11.1〉	2.1	0.4	〈23.9〉	
	13		Qp2-1	Id層	銅製品	金具	2.6	0.7	0.6	2.8	

銭貨

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	銭種	計測値		王朝	初鋳年	備考
							直径（cm）	重量（g）			
88	1	16号井戸	Or1-5	1層	銭貨	開元通寶	2.2	2.2	唐	621年	真書
	2	32号土坑	Oq3-3	2層	銭貨	景徳元寶	2.5	〈2.6〉	北宋	1004年	真書
	3	37号土坑	Oq2-5	1層	銭貨	元豊通寶	2.4	〈3.1〉	北宋	1078年	篆書
	4	68号土坑	Rs2-1	1層	銭貨	天聖元寶	2.4	3.5	北宋	1023年	真書
	5	P2	Or3-3		銭貨	景祐通寶	2.2	2.1	北宋	1034年	真書，上から1枚目
	6	P2	Or3-3		銭貨	祥符元寶	2.2	2.4	北宋	1008年	真書，上から2枚目
	7	P2	Or3-3		銭貨	政和通寶	2.4	〈2.1〉	北宋	1111年	篆書，上から3枚目
	8	P2	Or3-3		銭貨	至道元寶	2.4	3.1	北宋	995年	草書，上から4枚目
	9	P3	Qs3-5		銭貨	祥符元寶	2.4	2.3	北宋	1008年	真書，上から1枚目
	10	P3	Qs3-5		銭貨	不明	2.4	2.3			上から2枚目
	11	P3	Qs3-5		銭貨	元祐通寶	2.4	2.1	北宋	1086年	真書，上から3枚目
	12	29号溝	Os2-2	1層	銭貨	皇宋通寶	2.4	〈2.5〉	北宋	1038年	篆書
	13	29号溝	Os2-2	1層	銭貨	元祐通寶	2.4	3.2	北宋	1086年	篆書
	14	29号溝	Os2-2	1層	銭貨	政和通寶	2.4	2.4	北宋	1111年	真書
	15	1号流路	Rq2-5	4層	銭貨	紹聖元寶	2.3	3.7	北宋	1094年	行書
	16		Nq5-1	VIIc層	銭貨	元祐通寶	2.4	3.1	北宋	1086年	篆書
	17		Or1-5	VIIc層	銭貨	太平通寶	2.4	2.4	北宋	976年	真書
	18		Or2-1	VIIc層	銭貨	咸平元寶か	(2.4)	〈0.9〉	北宋	998年	真書
	19		Or2-3	VIIc層	銭貨	元祐通寶	2.4	〈2.3〉	北宋	1086年	篆書
	20		Or5-4	VIIc層	銭貨	大観通寶か	2.5	〈1.4〉	北宋	1107年	真書
	21		Os1-1	VIIc層	銭貨	開元通寶	2.4	2.8	唐	621年	真書
	22		Pq5-1	VIc層	銭貨	熙寧元寶か	2.3	1.8	北宋	1068年	篆書
	23		Qp2-4	III層	銭貨	天聖元寶	2.4	3.1	北宋	1023年	真書
	24		Qq1-5	VI層	銭貨	皇宋通寶	2.3	3.2	北宋	1038年	真書
	25		Ra5-2	VIIc層	銭貨	元祐通寶	2.4	3.8	北宋	1086年	行書
	26	排土			銭貨	元豊通寶	2.3	2.9	北宋	1078年	行書
	27	排土			銭貨	皇宋通寶	2.4	2.1	北宋	1038年	真書

木製品

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
89	1	2号掘立 P3	Po3-4		木製品	柱根	〈20.4〉	16.6	11.5	クリ	分割角材	
	2	4号掘立 P1	Po1-5		木製品	柱根	〈47.8〉	17.1	13.4	クリ	分割角材	
	3	5号掘立 P6	Pp1-5		木製品	柱根	〈49.0〉	13.7	11.3	クリ	芯持丸木	
	4	6号掘立 P2	Pp2-2		木製品	柱根	〈31.4〉	15.8	11.2	クリ	ミカン割状	
	5	12号掘立 P1	Qp2-2		木製品	柱根	〈26.7〉	21.4	16.7	スギ	分割材	
	6	13号掘立 P1	Qp2-4		木製品	柱根	〈29.5〉	15.4	12.7	スギ	分割材	
	7	13号掘立 P2	Qp3-4		木製品	柱根	〈22.0〉	20.0	15.3	スギ	分割材	
	8	13号掘立 P3	Qp3-5		木製品	柱根	〈51.9〉	14.4	9.7	スギ	分割角材	
	9	14号掘立 P3	Oq1-5		木製品	柱根	〈30.9〉	11.0	10.0	クリ	芯持丸木	
	10	14号掘立 P3	Oq1-5		木製品	柱根	〈25.3〉	11.3	9.3	クリ	芯持丸木	
	11	16号掘立 P1	Or1-1		木製品	柱根	〈25.0〉	17.0	15.6	スギ	分割材	
90	12	19号掘立 P1	Oq3-2		木製品	柱根	〈43.9〉	16.2	13.6	クリ	芯持丸木	一部炭化
	13	19号掘立 P7	Pq3-2		木製品	礎板	34.2	15.2	9.0		分割材	
	14	19号掘立 P7	Pq3-2		木製品	礎板	26.9	10.7	2.8		柾目	23と同一部材か
	15	19号掘立 P7	Pq3-2		木製品	礎板	30.1	14.5	4.9	スギ	板目	22・24・25と同一部材か
	16	20号掘立 P5	Pq3-1		木製品	柱根	〈23.5〉	13.6	12.0	スギ	分割材	
	17	23号掘立 P3	Pq1-1		木製品	礎板	25.2	8.8	4.3	スギ	分割角材	
	18	23号掘立 P4	Pq2-2		木製品	礎板	27.0	6.3	3.9	スギ	板目	
	19	23号掘立 P5	Pq2-3		木製品	礎板	28.0	9.7	6.2	スギ	分割角材	
	20	22号掘立 P5	Pq5-2		木製品	柱根	〈54.3〉	8.4	7.5	ガマズミ属	芯持丸木	
	21	30号掘立 P4	Pq3-5		木製品	礎板	11.1	15.0	1.9		柾目	露卯下駄の歯を転用
	22	32号掘立 P4	Pq4-2		木製品	礎板	32.0	14.8	5.2	スギ	分割角材	15・24・25と同一部材か
	23	32号掘立 P7	Pq5-5		木製品	礎板	31.9	10.8	4.8		柾目	14と同一部材か
	24	32号掘立 P6	Pq4-4		木製品	礎板	26.1	14.2	5.5	スギ	板目	15・22・25と同一部材か
	25	32号掘立 P12	Pq2-3		木製品	礎板	27.4	14.9	5.1	スギ	板目	15・22・24と同一部材か
91	26	32号掘立 P18	Pq5-5		木製品	柱根	〈17.0〉	13.4	7.7	スギ	分割材	
	27	32号掘立 P18	Pq5-5		木製品	礎板	22.0	12.6	3.5		板目	
	28	32号掘立 P19	Pr2-1・Pr3-1		木製品	礎板	22.1	6.4	4.4	スギ	板目	桟木を転用か
	29	32号掘立 P19	Pr2-1・Pr3-1		木製品	礎板	26.0	6.3	4.6	スギ	板目	桟木を転用
	30	32号掘立 P19	Pr2-1・Pr3-1		木製品	礎板	59.4	8.0	0.7		板目	
	31	32号掘立 P19	Pr2-1・Pr3-1		木製品	礎板	32.6	28.5	1.9		板目	蓋板を転用
	32	32号掘立 P21	Pq2-4		木製品	礎板	〈26.2〉	10.9	6.8	アカメガシワ	半裁状	裏面炭化
	33	33号掘立 P3	Pq3-1		木製品	柱根	〈41.6〉	11.7	8.4	ヌルデ	芯持丸木	
	34	33号掘立 P4	Pq4-2		木製品	柱根	〈57.2〉	16.0	14.8	クリ	芯持丸木	
	35	34号掘立 P4	Pq5-3		木製品	柱根	〈32.7〉	8.2	7.6	ヌルデ	芯持丸木	
	36	35号掘立 P3	Op2-5		木製品	柱根	〈21.3〉	18.3	15.4	スギ	分割角材	
	37	41号掘立 P2	Pr2-5		木製品	礎板	33.0	16.5	2.5		柾目	
92	38	42号掘立 P1	Or2-5		木製品	柱根	〈23.9〉	10.8	7.7	スギ	半裁状	
	39	42号掘立 P1	Or2-5		木製品	礎板	45.3	15.6	5.3		板目	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
92	40	42号掘立 P5	0s5-1		木製品	柱根	〈44.4〉	17.0	12.2	スギ	分割材	
	41	43号掘立 P8	Ps3-1		木製品	礎板	20.3	15.7	3.2		柾目	
	42	43号掘立 P15	0r5-3		木製品	礎板	34.1	7.5	4.2		柾目	抉り
	43	43号掘立 P13	0r5-5		木製品	柱根	〈24.3〉	16.7	14.4	スギ	分割角材	
	44	43号掘立 P16	Pr1-4		木製品	柱根	〈26.5〉	18.3	17.0	スギ	分割角材	
	45	43号掘立 P25	0s5-2		木製品	礎板	30.1	13.2	5.7		板目	円形孔
	46	43号掘立 P3	Pr1-2		木製品	箸	〈13.3〉	0.8	0.6			
	47	44号掘立 P4	Pr1-3		木製品	礎板	〈19.0〉	9.8	2.2		板目	
	48	44号掘立 P4	Pr1-3		木製品	礎板	37.4	9.8	1.4		板目	表面上部突起
	49	44号掘立 P4	Pr1-3		木製品	礎板	32.7	11.5	4.4		板目	
	50	44号掘立 P8	Ps1-1		木製品	礎板	37.5	19.1	4.8	スギ	柾目	
	51	45号掘立 P1	0r4-3		木製品	礎板	〈29.8〉	13.2	2.3		柾目	
	52	45号掘立 P2	0r5-3		木製品	礎板	〈28.3〉	6.5	4.0		板目	切れ込み
	53	45号掘立 P6	Pr3-5		木製品	礎板	〈39.0〉	18.1	6.0		板目	
93	54	45号掘立 P9	0s5-1		木製品	柱根	〈26.4〉	16.3	11.8	スギ	分割材	
	55	46号掘立 P6	Pr3-5		木製品	礎板	27.3	18.0	5.8		板目	裏面線状痕
	56	46号掘立 P6	Pr3-5		木製品	礎板	〈45.6〉	13.9	8.5		分割角材	表面溝，上部炭化
	57	46号掘立 P8	Ps4-1		木製品	礎板	38.7	17.8	7.6		板目	表裏面炭化
	58	46号掘立 P8	Ps4-1		木製品	柱根	〈41.4〉	20.4	16.4	スギ	分割角材	
	59	46号掘立 P10	Ps4-3		木製品	柱根	〈28.5〉	14.8	9.4	スギ	分割材	
	60	46号掘立 P10	Ps4-3		木製品	柱根	〈49.8〉	18.6	14.6	スギ	分割角材	
	61	46号掘立 P12	Ps3-3		木製品	柱根	〈22.5〉	16.4	15.5	クリ	分割材	
	62	46号掘立 P12	Ps3-3		木製品	礎板	33.6	18.4	8.2		板目	
	63	46号掘立 P13	Ps2-3		木製品	礎板	〈39.8〉	18.2	6.5		板目	
94	64	46号掘立 P13	Ps2-2・Ps2-3		木製品	柱根	〈44.9〉	10.0	6.7		分割材	上部炭化
	65	46号掘立 P13	Ps2-2・Ps2-3		木製品	柱根	〈38.1〉	17.6	12.1	クリ	分割角材	
	66	46号掘立 P17	0r5-4		木製品	柱根	〈19.9〉	15.3	11.6	クリ	分割角材	
	67	46号掘立 P17	0r5-4		木製品	礎板	40.1	16.7	7.3		分割材	
	68	46号掘立 P17	0r5-4		木製品	礎板	28.6	14.9	6.8		分割材	方形穿孔
	69	46号掘立 P22	Ps3-2		木製品	柱根	〈31.6〉	18.7	14.6	スギ	分割角材	
	70	46号掘立 P23	Pr2-1		木製品	柱根	〈22.9〉	17.4	15.3	スギ	分割材削出	
	71	47号掘立 P7	Pr4-5		木製品	礎板	〈22.9〉	11.8	6.9		柾目	下端を除き全面炭化
	72	47号掘立 P10	Ps3-1		木製品	礎板	〈23.3〉	4.6	2.3		柾目	
	73	47号掘立 P10	Ps3-1		木製品	礎板	23.0	11.4	3.6		板目	
	74	47号掘立 P10	Ps3-1		木製品	礎板	56.4	20.0	5.2		板目	
	75	47号掘立 P16	Pr4-4		木製品	礎板	28.2	9.0	2.1		板目	
	76	47号掘立 P16	Pr4-4		木製品	礎板	42.0	17.2	0.8		柾目	表裏面線状痕多，表面一部炭化
95	77	48号掘立 P4	Pr4-5		木製品	柱根	〈44.5〉	14.9	12.8	スギ	分割角材	
	78	49号掘立 P1	Pr2-1		木製品	柱根	〈18.0〉	10.2	8.1	エノキ属	ミカン割状	
	79	49号掘立 P7	Pr4-4		木製品	柱根	〈36.7〉	11.1	7.4	スギ	分割角材	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
95	80	55号掘立 P3	Ps4-1		木製品	柱根	〈28.8〉	10.4	8.6	スギ	分割角材	
	81	56号掘立 P4	Ps2-3		木製品	柱根	〈34.1〉	13.6	13.4	スギ	分割角材	正面・左側面溝
	82	69号掘立 P3	Qs3-5		木製品	柱根	〈33.4〉	10.7	12.0	スギ	分割角材	
	83	62号掘立 P2	Rr1-5		木製品	柱根	〈72.4〉	12.4	12.2	クリ	芯持丸木	
	84	70号掘立 P3	Qs3-5		木製品	柱根	〈35.9〉	12.8	12.4	キハダ	芯持丸木	
	85	72号掘立 P5	Qt5-5		木製品	礎板	〈27.8〉	25.3	0.7	スギ	柾目	表裏面線状痕，折敷底板を転用か
96	86	1号井戸	Np1-3		木製品	曲物	60.6	58.8	33.4	スギ	側板：板目 箍：柾目	木釘遺存，井戸水溜施設
	87	1号井戸	Np1-4		木製品	部材	64.0	3.6	0.5		板目	穿孔，木釘遺存
	88	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	〈61.0〉	3.2	0.8		板目	穿孔
	89	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	65.5	3.0	0.9		板目	穿孔
	90	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	63.6	3.0	0.5		板目	穿孔
	91	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	63.6	2.5	0.3		板目	穿孔
	92	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	〈50.1〉	2.6	0.3		板目	穿孔
	93	1号井戸	Np1-3		木製品	部材	〈31.8〉	3.1	0.4		板目	穿孔
	94	1号井戸	Np1-3		木製品	棒状木製品	〈18.5〉	1.9	2.1		分割材	切れ込み
	95	1号井戸	Np1-3		木製品	板状木製品	〈19.3〉	〈4.0〉	1.0		板目	穿孔，裏面ケビキ状の刻み，曲物側板の可能性あり
	96	1号井戸	Np1-3		木製品	箱側板	19.7	4.1	0.8		柾目	穿孔，木釘遺存，表裏面炭化，組合せ箱
	97	1号井戸	Np1-3		木製品	蓋板	〈32.6〉	〈8.2〉	0.6		柾目	表面線状痕
	98	1号井戸	Np1-3	3層	木製品	付け木	〈8.0〉	2.1	0.8			上下部炭化
97	99	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	〈35.4〉	0.7	0.7			
	100	1号井戸	Np1-3		木製品	箸	〈22.4〉	0.8	0.6			上端切断
	101	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	21.7	0.6	0.5			上端切断
	102	1号井戸	Np1-4	2層	木製品	箸	22.0	0.6	0.2			
	103	1号井戸	Np1-3		木製品	箸	21.4	0.6	0.4			
	104	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	19.0	0.7	0.5			上端切断
	105	1号井戸	Np1-3	3層	木製品	箸	19.5	0.5	0.3			
	106	1号井戸	Np1-4	2層	木製品	箸	22.1	0.6	0.3			
	107	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	〈20.8〉	0.5	0.5			
	108	1号井戸	Np1-4	2層	木製品	箸	〈19.5〉	0.7	0.3			
	109	1号井戸	Np1-3		木製品	箸	〈16.0〉	0.7	0.5			
	110	1号井戸	Np1-4	2層	木製品	箸	〈18.9〉	0.5	0.5			
	111	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	〈15.7〉	0.6	0.4			
	112	1号井戸	Np1-3	2層	木製品	箸	〈14.1〉	0.7	0.5			
	113	1号井戸	Np1-3	3層	木製品	箸	〈13.8〉	0.7	0.5			
	114	2号井戸	Np1-4		木製品	曲物	60.6	57.6	17.0	スギ	側板内：板目 側板外：柾目	井戸枠
	115	2号井戸	Np1-4		木製品	曲物	40.8	44.6	33.2	スギ	側板：柾目 箍：柾目	木釘遺存，井戸水溜施設
	116	2号井戸	Np1-4		木製品	板状木製品	〈61.6〉	〈9.6〉	1.1		柾目	穿孔
	117	2号井戸	Np1-4		木製品	箸	〈23.5〉	0.7	0.5			
	118	2号井戸	Np1-3		木製品	箸	〈17.1〉	0.7	0.5			
98	119	3号井戸	Pp5-2		木製品	隅柱	86.6	5.0	4.2	スギ	分割角材	井戸枠

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
98	120	3号井戸	Qp1-2		木製品	桟木	90.0	6.4	3.0	スギ	板目	井戸枠
	121	3号井戸	Pp5-2		木製品	桟木	81.6	4.6	2.8	スギ	柾目	方形孔，井戸枠
	122	3号井戸	Qp1-2		木製品	桟木	73.8	3.6	3.8	カエデ属	芯持丸木	井戸枠
	123	3号井戸	Pp5-2		木製品	桟木	63.8	5.6	2.4	スギ	板目	井戸枠
	124	3号井戸	Pp5-2		木製品	桟木	65.8	3.6	2.0	スギ	板目	井戸枠
	125	3号井戸	Pp5-2		木製品	桟木	54.4	4.0	2.2	スギ	板目	井戸枠
	126	3号井戸	Pp5-2		木製品	桟木	62.2	3.4	2.0	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	127	3号井戸	Qp1-2		木製品	桟木	54.6	2.0	1.8	スギ	分割材	井戸枠
	128	3号井戸	Pp5-2		木製品	曲物	44.0	43.4	41.2	スギ	側板：板目 箍：板目	木釘遺存，井戸水溜施設
	129	3号井戸	Qp1-2	1層	木製品	桟木	54.8	2.7	2.1		分割材	
	130	3号井戸	Qp1-2		木製品	部材	34.0	6.0	1.4		柾目	方形穿孔
	131	3号井戸	Qp1-2	1層	木製品	不明	〈8.3〉	3.5	1.7		板目	上端切断
	132	3号井戸	Pp5-2	7層	木製品	箸	20.3	0.7	0.5			
	133	3号井戸	Qp1-2	1層	木製品	箸	〈18.8〉	0.7	0.4			
	134	3号井戸	Qp1-2	1層	木製品	箸	〈15.9〉	0.7	0.3			
	135	3号井戸	Qp1-2	1層	木製品	箸	〈14.5〉	0.7	0.4			
99	136	3号井戸	Qp1-2		木製品	漆器盤	(28.1)	0.7	(28.4)	ケヤキ	柾目	内外面黒漆
	137	3号井戸	Qp1-2	3層	木製品	漆器椀	(14.8)	〈1.8〉	-	ケヤキ	横木地柾目取	外面炭化，内面黒漆
	138	3号井戸	Pp5-2		木製品	蓋板	17.9	〈7.1〉	0.6		柾目	表裏面線状痕
	139	4号井戸	Oq4-2	2層	木製品	板状木製品	〈29.5〉	〈14.5〉	0.4		柾目	穿孔，表裏面線状痕
	140	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈39.6〉	26.9	1.2	スギ	柾目	穿孔，井戸枠，建築部材を転用か
	141	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈63.2〉	24.2	1.6	スギ	板目	穿孔，井戸枠，建築部材を転用か
	142	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈57.2〉	25.6	1.8	スギ	板目	穿孔，井戸枠，建築部材を転用か
	143	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈38.6〉	26.6	0.8	スギ	柾目	穿孔，井戸枠，建築部材を転用か
	144	6号井戸	Np5-4		木製品	縦板	〈37.3〉	27.7	4.0	スギ	板目	井戸枠，丸木舟を転用
100	145	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈48.9〉	4.5	0.9	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	146	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈47.7〉	3.9	0.4	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	147	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈58.0〉	8.5	1.0	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	148	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈53.6〉	7.6	1.0	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	149	6号井戸	Np5-4		木製品	縦板	〈82.0〉	11.5	2.2	スギ	板目	井戸枠
	150	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈66.8〉	11.7	1.2	スギ	板目	表面線状痕，井戸枠
	151	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈64.4〉	13.6	1.6	スギ	板目	井戸枠
	152	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈98.6〉	15.0	3.0	スギ	板目	井戸枠
	153	6号井戸	Np5-4		木製品	縦板	〈45.0〉	14.0	2.4		板目	井戸枠
	154	6号井戸	Np5-4		木製品	縦板	〈28.9〉	19.1	0.9	スギ	柾目	穿孔，井戸枠，建築部材を転用か
	155	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈83.8〉	18.8	3.1	スギ	分割材	井戸枠
	156	6号井戸	Np5-5		木製品	縦板	〈66.2〉	18.0	2.1	スギ	板目	井戸枠
101	157	6号井戸	Np5-5		木製品	曲物	63.6	72.2	48.8	スギ	側板内：板目 側板外・箍：柾目	木釘遺存，井戸枠
	158	6号井戸	Np5-5		木製品	曲物	62.8	56.4	54.4	スギ	側板内：柾目 側板外：板目	木釘遺存，井戸水溜施設
	159	6号井戸	Nq5-4		木製品	板状木製品	〈30.6〉	17.0	0.9		柾目	穿孔

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
101	160	6号井戸	Nq5-4	3層	木製品	箸	〈20.1〉	0.6	0.5			
	161	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈31.8〉	4.2	0.5		板目	井戸枠
	162	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈24.8〉	5.5	0.3		板目	井戸枠
	163	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈25.6〉	5.7	0.6		板目	井戸枠
	164	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈35.8〉	6.2	0.8		板目	井戸枠
	165	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈54.7〉	6.1	1.1	スギ	板目	穿孔，表面線状痕，井戸枠
	166	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈55.0〉	9.0	1.0	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	167	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈33.2〉	9.8	1.4	スギ	柾目	表面線状痕，井戸枠
	168	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈27.8〉	10.2	0.9	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	169	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈34.1〉	9.2	0.7	スギ	板目	井戸枠
102	170	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈32.7〉	11.0	0.5		板目	表面線状痕，井戸枠
	171	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈43.0〉	11.5	0.7	スギ	板目	表面線状痕，井戸枠
	172	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈40.9〉	10.3	0.5	スギ	板目～柾目	井戸枠
	173	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈35.6〉	12.1	0.9	スギ	板目	井戸枠
	174	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈38.6〉	10.2	0.9	スギ	柾目	井戸枠
	175	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈35.4〉	11.8	0.6	スギ	板目	井戸枠
	176	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈63.2〉	12.0	0.8	スギ	板目～柾目	穿孔，表面線状痕，井戸枠
	177	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈54.0〉	13.0	0.8	スギ	板目	表面線状痕，井戸枠
	178	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈44.3〉	14.6	0.6	スギ	板目	表面線状痕，井戸枠
	179	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈47.1〉	13.5	1.4	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	180	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈45.3〉	16.0	1.8	スギ	板目	井戸枠
	181	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈38.0〉	15.2	0.7	スギ	板目	井戸枠
	182	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈50.7〉	13.4	1.0	スギ	板目～柾目	井戸枠
	183	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈58.4〉	17.2	0.7	スギ	板目	井戸枠
	184	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈50.8〉	17.5	1.4	スギ	板目	井戸枠
103	185	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈33.7〉	16.8	4.7	スギ	板目	井戸枠
	186	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈38.0〉	19.7	2.4	スギ	柾目	井戸枠
	187	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈47.5〉	17.9	1.5	スギ	柾目	井戸枠
	188	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈42.4〉	19.2	2.9	スギ	板目	井戸枠
	189	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈46.2〉	17.8	1.4	スギ	板目	井戸枠
	190	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈49.9〉	22.3	0.7	スギ	板目	穿孔，井戸枠
	191	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈34.5〉	17.1	2.8	スギ	板目	井戸枠
	192	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	〈28.3〉	20.4	0.6	スギ	板目	井戸枠
	193	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈35.3〉	18.9	2.3	スギ	柾目	井戸枠
	194	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈31.3〉	20.8	1.5	スギ	板目	井戸枠
	195	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈40.1〉	17.3	0.7	スギ	板目	井戸枠
	196	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈49.2〉	19.1	2.4	スギ	柾目	穿孔，井戸枠
	197	7号井戸	Or2-1		木製品	縦板	〈44.4〉	19.7	0.9	スギ	板目	井戸枠
	198	7号井戸	Or2-2		木製品	縦板	59.4	〈19.0〉	1.6	スギ	板目	穿孔，表裏面線状痕，井戸枠，蓋板を転用
104	199	7号井戸	Or2-2		木製品	桟木	72.8	4.6	3.2	スギ	柾目	井戸枠

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
104	200	7号井戸	0r2-1		木製品	桟木	73.0	4.3	4.0	スギ	分割角材	井戸枠
	201	7号井戸	0r2-2		木製品	桟木	72.8	5.7	3.7	スギ	柾目	井戸枠
	202	7号井戸	0r2-2		木製品	桟木	63.2	5.4	3.2	スギ	板目	井戸枠
	203	7号井戸	0r2-2		木製品	隅柱	〈40.5〉	9.0	6.2	スギ	分割角材	正面・左側面方形孔，井戸枠
	204	7号井戸	0r2-2		木製品	隅柱	〈41.9〉	6.9	6.5	スギ	分割角材	正面・右側面方形孔，井戸枠
	205	7号井戸	0r2-1		木製品	隅柱	〈35.7〉	6.4	6.0	スギ	分割角材	正面・右側面方形孔，井戸枠
	206	7号井戸	0r2-1		木製品	隅柱	〈44.0〉	9.2	7.8	スギ	分割角材	正面・右側面方形孔，井戸枠
	207	7号井戸	0r2-2		木製品	曲物	61.3	59.0	41.1	スギ	側板内・箍：柾目 側板外：板目	木釘遺存，井戸水溜施設
	208	7号井戸	0r2-2		木製品	棒状木製品	26.9	2.6	1.4		板目	下端切断
	209	7号井戸	0r2-2		木製品	板状木製品	〈17.3〉	3.5	0.6		板目	穿孔
	210	7号井戸	0r2-2		木製品	蓋板	12.8	〈5.5〉	0.9		柾目	
	211	7号井戸	0r2-2		木製品	部材	〈14.4〉	7.0	1.2		柾目	裏面線状痕
105	212	7号井戸	0r2-2	7層	木製品	箸	20.8	0.8	0.5			
	213	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	20.1	0.7	0.5			
	214	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	19.6	0.7	0.3			
	215	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	18.1	0.7	0.4			
	216	7号井戸	0r2-1		木製品	箸	12.3	0.7	0.4			
	217	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	19.9	0.7	0.6			
	218	7号井戸	0r2-2	2層	木製品	箸	〈20.0〉	0.8	0.6			
	219	7号井戸	0r2-2	7層	木製品	箸	〈17.0〉	0.6	0.3			
	220	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈16.8〉	0.7	0.5			
	221	7号井戸	0r1-2		木製品	箸	〈16.2〉	0.7	0.4			
	222	7号井戸	0r2-2	1層	木製品	箸	〈16.3〉	0.8	0.5			
	223	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈14.2〉	0.8	0.3			
	224	7号井戸	0r2-2	7層	木製品	箸	〈14.4〉	0.7	0.5			
	225	7号井戸	0r2-2	7層	木製品	箸	〈13.9〉	0.6	0.4			
	226	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈13.7〉	0.6	0.4			
	227	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈13.4〉	0.6	0.4			
	228	7号井戸	0r2-2	7層	木製品	箸	〈13.4〉	0.8	0.4			
	229	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈12.9〉	0.7	0.4			
	230	7号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈13.8〉	0.7	0.5			
	231	8号井戸	0r2-2		木製品	曲物	51.2	50.8	47.4	スギ	側板内：板目 側板外・箍：柾目	木釘遺存，井戸水溜施設
	232	8号井戸	0r2-2	32層	木製品	漆器椀	－	〈2.2〉	7.2	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	233	8号井戸	0r2-2	31層	木製品	漆器小皿	8.7	1.3	7.6	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	234	8号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈23.8〉	1.2	0.6			先端欠損，斎串の可能性あり
	235	8号井戸	0r2-2		木製品	箸	22.2	0.6	0.4			
	236	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	21.9	0.8	0.5			
	237	8号井戸	0r2-2		木製品	箸	21.8	0.6	0.5			
	238	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	21.7	0.7	0.5			
	239	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	21.4	0.6	0.4			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
105	240	8号井戸	0r2-2		木製品	箸	21.1	0.7	0.4			
	241	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	20.8	0.7	0.4			
	242	8号井戸	0r2-2	31層	木製品	箸	15.7	0.6	0.5			
	243	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	20.6	0.7	0.5			上端切断
	244	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	18.8	0.6	0.5			
	245	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	〈22.3〉	0.8	0.6			
	246	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	〈18.0〉	0.7	0.4			
	247	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	〈17.4〉	0.6	0.5			
	248	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	〈16.6〉	0.7	0.5			切れ込み
	249	8号井戸	0r2-2	34層	木製品	箸	〈15.6〉	0.6	0.5			
	250	8号井戸	0r2-2	30層	木製品	箸	〈15.2〉	0.7	0.5			
	251	8号井戸	0r2-2		木製品	箸	〈14.6〉	0.7	0.5			
106	252	9号井戸	Qr3-2		木製品	部材	〈76.0〉	〈15.8〉	3.8		板目～柾目	方形穿孔
	253	9号井戸	0r3-2		木製品	桟木	〈66.0〉	5.0	4.4		分割角材	木釘遺存
	254	9号井戸	0r3-2	20層	木製品	板状木製品	〈28.6〉	2.6	0.6		板目	裏面炭化
	255	9号井戸	0r3-2		木製品	不明	8.0	4.6	3.0		分割材	上端切断，桟木の一部か
	256	9号井戸	0r3-2	20層	木製品	箸	17.5	0.6	0.4			
	257	9号井戸	0r3-1	22層	木製品	箸	18.1	0.8	0.5			
	258	9号井戸	0r3-1		木製品	箸	〈20.0〉	0.7	0.5			
	259	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	20.2	0.6	0.4			
	260	9号井戸	0r3-2	20層	木製品	箸	20.7	0.6	0.5			
	261	9号井戸	0r2-1		木製品	箸	21.6	0.6	0.4			
	262	9号井戸	0r2-1		木製品	箸	22.3	0.7	0.5			
	263	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈15.0〉	0.6	0.5			一部炭化，付け木に転用か
	264	9号井戸	0r2-1	16層	木製品	箸	〈13.7〉	0.6	0.3			
	265	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈13.6〉	0.7	0.5			
	266	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈19.8〉	0.7	0.5			
	267	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈15.2〉	0.8	0.5			下端圭頭状に加工，斎串の可能性あり
	268	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈15.9〉	0.8	0.5			
	269	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈17.6〉	0.7	0.6			
	270	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	〈19.7〉	0.6	0.5			
	271	9号井戸	0r3-2		木製品	箸	17.6	0.6	0.4			
	272	9号井戸	0r3-2	20層	木製品	箸	〈12.1〉	0.6	0.4			
	273	10号井戸	0r3-2	13層	木製品	桟木	72.6	5.6	3.8	スギ	分割角材	
	274	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	桟木	〈38.6〉	4.2	2.3	スギ	分割角材	
	275	10号井戸	0r3-2	13層	木製品	桟木	〈33.2〉	4.1	2.7	スギ	分割角材	
	276	10号井戸	0r3-2		木製品	不明	〈8.2〉	2.8	2.0		板目	
	277	10号井戸	0r3-2		木製品	箸	21.5	0.7	0.5			
	278	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	箸	20.9	0.6	0.5			
	279	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	箸	20.3	0.7	0.5			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
106	280	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	箸	19.7	0.6	0.4			
	281	10号井戸	0r4-3	13層	木製品	箸	18.7	0.5	0.3			
107	282	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	箸	〈20.2〉	0.7	0.4			
	283	10号井戸	0r4-3	13層	木製品	箸	〈17.2〉	0.6	0.4			
	284	10号井戸	0r3-3	13層	木製品	箸	〈15.3〉	0.6	0.4			
	285	10号井戸	0r3-3		木製品	箸	〈14.7〉	0.7	0.4			
	286	11号井戸	0r3-3		木製品	曲物	60.3	98.6	53.8	スギ	側板：板目 箍・縦板：柾目	井戸水溜施設
	287	11号井戸	0r2-3		木製品	蓋板	〈22.8〉	〈10.0〉	〈0.8〉		柾目	表裏面線状痕
	288	11号井戸	0r2-3	4層	木製品	箸	〈12.7〉	0.7	0.5			
	289	11号井戸	0r2-3		木製品	箸	〈19.5〉	0.6	0.4			
	290	11号井戸	0r2-3	5層	木製品	箸	22.3	0.9	0.4			
	291	12号井戸	0r2-4		木製品	杓子形木製品	24.3	5.6	0.6		柾目	
	292	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	〈14.6〉	0.5	0.4			
	293	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	〈15.5〉	0.6	0.4			
	294	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	〈15.7〉	0.6	0.6			
	295	12号井戸	0r2-4		木製品	箸	18.6	0.5	0.4			
	296	12号井戸	0r2-3		木製品	箸	〈21.7〉	0.7	0.6			
	297	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	24.0	0.7	0.6			
	298	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	〈14.3〉	0.7	0.6			
	299	12号井戸	0r1-4		木製品	箸	〈13.6〉	0.7	0.4			
108	300	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	69.6	4.8	2.6	スギ	板目	井戸枠
	301	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	68.0	5.9	3.8	スギ	柾目	井戸枠
	302	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	68.2	5.8	3.4	スギ	柾目	井戸枠
	303	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	69.2	6.4	4.4	スギ	柾目	井戸枠
	304	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	75.4	5.4	5.0	スギ	削出棒状	井戸枠
	305	13号井戸	0r2-4		木製品	桟木	66.4	6.0	4.2	スギ	分割角材	表面格子状に刻み，左側面ノコギリ痕か
	306	13号井戸	0r2-3		木製品	隅柱	〈47.6〉	6.5	4.6	スギ	分割角材	井戸枠
	307	13号井戸	0r2-4		木製品	隅柱	〈46.3〉	6.0	4.7	スギ	分割角材	井戸枠
	308	13号井戸	0r2-4		木製品	隅柱	〈46.3〉	5.6	4.3	スギ	分割角材	井戸枠
	309	13号井戸	0r3-4	6層	木製品	部材	34.5	30.7	2.0		柾目	方形穿孔，孔の一つに小片の板材
	310	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	52.9	3.0	0.8		柾目	穿孔，木釘遺存
	311	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	51.4	2.9	0.7		柾目	切れ込み
	312	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	108.2	12.2	1.2		柾目	穿孔，木釘遺存
	313	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	113.0	5.6	1.0		柾目	穿孔，表面擦痕
109	314	13号井戸	0r2-4		木製品	板状木製品	〈17.5〉	7.3	0.3		柾目	穿孔
	315	13号井戸	0r2-3		木製品	板状木製品	〈17.1〉	〈8.8〉	0.7		柾目	木釘遺存
	316	13号井戸	0r3-3		木製品	板状木製品	〈6.8〉	〈7.3〉	〈0.5〉		柾目	穿孔
	317	13号井戸	0r3-4		木製品	板状木製品	〈17.2〉	3.7	0.5		柾目	穿孔
	318	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	〈19.2〉	〈3.3〉	0.3		柾目	穿孔
	319	13号井戸	0r3-3		木製品	板状木製品	〈27.6〉	5.9	1.2		柾目	穿孔

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
109	320	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	板状木製品	41.8	2.1	0.7		板目	
	321	13号井戸	0r2-3	6層	木製品	匙	〈8.0〉	3.2	1.3	スギ	削出	
	322	13号井戸	0r3-4		木製品	箸	〈10.4〉	0.6	0.4			
	323	13号井戸	0r2-4	6層	木製品	箸	〈10.1〉	0.5	0.4			
	324	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈51.7〉	8.9	0.9		板目	井戸枠
	325	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈51.7〉	8.0	1.4	スギ	柾目	井戸枠
	326	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈65.2〉	10.4	1.3	スギ	板目	井戸枠
	327	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈57.9〉	10.5	0.9	スギ	板目	井戸枠
	328	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈52.3〉	9.9	0.7	スギ	板目	井戸枠
	329	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈50.1〉	10.4	0.8		板目	井戸枠
	330	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈72.6〉	10.7	0.6	スギ	板目	井戸枠
110	331	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈62.8〉	10.6	0.6	スギ	板目	井戸枠
	332	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈66.8〉	10.4	0.8		板目	井戸枠
	333	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈58.0〉	10.6	1.0	スギ	板目	井戸枠
	334	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈64.2〉	11.5	0.9		板目	井戸枠
	335	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈54.0〉	11.8	0.5		板目	井戸枠
	336	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈59.3〉	11.8	0.6	スギ	板目	井戸枠
	337	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈61.5〉	11.6	0.8	スギ	板目	井戸枠
	338	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈63.0〉	11.3	0.7	スギ	板目	井戸枠
	339	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈59.6〉	11.3	0.8	スギ	板目	井戸枠
	340	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈69.4〉	10.4	0.6	スギ	板目	井戸枠
	341	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈73.0〉	12.6	1.2	スギ	板目	井戸枠
	342	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈49.1〉	12.4	1.2	スギ	柾目	穿孔，表面線状痕，井戸枠
	343	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈57.6〉	14.4	0.8	スギ	板目	井戸枠
111	344	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈68.2〉	13.6	1.3	スギ	板目	345～347と接合，井戸枠
	345	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈76.2〉	14.0	1.1		板目	344・346・347と接合，井戸枠
	346	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈67.3〉	14.4	1.1		板目	344・345・347と接合，井戸枠
	347	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈65.8〉	14.3	1.6		板目	344～346と接合，井戸枠
	348	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈75.5〉	15.8	1.4	スギ	板目	井戸枠
	349	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈77.4〉	15.4	1.0	スギ	板目	表面下部線状痕，井戸枠
	350	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈84.8〉	14.4	1.6	スギ	板目	351～354と接合，井戸枠
	351	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈79.8〉	14.4	1.0		板目	表面下部線状痕，350・352～354と接合，井戸枠
	352	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈74.3〉	14.8	1.1		板目	表裏面下部線状痕，350・351・353・354と接合，井戸枠
	353	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈63.4〉	14.2	0.8		板目	表面中央部擦痕か，裏面下部線状痕，350～352・354と接合，井戸枠
	354	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈82.2〉	14.4	1.2		板目	表面中央部線状痕，350～353と接合，井戸枠
112	355	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈83.5〉	16.2	1.5	スギ	板目	356と接合，井戸枠
	356	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈76.8〉	15.7	1.4		板目	355と接合，井戸枠
	357	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈63.7〉	17.5	0.6	スギ	板目	358と接合，井戸枠
	358	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈73.8〉	17.7	0.9		板目	357と接合，井戸枠
	359	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈68.5〉	18.3	0.8	スギ	板目	井戸枠

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
112	360	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈76.0〉	17.6	1.1	スギ	板目	井戸枠
	361	14号井戸	0r2-5		木製品	縦板	〈84.4〉	17.0	2.4	スギ	板目	井戸枠
	362	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈78.3〉	17.6	1.1	スギ	板目	井戸枠
	363	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈79.9〉	17.7	1.0	スギ	板目	井戸枠
	364	14号井戸	0r2-4		木製品	縦板	〈80.4〉	22.0	1.5	スギ	板目	井戸枠
113	365	14号井戸	0r2-4		木製品	桟木	66.3	5.0	1.4	スギ	板目	井戸枠
	366	14号井戸	0r2-5		木製品	桟木	73.8	5.0	2.6	スギ	板目	井戸枠
	367	14号井戸	0r2-4		木製品	桟木	79.3	7.4	5.7	スギ	分割材	井戸枠
	368	14号井戸	0r2-4		木製品	桟木	77.2	6.6	4.9	スギ	柾目	井戸枠
	369	14号井戸	0r2-4		木製品	桟木	84.2	8.7	3.4	スギ	板目	方形穿孔，井戸枠
	370	14号井戸	0r2-5		木製品	桟木	84.6	9.0	4.3	スギ	板目	方形穿孔，井戸枠
	371	14号井戸	0r2-4		木製品	隅柱	34.1	5.4	4.2	スギ	分割角材	上端Ｖ字状に加工
	372	14号井戸	0r2-4		木製品	曲物	60.2	64.4	34.0	スギ	側板内：板目 側板外・箍：柾目	木釘遺存，井戸水溜施設
	373	14号井戸	0r2-4		木製品	部材	19.7	7.5	1.7		柾目	裏面線状痕
	374	14号井戸	0r2-4		木製品	部材	24.7	5.3	1.4		板目	
114	375	14号井戸	0r2-4		木製品	部材	〈25.4〉	2.1	1.4		板目	穿孔か
	376	14号井戸	0r2-4		木製品	不明	5.0	3.7	2.7			中実
	377	14号井戸	0r2-5		木製品	栓	5.8	2.2	2.0			
	378	14号井戸	0r2-4		木製品	斎串	28.8	0.8	0.4			
	379	14号井戸	0r2-4		木製品	箸	16.1	0.5	0.4			上端切断
	380	14号井戸	0r2-5		木製品	箸	〈16.7〉	0.6	0.4			
	381	15号井戸	0r4-5		木製品	曲物	64.2	64.4	60.0	スギ	側板内・縦板：柾目 側板外：板目	井戸水溜施設
	382	15号井戸	0r4-4		木製品	下駄（歯）	9.3	14.5	1.3		板目	陰卯下駄
	383	15号井戸	0r4-4		木製品	箸	〈18.2〉	0.5	0.4			
	384	15号井戸	0r4-4		木製品	箸	〈13.2〉	0.9	0.5			
	385	16号井戸	0r1-5		木製品	曲物	63.4	58.0	52.6	スギ	側板内・箍：板目 側板外：柾目	井戸水溜施設
115	386	16号井戸	0r1-5		木製品	板状木製品	〈45.0〉	11.0	1.0		板目	穿孔，縦板か
	387	16号井戸	0s1-1		木製品	板状木製品	〈64.8〉	13.6	0.9		板目	穿孔，縦板か
	388	16号井戸	0r1-5	２層	木製品	曲物底板	〈18.2〉	〈6.0〉	0.9		柾目	木釘遺存
	389	16号井戸	0s1-5		木製品	箸	21.3	0.7	0.4			
	390	16号井戸	0r1-5	１層	木製品	箸	〈17.6〉	0.6	0.5			
	391	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	66.4	5.2	4.8	スギ	分割角材	井戸枠
	392	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	67.0	5.4	4.4	スギ	分割角材	井戸枠
	393	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	67.2	8.6	5.4	スギ	板目	方形穿孔，井戸枠
	394	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	67.9	8.3	5.4	スギ	板目	方形穿孔，井戸枠
	395	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	60.4	6.4	4.8	スギ	分割角材	井戸枠
	396	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	61.0	6.8	4.6	スギ	柾目	井戸枠
	397	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	60.6	7.2	5.5	スギ	柾目	井戸枠
	398	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	61.8	5.2	6.0	スギ	分割角材	井戸枠
116	399	17号井戸	Pr2-3	２層	木製品	挽物小皿	8.9	2.2	6.2		横木地柾目取	

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
116	400	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	栓	6.9	2.0	1.5		分割材	
	401	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	木簡	19.3	2.7	0.5		板目	墨痕
	402	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	杓子形木製品	26.3	6.8	1.0		板目	
	403	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	蓋板か	26.0	〈11.5〉	1.0		板目	穿孔，右側面を除き全面炭化
	404	17号井戸	Pr2-3		木製品	桟木	61.0	6.4	6.0		分割角材	
	405	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	部材	〈10.9〉	2.0	1.3		柾目	
	406	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	棒状木製品	〈21.3〉	1.4	0.8		分割材	
	407	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	19.5	0.7	0.5			
	408	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	19.1	0.7	0.4			上端切断
	409	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	19.0	0.5	0.4			
	410	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	18.4	0.5	0.4			
	411	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	〈13.9〉	0.6	0.5			
	412	17号井戸	Pr2-3	2層	木製品	箸	〈13.2〉	0.5	0.5			下端切断
	413	18号井戸	Pr4-4	4層	木製品	箸	21.3	0.5	0.5			
	414	19号井戸	Qs2-4	4層	木製品	蓋板	〈38.2〉	〈18.2〉	1.0	スギ	柾目	穿孔，木釘遺存，一部炭化，415と同一部材か
	415	19号井戸	Qs2-4	4層	木製品	蓋板	〈38.4〉	〈18.8〉	0.9	スギ	柾目	穿孔，一部炭化，414と同一部材か
117	416	19号井戸	Qs2-4		木製品	板状木製品	37.1	3.7	0.8		柾目	穿孔，上下端炭化
	417	19号井戸	Qs2-4	4層	木製品	板状木製品	36.8	3.1	0.8		柾目	穿孔，上下端炭化
	418	19号井戸	Qs2-4	3層	木製品	箸	24.5	0.9	0.6			斎串の可能性あり
	419	19号井戸	Qs2-4	3層	木製品	箸	〈21.0〉	0.6	0.4			
	420	20号井戸	Qs5-2		木製品	下駄	〈22.0〉	9.8（歯部12.7）	8.1		柾目	露卯下駄
	421	20号井戸	Qs5-2	3層	木製品	板状木製品	23.3	〈5.3〉	0.7		柾目	穿孔
	422	21号井戸	Qs5-4	5層	木製品	漆器小皿	8.2	1.3	6.2	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	423	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	漆器小皿	(9.0)	1.2	(6.5)		横木地柾目取	内外面黒漆
	424	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箱側板	16.9	5.4	0.8		板目	穿孔，木釘遺存，表裏面炭化，組合せ箱
	425	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箱側板	16.6	4.9	0.8		板目	穿孔，木釘遺存，切れ込み，表裏面炭化，組合せ箱
	426	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箱側板	17.2	5.0	0.9		板目	穿孔，木釘遺存，表裏面炭化，組合せ箱
	427	21号井戸	Qs5-4	5層	木製品	杓子形木製品	20.6	6.5	0.8	スギ	板目	
	428	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈20.6〉	0.6	0.4			
	429	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈20.9〉	0.7	0.5			
	430	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈19.2〉	0.5	0.4			
	431	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈15.0〉	0.6	0.5			
	432	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈14.3〉	0.4	0.3			
	433	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	〈14.1〉	0.6	0.6			
118	434	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	23.7	0.5	0.4			
	435	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	23.4	0.6	0.5			
	436	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	23.5	0.5	0.4			
	437	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	22.3	0.6	0.4			
	438	21号井戸	Qs5-4	5層	木製品	箸	22.3	0.7	0.5			
	439	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	20.1	0.6	0.4			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
	440	21号井戸	Qs5-4	7層	木製品	箸	19.3	0.6	0.5			
	441	22号井戸	Qs1-5	10層	木製品	蓋板か	〈30.1〉	〈7.3〉	〈1.2〉		柾目	木釘遺存，表裏面線状痕
	442	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	蓋板	〈19.9〉	〈9.6〉	0.8		柾目	表面線状痕
	443	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	棒状木製品	23.0	1.6	1.2		分割材	
	444	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	棒状木製品	〈17.8〉	1.1	0.7			箸または斎串の可能性あり
	445	22号井戸	Qs1-5	5・6層	木製品	不明	〈17.3〉	0.6	0.5			一定間隔に刻み
	446	22号井戸	Qs1-5	6層	木製品	不明	〈13.0〉	0.5	0.5			一定間隔に刻み
	447	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	付け木	11.0	1.6	0.6			上部炭化
	448	22号井戸	Qs1-5	6層	木製品	付け木	7.0	1.4	0.6			上下部炭化
	449	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	23.9	0.8	0.6			
	450	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	22.4	0.6	0.4			
	451	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	21.6	0.6	0.5			
	452	22号井戸	Qs1-5	6層	木製品	箸	21.0	0.7	0.6			
118	453	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	20.3	0.7	0.5			
	454	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	20.1	0.7	0.6			
	455	22号井戸	Qs1-5	10層	木製品	箸	20.1	0.5	0.4			
	456	22号井戸	Qs1-5	6層	木製品	箸	〈19.9〉	0.7	0.6			
	457	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈18.5〉	0.6	0.4			
	458	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈18.1〉	0.7	0.5			
	459	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈16.5〉	0.8	0.6			
	460	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈16.2〉	0.6	0.4			
	461	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈15.7〉	0.8	0.5			
	462	22号井戸	Qs1-5	2層	木製品	箸	〈15.7〉	0.8	0.5			
	463	22号井戸	Qs1-5	7層	木製品	箸	〈14.8〉	0.5	0.4			
	464	22号井戸	Qs1-5	5層	木製品	箸	〈12.4〉	0.7	0.5			
	465	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	漆器小皿	(9.0)	1.0	(7.8)		横木地柾目取	内外面黒漆
	466	23号井戸	Qt1-1		木製品	下駄	〈12.5〉	〈10.4〉	〈3.9〉		板目	連歯下駄
	467	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	曲物底板	14.9	〈14.7〉	0.8		柾目	木釘遺存，表面線状痕
	468	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	蓋板	〈17.1〉	〈5.9〉	0.5		柾目	表裏面線状痕
	469	23号井戸	Qt1-1		木製品	斎串	22.0	2.2	0.4		板目	
	470	23号井戸	Qt1-1		木製品	棒状木製品	20.6	0.7	0.4			上下端切断，箸を転用か
	471	23号井戸	Qt1-1		木製品	斎串か	29.4	2.0	0.5		板目	
	472	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	24.4	0.7	0.6			
119	473	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈24.1〉	0.7	0.4			
	474	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	箸	23.7	0.8	0.5			
	475	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	22.4	0.7	0.5			
	476	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	22.2	0.5	0.5			
	477	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	22.3	0.7	0.4			
	478	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	22.0	0.6	0.5			
	479	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	21.8	0.6	0.5			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
119	480	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	21.4	0.7	0.5			
	481	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	21.0	0.6	0.4			
	482	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	20.9	0.5	0.5			
	483	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	20.8	0.7	0.4			
	484	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	箸	〈20.7〉	0.7	0.4			上端欠損
	485	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	20.7	0.7	0.5			
	486	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	20.9	0.6	0.3			
	487	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	19.2	0.6	0.5			
	488	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	19.0	0.7	0.4			
	489	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	18.1	0.6	0.5			
	490	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈21.7〉	0.7	0.4			
	491	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈21.8〉	0.7	0.5			
	492	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈21.4〉	0.7	0.6			
	493	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈20.4〉	0.6	0.3			
	494	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈19.7〉	0.6	0.4			下端切断
	495	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈19.7〉	0.6	0.4			
	496	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈19.5〉	0.7	0.5			
	497	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈19.8〉	0.6	0.5			
	498	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈19.0〉	0.7	0.4			
	499	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈18.9〉	0.7	0.4			
	500	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈17.8〉	0.6	0.2			
	501	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	箸	〈17.4〉	0.7	0.5			
	502	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.9〉	0.7	0.4			
	503	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.7〉	0.7	0.3			
	504	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈16.4〉	0.5	0.3			
	505	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈15.6〉	0.6	0.4			
120	506	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	〈15.4〉	0.7	0.4			
	507	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈15.2〉	0.6	0.3			
	508	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	箸	〈15.0〉	0.7	0.6			
	509	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	14.6	0.7	0.4			上端切断
	510	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈17.6〉	0.7	0.5			
	511	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈17.1〉	0.6	0.4			
	512	23号井戸	Qs1-5		木製品	箸	〈17.2〉	0.7	0.5			
	513	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.9〉	0.8	0.6			
	514	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.8〉	0.6	0.6			
	515	23号井戸	Qt1-1	16層	木製品	箸	〈16.8〉	0.6	0.4			
	516	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.2〉	0.7	0.5			
	517	23号井戸	Qt1-1		木製品	箸	〈16.0〉	0.6	0.4			
	518	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈16.0〉	0.7	0.4			
	519	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈15.2〉	0.6	0.4			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
120	520	23号井戸	Qt1-1	17層	木製品	箸	〈14.0〉	0.6	0.4			
	521	23号井戸	Qt1-1	13層	木製品	箸	〈14.2〉	1.1	0.8			
	522	24号井戸	Ls1-4	４層	木製品	漆器小皿	9.4	1.5	6.8	ケヤキ	横木地柾目取	内面赤漆，外面黒漆，内外面漆絵，14Cの所産
	523	24号井戸	Ls1-4	５層	木製品	漆器小皿	(9.0)	1.2	(6.9)	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆，内面漆絵，13Cの所産
	524	24号井戸	Ls1-4	５層	木製品	不明	13.4	0.8	0.4			
	525	24号井戸	Ls1-4	４層	木製品	箸	22.4	0.6	0.3			
	526	24号井戸	Ls1-4	５層	木製品	箸	21.7	0.7	0.3			
	527	24号井戸	Ls1-4	５層	木製品	箸	〈17.0〉	0.4	0.4			
	528	24号井戸	Ls1-4	４層	木製品	箸	〈15.5〉	0.5	0.4			
	529	５号土坑	Pq1-5		木製品	箸	19.7	0.6	0.5			
	530	５号土坑	Pq1-5		木製品	箸	〈23.7〉	0.7	0.5			
	531	５号土坑	Pq1-5		木製品	箸	〈26.4〉	0.6	0.5			
	532	11号土坑	Mr4-4	２層	木製品	不明	〈10.9〉	2.2	1.9		分割角材	下端切断
	533	15号土坑	Op2-4	４層	木製品	箸	18.2	0.5	0.4			
	534	15号土坑	Op2-4	４層	木製品	箸	〈14.5〉	0.6	0.5			
	535	26号土坑	Qp4-5		木製品	下駄	〈30.0〉	〈15.1〉	2.8		板目	連歯下駄
121	536	26号土坑	Qp3-5	１層	木製品	箸	〈19.5〉	1.0	0.7			
	537	26号土坑	Qp3-5		木製品	箸	23.2	0.7	0.5			
	538	26号土坑	Qp3-5		木製品	箸	21.2	0.7	0.4			
	539	26号土坑	Qp3-1		木製品	箸	〈18.6〉	0.7	0.5			
	540	26号土坑	Qp3-5		木製品	箸	〈18.3〉	0.6	0.4			
	541	29号土坑	Oq4-4		木製品	箸	〈16.4〉	0.6	0.3			
	542	36号土坑	Oq2-5	３層	竹製品	竹管	〈18.7〉	〈1.3〉	〈1.3〉			上端切断
	543	39号土坑	Or2-3	３層	木製品	箸	〈14.3〉	0.6	0.4			
	544	42号土坑	Or2-4		木製品	板状木製品	〈17.5〉	3.2	0.5		柾目	穿孔
	545	42号土坑	Or2-4		木製品	箸	〈19.8〉	0.7	0.5			
	546	42号土坑	Or2-4		木製品	箸	〈15.8〉	0.7	0.5			
	547	42号土坑	Or2-4		木製品	箸	〈14.8〉	0.6	0.5			
	548	44号土坑	Os1-1		木製品	箸	〈14.7〉	0.6	0.4			
	549	45号土坑	Os2-2	２層	木製品	板状木製品	51.4	5.0	0.5		柾目	穿孔または抉り
	550	45号土坑	Os1-2		木製品	箸	〈19.3〉	0.6	0.6			
	551	49号土坑	Pr5-1	１層	木製品	板状木製品	〈15.7〉	3.3	0.9		柾目	
	552	54号土坑	Ps3-1		木製品	板状木製品	〈17.8〉	7.1	2.0		板目	穿孔
	553	55号土坑	Pr5-5		木製品	棒状木製品	18.7	1.4	0.9		板目	
	554	55号土坑	Pr5-5		木製品	付け木	10.8	1.7	1.2			上下部炭化
	555	55号土坑	Pr5-5		木製品	付け木	8.7	1.3	0.8			上部炭化
	556	55号土坑	Pr5-5		木製品	箸	21.7	0.6	0.4			
	557	62号土坑	Qs2-4	２層	木製品	箸	〈17.1〉	0.7	0.4			
	558	63号土坑	Qt2-1	６層	木製品	板状木製品	〈14.9〉	〈5.2〉	0.4		板目	穿孔
	559	63号土坑	Qt2-1	６層	木製品	棒状木製品	〈21.5〉	1.3	0.9			一部炭化

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
121	560	63号土坑	Qt2-1	6層	木製品	板状木製品	〈14.1〉	1.3	0.5			穿孔
	561	63号土坑	Qt1-1	6層	木製品	箸	〈27.1〉	1.0	0.7			斎串の可能性あり
	562	63号土坑	Qt2-1	6層	木製品	箸	24.2	0.5	0.4			
	563	63号土坑	Qt2-1	6層	木製品	箸	18.8	0.5	0.4			
	564	63号土坑	Qt2-1	9層	木製品	箸	〈20.0〉	0.7	0.4			
	565	63号土坑	Qt2-1	6層	木製品	箸	〈17.8〉	0.7	0.5			
	566	63号土坑	Qs2-5	6層	木製品	箸	〈16.3〉	0.7	0.5			
	567	65号土坑	Qt3-1	3層	木製品	不明	〈15.2〉	〈3.1〉	〈2.5〉		分割角材	
122	568	67号土坑	Rr1-4		木製品	漆器椀	－	〈2.3〉	8.1	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	569	67号土坑	Rr2-5		木製品	漆器椀	－	〈3.4〉	7.2	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	570	67号土坑	Rr2-5		木製品	漆器椀	－	〈2.1〉	(6.5)		横木地柾目取	内外面黒漆
	571	67号土坑	Rr2-5		木製品	漆器椀	－	〈2.0〉	(8.0)		横木地柾目取	内面赤漆・黒漆
	572	67号土坑	Rr5-1		木製品	下駄	〈10.6〉	〈9.2〉	3.2		板目	連歯下駄
	573	67号土坑	Qs5-1		木製品	櫛	4.3	〈7.7〉	1.1	イスノキ	削出	
	574	67号土坑	Rr5-1		木製品	木簡	15.1	3.6	0.4		柾目	墨痕，表裏面線状痕
	575	67号土坑	Rr4-2		木製品	板材	7.6	6.8	0.3		板目	方形状に切れ目
	576	67号土坑	Rs1-1		木製品	斎串か	〈13.1〉	2.1	0.3		柾目	
	577	67号土坑	Rr1-5		木製品	斎串か	〈9.6〉	1.0	0.6			下端圭頭状に加工
	578	67号土坑	Or3-4		木製品	板状木製品	38.6	3.0	0.5		柾目	穿孔，切れ込み
	579	67号土坑	Rr2-4		木製品	蓋板	39.6	〈15.8〉	0.8		板目	穿孔，表面上部線状痕
	580	67号土坑	Rr1-5		木製品	蓋板	25.5	〈19.4〉	1.0		板目	
	581	67号土坑	Qr5-5		木製品	蓋板	21.1	〈10.1〉	0.5		柾目	表裏面線状痕
	582	67号土坑	Rr1-5		木製品	付け木	14.0	0.7	0.6			上部炭化
	583	67号土坑	Qs5-1		木製品	箸	22.7	0.8	0.4			
	584	67号土坑	Qr5-5		木製品	箸	〈17.5〉	0.5	0.4			
	585	68号土坑	Rs1-2	1層	木製品	下駄（歯）	〈8.4〉	〈11.5〉	1.8		柾目	差歯下駄
123	586	1A号溝	Lq4-5		木製品	漆器椀	(14.0)	〈4.5〉	6.8	ケヤキ	横木地柾目取	内面黒漆
	587	1A号溝	Mq1-5		木製品	漆器椀	－	〈3.2〉	－	ケヤキ	横木地柾目取	内面黒漆
	588	1A号溝	Ms2-4		木製品	蓋板	〈9.9〉	〈5.4〉	〈0.6〉		柾目	表面線状痕
	589	1A号溝	Ms2-4		木製品	板状木製品	〈8.7〉	5.5	0.8		柾目	表面線状痕，下端・裏面炭化
	590	1A号溝	Mr2-3		木製品	部材	12.7	2.0	0.7			
	591	1A号溝	Mr2-4		木製品	部材	〈17.7〉	1.3	0.7		柾目	切れ込み
	592	1A号溝	Mr2-5		木製品	板状木製品	〈15.5〉	1.9	0.6		柾目	切れ込み
	593	1A号溝	Ms2-2		木製品	箸	〈16.5〉	0.9	0.7			
	594	1A号溝	Mr1-1		木製品	棒状木製品	〈34.4〉	1.4	0.7			
	595	1A号溝	Mr2-5		木製品	棒状木製品	26.8	1.1	1.1			上下端切断
	596	1A号溝	Mr2-2		木製品	木簡	30.2	5.1	0.7		板目	「(梵字)キャ（梵字)カ（梵字)ラか」，卒塔婆
	597	6号溝	Np1-4	1層	木製品	板状木製品	〈42.0〉	3.9	1.1		柾目	表裏面一部炭化
	598	10号溝	Ns4-5		木製品	漆器椀	－	〈2.1〉	7.1	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	599	10号溝	Ns2-3		木製品	部材	〈9.0〉	2.5	1.5		板目	穿孔

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
123	600	10号溝	Ns2-2		木製品	部材	〈11.9〉	1.7	0.8		板目	木釘遺存
	601	10号溝	Ns2-3		木製品	不明	12.8	2.5	0.5		板目	穿孔
	602	10号溝	Ns4-5		木製品	板状木製品	〈12.8〉	〈7.3〉	〈0.8〉		柾目	穿孔
	603	10号溝	Ns2-3		木製品	箸	〈24.1〉	1.0	0.6			
	604	10号溝	Ns2-3		木製品	箸	〈19.5〉	1.0	0.7			
	605	10号溝	Nt1-1		木製品	箸	〈17.0〉	0.7	0.4			
	606	10号溝	Ns2-3		木製品	箸	〈16.5〉	0.5	0.4			
	607	11号溝	Ns3-1		木製品	漆器小皿	－	〈1.7〉	5.8	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	608	11号溝	Ns4-2		木製品	漆器椀	－	〈5.5〉	7.0	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	609	11号溝	Ns4-2		木製品	蓋板	〈17.0〉	〈2.5〉	0.6		柾目	
	610	11号溝	Op1-3		木製品	蓋板	〈19.7〉	〈6.0〉	0.8		板目	裏面線状痕か
124	611	11号溝	Nq4-2	1層	木製品	蓋板	21.1	〈7.3〉	0.6		柾目	穿孔
	612	11号溝	Nq4-4	1層	木製品	蓋板	〈24.5〉	〈8.4〉	1.0		柾目	右側面を除き全面炭化
	613	11号溝	Oo3-5		木製品	下駄	〈18.4〉	〈7.5〉	3.1		板目	連歯下駄
	614	11号溝	Ns4-3		木製品	板状木製品	36.2	5.3	0.7		柾目	穿孔
	615	11号溝	Nq3-4・Ns5-3		木製品	折敷底板	30.0	〈12.5〉	0.5		柾目	穿孔，木釘遺存，表裏面線状痕
	616	11号溝	Ot2-1		木製品	板状木製品	〈22.8〉	9.7	1.8		柾目	穿孔
	617	11号溝	Nr3-4		木製品	不明	20.3	2.0	1.1			
	618	11号溝	Ns4-2		木製品	棒状木製品	22.6	0.9	0.6			上下端切断
	619	11号溝	Nr2-5		木製品	棒状木製品	〈17.4〉	1.5	1.3		分割材	切れ込み
	620	11号溝	Ns4-2		木製品	箸	15.8	0.5	0.4			
	621	11号溝	Ns4-2		木製品	箸	〈15.0〉	0.6	0.4			
	622	11号溝	Ns4-2		木製品	箸	〈16.1〉	0.9	0.4			
	623	11号溝	Ns4-1		木製品	箸	〈18.6〉	0.9	0.4			
	624	11号溝	Nq4-3		木製品	箸	27.0	1.1	0.8			
	625	11号溝	Ns5-3		木製品	箸	〈25.6〉	1.5	1.0			下端切断
	626	30号溝	Nq3-1	1層	木製品	桟木か	20.0	2.7	2.2		分割材	
	627	30号溝	Np4-4	1層	木製品	板状木製品	〈40.4〉	3.6	0.6		板目	切れ込み
	628	30号溝	Oo1-5	1層	木製品	部材	〈44.0〉	〈5.0〉	1.4		板目～柾目	抉りか，表面炭化
125	629	36号溝	Qp4-2		木製品	杭	41.6	3.4	1.5	スギ	分割角材	
	630	36号溝	Qp4-2		木製品	杭	36.5	4.3	2.5	スギ	分割角材	
	631	36号溝	Qp4-2		木製品	杭	33.0	4.9	2.4	スギ	板目	
	632	36号溝	Qp4-3		木製品	杭	44.7	4.9	3.4	スギ	分割角材	
	633	36号溝	Qp4-3		木製品	杭	42.8	5.5	5.6	スギ	分割角材	
	634	36号溝	Qp4-2		木製品	杭	58.9	3.5	2.0	スギ	柾目	
	635	36号溝	Qp4-3		木製品	杭	62.0	3.2	2.8	スギ	分割角材	
	636	36号溝	Qp4-3		木製品	箸	20.4	0.6	0.5			
	637	37号溝	Pq3-3		木製品	箸	〈17.0〉	0.9	0.6			
	638	38号溝	Rr4-2		木製品	蓋板	10.8	〈5.4〉	0.8		柾目	穿孔
	639	39号溝	Rr5-5		木製品	不明	〈6.8〉	2.2	1.7		分割角材	上端切断

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
125	640	1号流路	Rr2-3		木製品	杭	28.5	7.4	6.5	ヤナギ属	芯持丸木	
	641	1号流路	Rr2-3		木製品	杭	43.6	6.8	4.2	スギ	分割角材	
	642	1号流路	Rs5-1		木製品	杭	50.3	3.0	2.8	マツ属複維管束亜属	芯持丸木	
	643	1号流路	Rp1-5		木製品	漆器椀	－	〈5.3〉	－	ケヤキ	横木地柾目取	内外面黒漆
	644	1号流路	Rp1-5		木製品	漆器片口鉢か	－	－	－	ケヤキ	横木地柾目取	口縁部片，内外面黒漆，645と同一個体か
	645	1号流路	Rp1-5		木製品	漆器片口鉢か	－	－	－	ケヤキ	横木地柾目取	片口部片，内外面黒漆，644と同一個体か
	646	1号流路	Rr2-3		木製品	下駄	11.2	5.5	1.5		板目	連歯下駄，未成品か
	647	1号流路	Ss1-5		木製品	下駄	〈7.1〉	〈8.4〉	2.0		板目	
126	648	1号流路	St3-1		木製品	下駄（歯）	〈8.3〉	〈13.0〉	〈3.1〉		板目	陰卯下駄
	649	1号流路	Rq2-5		木製品	蓋板	14.5	〈8.3〉	0.6		柾目	穿孔，円形状に切れ目，表裏面線状痕
	650	1号流路	Rp1-4		木製品	蓋板	12.3	〈8.1〉	1.5		柾目	穿孔，孔の一つに木製部材
	651	1号流路	Rp1-3		木製品	蓋板	〈27.0〉	〈9.5〉	1.1		柾目	穿孔，裏面線状痕，右側面を除き全面炭化
	652	1号流路	Rr3-3		木製品	蓋板	13.4	〈7.9〉	0.8		柾目	裏面線状痕
	653	1号流路	Rq2-4		木製品	蓋板	18.6	5.2	0.4		柾目	表裏面線状痕
	654	1号流路	Rq2-3		木製品	蓋板	〈17.6〉	〈5.9〉	0.4		柾目	
	655	1号流路	Rs5-2		木製品	蓋板	〈15.0〉	〈2.7〉	0.3		柾目	表面線状痕多
	656	1号流路	Ss2-5		木製品	蓋板	〈8.2〉	〈2.9〉	0.4		板目	
	657	1号流路	Rq1-1		木製品	栓	10.9	4.3	3.0		分割材	
	658	1号流路	St2-1		木製品	板状木製品	〈17.1〉	〈5.4〉	1.2		板目	
	659	1号流路	Rs5-2		木製品	不明	22.9	3.5	1.2		板目	
	660	1号流路	Ss1-4		木製品	杭か	〈18.1〉	2.6	2.0		分割材	
	661	1号流路	Rs5-2		木製品	斎串か	〈12.5〉	1.1	0.5			
	662	1号流路	Rr3-4		木製品	棒状木製品	11.8	1.0	0.8			下端切断・炭化
	663	1号流路	Ss2-5		木製品	板状木製品	〈12.3〉	1.8	0.3		板目	穿孔，表面ノコギリ痕か
	664	1号流路	Rs4-1		木製品	板状木製品	6.5	2.6	0.4		柾目	穿孔
	665	1号流路	Rr2-2		木製品	樹皮	11.5	5.2	3.3			
	666	1号流路	Rr2-2		木製品	樹皮	8.6	5.2	2.2			
	667	1号流路	Rr2-2		木製品	樹皮	5.4	3.1	1.8			
	668	1号流路	Rr2-2		木製品	樹皮	4.4	5.2	2.0			
	669	1号流路	Rr2-1		木製品	樹皮	2.9	2.5	1.6			
	670	1号流路	Ss1-4		木製品	樹皮	3.7	3.0	1.4			
127	671	1号流路	Ss2-4		木製品	斎串	21.7	2.2	0.3		板目	
	672	1号流路	Rq1-1		木製品	舟形木製品	21.0	4.2	2.9	スギ	分割材	穿孔
	673	1号流路	Rq1-1		木製品	棒状木製品	2.9	1.3	1.0			672の付属品か
	674	1号流路	Rr3-3		木製品	舟形木製品	19.8	5.2	2.0	スギ	分割材	穿孔
	675	1号流路	Ss2-5		木製品	木簡	〈8.9〉	2.5	0.2		柾目	「（符籙）鬼急々如」
	676	1号流路	Ss2-5		木製品	木簡	〈8.6〉	4.5	0.2		柾目	「南無」
	677	1号流路	Rq1-3		木製品	木簡	20.5	2.0	0.6		板目	「（記号？）」／「出処」
	678	1号流路	Rr3-4		木製品	箸	18.5	0.7	0.5			
	679	1号流路	Ss2-5		木製品	箸	〈19.6〉	0.8	0.5			

挿図	掲載No.	遺構	グリッド	層位	種別	器種	計測値（cm）			樹種	木取り	備考
							長（口径）	幅（器高）	厚（底径）			
127	680	1号流路	Ss2-5		木製品	箸	〈17.5〉	0.5	0.5			
	681	1号流路	St1-1		木製品	箸	〈17.1〉	0.8	0.7			
	682	1号流路	Ss1-5		木製品	箸	〈16.9〉	1.1	0.8			
	683	1号流路	Rq2-3		木製品	箸	〈16.5〉	0.6	0.5			
	684	1号流路	Rs5-2		木製品	箸	〈16.6〉	0.5	0.4			
	685	1号流路	Rq2-5		木製品	箸	〈15.8〉	0.6	0.4			
	686	1号流路	Rq1-3		木製品	箸	〈15.5〉	0.6	0.5			
	687	1号流路	Rq1-3		木製品	箸	〈15.1〉	0.7	0.4			
	688	1号流路	Rq1-2		木製品	箸	〈14.8〉	0.7	0.4			
	689	1号流路	Rp1-4		木製品	箸	〈14.2〉	0.7	0.3			
	690	1号流路	Ss1-5		木製品	箸	〈13.3〉	0.5	0.4			
	691	1号流路	Ss2-5		木製品	箸	〈15.9〉	0.6	0.3			
	692	1号流路	Rq2-3		木製品	箸	〈14.4〉	0.6	0.4			
	693	P4	Rt3-1		木製品	楯	〈3.8〉	〈1.9〉	〈0.8〉		削出	
	694	P21	Pt5-1		木製品	不明	〈5.8〉	〈4.2〉	〈3.0〉			
	695	P9	Or2-4		木製品	棒状木製品	20.2	0.8	0.5			穿孔
	696	P9	Or2-4		木製品	箸	20.3	0.6	0.5			
	697	P16	Pr2-1		木製品	箸	〈13.8〉	0.8	0.5			
128	698		Ls5-5	Ⅶa層	木製品	楯	4.6	〈8.2〉	1.1	イスノキ	削出	
	699		Mr4-3	Ⅶa層	木製品	部材	21.9	2.5	1.5		柾目	
	700		Mr5-3	Ⅶa層	木製品	板状木製品	22.9	9.1	0.9		柾目	穿孔，切れ込み
	701		Np5-5	Ⅶc層	木製品	舟形木製品	26.5	2.4	1.2		分割材	穿孔
	702		Nr2-5	Ⅶc層	木製品	不明	34.5	2.3	1.4		分割材	
	703		Nq4-4	Ⅶc層	木製品	板状木製品	32.2	3.5	1.3		柾目	穿孔もしくは抉り
	704		Nq3-4	Ⅶc層	木製品	蓋板	26.0	〈13.0〉	1.0		柾目	裏面線状痕
	705		Nq2-4	Ⅶc層	木製品	部材	17.0	2.7	1.6		板目	左側面湾曲
129	706		Ns3-2	Ⅶc層	木製品	鍬	〈33.0〉	10.0	2.7	クリ	芯持丸木	一木作り，未成品か
	707		Ns4-3	Ⅶc層	木製品	不明	21.1	1.8	1.2		板目	
	708		Ot3-1	Ⅶc層	木製品	下駄	17.2	8.2	1.8		板目	連歯下駄
	709		Op1-4	Ⅶc層	木製品	板状木製品	〈15.0〉	4.9	0.5		柾目	穿孔
	710		Pr2-4		木製品	不明	5.9	5.5	3.6		分割材	下端切断
	711		Qp4-5	Ⅲ層	木製品	箸	26.1	1.1	0.7			斎串の可能性あり
	712		Rq3-5	Ⅶc層	木製品	斎串	〈14.3〉	2.5	0.7		板目	
	713		Rr5-5	Ⅶc層	木製品	蓋板	〈23.8〉	〈8.2〉	1.5		柾目	穿孔
	714		Rr	Ⅶb層	木製品	棒状木製品	13.5	1.2	0.7			切れ込み
	715		Rs3-5	Ⅶc層	木製品	不明	15.8	9.1	8.8		芯持丸木	柱根を加工か
	716		Rs1-2	Ⅶc層	木製品	斎串か	21.1	1.1	0.8			
	717		Sr2-5	Ⅶc層	木製品	棒状木製品	20.2	1.3	1.2		分割材	
	718				木製品	鋤	〈72.0〉	〈8.6〉	2.5	クリ	板目	一木作り

調査区遠景（北西から）

調査区近景（南西から）

図版 2　調査区全景，Nq ～ Rs グリッド

平成 25 年度調査区全景（天が北東）

Nq ～ Rs グリッド（天が北東）

平成 24 年度調査区 0s ～ St グリッド（北西から）

1 号井戸　木製品と曲物の出土状態（北西から）

2 号井戸　曲物の出土状態（南西から）

3 号井戸　桟木と曲物の出土状態（西から）

6 号井戸　井戸枠と曲物の出土状態（南西から）

図版４　井戸（２）

７号井戸　井戸枠と曲物の出土状態（北から）

８号井戸　曲物の出土状態（西から）

11号井戸　曲物の出土状態（北西から）

13号井戸　桟木の出土状態（西から）

14号井戸　井戸枠と曲物の出土状態（東から）

15号井戸　曲物の出土状態（北西から）

16号井戸　曲物の出土状態（西から）

17号井戸　桟木の出土状態（北東から）

24号井戸　漆器（522）の出土状態（西から）

24号井戸　漆器（523）の出土状態（南西から）

６号土坑　種実の出土状態（南東から）

67号土坑　漆器（569）の出土状態（西から）

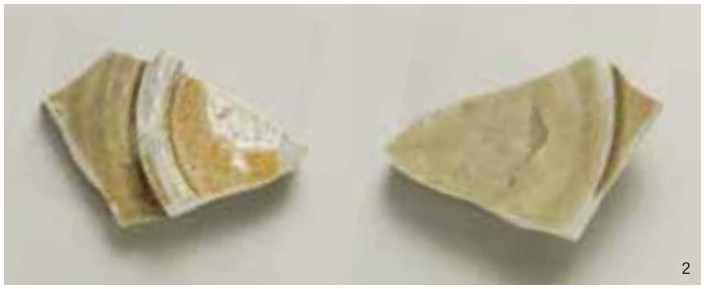
Ｐ３　銭貨（９～11）の出土状態（南東から）

１号流路　木簡（675）の出土状態（西から）

１号流路　木簡（676）の出土状態（東から）

１号流路　木簡（677）の出土状態（北から）

図版 6　磁器（1）


2

3

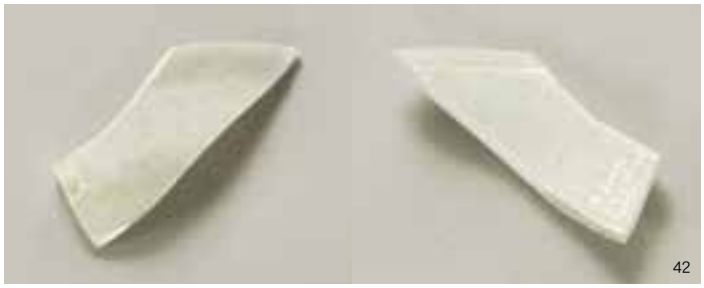
50

10

20

27

37


42

52

60

59

61

62

75

76

77

78

79

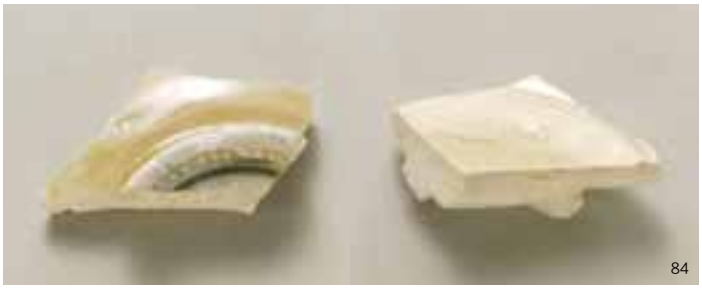
80

81

85

82

83


84

86

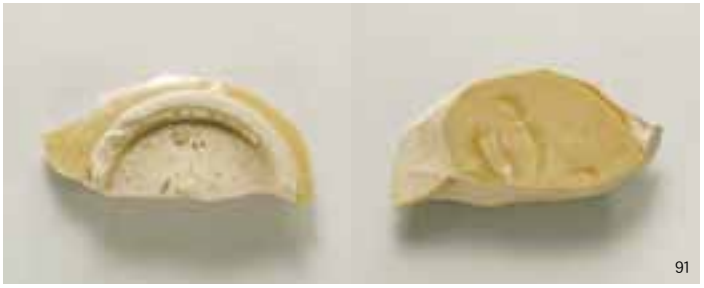
87

88

89

92

90


91

93

94

38

22

55

図版８　陶器（１）

6（内面）

14

16

6

18

24

29

34

45

46

54

57

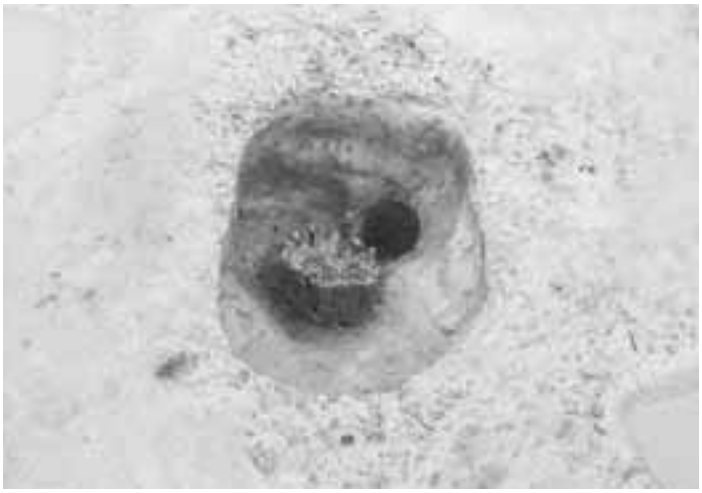
68

69

70

74

74（内面）



13号掘立柱建物 - P2（南から）

14号掘立柱建物 - P3（西から）

16号掘立柱建物 - P1，17号掘立柱建物 - P9（西から）

19号掘立柱建物 - P1（北東から）

19号掘立柱建物 - P7，32号掘立柱建物 - P3（北西から）

23号掘立柱建物 - P5，24号掘立柱建物 - P4（北西から）

27号掘立柱建物 - P2，28号掘立柱建物 - P2（東から）

32号掘立柱建物 - P4（南から）

図版10　掘立柱建物（２）

32号掘立柱建物 - P19，47号掘立柱建物 - P14（南から）

35号掘立柱建物 - P2（北から）

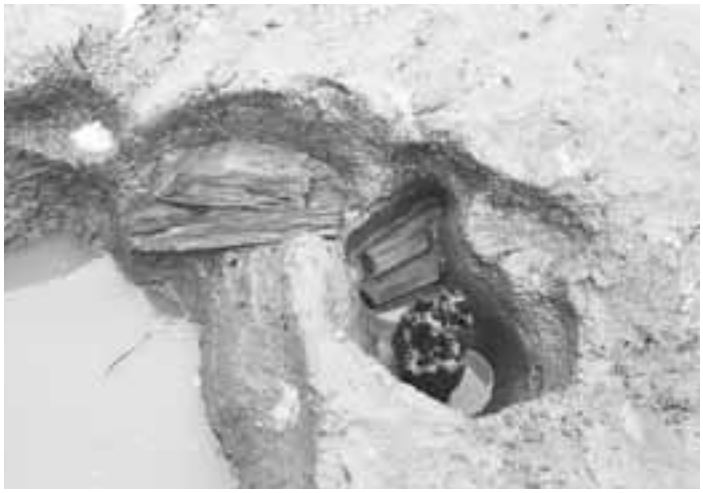
42号掘立柱建物 - P1（南から）

43号掘立 - P7，44号掘立 - P6，45号掘立 - P6（北西から）

43号掘立柱建物 - P8・P23，46号掘立柱建物 - P22（北西から）

43号掘立柱建物 - P10（西から）

43号掘立 - P11，44号掘立 - P8，45号掘立 - P8（北東から）



43号掘立柱建物 - P13，45号掘立柱建物 - P10（西から）

46号掘立柱建物 - P5（南西から）

46号掘立柱建物 - P7（西から）

46号掘立柱建物 - P8（西から）

46号掘立柱建物 - P9（西から）

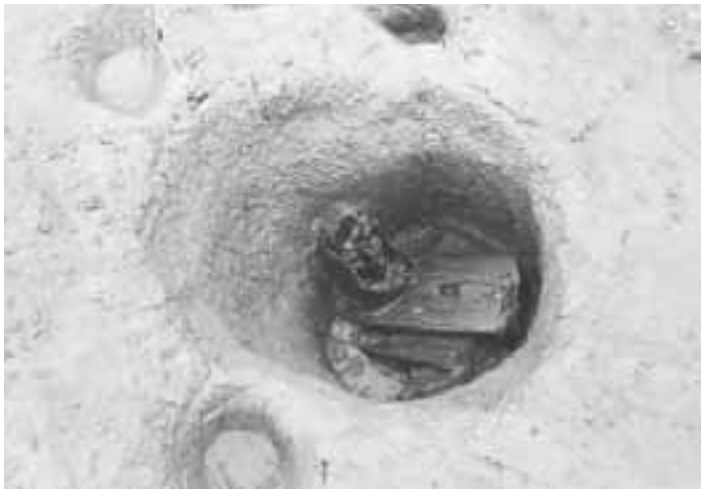
46号掘立柱建物 - P10，57号掘立柱建物 - P3（西から）

46号掘立柱建物 - P12（西から）

46号掘立柱建物 - P13（西から）

46号掘立柱建物 - P15（南から）

図版12　掘立柱建物（４），柵



46号掘立柱建物 - P17（南西から）

46号掘立 - P22，50号掘立 - P5，57号掘立 - P2（北西から）

46号掘立 - P28，47号掘立 - P8，55号掘立 - P3（南東から）

48号掘立柱建物 - P4（西から）

56号掘立柱建物 - P4，57号掘立柱建物 - P1（西から）

66号掘立柱建物 - P6（南から）

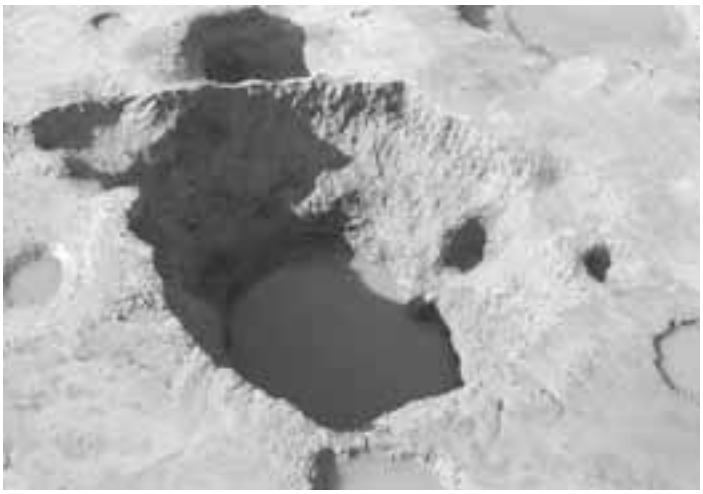
72号掘立柱建物 - P5（北東から）

１号柵 - P3（南西から）

1号井戸　曲物の出土状態（北西から）

3号井戸　隅柱と曲物の出土状態（南西から）

4号井戸　土層断面（南東から）

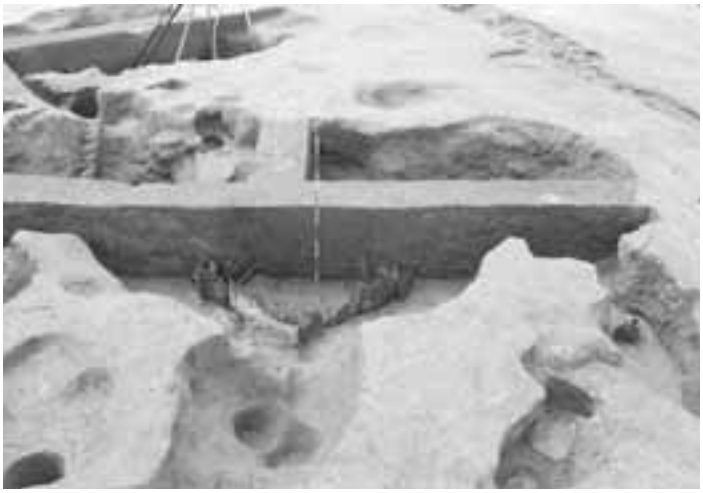


4号井戸　完掘（南東から）

5号井戸（南から）

6号井戸　土層断面（南西から）

6号井戸　曲物の出土状態（南西から）



7号井戸　土層断面（東から）

図版14　井戸（4）

7・8号井戸　井戸枠と曲物の出土状態（北西から）

7・8号井戸　完掘（北から）

8・9号井戸　土層断面（南から）

7～10号井戸　完掘（東から）

10号井戸　土層断面（北から）

10号井戸　完掘（東から）

12・13号井戸　完掘（西から）

13号井戸　板材の出土状態（北西から）

14号井戸　土層断面（北東から）

15号井戸　土層断面（西から）

17号井戸（東から）

18号井戸　完掘（南東から）

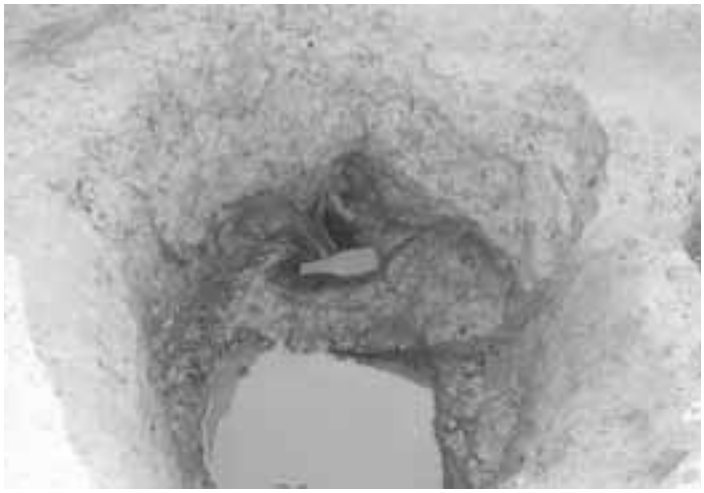
19号井戸　完掘（南西から）

20号井戸　下駄（420）の出土状態（南西から）

20号井戸　完掘（北東から）

21号井戸　土層断面と土師質土器（61）（北東から）

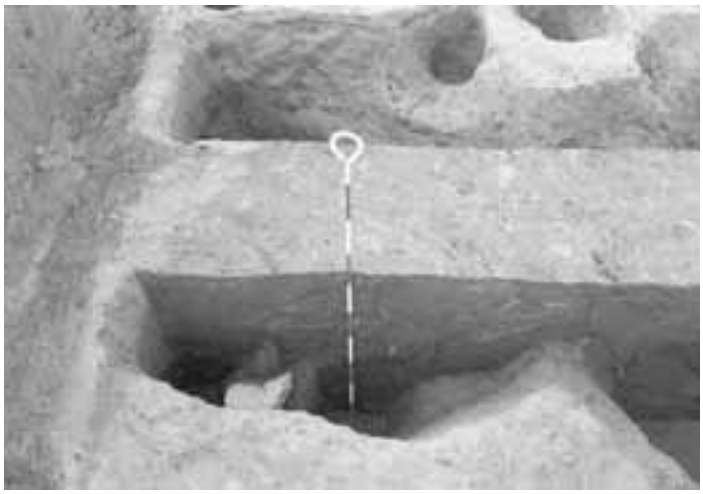
図版16　井戸（6）



21号井戸　杓子形木製品（427）の出土状態（北東から）

21号井戸　完掘（北東から）

22号井戸　土層断面（南東から）



23号井戸　土層断面，66号掘立柱建物 - P11（南東から）

22・23号井戸　完掘（西から）

24号井戸　完掘（南西から）

25号井戸　土層断面（南東から）

25号井戸　完掘（北東から）

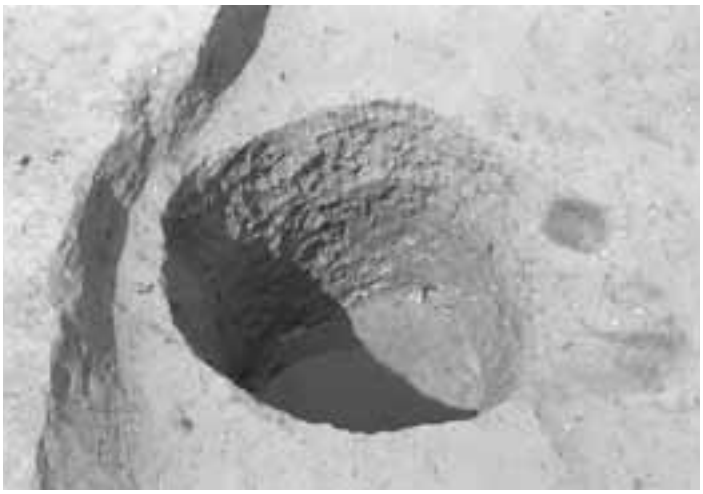
1号土坑　完掘（南から）

2号土坑　土層断面（南東から）

3号土坑　土層断面（西から）

6号土坑　土層断面（東から）

7号土坑　完掘（北東から）



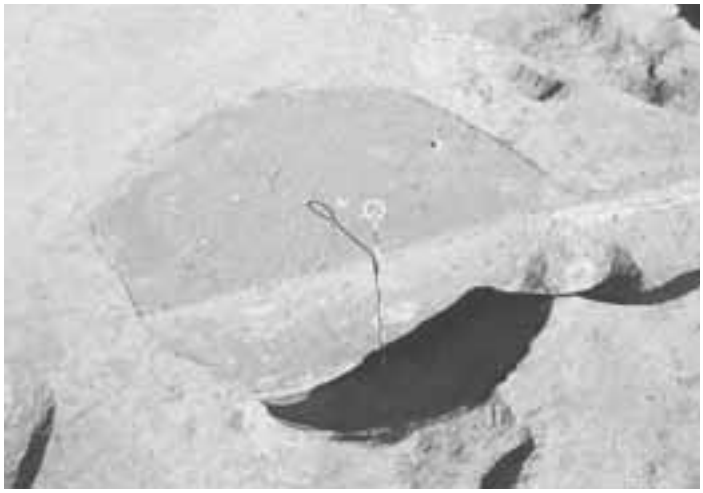
8号土坑　完掘（南西から）

9号土坑　土層断面（南西から）

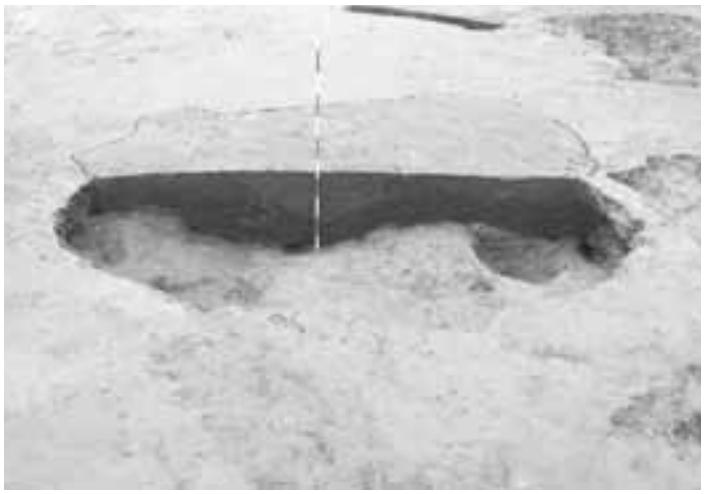
11号土坑　土層断面（南西から）

図版18　土坑（2）

12号土坑　土層断面（南から）



13号土坑　土層断面（南西から）



15号土坑　土層断面（西から）

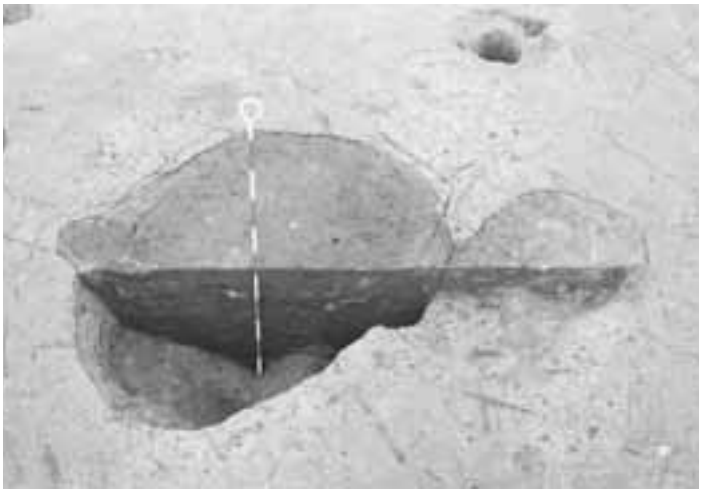
16号土坑　土層断面（西から）

17号土坑　土層断面（南西から）

18・19号土坑　土層断面（南西から）

23号土坑　土層断面（西から）

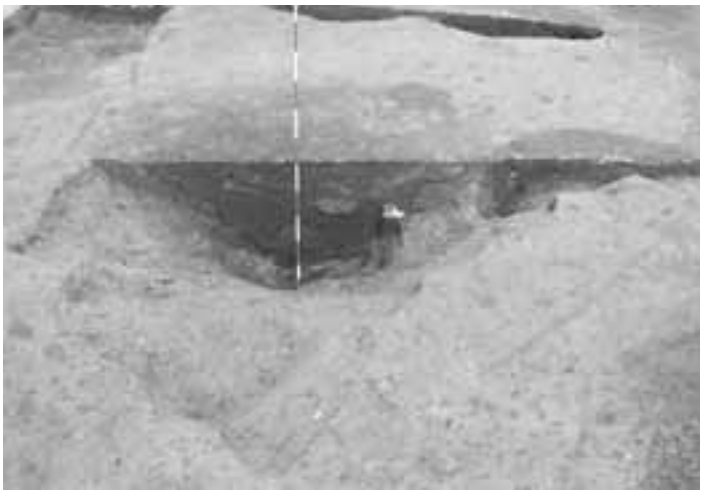
24号土坑　土層断面（西から）



25号土坑　土層断面（南から）

26号土坑　土層断面（南東から）

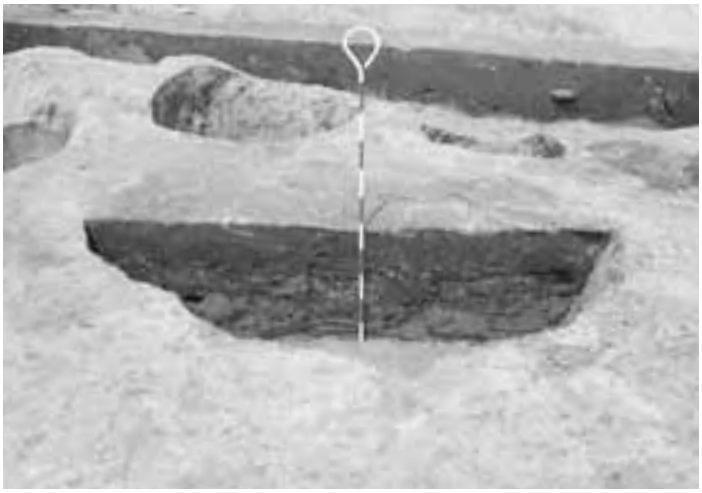
27号土坑　土層断面（南から）



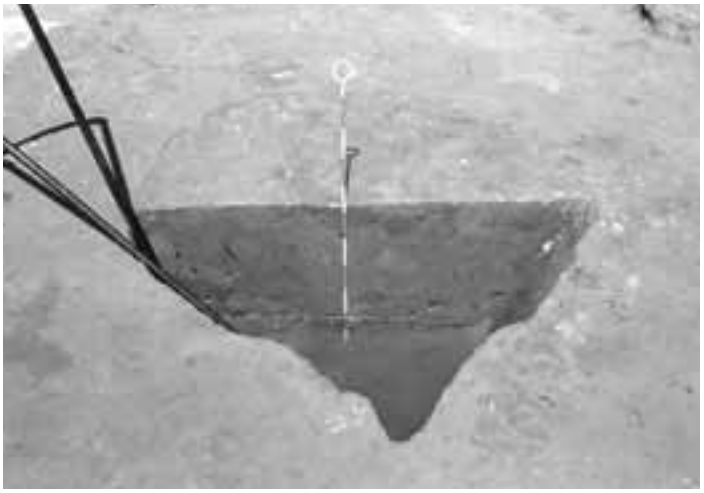
30号土坑　土層断面（西から）

35・36号土坑　土層断面（南から）

36・37号土坑　土層断面（南西から）



39号土坑　土層断面（南から）



45号土坑　土層断面（南東から）

図版20　土坑（4）

46号土坑　土層断面（北から）

48号土坑　土層断面（南から）

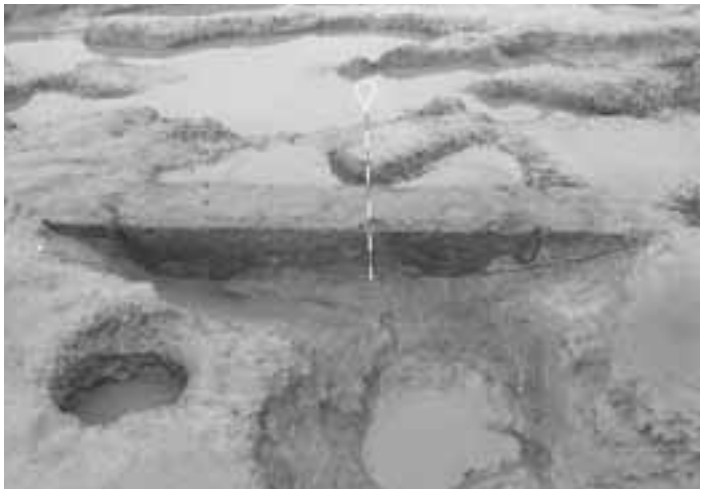
49号土坑　土層断面（北西から）

50号土坑　土層断面（北西から）

51号土坑　土層断面（南から）

55号土坑　土層断面（東から）

57号土坑　土層断面（南から）



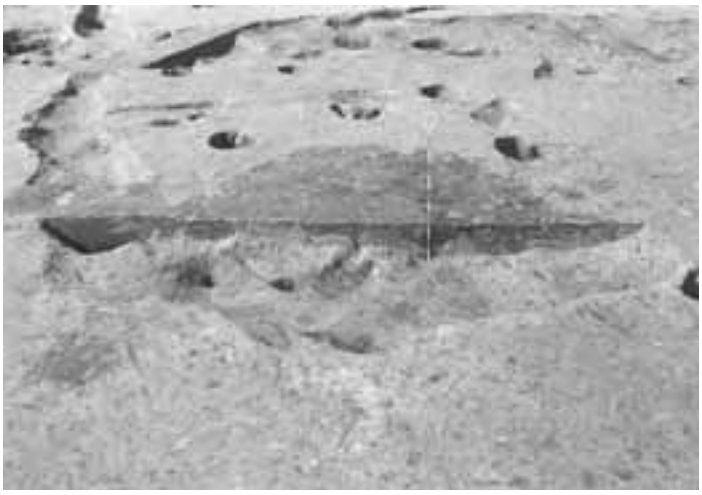
60号土坑　土層断面（南から）

61号土坑　土層断面（南東から）

62号土坑　土層断面（南西から）

64号土坑　土層断面（南東から）

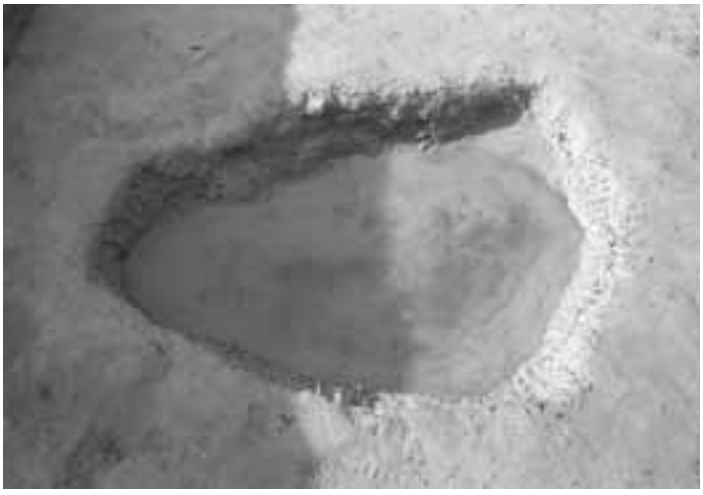
65号土坑　土層断面（南東から）



66号土坑　土層断面（南東から）

67号土坑　土層断面（東から）

68号土坑　土層断面（南から）



69号土坑　完掘（東から）

図版22　溝（1）

1A・1B 号溝　土層断面（南西から）

1A 号溝　木簡（596）の出土状態（西から）

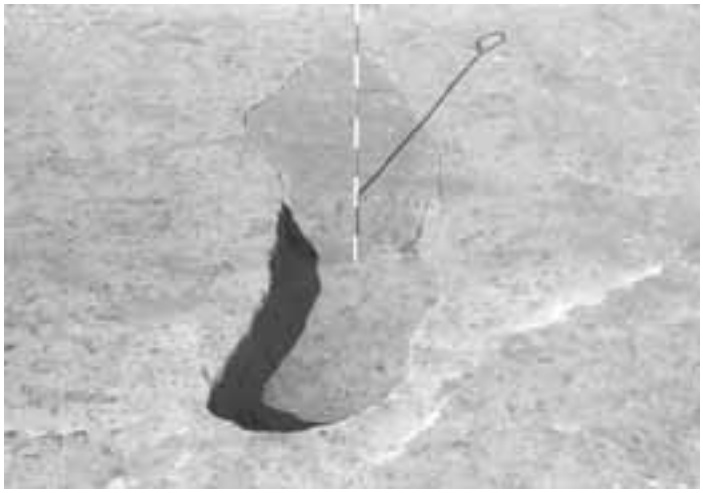
1A 号溝　土師質土器（136）と木製品（591）出土状態（東から）

1A・1B 号溝　完掘（南から）

2 号溝　土層断面（西から）

3A・3B 号溝　土層断面（西から）

2・3A・3B 号溝　完掘（西から）



5 号溝　土層断面（西から）

6 号溝　土層断面（西から）

7 号溝　土層断面（西から）

10号溝　遺物の出土状態（南から）

10・11号溝　完掘（西から）

12号溝　土層断面（南西から）

13号溝　土層断面（西から）

15・16号溝　土層断面（北西から）

16号溝　土層断面（南西から）

図版24　溝（3）

15・16号溝　完掘（東から）

17号溝　完掘（南東から）

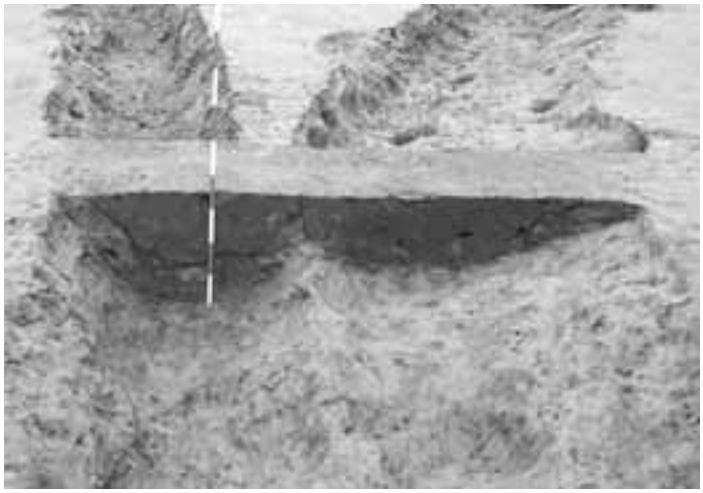
22号溝　土層断面（北から）

22号溝　土師質土器（小皿）の出土状態（南から）

26号溝　土層断面（南から）

26号溝　完掘（南から）

29・31号溝　土層断面（東から）



30・32号溝　土層断面（東から）

36号溝　土層断面（南西から）

36号溝　完掘（南西から）

1号杭列（南西から）

37号溝　完掘（南西から）

39号溝　土層断面（南から）

1号流路　土層断面（南西から）

1号流路　遺物の出土状態（南西から）

1号流路　完掘（南西から）

図版26　土師質土器（1）

1

9

20

23

34

20（底面）

37

38

46

37（底面）

38（底面）

49

52

54

61

52（底面）

54（底面）

61（底面）

65

74

76

65（底面）

77

76（底面）

80

82

83

95

97

104

108

116

121

124

116（底面）

125

図版28　土師質土器（3）

128

136

142

143

136（底面）

142（底面）

144

145

146

147

145（底面）

146（底面）

149

154

158

149（底面）

154（底面）

158（底面）

160

161

168

160（底面）

161（底面）

168（底面）

172

175

180

184

175（底面）

180（底面）

184（底面）

187

189

194

187（底面）

189（底面）

図版30　土師質土器（５）

202

204

213

230

230（内面）

231

240

246

250

240（底面）

246（底面）

250（底面）

269

270

274

269（底面）

275

283

288

289

290

288（底面）

289（底面）

302

303

305

307

303（底面）

305（底面）

307（底面）

308

309

310

308（底面）

309（底面）

310（底面）

図版32　土師質土器（７）

312

313

314

312（底面）

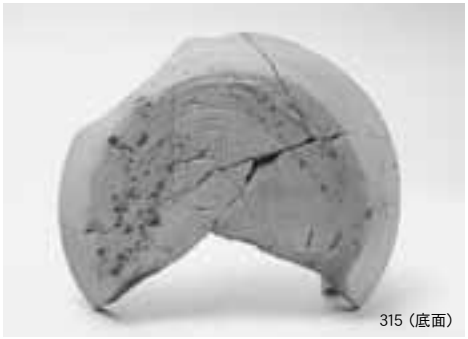
313（底面）

314（底面）

315

316

317


315（底面）

316（底面）

317（底面）

319

320

321

319（底面）

320（底面）

321（底面）

324

327

328

324（底面）

329

328（底面）

331

332

338

331（底面）

332（底面）

338（底面）

343

344

363

343（底面）

344（底面）

363（底面）

図版34　土師質土器（9）

364

368

376

377

378

379

377（底面）

378（底面）

379（底面）

386

387

389

386（底面）

387（底面）

389（底面）

390

393

393（底面）

394

397

400

394（底面）

397（底面）

400（底面）

402

403

404

402（底面）

403（底面）

404（底面）

406

407

408

406（底面）

407（底面）

408（底面）

図版36　土師質土器（11），陶器（２）

409

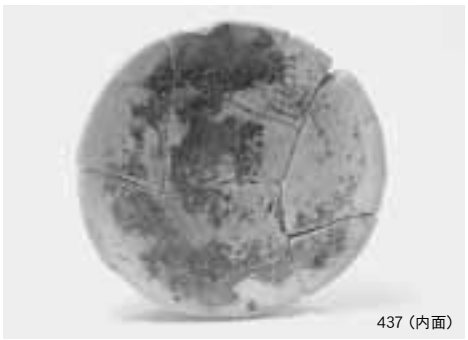
417

433

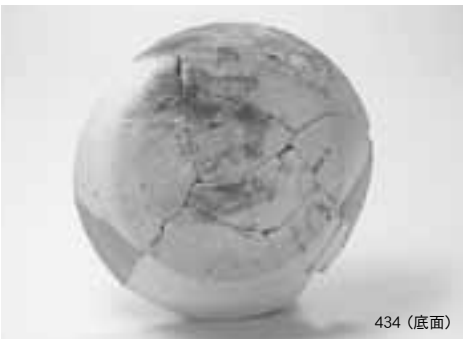
409（底面）

417（底面）

434


437（内面）

440


434（底面）

437

441

441（内面）

1

5

11

12

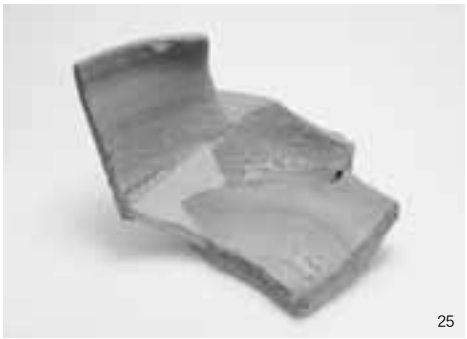
13

17

19

21

23


25

26

28

25（底面）

30

28（底面）

31

33

35

39

40

41

39（底面）

47

48

図版38　陶器（4），土製品

53

56

63

65

67

71

72

72（内面）

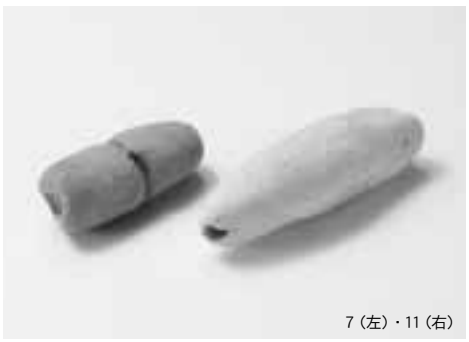
73

96

97

98

1


7（左）・11（右）

9

10

12

13

1

2

3

4

10

13

14

15

17

18

19

21

22

23

24

26

31

32

図版40　石製品（２），金属製品・鍛冶関連遺物（１）

34

36

40

41

43

46

47

48

50

52

55

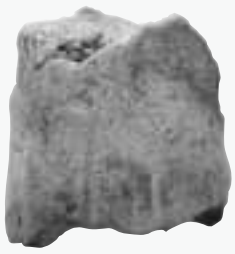
60

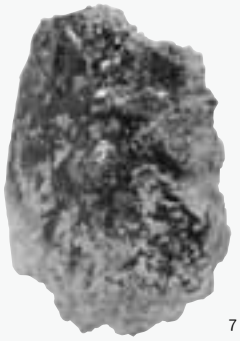
61

64

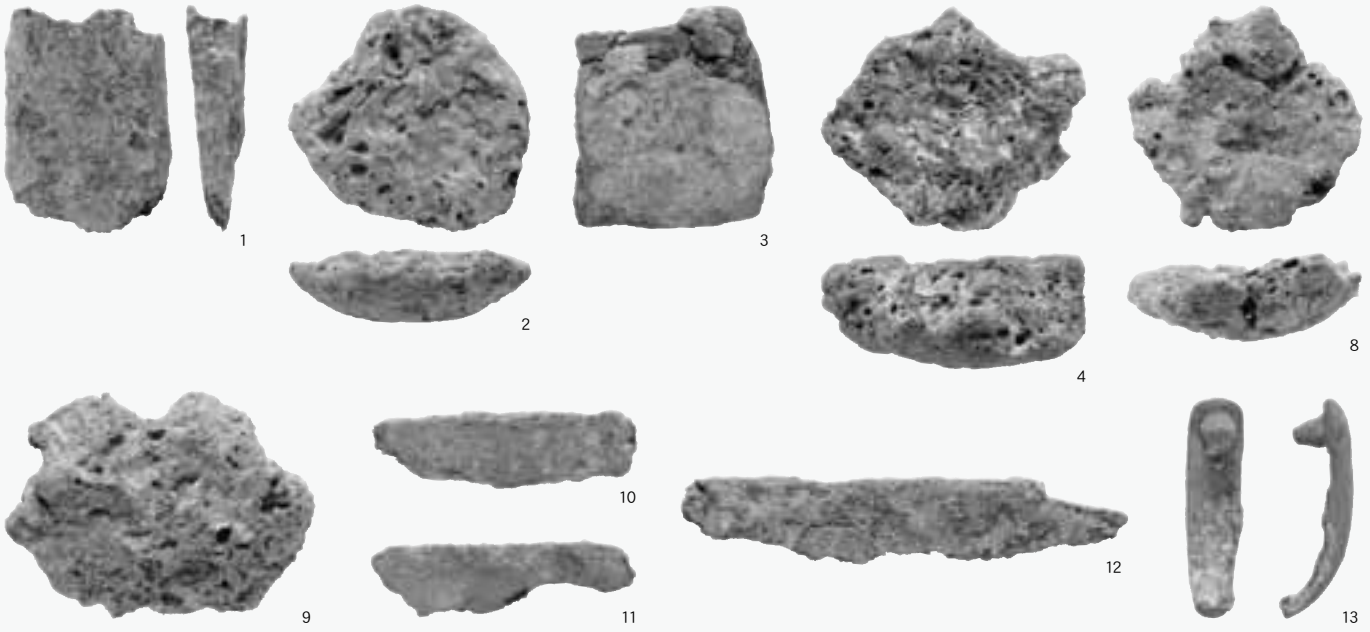
金属製品・鍛冶関連遺物

5


6


7

金属製品・鍛冶関連遺物



木製品

図版42　木製品（2）

128

130

136

137

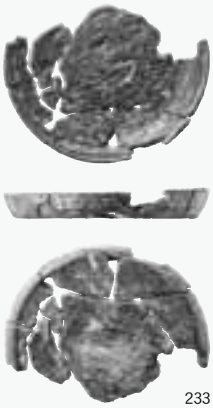
157

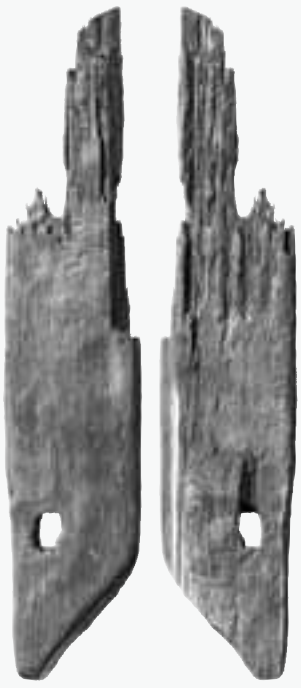
158

207

231

232


233


252

286

372

291

309

321

376

381

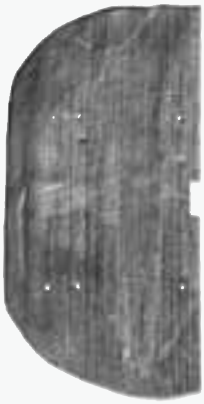
385

399

402

403

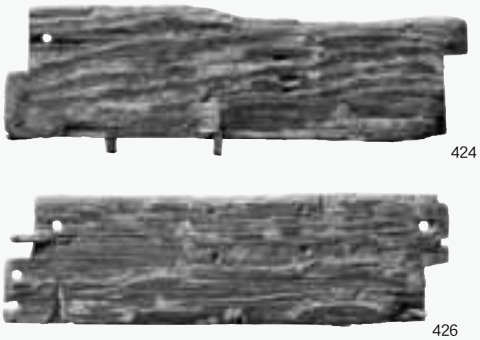
414


415

420

422

423


424

426

427

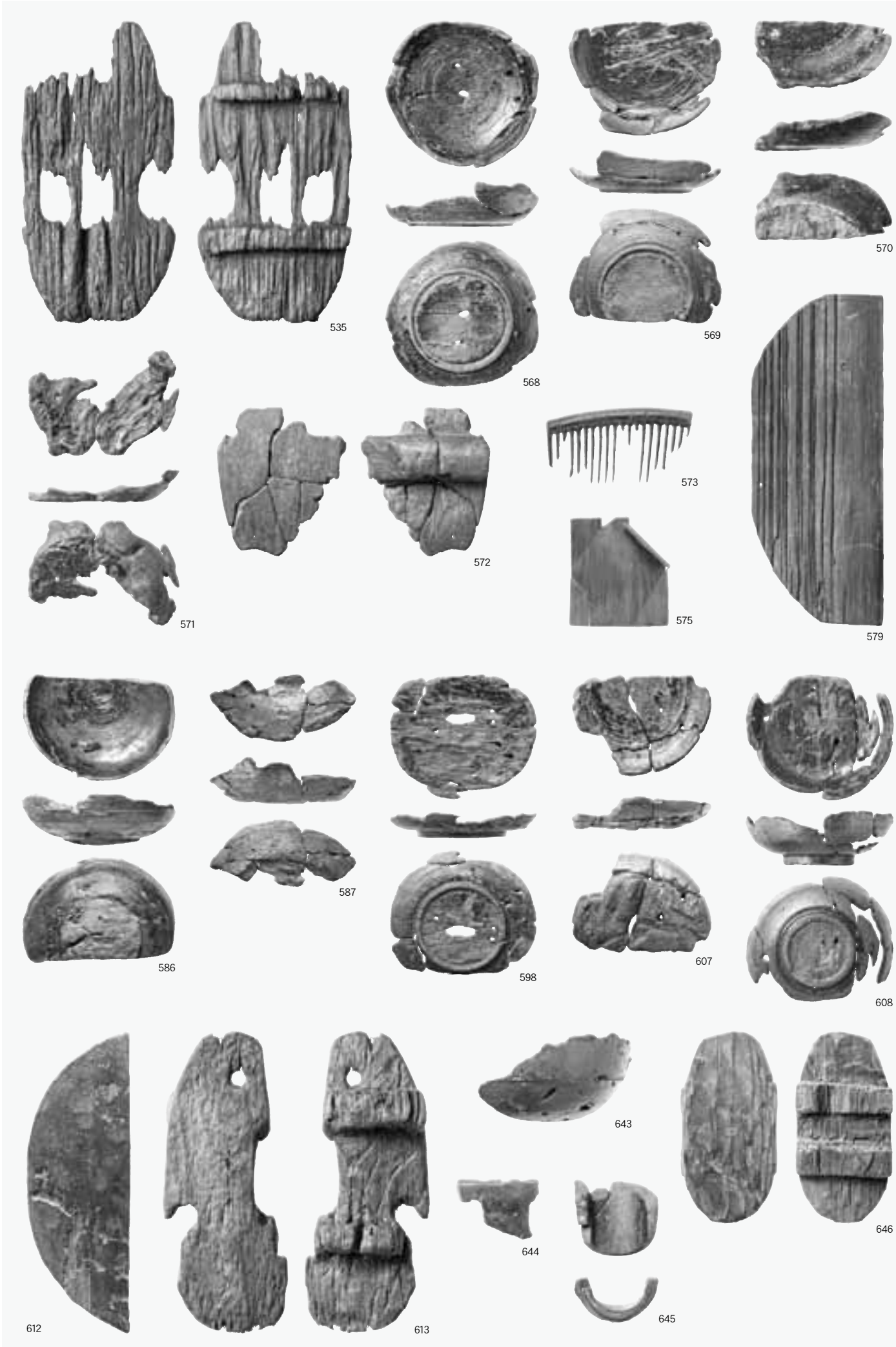
469

466

522

523

図版44　木製品（4）


535
568
569
570
571
572
573
575
579
586
587
598
607
608
612
613
643
644
645
646

649

650

651

665

666

667

668

669

670

671

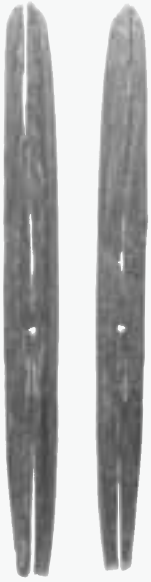
672

674

693

694

698


701

706

708

713

718

報告書抄録

ふりがな	すみよしいせき はっくつちょうさほうこくしょ
書　名	住吉遺跡 発掘調査報告書
副書名	県営ほ場整備事業（紫雲寺2期地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ
シリーズ名	新発田市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第 58
編著者名	津田憲司・本田祐二（以上，新発田市教育委員会），前嶋　敏（新潟県立歴史博物館），パリノ・サーヴェイ株式会社，一般社団法人　文化財科学研究センター，伊藤　茂・安昭炫・佐藤正教・廣田正史・山形秀樹・小林紘一・Zaur Lomtatidze・黒沼保子（以上，㈱パレオ・ラボ），廣野友哉・木村勝彦（以上，福島大学），中塚　武（総合地球環境学研究所）
編集機関	新発田市教育委員会
所在地	〒959－2323　新潟県新発田市乙次281番地2　　TEL　0254-22-9534
発行年月日	平成31（2019）年３月20日
体　裁	A4判　横組1段　本文250頁　写真図版45頁

所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
住吉遺跡（すみよしいせき）	新潟県新発田市中島字住吉108番ほか	15206	580	38°00′03″	139°20′23″	・20121003～20121225 ・20130516～20131227	3,126㎡	県営ほ場整備事業（紫雲寺2期地区）

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
住吉遺跡	集落跡	中世（平安時代末～鎌倉時代）	掘立柱建物 73 棟，柵1列，井戸 25 基，杭列4列，流路1本，土坑，小ピット，溝	土師質土器，青磁，白磁，青白磁，古瀬戸，珠洲，須恵器系陶器，瓷器系陶器，瓦器，土製品，石製品，金属製品，鍛冶関連遺物，銭貨，木製品，木簡	

要　約

住吉遺跡は，旧紫雲寺潟（塩津潟）の潟端にある標高約4.5mの微高地に所在する。調査の結果，平安時代末～鎌倉時代（12世紀後半～14世紀）にかけて営まれた集落であることが明らかとなった。遺構は，溝で区画された微高地から，掘立柱建物・井戸・土坑などを多数検出した。特に，掘立柱建物は重複が著しく，何度も建替えを行っていた様子が窺える。

住吉遺跡 発掘調査報告書

県営ほ場整備工事（紫雲寺２期地区）
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　Ⅰ

発　行　　平成 31（2019）年３月 20 日
新発田市教育委員会
新潟県新発田市乙次 281 番地２
印　刷　　株式会社　天野印刷